

社会福祉学部

(スポーツ健康福祉学科)

(臨床福祉学科)

シ ラ バ ス

Syllabus 2024



あなたの学びを あなたのカタチに

九州医療科学大学

Kyushu University of Medical Science

科目名		英語			授業コード	110026B102	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	9CC121B01	AL 科目	○
担当者		ボウラー プレン	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		Students will improve their understanding of basic English and be able to fundamentally communicate						
学修目標		1. Participation in class activities 2. Complete classroom tasks and assigned homework 3. Contributing to class discussions						
実務経験のある 教員による教育		私は大学在学中に母国語が英語でない人に教える事ができる国際資格 TESOL を取得。卒業後は、地元の大学の英語講師として勤めておりました。日本に移住をしてからは、市立の ALT 講師や民間企業の英語教育に携わりました。また、延岡に移住を機に幅広い年齢層の人々に親しんでもらうための英語教育を実現するために英会話教室を運営して活動しております。ナレーション、翻訳、地元のラジオのパーソナリティーとしても勤めております。						
評価方法		1. Attitude, contribution and participation in class discussions (10%) 2. Midterm and Final tests evaluating content covered during lessons (50%, Mid term 20%, Final 30%) 3. 2 Mini presentations In each half of the term (20% total) 4. 2 Mini quizzes at the end of lessons (20% total)						
準備学習・ 履修上の注意等		1コマ当たり4時間以上を目安に予習・復習を行うこと						
オフィスアワー		授業時間内になります Do not email directly, please contact student support if necessary.						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1-3)	Unit 1 Introductions and Orientation					講 義	ブレン
2	1-3)	Unit 1 Introductions ~Unit 2 Work and Family					講 義	ブレン
3	1-3)	Unit 2 Work and Family Mini Quiz 1					講 義	ブレン
4	1-3)	Presentation 1					講 義	ブレン
5	1-3)	Unit 3 Holidays					講 義	ブレン
6	1-3)	Unit 3 Holidays, revision of covered content to date.					講 義	ブレン
7	1-3)	Midterm Test					講 義	ブレン
8	1-3)	Unit 4 House and Home					講 義	ブレン
9	1-3)	Unit 4 House and Home ~Unit 5 About You					講 義	ブレン
10	1-3)	Unit 5 About You Mini Quiz 2					講 義	ブレン
11	1-3)	Presentation 2					講 義	ブレン
12	1-3)	Unit 6 Life Lessons					講 義	ブレン
13	1-3)	Unit 7 Remember When...					講 義	ブレン
14	1-3)	Unit 7 Remember When...					講 義	ブレン
15	1-3)	Revision of prior units					講 義	ブレン
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			Headway 5th Edition Student Book with Online Practice ISBN: 9780194524230					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			Headway 5th Edition Workbook with Key ISBN: 9780194527682					

科目名	英語コミュニケーション			授業コード	110031B102	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	動物生命薬科学科(1 年)・スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	9CC122B01	AL 科目	○
担当者	ボウラー プレン	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	Students will improve their understanding of basic English and be able to fundamentally communicate						
学修目標	1. Participation in class activities 2. Complete classroom tasks and assigned homework 3. Contributing to class discussions						
実務経験のある 教員による教育	私は大学在学中に母国語が英語でない人に教える事ができる国際資格 TESOL を取得。卒業後は、地元の大学の英語講師として勤めておりました。日本に移住をしてからは、市立の ALT 講師や民間企業の英語教育に携わりました。また、延岡に移住を機に幅広い年齢層の人々に親しんでもらうための英語教育を実現するために英会話教室を運営して活動しております。ナレーション、翻訳、地元のラジオのパーソナリティーとしても勤めております。						
評価方法	1. Attitude, contribution and participation in class discussions (5%) 2. Midterm and Final tests evaluating content covered during lessons (55%, Mid term 15%, Final Exam 20% Final Presentation made throughout Semester 20%) 3. 2 Mini presentations over course of the term (20% total) 4. 2 Mini quizzes at the end of lessons (20% total) Students will be given time at the end of each lesson to work on Final presentation. Final Presentation will be a group project (in pairs or small groups) Skills for presentation will be built upon during semester via 2 mini presentations.						
準備学習・ 履修上の注意等	1コマ当たり4時間以上を目安に予習・復習を行うこと						
オフィスアワー	授業時間内になります Do not email directly, please contact student support if necessary.						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1-3)	Introductions and outline of course. Unit 7 Past Simple Questions and Negatives.				講 義	ブレン
2	1-3)	Unit 7 - 8				講 義	ブレン
3	1-3)	Unit 8 Love it or Hate it Mini Quiz 1 (10%)				講 義	ブレン
4	1-3)	Presentation 1 (10%)				講 義	ブレン
5	1-3)	Unit 9 In The City				講 義	ブレン
6	1-3)	Unit 9 In The City, revision of content covered so far				講 義	ブレン
7	1-3)	Midterm Test (15%)				講 義	ブレン
8	1-3)	Unit 10 What Are You Doing?				講 義	ブレン
9	1-3)	Unit 10 What are you doing? ~ Unit 11 Going for it				講 義	ブレン
10	1-3)	Unit 11 Going For It Mini Quiz 2 (10%)				講 義	ブレン
11	1-3)	Presentation 2 (10%)				講 義	ブレン
12	1-3)	Unit 12 Have you ever				講 義	ブレン
13	1-3)	Unit 12 Have you ever?				講 義	ブレン
14	1-3)	Presentation 3 Preparation, revision of Units 7~12				講 義	ブレン
15	1-3)	Final Presentation 3 (20%)				講 義	ブレン
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		Headway 5th Edition Student Book with Online Practice ISBN: 9780194524230					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		Headway 5th Edition Workbook with Key ISBN: 9780194527682					

科目名	情報処理入門			授業コード	110084A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)・臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	9CC111B01	AL 科目	○
担当者	山内 利秋(薬・生)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	大学生が講義や演習で様々な課題を作成出来るようになるための基礎的な作業や知識を習得していくプロセスを通じて、現代社会における ICT(Information and Communication Technology)の意義について理解し、情報を収集・分類・活用していくための能力を獲得していく事を目的とします。						
学修目標	1)ICT とは何かについて基本的に理解し、説明出来る。 2)PC 上での文章の記述について理解し、実践出来る。 3)統計情報のような数値情報の分析方法を行える。 4)ファイル・データの管理を行い、情報の分類について理解出来る。 5)インターネットにおけるコミュニケーションを理解し、運用出来る。 6)視覚表現について理解する。 7)プレゼンテーションを理解し、実施出来る。 8)プログラミング思考を理解出来る。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	課題制作(評価は 30%)及び試験(評価は 70%)。						
準備学習・ 履修上の注意等	ICT に関わるリテラシーを習得しようとする真摯な態度が要求されます。高校の情報科の授業以外 PC にほとんど触れていないという人が多いのですが、特にコロナ禍以降では「スマホしか使わない」では仕事になりません。極端な事を言えば、PC の操作は自動車の運転どころか日常的なインフラ設備の操作(明るさに応じて電気をつける・水道の蛇口をひねって水量を調整する・ガスの元栓をあけたり風呂の温度を調整するなど)にも近くなっており、「できない」事は仕事の選択の幅を極端に狭くしたり、日常生活にさえ大きく影響します。 従って、テキスト及び課題に関わる予復習を十分に行うのみならず、日頃から PC を使う事を強く意識して下さい。これをやらないと毎回の授業についてこれないばかりでなく、特に学年があがるにつれ他の授業でもくできる／できないの差が生じるといった状況を招きます。授業ではなるべく個々人がスキルを獲得できるように指導しますが、あまりにも「おくれ」が大きいと、全体の授業進行に大きく影響してしまいます。授業初回からアカウントを記載した用紙を無くすなどは論外です。 1 コマ当たり最低でも4時間を目安に予習・復習を行って下さい。 ※googleclassroomを使用します。第 1 回目の授業で説明しますが、googlemeet へは classroom からログインするようになりますので、注意して下さい。						
オフィスアワー	火・水曜日 2 限、その他講義時間以外の在席時。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	アカウントの確認、基本的なメールの使い方、googleclassroom や googleform の使用法を確実に理解し、オンライン化した授業に対しても確実に対応できるスキルを獲得する。				講義・演習	山 内
2	1)4)	「情報とは何か」を基本的なテーマとしながら、情報通信技術と情報化が進行した今日の社会、さらにデータを扱う事の意義について考えていく。そしてフォルダ・ファイルの種類や階層性を認識する事で、コンピュータにおける情報の分類について理解する。				講義・演習	山 内
3	1)2)3) 5)6)	Microsoft office と Google Workspace(そのうちドキュメント・スプレッドシート・スライド)の基本操作に関する課題をやってみる。基本的操作について確認するとともに、ファイル変換や互換性、ファイルの保存について理解する。				講義・演習	山 内
4	5)	メールのリテラシーを通じて、情報コミュニケーションの有効性・危険性について理解する。				講義・演習	山 内
5	2)	word を通じて文章の形式や論理的構成、デザインを理解する。 その 1				講義・演習	山 内
6	2)	word を通じて文章の形式や論理的構成、デザインを理解する。 その 1				講義・演習	山 内
7	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。 その 1				講義・演習	山 内
8	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。 その 2				講義・演習	山 内
9	6)7)	Powerpoint を使ってプレゼンテーション・発表の方法についての論理的方法を理解する。 その 1				講義・演習	山 内
10	6)7)	Powerpoint を使ってプレゼンテーション・発表の方法についての論理的方法を理解する。 その 2				講義・演習	山 内
11	1)	情報とセキュリティについて理解する。				講義・演習	山 内
12	1)	知的財産権について理解する。				講 義	山 内
13	1)4)	情報の検索と収集、図書館の役割について理解する。				講義・演習	山 内
14	8)	プログラミング思考とは何かを理解する。				講義・演習	山 内
15	8)	与えられた課題について、プログラミングを製作してみる。				演 習	山 内
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		『学生のための OFFICE スキル活用&情報モラル』noa 出版 【ISBN:978-4-908434-40-2】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし。					

科目名	データサイエンスⅠ			授業コード	110198A402	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部・臨床心理学部・動物生命薬科学科(各学部学科 1 年次)			ナンバリング	9CC122B02	AL 科目	○
担当者	池脇信直(生命医科学科)・井藤英俊(スポーツ健康福祉学科)・内藤健一(臨床心理学科)・三宮基裕(臨床福祉学科)・中村真理子(臨床心理学科)・山内利秋(動物生命薬科学科)・田村宏樹(宮崎大学)・山森一人(宮崎大学)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	今日の ICT 技術の進展によって、従来までは経験や勘に頼らなければならなかった様々な活動が、客観的なデータに基づいてより分析的に実践できるようになった。誰にでも情報機器が扱えるようになり、ビッグデータと呼ばれる膨大な量の数値情報が収集されやすくなった事によって、以前は一部の分野の専門的な研究者にしか行えなかった様々な分析が、より多様に、かつ幅広い人々の手でも出来るようになりつつある。 本科目では、医療・福祉分野はもちろん、様々な産業や社会の中で扱われつつあるデータサイエンスについて学び、科学的な分析の手法を理解できるようになる事を目的とする。						
学修目標	1)データサイエンスが何かを理解し、説明できる。 2)データサイエンス・AIを活用する事の意義を理解する。 3)客観的なデータの重要性と基本的な役割を理解し、さらに適切なデータ分析・解釈ができる。 4)現代社会の様々な分野におけるデータ分析を基とした実践的活動について理解できる。 5)医療福祉分野におけるデータサイエンスについて理解し、説明できる。						
実務経験のある教員による教育	特になし						
評価方法	小テスト(複数回)を課し、総合的に評価する。						
準備学習・履修上の注意等	オンデマンドと対面授業をあわせた形で実施します。多様な分野から構成されており、一見自分の専門からは離れている内容に思えるものもあるかもしれませんが、現代社会に生きる我々にとっては欠かす事ができないものでもあるので、じっくりと学修して下さい。試験は授業の終わりに google forms から実施する小テストを予定しています。 なお、この授業ではテキストの代わりにベネッセのコンテンツ「AI データサイエンス基礎講座(リテラシーレベル)」を活用しますので、受講には登録料として料金が必要となります。登録する事によってコンテンツを 1 年間いつでもどこでも視聴でき、授業では取り扱わない項目も含めての自学自習が可能です。このコンテンツは国の政策でもある Society 5.0(仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会)の構築や、データサイエンティストをはじめ様々な分野で必要とされているデジタル人材の育成を目指すのに適した内容となっています。						
オフィスアワー	教員の在室時間(各教員により異なる)。						
授業計画							
回数	学修目標 No.	授 業 内 容				授業方法	担当
1	1)	データサイエンスとは。				講 義	田村・山内
2	1)2)	データサイエンスを活用した研究の紹介。				講 義	山森・山内
3	3)4)	社会で起きている変化:日本企業の国際競争力低下市場の変化、デジタル技術の発展、デジタル社会について理解する。				講 義	池脇他
4	2)3)4)	社会で活用されているデータ:統計データ、ログデータ(人の行動・機械の稼働)、データの分類、オープンデータについて理解する。				講 義	池脇他
5	3)4)5)	データ・AI の活用領域:AI の定義、歴史、活用領域(製造業、小売業、物流業、医療・介護)、人間に近づく AI について理解する。				講 義	池脇他
6	3)4)	データ・AI 利活用のための技術:データ認識技術(画像、文字、音声、顔)、AI 技術(機械学習、ディープラーニングなど)、AI の難問(フレーム問題など)、強い AI と弱い AI、AI の得意・不得意について理解する。				講 義	池脇他
7	3)4)	データ活用とは:データの定義、データ活用のモデル、データ分析のアプローチ(妥当性、信頼性など)について理解する。				講 義	池脇他
8	2)3)4)	データ・AI 利活用の現場:製造業(IoT)、小売業(販売時点情報管理(POS))に加えて会員情報、センサー)、サービス業(顧客に合った資産運用モデルの作成など)、公共・インフラ業(スマートメーター、MaaS など)、新しいビジネス領域(シェアリングエコノミー、Direct to Consumer、スマートシティなど)について理解する。				講 義	池脇他
9	3)5)	QOL 評価とデータ分析:QOL を統計学的手法を用いて評価してみる。				講義・演習	池 脇
10	3)5)	医療分野におけるデータの活用:医療データの分析方法について。				講義・演習	中 村
11	3)5)	学校体育におけるデータの活用:データを使って、横断的研究と縦断的研究の分析をしてみる。				講義・演習	井 藤
12	3)5)	心理実験における反応時間データ:データの分布・取り扱い・分析について。				講義・演習	内 藤
13	1)2)3)	データ・AI を扱う上での留意事項(1):ELSI(倫理的・法的・社会的な課題)、不正行為(ねつ造、改ざん、盗用)、個人情報の保護について理解する。				講 義	山森他
14	1)2)3)	データ・AI を扱う上での留意事項(2):バイアス(モデル構築時、データ収集時、データバイアスとアルゴリズムバイアス)、AI の正しい活用に向けて理解する。				講 義	山森他
15	1)2)3)	データを守る上での留意事項とまとめ:情報セキュリティ、情報漏洩(内部不正、コンピュータウィルスへの感染、サイバー攻撃)と事例、セキュリティ技術について理解する。				講 義	山森他
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし。					

科目名	データサイエンスⅡ			授業コード	110199A402	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部(2 年次) 臨床心理学部(2 年次) 動物生命薬科学科(2 年次)			ナンバリング	9CC122B03	AL 科目	○
担当者	山内 利秋(薬・生)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシNo.	社会の様々な課題を知り、さらにそれを解決する手段として情報メディアを使いこなす事はもはや必須となった。身近な問題が、地域社会さらには世界全体の問題とどのように関係しているのかを理解しつつ、それを解決するための一歩として、国土地理院による航空写真や GIS システムを知ると同時に、データサイエンスに関わる様々な分析・活用方法を学習し、自らが社会において主体的な行動を取れるようになる事を目指す。						
学修目標	1)社会で起こっている様々な課題と自らの生活空間・身近な社会における問題の関係性を理解し、説明出来る。 2)地域社会におけるコミュニケーションとメディアのあり方について理解し、具体的に説明出来る。 3)社会の課題を抽出し、それを理解するための調査方法を習得する。 4)データを活用した統計解析の考え方を理解し、それを分析する方法を習得する。 5)抽出した情報を分析し、説明する事が出来る。						
実務経験のある 教員による教育							
評価方法	発表・課題提出についてそれぞれ 50%・50%の割合で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	1.Office、特に Excel の最低限・基本的な操作が出来ないと授業に全くついていけないので、できれば情報処理入門を受講後に履修してほしい。2.情報通信技術を自らの手で工夫して社会に対応出来るようにしようとする意欲を持っている事。グループまたは個々人で考えながら作業を行なう部分が多く、コツコツと積み重ねる事が要求される。これらを意識して演習に活用出来る素材を予復習として集めてくる。 ※googleclassroom を使用します。第 1 回目の授業で説明しますが、googlemeet へは classroom からログインするようになりますので、注意して下さい。						
オフィスアワー	木曜日 2 限、その他講義時間以外の在席時。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	グローカリゼーションと地域社会、身近な生活空間といったそれぞれのコミュニティにおける課題の存在を知り、これを理解・解決していく上での様々な情報の重要性について理解する。				講 義	山 内
2	2)3)	自分の身の回りで発生している様々な課題を現象として捉えていく方法を、航空写真や GIS 上にある情報から理解していく。				演 習	山 内
3	3)4)	統計学の最も基本的な部分について確認してみる。				演 習	山 内
4	3)	データの要約について考えてみる。				演 習	山 内
5	3)	身近な課題をとりあげ、それを解決するために、出来事のパターン化を行なう。				演 習	山 内
6	4)	質的変数の分析についてやってみる。				演 習	山 内
7	4)	量的変数を代表値で要約してみる。				演 習	山 内
8	4)	量的変数をばらつきで要約してみる。				演 習	山 内
9	4)	平均と標準偏差を活用してみる。				演 習	山 内
10	3)4)	2 つの平均値を比較してみる。				演 習	山 内
11	3)4)	平均値の比較をアイデア評価に応用してみる。				演 習	山 内
12	3)4)	散布図を活用して関係性を分析してみる。				演 習	山 内
13	3)4)	回帰分析を活用して関係性を分析してみる。				演 習	山 内
14	3)4)5)	関係性の分析で改善点を見つけてみる。				演 習	山 内
15	3)4)5)	時系列データを分析してみる。				演 習	山 内
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		『学生のためのデータリテラシー』(豊田裕貴)【978-4-86510-446-2】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし。					

科目名	キャリア教育			授業コード	110005B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	9CC121B02	AL 科目	○
担当者	日田 剛(スポ)、外部講師	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシ-No.	激動する社会の中で生き抜くためには、自らを社会に開く必要がある。それは社会において何が求められているのかを知ることと同時に、仕事を取り巻く環境の理解が欠かせない。そのために学生には早期に将来の自分像を描き、大学で何を学び、学生生活をいかに送るかを考えることが求められる(D2)。 本科目は、自らのキャリア形成にどのような知識、技術が必要なのか、また仕事をやりがいのあるものとするために何が必要かを学ぶ。加えて健康で働き続けるために必要な労働者を守る権利、それらを具体化した法制度についても理解することを目的とする(D4)。						
学修目標	1)科目のねらい、意義が理解できる。 2)現在の社会情勢を身近な問題から、広い視点での問題まで理解できる。 3)「社会人基礎力」が求められる意図を理解する。 4)自分自身を知ること、目指すべき将来像を考えることができる。 5)経済の仕組みについて基本的な理解を進める。 6)社会に潜在している問題を把握することができる。 7)仕事について、その意義を考える。 8)働くうえで必要な社会保障や労働基準法について理解を深める。 9)仕事をめぐる社会情勢について理解する。 10)キャリア教育の視点から労働者の権利について考える。 11)自らのキャリア形成について具体的にイメージする。						
実務経験のある 教員による教育	外部講師として福祉現場で働く卒業生等を招く予定である。						
評価方法	定期的なレポートと最終確認レポート、授業態度や提出物で総合的に評価。レポート 10 点×5 回(50 点)、提出物(20 点)、最終確認レポート(30 点)として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業内で行った SGD について振り返りを行うこと。授業中に配布した資料は保管しておくこと。外部講師に失礼な態度をとらないこと。						
オフィスアワー	平日 13 時～17 時						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	この科目を学習する目的を考える。				講 義	日 田
2	2)	自分を取り巻く社会環境を理解する。				講 義	日 田
3	3)	社会人基礎力がどのように構成されているのか具体的に把握する。				講 義	日 田
4	3)	社会人基礎力について、それがなぜ必要なのかを客観的に理解する。				講義・演習	日 田
5	4)	自己理解、他者理解について学ぶ。				講義・演習	日 田
6	5)	社会問題について自らの生活に当てはめて議論する。				講義・SGD	日 田
7	5)6)	仕事するうえで必要な環境について考える。				講義・演習	日田・外部講師
8	7)	仕事について歴史的に概観し、なぜ仕事が必要なのかを考える。				講義・演習	日 田
9	8)	仕事をめぐってどのような社会問題が発生しているのかを理解する。				演 習	日田・外部講師
10	9)	仕事を行う上で、障壁となる問題について考える。				講義・演習	日 田
11	9)	仕事上、障壁となる社会問題をどう対処する必要があるかを考える。				講義・演習	日 田
12	10)	卒業生等の話から、仕事をするにあたり自らに必要な知識を考える。				講義・演習	日 田
13	11)	これまでの学びから自分のキャリア形成について考える。				講義・SGD	日 田
14	11)	自らのキャリアデザインを視覚化する。				講義・演習	日 田
15	11)	自らのキャリアデザインについてグループ内で発表する。				講義・演習	日 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名		コミュニケーション論		授業コード	110007B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科・動物生命薬科学科、1 年		ナンバリング	9CC122B04	AL 科目	○	
担当者		藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態 演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		対人援助職に求められているコミュニケーションの重要性や意義について理解し、対人援助職に必要なコミュニケーションスキルを身につけるための知識と手法を学ぶ。ス DP1～4,CP1/動 DP3, CP1						
学修目標		1)コミュニケーションについて説明できる。 2)コミュニケーションの手段とその意味について説明できる。 3)言語的・非言語的コミュニケーションの特徴を述べることができる。 4)自分の関わりを振り返ることができる。 5)他者との関わりを観察することができる。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし						
評価方法		定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		授業内容について、授業プリントを読み復習しておくこと。						
オフィスアワー		研究室前に掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 自己紹介					演 習	藤 原
2	1)2)3)	コミュニケーションとは何か					演 習	藤 原
3	4)	コミュニケーションと印象					演 習	藤 原
4	4)	コミュニケーションと価値観					演 習	藤 原
5	4)	ライフヒストリー					演 習	藤 原
6	4)5)	ストレングス					演 習	藤 原
7	4)	会話と話し方 1					演 習	藤 原
8	4)	会話と話し方 2					演 習	藤 原
9	2)3)4) 5)	プレゼンテーション 1					演 習	藤 原
10	2)3)4) 5)	プレゼンテーション 2					演 習	藤 原
11	5)	傾聴 1					演 習	藤 原
12	5)	傾聴 2					演 習	藤 原
13	1)2)3) 4)5)	自己理解の振り返り					演 習	藤 原
14	1)2)3) 4)5)	他者理解の振り返り					演 習	藤 原
15	1)2)3) 4)5)	まとめ					演 習	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			随時紹介する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	QOLと人間の尊厳			授業コード	110181B401	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科・生命医科学科(1 年生)・動物生命薬科学科(全学年)			ナンバリング	9CC111B02	AL 科目	『○』
担当者	池脇 信直(生命医科) 山下 積徳(外部講師)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	必修(動物生命薬科学科は選択)	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	QOL と人間の尊厳では、他の人と共存して生きる人間のよりよい人生とは何かを、「QOL」と「人間の尊厳」の二つの観点から学ぶ。病気や障がいを持ちながら人生を全うすることの意味を知るとは、社会人としての基本的な態度を形成する上で重要である。 「QOL」では、健康・疾病・障がいの関連をもとに「より良い人生」とは何かを理解するために、言葉の持つ意味を中心に人生や生活における quality (質)を科学的・構造的に考えるための基礎知識を修得する(スポーツ:DP1,2,3,4 臨床心理:DP1,2,3,4,5,6 生命医科:DP1,2,3,4,5,6,7,8,9 動物生命:DP1,2,3,4,5)。 「人間の尊厳」とは、どのような概念であろうか？例えば、「尊厳死」とは本人の人生観に基づいて延命治療を行わないことである。この事例のように、医療・福祉に携わる私たちは、本人の人生観を自分の基準とは異なるものとして否定しないこと(人間の尊厳)が特に求められる。「人間の尊厳」では、人間の尊厳を守ることができる人となるために、他人の価値観を否定せず容認する考え方を修得する(スポーツ:DP1,2,3,4 臨床心理:DP1,2,3,4,5,6 生命医科:DP1,2,3,4,5,6,7,8,9 動物生命:DP1,2,3,4,5)。 授業は QOL と人間の尊厳に関するトピック(話題)をスモールグループディスカッション(SGD)方式で進める。また、本授業に関連したミニデモンストレーションを取り入れたアクティブラーニング(AL)を行う(スポーツ:CP2-1 臨床心理:CP2-1 生命医科:CP2-1 動物生命:CP2-1,2-4)。						
学修目標	1)教育や学びから人生や生活における「質」と「人間の尊厳」を理解し説明できる。 2)QOL の言葉の意味を理解し説明できる。 3)QOL と健康・疾病・障がいとの関連性を理解し説明できる。 4)QOL と公衆衛生活動・QOL 評価を説明できる。 5)人間の尊厳と社会との関連性を理解し説明できる。 6)人間の尊厳と自分の轍(わだち)・キャリア・人生・希望との関連性を理解し説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者である池脇信直は大学病院等で 10 年以上の実務経験に基づき、最新の情報と資料を提供しながら授業を行う。						
評価方法	受講態度・講義中に行うディスカッション・毎回の講義後のレポート提出によって評価する。すなわち、毎回の授業終了後に理解度テスト(レポート課題)を行うと共に、その結果(成果)をフィードバックする。SGD 及び AL 型授業において、学習への取り組み姿勢(理解度テストの実施、課題提出、積極的な質問や発言などの授業への参加)を 50%、学期末の定期試験を 50%として単位認定を行う。詳細な評価基準は、授業開始日に資料を配付して丁寧に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業は主に「QOL と人間の尊厳」に関わる課題を提供すると共に、その課題を SGD 及び AL 型(プレゼンテーション)授業を通して解決する形で進める。予習としては、提供される課題に対して、参考書等を用いて前もって調べる、いわゆる「反転授業」を行うことが大切である。復習としては、毎回の単元で獲得した情報を講義ノート、講義プリント・資料を丹念に読み返し、理解を深めることが重要である。毎回の授業の前後、週末および長期休暇期間を使って、計 29 時間の自己学習を行うこと。すなわち、1 回の授業につき 4 時間以上を目安に予習と復習を行うこと。 授業内容の順番は入れ替わることがある。また、教材が変更されることもあるので注意すること。						
オフィスアワー	毎週月曜～金曜日:12:20～13:00 副学長室						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	人間の尊厳と教育を考える ～建学の理念からの考察～(専務理事講和)				講義・SGD	池 脇
2	2)	QOL の意味について考える①				講義・SGD	池 脇
3	2)	QOL の意味について考える②				講義・SGD	池 脇
4	3)	「年を取るということ」から QOL を考える				講義・SGD	池脇・山下
5	3)	「ストレスとは」から QOL を考える				講義・SGD	池脇・山下
6	3)	健康・疾病・障がいから QOL を考える				講義・SGD	池 脇
7	4)	QOL と公衆衛生活動を考える				講義・SGD	池 脇
8	4)	QOL 評価を考える				講義・SGD	池 脇
9	5)	人間の尊厳と社会の仕組みを考える				講義・SGD	池 脇
10	5)	人間の尊厳と社会が求めていることを考える				講義・SGD	池 脇
11	6)	人間の尊厳と自分の轍(わだち)を考える				講義・SGD	池 脇
12	6)	人間の尊厳と人生を考える				講義・SGD	池 脇
13	6)	人間の尊厳と AI 時代を考える				講義・SGD	池 脇
14	6)	人間の尊厳と希望を考える				講義・SGD	池 脇
15	1)2)3) 4)5)6)	まとめ				講義・SGD	池 脇
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しません。					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	資料(プリント)を配付します。 参考書と参考文献を紹介します。

科目名		日向国地域論			授業コード	110125B401	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科(1 年)・臨床福祉学科			ナンバリング	9CC122B05	AL 科目	
担当者		横山 裕(福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		九州保健福祉大学はその設立より延岡市を始めとして宮崎県北部地域に密着した大学として発展してきた。本講義を通してこの発展をさらに良きものとし学生が地域とより深く交流するため(DP4、CP7)の推進力を身につけることを目標とする。						
学修目標		1)地域の歴史や文化について説明できる。 2)地域に期待される大学像を知る。 3)地域における男女の生き方について説明できる。 4)地域の災害の歴史と現在の危機管理について説明できる。 5)地域における一次産業とその文化について説明できる。 6)地域の産業とまちづくりについて説明できる。 7)地域の医療・保健と健康政策について説明できる。 8)地域の暮らしと福祉の歩みについて知る。 9)地域の観光と娯楽の変遷について知る。						
実務経験のある 教員による教育		行政、観光、まちづくりなど多方面にわたって地域における実務経験を有する講師を招聘している。						
評価方法		毎講義後に提出物(小レポート)を課し、その評価(100%)によって行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		外部講師にご講義いただくので礼を失することのない受講態度で臨むこと。						
オフィスアワー		月水金 12:30~13:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授 業 方 法	担 当
1	1)~8)	これまでの講義概要を理解し、地域について知ることの意義を理解する。					講 義	横 山
2	1)	宮崎県北地域の文化財及びその保護活動について理解し、歴史と文化との関係性を理解する。					講 義	横山・外部講師
3	2)	県北地域に芸術活動の現状を理解し、地域と世界の芸術交流の未来のあり方を理解する。					講 義	横山・外部講師
4	4)	県北地区の一次産業の歴史と現状を知り、それが育んできた豊かさを理解する。					講 義	横山・外部講師
5	5)	県北地域の第三次産業の現状を理解し、商業と街づくり・人づくりの関係について理解する。					講 義	横山・外部講師
6	6)	県北の自然の魅力を知り、自然を生かしたまちづくりの現状を理解する。					講 義	横山・外部講師
7	7)	県北地域の税金をとりまく現状を理解し、これからの正しい納税者のあり方を身に着ける。					講 義	横山・外部講師
8	7)	県北地域が経験した災害とそれに対処してきた歴史を知り、蓄積された先人の知恵と現在の対応を知る。					講 義	横山・外部講師
9	1)6)	県北地域の行政の現状を知り、様々な問題に対してどのような取り組みがなされているのか理解する。					講 義	横山・外部講師
10	1)	県北地域の教育について知り、地域の人材育成がどのように実践されているのかを理解する。					講 義	横山・外部講師
11	8)	県北地域における観光資源の発掘、観光地環境整備、地元プロモーション活動の現状を知り、県北地区の観光の可能性について理解する。					講 義	横山・外部講師
12	1)	宮崎県北地域に伝わる神話や今日にいたる様々な歴史について理解する。					講 義	横山・外部講師
13	3)	県北地域の自然環境と暮らしとの関係を知り、これからの環境保護活動について理解する。					講 義	横山・外部講師
14	1)	県北地域で行われている新能について知り、それが市民共同運動へと発展して行った経緯について理解する。					講 義	横山・外部講師
15	1)~8)	講義を通じて学んだことをふりかえり各自が地域について考えたことをまとめる。					講 義	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			必要に応じて別途指示する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			必要に応じて別途指示する。					

科目名	日向国地域体験学習			授業コード	110200A401	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科、薬学科、動物生命薬学科、生命医科学科、臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	9CC123B01	AL 科目	○
担当者	宮内 亜宜(薬・動物)大倉 正道 (薬・薬)西森 誠(生命・生命)藤 原 幸子(社福・スポーツ)中村 真 理子(臨心・臨心)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習及び活動
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシーNo.	農業やアウトドア体験を通して、食をはじめ地域の自然や魅力を体感するとともに農泊や住民との交流によって地域の暮らしや 伝統文化、そこで暮らす人々の想いに触れるという主体的かつ対話的な学びを通して心の豊かさの形成や学びに向かう力・人 間性等を滋養することを目的とする。						
学修目標	1)地域の歴史や文化について説明できる 2)地域の産業とまちづくりについて説明できる 3)地域の観光の変遷について説明できる 4)地域における一次産業について説明できる 5)受け入れ先の農家あるいはアウトドア施設の社会的役割や多世代の価値観を理解することができる 6)社会的マナーを理解し、約束を守ることができる 7)農業やアウトドア体験で得た学びを他者と共有することを通して学習を深化させることができる 8)報告書の意義を理解し、適切にわかりやすく正確に書くことができる 9)個々の体験から得たものを言語化し、報告会で発表することができる 10)フィールドワーク(体験、地域住民との交流)を通して感じたことや地域の課題をまとめ、これからどうすべきか、どうしなけれ ばならないかを自ら考え、提言することができる						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	演習及び学習への取り組み姿勢(レポート等の提出状況)の評価 30% 活動内容及び報告書の評価 70% 評価の基準は授業開始時に説明する						
準備学習・ 履修上の注意等	最初の 2 コマはカリキュラムの概要説明、フィールドワーク(体験、地域住民との交流)を行ううえでの心得や社会的マナーなど の指導、中山間地域の現状と課題などについて事前学習として座学で学ぶ。その後 10 月中に 1 泊 2 日の予定で農泊、アウトド ア体験を行う。事後研修としてフィールドワーク(体験、地域住民との交流)を通して感じたことや地域の課題とその解決策につい てまとめ、報告書・提言書として提出する。小人数のグループ単位で発表する。 以下、注意点です。 ・お金の負担が発生します。1 人当たり 5,000 円になる予定です。できるだけ 1 人あたりの負担金額がこれ以上にならないように 努めます。最終的な金額については、授業内でアナウンスします。 ・履修時は、後期の授業に割り振られていますが、7 月中に体験プログラムの希望調査を行います。したがって、後期の履修修 正期間での履修登録は例外処置となりますので、履修を希望する方は前期の間に履修登録をお願いします。						
オフィスアワー	時間割が確定後、各教員の研究室等に掲示する						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)5)	9 月:事前学習① オリエンテーション ①授業目標、意義、年間授業計画について理解する ②活動方法、手続きについて理解する ③授業評価、単位認定方法について理解する ④フィールドワークのルールとマナーについて理解する				講 義	担当教員
2	1)2)3) 4)5)	10 月:事前学習② 事前講義 ①参加するフィールドワークの種類・内容・そのフィールドワークで触れる課題について理解する ②フィールドワークに出発するまえの活動方法、手続きについて理解する				講 義	担当教員
45361	5)6)7)	10 月 フィールドワーク実践(10 月中に 1 泊 2 日でフィールドワークを実践する) 紹介するフィールドワークのなかから個々の興味・関心や専門分野に関連するフィールドワークに参加する				実 践	担当教員・教員講師
45608	8)9)10)	活動報告と評価 活動報告① フィールドワークを通じて学んだことについて振り返る ①フィールドワークの自己評価を行う ②フィールドワークから感じたことならびにそこから見えた地域の課題についてレポートを書く ③少人数のグループ単位でフィールドワークについて感じたことや課題等についてまとめる ④少人数のグループ単位でフィールドワークから見えた地域の課題についてまとめ、発表の準備を行う				演 習	担当教員
0	8)9)10)	活動報告と評価 活動報告② フィールドワークを通じて学んだことについて振り返る ①少人数のグループ単位でフィールドワークについて感じたことや課題等についてまとめる ②少人数のグループ単位でフィールドワークから見えた地域の課題についてまとめ、発表の準備を行う				演 習	担当教員
15	8)9)10)	活動報告と評価 活動報告③ グループ単位で作成したプレゼンテーション・ポスター等を用いて発表を行う				演 習	担当教員・教員講師

教科書(著者名)出版社名【ISBN】			なし	
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			適宜資料を配布する	

科目名	医療・福祉連携講座			授業コード	110201A401	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	9CC123B02	AL 科目	○
担当者	正野(福・ス)他	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾーNo.	本学の学則第 1 条には「本学は(中略)国際化社会にに向けて、介護・福祉、医療、薬学に関する理論及び社会の問題を教育研究し、応用能力を持つ人格を陶冶することを目的とする」とある。医療・福祉を標榜する学部学科の教育理念に資するために大学共通科目として本科目が設定されている。 本講では、学部・学科の教員がそれぞれの専門分野の視点から、医療・福祉・薬学などの専門領域の課題について学生の皆さんと考え、学生同士が意見・考えを共有しながら、それぞれの課題に取り組む姿勢を醸成することを目的とする。						
学修目標	1) 医療・福祉の定義を説明できる。 2) 社会福祉学部、薬学部、生命医科学部、臨床心理学部のそれぞれの視点から国内外の保健と福祉の関係を説明することができる。 3) 医療・福祉を必要とする対象者に係わる専門職の連携(チームケア)の重要性を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	各講義において、小テストやレポートを課します。						
準備学習・ 履修上の注意等	スケジュールを確認してください。						
オフィスアワー	各授業の前後						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2) 3)	ソーシャルワーカーの役割と連携のあり方を理解する 福祉				講 義	藤 原
2	1)2) 3)	東洋医学の考え方を基盤とした鍼灸治療と福祉との連携について 鍼灸				講 義	渡 邊
3	1)2) 3)	スポーツ・レクリエーション、救急救命士と医療・福祉とのかかわり スポ・救急救命				講 義	正野・西園
4	1)2) 3)	公認心理師の役割と連携のあり方を理解する 心理				講 義	松 山
5	1)2) 3)	言語聴覚士の役割と連携のあり方を理解する 言語				講 義	倉 澤
6	1)2) 3)	尿検査と医療・福祉				講 義	山 本
7	1)2) 3)	医動物と医療・福祉				講 義	西 森
8	1)2) 3)	白血病の診断と医療・福祉				講 義	宮 本
9	1)2) 3)	がん検診(がんの診断)と医療・福祉				講 義	二反田
10	1)2) 3)	医療・福祉における機器の役割				講 義	福 元
11	1)2) 3)	薬剤師の仕事について学ぶ 一般用医薬品について学ぶ				講義・演習	緒 方
12	1)2) 3)	症状をもとに一般用医薬品を選んでみる(鎮咳薬・去痰薬)				講義・演習	緒 方
13	1)2) 3)	症状をもとに一般用医薬品を選んでみる(アレルギー性鼻炎薬)				講義・演習	緒 方
14	1)2) 3)	薬剤師の仕事について(まとめ)				講 義	緒 方
15	1)2) 3)	「くすりと動物」 1.新医薬品の研究・開発と動物実験 2.動物実験と動物福祉について考えよう				講 義	明石・橋本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。必要に応じて資料を提供する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	ボランティア活動			授業コード	110151A401	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科・臨床福祉学科			ナンバリング	9CC123B03	AL 科目	○
担当者	藤原 幸子(福・スポ)児崎 友美 (福・スポ)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選択必修科目	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	ボランティア活動は、私たち一人ひとりが身近なことから社会的課題を考えて主体的に取り組む社会参加活動である。 1) ボランティア学修をとおして、地域社会に貢献する心を育み、身近な生活の課題や地域社会問題の理解と社会の参加を目指す。 スボ DP:(1)(2)(4)、薬学科 DP:(1)(4)、動物生命 DP:(1)(3)(5)、生命医科 DP:(1)(2)(3)(5)(6)(7)、心理 DP:(1)(2)(3)(4)(5)(6) 2) 実践活動報告書の評価や中間における自己評価、授業最終日にレポート課題を課す。 スボ DP:(4)、薬学科 DP:(1)(4)、動物生命 DP:(1)(2)、生命医科 DP:(2)(8)(9)、心理 DP:(1)(3)(5)(6)						
学修目標	1) ボランティア活動の意義と意味について理解し、説明することができる。 2) 受け入れ先の施設・団体の社会的な役割や多世代の価値観を理解することができる。 3) 個々の趣味・関心や専門分野に関連するボランティア活動に、主体的かつ計画的に参加することができる。 4) 対人援助の基礎として、身近な生活課題や地域社会問題を理解し、各領域における実践を念頭に置きながら活動することができる。 5) 社会的マナーを理解し、契約(約束)を守ることができる。 6) ボランティア体験を他者と共有するための演習等に積極的に参加し、他者の意見に耳を傾け、自分の思いを言語化することができる。 7) 受け入れ先の施設・団体の目的を理解し、大学生ボランティアとしての役割について考察し、ボランティア体験で得た学びを他者と共有することを通して学修を進化させることができる。 8) 報告書の意義を理解し、適切にわかりやすく正確に書くことができる。 9) 個々の体験から得たものを言語化し、報告会(演習等も含む)にて発表することができる。 10) 薬学教育モデル、コアカリキュラムとの対応ができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、ソーシャルワーク実践現場において 10 年以上の実務経験がある。この経験に基づき「ボランティア活動」の習得を目的とした授業と実践指導を行う。また、外部講師として、ボランティア要請団体、ボランティアコーディネーター等の実践者を招く予定。						
評価方法	・活動内容及び報告書を 50% ・授業後における小レポートと演習および学習への取り組み姿勢(レポート等の提出状況、授業態度)の評価を 20% ・ファイル管理(報告書のつづり方など)を 10% ・レポート試験を 20%						
準備学習・ 履修上の注意等	・受講者は、「ボランティア保険」に加入することを推奨する。 ・活動報告書の提出期限を厳守すること(原則、活動日より 8 日以内)。 ・3 回以上理由なく活動報告書の提出日を超過した場合、別途、ボランティア活動を課す。 ・ユニバーサルパスポートで、授業に関する連絡を流すため小まめに確認すること。 ・ボランティア活動に関しては要請書の内容を確認し、自身で必要な情報収集(場所、交通手段、準備物、活動内容に適した服装など)を行い、活動に備えること。 ・講義の際は、必ず活動ファイルを持参すること(報告書や配布物を綴じたもの)。						
オフィスアワー	時間割が確定後研究室に掲示する						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1) 2)3)6) 9)10)	【事前学習①】 1. オリエンテーション 授業概要、授業目標、授業形態、授業計画(スケジュール)、評価方法、単位認定方法について理解する。 2.グループワーク 学生同士の相互理解が進むようアイスブレイクを実施する。また、過去に経験したボランティア活動や自身が抱くボランティア観について共有する。 3.講義 「ボランティア活動の基本的性格」より、ボランティア活動の意義について理解する。				講義 演習	担当教員
2	1)2)3) 7)10)	【事前学習②】 1.講義・講話 延岡市内の主なボランティア団体(外部講師)による説明を通して、ボランティア活動の内容を具体的に理解する。 先輩によるボランティア活動の体験を聞き、ボランティア活動のイメージをする。 「ボランティア保険」に関する説明を受け、内容を理解し加入する。				講 義	担当教員
3	1)2)3) 8)10)	【事前学習③】 1.講義 学内におけるボランティア活動の参加プロセスについて理解する。 「ボランティア活動報告書」の意義と書き方について理解し、作成することができる。 ボランティア活動に向けての心得を理解する。				講 義	担当教員
4	3)4)5) 7)8)10))	【ボランティア活動実践】 4 月から 1 月までに、10 回以上のボランティア活動を実践する。 ユニバーサルパスポートで紹介するボランティアから、個々の興味・関心や専門分野に関連するボランティア活動に参加し、活動報告書に記録を書く。 活動日より 8 日以内に活動報告書をボランティアセンターに提出する。 活動報告書は教員の添削を受ける。				実 践	担当教員
5	3)4)5) 7)8)10))	【ボランティア活動実践】				実 践	担当教員

6	1)2)6) 7)9)10))	【ふり返り】 1.講話「市民ボランティアから見る大学生」 ボランティア団体の代表等から本学学生のボランティア参加状況について説明を受け、自身の言行動をふりかえる。 2.グループワーク 講師の講話を聴いて考えたこと、自身のボランティア活動状況(進捗状況)を共有する。 3.グループワーク(ボランティア活動報告書の書き方) グループ内で活動報告書の内容を共有し、課題を解決する。	講 義	担当教員
7	1)4)5) 6)7)9)	【振返り】 1.講話(先輩に聞く) ボランティア活動の意義と実践について 2.演習 前期の実践について評価し、レポートを書く	講話・演習	担当教員
8	3)4)5) 7)8)10))	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
9	3)4)5) 7)8)10))	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
10	3)4)5) 7)8)10))	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
11	3)4)5) 7)8)10))	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
12	3)4)5) 7)8)10))	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
13	1)6)7) 9)10)	【講義と評価】 1.活動報告 ボランティアの活動状況を学生が発表する。 2.演習(実践の評価) これまでの実践について振り返る ①これまでの活動の自己評価をする ②達成した学生から得たものは何か討議する。 ③活動を通して気づいた社会的課題、課題解決に向けた取組について討議する。	講義・演習	担当教員
14	3)4)5) 7)8)10))	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
15	1)6)7) 9)10)	【活動報告と最終評価】 1.試験(実践の最終評価) レポート試験を行い、ボランティア活動のまとめをする。	演習、試験	担当教員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名	インターンシップ			授業コード	110202A401	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部・薬学部・生命医科学部・臨床心理学部(1 年)			ナンバリング	9CC123B04	AL 科目	○
担当者	山本(生命医科学部)、三苫(生命医科学部)、竹ノ内(生命医科学部)、二反田(生命医科学部)、興柁(薬学部)、日高(薬学部)徳永(薬学部)、園田(薬学部)、前田(臨床心理学部)、戸高(臨床心理学部)、稲田(社会福祉学部)、清水(社会福祉学部)、渡邊(社会福祉学部)、中野(社会福祉学部)、正野(社会福祉学部)、神田(社会福祉学部)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・実習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	本学の学則第 1 条には「本学は(中略)国際化社会にに向けて、介護・福祉、医療、薬学に関する理論及び社会の問題を教育研究し、応用能力を持つ人格を陶冶することを目的とする」とある。医療・福祉を標榜する学部学科の教育理念に資するために大学共通科目として本科目が設定されている。 本講義では、医療・福祉・薬学などの専門領域の課題・チーム医療について考え、学生同士が意見・考えを共有しながら、課題に取り組む姿勢を醸成することを目的とする。						
学修目標	1) 医療・福祉の定義を説明できる。 2) 社会福祉学部、薬学部、生命医科学部、臨床心理学部のそれぞれの視点から保健と福祉の関係を説明することができる。 3) 医療・福祉を必要とする対象者に係わる専門職の連携(チームケア)の重要性を説明できる。 4) 医療・福祉を必要とする対象者に係わる専門職の果たすべき役割について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	医療機関や研究機関等での5年以上の実務経験に基づき、医療・福祉等専門職者としての新しい知見や解釈も取り入れた取り組みを行う。						
評価方法	本講義は、社会福祉＋心理、薬学、生命医科学の 3 つのパートからなる。それぞれのパートでレポートを課し、理解度合いをチェックする。 学習への取り組み姿勢(レポートの質、総合討論への参加、発表時の質問など)を 20%、レポート 80%で単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉＋心理(講義演習 5 コマ) 薬学科(講義演習 5 コマ): 薬剤師の業務から考えるチーム医療とは 生命医科学科(集中 5 コマ): 臨床検査技師の業務の一部を体験する。						
オフィスアワー	授業開始前開始後 担当教員が質問を受け付けます。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2) 3)4)	社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士の福祉専門職の役割と連携のあり方を理解する 福祉				講 義	稲田・清水
2	1)2) 3)4)	東洋医学の考え方を基盤とした鍼灸治療と福祉との連携について 鍼灸				講 義	渡邊・中野
3	1)2) 3)4)	スポーツ・レクリエーションと医療・福祉とのかかわり スポ				講 義	正野・神田
4	1)2) 3)4)	公認心理師の役割と連携のあり方を理解する 心理				講 義	前 田
5	1)2) 3)4)	言語聴覚士の役割と連携のあり方を理解する 言語				講 義	戸 高
6	2)～4)	直前学習: 薬剤師の仕事を学ぶ 薬剤師の仕事体験(1): 処方監査				講義・実習	興 柁
7	2)～4)	薬剤師の仕事体験(2): 液剤の調剤				講義・実習	日 高
8	2)～4)	薬剤師の仕事体験(3): バイタルサインの確認				講義・実習	徳永・園田
9	2)～4)	総合討論(1): 体験をふり返り、チーム医療における薬剤師の役割を理解する				S G D	日 高
10	2)～4)	総合討論(2): 体験をふり返り、チーム医療における薬剤師の役割を理解する				SGD・総合討論	日 高
0	1)2) 3)4)	1. 臨床検査とは何かを理解し、経験する。 1) 一次救命を経験する。 2) 心電図検査を経験する。 3) 肺機能検査を経験する。 4) 超音波検査を経験する。 5) ヒトの血液細胞を顕微鏡で観察する。 6) 各組織のがん細胞顕微鏡で観察する。				演習・総合討論	三 苫、日 高、神 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない。

科目名	哲学			授業コード	110120B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(1 年)			ナンバリング	1CC122B05	AL 科目	○
担当者	横山裕(臨床心理)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義と演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	どのような職業に就くにせよ、物事を分析的に理解し、論理的に判断を下すことは重要である。また、社会生活を営むに当たっては他者の存在を尊重し、その価値を理解できる感性も不可欠である。そのためには一人一人が物事を論理的、分析的に理解できる問題解決型の思考の技術を身につけておく必要がある(DP1,CP1)。本講義では物事を論理的に考えるためには具体的にどのように考えればいいのか、どのような手続き、手順を踏めばいいのかという哲学的思考法の基本を習得する。						
学修目標	1)哲学の定義、役割、歴史について概略的に説明できる。 2)哲学の社会的背景について説明できる。 3)日本人の意識構造について説明できる。 4)思考における心理的問題について説明できる。 5)哲学的思考法の基本形式について説明できる。 6)哲学的思考を実践的に運用展開できる。						
実務経験のある 教員による教育	非該当						
評価方法	筆記試験						
準備学習・ 履修上の注意等	事前学習として毎回「検討課題」を提示するので、1 時間をかけ必要な情報をリサーチし、それに基づき自分なりの考察を準備して次回の授業で発表報告する。 【重要】講義の仕方について第1回目の講義で説明するので、履修者は必ず第1回目の講義から出席すること。						
オフィスアワー	時間割確定後、通知する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	哲学という言葉の由来(西洋と日本)を理解する。				講 義	横 山
2	1)	哲学「史」の意味とそこから取り出せる現代的課題を理解する。				講 義	横 山
3	2)	哲学が生まれる社会的背景(社会構造)の意味を理解する(1)				講 義	横 山
4	2)	哲学が生まれる社会的背景(社会構造)の意味を理解する(2)				講 義	横 山
5	2)3)	日本人の思考様式について理解する。				講 義	横 山
6	1)2)3)	日本人の思考様式を支える日本語の歴史的特質について理解する。				講 義	横 山
7	4)	思考形式に関する心理的問題を理解する。				講 義	横 山
8	5)	「論理」と「価値」という哲学の基本重要概念を理解する。				講 義	横 山
9	5)	哲学的思考法に関する基本的理論を理解する(1)―デカルト的思考				講 義	横 山
10	5)	哲学的思考法に関する基本的理論を理解する(2)―帰納と演繹				講 義	横 山
11	5)	哲学的思考法に関する基本的理論を理解する(3)―意欲・能力・必要性				講 義	横 山
12	5)	哲学的思考法に関する基本的理論を理解する(4)―判断検証の 4 指標				講 義	横 山
13	4)5)6)	哲学的思考法を応用して自分の失敗体験を検証する(1)				演 習	横 山
14	4)5)6)	哲学的思考法を応用して自分の失敗体験を検証する(2)				演 習	横 山
15	1)2)3) 4)5)6)	講義の要点を整理し、学習内容を総括的に理解する。				講 義	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義の中で適宜、助言する。					

科目名	倫理学			授業コード	110147B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング	1CC222B02	AL 科目	○
担当者	横山裕(臨床心理)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	現在、各種職能団体にはそれぞれ独自の遵守すべき「倫理綱領」が設けられている。業務を介して他者の権利や自由を侵害することが厳しく禁じられているからである。侵害した場合、法的に罰せられることもある。そもそも、人間の行為の善悪はどのような基準で評価されるのか。「正しい行い」とはどのような行いのことなのか。倫理学はその「正しさ」の根拠を検証する学問である。本講義では倫理学の基本的内容を習得する。(DP1,3.CP1)						
学修目標	1)倫理学と自分の関係が説明できる。 2)倫理という言葉の意味(定義)と歴史が説明できる。 3)倫理学の三領域の構成について説明できる。 4)メタ倫理学について説明できる。 5)規範倫理学について説明できる。 6)応用倫理学について説明できる。 7)倫理学の思考法を実践的に応用できる。						
実務経験のある 教員による教育	非該当						
評価方法	筆記試験						
準備学習・ 履修上の注意等	【要注意】講義筆記ノートの作り方を第 1 回目の授業で説明するので、履修者は必ず第 1 回目から出席すること。						
オフィスアワー	時間割確定後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	倫理学という馴染みのない学問が実は自分の個人的問題とどのように関係するのか、その具体的接点を理解する。				講 義	横 山
2	2)	倫理という言葉の意味(定義)と歴史を理解する。				講 義	横 山
3	3)	倫理学という学問の三領域(メタ倫理学・規範倫理学・応用倫理学)の構成について理解する。				講 義	横 山
4	7)	倫理実践問題を考えてみる(1)―課題提示とディスカッション				演 習	横 山
5	7)	倫理実践問題を考えてみる(2)―意見発表と討議				演 習	横 山
6	5)	規範倫理学の意義を理解する(1)				講 義	横 山
7	5)	規範倫理学の意義を理解する(2)				講 義	横 山
8	4)	メタ倫理学の意義を理解する(1)				講 義	横 山
9	4)	メタ倫理学の意義を理解する(2)				講 義	横 山
10	6)	応用倫理学の意義を理解する(1)―構成				講 義	横 山
11	2)6)	応用倫理学の意義を理解する(2)―医療倫理綱領の歴史				講 義	横 山
12	4)5)6)	応用倫理学の意義を理解する(3)―生命倫理学(a)出生前診断				講 義	横 山
13	4)5)6)	応用倫理学の意義を理解する(3)―生命倫理学(b)終末期医療・脳死・臓器移植				講 義	横 山
14	1)2)3) 4)5)6) 7)	倫理実践問題を考えてみる(3)―(1)(2)の再検討の結果発表				演 習	横 山
15	1)2)3) 4)5)6)	講義で学んだことの要点を確認し、知識を整理する。				講 義	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて別途指示する。					

科目名	芸術			授業コード	110197B101	単位数 (時間数)	2 単位 (0)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科 (1 年)			ナンバリング	1CC122B06	AL 科目	
担当者	松原 由美(福・臨)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	芸術の特性や魅力について『音楽』と『芸術療法』を中心に学ぶ。また、芸術により学生自身が明るく潤いのある生活を送るための基本的事項を習得する。講義を基本としながら、音声や映像の鑑賞を交えて学習をすすめる。 学生自身がが芸術を楽しむことができるように、音楽を中心に作曲家ごとの時代の特徴を把握し、「ミュージカル」「映画音楽」「クラシック(オーケストラ・ピアノ・声楽・アンサンブル)」を理解し、好きなジャンルの探し方や親しむためのコツも紹介する。 現在、芸術がセラピーに多く活用されることも学ぶ。 セラピーの種類や特徴を理解し、「遊び」の気持ちを大切にしつつ、自分自身の癒し効果を「音楽療法」と「絵画療法」の現場の様子などから探し出す。						
学修目標	1) 芸術の特性について理解できる。 2) 音楽史について近派を中心に理解できる。 3) 感性と論理的思考について理解できる。 4) 音楽の種類を理解できる 5) BGM の意味するものについて理解できる。 6) 芸術の治療的効果を理解し、その実際を知る。						
実務経験のある 教員による教育	授業者は、児童生徒に学校において教員として音楽教育を 20 年行った経験がある。また、現在は高齢者や障がい者の生涯的学習、障がい児、被虐待児、病院において終末期患者にも芸術的介入を実践をしている。さらに、オペラや合唱の音楽活動など、芸術に関して多くの景観を持つ。 その中で、学生には、さまざまなジャンルの芸術(主に音楽)の楽しみ方を理解することで、普段の生活を潤いのあるものとし、さらには卒業後福祉分野や医療現場において仕事に本講義が生かせるように指導する。						
評価方法	・毎回出席し、授業内小レポートを仕上げる。 ・レポート2本は期限内に課題を提出すること。(1 月の第1授業日に提出する)						
準備学習・ 履修上の注意等	・普段よりたくさんの芸術作品を鑑賞して芸術の楽しさを知ること。 ・自ら鑑賞授業で紹介できるようにしておいてほしい。						
オフィスアワー	授業日に実施します						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
0	1)	オリエンテーション ・授業の進め方 ・評価方法 (レポートの書き方) 芸術とは何かを理解する 自分の現在までの芸術の経験を確認する				講 義	松原由美
0	2)3) 4)5)	ミュージカルについて理解する ・ミュージカルとは何か ・ミュージカルの歴史 ・日本のミュージカルについて知る ミュージカルの実際(サウンドオブミュージックの映画)を鑑賞しながら理解する。				講 義	松原由美
0	2)3) 4)5)	「ミュージカル」の実際に関して理解する。 「サウンドオブミュージック」を観ながらミュージカルの特徴を学ぶ。				講 義	松原由美
0	2)3) 4)5)	・ミュージカルの実際に関して理解する。 ・映画音楽について理解する。 映画音楽の歴史をアカデミーショー音楽部門の曲を中心に理解する 映画音楽の実際[グレイティスト・ショーマン]を中心に劇場ミュージカルの中の舞踊について理解する)				講 義	松原由美
0	2)3) 4)5)	映画音楽の実際を鑑賞しながら理解する 「グレイティストショーマン」の中で音楽と会話・踊りについて理解する				講 義	松原由美
0	2)3) 4)5)	アンサンブルについて学ぶ 声楽におけるアンサンブルと合唱とは違いは何かを 「讃美歌によるアンサンブル」を「天使にラブソング」の映像より学ぶ				講 義	松原由美
0	2)3) 4)5)	ダンスと音楽について理解する (映像を中心に)				講 義	松原由美
0	2)3) 4)5)	オーケストラに関して理解すの歴史について学ぶ オーケストラの中の楽器や並び方を学ぶ プロとアマチュアオーケストラについて オーケストラと指揮者 オーケストラの演奏をやその実態を理解する「オーケストラの少女」を中心に学ぶ				講 義	松原由美
0	2)3) 4)5)	舞台で活躍するソリストについて理解する ・左手のピアニスト 館野泉の演奏 ・宮崎県内出身者の藤木大地のカウンターテナーの演奏を聴きながら理解する				講 義	松原由美
0	2)3) 4)5)	音楽の歴史(古典派の音楽家)を中世・バロック・古典・ロマン・近現代それぞれの時代の特徴を理解する モーツァルトの曲と生涯について理解する(アマデウスの映像を中心に)				講 義	松原由美
0	2)3) 4)5)	・モーツァルトの作品を生涯と理解する「アマデウス」の映像から オペラ・レクイエム・交響曲等について理解する				講 義	松原由美
0	2)3) 4)5)	ベートベン作品を理解する。 (延岡市が毎年実施している『のべおか第九』を中心に理解する)				講 義	松原由美
0	5)6)	治療としての芸術について理解する (芸術療法とはなにか、種類、効果、実施している場所) 芸術療法の医学的効果の実際を DVD から学ぶ				講義・演習	松原由美

0	2)3) 4)5)	芸術療法を理解する。 (絵画療法等を中心に実施する) ・クレヨン・クーピーを活用して絵画療法を理解する	講義・演習	松原由美
0	1)2)3) 4)5)6)	芸術療法を体験して療法について理解する 自閉症の画家の映像 病院での治療の中の芸術	講 義	松原由美
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		授業のたびに授業者が作成した資料を配布する		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて参考書・おすすめの音楽やDVD など紹介する。		

科目名	日本国憲法			授業コード	110127B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科 (2 年)			ナンバリング	1CC221B03	AL 科目	
担当者	山崎 知佳 (非常勤講師)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシーNo.	1947 年に施行され、60 年以上も存在した憲法が、2014 年 7 月の安倍内閣による閣議決定で憲法解釈が変更された。そして、国民投票法も改正され、憲法改正が問われる今日に主体的に生きるために、日本社会法秩序の基礎法である憲法の本質、国の統治構造について理解を深める。また、憲法は国家に関することのみを定めた法ではない。人はみなかけがえのない大切な存在であること、実社会では話し合いで民主的に決められていくこと、多数決でも奪ってはならない大切なものがあるといった人間社会の根本にあるものを定める法でもある。個人の尊厳を大切にしながら社会で生きるために、人権の種類や意味を理解し、現実起きた事件を紐解きながら、憲法がもつ法的思考を修得する。						
学修目標	1)憲法の意味、体系的な位置づけについて理解を深め、日本国憲法の基本原則について説明できる。 2)前文及び 11 章 103 条からなる日本国憲法の体系について理解し、個々の条文の意味を簡潔に説明できる。 3)日本国憲法の制定過程について理解を深め、天皇の地位、9 条等明治憲法との相違を説明できる。 4)条文が示す人権の意味について理解を深め、考えられる。 5)人権をめぐる諸問題について理解を深め、人権にどのような制約・衝突が生じ、問題が起こるのかについて思考できる。 6)三権分立による我が国の統治機構について三権それぞれの権能について簡潔に説明できる。 7)憲法保障及び憲法改正手続について理解を深め、そのしくみについて説明できる。 8)判例を理解し、具体的事例に当てはめ、法的思考を養うことができる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	毎回の授業中の振り返りと授業中の SGD により形成的評価を行う。毎回の学習態度(態度・提出物等)を総合的に勘案し(50%)、学期末の単位認定試験(50%)にて、総括的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業の範囲の部分についての法律条文については、必ず読んでおくこと。授業の出席を前提とし、必ず復習し自分の思考を整理しておくこと。憲法の条文については、毎授業持参すること。 大学固有の自己思考を作る機会として、積極的に自らの知識・情報を生かし、また吸収していく場としているかの自らの授業態度も重要である。 SGD では、間違ってもよいので、自分の考えを述べる。疑問があれば SGD 間にグループ単位での質問を推奨する。 また、授業に関する疑問は、直接質問し解消することを推奨する。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	憲法とは何か …法体系、法の支配、近代立憲政治の原理				講 義	山 崎
2	1)3)	日本国憲法の制定過程 …日本国憲法の構成原理・明治憲法との相違				講 義	山 崎
3	1)2)4)	前文・戦争の放棄、天皇の地位と権能 …背景にある思想とその問題点、第9条の諸解釈とその問題点				講 義	山 崎
4	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(1) …人権を支える基本原理、人権の限界				講 義	山 崎
5	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(2) …精神的自由				講 義	山 崎
6	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(3) …精神的自由権				講 義	山 崎
7	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(4) …経済的自由、人身の自由				講 義	山 崎
8	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(5) …参政権、義務				講義・SGD	山 崎
9	2)4)5) 8)	基本的人権の制約原理、教育に関係する権利、義務				講義・SGD	山 崎
10	2)6)	選挙権、被選挙権 国 会 …権力分立の意味及び国会の権能				講 義	山 崎
11	2)6)	統治 …行政権の概念・議院内閣制・内閣の権能、地方自治				講 義	山 崎
12	2)6)	司 法 …司法権の意義と裁判所の権能				講義・SGD	山 崎
13	2)4)5< br />8)	国民の権利及び義務(6) …社会権、受益権				講義・SGD	山 崎
14	2)4)5) 8)	今日の人権 …新しい人権と包括的基本権				講義・SGD	山 崎
15	2)7)	これからの憲法の在り方 …憲法保障・憲法改正手続				講義・SGD	山 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。※随時プリントを配布					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		憲法 第七版 (芦部 信喜・高橋 和之 補訂) 岩波書店 【978-4-00-022781-0】 有斐閣双書 憲法入門 第四版 補訂版 (伊藤 正巳) 有斐閣 【978-4-641-11263-6】					

科目名	経済学	授業コード	110059B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2 年)	ナンバリング	1CC221B04	AL 科目	○
担当者	金谷 義弘(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	この世の中で人は生きます。この世の中とは人間社会です。福祉に携わろうと、スポーツ振興に関わろうと、臨床心理を活かして多様な人々の自己実現の支援にかかわろうと、私たちの社会的活動には「企業経営」と「経済的基盤」があるのです。あなたの社会活動に資源配分が必要だという自明のことは、(1)一般化すると実社会での活動は全て「経済的基盤」を持っているということを意味します。また、(2)この経済基盤は、静止状態にあるのではなく、時々の技術革新によって常に変動・刷新されているのです。あなたも近々その一員になる社会経済は、それぞれの社会領域の下で、この技術基盤の絶えざる変動と社会経済の展開にさらされて変異し続けているのです。したがって、(3)その変異の影響を受ける中、就職したあななの専門性を如何に活かし高めるかという課題を強いられていくものなのです。 そこで本授業「経済学」の任務は、以下の四点です。 (1)あなたの専門性を活かすために不可欠の、社会経済現象を理解する「実践的な眼」を育てること、 (2)現代だけに眼を奪われるのではなくて、歴史的な経過の中において「今！」を捉える感覚、そこから「これからど～なるッ！」と把握する「歴史的で現代的な位置感覚」を養うこと、 (3)COVID-19 感染拡大、エネルギー資源や食料などの世界的争奪戦、デジタルトランスフォーメーション(DX)などが、世界と日本に如何なる影響を与えているかを「理解しよう！必要なことだッ！」という心を育てること、 (4)経済・経営、法と制度、行政などが、あなたの専門の医療や福祉などあらゆる社会領域に影響し、時にあなたを苛むことすらあると把握し、身を守りながら自立・自律する課題があること、などを理解することです。 本講義は、そうした四つの観点に立って授業を行います。そのために、皆さんが活動する福祉やスポーツなどを包み込む、現代経済の仕組みを数学抜きで、どちらかというと物語的に「大きく太く」捉えて分かりやすく進めます。 僕の息子の一人は、この大学を出て頑張っています。息子を育てて下さった大学に僕は感謝していて、手を抜くことなく頑張つて授業を行います。15 回休まず受講して下さい。どうか宜しく！ このように広く社会経済というものをとらえると、時代を生きる「大局観」があなたの中に生まれること、それが本講義の目標です。ゆっくりと、しかし着実に学んでいきましょう。				
学修目標	★本講義の目的★ 資格というもの、それを持つもののみに「一定の活動」を独占させるものです。だから資格は重要です。しかし、資格だけで生きていけるものではありません。資格は資格を「活用できる幅広い視野に支えられ」てこそ生きるものです。この能力の幅というものを大学は教える理想を持っているのです。そのためには社会を見渡す社会経済的な視野が不可欠なのです。そこで、本講義の到達目標は以下の諸点です。 1)経済現象を理解できる見方・感覚を身につける、時代の変化に「敏感」になること(社会人になっても新聞を読み続けることもここに入ります)、 2)経済現象を歴史的な変化・発展から理解できること、 3)技術革新と経済発展の観点から、現実を見ることができると、 4)医療や福祉などの経済が、自動車や情報通信などの産業諸分野とどのような特性を持つかを、この授業を越えて大学生活全体で体得・把握できること、 5)もって、社会で仕事や課題(それは日々皆さんの専門性を越えた総合力を要求することになります)を分析し、仲間と力を合わせて戦略立てる目標を持つこと、 6)最後に、これからも変化・発展する、日本における社会・経済・政策と制度変化に応じて必要な専門的情報を探し出せること。 ★目標達成の方略—Chat を併用した遠隔授業の環境で何ができるか？—★ この目標達成のために、 1)[講義]あなたのこれまでの振り返り未来を展望するために、多数の具体例を挙げつつ経済の原理・歴史・現状を口述する。 2)[毎回の 500 字レポート]自分自身の専門性の関心を取り入れて書いてもらい、アップした Chat を通じて、サツとでも良いから、必ず他の受講生の発言も読み切る。 3)金谷はこれに対して、高等数学など使わず分かりやすいコメントを行なう。これを必ず読んで、次のレポートや最終レポートに活かして行って下さい。授業が終わる頃には、あなたは一定の表現力と更なる改良のヒントをつかむでしょう。 4)他の受講生や教員に見て貰いたい Web 記事があれば、Chat に簡単なコメントとともに「URL」を貼り付けて下さい。 5)「レポートを出しっぱなし、コメントを読みっぱなし」にしないで、忙しいだろうが、質問や、他の受講生のレポートへのコメントなどをすれば、重要な加点要素として取り扱う。 6)顔は見えません。発問について恥ずかしいと思わないで素朴な疑問(だいたい素朴は疑問はとても皆のために役立ちます！)を出す、ちょっと前向きな気持ちを最後まで持って下さい。				
実務経験のある 教員による教育	道具を使って加工を行う手工業の生産から、機械による生産への移行を、金谷が生まれた京都の伝統産業の一つ「京扇子」のメーカの一員として8年間に担った(金谷竹材工芸、京都市山科区の伝統工芸団地)。内容的には、(1)機械の設計・開発、(2)旋盤・電気溶接による部品製造、(3)やがて工場レイアウトの見直しや従業員の安全・衛生管理を行ったり、(4)経理と資金繰りである。高校生であるため、父親の名前であったが、設計・開発で工場内で有効だった新技術(扇子の要[かなめ]における「カシメ」工程の機械化で、既製品のカシメ機の				
評価方法	A 本授業は遠隔授業の集中講義です。 B 資料配付に基づいて授業をライブで行います。受講生の皆さんの反応を把握しにくいので Chat を併用します。Chat には毎回の簡潔なレポートをアップして貰います。 C Chat にアップされたレポートは、受講生全員が閲覧できます。本授業では、★受講生のこの点への了解を前提に受講を認めます★。 D 授業担当者の金谷は、Chat 上で提出されたそれぞれのレポートにコメントを加えます。 E Chat へ何回アクセスしたかをシステムで確認します。動画視聴履歴と Chat でのレポート提出、教師のコメント閲読を確認して、平常点の成績評価を行います。 E 成績評価は、平常点として「5 点満点/回 ? 15 回 = 75 点」に加えて、各回のレポートから読み取れる、受講生の授業理解、説明の質、受講姿勢、疑問点を出す力などを勘案し、これに最終レポートを評価し、合計 25 点を加えて、100 点満点で採点する。 F ★注意★令和3・4年度にこの方式で運用した結果、分かったことは、各回に配転が分散されるため2～3回休むと即、10～15 点の減点になり、その他の回が全部5点満点としても、相対的に大きな減点になってしまいます。油断すると秀が優、優が良、良				

	が可になります。注意して下さい。また、やむを得ない事情で休んだ時は、黙っているより金谷に連絡をくれた方が良いと思います。 G.遠隔授業なので、「休まず」毎回受講することが「原則」です。特段の注意を払って下さいね！ H.用意する Chat には、全員が入れる「グループチャット」と、金谷とあなたの一対一で話ができる「ダイレクトチャット」があります。使い分けて下さいね。
準備学習・履修上の注意等	(1) 経済学を学ぶことは、数学を学ぶこと、統計学を学ぶことは同じではありません。本授業では数学を使わず、むしろ現代社会に生きることを予見し、自分をどのように育むかを構想することに効果があるように授業を行います。皆さんの専門教育と異なり、自分の技能を現代社会の中に「位置づける」力を涵養することが大事なのです。 (2)生まれてから今まで皆さんの親はいくらもお金を使ったか、就活にいくらお金がかかるか、結婚や子育てにいくらいかかるのか、これも経済学の対象です。その延長上に、皆さんの職場の現況を感知する理解力・広い視野の獲得が問題になるのです。 (3)資料は、十分読むに値するように書かれているので、Chat にアップロードされたら予習し、授業後のレポート作成時に復習に使って下さい。 (4)第一回目に、★どのようなすれば信頼に値するデータを獲得できるか？！★について、説明するので、各回の Chat にアップする 500 字レポート作成に使ってもらいたい。 (5)適切な時期に、最終試験の問題を複数選択できるように「事前公開」する。 (6)上掲(3)の配布資料は、溜まっていった「膨大になる」ので、毎回きっちりファイリングして見直し、授業全体を見通した復習をされたい。 ★経済という社会の「威力」はすべての日本人・世界の人々の行動に深く影響をしてくるものです。 → 「ついでにやる教養科目」などと思わず、実社会に出て生き、働く上での大事な知見だとの目的意識を持って臨んで下さい！ (1)遠隔授業・集中講義という二つの制約がありますが、ICT の有効利用で、AL の実施に務めます。 (2)毎回レポートでは、500 字標準(多くの場合は AL 的性格によって字数制限を越えたことが毎年起こっています)の短いものにします。 (3)その受講生にしか書けないような「質問を提出」してもらいます。 (4)この質問は、初回に指示する期限内に、受講生全員が読める「Chat」にアップしてもらいます。Chat に入れる手続きも指示します。 (5)非常勤講師の金谷は、オフィスアワーがありません。でも受講生と私の一対一の「ダイレクトチャット」などでど〜ぞ！ (6)質問を出す「500 字レポート」でも質問を「言語化する」のが難しいと感じる場合がありますが、 → 受講生の皆さん、だんだん上手くなってくれたら良いと思います。 → 金谷のコメントを受けて、再質問は「OK！」です。これは内容が良ければ、加点要素になります。 (6)こうした「応答的環境」を提供していくと、一方的な遠隔授業ではなく、意外に良い深さができます。 → 私は 68 才ですが、もう既に 36 年ロードバイク(ドロップハンドルの長距離競争自転車)に乗っています。宮崎大学では自転車部の自分もガンガン走る「顧問」でした。 → また、13 才から 55 年フルート吹き続けています。Berlin ではストリートミュージシャンやってみました。 → こうしたことも経済の話題につながります。休憩室と称して、経済に関係なさそうに見えるものも、金谷の側でアップする場合があります。遊んでいるのではなく、その意図を予測して下さいね。
オフィスアワー	非常勤なので、 (1)第 1 回に開始される Chat を使って問い合わせされたい。じいさんなので、多様な人生相談にも応じます。留学やドイツ人研究者との共同研究でベルリンに居た頃は、クラシック系も OK で、ストリートミュージシャンもやっていました。1時間1ギグ 10,000 円以上になりました(笑)。なので、何故、ウィナーワルツがウィーン(オーストラリア首都)で盛んになったかの社会経済背景など、オーストラリア産業革命との関係で話すなどなんでもします(笑)。今はボサノバも、ジャズも、自分より高齢の方のために戦後歌謡曲も

授業計画				
回数	学修目標 No.	授 業 内 容	授業方法	担当
1	6), 1)	【第1回「ChatGPT より役立つ社会経済情報の取得と Web 検索の実践講座 ― よりましな情報はどこにある？！―】 A.これは就活などに直結するノウハウ講座です。当面は、本授業に、でも特定の業界や社会経済の情報収集は、就活や就職先での勤務での活用こそ力を発揮します。 B.はっきり言って、大学入学時点で調査してみて、皆さんの検索能力は、極めて「偶然的で Google や Yahoo, 最新では ChatGPT などの『システムに災いされる』という困難な状態です！ C.ではどうするか検索エンジンにキーワードを入れ	講義(対面・遠隔)	金 谷
2	1), 5), 6)	【第2回「生活費の経済学 ― 大学入学まででいくらかかった？これからは？ ―】 ・親が支払った大学入学前の費用総額、大学在学中、就活費用、結婚・出産、住宅購入、保険(生損保医療)、教育費、相続、介護等々。聞いてびっくり、知ってびっくり。 ・そしてだんだんと親への経済的な依存の重さを知り、就職と社会的自立について深く考えるようになれます。	講義(対面・遠隔)	金 谷
3	1), 2), 3), 6)	【第3回「貨幣と ICT・Web 化の経済学 ― プリペイド・デビット・クレジットカードから ―】 A.まずは市場経済の基本をなすお金(貨幣)の話から始めますが、千円札と Waon や nanaco, クレジットカード、デビットカードなど、身近な現金とキャッシュレスの話から。 ・授業の準備:千円札、あれば5千円札、1万円札と、あればルーペを用意して下さい。 B.ポイント付与を使って、こちらでは nanaco, こちらは Waon, こちらは Suica と、各社囲い込みの競争を展開している。その仕組みを簡単に説明します	講義(対面・遠隔)	金 谷
4	1), 2), 3), 6)	【第4回「商品と貨幣の経済学 ― その 1.商品とは何か？ ―】 ・最初に「商品とは何か？」商品の使用価値と、日々変動する価格の中心にある価値とがどのようなものか？ ・「需要と供給」で商品の価格が決まると高校では教えられる。でも、皆さん！店頭で「値切った」ことがありますか？値引き交渉、やったこと無い人、大変度胸が要りますよ！ ・次に「貨幣とは何か？」その諸機能。第二回目はこの辺で時間切れです。	講義(対面・遠隔)	金 谷
5	1), 2), 3), 6),	【第5回「商品と貨幣の経済学 ― その 2. 古今の貨幣、そして何故、歴史的に貨幣が生まれたか？ ―】 ・欧州の Euro 以前の各国の紙幣とコインを中心に、各国の「お金」を見ましょう。 ・日本銀行券という世界的な優れものの紙幣の「偽造防止システム」を「発見」しましょう。 ・貨幣の機能には、価値尺度、流通手段、支払手段、蓄蔵貨幣、世界貨幣などの諸機能があり、その複合体として貨幣を把握してね！	講義(対面・遠隔)	金 谷

6	3), 1), 2), 6)	【第6回「産業革命と資本主義経済確立の経済学 － その 1. イギリスの産業革命 －】 ・「道具」と「機械」はどう違う？！ ・19 世紀イギリスでの機械化の技術革新と「綿紡績・綿織物産業」。 ・人力・畜力・風力を越えた「動力革命」としての蒸気機関，その燃料としての「石炭」。 ・綿紡績と綿織物という軽工業をコアにしたイギリスの産業革命。 ・資本家が生まれてきて，アイルランドなどから来た人々も含めて多数の労働者を雇う。 ・動力革命は，工場で蒸気機関を使って，船にのっけて蒸気船，レールの上の車にのっけて蒸気機関		金 谷
7	2), 3), 1), 4), 6)	【第7回「産業革命と資本主義経済確立の経済学 － その 2. イギリスから世界へ広がる産業革命 －】 ・イギリスに対抗して，産業革命は 19 世紀に欧州・アメリカ・日本に広がる！ ・生み出されたのは，機械制大工業になった帝国と，それ以外が彼らの植民地だ。 ・この経済発展の影響を受けて，経済以外の様々な国民生活が変化したよ。巨大都市の形成，婦人の勤労者の増加，植民地のモノカルチャ化，国境・大陸を越える移民，鉄道・定期航路・運河・電信(＝通信)のネットワークが世界を覆う！ → 生み出されたのは自力で活動する資本		金 谷
8	2), 3), 1), 4), 6)	【第8回「20 世紀大量生産の時代と産業循環の経済学 － アメリカ 1920 年代と大恐慌への転変 －】 ・産業革命は 19 世紀を通じて，イギリスから大陸欧州へ，アメリカへ，世界へ。そして「植民地アメリカ」は「先進資本主義国アメリカ」に変貌して 20 世紀を迎えた！ ・H.フォードと T.エジソンの時代，道路建設，水より安いガソリン，電化，そして住宅建設。 ・「投資が投資を呼ぶ」経済発展と大量生産・大衆消費社会・バブル経済の時代。 ・そして，1920 年代アメリカの経済発展の反動としての大恐慌。		金 谷
9	2), 1), 3), 4), 6)	【第9回「流通業の経済学 － 20 世紀初頭の Sears と現代の Amazon の対比 －】 ・カタログ通販によって流通革命を起こした Sears，工業デザイナーを自ら育成して定期的にカタログ販売し，郵便で注文し，発送工場から送付する。 → 何故，シアーズさんは成功したか？ ・対して，現代のeコマースの Amazon。更に，AWS (Amazon Web Service) の Amazon。 ・両者を対比して，何が変わった？何が変わらない？！		金 谷
10	1), 2), 3), 4), 5), 6)	【第 10 回「どのようにして利潤が生まれるのか！の理論経済学】 ・「投資」－「生産」－「投資＋利潤」のサイクルから成り立つ資本主義経済。 ・賃金は，衣食住・修養・次世代育成の諸経費からなる。 ・賃金労働者を雇って，機械設備や原材料を与え生産させる経済システム，これが利潤を生む。それが資本主義経済だ。		金 谷
11	3), 1), 2), 6)	【第 11 回「市場における優位を巡る競争の理論経済学】 ・同じ商品を作っても，各企業毎の生産性やかかる費用は異なる。そこに競争優位を巡る企業の利潤追求の競争が成立する。 ・資本主義経済では，何故，企業が常に技術革新に駆り立てられるのか？！ → 市場の競争を越えて，機械や工場，輸送手段などがどんどんの巨大化する理由を考える。産業革命などの理由が，何故今 AI 化や自動車の EV 化・自動運転化などが大騒ぎになるのかの理由が見えるようになります。 ・それが年々歳歳繰り返される！企業はどんどん大きくなる。経済全体では		金 谷
12	1), 2), 3), 4), 6)	【第 12 回「ChatGPT を生み出した OpenAI とそこに資金を提供した Microsoft は何を意図しているのか？！ － インターネット革命に次ぐ大変動！生成 AI が如何に社会を変えるか？！ －】 ・ニューラルネットワークとは何か？AI とは何か？ ・もう使った人はいますか？OpenAI 社の「ChatGPT」か？Microsoft 社の「Copilot」か？Google の「Gemini」か？ → 日本語や英語で AI に聞くと，信じられないほど綺麗な日本語や英語で(自然言語で)瞬時に答えが返ってくる！ → 日本語		金 谷
13	1), 2), 3), 4), 6)	【第 13 回「経済発展により経営学が生まれる経済学 － 何故，20 世紀初頭にアメリカ経営学は生まれたか？ －】 ・機械制大工業の工場は巨大化する。 ・指揮命令は誰がする？経営者が親方に任せる時代は限界を迎える。 ・その中でどんな経営＝マネジメントが生まれたか？限定してアメリカ経営学の初期を追跡する。		金 谷
14	1), 2), 3), 4), 5), 6)	【第 14 回「『道の駅』の経済学 － 地域のサプライチェーンの補強と経済浮揚 －】 ・「道の駅」は農産物販売所とどう違うの？何か基準があるの？誰が運営しているの？ ・特産物が並べられて売ればいいね。でも，やばい物産が並んだりしない？ ・地域にどのくらいの効果があるの？ ？この回の 500 字レポートは，受講生自身の出身地やなじみのある「道の駅」の紹介レポートになります。		金 谷
15	4), 1), 2), 3), 4), 5), 6)	【第 15 回「医療の経済学 －医療保険・薬価・アクセス－】 ・医療機関の基本的特徴＝専門家集団，非営利，。。。。 ・国民皆保険とは何か？ ・技術革新，ICT・AI 化の波は，非営利の医療(や福祉，更にはスポーツにも及ぶ！)。 ・そうした変化の中で専門家集団を支える「資格」は如何に変化するか？ ？この回などは，授業開講期間における大きな社会経済上の出来事などに対応して，ものづくりの経済学，プラットフォームの経済学などに変更する場合があります。		金 谷
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		(1) 特になし。 (2) Window に開かれたファイルは，なかなかインパクトが弱く，500 字レポート執筆のために授業時間中にひらめいた「メモ」は，レジメから切り離されてしまいますね。 (3) 配布資料を印刷して授業にのぞみ，書き込みをするようにしてほしい。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		参考文献や Web サイトについては，逐次，授業中に配布資料にて指摘して行く。 配布資料は毎回「読み返せる資料」として多数配布するので，毎回，ファイリングを確りしないと，最終試験に当たる「最終レポート」執筆時に混乱します。ご注意ください！ 参考書とは言いにくいけれども，読んで欲しいのは，以下の三つかな？！ (1)新聞， (2)経済系週刊誌(普及して今はコンビニにも置いてある場合がある『週刊 東洋経済』，『週刊 ダイヤモンド』，『週刊 エコノミスト』)。 → 毎週，これらには「特集」が組まれているので，見つけたら立ち読		

科目名	生物学			授業コード	110101B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1年)			ナンバリング	1CC122B07	AL 科目	『○』
担当者	池脇 信直(生命医科)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	生物学では、生命体(生物体)の概要を科学的に理解し、生物学的なものの考え方を習得することを第一目標とする(スポーツ: DP3, CP1-1 臨床心理: DP-5, CP1-1)。そのためには個々の知識のみを獲得するのではなく、授業全体を通して内容の繋がりが や生物学的意義、またそれぞれの知見が得られてきた過程や背景などを理解することが必要である。所属学科の分野にのみ留 まらず、スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科の学生として、偏りなく内容を理解し知識を習得することが大切である。授業は 毎回の確認小テスト及びその答え合わせの スモールグループディスカッション (SGD)で進める(スポーツ: CP2-1 臨床心理: CP2-1)。また、簡単な生物学のデモンストレーションを取り入れた アクティブラーニング (AL)を行う(スポーツ: CP2-1 臨床心 理: CP2-1)。						
学修目標	1)生命体を持つ性質について説明できる。 2)生命体を構成する核酸、タンパク質、脂質、炭水化物について説明できる。 3)細胞小器官(オルガネラ)、細胞骨格の構造と機能について説明できる。 4)遺伝現象を担う核酸(DNA と RNA)、DNA の複製機序、体細胞分裂、減数分裂について説明できる。 5)生命活動を担うエネルギーの獲得、ATP が果たす役割について説明できる。 6)免疫機能、脳の機能、ストレスの機序、老化現象、筋肉の機能について説明できる。 7)遺伝子組換え、クローン技術、再生医療について説明できる。 8)生態系の構成、生命体を取り巻く環境について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当の池脇信直は臨床現場(大学病院等)や医療系企業で 10 年以上の実務経験に基づき、最新の生物学に関する資料 とデータを提供しながら授業を行う。						
評価方法	毎回の授業終了後に確認小テストを行うと共に、その結果(成果)をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(理解度テストの実 施、課題提出、積極的な質問や発言などの授業への参加)を 20%、学期末の定期試験を 80%として単位認定を行う。詳細な評価 基準は、授業開始日に資料を配付して丁寧に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業は主にプロジェクターで資料および説明図を提示し、その内容を解説する形で進める。人の健康や幸せを支える生命科学 系学問である生物学を基盤に「生物全体の幸せ」を考えていくことが求められる。授業の内容に関して予習項目と内容を指示す るので、それに従って予習してくること。毎回の授業後は、授業中に自分でとったノート、配付されたプリントを使って授業内容を レポートにまとめて復習すること。1回の授業につき4時間を目安に予習と復習を行うこと。受験で生物学を選択しなかった人は、 基礎知識を早期に習得するよう努力すること。受験で生物学を選択した人は、既得の知識に生物学の世界を再構築するよう努 めること。						
オフィスアワー	毎週月曜～金曜日:12:20～13:00 副学長室						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【生命体の概念】 生命体を持つ性質				講義・SGD	池 脇
2	2)	【生命現象を支える分子1】 生命体を構成する核酸、タンパク質				講義・SGD	池 脇
3	2)	【生命現象を支える分子2】 生命体を構成する糖質、脂質				講義・SGD	池 脇
4	3)	【細胞の構造と機能】 細胞小器官(オルガネラ)、細胞骨格				講義・SGD	池 脇
5	4)	【核酸と染色体】 遺伝現象を担う核酸(DNA および RNA)と染色体				講義・SGD	池 脇
6	4)	【DNA の複製と細胞分裂】 DNA 複製の機序、体細胞分裂、減数分裂				講義・SGD	池 脇
7	5)	【エネルギーと代謝】 生命活動を担うエネルギーの獲得と ATP				講義・SGD	池 脇
8	6)	【生命体の機能1】 免疫に関わる物質、免疫担当細胞				講義・SGD	池 脇
9	6)	【生命体の機能2】 免疫に関わる病気(免疫疾患)				講義・SGD	池 脇
10	6)	【生命体の機能3】 神経系の構造、脳の働き				講義・SGD	池 脇
11	6)	【生命体の機能4】 ホルモンの作用、ストレスの機序				講義・SGD	池 脇
12	6)	【生命体の機能5】 老化関連物質、老化現象、抗酸化作用、水素と生命体				講義・SGD	池 脇
13	6)	【生命体の機能6】 運動に関わる物質、筋肉(筋肉エンジン)				講義・SGD	池 脇
14	7)	【バイオテクノロジー】 遺伝子組換え、クローン技術、DNA 鑑定、再生医療				講義・SGD	池 脇
15	8)	【生命体と環境】 生態系の構成、生命体を取り巻く環境				講義・SGD	池 脇
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しません。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		資料(プリント)を配付します。					

科目名	生理学			授業コード	110105B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	1CC121B04	AL 科目	該当なし
担当者	西園与之(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	【授業の概要】救急救命士として、現場活動を行う上で必要とされる医学的知識は最終的には膨大なものとなり、知識の更新も必要となるが、まずは基本となる人体の構造および機能にかかわる基礎的知識を説明し、人体構造学・人体機能学の学びを定着する。 【一般目標】生理学では身体のはたらきを日常生活に結び付けた知識として修得することを目指す。また、疾病の病因と成り立ち(病態発生)、経過及び変化とそれに対する処置の必要性や効果をはじめ、メカニズムに対する理解を深める。						
学修目標	1) 生命維持に必要な人体の大まかな構造(特に骨格、臓器)を理解し、説明できる。 2) 生命維持に必要な人体の大まかな機能(特に呼吸、循環、体液、代謝)を理解し、説明できる。 3) 生命を活用する働き(運動、感覚、神経)を理解し、説明できる。 4) 疾患の成り立ちと回復の過程(出生以降の成長・発達過程とその異常および老化)について理解し、概説できる。 5) 疾患の成り立ちと回復の過程(特に循環障害、代謝障害、炎症と感染)について理解し、概説できる。 6) 人の死について理解し、臨床死、心臓死、脳死の用語の定義を正確に説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、医療機関での看護師および消防職の救急救命士としての実務経験に基づき、授業を行う。						
評価方法	授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、質問・発言などの授業への参加態度)の評価を 20%及び学期末の単位認定試験を 80%として、総合的に単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	シラバスに示す講義内容に該当する箇所を確認し、1週間当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。不明な事項については調べ、基礎知識を身に付けた上で講義に臨むこと。解決できないものについては、積極的に質問して解決し、内容を理解すること。						
オフィスアワー	曜日・時間については、決定後に研究室入り口に掲示します。確認してください。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	ガイダンス:生理学の位置づけ等について説明する。 人体の構造と機能、人体を構成する要素について確認する。				講 義	西園与之
2	1)3)	神経系:神経の構造と機能(興奮と伝導)、末梢神経系・中枢神経系の区分(脊髄、中脳・橋・延髄、間脳、小脳)及び大脳皮質と大脳基底核の機能について説明する。				講 義	西園与之
3	1)2)	呼吸器系:呼吸、呼吸器の換気・ガス交換・呼吸運動の調節について説明する。				講 義	西園与之
4	1)2)3)	循環器系:心臓の構造と機能、血圧について説明する。 リンパ系、各臓器間の血液循環および血しょうおよび血中の細胞成分の働きについて説明する。				講 義	西園与之
5	1)3)	運動機能:収縮のしくみ、筋収縮のエネルギー、随意運動・不随意運動について説明する。				講 義	西園与之
6	1)2)3)	消化と吸収、体温調整とエネルギー代謝:エネルギーを得るための消化器官の構造とその機能について説明する。 栄養素の代謝によるエネルギー産生と体温調整の仕組みについて説明する。				講 義	西園与之
7	1)2)	腎臓の構造と機能:尿の生成と腎臓の働き、排尿の仕組みについて説明する。 内分泌系:ホルモンの役割とその作用機序と調節について説明する。				講 義	西園与之
8	4)	疾患と細胞障害について説明する。				講 義	西園与之
9	4)5)	炎症と感染、損傷と治癒について説明する。				講 義	西園与之
10	4)5)	代謝、循環障害について説明する。				講 義	西園与之
11	2)5)	呼吸不全について説明する。				講 義	西園与之
12	2)5)	心不全について説明する。				講 義	西園与之
13	2)5)	ショックについて説明する。				講 義	西園与之
14	3)5)	重症脳障害について説明する。				講 義	西園与之
15	2)6)	心停止および人の死について説明する。				講 義	西園与之
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		ぬりえで学ぶヒトのからだ(佐藤達夫 監修、安田康晴 著)ぱーそん書房【978-4-907095-02-4】 改訂第 10 版 救急救命士標準テキスト(救急救命士標準テキスト編集委員会)へるす出版【978-4-89269-997-9】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		生理学ワークブック (目崎登 監修、西川彰 著)医歯薬出版株式会社 【4-263-24279-7 C3047】 なるほど なっとく解剖生理学 (多久和典子・多久和陽 著)南山堂 人体の構造と機能第 4 版 (エレイン N.マリーブ 著)医学書院					

科目名	教職コンピュータ基礎			授業コード	110203B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	1CC221B05	AL 科目	○
担当者	井藤 英俊(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	学校教育現場において必要とされる PC の基礎的スキルならびに統計学の基礎的知識を学修し、PC を用いたデータの集計と 分析の基本的な手法を習得する。						
学修目標	1)質的変数と量的変数が区別できる。 2)4 つの尺度を区別できる。 3)データから PC を用いた度数分布表とグラフを作成できる。 4)3 つの代表値の区別ができ、PC を用いた簡単なデータの計算ができる。 5)標準偏差の意味を理解し、PC を用いた簡単なデータの標準偏差の計算ができる 6)標準得点の意味を理解し、PC を用いた簡単なデータの標準得点の計算ができる。 7)PC を用いて、2 変数(量的変数)の散布図を作成し、相関係数を求め、2 変数の関係を記述できる 8)PC を用いて、2 変数(質的変数)クロス表を作成し、 χ^2 検定を用いて 2 変数の関係を記述できる 9)正規分布の概念を理解し、標本から母集団を推測できる						
実務経験のある 教員による教育	PC の基礎的なスキルおよび統計学の基礎的知識は、学校教育現場において研究修養していくために欠かすことができないス キルの一つである。 科目担当者の実践経験に基づいた授業を一部展開する。						
評価方法	授業の際のレポート(20%)ならびに学期末試験(80%)で評価する						
準備学習・ 履修上の注意等	各自 1 時間程度の授業前後の学修をすること。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【質的変数と量的変数】身近な数値から、質的変数と量的変数を理解する				講 義	井 藤
2	2)	【4 つの尺度】身近な数値から 4 つの尺度水準の違いを理解する				講 義	井 藤
3	3)	【データの図表化】PC を用いて、簡単なデータから度数分布表とヒストグラムを作成する				講義・演習	井 藤
4	4)	【代表値】3つの代表値について理解し、PC を用いてデータから代表値を計算する				講義・演習	井 藤
5	5)	【標準偏差 1】分散と標準偏差について理解する				講 義	井 藤
6	5)	【標準偏差 2】PC を用いて、簡単なデータから分散と標準偏差の計算をする				講義・演習	井 藤
7	6)	【標準得点 1】標準得点について理解する				講 義	井 藤
8	6)	【標準得点 2】PC を用いて、簡単なデータからz得点と偏差値の計算をする				講義・演習	井 藤
9	7)	【2 変数の関係(相関)1】PC を用いて、簡単なデータから散布図を作成する				講義・演習	井 藤
10	7)	【2 変数の関係(相関)2】PC を用いて、簡単なデータから相関係数を求め、その関係を記述する				講義・演習	井 藤
11	8)	【2 変数の関係(連関)1】 PC を用いて、簡単なデータからクロス集計表を作成する				講義・演習	井 藤
12	8)	【2 変数の関係(連関)2】PC を用いて、簡単なデータから χ^2 検定を用いた分析をおこない、2 変数の関係を記述 する				講義・演習	井 藤
13	9)	【母集団と標本 1】母集団と標本について理解する				講 義	井 藤
14	9)	【母集団と標本 2】正規分布について理解する				講 義	井 藤
15	3)4)5) 6)7)8)	【データの分析】PC を用いて、簡単なデータから集計、分析する				演 習	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし					

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ			授業コード	110097A102	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(1 年)			ナンバリング	1CC121B05	AL 科目	○
担当者	山本 順之(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	生涯スポーツ実習では、下記の 5 項目の習得および実践を目指す。 1. 運動・スポーツにおける基礎的知識・技術を習得する。 2. 運動・スポーツ場面や日常生活場面で役立つ健康維持および体力向上に関する実践力を習得する。 3. 運動・スポーツを通して、自己理解と他者理解を深め、多様な価値観を理解する。 4. 運動・スポーツを通じた課題や他者との意見交換に際し、積極的に参加する。 5. 安全に留意して、公正、協力、責任、参画に対する意欲を持ち運動・スポーツを実践する。						
学修目標	1. 個人競技(バドミントン)における基礎的知識・技術を習得できる。 2. 団体競技(バレー・バスケット・ソフトボール)における基礎的知識・技術を習得できる。 3. 個人競技(バドミントン)において、他者へ配慮をしつつ、安全で公正な態度でゲームに参加できる。 4. 団体競技(バレー・バスケット・ソフトボール)において、チームの課題解決に対して積極的に意見を交換し、安全で公正な態 度でゲームに参加できる。 5. 積極的に、道具の準備を行い、審判などの役割をはたすことができる。						
実務経験のある 教員による教育	運動・スポーツを合理的に実践する能力は、大学生活だけでなく、生涯にわたって健康で豊かな生活を送るために必要な能力で ある。また、運動・スポーツ場面は、コミュニケーション能力の向上や公正、協力、責任など様々な態度や意欲の育成にもつな がる。科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。						
評価方法	授業への取り組みを客観的に評価する。 具体的には、スポーツ技術が高く、協調性をもって積極的に参加している場合には高い評価となる。高いスポーツ技術があっ ても、消極的な授業参加の場合は評価が低くなる。						
準備学習・ 履修上の注意等	※体育館シューズ、グラウンドシューズの二足を必ず用意すること 運動着(ジャージ)で受講すること、アクセサリ(金具)は身につけないで受講すること スポーツの実践を中心とした授業を展開するため、普段から身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること。						
オフィスアワー	月曜日から水曜日:12:30～13:00 研究室						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
0	2)4)5)	オリエンテーション からだほぐし運動				実 習	山 本
0	2)4)5)	ソフトボール				実 習	山 本
0	2)4)5)	ソフトボール				実 習	山 本
0	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
0	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
0	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
0	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
0	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
0	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
0	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
0	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
0	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
0	2)4)5)	ソフトボール				実 習	山 本
0	2)4)5)	ソフトボール				実 習	山 本
0	1)3)5)	健康づくりを目的としたスポーツ(ウォーキング・ジョギング)				実 習	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	生涯スポーツ実習Ⅱ			授業コード	110098A102	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(1 年)			ナンバリング	1CC122B08	AL 科目	○
担当者	山本 順之(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	生涯スポーツ実習では、下記の 5 項目の習得および実践を目指す。 1. 運動・スポーツにおける基礎的知識・技術を習得する。 2. 運動・スポーツ場面や日常生活場面で役立つ健康維持および体力向上に関する実践力を習得する。 3. 運動・スポーツを通して、自己理解と他者理解を深め、多様な価値観を理解する。 4. 運動・スポーツを通じた課題や他者との意見交換に際し、積極的に参加する。 5. 安全に留意して、公正、協力、責任、参画に対する意欲を持ち運動・スポーツを実践する。						
学修目標	1. 個人競技(バドミントン)における基礎的知識・技術を習得できる。 2. 団体競技(バレー・バスケット・ソフトボール)における基礎的知識・技術を習得できる。 3. 個人競技(バドミントン)において、他者へ配慮をしつつ、安全で公正な態度でゲームに参加できる。 4. 団体競技(バレー・バスケット・ソフトボール)において、チームの課題解決に対して積極的に意見を交換し、安全で公正な態 度でゲームに参加できる。 5. 積極的に、道具の準備を行い、審判などの役割をはたすことができる。						
実務経験のある 教員による教育							
評価方法	授業への取り組みを客観的に評価する。 具体的には、スポーツ技術が高く、協調性をもって積極的に参加している場合には高い評価となる。高いスポーツ技術があっ ても、消極的な授業参加の場合は評価が低くなる。						
準備学習・ 履修上の注意等	※体育館シューズ、グラウンドシューズの二足を必ず用意すること 運動着(ジャージ)で受講すること、アクセサリ(金具)は身につけないで受講すること スポーツの実践を中心とした授業を展開するため、普段から身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること。						
オフィスアワー	月曜日から水曜日:12:30～13:00 研究室						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	2)4)5)	からだほぐし運動 ドッチボール				実 習	山 本
2	2)4)5)	ソフトバレーボール				実 習	山 本
3	2)4)5)	ソフトバレーボール				実 習	山 本
4	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
5	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
6	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
7	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
8	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
9	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
10	1)3)5)	ウォーキング&ジョギング				実 習	山 本
11	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
12	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
13	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
14	2)4)5)	ニュー・スポーツ インディアカ				実 習	山 本
15	1)～5)	総括:スポーツを継続して実践する				実 習	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	健康科学論			授業コード	110063B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	1CC222B03	AL 科目	○
担当者	松田 智香子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	健康について様々な観点から学び、現在の健康のみならず、生涯にわたって健康でより良い生活を送るために必要な基礎的知識の修得を目指す。						
学修目標	1)「健康」捉え方について理解し、健康の概念について説明できる。 2)現代社会における健康問題について列挙し、健康づくり施策の変遷を説明できる。 3)食生活について正しい知識を説明できる。 4)過剰な栄養摂取から起こる生活習慣病について、その発生機序を説明できる。 5)メタボリックシンドロームについて正しい理解をし、その診断基準を列挙できる。 6)生活習慣病の知識を身に付け、予防するための生活習慣を説明できる。 7)運動不足がもたらす問題点と身体活動の必要性について説明できる。 8)健康生活と睡眠について説明できる。 9)嗜好品の身体に及ぼす影響と健康との関係について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	学習内容の確認テストを随時行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、質問・発言、SGD 等の授業への参加状況)を(5%)、期末試験(95%)とする。 原則、再試験は行わない。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業時に配布した資料やノートをまとめ事後学習を行う。また毎授業後に次回授業内容を提示するので事前準備を行うなど1コマ当たり4 時間を目安に予習・復習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割が決定次第、掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	「健康」の概念				講義、SGD	松 田
2	2)	健康づくり施策の変遷				講義、SGD	松 田
3	3)	栄養摂取の基礎知識				講義、SGD	松 田
4	3)	健康の保持増進のための食生活①				講義、SGD	松 田
5	3)	健康の保持増進のため食生活②				講義、SGD	松 田
6	3)4)	健康と食の嗜好品				講義、SGD	松 田
7	5)	生活習慣病とメタボリックシンドロームの基礎知識				講義、SGD	松 田
8	6)	生活習慣病の予防と改善①(動脈硬化、高血圧症)				講義、SGD	松 田
9	6)	生活習慣病の予防と改善②(Ⅱ型糖尿病)				講義、SGD	松 田
10	6)	生活習慣病の予防と改善③(心疾患、脳血管疾患)				講義、SGD	松 田
11	7)	運動不足がもたらす問題点				講義、SGD	松 田
12	7)	生活習慣病の予防のための身体活動				講義、SGD	松 田
13	8)	健康と睡眠				講義、SGD	松 田
14	9)	健康生活と嗜好品①(タバコ)				講義、SGD	松 田
15	9)	健康生活と嗜好品②(アルコール)				講義、SGD	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	基礎演習Ⅰ			授業コード	110049A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(1 年)			ナンバリング	1CC111B01	AL 科目	○
担当者	学科所属教員	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】大学での学びへのスムーズな移行という目標の下、大学での学びを開始するにあたって必要な内容を提供するとともに、有意義な大学生活を送れるように支援する。学科のそれぞれのコースで行われている学びについて、学科所属教員がその概要を教授し、学生の幅広い学びに繋げると同時に、専門教育への導入を図る。大学での勉学の土台となる総合的国語力を伸ばすために e-ラーニングによるホームワークを課し、インターネットを利用して学ぶ学習形態の経験(遠隔授業への導入も含む)と自宅学習の習慣を身につける。 【一般目標(GIO)】大学生活の理解とスポーツ健康福祉学科での学びの概略を理解し説明することができる。文章作法の基礎を身に付け、それを用いて文章読解、作成に活かすことができる。 【対応するポリシーNo.】DP3、CP1(1)、CP3(1)						
学修目標	1)高校と大学での生活の違いを理解し、自律的な学生生活を送ることができる 2)高校の授業と大学講義との違いを認識し、講義ノートを作成することができる 3)文章作成の基本的なルールを認識し、文章作成に応用できる						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	・受講態度とホームワークの達成度(50%)＋毎回の小テスト(50%) ・毎回の講義での小テスト(またはレポート)の合計点数を 50 点満点に換算して評価する ・本学の全学科で共通の問題を用いた「国語統一テスト(古文、漢文は含まない)」の結果を 10 点換算し加点する ・3 分の 2 以上の出席かつホームワーク課題(e ラーニング)の完遂を単位認定の条件とする						
準備学習・ 履修上の注意等	・原則月に 1 回のチューター時間を設ける ・1 回の授業につき 1 時間を目安にホームワーク課題を行うこと ・年3回の全学国語統一試験を受験すること						
オフィスアワー	各担当教員に確認						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	チューター時間				個別指導	チューター
2	1)3)	特別講座① 大学生の消費生活トラブル				講 義	外部講師
3	1)2)	特別講座② 大学における学びとルール				講 義	学部長
4	1)	チューター時間				個別指導	チューター
5	1)2)	特別講座③ マナー・コミュニケーション講座 1				演習・SGD	外部講師
6	1)2)	特別講座④ マナー・コミュニケーション講座 2				演習・SGD	外部講師
7	3)	特別講座⑤e-ラーニングを用いた学習法(すらら説明会)				演 習	三宮・神田
8	1)	チューター時間				個別指導	チューター
9	2)3)	学科教員講座①				演習・SGD	学科教員
10	2)3)	学科教員講座②				演習・SGD	学科教員
11	2)3)	学科教員講座③				演習・SGD	学科教員
12	1)	チューター時間				個別指導	チューター
13	1)2)	特別講座⑥ 食事と栄養講座				演習・SGD	外部講師
14	2)3)	学科教員講座④				演習・SGD	学科教員
15	2)3)	学科教員講座⑤				演習・SGD	学科教員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		大学共通のテキストとして、世界思想社出版部編『大学生 学びのハンドブック』[5 訂版]、世界思想社【ISBN978-4-7907-1749-2】を適宜使用する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	基礎演習Ⅱ			授業コード	110050A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(1 年)			ナンバリング	1CC112B01	AL 科目	○
担当者	学科所属教員	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】大学での学びへのスムーズな移行という目標の下、大学での学びを開始するにあたって必要な内容を提供するとともに、有意義な大学生活を送れるように支援する。学科のそれぞれのコースで行われている学びについて、学科所属教員がその概要を教授し、学生の幅広い学びに繋げると同時に、専門教育への導入を図る。大学での勉学の土台となる総合的国語力を伸ばすために e-ラーニングによるホームワークを課し、インターネットを利用して学ぶ学習形態の経験(遠隔授業への導入も含む)と自宅学習の習慣を身につける。 【一般目標(GIO)】大学生活の理解とスポーツ健康福祉学科での学びの概略を理解し説明することができる。文章作法の基礎を身に付け、それを用いて文章読解、作成に活かすことができる。 【対応するポリシーNo.】DP3、CP1(1)、CP3(1)						
学修目標	1)高校と大学での生活の違いを理解し、自律的な学生生活を送ることができる 2)高校の授業と大学講義との違いを認識し、講義ノートを作成することができる 3)文章作成の基本的なルールを認識し、文章作成に応用できる						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	・受講態度とホームワークの達成度(50%)＋毎回の小テスト(50%) ・毎回の講義での小テスト(またはレポート)の合計点数を 50 点満点に換算して評価する ・本学の全学科で共通の問題を用いた「国語統一テスト(古文、漢文は含まない)」の結果を 10 点換算し加点する ・3 分の 2 以上の出席かつホームワーク課題(e ラーニング)の完遂を単位認定の条件とする						
準備学習・ 履修上の注意等	・原則月に 1 回のチューター時間を設ける ・1 回の授業につき 1 時間を目安にホームワーク課題を行うこと ・年3回の全学国語統一試験を受験すること						
オフィスアワー	各担当教員に確認						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	チューター時間				個別指導	チューター
2	1)2)	特別講座① くすりの基礎知識				講 義	外部講師
3	2)3)	学科教員講座①				演習・SGD	学科教員
4	2)3)	学科教員講座②				演習・SGD	学科教員
5	2)3)	学科教員講座③				演習・SGD	学科教員
6	2)3)	学科教員講座④				演習・SGD	学科教員
7	1)	チューター時間				個別指導	チューター
8	2)3)	学科教員講座⑤				演習・SGD	学科教員
9	2)3)	学科教員講座⑥				演習・SGD	学科教員
10	2)3)	学科教員講座⑦				演習・SGD	学科教員
11	1)	チューター時間				個別指導	チューター
12	2)3)	学科教員講座⑧				演習・SGD	学科教員
13	2)3)	卒業研究とは(卒業研究発表会聴講)				講 義	学科教員
14	1)	チューター時間				個別指導	チューター
15	2)3)	卒業研究とは(卒業研究発表会聴講)				講 義	学科教員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		大学共通のテキストとして、世界思想社出版部編『大学生 学びのハンドブック』[5 訂版]、世界思想社【ISBN978-4-7907-1749-2】を適宜使用する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	社会学			授業コード	121481B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・動物生命薬科学科・臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	13C121P01	AL 科目	○
担当者	山本 順之(福・ス)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	社会福祉分野で職業活動に従事し、福祉社会の創造的な担い手となるうえで必要となる、社会および人びとの社会生活を理解し、これらの事象を洞察する能力を習得する。グループワークを活用し、身近な現象をもとに理論を説明する。						
学修目標	1) 人びとの生活営為を社会のありように結びつけて説明できる。 2) 個人と社会の関係を説明できる。 3) 社会集団と組織の構造と機能のについて説明できる。 4) 家族を社会事象として説明できる。 5) 社会問題や逸脱問題を分析し、説明できる。 6) 社会学における主な社会理論を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	学期末試験および授業への取組み姿勢を総合的に評価する。 定期試験(60%)課題(レポート・小テスト等)(20%) 講義内における総合的姿勢(20%)						
準備学習・ 履修上の注意等	毎回の授業終了後に、教科書および授業時に配布する課題を 3 時間(授業全体で 45 時間)以上熟読し、復習すること。						
オフィスアワー	月曜日2限、火曜日2限						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	社会システムの概念及び社会と文化を理解する。				講 義	山 本
2	1)	社会階級と社会階層の概念及び現代社会の階層構造を理解する。				講 義	山 本
3	1)	社会変動の概念及び近代化、産業化、都市化、情報化について理解する。				講 義	山 本
4	1)	現代社会の人口構造及び少子高齢化の現状その他の人口問題を理解する。				講 義	山 本
5	1)	地域、コミュニティの概念及び都市化と現代の地域社会の諸問題を理解するを理解する。				講 義	山 本
6	2)	社会的行為と社会的相互行為について理解する。				講 義	山 本
7	2)	社会的地位と役割の概念を理解する。				講 義	山 本
8	3)	社会集団の概念及び社会集団の諸類型を理解する①。				講 義	山 本
9	3)	社会集団の概念及び社会集団の諸類型を理解する②。				講 義	山 本
10	3)	組織と官僚制について理解する。				講 義	山 本
11	4)	家族の概念及び家族の類型と形態、機能等について理解する。				講 義	山 本
12	5)	社会病理と逸脱について理解する。				講 義	山 本
13	5)	社会的逸脱に関する諸理論について理解する。				講 義	山 本
14	6)	A.コト、H.スペンサー、M.ウェーバー、K.マルクス等の社会理論を理解する。				講 義	山 本
15	6)	E.ディルケーム、G.ジンメル、テンニース等の社会理論を理解する。				講 義	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		社会学と社会システム (一般社団法人ソーシャルワーク教育学校連盟 編集) 中央法規出版【978-4-8058-8233-7】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		授業で参考文献等を提示する。					

科目名	心理学概論			授業コード	121537B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)、臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	13C121P02	AL 科目	
担当者	内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	スポーツ健康福祉学科:選択、臨床心理学科:必修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	健常児(者)の基本的な心理学的知見を身につけた心理や福祉などの専門家となるために(スポーツ健康福祉学科:DP(3)、臨床心理学科:DP(3))、感覚と知覚、学習、記憶、性格、動機づけ、対人行動、情動についての基本事項を修得する(スポーツ健康福祉学科:CP1(2)、臨床心理学科:CP1(2))。						
学修目標	1) 感覚、知覚に関する基本的な現象と理論を説明できる。 2) 学習に関する基本的な現象と理論を説明できる。 3) 記憶に関する基本的な現象と理論を説明できる。 4) 性格に関する理論を説明できる。 5) 動機づけに関する理論を説明できる。 6) 対人行動に関する基本的な現象と理論を説明できる。 7) 情動に関する理論を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし。						
評価方法	学期末の単位認定試験 100%(毎回の授業後に配布する確認シートから出題)。						
準備学習・ 履修上の注意等	1 コマ当たり 4 時間を目安に予習(次の回のレジュメを読むこと)・復習(その日習ったレジュメの内容を復習すること)をおこなうこと。						
オフィスアワー	毎週火～金曜日 12:15～13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	感覚、知覚(1)				講 義	内 藤
2	1)	感覚、知覚(2)				講 義	内 藤
3	2)	学習(1)				講 義	内 藤
4	2)	学習(2)				講 義	内 藤
5	3)	記憶(1)				講 義	内 藤
6	3)	記憶(2)				講 義	内 藤
7	3)	記憶(3)				講 義	内 藤
8	4)	性格(1)				講 義	内 藤
9	4)	性格(2)				講 義	内 藤
10	5)	動機づけ(1)				講 義	内 藤
11	5)	動機づけ(2)				講 義	内 藤
12	6)	対人行動(1)				講 義	内 藤
13	6)	対人行動(2)				講 義	内 藤
14	7)	情動(1)				講 義	内 藤
15	7)	情動(2)				講 義	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。講義レジュメを配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜紹介する。					

科目名		人体の構造と機能及び疾病			授業コード	121483B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	13C122P01	AL 科目	
担当者		鬼塚 信(社・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.		「福祉」は「人」を対象としています。将来、福祉の専門職として心身に障害がある人を支援するため、さらには、医療専門職等と連携ができる福祉専門職になるために必要な医学的基礎知識を修得する。						
学修目標		1)ライフステージにおける心身の変化と健康課題:人の成長・発達と加齢、老化について説明できる。 2)人体の各器官の構造と機能について説明できる。 3)疾病の概要について説明できる。 4)障害の概要について説明できる。 5)リハビリテーションの概要について説明できる。 6)国際機能分類の基本的考え方と概要について説明できる。 7)健康の捉え方について説明できる。健康の概念と疾病の概念 8)公衆衛生の概要について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が5年以上ある。その経験に基づき、福祉専門職として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法		期末試験もしくは、レポート、出席、授業態度等により評価する。 詳細な評価基準は、授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等		介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士を目指す学生は必修である。 プリント配布は最小限であり、必要時(解剖図等)は、パワーポイントで表示し説明する。マイノート作成もしくは、テキストに書き込むこと。 授業後は、講義内容(テキスト)を振り返り、復習しておくこと。次回の授業内容のテキストを読み予習しておくこと。 テキストを主に使用するので必ず購入しておくこと。						
オフィスアワー		時間割確定後に研究室前に掲示します。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 人の成長・発達と老化					講 義	鬼 塚
2	2)	身体構造と心身の機能①					講 義	鬼 塚
3	2)	身体構造と心身の機能②					講 義	鬼 塚
4	3)	疾病の概要① 生活習慣病、悪性腫瘍、脳血管疾患、心疾患, 高血圧					講 義	鬼 塚
5	3)	疾病の概要② 糖尿病と内分泌疾患、呼吸器疾患, 消化器疾患					講 義	鬼 塚
6	3)	疾病の概要③ 血液疾患と膠原病、腎臓疾患, 泌尿器疾患, 骨・関節疾患					講 義	鬼 塚
7	3)	疾病の概要④ 目・耳の疾患, 感染症、神経疾患と難病、先天性疾患他					講 義	鬼 塚
8	3)	前半の総括					講 義	鬼 塚
9	4)	障害の概要① 視覚障害、聴覚障害					講 義	鬼 塚
10	4)	障害の概要② 平衡感覚障害 肢体不自由 内部障害					講 義	鬼 塚
11	4)	障害の概要③ 認知症					講 義	鬼 塚
12	4)	障害の概要④ 知的障害、発達障害					講 義	鬼 塚
13	4)	障害の概要⑤ 高次脳機能障害、精神障害					講 義	鬼 塚
14	5)6)	リハビリテーションの概要 ICF の基本的考え方と概要					講 義	鬼 塚
15	7)	健康の捉え方					講 義	鬼 塚
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			医学概論 (日本ソーシャルワーク教育学校連盟) 中央法規					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			人体の構造と機能及び疾病(中央法規) 必要時プリントを配布する。					

科目名		児童・家庭福祉			授業コード	121657B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		社会福祉学部 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科 1 年、臨床心理 学部 臨床心理学科 1 年			ナンバリング	13C121P03	AL 科目	○
担当者		藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		子ども家庭福祉の意義と理念を理解し、児童福祉法をはじめとした関係法規による子どもと家庭の福祉の保障の仕組みを理解 することによって子ども家庭福祉の分野における福祉サービスの担い手としての資質と能力を獲得する。福 DP2～4						
学修目標		1) 子どもと家庭福祉の権利と歴史を理解できる。 2) 子ども家庭福祉を取り巻く現代社会を理解、説明できる。 3) 子ども家庭福祉の法体系、実施体制、関係機関を理解する。 4) 保育対策、地域子育て支援の現状と課題を理解する。 5) 要保護児童等と在宅支援を理解する。 6) 児童虐待にかかわる支援を理解する。 7) 母子保健福祉対策を説明できる。 8) ひとり親家庭への支援を理解する。 9) 障害のある子どもと家族への支援と制度を説明できる。 10) 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践を理解する。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし						
評価方法		定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		教科書は必ず熟読し、予習・復習をすること。						
オフィスアワー		研究室前に掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	子どもの家庭福祉とは何か(子ども家庭福祉の定義、子どもの権利)					講 義	藤 原
2	1)2)	子ども家庭福祉の歴史(先達の歩み、権利擁護の変遷、児童の権利に関する条約の意義、現代社会の実態)					講 義	藤 原
3	1)	子ども家庭福祉を取り巻く現代社会(取り巻く社会環境、課題と子育て・子育てへの影響)					講 義	藤 原
4	2)3)	子ども家庭福祉の支援の基盤(子ども家庭福祉の法体系、国、都道府県、市町村、民間施設等の役割)					講 義	藤 原
5	3)	子ども家庭福祉の支援の基盤(財源と費用負担、人材と専門職、計画的推進)					講 義	藤 原
6	4)	子ども家庭福祉の基盤(子ども・子育て支援、母子保健、保育)					講 義	藤 原
7	4)	子どもの福祉課題と支援(要保護児童等と在宅支援、児童虐待にかかわる支援、社会的養護)					講 義	藤 原
8	5)	子どもの福祉課題と支援(ひとり親家庭への支援、ドメスティックバイオレンスと女性支援、スクールソーシャルワー ク)					講 義	藤 原
9	4)5)	子どもの福祉課題と支援(少年非行、若者支援、障害のある子どもの支援、ソーシャルアクション)					講 義	藤 原
10	5)	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践(ソーシャルワークの意義、支援の端緒と調査、アセスメント)					講 義	藤 原
11	5)	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践(子ども家庭福祉における支援の展開過程と連携、子ども・子育て支援、 母子保健・医療の協働、保育の実践)					講 義	藤 原
12	5)	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践(児童虐待にかかわる実践、その 1、その 2、社会的養護)					講 義	藤 原
13	5)	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践(ひとり親家庭、女性福祉、教育との協働の連携)					講 義	藤 原
14	5)	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践(若者の自立支援、障害児にかかわる実践、当事者参画とアドボカシー)					講 義	藤 原
15	5)	まとめ 子ども家庭福祉の今後の支援のあり方(専門職に求められること)					講 義	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座 3 児童・家庭福祉』中央法規出版、2021						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		随時紹介する。						

科目名	障害者福祉			授業コード	121658B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	13C122P02	AL 科目	○
担当者	末永 恭(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リジ-No.	この科目は、社会福祉士国家試験指定科目である。そのため、厚生労働省から以下の 4 つのねらいが明示されている。 ①障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。 ②障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程について理解する。 ③障害者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。 ④障害による生活課題を踏まえ、社会福祉士及び精神保健福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。 上記のねらいを受けて、この科目では、障害および障害者の特性とその家族を取りまく社会環境を踏まえた福祉実践力(DP(3)) の涵養をはかることを目標にする。さらに講義の中で SGD を実施して、コミュニケーション能力(DP(4))の向上をはかる。 社会福祉士国家試験の受験資格を取得するため、他の科目も含めて体系的・系統的に学ぶ(CP(5))ことも目標とする。						
学修目標	1)障害概念と特性の理解～ICIDH から ICF への変遷を説明することができる。さらに、障害者の定義と特性を説明することができる。(身体障がい、知的障がい、精神障がい) 2)障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境の把握～障害者の生活実態の種類を述べることができる。障害者を取りまく社会環境について、バリアフリー・コンフリクトなどと関連付けて説明することができる。 3)障害者福祉の歴史を学ぶ～障害者福祉の理念と障害観と障害者処遇の変遷、障害者の権利条約と障害者基本法などと絡めて、障害者の歴史の発展過程全体を総合的にまとめて述べることができる。 4)障害者に対する法制度の理解～障害者総合支援法・身体障害者福祉法 ・知的障害者福祉法 ・精神保健福祉法・児童福祉法 ・発達障害者支援法・障害者虐待防止法・障害者差別解消法・バリアフリー法・障害者雇用促進法・障害者優先調達推進法以上各法の特徴を述べることができる。さらに相互の関連性についてノートにまとめることができる。 5)障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割を理解する～障害者と家族等の支援における関係機関の役割を述べ、さらに関連する専門職等の役割についても述べることができる。 6)障害者と家族等に対する支援の実践を学ぶ～障害領域における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割を説明できる。また、障害者と家族等に対する支援の実践を多職種連携を含めながら、その概要を述べることができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(末永)は、社会福祉士及び精神保健福祉士として、精神科病院や障害児・者施設等での実践現場 5 年以上の経験に基づき、障害者福祉に関する基本的な概念や制度の変遷、最新の動向などを含めた基本的知識を習得することを目的に授業を行う。						
評価方法	毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を 30%及び後期末試験 70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	シラバスに掲載されている学修予定を確認して、テキストの該当部分を予習すること。 くわえて、厚生労働省 web ページなどインターネットを活用して、事前に必要な法令や制度を確認すること。これらに 90 分以上の予習時間が必要である。 講義後は、自身が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に 90 分以上を費やす必要がある。 講義中口頭質問を多用するので、積極的に自身の考えや意見を述べるようにすること。また、必要に応じて SGD も実施する。						
オフィスアワー	時間割が確定次第、告知する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	障害者の定義と特性を理解する				講 義	末 永
2	1)	国際生活機能分類と障害の社会モデルを学ぶ。医学モデルと社会モデルの違いを理解する				講義・SGD	末 永
3	3)	障害観の変遷を学ぶ。障害とはなにかをグループで検討する。				講義・SGD	末 永
4	3)	障害者福祉の理念を学ぶ。ノーマライゼーションやエンパワメントについて理解する				講義・SGD	末 永
5	3)	障害者福祉の歴史～障害者処遇の変遷と障害者福祉制度および発展過程を理解する				講 義	末 永
6	3)	障害者福祉の歴史②～障害者福祉制度と当事者運動から障害者権利条約や障害者基本法への流れを理解する				講 義	末 永
7	3)	障害者を取り巻く社会環境と課題を理解する。				講 義	末 永
8	2)	障害者に関する法制度の全体像を理解するとともに、身体障害者法・知的障害者法を学ぶ				講 義	末 永
9	4)	精神保健福祉法と児童福祉法、発達障害者支援法を学ぶ				講 義	末 永
10	4)	障害者総合支援法と児童福祉法、障害者虐待防止法を学ぶ				講 義	末 永
11	4)	障害者差別解消法とバリアフリー法、障害者雇用促進法、障害者優先調達促進法を学ぶ				講義・SGD	末 永
12	5)	障害者と家族等の支援における関係機関の役割を理解する				講 義	末 永
13	5)	障害者と家族等の支援に関連する専門職を理解する				講 義	末 永
14	6)	障害領域におけるソーシャルワークの役割を理解する				講 義	末 永
15	6)	障害者と家族等に対する支援の実践を多職種連携を含めて理解する				講義・SGD	末 永
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座8『障害者福祉』中央法規【978-4-8058-8238-2】					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	講義中に適時指示する。

科目名	高齢者福祉			授業コード	121659B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	13C122P03	AL 科目	○
担当者	児崎 友美(講師)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について学び、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く環境について理解する。また、高齢者に対する法制度と支援お仕組みを学び、高齢期における生活課題を踏まえた社会福祉士としての適切な支援のあり方を習得できる。 (スポ DP:③、④ 臨心 DP:①、⑥)						
学修目標	1) 高齢者の定義と特性を社会的側面、身体的・精神的側面より総合的に説明できる。 2) 少子高齢社会について説明できる。 3) 高齢者の生活実態について説明できる。 4) 高齢者を取り巻く社会環境について説明できる。 5) 高齢者観の変遷・高齢者福祉の発展過程について説明できる。 6) 高齢者福祉の理念と介護保険制度の枠組みについて説明できる。 7) 介護保険制度の概要(介護保険財政・保険者と被保険者・保険料)について説明できる。 8) 介護保険制度の概要(要介護認定のプロセス・保健給付・介護保険事業計画)について説明できる。 9) 地域支援事業について説明できる。 10) 介護保険サービスの体系(居宅サービス、介護予防サービス、地域密着型サービス、居宅介護住宅改修費、居宅介護支援、施設サービス)について説明できる。 11) 高齢者保健福祉の法体系(老人福祉法、高齢者医療確保法、高齢者虐待防止法、バリアフリー法)について説明できる。 12) 高齢者保健福祉の法体系(高齢者住まい法、高齢者雇用安定法、育児・介護休業法、市町村独自の高齢者支援)について説明できる。 13) 関係機関の役割や関連する専門職等の役割について説明できる。 14) 高齢者領域におけるソーシャルワーカーの役割について説明できる。 15) 高齢者と家族等に対する支援の実践について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、福祉現場である特別養護老人ホームに 3 年、地域包括支援センターに 13 年という期間、社会福祉士として実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、介護保険制度の理解と実践、および他の専門職との具体的な連携方法の理解を促す。また、高齢者福祉にかかわる幅広い課題に対応できる視点や考え方の習得を目的とした授業を行う。						
評価方法	* 定期試験を 70% * 出席時に毎回提出するレポート、提出物(課題など)を 10% * 授業中随時行う小テストや中間テストを 20%とし、総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業前後に 2 時間ずつの予習復習を設けること プリントを配布するためファイル等を準備し、しっかりと管理すること						
オフィスアワー	授業前後、1 時間程度						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション、高齢者と少子高齢社会】 高齢期の社会的理解、高齢者を身体的・精神的・総合的な視座を学ぶ。				講義・SGD	児 崎
2	2)	【高齢者と少子高齢社会】 高齢化と高齢化率、日本の高齢化の状況、高齢化が進む理由、今後の高齢化の見通し、日本の高齢化の特徴と課題について学ぶ。				講 義	児 崎
3	3)	【高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境】 高齢者の経済・就労・健康・要介護・社会参加・生活環境の状況について学ぶ。				講 義	講 義
4	4)	【高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境】 高齢者世帯の特徴・家族介護(者)の状況・家族介護の多様化・高齢者と家族の生活保障について学ぶ。				講 義	講 義
5	5)	【高齢者福祉の歴史と理念】 社会における高齢者観の変遷、老年学における高齢者観の変化、現代における高齢者観の諸概念、社会福祉の発達前から老人福祉法の誕生、介護保険制度の誕生、地域包括ケアシステム構築を学ぶ。				講 義	講 義
6	6)7)	【介護保険制度】 介護保険制度の枠組み、介護保険財政、保険者と被保険者、保険料について学ぶ。				講 義	講 義
7	7)8)	【介護保険制度】 要介護認定の仕組みとプロセス、保険給付、介護保険事業計画を学ぶ。				講 義	講 義
8	9)	【介護保険制度】 地域支援事業の内容、地域包括支援センターを学ぶ。				講 義	講 義
9	10)	【介護保険制度】 居宅サービス、介護予防サービス、地域密着型サービス、居宅介護住宅改修費、居宅介護支援、施設サービスを学ぶ。				講 義	講 義
10	11)	【高齢者に対する関連諸制度】 福祉と保健、高齢社会対策基本法、老人福祉法(法成立の背景・改正経過・目的と理念・法に基づく措置・有料老人ホーム)を学ぶ。				講 義	講 義
11	11)	【高齢者に対する関連諸制度】 高齢者医療確保法(旧老人保健法の流れ、特定健康診査と特定保健指導、後期高齢者医療制度)、高齢者虐待防止法(法の概要、高齢者虐待の未然防止)、バリアフリー法(わが国におけるバリアフリー政策の展開、法の概要)を学ぶ。				講 義	講 義
12	12)	【高齢者に対する関連諸制度】 高齢者住まい法(法の内容、これから高齢者住まい法と高齢者の住まいの展望、バランスのとれた住宅行政)、高年齢者雇用安定法(高年齢者雇用安定法の概要、高年齢期の就労と経済状況、定年制と年金保険制度、高年齢者雇用安定法の改正)を学ぶ。				講 義	講 義

13	12)	【高齢者に対する関連諸制度】 育児・介護休業法(法の趣旨、主な内容、今後の課題)、市町村独自の高齢者支援(介護保険外の高齢者支援サービスの意義、一般会計としての位置づけ)を学ぶ。	講義	講義
14	13)	【高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割】 行政機関・指定サービス事業者・国民健康保険団体連合会・地域包括支援センター・ハロワークと人材センター、フォーマルとインフォーマルな援助者の役割を学ぶ。	講義	講義
15	14) 15)	【高齢者と家族等に対する支援の実際】 高齢者領域におけるソーシャルワーカーの役割や高齢者と高齢 s などに対する支援の実際を学ぶ。	講義	講義
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		2 最新社会福祉士養成講座、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集「高齢者福祉」中央法規【978-4-8058-8245-0】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名	介護概論			授業コード	120194B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・臨床心理学科、2 年			ナンバリング	13C221P01	AL 科目	○
担当者	藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシーNo.	高齢者を取り巻く社会情勢、福祉・介護需要を踏まえ、介護の知識・技術とその実践能力を持った専門職が必要である。そのため本講義では、介護の概念や対象及びその理念等について理解し、介護過程における介護の生活支援技術や終末期の援助の基本的な考え方について理解する。(ス DP1～3,CP1～3/福 DP1～3,CP1～3/心 DP1～3, CP1～3)						
学修目標	1)介護の意義・目的が説明できる。 2)介護の原則と倫理を学び、介護の専門職のあり方を討議できる。 3)介護に関する歴史を理解し、現在の介護を取り巻く制度やサービスを説明できる。 4)体験を通して、高齢者や障がい者の立場や介護者のあり方について考察できる。 5)ICF の視点から利用者理解の方法を学ぶ。 6)医療的ケアについて説明できる。 7)リスクマネジメントの実際を理解できる。 8)介護過程の目的や流れが説明できる。 9)介護の目的や基本技法を理解し、実践できる。 10)尊厳を支える介護の視点を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	高等学校教諭 1 種免許状(福祉)の取得を希望している場合は必修となる。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 介護の目的、介護福祉職の役割				講 義	藤 原
2	2)	介護の原則と職業倫理				講 義	藤 原
3	4)5)	介護を必要とする人々の理解				講 義	藤 原
4	3)	介護に関する制度 1				講 義	藤 原
5	3)	介護に関する制度 2				講 義	藤 原
6	6)7)	医療的ケア				講 義	藤 原
7	4)5)	コミュニケーション技術				講 義	藤 原
8	5)8)	介護過程とチームアプローチ				講 義	藤 原
9	9)	介護の基本(体位変換、身じたく)				講 義	藤 原
10	9)	介護の基本(食事、入浴・清潔保持)				講 義	藤 原
11	9)	介護の基本(排泄、家事)				講 義	藤 原
12	9)	介護の基本(睡眠)				講 義	藤 原
13	9)	介護の基本(療養が必要な人の介護)				講 義	藤 原
14	10)	緊急・事故時に求められる介護福祉職の対応				講 義	藤 原
15	10)	終末期の介護				講 義	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		社会福祉学習双書 2024 第 15 巻 介護概論 全国社会福祉協議会					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に紹介する。					

科目名	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ			授業コード	121660B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科(1 年) 臨床心理学部 臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	13C121P04	AL 科目	
担当者	川崎 順子(福・スポ)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシ-No.	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰでは、社会福祉士と精神保健福祉士の法的位置づけやソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。また、ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解することを通して、ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理を学び、社会福祉士、精神保健福祉士に求められる基本的な知識を習得する。スポ DP(2)(3)(4)。						
学修目標	1)社会福祉士、精神保健福祉士の法的位置づけと専門性が説明できる。 2)ソーシャルワークの概念が説明できる。 3)ソーシャルワークの基盤となる考え方(原理・理念)が概説できる。 4)ソーシャルワークの形成過程における実践と理論化の内容が概説できる。 5)ソーシャルワークの発展期から統合化を概説できる。 6)ソーシャルワークの倫理のあり方が説明できる。 7)社会福祉士・精神保健福祉士の倫理綱領の位置づけや倫理的ジレンマへの対応が考えられる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(川崎)は、社会福祉士として行政や社会福祉協議会等での実践現場 5 年以上の経験に基づき、相談援助の基本的概念や専門職に求められる基本的知識を修得することを目的に授業を行う。						
評価方法	毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を 30%及び前期末試験 70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	1コマあたり 4 時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的に、授業前の予習では、次回シラバスの授業内容について、テキストを読み、まとめておくこと。復習では、授業時に配布された資料・レジュメをファイリングし、再度テキストと照らし合わせ再確認を行うこと。適宜の小テストに備え、重要事項をノートにまとめておくこと。提示された課題に取り組むことなどである。						
オフィスアワー	時間割確定後研究室に掲示						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	現代社会に起きている地域での生活状況とソーシャルワークの必要性を理解する				講 義	川 崎
2	1)2)	社会福祉士の法的位置づけを理解し、制度創設から見直しの概要が説明できる。				講 義	川 崎
3	1)2)	精神保健福祉士の法的位置づけを理解し、成立経緯や制度見直しの概要が説明できる。				講 義	川 崎
4	1)2)	社会福祉士・精神保健福祉士に求められる専門性を理解する。				講 義	川 崎
5	2)3)	ソーシャルワークの概念、ソーシャルワークとは何かを考え、ソーシャルワーク専門職のグローバル定義の内容を理解する。				講 義	川 崎
6	2)3)	ソーシャルワークを構成する要素としてのクライアントシステム、ニーズ、ソーシャルワーカー、社会資源・サービス等の内容や関係性を理解する。				講 義	川 崎
7	2)3)	ソーシャルワークの諸原理に基づいて、ソーシャルワークの必要性を理解する。 ソーシャルワークの理念の意味を理解し、理念に基づく行動のあり方を考えることができる。(当事者主権、尊厳の保持、権利擁護、自立支援、エンパワメント、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン)				講 義	川 崎
8	2)3)	ソーシャルワークの理念の意味を理解し、理念に基づく行動のあり方を考えることができる。(当事者主権、尊厳の保持、権利擁護、自立支援、エンパワメント、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン)				講 義	川崎・外部講師
9	3)4)	ソーシャルワークの形成過程①ソーシャルワークの源流(COS,セツルメント運動等)と基礎確立期を理解する。				講 義	川 崎
10	3)4)	ソーシャルワークの形成過程②ソーシャルワークの発展期(ケースワーク、グループワーク、コミュニティオーガニゼーションの発展)の流れを理解する。				講 義	川 崎
11	3)4)5)	ソーシャルワークの形成過程③ソーシャルワークの展開期と統合化(ジェネラリスト・ソーシャルワークへの流れ)を理解する。				講 義	川 崎
12	3)4)5)	日本におけるソーシャルワークの形成過程(社会事業前史から戦後のソーシャルワークの導入)を理解する。				講 義	川 崎
13	6)7)	ソーシャルワークにおける専門職倫理の概念や専門職倫理の必要性について理解する。				講 義	川 崎
14	6)7)	倫理綱領の意義と各専門職能団体の倫理綱領の内容を知り、倫理綱領の活用方法について理解する。				講 義	川 崎
15	6)7)	ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマの実際を知り、倫理的判断過程に基づいて対応することの必要性を理解する。				講 義	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 (一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集) 中央法規 【978-4-8058-8241-2】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ			授業コード	121661B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科(1 年) 臨床心理学部 臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	13C122P04	AL 科目	
担当者	川崎 順子(福・スポ)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱでは、ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲を学ぶとともに、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性について理解する。さらに、総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義や内容について理解し、社会福祉士に求められる基本的な知識を習得するスポ(1)(3)(4)						
学修目標	1)社会福祉士の職域と求められる役割について概説できる。 2)ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について概説できる。 3)ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象や介入、支援の方法について説明できる。 4)総合的かつ包括的な支援の意義と内容について概説できる。 5)総合的かつ包括的な支援のための多職種連携やチームアプローチの意義、内容について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(川崎)は、社会福祉士として行政や社会福祉協議会等での実践現場 5 年以上の経験に基づき、相談援助の基本的概念や専門職に求められる基本的知識を修得することを目的に授業を行う。						
評価方法	毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を 30%及び前期末試験 70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	1コマあたり 4 時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的に、授業前の予習では、次回シラバスの授業内容について、テキストを読み、まとめておくこと。復習では、授業時に配布された資料・レジュメをファイリングし、再度テキストと照らし合わせ再確認を行うこと。適宜の小テストに備え、重要事項をノートにまとめておくこと。提示された課題に取り組むことなどである。						
オフィスアワー	時間割確定後研究室に掲示						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。 ソーシャルワーカーが専門職であるための成立条件と職能団体の役割を学ぶ。				講 義	川 崎
2	1)2)	社会福祉士が活躍する職域とそこでのソーシャルワーカーの役割を理解する①。				講 義	川 崎
3	1)2)	社会福祉士が活躍する職域とそこでのソーシャルワーカーの役割を理解する②。				講 義	川 崎
4	1)2)	ソーシャルワーク実践を担う様々な組織・機関・団体における専門職について理解する。				講 義	川 崎
5	1)2)	主要先進諸国のソーシャルワーカー養成制度の現状などを知り、ソーシャルワークの多様性を理解する。				講 義	川 崎
6	2)3)	ソーシャルワークにおけるミクロ・メゾ・マクロの意味を知り、その対象から、相互の関係性を理解する。				講 義	川 崎
7	2)3)	ミクロ・メゾ・マクロレベルの介入の考え方やソーシャルワーク実践の展開について理解する。				講 義	川崎・外部講師
8	2)3)	ミクロ・メゾ・マクロレベルの連関性とそれに基づく支援の実際を理解する。				講 義	川 崎
9	3)4)	総合的かつ包括的な支援としてのソーシャルワークの意義と必要性を理解する。				講 義	川 崎
10	3)4)	ソーシャルワークにおけるジェネラリストの視点を学び、ソーシャルワークの特徴を理解する。				講 義	川 崎
11	3)4)5)	ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容を理解する。特に、多機関・多職種による包括的支援体制の構築について理解する。				講 義	川 崎
12	3)4)5)	社会資源となる人や組織などの協働体制の構築やソーシャルサポートネットワーキングの実践方法について理解する。				講 義	川 崎
13	3)4)5)	多職種連携及びチームアプローチの意義を理解する。				講 義	川 崎
14	3)4)5)	ジェネラリスト視点から多職種連携の際の合意形成の促進とクライアントとの連携・協働の意味を理解する。				講 義	川 崎
15	1)2)3) 4)5)	総括 ソーシャルワークの基盤と専門職の概要を総括し、具体的理論と方法を学ぶ必要性を理解する。				講 義	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 (一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集) 中央法規 【978-4-8058-8241-2】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	社会福祉の原理と政策Ⅰ			授業コード	121662B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	13C121P05	AL 科目	○
担当者	末永 恭(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	必修(心理)・選択(スポ)	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソンNo.	本科目は、社会福祉士関連科目の基礎科目(概論)として、以下の 7 つを目標とする。なお、同教科Ⅱにおいても扱う項目がある。 ① 社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。 ② 社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。 ③ 社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。 ④ 福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。 ⑤ 福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。 ⑥ 福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。 ⑦ 福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。 以上 7 つの目標をとおして、福祉分野における福祉実践力(DP3)を涵養したい。また、SGD をとおして、コミュニケーション能力(DP4)を身につけることも目標とする。						
学修目標	本科目は、一般目標に基づき以下の達成目標を定める。なお、同教科Ⅱにおいても扱う項目がある。 ① 社会福祉の原理をめぐる思想と哲学に関する理論を述べることができる。 ② 社会福祉の歴史展開を時系列に述べることができ、わが国の社会福祉の特質を海外の社会福祉と比較してまとめることができる。 ③ 社会福祉を取り巻く社会構造から社会問題を明らかにして、それが福祉政策にいかん反映されているのかを理解して、人々の生活上のニーズに結びつけた政策を 考えることができる。加えて関連する政策を理解して、包括的な政策のあり方を述べるができるようになる。 ④ 社会福祉を担う専門職について、その養成課程や専門職性について、その概要をまとめて、説明することができるようになる。 ⑤ 福祉サービスの供給主体とその提供過程を理解して、その利用過程も含めて説明することができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(末永)は、社会福祉士及び精神保健福祉士として、精神科病院や障害児・者施設等での実践現場 5 年以上の経験に基づき、社会福祉の根幹となる制度・政策について学び、社会福祉を担う人材としての基本的理念を習得することを目的に授業を行う。						
評価方法	毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を 30%及び後期末試験 70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	シラバスに掲載されている学修予定を確認して、テキストの該当部分を予習すること。 くわえて、厚生労働省 web ページなどインターネットを活用して、事前に必要な法令や制度を確認すること。これらに 90 分以上の予習時間が必要である。 講義後は、自身が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に 90 分以上を費やす必要がある。 講義中口頭質問を多用するので、積極的に自身の考えや意見を述べるようにすること。また、必要に応じて SGD も実施する。						
オフィスアワー	時間割が確定次第、告知する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	社会福祉の原理とは何か？その問われる意義について考える				講義・SGD	末 永
2	2)	社会福祉の歴史を学ぶ意義・支援等について SGD を通して相互理解を深める				講義・SGD	末 永
3	2)	欧米の社会福祉の歴史的展開を学びつつ、なぜこのような変遷を遂げたのかを理解する				講義・SGD	末 永
4	2)	日本の社会福祉の歴史的展開を学びつつ、なぜこのような変遷を遂げたのかを理解する				講義・SGD	末 永
5	3)	社会福祉の理想・哲学について学び、イデオロギーと社会福祉の関係について理解する				講 義	末 永
6	3)	社会福祉の理想・哲学について学び、ニーズという言葉の概念を理解する				講 義	末 永
7	3)	社会福祉学におけるニーズの捉え方とその現代的課題を理解する				講義・SGD	末 永
8	3)	現代における社会問題について、社会が抱える問題の全体像について理解する				講 義	末 永
9	3)	現代における社会問題について、個別・具体的な社会問題について理解する				講義・SGD	末 永
10	3)	社会問題の構造的背景(人口構造と世帯構造の変化)について歴史的背景とつなげて理解する				講 義	末 永
11	1),4)	福祉政策の概念・理念を学び、「狭義の福祉」と「広義の福祉」を理解する				講義・SGD	末 永
12	3),4)	福祉政策を学ぶ中で「自立」と「依存」の概念と関係性について理解する				講義・SGD	末 永
13	3)	心理学、マーケティング、社会福祉におけるニーズの概念を学ぶ				講 義	末 永
14	4)	福祉政策におけるニーズ概念をデマンドの違いと併せて理解を深める				講義・SGD	末 永
15	4)	社会資源とは何か？フォーマル・インフォーマルな資源を調べたうえで身近なものとして理解する				講義・SGD	末 永
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座4 社会福祉の原理と政策 中央法規					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	適時印刷物を配布する。

科目名	社会福祉の原理と政策Ⅱ			授業コード	121663B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	13C122P05	AL 科目	○
担当者	末永 恭(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	本科目は、社会福祉士関連科目の基礎科目(概論)として、以下の 7 つを目標とする。なお、同教科Ⅰにおいても扱う項目がある。 ① 社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。 ② 社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。 ③ 社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。 ④ 福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。 ⑤ 福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。 ⑥ 福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。 ⑦ 福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。 以上 7 つの目標をとおして、福祉分野における福祉実践力(DP3)を涵養したい。また、SGD をとおして、コミュニケーション能力(DP4)を身につけることも目標とする。						
学修目標	本科目は、一般目標に基づき以下の達成目標を定める。なお、同教科Ⅰにおいても扱う項目がある。 ① 社会福祉の原理をめぐる思想と哲学に関する理論を述べるができる。 ② 社会福祉の歴史展開を時系列に述べることができ、わが国の社会福祉の特質を海外の社会福祉と比較してまとめることができる。 ③ 社会福祉を取り巻く社会構造から社会問題を明らかにして、それが福祉政策にいかに関反映されているのかを理解して、人々の生活上のニーズに結びつけた政策を 考えることができる。加えて関連する政策を理解して、包括的な政策のあり方を述べるができるようになる。 ④ 社会福祉を担う専門職について、その養成課程や専門職性について、その概要をまとめて、説明することができるようになる。 ⑤ 福祉サービスの供給主体とその提供過程を理解して、その利用過程も含めて説明することができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(末永)は、社会福祉士及び精神保健福祉士として、精神科病院や障害児・者施設等での実践現場 5 年以上の経験に基づき、社会福祉の根幹となる制度・政策について学び、社会福祉を担う人材としての基本的理念を習得することを目的に授業を行う。						
評価方法	毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を 30%及び後期末試験 70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	シラバスに掲載されている学修予定を確認して、テキストの該当部分を予習すること。 くわえて、厚生労働省 web ページなどインターネットを活用して、事前に必要な法令や制度を確認すること。これらに 90 分以上の予習時間が必要である。 講義後は、自身が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に 90 分以上を費やす必要がある。 講義中口頭質問を多用するので、積極的に自身の考えや意見を述べるようにすること。また、必要に応じて SGD も実施する。						
オフィスアワー	時間割が確定次第、告知する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	3)	福祉政策の構成要素を、政策の分野と各分野の目的から理解する				講 義	末 永
2	3)	福祉サービスの提供方式が多元化する中で、政府や事業者、国民が果たす役割について学ぶ				講義・SGD	末 永
3	3)	福祉政策の過程と評価について全体像と各過程について理解する				講 義	末 永
4	3)	社会福祉基礎構造改革と社会福祉法について理解を深める				講 義	末 永
5	3)	「地域包括ケア」から「地域共生社会」への変遷について、時系列的に理解する				講 義	末 永
6	4)	地域共生社会の実現と地域づくりに向けた課題について理解し、自分の地域について調べる				講義・SGD	末 永
7	4)	福祉人材の確保と多文化共生の推進のための課題について、実際の福祉現場と照らし合わせて理解する				講 義	末 永
8	4)	保健医療施策の重要性を認識しそこに関わる専門職の役割を理解する				講 義	末 永
9	5)	教育施策について役割と重要性を理解しつつ、子どもの貧困について話し合う				講義・SGD	末 永
10	4),5)	住宅政策と労働政策について関連する制度を含めて包括的に理解する				講 義	末 永
11	4),5)	災害政策の現状を知り、災害対策の必要性を理解する。近年の災害対策の実際を知る				講義・SGD	末 永
12	6)	福祉サービスの供給が多元的な供給主体によって担われていることを理解する				講 義	末 永
13	6)	福祉サービスの供給過程について、情報の非対称性について理解を深める				講義・SGD	末 永
14	7)	福祉政策の国際比較をしつつ、近年の福祉政策の展開における「サービス保障」の重要性を学ぶ				講 義	末 永
15	1),3),7)	これからの社会福祉についてこれまでの学習をもとに、自身の考えをまとめる				講義・SGD	末 永
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座4 社会福祉の原理と政策 中央法規					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	適時印刷物を配布する。

科目名	貧困に対する支援			授業コード	121665B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	13C221P02	AL 科目	
担当者	日田 剛(福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	公的扶助分野は、現代社会が生み出す貧困・低所得問題に対処するための一連の制度的な取組を指し、市民生活を守る社会保障・社会福祉制度の最後のセーフティーネットとして位置づけられている。公的扶助の概念と範囲、意義と役割についての理解、「貧困」「低所得」などの問題の理解、公的扶助制度の主要制度である生活保護制度の仕組み、動向、福祉事務所を中心とした実施体制などの理解、相談活動実践事例など、自立支援プログラムの在り方などの理解を通じて、専門家としての知識の修得を図る(DP3)。						
学修目標	1)「貧困」について、その定義と概念を説明できる。 2)公的扶助の対象となる貧困・低所得とは何なのかなどを説明できる。 3)公的扶助の制度的沿革、わが国の貧困・低所得対策などが説明できる。 4)生活保護制度の仕組み(目的・原理・原則など)、不服審査制度など説明できる。 5)最低生活保障水準の考え方、生活扶助基準の算定方法など説明できる。 6)生活保護の受給人員、世帯の動向、各種扶助別人員数などの説明ができる。 7)低所得者対策としての生活福祉資金制度の内容を説明できる。 8)生活保護運営実施体制と関係機関、団体の役割などについて説明できる。 9)貧困・低所得者に対する相談援助活動(関連専門職・専門機関との連携など)を説明できる。 10)生活保護における自立支援プログラムについて説明ができる。						
実務経験のある 教員による教育	生活保護行政にかかわる外部講師を招聘予定						
評価方法	ミニテスト、単位認定試験、授業態度などを総合的に判断して評価。						
準備学習・ 履修上の注意等	予習・復習を行うこと。 授業中にミニテストを実施する。社会福祉士国家資格試験の過去問を使用して実施する。生活保護は社会情勢との関連があるので、新聞などを読むこと。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	「貧困」が現代においてどのように語られているか、また、どのような問題があるのかを理解する。合わせて「貧困」について自らの問題として考える。				講 義	日 田
2	2)	貧困・低所得とは何か、貧困と社会的排除(絶対的貧困・相対的貧困、社会的排除としての貧困、わが国における貧困の研究、貧困・低所得者問題の現代的課題				講 義	日 田
3	3)	公的扶助制度の歴史：海外の歴史、日本の歴史、貧困・低所得者対策の近年の動向				講 義	日 田
4	4)	生活保護法の目的・基本原理・原則、保護の種類と内容および方法、保護施設				講 義	日 田
5	4)	被保護者の権利および義務、不服申立と訴訟、生活保護の財源・予算				講 義	日 田
6	5)	最低生活保障水準の考え方、生活保護基準の考え方				講 義	日 田
7	5)	生活保護基準の実際、最低生活保障水準の実際				講 義	日 田
8	6)	生活保護の動向：被保護人員・世帯数、保護の開始・廃止				講 義	日 田
9	6)	生活保護の動向：医療扶助の動向。介護扶助の動向				講 義	日 田
10	7)	低所得者の概要：生活福祉資金貸付制度				講 義	日 田
11	7)	低所得者の概要：社会手当制度、ホームレス対策、その他の低所得者対策				講 義	日 田
12	8)	生活保護の運営実施体制と関係機関・団体：国・都道府県・市町村の役割、福祉事務所の役割、福祉事務所専門職員の役割				講 義	日 田
13	9)	貧困・低所得者に対する相談援助活動：生活保護制度における相談援助活動				講 義	日 田
14	9)	貧困・低所得者に対する相談援助活動：他機関・他職種との連携・協働				講 義	日 田
15	10)	生活保護における自立支援：自立とは何か				講 義	外部講師
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座4 貧困に対する支援 中央法規					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		歴史との対話―現代府福祉の源流を探る―(西尾祐吾 塚口伍喜夫)大学教育出版					

科目名	地域福祉と包括的支援体制 I			授業コード	121666B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	13C221P03	AL 科目	
担当者	川崎 順子(福・福)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択		授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	地域共生社会の実現に向けて、包括的な相談支援を実施し、地域住民等が主体的に地域課題を解決していくよう支援できるソーシャルワーカーを養成するため、本科目では地域福祉と包括的支援体制の考え方について、その理論、方法を体系的に理解するとともに、それらを推進するうえで欠かせない福祉行財政と福祉計画について学ぶ。また、地域福祉と包括的支援体制を推進していくための地域を基盤としたソーシャルワークの展開について理解を深め、具体的な展開方法について修得する。臨床 DP(3)(5)(6)、スポ DP(3)(4)、心理 DP(3)(6)						
学修目標	1) 地域福祉の基本的な考え方について説明できる。 2) 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題について説明できる。 3) 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制について説明できる。 4) 地域福祉ガバナンスと多機関協働について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(川崎)は、社会福祉士の資格を有し、地域福祉の実践現場(社会福祉協議会)での 5 年以上の実務経験に基づき、実践的な内容を取り入れ、「地域福祉と包括的支援体制」の習得を目的とした授業を行う予定。						
評価方法	授業後における小レポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(小レポート及び確認テストの内容、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を 7 割として、包括的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	国家資格試験対象科目なのでテキスト以外の文献についても自己学習を進めること。また予習・復習をしっかりとやること。						
オフィスアワー	時間割確定後、オフィスアワーを設定し、研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	1.ガイダンス(講義の概要と予定) 地域福祉とは何か 2.地域福祉の基本的な考え方 (1) 地域福祉の概念と理論 ① 地域福祉の概念と理論の変遷／新たな展開と理論的な視点について理解する。				講 義	川 崎
2	1)	(2)地域福祉の歴史 ① 欧米の地域福祉の源流の内容について理解する。 ② 我が国の地域福祉の源流の内容について理解する。 ③ 戦後から今日に至る地域福祉の歴的変遷の内容について理解する。				講 義	川 崎
3	1)	(3)地域福祉の動向 ① 人口減少・超高齢社会における地域生活課題について把握する。 ② 地域生活課題に対応する地域福祉の新たな動向について理解する。 (4)地域福祉の推進主体 ① 地域福祉の推進主体(組織)とは何か、その役割の実際について理解する。(社会福祉協議会を中心に)				講義・SGD	川 崎
4	1)	(5)地域福祉の主体と福祉教育 ① 人々の直面する地域生活課題の傾向を理解する。 ② 地域福祉の推進主体／地域住民の主体形成と福祉教育について考える。				講 義	川 崎
5	1)2)	3.地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題 (1)地域社会の概念と理論 ① 地域社会の概念と地域社会の理論について理解する。				講 義	川 崎
6	1)2)	(2)地域社会の変化 ① 近年の地域社会の変化の諸相を把握する。 ② 地域社会の変化による課題と対応策を考える。				講義・SGD	川 崎
7	1)2)	(3)多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズ ① 地域社会を多様なシステムの複雑な相互作用から捉え、理解する視点を身につける。 ② 多様化・複雑化する地域生活課題と表出にかかわる状況とニーズについて考える。				講 義	川 崎
8	1)2)	(4)地域福祉と社会的孤立 ① 地域福祉の概念と我が国の政策上の位置づけについて理解する。 ② 社会的孤立とセルフ・ネグレクト、社会的排除の概念について理解する。				講 義	川崎・外部講師
9	3)	4.地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制 (1)地域包括ケアシステム ① 地域包括ケアシステムの考え方、確立の経過、展開について理解する。 ② 包括的な相談支援体制について理解する。				講 義	川 崎
10	3)	(2) 生活困窮者自立支援の考え方 ① 生活困窮者自立支援制度の目的と基本理念、概要について理解する。 ② 自立相談支援事業の役割と支援過程について理解する。 ③ 生活困窮者自立支援に必要な倫理と基本姿勢を理解する ④ 高齢者、生活困窮者以外を対象とする包括的な相談支援体制について理解する。				講 義	川 崎
11	3)	(3) 包括的支援体制とは ① 包括的支援体制に実現に向けての展開と具体的展開方法について理解する。 (4)地域共生社会の構築とは ① 地域共生社会と実現の方向について理解する。				講 義	川 崎
12	3)	(5) 地域共生社会の実現に向けた各種施策 ① 包括的支援体制構築事業と市町村での体制整備について理解する。 ② 包括的支援体制の確立に向けての社会福祉法改正(2020(令和2)年)を理解する。 ③ 包括支援体制の確立に向けてのソーシャルワーカーの役割を理解する。				講 義	川 崎

13	3)4)	5.地域福祉ガバナンスと多機関協働 (1) 地域福祉ガバナンス ① 地域福祉ガバナンスの考え方と他機関協働のマネジメントについて理解する。 ② 地域住民の参加と協働について考える。 ③ 地域福祉ガバナンスを進める協議の場の形成と運営、専門職の役割について考える。 (2) 多機関協働を促進する仕組み ① 総合相談と包括的な支援体制を支える各種相談機関の連携協働の意義と仕組みについて理解する。	講義	川崎
14	3)4)	(3) 多職種連携 ① 多職種連携の目的と多職種連携を促進する要因やコンピテンシーについて理解する。	講義	川崎
15	3)4)	(4) 福祉以外の分野との機関協働の実際 ① さまざまな主体のさまざまな発想と協働で地域福祉を進める目的と意義について考える。 ② 福祉以外の分野との協働による開発的実践について理解する。 ③ 地方創生の政策と社会的企業について理解する。 【前期講義の振り返り】	講義	川崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編集) 「最新・社会福祉士養成講座第6巻 地域福祉と包括的支援体制」中央法規出版(978-4-8058-8236-8)		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。必要に応じて参考資料を提供する。		

科目名	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ			授業コード	121667B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	13C222P01	AL 科目	
担当者	川崎 順子(福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	地域共生社会の実現に向けて、包括的な相談支援を実施し、地域住民等が主体的に地域課題を解決していくよう支援できる ソーシャルワーカーを養成するため、本科目では地域福祉と包括的支援体制の考え方について、その理論、方法を体系的に理 解するとともに、それらを推進するうえで欠かせない福祉行政と福祉計画について学ぶ。また、地域福祉と包括的支援体制を 推進していくための地域を基盤としたソーシャルワークの展開について理解を深め、具体的な展開方法について修得する。臨床 DP(3)(5)(6)、スポ DP(3)(4)、心理 DP(3)(6)						
学修目標	1) 地域を基盤としたソーシャルワークの展開について説明できる。 2) 災害時における総合的かつ包括的な支援体制について説明できる。 3) 福祉計画の意義と種類、策定と運用について説明できる。 4) 国・都道府県・市町村の役割、祉行政の組織及び専門職の役割について説明できる。 5) 福祉における財源について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(川崎)は、社会福祉士の資格を有し、地域福祉の実践現場(社会福祉協議会)での 5 年以上の実務経験に基づ き、実践的な視点から「地域福祉と包括的支援体制」の習得を目的とした授業を行う予定。						
評価方法	授業後における小レポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(小レポート及び確認テスト、 授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を 7 割として、包括的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	国家資格試験対象科目なのでテキスト以外の文献についても自己学習を進めること。また予習・復習をしっかりとやること。						
オフィスアワー	時間割確定後 オフィスアワー時間を設定し、研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	6.地域を基盤としたソーシャルワークの展開 (1)地域を基盤としたソーシャルワークの方法 ① 地域を基盤としたソーシャルワークの概念、求められてきた背景について理解する。 ② 生活困窮者自立支援とコミュニティソーシャルワークについて理解する。 ③ 地域共生社会の実現に向けたアプローチについて考える。				講 義	川 崎
2	1)	(2)住民の主体形成に向けたアプローチ ① 地域福祉における住民の主体形成の意義と方法について理解する。 ② 住民の主体形成を援助するソーシャルワークの視点と方法を理解する ③ 社会的包摂(地域共生社会)形成に向けた福祉学習について理解する				講 義	川 崎
3	1)	(3)具体的な展開 ① 地域を基盤としたソーシャルワーク展開の具体を理解する。 ② 事例の展開をととして、五つのポイントを知る。				講義・SGD	川崎・外部講師
4	1)	③ 住民の主体性を尊重し、育む多職種連携について考える。				講義・SGD	川 崎
5	1)2)	7.災害時における総合的かつ包括的な支援体制 (1)非常時や災害時における法制度 ① 災害対策基本法、災害救助法について理解する。				講 義	川 崎
6	1)2)	② 特定非常災害特別措置法、災害弔慰金の支給等に関する法律について理解する。 ③ 被災者生活再建支援法、その他の支援の仕組みについて理解する。				講 義	川 崎
7	1)2)	(2)非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援 ① 災害と被災者が抱える多様なニーズについて考える。 ② 他職種との連携による包括的な支援について考える。				講 義	川 崎
8	1)2)	③ 災害に備えた平時からの取組みの重要性について理解する。				講 義	川 崎
9	3)	8.福祉計画の意義と種類、策定と運用 (1)福祉計画の定義、目的、機能と歴史的展開 ① 福祉計画の定義、歴史的展開について理解し、福祉計画の基本的視点を知る。 ② 我が国の福祉制度の展開を理解し、福祉計画の種類と類型、果たす機能について知る。				講 義	川 崎
10	3)	(2)市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画の内容 ① 地域福祉計画の歴史的展開について理解する。 ② 社会福祉法改正と市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画について理解する。				講 義	川 崎
11	3)	(3)福祉計画の策定過程と方法 ① 福祉計画の主体、計画の過程モデルについて理解する。 ② 福祉計画の過程と特徴、問題の分析と合意形成過程について理解する。 ③ 福祉計画の過程における方法・技術、留意点について理解する。				講 義	川 崎
12	3)	(4)福祉計画におけるニーズ把握の方法・技術 ① ニーズの概念、類型について理解する。 ② ニーズ把握の方法・技術、留意点について理解する。 (5)福祉計画における評価 ① 福祉計画における評価の方法・技術、実際、留意点について理解する。				講 義	川 崎
13	4)	9.福祉行政システム (1)国の役割 ① 行政の骨格、国の福祉行政体制とその役割について理解する。 ② 法定受託事務と自治事務について理解する。 (2)都道府県の役割 ① 都道府県の福祉行政体制と組織、役割について理解する。				講 義	川 崎

		(3)市町村の役割 ① 市町村の福祉行政体制と組織、役割について理解理解する理解する。 (4)国と地方の関係 ① 中央集権から地方自治への流れを理解する。 ② 地方分権の意義と改革の流れを把握し、地方創生について理解する。		
14	4)	(5)福祉行政の組織および専門職の役割 ① 社会福祉の実施体制、社会福祉の専門機関について理解する。 ② 社会福祉の専門職について理解する。	講 義	川 崎
15	5)	(6)福祉における財源 ① 国と地方の財源について理解する。 ② 保険料財源について理解する。 ③ 民間の財源について理解する。 【後期講義の振返り】	講 義	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編集) 「最新・社会福祉士養成講座第6巻 地域福祉と包括的支援体制」中央法規出版(978-4-8058-8236-8)		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。必要に応じて参考資料を提供する。		

科目名	社会保障Ⅰ			授業コード	121493B101	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)			ナンバリング	13C221P04	AL科目	○
担当者	末永 恭(非常勤講師)	開講学期	2024年度前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	この科目は、社会福祉士国家試験の指定科目である。厚生労働省から以下6つのねらいが提示されている。 ①社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて理解する。 ②現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解する。 ③社会保障制度の財政について理解する。 ④公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。 ⑤社会保障制度の体系と概要について理解する。 ⑥諸外国における社会保障制度の概要について理解する。 以上6つのねらいを受けて、この科目①～④までを学ぶ。また、社会保障制度の概要を理解することとおして、将来福祉現場 で活躍する社会福祉士としての福祉実践力(DP(3))の涵養をはかる。さらに講義の中で SGD を実施して、コミュニケーション能力 (DP(4))の向上をはかる。くわえて、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するため、他の科目も含めて体系的・系統的に学ぶ (GP(5))ことも目標とする。						
学修目標	1)現代社会における社会保障制度の現状(少子高齢化と社会保障制度の関係を含む)を理解する～人口動態、経済環境、労 働環境の変化から現状を説明することができる。 2)社会保障の概念や対象及びその理念を理解する～社会保障の概念とその範囲および役割と意義、理念と対象およびその展 開を述べることができる。 3)社会保障と財政 を理解する～社会保障の財源 を一般会計や地方経費などから述べることができる。また、社会保障給付費 の内訳と動向を説明できる。さらに国民負担率とは何か説明して、それが経済に与える影響について自身意見も含めて述べるこ とができる。について述べることができる。 4)社会保険と社会扶助の関係を理解する～社会保険の概念と範囲及び社会扶助の概念と範囲を理解して、その相違を明確に 説明することができる。 5)公的保険制度と民間保険制度の関係を理解する～それぞれの特徴を把握して、その課題を明確にして、相違及び補完性を 述べることができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(末永)は、社会福祉士及び精神保健福祉士として、精神科病院や障害児・者施設等での実践現場5年以上の経験に 基づき社会保障に関する基本的概念や制度の変遷、最新の動向などを含めた基本的知識を習得することを目的に授業を行う。						
評価方法	毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を 30%及び後期末試験70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	シラバスに掲載されている学修予定を確認して、テキストの該当部分を予習すること。 くわえて、厚生労働省 web ページなどインターネットを活用して、事前に必要な法令や制度を確認すること。これらに90分以上 の予習時間が必要である。 講義後は、自身が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に90分以上を費やす必要 がある。 講義中口頭質問を多用するので、積極的に自身の考えや意見を述べるようにすること。また、必要に応じてSGDも実施する。						
オフィスアワー	時間割が確定次第、告知する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	「社会保障とは」という概念について、人口減少と少子高齢化をもとに社会保障の成り立ちを理解する				講 義	末 永
2	1)	人口減少と少子高齢化が社会及び社会保障に与える影響について理解する				講義・SGD	末 永
3	1)	日本の経済成長と共に変化してきた社会保障についてどのように変化してきたのかを理解する				講義・SGD	末 永
4	1)	労働環境の変化がもたらす社会への影響と社会保障の課題について理解する				講義・SGD	末 永
5	2)	社会保障の概念や対象、及びその理念について総合的に理解する				講義・SGD	末 永
6	2)	社会保障の役割と意義について、総合的に理解するとともに、救貧と防貧の違いについて理解する				講 義	末 永
7	2)	社会保障の理念として生存権と社会連帯、社会保障との関連について理解する				講義・SGD	末 永
8	3)	社会保障制度の展開について、歴史的背景を学ぶとともに、社会保険・社会手当が出来た経緯について理解する				講 義	末 永
9	3)	戦後の社会保障の拡充と近年の制度改正について整理して理解する				講 義	末 永
10	3)	社会保障の財政について種類や財源の確保の方法、内訳等について理解する				講 義	末 永
11	3)	社会保障の財政について国民の負担が生活にどのような影響を及ぼしているかを理解する				講義・SGD	末 永
12	4)	保険と扶助のメリットデメリットについて SGD にて考える				講義・SGD	末 永
13	4)	社会保険と社会扶助の特徴について理解し、「自助」「共助」「公助」の関係性を理解する				講 義	末 永
14	5)	社会保険と民間保険の種類や違いについて、自分が加入している保険と照らし合わせながら理解する				講義・SGD	末 永
15	5)	社会保険と民間保険の相互関係について理解する				講義・SGD	末 永
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 7 社会保障(日本ソーシャルワーク学校連盟編集)中央法規出版 ISBN978-4-8058-8237-5					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	講義の中で適時紹介する。

科目名	社会保障Ⅱ			授業コード	121494B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	13C222P02	AL 科目	○
担当者	末永 恭 (非常勤講師)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソ-No.	この科目は、社会福祉士国家試験の指定科目である。厚生労働省から以下 6 つのねらいが提示されている。 ①社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて理解する。 ②現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解する。 ③社会保障制度の財政について理解する。 ④公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。 ⑤社会保障制度の体系と概要について理解する。 ⑥諸外国における社会保障制度の概要について理解する。 この科目では、社会保障制度を理解することとおして、福祉実践力(DP(3))の涵養をはかることを目標にする。さらに講義の中 で SGD を実施して、コミュニケーション能力(DP(4))の向上をはかる。くわえて、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するた め、他の科目も含めて体系的・系統的に学ぶ(CP(5))ことも目標とする。						
学修目標	1) 社会保障制度の体系を把握する～医療保険制度の体系を説明することができるようになる。 2) 社会保障制度の体系を把握する～介護保険制度の体系を説明できるようになる。 3) 社会保障制度の体系を把握する～年金保険制度の体系を説明することができる。 4) 社会保障制度の体系を把握する～労働者災害補償保険と雇用保険の体系を説明することができる。 5) 社会保障制度の体系を把握する～生活保護制度の概要を説明することができる。 6) 社会保障制度の体系を把握する～社会手当制度の概要を説明することができる。 7) 社会保障制度の体系を把握する～社会福祉制度の概要を説明することができる。 8) 諸外国における社会保障制度の理解～諸外国の社会保障制度を、わが国の制度と比較して、各国の特徴を説明することが できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(末永)は、社会福祉士及び精神保健福祉士として、精神科病院や障害児・者施設等での実践現場 5 年以上の経験に 基づき社会保障に関する基本的概念や制度の変遷、最新の動向などを含めた基本的知識を習得することを目的に授業を行う。						
評価方法	毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を 30%及び後期末試験 70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	シラバスに掲載されている学修予定を確認して、テキストの該当部分を予習すること。 くわえて、厚生労働省 web ページなどインターネットを活用して、事前に必要な法令や制度を確認すること。これらに 90 分以上 の予習時間が必要である。 講義後は、自身が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に 90 分以上を費やす必要 がある。 講義中口頭質問を多用するので、積極的に自身の考えや意見を述べるようにすること。また、必要に応じて SGD も実施する。						
オフィスアワー	時間割が確定次第、告知する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	医療保険制度の概要・体系・種類等を自分の状況と照らし合わせて理解する				講義・SGD	末 永
2	1)	医療保険制度の具体的な流れや支払い方法等について理解する				講義・SGD	末 永
3	2)	介護保険制度の概要について、近年の高齢者福祉の動向と照らし合わせながら理解する				講義・SGD	末 永
4	2)	介護保険制度の詳細について、最新の情報を調べて理解を深める				講義・SGD	末 永
5	3)	年金制度の概要について、種類や加入状況、給付状況など最新の情報を調べて把握する				講義・SGD	末 永
6	3)	年金制度の種類について、それぞれの特徴や概要を理解する。				講 義	末 永
7	4)	労働災害保険と雇用保険制度の概要について、実際の現状と照らし合わせながら理解する				講義・SGD	末 永
8	4)	労働災害保険と雇用保険の実践について、事例をあげながら詳細を把握する				講 義	末 永
9	5)	生活保護制度の歴史的な流れや、現在の制度の概要(原理・原則)について理解する				講 義	末 永
10	5)	生活保護法の実践を学び、関連施策についても理解を深める				講 義	末 永
11	6)	社会手当制度の概要について、家族関係の社会的背景とリンクさせながら理解する				講義・SGD	末 永
12	7)	社会福祉制度の概要について、歴史的背景も含めて時系列的に理解する				講 義	末 永
13	8)	海外の社会保障制度を学ぶ				講 義	末 永
14	8)	海外の社会保障制度と我が国の社会保障制度を比較する				講 義	末 永
15	1)～8)	社会保障に関する総まとめとして、社会保障制度の全体像を把握する				講義・SGD	末 永
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 7 社会保障(日本ソーシャルワーク学校連盟編集)中央法規出版 ISBN978-4-8058-8237-5					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない。					

科目名	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ			授業コード	121668B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	13C221P05	AL 科目	○
担当者	児崎 友美(講師)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	今般の新カリキュラムの改正により、社会福祉士と精神保健福祉士の共通科目が拡充され、「相談援助」の名称が「ソーシャルワーク」に変更された。国による社会福祉・社会保障施策に注目すると、その潮流は、「地域共生社会の実現」「我が事・丸ごと」「制度横断的」「包括的な相談支援体制の構築」「住民主体の地域課題解決体制の構築」等をキーワードとして確認できる。このような流れにおいて、地域共生社会の実現を推進する観点からソーシャルワークの機能や社会福祉士や精神保健福祉士といったソーシャルワーク専門職への社会的期待が高まっていることが窺える。 両資格に共通するソーシャルワークの実践基盤となる人と環境の交互作用に関する理論やソーシャルワークの一連のプロセス等について、深く学ぶことを目的とする。 (臨福 DP:②、⑤、 スポ DP:③、④、 心理 DP:①、⑥)						
学修目標	1)システム理論の成り立ちやソーシャルワーク分野におけるシステム理論について説明できる。 2)生態学理論やバイオ・サイコ・ソーシャルモデル、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて説明できる。 3)ケース発見やエンゲージメントにおけるソーシャルワーカーの役割について説明できる。 4)アセスメントの意義や目的について説明できる。 5)アセスメントの方法や留意点を説明できる。 6)プランニングの意義と目的やプランニングのプロセスについて説明できる。 7)プランニングの方法や留意点を説明できる。 8)支援の実施やモニタリングを説明できる。 9)効果測定について説明できる。 10)支援の終結や支援の結果評価について説明できる。 11)アフターケアについて説明できる。 12)ソーシャルワークの実践モデルとアプローチの考え方について説明できる。 13)治療モデルやストレングスモデル、生活モデルについて説明できる。 14)心理社会的アプローチや機能的アプローチ、問題解決アプローチについて説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当社は、福祉現場である特別養護老人ホームに3年、地域包括支援センターに13年という期間、社会福祉士として実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、実践においてソーシャルワーク理論や援助技術をどのように用いるのか事例を使いながらより具体的な理解を促す。						
評価方法	* 定期試験を 70% * 出席時に毎回提出するレポート、提出物(課題など)を 10% * 授業中随時行う小テストや中間テストを 20%とし、総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	事前に必ずテキストを読んでくること。 授業前後に関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。 プリントを配布するためファイル等を準備し、しっかりと管理すること。						
オフィスアワー	授業開始前後1時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【ソーシャルワークの理論と方法の講義オリエンテーション】				講義・SGD	児 崎
2	1)	【人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク】 システム理論の成り立ちやソーシャルワーク分野におけるシステム理論を学ぶ。				講 義	児 崎
3	2)	【人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク②】 生態学理論やバイオ・サイコ・ソーシャルモデル、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて学 ぶ。				講 義	児 崎
4	4)	【ソーシャルワークの過程/ケース発見とエンゲージメント】 ケース発見やエンゲージメントにおけるソーシャルワーカーの役割について学ぶ。				講 義	児 崎
5	5)	【ソーシャルワークの過程/アセスメント】 アセスメントの意義や目的について学ぶ。				講 義	児 崎
6	6)	【ソーシャルワークの展開/アセスメント②】 アセスメントの方法や留意点を学ぶ。				講 義	児 崎
7	7)	【ソーシャルワークの過程/プランニング①】 プランニングの意義と目的やプランニングのプロセスを学ぶ。				講 義	児 崎
8	8)	【ソーシャルワークの過程/プランニング②】 プランニングの方法や留意点を学ぶ。				講 義	児 崎
9	9)	【ソーシャルワークの過程/支援実施とモニタリング】 支援の実施やモニタリングを学ぶ。				講 義	児 崎
10	10)	【ソーシャルワークの過程/支援の実施とモニタリング②】 効果測定について学ぶ。				講 義	児 崎
11	11)	【ソーシャルワークの過程/支援の終結と結果評価、アフターケア①】 支援の終結や支援の結果評価について説明学ぶ。				講 義	児 崎
12	12)	【ソーシャルワークの過程/支援の終結と結果評価、アフターケア②】 アフターケアについて学ぶ。				講 義	児 崎
13	13)	【ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ①】 ソーシャルワークの実践モデルとアプローチの考え方について学ぶ。				講 義	児 崎
14	14)	【ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ②】 治療モデルやストレングスモデル、生活モデルについて学ぶ。				講 義	児 崎

15	14)	【ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ③】 心理社会的アプローチや機能的アプローチ、問題解決アプローチを学ぶ。	講義	児崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		12 ソーシャルワークの理論と方法〔共通科目〕(一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集) 中央法規【978-4-8058-8242-9】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ			授業コード	121669B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	13C222P03	AL 科目	○
担当者	児崎 友美(講師)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	今般の新カリキュラムの改正により、社会福祉士と精神保健福祉士の共通科目が拡充され、「相談援助」の名称が「ソーシャルワーク」に変更された。国による社会福祉・社会保障施策に注目すると、その潮流は、「地域共生社会の実現」「我が事・丸ごと」「制度横断的」「包括的な相談支援体制の構築」「住民主体の地域課題解決体制の構築」等をキーワードとして確認できる。このような流れにおいて、地域共生社会の実現を推進する観点からソーシャルワークの機能や社会福祉士や精神保健福祉士といったソーシャルワーク専門職への社会的期待が高まっていることが窺える。 両資格に共通するソーシャルワークの実践基盤となる人と環境の交互作用に関する理論やソーシャルワークの一連のプロセス等について、深く学ぶことを目的とする。 (臨福 DP:②、⑤、 スポ DP:③、④、 心理 DP:①、⑥)						
学修目標	1)ソーシャルワークの実践モデルとアプローチを説明できる。 2)ソーシャルワークの面接の意義と目的を説明できる。 3)ソーシャルワーク面接の方法と実際を説明できる。 4)ソーシャルワークの記録の意義と目的を説明できる。 5)ソーシャルワークの記録内容と記録のフォーマットを説明できる。 6)ケアマネジメントの原則や意義、方法を説明できる。 7)グループワークの意義や目的を説明できる。 8)グループワークの展開過程やグループワークとセルフヘルプグループを説明できる。 9)コミュニティワークの意義や目的、展開について説明できる。 10)コミュニティワークの理論的系譜を説明できる。 11)ソーシャルアドミニストレーションの概念や意義、組織介入・組織改善の実践モデル、財政の確保を説明できる。 12)ソーシャルアクションの概念とその意義やコミュニティ・オーガナイズングを説明できる。 13)スーパービジョンの意義、目的、方法を説明できる。 14)コンサルテーションの意義、目的、方法を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、福祉現場である特別養護老人ホームに3年、地域包括支援センターに13年という期間、社会福祉士として実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、事例を通して実践に近い面接場面を設け、さらにアセスメントや記録方法等ソーシャルワークに必要な具体的な技術の習得を目的とした授業を行う。						
評価方法	* 定期試験を 70% * 出席時に毎回提出するレポート、提出物(課題など)を 10% * 授業中随時行う小テストや中間テストを 20%とし、総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	学生は授業前後に4時間の予習復習時間をもつこと 授業前に必ずテキストを読んでくること プリントを配布するためファイル等を準備し、しっかりと管理すること。						
オフィスアワー	授業前後1時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【ソーシャルワークの理論と方法 講義のオリエンテーション、ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ?】 行動変容アプローチ、認知アプローチ、危機介入アプローチを学ぶ。				講義・SGD	児 崎
2	2)	【ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ②】 エンパワメントアプローチ、ナラティブアプローチ、解決志向アプローチ、さまざまなアプローチを学ぶ。				講 義	児 崎
3	3)	【ソーシャルワークの面接?】 面接の意義と目的を学ぶ。				講 義	児 崎
4	4)	【ソーシャルワークの面接②】 ソーシャルワーク面接の方法と実際を学ぶ。				講 義	児 崎
5	5)	【ソーシャルワークの記録?】 ソーシャルワークの記録の意義と目的を学ぶ。				講 義	児 崎
6	6)	【ソーシャルワークの記録②】 ソーシャルワークの記録内容と記録のフォーマットを学ぶ。				講 義	児 崎
7	7)	【ケアマネジメント】 ケアマネジメントの原則や意義、方法を学ぶ。				講 義	児 崎
8	8)	【グループを活用した支援?】 グループワークの意義や目的を学ぶ。				講 義	児 崎
9	9)	【グループを活用した支援②】 グループワークの展開過程やグループワークとセルフヘルプグループを学ぶ。				講 義	児 崎
10	10)	【コミュニティワーク①】 コミュニティワークの意義や目的、展開について学ぶ。				講 義	児 崎
11	11)	【コミュニティワーク②】 コミュニティワークの理論的系譜を学ぶ。				講 義	児 崎
12	12)	【ソーシャルアドミニストレーション】 ソーシャルアドミニストレーションの概念や意義、組織介入・組織改善の実践モデル、財政の確保を学ぶ。				講 義	児 崎
13	13)	【ソーシャルアクション】 ソーシャルアクションの概念とその意義やコミュニティ・オーガナイズングを学ぶ。				講 義	児 崎
14	14)	【スーパービジョンとコンサルテーション①】 スーパービジョンの意義、目的、方法を学ぶ。				講 義	児 崎
15	14)	【スーパービジョンとコンサルテーション②】 コンサルテーションの意義、目的、方法を学ぶ。				講 義	児 崎

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	12 ソーシャルワークの理論と方法〔共通科目〕(一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集) 中央法規【978-4-8058-8242-9】
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ			授業コード	121670B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科 (3 年)			ナンバリング	13C321P01	AL 科目	○
担当者	鹿嶋 隆志(非常勤講師)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	相談援助の過程を理解し、個人、家族、小集団・組織、地域社会といったクライアント・シスエムに対して、社会福祉士がソーシャルワーカーとしていかに対応していくかの実践力を有する力を身につけるために、福祉課題を抱えた者からの相談への対応や、これを受けて総合的かつ包括的にサービスを提供することの必要性及びその具体的方法にかかわる知識・技術を修得する。						
学修目標	1) 相談援助における対象について説明できる。 2) 総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークとは何かを理解できる。 3) ソーシャルワークにおける援助関係の形成における意義・概念・方法と留意点について理解できる。 4) ネットワークにおけるネットワーキングとネゴシエーションについて理解できる。 5) ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発について理解ができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(鹿嶋)は、社会福祉士として知的障がい、児童(スクールソーシャルワーカー)、成年後見活動等での実践を 25 年して参りました。その経験に基づき、実務に必要な相談援助の理論と方法についての知識を習得することを目的に指導を行います。						
評価方法	授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度、SGD での参加状況)の評価を3割、学期末の単位認定試験を 7 割として、包括的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	ソーシャルワークの基盤と専門職及びソーシャルワークの理論と方法を十分復習して授業に臨むこと。 遅刻・私語は厳禁。 1 回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して45時間の予習復習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割が確定後研究室に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	相談援助における対象について(ソーシャルワーカーの立ち位置とアプローチ)理解する。				講 義	鹿 嶋
2	1)	総合的かつ包括的な支援の考え方(多様化・複雑化した生活課題への対応プロセスとスキル)を学ぶ。				講義・SGD	鹿 嶋
3	2)	家族支援の基礎的な理論とツールを学ぶ。				講 義	鹿 嶋
4	2)	地域支援の必要な知識とスキルを学ぶ。				講 義	鹿 嶋
5	2)	非常時や災害時支援の実際(目的と留意点)を学ぶ。				講義・SGD	鹿 嶋
6	3)	援助関係形成の意義と概念(クライアントシステムとソーシャルワークの実践レベル)を学ぶ。				講義・SGD	鹿 嶋
7	3)	援助関係の形成方法と留意点(自己覚知と他者理解)を学ぶ。				講 義	鹿 嶋
8	3)	援助関係の形成方法と留意点(クライアントシステムとの援助関係の形成)を学ぶ。				講義・SGD	鹿 嶋
9	4)	ネットワークの構築プロセスと手法について学ぶ。				講 義	鹿 嶋
10	4)	コーディネーションの意義と目的及び地域共生社会としてのソーシャルキャピタルについて学ぶ。				講義・SGD	鹿 嶋
11	4)	地域福祉推進のための総合的なネットワークの形成とシステム化を考える。				講義・SGD	鹿 嶋
12	5)	社会資源の活用、調整、開発の意義や目的、方法を知る。				講義・SGD	鹿 嶋
13	5)	クライアントの権利を擁護していくソーシャルアクションの方法を知る。				講 義	鹿 嶋
14	5)	社会資源開発に必要なソーシャルワーカーのスキルについて理解する				講 義	鹿 嶋
15	5)	地域共生社会を目指すジェネラリストソーシャルワーカーとしての役割について考える。				講 義	鹿 嶋
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法【社会専門】 中央法規出版株式会社【978-4-8058-8249-8】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ			授業コード	121671B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C322P01	AL 科目	○
担当者	鹿嶋 隆志(非常勤講師)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	個人、家族、小集団・組織、地域社会といったクライアント・システムに対して、社会福祉士がソーシャルワーカーとしていかに対 応していくかの実践力を有する力を身につけるために、福祉課題を抱えた者からの相談への対応や、これを受けて総合的かつ 包括的にサービスを提供することの必要性及びその具体的方法にかかわる知識・技術を修得する。						
学修目標	1) 社会福祉士としての業務や実践における会議について説明する。 2) 事例分析から検討並びに研究の重要性について理解する。 3) ネゴシエーションについて説明できる。 4) コンフリクト・レゾリューションについて説明ができる。 5) ファシリテーションについて説明ができる。 6) プレゼンテーションについて説明ができる。 7) ソーシャルマーケティングについて説明ができる。 8) 地域共生社会におけるソーシャルワーカーとしての役割を説明する。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(鹿嶋)は、社会福祉士として知的障がい、児童(スクールソーシャルワーカー)、成年後見活動等での実践を 25 年して 参りました。その経験に基づき、実務に必要な相談援助の理論と方法についての知識を習得することを目的に指導を行います。						
評価方法	授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態 度、SGD の参加状況)の評価を3割、学期末の単位認定試験を 7 割として、包括的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	ソーシャルワークの基盤と専門職及びソーシャルワークの理論と方法を十分復習して授業に臨むこと。 遅刻・私語は厳禁。 1 回の授業ごとに、4 時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを 利用して45時間の予習復習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割が確定後研究室に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	会議の種類と方法について理解する。				講 義	鹿 嶋
2	1)	ミクロ・メゾ・マクロの会議について理解する。				講義・SGD	鹿 嶋
3	2)	事例分析について理解する。				講 義	鹿 嶋
4	2)	事例検討について理解する。				講 義	鹿 嶋
5	2)	事例研究について理解する。				講 義	鹿 嶋
6	3)	ネゴシエーションのプロセスについて理解する。				講義・SGD	鹿 嶋
7	4)	コンフリクト・レゾリューションに向けた方法について理解する。				講 義	鹿 嶋
8	5)	ファシリテーションプロセスについて理解する。				講義・SGD	鹿 嶋
9	6)	プレゼンテーションの方法と留意点について理解する。				講 義	鹿 嶋
10	7)	ソーシャル・マーケティングのプロセスについて理解する。				講義・SGD	鹿 嶋
11	8)	地域福祉推進のための総合的なネットワークの形成とシステム化を考える。				講 義	鹿 嶋
12	8)	社会資源の活用、調整、開発の意義や目的、方法を知る。				講 義	鹿 嶋
13	8)	クライアントの権利を擁護していくソーシャルアクションの方法を知る。				講 義	鹿 嶋
14	8)	相談援助における個人情報の保護の基礎的知識を理解する。				講 義	鹿 嶋
15	8)	相談援助における情報通信技術(ICT)の活用を知る。				講 義	鹿 嶋
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法【社会専門】 中央法規出版株式会社【978-4- 8058-8249-8】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	権利擁護を支える法制度			授業コード	121672B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2 年)・臨床心理学部(2 年)			ナンバリング	13C222P04	AL 科目	○
担当者	日田 剛(福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	「権利」とは何か、その根源的な意味を問い直し、憲法、民法、行政法の基本的な知識を習得し、相談援助を展開する上で、想定される法律問題に対応ができる。また、具体的に成年後見制度や関連制度の内容を理解し、誰のための何の権利擁護を実践しなければならないのかが明らかにできる。この科目での学習を通して社会福祉士として果たすべき使命と役割を理解し、鋭い人権感覚を養うことができる(DP3)。						
学修目標	1)憲法、民法、行政法が生活にどのように関わっているか説明できる。 2)成年後見制度の基本的な仕組みや申立ての流れを理解し、その特性、最近の動向を把握できる。 3)日常生活自立支援事業の概要を理解し、成年後見制度と関連付けて把握できる。 4)成年後見利用支援事業の概要を理解し、問題点を指摘できる。 5)利用者の権利擁護を図るために、専門機関、専門職がどのように連携しているのか説明できる。 6)権利擁護にかかわる専門職の役割と社会福祉士の立ち位置を確認できる。 7)判断能力の不十分な高齢者、障害者を支援する社会福祉士の活動の実際を理解し、その重要性を把握できる。 8)事例を通じて権利擁護の実践について具体的にイメージすることができる。						
実務経験のある 教員による教育	実務経験(成年後見人等 10 年)のある担当教員(日田)による実践に即した内容の講義である。						
評価方法	科目単位認定試験および授業後に提出させるレポート課題により評価。						
準備学習・ 履修上の注意等	講義時には教科書を使用するため必ず持ってくる。1 コマ当たり 4 時間を目安に予習・復習を行うこと。その他、毎授業後にレポートを提出すること。						
オフィスアワー	後日連絡						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【相談援助の活動と法①】 「権利」とは、「権利擁護」とは何かを考える。その上で権利擁護に向けた相談援助の活動において想定される法律問題を列挙できる。				講 義	日 田
2	1)	【相談援助の活動と法②】 社会福祉士として権利擁護の役割を担うための法制度はどのようなものがあるのか理解し、説明できる。				講 義	日 田
3	2)	【成年後見制度①】 成年後見制度の基本的な仕組みや申立ての流れを学習することによって、社会福祉士が成年後見制度の担い手として、法律専門職とともに権利擁護の役割を果たす意味は何かを説明できる。				講 義	日 田
4	2)	【成年後見制度②】 最近の動向を踏まえ、後見事務のあり方など制度の課題を列挙できる。				講 義	日 田
5	3)	【日常生活自立支援事業①】 日常生活自立支援事業が成年後見制度と車の両輪と位置づけられるのは何故なのかを説明できる。				講 義	日 田
6	3)	【日常生活自立支援事業②】 成年後見制度との相違点や特徴を列挙でき、この両者は相互に補完し合う形で機能を果たしていることを説明できる。				講 義	日 田
7	4)	【成年後見制度利用支援事業①】 経済的理由で費用や報酬の支払いができない人は、成年後見制度を利用できないといった事態に陥るため、市長村が行う成年後見制度の利用を支援する事業を創設したがその変遷を説明できる。				講 義	日 田
8	4)	【成年後見制度利用支援事業②】 福祉行政が経済的理由で費用や報酬の支払いができない人に対してどのように支援していくかを説明できる。				講 義	日 田
9	5)	【権利擁護にかかわる組織・団体①】 成年後見制度の根幹である家庭裁判所の役割を列挙できる。				講 義	日 田
10	5)	【権利擁護にかかわる組織・団体②】 制度を支える法務局、市長村、社会福祉協議会、児童相談所の役割を列挙でき、社会福祉士の役割と業務内容を説明できる。				講 義	日 田
11	6)	【権利擁護にかかわる専門職の役割①】 成年後見制度を含めた権利擁護制度にかかわる弁護士、司法書士、公証人、医師の役割を説明できる。				講 義	日 田
12	6)	【権利擁護にかかわる専門職の役割②】 社会福祉の活動の実際を理解し、第三者であるいずれの専門職においても鋭い人権感覚が必要であることが説明できる。				講 義	日 田
13	7)	【成年後見活動の実際①】 認知症を有する高齢者の虐待事例や重度知的障がい者の虐待事例から成年後見活動の実際を理解し、支援の留意点を説明できる。				講 義	外部講師
14	7)	【成年後見活動の実際②】 市長村長申立ての事例を理解することによって、より明確な成年後見人等の役割と市長村の役割を説明できる。				講 義	外部講師
15	1)2)5) 6)8)	【権利擁護活動の実際】 ソーシャルワーク実践は、児童から高齢者、障がい者、ホームレスの人などを対象にした幅の広い支援が必要であり、そのためには医療や福祉の知識だけでなく、総合的な知識が必要なことを、事例を通して理解し、社会福祉士という専門職の価値と原則の具体化とはどういうことなのかを説明できる。				講 義	日 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座9 権利擁護を支える法制度 中央法規					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	社会福祉調査の基礎			授業コード	121673B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科 3 年・臨床福祉学科 3 年・臨床心理学科 3 年			ナンバリング	13C321P02	AL 科目	○
担当者	三宮 基裕(福・臨)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】社会福祉調査の意義・目的や歴史的変遷、調査を実施するための具体的方法、実施するうえで配慮すべき点などについて学び、社会福祉調査の基礎を修得する。 【一般目標(GIO)】社会福祉調査の意義・目的と歴史的変遷、関連法律、調査・研究者としての倫理を理解するとともに、量的研究と質的研究という二つの研究方法の概要、実際の手続き、それぞれの長所と短所を修得し、社会福祉調査が実践できるようになる。 【対応するポリシーNo.】 臨床福祉学科:DP(6)、CP1(5)、CP3(1) スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3) 臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)						
学修目標	1) 社会福祉調査の意義と目的について説明できる 2)社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係について説明できる 3)社会福祉調査における倫理や個人情報保護について説明できる 4)量的調査の方法及び調査の結果について説明できる 5)質的調査の方法及び調査の結果について説明できる 6)ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について説明できる						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	単元ごとに予習プリントの提出を求める。また、各回の授業で学習内容の確認テストを行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(予習プリントの提出率、確認テストの得点率、授業への参加)を 30%及び学期末の単位認定試験を 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業内容の項目について、教科書を読み予習しておくこと。 復習として講義で学んだ内容を教科書で確認し、配布資料等を整理しておくこと。※単位認定試験は教科書のみ持ち込みを認める						
オフィスアワー	月・火・水・16:00～17:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)6)	社会福祉調査の意義				講 義	三 宮
2	1)6)	ソーシャルワークと社会福祉調査				講 義	三 宮
3	1)2)	社会福祉調査の種類と歴史				講 義	三 宮
4	1)4)5)	社会福祉調査の方法				講 義	三 宮
5	1)4)5)	サンプリング				講 義	三 宮
6	4)5)	量的・質的調査の種類				講 義	三 宮
7	4)5)	質問紙の作成				講 義	三 宮
8	4)	量的調査の集計と分析1(尺度とデータの視覚化)				講 義	三 宮
9	4)	量的調査の集計と分析2(記述統計量)				講 義	三 宮
10	4)	量的調査の集計と分析3(検定と解析)				講 義	三 宮
11	5)	質的調査の方法と記録				講 義	三 宮
12	5)	質的調査の分析方法				講 義	三 宮
13	3)	統計法				講 義	三 宮
14	3)	社会福祉調査における倫理と個人情報保護				講 義	三 宮
15	6)	ソーシャルワークにおける評価の意義と方法				講 義	三 宮
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座5 社会福祉調査の基礎(一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟＝編集) 中央法規出版 【978-4-8058-8235-1】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時間内に紹介					

科目名		保健医療と福祉			授業コード	121674B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科、3 年			ナンバリング	13C321P03	AL 科目	○
担当者		藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		保健医療サービスにおいて社会福祉士が利用者の生活の質の向上に貢献できるよう、保健医療制度、保健医療サービスの知識や医療機関及び特徴を学習する。近年、専門職・機関の多職種他機関連携が求められていることから、連携をキーワードに社会福祉士の役割について理解を深める。福 DP2～4						
学修目標		1) ソーシャルワーク実践において必要となる保健医療の動向を理解する。 2) 保健医療にかかわる政策、制度、サービスについて理解する。 3) 保健医療領域にかかわる社会福祉士の役割、連携・協働について理解する。 4) 保健医療の課題をもつ人に対する社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし						
評価方法		定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		教科書は必ず熟読し、予習・復習をすること。						
オフィスアワー		研究室前に提示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)4)	保健医療の課題をもつ人の理解					講 義	藤 原
2	1)4)	患者の権利					講 義	藤 原
3	1)	医療倫理と倫理的課題					講 義	藤 原
4	1)	患者の意思決定をめぐる課題					講 義	藤 原
5	1)	疾病構造の変化					講 義	藤 原
6	1)	入院医療から在宅医療へ					講 義	藤 原
7	1)2)	保健医療における福祉的課題 1					講 義	藤 原
8	1)2)	保健医療における福祉的課題 2					講 義	藤 原
9	2)	保健医療制度の概要					講 義	藤 原
10	2)	保健医療対策の概要					講 義	藤 原
11	3)	保健医療領域における専門職の役割					講 義	藤 原
12	3)	保健医療領域における連携・協働					講 義	藤 原
13	3)	保健医療領域における社会福祉士の役割					講 義	藤 原
14	4)	保健医療領域における支援の実例 1					講 義	藤 原
15	4)	保健医療領域における支援の実例 2					講 義	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座5 保健医療と福祉』中央法規、2021、ISBN 978-4-8058-8248-1					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			随時紹介する。					

科目名	福祉サービスの組織と経営			授業コード	121502B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	13C322P02	AL 科目	○
担当者	川崎 順子(福・福)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	新たな時代における福祉サービスの提供組織とその新たな経営モデルの必要性が叫ばれる中で、社会福祉士は、従来からの相談援助を中心とした職務から、幅広く福祉サービス全体の運営管理にかかわっていくことが期待される。また、地域共生社会づくりが求められている今日、利用者と地域をつなぎ、地域の包摂力を高め、地域をつくる福祉マネジメント能力が期待されている。そのために、福祉サービスの組織と経営のあり方を理解し、新たな社会福祉実践の視点の獲得と関連する知識・技術を修得する。臨床 DP(2) (3) (5)(6)、スポ DP(1)(3)(4)、心理 DP(1)(3)(6)						
学修目標	1)福祉サービスにかかわる組織や団体の概要と役割について理解し、福祉サービスの沿革や組織間連携のあり方について説明できる。 2)福祉サービスの組織と経営の基礎理論について説明できる。 3)福祉サービス提供組織の経営と実際について理解し、適切な福祉サービスの経営について説明できる。 4)福祉人材のマネジメントについて理解し、福祉人材の育成や働きやすい労働環境について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(川崎)は、社会福祉士の資格を有し、社会福祉法人の経営やサービス現場への支援(社会福祉協議会)での 5 年以上の実務経験に基づき、実践的な視点から「福祉サービスの組織と経営」にかかわる知識と方法の習得を目的とした授業を行う。						
評価方法	授業後における小レポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(小レポート及び確認テスト、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を 7 割として、包括的に評価する						
準備学習・ 履修上の注意等	国家資格試験対象科目なのでテキスト以外の文献についても自己学習を進めること。また予習・復習をしっかりとやること。						
オフィスアワー	後日、オフィスアワー時間を設定し、研究室に掲示する						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	ーガイダンス(講義の概要と予定)ー 福祉サービスの組織と経営とは 1.福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割 ①福祉サービスを提供する組織 ・社会福祉法人について理解する。				講義・SGD	川 崎
2	1)	・特定非営利活動法人(NPO 法人)、医療法人、その他の法人や団体について理解する。				講 義	川 崎
3	1)	②福祉サービスの沿革と概要 ・福祉サービスの歴史を知る。 ・社会福祉制度にかかわる各種改革の概要を理解する。 ・公益的活動の推進について理解する。				講 義	川 崎
4	1)2)	③組織間連携と促進 ・組織間連携と基礎理論を理解する。 ・組織間連携の意義とマネジメントの要素を理解する。				講 義	川 崎
5	2)3)	2.福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論 ①組織運営に関する基礎理論 ・社会福祉分野における組織の特徴と組織に関する基礎理論を理解する。 ・組織における三要素、コンフリクトへの対応、モチベーションと組織の活性化について理解する。				講 義	川崎・外部講師
6	2)3)	②集団の力学に関する基礎理論 ・集団力学について理解する。 ・チーム機能とチームアプローチについて理解する。				講 義	川 崎
7	2)3)	③リーダーシップに関する基礎理論 ・リーダーとは何か、代表的なリーダーシップ理論について理解する。 ・福祉サービスにおけるリーダーシップ、フォローシップについて理解する。				講義・SGD	川 崎
8	2)3)	3.福祉サービス提供組織の経営と実際 ①経営体制 ・社会福祉法人と株式会社の経営体制の違いを知る。 ② 福祉サービス提供組織のコンプライアンスとガバナンス ・コンプライアンスとガバナンスについて理解する。				講 義	川 崎
9	2)3)	③適切な福祉サービスの経営管理 ・福祉経営における理念と戦略を理解する。 ・福祉経営におけるマーケティングについて理解する。				講 義	川 崎
10	2)3)	・苦情対応とリスクマネジメントの方法を考える。 ・サービスの質の向上と適正なサービスマネジメントを考える。				講義・SGD	川 崎
11	4)	④情報管理 ・福祉サービスの経営・運営と情報の担う役割について考える。 ・福祉サービスの情報の管理と運営について考える。				講 義	川 崎
12	2)3)	⑤会計管理と財務管理 ・財務管理・会計管理の基礎を理解する。				講 義	川 崎
13	2)3)	・福祉サービスの財源を知る。 ・社会福祉法人の財務諸表について理解する。				講 義	川 崎
14	4)	4.福祉人材のマネジメント ①福祉人材のマネジメント ・福祉人材マネジメントの基本を知る。 ・福祉人材マネジメントの方法を理解する。				講 義	川 崎

		② 福祉人材の育成 ・経営組織における福祉人材育成について理解する。 ・キャリアパスの構築とキャリアアップ支援について理解する。		
15	1)2)3)4)	③働きやすい労働環境の整備についてを理解する。 ・働きやすい労働環境の整備について理解する。 ― 講義の振り返り―	講義	川崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編集) 最新・社会福祉士養成講座1「福祉サービスの組織と経営」中央法規出版【978-4-8058-8244-3】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。必要に応じて参考資料を提供する。		

科目名	刑事司法と福祉			授業コード	121675B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科、3 年			ナンバリング	13C322P03	AL 科目	○
担当者	藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	更生保護は、犯罪を犯した者や非行少年の立ち直りを支援し、再び犯罪や非行に陥ることがないように、地域社会の中で必要 な指導や助言、円滑な社会復帰や社会的自立を支援することを目的としている。本講義では、更生保護制度に関わる制度、更 生保護制度の担い手、関係機関・団体との連携について理解する。また、司法領域でソーシャルワークが必要とされる根拠と背 景、更生保護における近年の動向と課題に関する知識の習得を目指す。福 DP2～4						
学修目標	1) 司法分野でソーシャルワークが必要となった背景を説明することができる。 2) 相談援助活動において必要となる更生保護制度について理解する。 3) 更生保護を中心に、刑事司法・少年司法分野で活動する組織、団体及び専門職について理解する。 4) 犯罪被害者支援分野で活動する組織、団体及び専門職について理解する。 5) 刑事司法・少年司法分野の他機関等との連携の在り方について理解する。 6) 司法分野でソーシャルワークの実際と今後の展望を具体的にイメージし、描けることができる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	毎授業後に次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	刑事司法における近年の動向				講 義	藤 原
2	1)	社会と犯罪				講 義	藤 原
3	1) 2) 3)	犯罪原因論と対策				講 義	藤 原
4	2)3)	刑罰とは何か 刑罰制度の歴史、刑罰の種類と適用の状況				講 義	藤 原
5	2)3)	刑事司法 刑事手続の概要				講 義	藤 原
6	3)5)	少年司法				講 義	藤 原
7	3)5)	施設内処遇① 成人				講 義	藤 原
8	3)5)	施設内処遇② 少年				講 義	藤 原
9	3)5)	社会内処遇① 更生保護の理念と概要				講 義	藤 原
10	3)5)	社会内処遇② 更生保護の実際				講 義	藤 原
11	6)	多様なニーズを有する犯罪行為者① 精神障害者を対象とした医療観察制度				講 義	藤 原
12	6)	多様なニーズを有する犯罪行為者② 高齢者・障害者による犯罪・非行と福祉				講 義	藤 原
13	6)	多様なニーズを有する犯罪行為者③ アディクションを抱える人と刑事司法				講 義	藤 原
14	4)	犯罪被害者等支援				講 義	藤 原
15	1) 5)6)	コミュニティと刑事司法				講 義	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編「最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座 10 刑事司法と福祉」中央法規出版、2021					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		随時紹介する。					

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅰ			授業コード	121676A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2年) 臨床心理学部 臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	13C221P06	AL 科目	○
担当者	川崎 順子(福・福)、清水 径子 (福・福)、児崎 友美(福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得する臨床 DP(3)、スポ DP(3)、心理 DP(3)。 専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 相談援助演習Ⅰでは、基本的な援助者としてのあり方を問い、価値観の相違や自己理解、他者理解を通して自己覚知を行うとともに、基本的な面接技術・コミュニケーション技法を習得する臨床 DP(4)、スポ DP(1)、心理 DP(2)。 授業は、個別指導ならびに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイ等)を中心とする演習形態で行う。臨床 DP(4)、スポ DP(3)、心理 DP(2)						
学修目標	1) 自己覚知を行い、自身の援助者としてのあり方が説明できる。 2) 基本的なコミュニケーション技術を習得する。 3) ソーシャルワークの対象領域を理解し、基本的な援助技術を習得する。 4) フィールドワークを通して面接体験を試みる。 * 木城町連携推進事業により実践場面で体験する。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(川崎・清水・児崎)は、いずれも相談援助の実現場 5 年以上の経験に基づき、相談援助における基本的面接技術を修得することを目的として授業を行う。						
評価方法	授業中における演習実施中の態度 50%、レポート課題などを 50%とし、統合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は履修すること 履修を可能とする関連科目の履修条件が設定されているため、該当科目を確認すること 演習授業では、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。 授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき 4 時間程度の予習復習をすること。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。				演 習	全 員
2	1)2)	自己覚知① 自己紹介、他者紹介を通して自己観察を行い、自分を理解する。				演 習	全 員
3	1)2)	自己覚知② 他者との価値観の違いを学び、自身と専門職としての価値観の置き方を理解する。				演 習	全 員
4	1)2)	コミュニケーション技法① コミュニケーションの基本形を体験的に理解する。(言語的・非言語的)				演 習	全 員
5	1)2)	コミュニケーション技法② 基本的応答技法を理解する 初回面接の基本的応答をロールプレイで行い、面接技法を理解する。				演 習	全 員
6	1)2)	カードワーク法① 人と環境との相互作用について、構造化を試み関係性を理解する				演 習	全 員
7	1)2)	カードワーク法② カードワーク法を用いて構造化した関連図から、人と環境との相互作用のあり方を理解する。				演 習	全 員
8	1)2)3)	ソーシャルワークの理解① 対象領域におけるソーシャルワーカーの具体的実践場面を理解する。(DVD 視聴・SGD)				演 習	全 員
9	1)2)3)	ソーシャルワークの理解② 対象領域におけるソーシャルワーカーの具体的実践場面を理解する。(先輩との面談・SGD)				演 習	全 員
10	1)2)3)	ソーシャルワークの理解③ ソーシャルワーク実践の具体的イメージを深め、自身の関心領域を明確にする。フィールドワークの事前準備に入る。				演 習	全 員
11	1)2)3)	フィールドワーク事前準備 調査方法の準備を行う。				演 習	全 員
12	4)	具体的場面による実践① フィールドワークを通して対人援助コミュニケーション技法を試みる。				演 習	全 員
13	4)	具体的場面による実践② フィールドワークを通して面接の展開を試みる。				演 習	全 員
14	4)	具体的場面による実践③ フィールドワークを通して対人援助の技法を習得する。				演 習	全 員
15	1)2)3) 4)	【授業のまとめと振り返り】 基本的面接技術の習得状況を評価し、前期演習を振り返る。				演 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。					

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅱ			授業コード	121677A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2年) 臨床心理学部 臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	13C222P05	AL 科目	○
担当者	川崎 順子(福・福)、清水 径子 (福・福)、児崎 友美(福・福))	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められるソー シャルワークの知識と技術について、実践的に習得する。臨床 DP(2)(3)、スポ DP(1)(3)、心理 DP(1)(3)。 専門援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 ソーシャルワーク演習Ⅱでは、具体的な相談援助場面及び相談援助過程を想定した実技指導(ロールプレイ)を中心とする演 習形態により行う。臨床 DP(2)(4)、スポ DP(1)、心理 DP(2)(5)。 * 木城町との連携推進事業に伴う実践も行う。臨床 DP(1)(2)(3(4)、スポ DP(1)(2)(4)、心理 DP(1)(2)(3)。 また、ソーシャルワーク実習指導Ⅰと連動させながら、実習準備に向けて必要な知識・技術を習得する。						
学修目標	1)ソーシャルワークに係る基本姿勢・基本原則について説明できる。 2)基本的なソーシャルワークの展開プロセスが説明でき、体験的に理解する。 3)総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助について説明でき、体験的に理解する。 4)ソーシャルワーク実習における課題を明確にして、実習に臨む準備ができる。						
実務経験のある 教員による教育 評価方法	科目担当(川崎・清水・児崎)は、いずれも相談援助の実践現場 5 年以上の経験に基づき、相談援助の過程を理解し、実践力を 修得することを目的として授業を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業中における演習実施中の態度 50%、レポート課題などを 50%とし、統合的に評価する。 社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は履修すること 履修を可能とする関連科目の履修条件が設定されているため、該当科目を確認すること 演習授業では、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。 授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマ につき 4 時間程度の予習復習をすること。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに准ずる。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)4)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。 ソーシャルワーク実践に必要な項目を理解する。				演 習	全 員
2	1)2) 3)4)	展開プロセスの理解① ソーシャルワークの援助展開プロセスについて、ソーシャルワーク実習 19 項目と関連づけながら理解する。				演 習	全 員
3	1)2) 3)4)	展開プロセスの理解② ソーシャルワークの援助展開プロセスについて、ソーシャルワーク実習 19 項目と関連づけながら理解する。				演 習	全 員
4	1)2)3) 4)	展開プロセスの理解③ ソーシャルワークの援助展開プロセスについて、ソーシャルワーク実習 19 項目と関連づけながら理解する。				演 習	全 員
5	1)2)	フィールド調査による課題分析① 調査から抽出された課題を整理し、まとめ作業を行う (ニーズ把握からアセスメント手法を学ぶ)				演 習	全 員
6	1)2)	フィールド調査による課題分析② 調査から抽出された課題を整理し、まとめ作業を行う。 (アセスメントの結果を元に、課題整理っを行い、プランニング段階に進める)				演 習	全 員
7	3)	フィールド調査によるプランニング① 調査から抽出された課題を整理し、目標設定、計画作成作業を行う。 (プランニングしたものをプレゼンテーションできるように準備する) 総合的かつ包括的な視点をもったプランニング手法を学ぶ。				演 習	全 員
8	3)	フィールド調査によるプランニング② 調査から抽出された課題を整理し、目標設定、計画作成作業を行う。 (プランニングしたものをプレゼンテーションできるように準備する)				演 習	全 員
9	3)	プレゼンテーション準備① プレゼンテーションの資料作成を行い、発表準備を行う。				演 習	全 員
10	3)	プレゼンテーション準備② プレゼンテーションの資料作成を行い、発表準備を行う。				演 習	全 員
11	3)	プレゼンテーションの実施と評価 プレゼンテーションを実施し、評価を得る 地域住民に対する提案、アウトリーチの重要性を理解する。《木城町連携事業》				演 習	全 員
12	3)	地域を基盤とした演習 地域福祉推進に係る住民参加と組織化活動の必要性を理解する。《木城町連携事業》				演 習	全 員
13	3)	実践の振り返り① ソーシャルワークの展開プロセスの一連の流れを再確認する。 社会資源の把握・活用の方法を理解する。《木城町連携事業》				演 習	全 員
14	3)	実践の振り返り② ソーシャルワークの展開プロセスの一連の流れを再確認する。 実践の記録を行い、記録の活用の方法を理解する。《木城町連携事業》				演 習	全 員
15	1)2)3)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し後期演習を振り返る。				演 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅲ			授業コード	121678A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(3 年) 臨床心理学部 臨床心理学科(3年)			ナンバリング	13C321P04	AL 科目	○
担当者	川崎 順子(福・福)、清水 径子 (福・福)、児崎 友美(福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得する。臨床 DP(3)、スポ DP(1)、心理 DP(3) 専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 ソーシャルワーク演習Ⅲでは、ソーシャルワーク実習Ⅰの振り返りと同時にソーシャルワーク実習指導Ⅱの事前学習の観点からも、事例を活用したソーシャルワークの展開プロセスについて演習を通して実践できる能力を習得する臨床 DP(2)、スポ DP(1)、心理 DP(1)(2)。 授業は、個別指導ならびに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイ等)を中心とする演習形態で行う。臨床 DP(4)、スポ DP(3)、心理 DP(2)。						
学修目標	1)演習のねらいと進め方を理解する。 2)ソーシャルワークの展開プロセスの具体的内容を理解するとともに、利用者や法制度、社会資源の活用状況を理解し、実践に応用できる。 3)ソーシャルワークの事例を活用し、総合的かつ包括的な相談援助について実践的に考え、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(川崎・清水・児崎)は、いずれも相談援助の実践現場 5 年以上の経験に基づき、具体的なソーシャルワーク場面における援助技術の活用方法を修得することを目的として授業を行う。						
評価方法	授業中における演習実施中の態度 50%、レポート課題など 50%とし、統合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は履修すること 履修を可能とする関連科目の履修条件が設定されているため、該当科目を確認すること 演習授業では、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。 授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき 4 時間程度の予習復習をすること。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。				演 習	全 員
2	2)	ソーシャルワーク実習Ⅰの振り返り① 具体的なソーシャルワーク展開プロセスの場면을整理し、確認する。 対象者の置かれている状況や背景を理解する。(社会的排除・虐待・家庭内暴力・低所得者・ホームレスなど) ソーシャルワーク実践の実際について、自身の実践課題を明確にする。				演 習	全 員
3	2)	ソーシャルワーク実習Ⅰの振り返り② 具体的なソーシャルワーク展開プロセスの場면을整理し、確認する。 対象者の置かれている状況や背景を理解する。(社会的排除・虐待・家庭内暴力・低所得者・ホームレスなど) ソーシャルワーク実践の実際について、自身の実践課題を明確にする。 グループメンバーで共有し、言語化、可視化する。				演 習	全 員
4	2)	ソーシャルワーク実習Ⅰの振り返り③ 具体的なソーシャルワーク展開プロセスの場면을整理し、確認する。 対象者の置かれている状況や背景を理解する。(社会的排除・虐待・家庭内暴力・低所得者・ホームレスなど) ソーシャルワーク実践の実際について、自身の実践課題を明確にする。 グループメンバーで共有し、言語化、可視化したものを説明できるよう準備する。 メンバー間で役割分担を行い、プレゼンテーションの練習を行う。				演 習	全 員
5	2)(3)	ソーシャルワーク実践場面の理解 ソーシャルワーク実習Ⅰの実習先の状況について、相互に説明し合い、実践領域の理解を深める。 ソーシャルワーク実習Ⅱの実習先領域のイメージを具体化し、実習計画の作成準備ができる。				演 習	全 員
6	2)(3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習① 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 インテーク場面における面接技法を確認する(DVD・ロールプレイ) (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション)				演 習	全 員
7	2)(3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習② 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション)				演 習	全 員
8	2)(3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習③ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション)				演 習	全 員
9	2)(3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習④ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション)				演 習	全 員
10	2)(3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習⑤ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション)				演 習	全 員
11	2)(3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習⑥ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション) * 領域別事例を用いて、具体的援助実践のあり方を理解する。				演 習	全 員

12	2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習⑦ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション) * 領域別事例を用いて、具体的援助実践のあり方を理解する。	演 習	全 員
13	2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習⑧ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション) * 領域別事例を用いて、具体的援助実践のあり方を理解する。	演 習	全 員
14	2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習⑨ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション) * 領域別事例の実践プロセスについて、全体発表を行い、共通点、相違点を理解する。	演 習	全 員
15	1)2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習⑩ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション) * 領域別事例の実践プロセスについて、全体発表を行い、共通点、相違点を理解する。 【授業のまとめと振り返り】 総合的かつ包括的な相談援助実践のあり方を総括し、前期演習を振り返る。	演 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅳ			授業コード	121679A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(3年) 臨床心理学部 臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	13C322P04	AL 科目	○
担当者	川崎 順子(福・福)、清水 径子 (福・福)、児崎 友美(福・福)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシ-No.	ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得する。臨床 DP(3)、スポ DP(1)心理 DP(3) 専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 ソーシャルワーク演習Ⅳでは、ソーシャルワーク実習Ⅱにおいてプランニングした事例をもとに、展開プロセスの理解を深める。 次に、地域福祉に関する相談援助実践の価値・知識・技術を災害をテーマに用いて、具体的な演習課題を通して実践できる能力を習得する臨床 DP(2)、スポ DP(1)、心理 DP(1)。 災害ソーシャルワークの授業は、地震、津波、洪水などの発生を想定し、個人やグループワークにてフィールドワークを行う臨床 DP(1)(2)(3)(4)、スポ DP(1)(2)(3)、心理 DP(3)(4)。						
学修目標	1)ソーシャルワーク実習Ⅱで学んだ展開プロセスを説明できる。 2)災害ソーシャルワーク演習のねらいと進め方を説明できる。 3)防災のあり方、支援のあり方を学び、説明できる。 4)防災・災害ボランティアの実際を学び説明できる。 5)防災・災害に関するフィールドワーク実践ができる。 6)地域における防災・災害対策について調査分析を行い、まとめることができる。 7)総括として、調査結果をまとめ説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(川崎・清水・児崎)は、いずれも相談援助の実践現場 5 年以上の経験に基づき、具体的な相談援助場面における相談援助技術の活用方法を修得することを目的として授業を行う。						
評価方法	授業中における演習実施中の態度 50%、レポート課題など 50%とし、統合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は履修すること 履修を可能とする関連科目の履修条件が設定されているため、該当科目を確認すること 演習授業では、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。 授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき 4 時間程度の予習復習をすること。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	・オリエンテーション授業目的 ・ソーシャルワーク実習におけるプランニングの実施状況を確認する ・災害ソーシャルワーク実践活動・調査実施方法について確認する 演習(グループワーク) ・ソーシャルワーク実習Ⅱで作成した支援計画をグループで共有する				演 習	全 員
2	1)	ソーシャルワーク実践の理解① ソーシャルワーク実習Ⅱで作成した計画書を発表しあい、実践課題を明確にする。				演 習	全 員
3	1)	ソーシャルワーク実践の理解② ソーシャルワーク実習Ⅱで作成した計画書を共有し、今後のプランニングの実践課題を明確にする。				演 習	全 員
4	1)	災害ソーシャルワーク① 行政の災害対応の取り組みを知る (延岡市危機管理課からの講話)				演 習	全 員
5	2)3)	災害ソーシャルワーク② 災害のメカニズムを理解する(延岡市危機管理課)				演 習	全員・外部講師
6	2)3)	災害ソーシャルワーク③ ハザードマップから災害リスクの情報収集ができ、災害リスクを想定することができる。 個別避難計画や地区防災計画の作成方法を理解する。 (延岡市危機管理課)				演 習	全員・外部講師
7	2)3) 4)	災害ソーシャルワーク④ 災害時の支援状況の実際を理解する(消防署)				演 習	全員・外部講師
8	2)3) 4)	災害ソーシャルワーク⑤ 被災地への災害ボランティアセンターによる支援の実際を理解する(社会福祉協議会)				演 習	全員・外部講師
9	3)4) 5)	災害ソーシャルワーク⑥ 災害ボランティアセンターの設置運営訓練を行い、ソーシャルワークの展開プロセスの実践を理解する。 (社会福祉協議会)				演 習	全員・外部講師
10	3)4) 5)	災害ソーシャルワーク⑦ 個別避難計画・地区防災計画との関連から調査を実施する (避難経路のフィールドワーク実施 または、地区防災計画の実践活動のフィールドワーク)				演 習	全員・外部講師
11	4)5)	災害ソーシャルワーク⑧ フィールドワークの調査結果の分析・報告書作成 (避難経路のフィールドワーク実施 または、地区防災計画の実践活動のフィールドワーク)				演 習	全 員
12	3)4) 5)6)	災害ソーシャルワーク⑨ フィールドワークの調査結果の分析・報告書作成 (避難経路のフィールドワーク実施 または、地区防災計画の実践活動のフィールドワーク)				演 習	全 員
13	5)6)	災害ソーシャルワーク⑩ フィールドワークの調査結果の分析・報告書作成 (避難経路のフィールドワーク実施 または、地区防災計画の実践活動のフィールドワーク)				演 習	全 員

14	5)6) 7)	災害ソーシャルワーク⑪ 災害 避難グッズ制作体験 フィールドワーク報告書発表準備	演 習	全 員
15	5)6) 7)	災害ソーシャルワーク⑫ フィールドワーク報告書発表・評価 【演習全体振り返り】 災害ソーシャルワークにおける展開プロセスが、他の領域でのソーシャルワークと共通することを理解する。 さらに、被災者となる対象者は、平時のソーシャルワーク対象者でもあることとの関連性を見出すことができる。	演 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名		ソーシャルワーク演習Ⅴ			授業コード	121680A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C421P01	AL 科目	○
担当者		鹿嶋隆志(非常勤講師)、黒須依子(心・心)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.		演習Ⅰ～演習Ⅳ並びに相談援助現場実習を通して得た相談援助技術をさらに深める。 特に社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助にかかる知識と技術を再確認し、地域を基盤とした相談援助者としての実践能力を高める。 理論的枠組みの理解を深め、多様な場面における実践に対しても対応できるよう体系立てて考えることができる						
学修目標		1. レジデンシャルソーシャルワークの特徴と機能を理解し、説明できる。 2. レジデンシャルソソーシャルワークの実践事例から理論との関連性を導き出すことができる。 3. フィールドソーシャルワークの特徴や機能を説明できる。 4. フィールドソーシャルワークの実践事例から理論との関連性を導き出すことができる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当は、社会福祉士又は精神保健福祉士の資格を有し、実践現場による5年以上の幅広い経験に基づき、実践現場における多様な事例を教授しながら、理論的枠組みが理解できるように授業を行う。						
評価方法		演習への主体的取り組みや姿勢を40%とし、演習理解度の試験を60%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は必須である。 履修条件として、他の関連科目履修状況との整合性を確認し、履修すること。 演習授業であるため、自ら積極的に発言すること。 授業前後に、4時間の予習・復習を行うこと。 課題が提示された場合は、指示に従うこと。						
オフィスアワー		各教員が提示するのオフィスアワーに準ずる。非常勤講師の場合は、授業の前後で行う。						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション 演習の目的と進め方について ソーシャルワークの基本的機能					演 習	鹿嶋・黒須
2	1)	レジデンシャルソーシャルワークの特徴と機能を説明できる					演 習	鹿嶋・黒須
3	3)	フィールドソーシャルワークの特徴と機能を説明できる					演 習	鹿嶋・黒須
4	1)2)	レジデンシャルソーシャルワークの具体的実践事例①から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
5	1)2)	レジデンシャルソーシャルワークの具体的実践事例②から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
6	1)2)	レジデンシャルソーシャルワークの具体的実践事例③から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
7	1)2)	レジデンシャルソーシャルワークの具体的実践事例④から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
8	1)2)	レジデンシャルソーシャルワークの具体的実践事例⑤から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
9	3)4)	フィールドアルソーシャルワークの具体的実践事例①から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
10	3)4)	フィールドアルソーシャルワークの具体的実践事例②から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
11	3)4)	フィールドアルソーシャルワークの具体的実践事例③から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
12	3)4)	フィールドアルソーシャルワークの具体的実践事例④から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
13	3)4)	フィールドアルソーシャルワークの具体的実践事例⑤から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
14	1)2)3) 4)	まとめ					演 習	鹿嶋・黒須
15	1)2)3) 4)	まとめ					演 習	鹿嶋・黒須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			講義時にプリント等必要な教材を配布する					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			講義時に必要な教材等について紹介を行う。					

科目名	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ				授業コード	121681A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 2 年・スポーツ健康福祉学科 2 年・臨床心理学科 2 年				ナンバリング	13C222P06	AL 科目	○
担当者	三宮基裕(福・臨)、川崎順子(福・臨)、清水径子(福・臨)、児崎友美(福・臨)、黒須依子(心・心)、藤原幸子(福・臨)、日田剛(福・臨)	開講学期	2024 年度 後 期		必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】 SW 実習1で実習する実習施設等の概要の理解、具体的な実習内容の理解、実習計画書の作成など、SW 実習1に向けた準備指導をおこなう。 【一般目標】 SW 実習1を円滑かつ効果的にこなすために、実習の意義を明確にするとともに、実習生としての基本的態度やマナー、専門職としての倫理・行動規範を修得する。また、実習のねらいや目標を理解し、実習計画書が作成できるようになることを目標とする。 【対応するポリシーNo.】 臨床福祉学科:DP(3)、CP1(5)、CP2(3)、CP3(1) スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3) 臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)							
学修目標	1)SW 実習の意義について説明できる。 2)実習を行う実習分野の役割・機能が説明できる。 3)実習分野の選定動機が説明できる。 4)実習に向けての事前学習・事前準備ができる。 5)実習先の法的根拠や業務内容が説明できる。 6)実習に必要なとされる基本的態度を示すことができる 7)具体的な実習課題を明確に説明できる。							
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員の半数は社会福祉士の有資格者で、福祉分野での実務経験が 5 年以上ある教員もあり、その経験に基づき社会福祉士として必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。							
評価方法	学期中および学期末に実施する試験の成績、課題の提出状況、受講態度などにより、総合的に評価する。 各評価の配分は、実習ファイルに掲載している評価表に記しているので確認をしておくこと。 途中、中間試験を実施する。中間試験が不合格の場合はその段階で不可とする。							
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習】 授業時間外での作業(書類作成や関係資料の収集)を求める 【履修上の注意等】 社会福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 SW 実習指導2～3および SW 実習1・2の修得を前提とした講義のため、資格取得を目指していない場合は履修できない。 本学既定の内規を満たしていること。(学生便覧を参照) 第1回目の授業でスケジュールを配布するので、60 分を目安に予習・復習を行うこと。 授業や実習先で得られた資料は適切に整理・管理し、実習ファイルとともに授業に必ず持参すること。 指示された課題、書類等は提出期日を厳守すること。 ソーシャルワーク演習と連動して進めるため、下記の授業計画を変更することがある。 【授業計画の補足】 15 週目に実習指導者との面談会をおこない、16 週目を授業計画の 15 回目とする							
オフィスアワー	実習センター 9:00～17:00							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	実習の理解:実習の目的、指導内容、履修条件、評価方法など ソーシャルワーク実習の意義と目的					演 習	全 員
2	2)3)	実習先の理解:実習分野の概要について					演 習	全 員
3	1)3)	個別面談:実習に対する意欲、資格所得の考え					演 習	全 員
4	4)	実習生としての心得①:体調管理、健康管理について					演 習	全 員
5	1)2)	基本実習プログラムと実習計画・実習課題の理解					演 習	全 員
6	1)2)3) 4)	中間試験①:倫理綱領・行動規範 実習関係書類の作成①:自己紹介書の書き方説明・作成					演 習	全 員
7	7)	実習計画書の作成①:計画書の意義と作成方法					演 習	全 員
8	2)3)5) 7)	実習関係書類の作成②:実習先の概要					演 習	全 員
9	7)	実習計画書の作成②:実習計画の立案					演 習	全 員
10	4)	中間試験②:ソーシャルワーク全般・分野理解					演 習	全 員
11	6)	実習生としての心得②:実習マナー、電話のかけ方					演 習	全 員
12	1)2)4)	実習日誌の書き方①:日誌の意義と書き方					演 習	全 員
13	1)2)4)	実習日誌の書き方②:書き方演習					演 習	全 員

14	3)7)	実習指導者との面談会準備	演 習	全 員
15	1)4)7)	事前指導の総括 SW 実習1の注意事項説明	演 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		大学が配布する実習ファイル(授業時間内に配布)		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		

科目名	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ			授業コード	121682A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 3 年・スポーツ健康福祉学科 3 年・臨床心理学科 3 年			ナンバリング	13C321P05	AL 科目	○
担当者	三宮基裕(福・臨)、川崎順子(福・臨)、清水径子(福・臨)、兒崎友美(福・臨)、黒須依子(心・心)、藤原幸子(福・臨)、日田剛(福・臨)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】 SW 実習1での実習経験を振り返り理論と実践の統合化を図るとともに、SW 実習2の実習先を理解して具体的な実習課題を立てるためのものである。 【一般目標】 SW 実習1の体験と理論を統合化するとともに、SW 実習2を円滑かつ効果的におこなうために、実習先の法的根拠、業務内容、対象者の理解、相談援助専門職として求められる資質、技術、価値等を修得し、実習における自己の課題を明確にすることを目標とする。 【対応するポリシーNo.】 臨床福祉学科:DP(3)、CP1(5)、CP2(3)、CP3(1) スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3) 臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)						
学修目標	1)実習で得た資料や記録を整理することができる 2)理論と実践を統合化した結果を説明できる 3)実習の事前準備に必要な心構えができる。 4)実習先の概要や法的根拠・役割・機能が説明できる。 5)実習先の業務内容や利用者の特性が説明できる。 6)専門職に必要とされる知識・技術について説明できる。 7)実習目標・課題を明確に設定することができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員の半数は社会福祉士の有資格者で、福祉分野での実務経験が 5 年以上ある教員もあり、その経験に基づき社会福祉士として必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。						
評価方法	学期中および学期末に実施する試験の成績、課題の提出状況、実習課題の内容などにより、総合的に評価する。 各評価の配分は、実習ファイルに掲載している評価表に記しているので確認をしておくこと。 途中、中間試験を実施する。中間試験が不合格の場合はその段階で不可とする。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 SW 実習指導1および SW 実習1が修得済みであり、本学既定の内規を満たしていること。(学生便覧を参照) SW 実習指導1・3および SW 実習1・2の修得を前提とした講義のため、資格取得を目指していない場合は履修できない。 第1回目の授業でスケジュールを配布するので、60 分を目安に予習・復習を行うこと。 授業や実習先で得られた資料は適切に整理・管理し、実習ファイルとともに授業に必ず持参すること。 指示された課題、書類等は提出期日を厳守すること。 6 月下旬の土曜日に SW 実習1の実習施設指導者への報告会と SW 実習2の実習施設指導者との面談会を実施する予定。 SW 演習と連動して進めるので、授業内容を変更することがある。						
オフィスアワー	実習センター 9:00～17:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)3)	講義概要の説明、SW 実習1の資料・記録の整理				演 習	全 員
2	2)4)5) 6)7)	SW 実習1の振り返り指導① 実習体験の共有				演 習	全 員
3	2)6)	SW 実習1の振り返り指導② 体験と理論の統合化と図解化				演 習	全 員
4	2)4)5) 6)7)	SW 実習1の振り返り指導③ 実習報告書の作成				演 習	全 員
5	2)4)5) 6)7)	分野別実習報告会				演 習	全 員
6	3)4)	SW 実習2 実習先の理解				演 習	全 員
7	3)7)	SW 実習2 実習計画の立案① 自己紹介書の作成				演 習	全 員
8	3)7)	SW 実習2 実習計画の立案② 実習計画書の作成				演 習	全 員
9	3)4)7)	実習指導者会議の主旨説明				演 習	全 員
10	3)4)7)	実習指導者会議の準備				演 習	全 員
11	3)4)7)	実習指導者会議の振り返り				演 習	全 員
12	5)6)	中間試験(SW・分野理解)				演 習	全 員
13	4)5)6)	分野別指導① 利用者・地域理解				演 習	全 員
14	4)5)6)	分野別指導② 日誌の書き方、ロールプレイ				演 習	全 員
15	3)7)	感染症教育、総括				演 習	全 員

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	大学が配布する実習ファイル(授業時間内に配布)
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	適宜、紹介する

科目名	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ			授業コード	121683A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 3 年・スポーツ健康福祉学科 3 年・臨床心理学科 3 年			ナンバリング	13C322P05	AL 科目	○
担当者	三宮基裕(福・臨)、川崎順子(福・臨)、清水径子(福・臨)、児崎友美(福・臨)、黒須依子(心・心)、藤原幸子(福・臨)、日田剛(福・臨)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】 ソーシャルワーク実習の体験や成果を振り返り、ソーシャルワーカーとしての資質、価値、技術を評価し、今後の自己課題を明確にするためのものである。 【一般目標】 ソーシャルワーク実習での具体的な援助活動や体験をグループワークや個別指導により振り返り、実習課題の達成状況の確認や評価をおこない、自己課題を見出していく。実習の最終段階として、報告会での発表や報告書の作成により、社会福祉士として求められるコミュニケーションや円滑な人間関係の形成、さらに利用者やその関係者への権利擁護や支援のあり方、多職種との連携、社会資源の活用など必要な専門知識・技術及び関連知識の理解を深め、総合的に対応できる能力を習得することを目指す。 【対応するポリシーNo.】 臨床福祉学科:DP(3)、CP1(5)、CP2(3)、CP3(1) スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3) 臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)						
学修目標	1)実習の振り返りを行い、実習課題の達成状況を整理することができる。 2)援助関係の形成状況を振り返り、自己課題が明確に説明できる。 3)実習を踏まえて、専門的知識・技術を体系化して説明できる。 4)実習の総括を行い、報告書にまとめることができる。 5)実習状況の相互発表、指導者からの評価を受け、自己評価できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員の半数は社会福祉士の有資格者で、福祉分野での実務経験が 5 年以上ある教員もあり、その経験に基づき社会福祉士として必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。						
評価方法	学期中に実施する試験の成績、課題の提出状況、実習の報告内容などにより、総合的に評価する。 各評価の配分は、実習ファイルに掲載している評価表に記しているので確認をしておくこと。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習】 授業時間外での作業(記録の整理やグループワーク資料の収集・作成など)を求める 【履修上の注意等】 社会福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 SW 実習指導 1・2および SW 実習 1・2を終えていなければ履修できない。 第 1 回目の授業でスケジュールを配布するので、60 分を目安に予習・復習を行うこと。 授業や実習先で得られた資料は適切に整理・管理し、実習ファイルとともに授業に必ず持参すること。 指示された課題、書類等は提出期日を厳守すること。						
オフィスアワー	実習センター 9:00～17:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 授業スケジュールに基づく実習事後の振り返りの必要性の理解、実習のまとめに向けての心構え				演 習	全 員
2	1)2)	【分野別実習事後振り返り1】 実習の総体的な振り返り、SGD や成果発表などによる実習課題の達成状況の確認				演 習	担当教員
3	1)2)	【分野別実習事後振り返り2】 実習の総体的な振り返り、SGD や成果発表などによる実習課題の達成状況の確認				演 習	担当教員
4	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り3】 実習における具体的な援助関係の形成状況の振り返り、SGD や成果発表による自己課題の明確化				演 習	担当教員
5	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り4】 分野別発表会				演 習	担当教員
6	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り5】 実習における専門的知識や技術の活用状況の振り返り、SGD や成果発表などによる自己課題の明確化				演 習	担当教員
7	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り6】 実習における専門的知識や技術の活用状況の振り返り、SGD や成果発表などによる自己課題の明確化				演 習	担当教員
8	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り7】 実習における専門的知識や技術の活用状況の振り返り、SGD や成果発表などによる自己課題の明確化				演 習	担当教員
9	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り8】 実習における専門的知識や技術の活用状況の振り返り、SGD や成果発表などによる自己課題の明確化				演 習	担当教員
10	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り9】 実習先からの実習評価表を踏まえ指導教員との個別面談の実施。実習の自己課題や到達状況の整理。				演 習	担当教員
11	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り 10】 実習先からの実習評価表を踏まえ指導教員との個別面談の実施。実習の自己課題や到達状況の整理。				演 習	担当教員
12	4)	【分野別実習事後振り返り 11】 実習の総体的なまとめ、実習報告書の作成				演 習	担当教員
13	4)	【分野別実習事後振り返り 12】 実習の総体的なまとめ、実習報告書の作成				演 習	担当教員
14	5)	【実習報告全体会1】 実習報告書によるまとめ、他分野の実習状況について代表学生から実習報告発表。実習指導者・教員からの講評				演 習	全 員

15	5)	【実習報告全体会2】 実習報告書によるまとめ、他分野の実習状況について代表学生から実習 報告発表。実習指導者・教員からの講評。実習の総括	演 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		大学が配布する実習ファイル(授業時間内に配布)		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		

科目名		ソーシャルワーク実習Ⅰ		授業コード	121684B101	単位数 (時間数)	2 単位 (60)
配当学科(学年)		臨床福祉学科 2 年・スポーツ健康福祉学科 2 年・臨床心理学科 2 年		ナンバリング	13C222P07	AL 科目	○
担当者		三宮基裕(福・臨)、川崎順子(福・臨)、清水径子(福・臨)、兒崎友美(福・臨)、黒須依子(心・心)、藤原幸子(福・臨)、日田剛(福・臨)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態 実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		【授業の概要】ソーシャルワークに係る知識と技術について、学外実習により具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術などを 体得する。 【一般目標】実習課題・実習計画に基づいて、利用者や関係者の権利擁護や支援のあり方、多職種との連携、社会資源の活用 など、必要な専門知識・技術および関連知識を実践的に理解し、社会福祉士として求められる資質、技術、倫理、自己に求めら れる課題を明確にしながら、総合的に対応できる能力を習得することを目標とする。実習期間を通じて以下の授業内容に示す 15 の項目について到達目標達成に向けて実習に取り組む。 【対応するポリシーNo.】 臨床福祉学科:DP(3)、CP1(5)、CP2(3)、CP3(1) スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3) 臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)					
学修目標		1)社会人としての基本的態度を習得する。 2)実習課題を意識しながら、積極的・主体的に実習を行うことができる。 3)実習記録等提出物を期限内に的確に提出できる。 4)利用者や関係者と円滑な人間関係・援助関係を形成し、支援計画の作成・実施・評価ができる。 5)多職種や地域の社会資源等と連携しチームアプローチや地域への働きかけができる。 6)施設・機関・団体等の経営や運営管理の説明ができる 7)専門職としての職業倫理と役割・責任が説明できる 8)ソーシャルワークの技術が活用できる。					
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員の半数は社会福祉士の有資格者で、福祉分野での実務経験が 5 年以上ある教員もあり、その経験に基づき社会 福祉士として必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。					
評価方法		実習先の指導者の評価ならびに帰校・巡回指導での個別指導に基づいて総合的に評価する。 評価項目および評価の配分は実習ファイルに掲載している評価表に基づいて評価する。 また詳細な評価方法については授業開始日に説明する。					
準備学習・ 履修上の注意等		【準備学習】 SW 実習指導1で学んだことを整理し SW 実習1に臨むこと。 【履修上の注意等】 SW 実習指導1～3および SW 実習1・2の修得を前提とした講義のため、資格取得を目指していない場合は履修できない。 実習に関する申し合わせの条件を満たしておくこと。 本学が指定した実習先で 8 日間以上 60 時間以上実習する。実習期間は 2 月中旬から 3 月中旬を原則とする。 実習期間は実習に専念すること。 実習期間中、指導が困難と判断されたときは実習を中止することがある。					
オフィスアワー		実習センター 9:00～17:00					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	① 社会人としての態度・マナー				実 習	全 員
2	1)	② 出勤時間や注意事項等の業務遂行の規則の遵守				実 習	全 員
3	2)	③ 積極的・主体的な実習態度				実 習	全 員
4	2)	④ 実習に関わった職員や関係者との強調性				実 習	全 員
5	3)	⑤ 実習記録やその他の書類等の的確な作成および期限内の提出				実 習	全 員
6	4)	⑥ 利用者や関係者等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成				実 習	全 員
7	4)	⑦ 利用者やその関係者等との援助関係の形成				実 習	全 員
8	4)	⑧ 利用者や地域の状況を理解し、生活上の課題の把握、支援計画の作成と実施及び評価				実 習	全 員
9	4)	⑨ 利用者やその関係者等への権利擁護活動とその評価				実 習	全 員
10	5)	⑩ 多職種連携及びチームアプローチの実践的理解				実 習	全 員
11	5)	⑪ 実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ				実 習	全 員
12	5)	⑫ 地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解				実 習	全 員
13	6)	⑬ 施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際				実 習	全 員
14	7)	⑭ 社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任の理解				実 習	全 員
15	8)	⑮ ソーシャルワーク実践に求められる技術の実践的理解				実 習	全 員

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	大学が配布する実習ファイル(授業時間内に配布)
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない。

科目名		ソーシャルワーク実習Ⅱ			授業コード	121685D101	単位数 (時間数)	4 単位 (180)
配当学科(学年)		臨床福祉学科 3 年・スポーツ健康福祉学科 3 年・臨床心理学科 3 年			ナンバリング	13C321P06	AL 科目	○
担当者		三宮基裕(福・臨)、川崎順子(福・臨)、清水径子(福・臨)、兒崎友美(福・臨)、黒須依子(心・心)、藤原幸子(福・臨)、日田剛(福・臨)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		【授業の概要】ソーシャルワークに係る知識と技術について、学外実習により具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術などを 体得する。 【一般目標】実習課題・実習計画に基づいて、利用者や関係者の権利擁護や支援のあり方、多職種との連携、社会資源の活用 など、必要な専門知識・技術および関連知識を実践的に理解し、社会福祉士として求められる資質、技術、倫理、自己に求めら れる課題を明確にしながら、総合的に対応できる能力を習得することを目標とする。実習期間を通じて以下の授業内容に示す 15 の項目について到達目標達成に向けて実習に取り組む。 【対応するポリシーNo.】 臨床福祉学科:DP(3)、CP1(5)、CP2(3)、CP3(1) スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3) 臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)						
学修目標		1)社会人としての基本的態度を習得する。 2)実習課題を意識しながら、積極的・主体的に実習を行うことができる。 3)実習記録等提出物を期限内に的確に提出できる。 4)利用者や関係者と円滑な人間関係・援助関係を形成し、支援計画の作成・実施・評価ができる。 5)多職種や地域の社会資源等と連携しチームアプローチや地域への働きかけができる。 6)施設・機関・団体等の経営や運営管理の説明ができる 7)専門職としての職業倫理と役割・責任が説明できる 8)ソーシャルワークの技術が活用できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員の半数は社会福祉士の有資格者で、福祉分野での実務経験が 5 年以上ある教員もあり、その経験に基づき社会 福祉士として必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。						
評価方法		実習先の指導者の評価ならびに帰校・巡回指導での個別指導に基づいて総合的に評価する。 評価項目および評価の配分は実習ファイルに掲載している評価表に基づいて評価する。 また詳細な評価方法については授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等		【準備学習】 SW 実習指導1および SW 実習指導2、SW 実習1で学んだことを整理し SW 実習2に臨むこと。 【履修上の注意等】 SW 実習指導1～3および SW 実習1・2の修得を前提とした講義のため、資格取得を目指していない場合は履修できない。 実習に関する申し合わせの条件を満たしておくこと。 本学が指定した実習先で 24 日間以上 180 時間以上実習する。実習期間は 8 月中旬から 9 月中旬を原則とする。 実習期間は実習に専念すること。 実習期間中、指導が困難と判断されたときは実習を中止することがある。						
オフィスアワー		実習センター 9:00～17:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	① 社会人としての態度・マナー					実 習	全 員
2	1)	② 出勤時間や注意事項等の業務遂行の規則の遵守					実 習	全 員
3	2)	③ 積極的・主体的な実習態度					実 習	全 員
4	2)	④ 実習に関わった職員や関係者との強調性					実 習	全 員
5	3)	⑤ 実習記録やその他の書類等の的確な作成および期限内の提出					実 習	全 員
6	4)	⑥ 利用者や関係者等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成					実 習	全 員
7	4)	⑦ 利用者やその関係者等との援助関係の形成					実 習	全 員
8	4)	⑧ 利用者や地域の状況を理解し、生活上の課題の把握、支援計画の作成と実施及び評価					実 習	全 員
9	4)	⑨ 利用者やその関係者等への権利擁護活動とその評価					実 習	全 員
10	5)	⑩ 多職種連携及びチームアプローチの実践的理解					実 習	全 員
11	5)	⑪ 実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ					実 習	全 員
12	5)	⑫ 地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解					実 習	全 員
13	6)	⑬ 施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際					実 習	全 員
14	7)	⑭ 社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任の理解					実 習	全 員
15	8)	⑮ ソーシャルワーク実践に求められる技術の実践的理解					実 習	全 員

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	大学が配布する実習ファイル(授業時間内に配布)
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない。

科目名		時事福祉学Ⅰ		授業コード	121686B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(4 年)		ナンバリング	13C421P02	AL 科目	○
担当者		西田 美香(臨床) 黒須依子(スポ) 藤原幸子(臨床) 三宮基裕(臨床) 外部講師	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態 講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		本講義は、これまで学んできた社会福祉士および精神保健福祉士としての知識、技術、価値について、様々な試験問題を通して包括的な理解を深めるとともに、多様化する現代社会の諸課題と福祉について事例問題を通して考える力を涵養することを目的とする。また、社会福祉士・精神保健福祉士としての実践力を習得する。スポ:DP(1)(2)(3)(4)、CP1(2)2(8) 臨床:DP(1)(2)(3)(7)、CP1(6)2(14) 心理:DP(1)(3)(5)、CP1(4)2(1)					
学修目標		1)これまでの知識の習得状況を再確認し、最新の法制度を得て、社会福祉および精神保健福祉の現状を説明できる。 2)これまでの援助技術の習得状況を再確認し、具体的実践事例を通して援助方法を応用できる。 3)グループディスカッションや個別指導により、知識・技術の習得方法を学ぶ。 4)模擬演習の結果を振り返り、必要とされる知識・技術の強化すべき点を理解でき、実践力を高める。					
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員は、福祉および医療分野における 5 年以上の現場経験を有しており、また、社会福祉分野の研究活動を継続的に行っている。教員がこれまで培ってきた知識や技術、専門職としての価値を基に、社会における諸課題および最新の法制度等の理解を深めることを目的として授業を行う。					
評価方法		模擬演習結果 80%、授業での取り組み姿勢(積極性、集中力、探究心等)20%にて評価する。					
準備学習・ 履修上の注意等		1.社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験受験予定者を対象とする。 2.授業前後に、図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙等を用いて関連するトピックを予習する。 3.一コマにつき 4 時間程度の予習復習をすること。 4.授業の範囲の部分についての法律条文、各自がもつ社会福祉士参考書の該当箇所を復習しておくこと。					
オフィスアワー		各教員のオフィスアワーに準ずる					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)～4)	【オリエンテーション】 時事福祉学の目的を理解するとともに、各自の目標を設定する。				講 義	全 員
2	1)～4)	【模擬演習①】 これまでの習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (医学概論・心理学と心理的支援・社会学と社会システム・社会福祉の原理と政策)				演習・SGD	全 員
3	1)～4)	【全体授業】 国家試験受験体験者から法制度の理解に向けた体験談や勉強方法を聞くことにより、必要とされる法制度の枠組みの習得方法を理解する。				講義・SGD	外部講師・全員
4	1)～4)	【模擬演習②】 これまでの習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (地域福祉と包括的支援体制・福祉行財政と福祉計画・社会保障・障害者福祉)				演習・SGD	全 員
5	1)～4)	【模擬演習③】 これまでの習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (貧困に対する支援・保健医療と福祉・権利擁護を支える法制度)				講義・SGD	全 員
6	1)～4)	【模擬演習④】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
7	1)～4)	【模擬演習⑤】 これまでの 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (社会福祉調査の基礎・ソーシャルワークの基盤と専門職・福祉サービスの組織と経営・刑事司法と福祉・ソーシャルワークの理論と方法)				講義・SGD	全 員
8	1)～4)	【模擬演習⑥】 これまでの習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (高齢者福祉・児童家庭福祉)				演習・SGD	全 員
9	1)～4)	【模擬演習⑦】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
10	1)～4)	【模擬演習⑧】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
11	1)～4)	【全体授業・個別指導】 これまでの習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。				講義・SGD	全 員
12	1)～4)	【模擬演習⑨】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
13	1)～4)	【模擬演習⑩】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
14	1)～4)	【全体授業・個別指導】 これまで 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。				講義・SGD	全 員
15	1)～4)	【全体授業】 国家試験受験体験者から法制度の理解に向けた体験談や勉強方法を聞くことにより、必要とされる法制度の枠組みの習得方法を理解する。				講義・SGD	外部講師・全員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		2025 社会福祉士国家試験過去問解説集(中法法規) ※講義内で購入案内を行います。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜、紹介する。					

科目名	時事福祉学Ⅱ			授業コード	121687B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	13C422P01	AL 科目	○
担当者	西田 美香(臨床) 黒須依子(スポ) 藤原幸子(臨床) 三宮基裕(臨床)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	本講義は、これまで学んできた社会福祉士および精神保健福祉士としての知識、技術、価値について、様々な試験問題を通して包括的な理解を深めるとともに、多様化する現代社会の諸課題と福祉について事例問題を通して考える力を涵養することを目的とする。また、社会福祉士・精神保健福祉士としての実践力を習得する。スポ:DP(1)(2)(3)(4)、CP1(2)2(8) 臨床:DP(1)(2)(3)(7)、CP1(6)2(14) 心理:DP(1)(3)(5)、CP1(4)2(1)						
学修目標	1)これまでの知識の習得状況を再確認し、最新の法制度を得て、社会福祉および精神保健福祉の現状を説明できる。 2)これまでの援助技術の習得状況を再確認し、具体的実践事例を通して援助方法を応用できる。 3)グループディスカッションや個別指導により、知識・技術の習得方法を学ぶ。 4)模擬演習の結果を振り返り、必要とされる知識・技術の強化すべき点を理解でき、実践力を高める。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、福祉および医療分野における 5 年以上の現場経験を有しており、また、社会福祉分野の研究活動を継続的に行っている。教員がこれまで培ってきた知識や技術、専門職としての価値を基に、社会における諸課題および最新の法制度等の理解を深めることを目的として授業を行う。						
評価方法	模擬演習結果 80%、授業での取り組み姿勢(積極性、集中力、探究心等)20%にて評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	1.社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験受験予定者を対象とする。 2.授業前後に、図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙等を用いて関連するトピックを予習する。 3.一コマにつき 4 時間程度の予習復習をすること。 4.授業の範囲の部分についての法律条文、各自がもつ社会福祉士参考書の該当箇所を復習しておくこと。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3)4)	【オリエンテーション】 時事福祉学の目的を理解するとともに、各自の目標を設定する。				講 義	全 員
2	1)2)	【模擬演習①】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
3	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (医学概論・心理学と心理的支援・社会学と社会システム)				講義・SGD	全 員
4	1)2)	【模擬演習②】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
5	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (社会福祉の原理と政策・社会保障・権利擁護を支える法制度)				講義・SGD	全 員
6	1)2)	【模擬演習③】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
7	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (地域福祉と包括的支援体制・障害者福祉・刑事司法と福祉)				講義・SGD	全 員
8	1)2)	【模擬演習④】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
9	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (ソーシャルワークの基盤と専門職・ソーシャルワークの理論と方法・社会福祉調査の基礎)				講義・SGD	全 員
10	1)2)	【模擬演習⑤】 これまで習得した知識・援助技術の総合的習得状況の再確認を行う。				演 習	全 員
11	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (高齢者福祉・児童家庭福祉・貧困に対する支援)				講義・SGD	全 員
12	1)2)	【模擬演習⑥】 これまで習得した知識・援助技術の総合的に再確認を行う。				演 習	全 員
13	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (保健医療と福祉・ソーシャルワークの基盤と専門職(専門))				講義・SGD	全 員
14	1)2)	【模擬演習⑦】 これまで習得した知識・援助技術の総合的に再確認を行う。				演 習	全 員
15	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (ソーシャルワークの理論と方法(専門)・福祉サービスの組織と経営)				講義・SGD	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		2025 社会福祉士国家試験過去問解説集(中法法規) ※講義内で購入案内を行います。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜、紹介する。					

科目名	連携実践演習			授業コード	121512A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(4 年) 臨床心理学部 臨床心理学科(4年)			ナンバリング	13C421P03	AL 科目	○
担当者	川崎 順子(福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾーNo.	相談援助専門職は、様々な相談ケースに対応できる総合的かつ包括的な実践力を発揮していくことが求められている。そのため には、多様な専門職・関係者とチームを形成し、適切な支援に向けた連携が欠かせない状況にある。また、近年の政策動向で は、地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現を目指した施策が具体的に実施されている状況にある。 本授業では、政策動向を踏まえた連携の必要性を確認し、福祉・医療を中心とした多職種連携のあり方を学び、演習を通して 実践力を習得することを目標とする臨床 DP(2)(3)(7)、スポ DP(1)(2)(3)、心理 DP(1)(3)(5)。						
学修目標	1)地域包括ケアシステム・地域共生社会における連携の必要性が説明できる。 2)連携の定義を理解し、類型と段階が説明できる。 3)連携に係る専門職の役割を理解し、説明できる。 4)連携実践場面の事例を活用し、連携に際して必要とされる構成要素が説明できる。 5)連携実践場面の見学を行い、連携実践力の現状を理解する。 6)事例演習(ロールプレイ)により、実践力を習得する。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当は、社会福祉士の資格を有し実践現場 5 年以上の経験に基づき、連携実践場面の実際を参考に授業を行う。						
評価方法	演習授業の取組姿勢・実践力の習得状況を 50%、レポート課題・試験を 50%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士・精神保健福祉士等相談援助専門職の資格取得を希望していること 演習授業に主体的、積極的に取り組み、与えられた役割を担うこと レポート課題などの提出期限を厳守すること 1 コマにつき予習・復習を 4 時間以上行うこと						
オフィスアワー	時間割確定後研究室に掲示する						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 授業の目的を理解し、授業スケジュールを確認できる。 地域包括ケアシステム、地域共生社会に関する政策動向を理解する。				講義・演習	川 崎
2	2)	連携の定義を理解し、連携の類型、段階が説明できる。				演 習	川 崎
3	3)	連携に係る専門職の役割を理解する。(医療系)				演 習	川 崎
4	3)	連携に係る専門職の役割が理解できる。(福祉系)				演 習	川 崎
5	3)	連携に係る専門職の実際を理解する(医療系①)				演 習	川崎・学内教員
6	3)	連携に係る専門職の実際を理解する(医療系②)				演 習	川崎・学内教員
7	3)	連携に係る専門職の実際を理解する(医療系③)				演 習	川崎・学内教員
8	3)4)	連携実践場面の事例を活用し、連携の具体的展開方法を理解する。				演 習	川 崎
9	3)4)	連携実践場面の事例を活用し、連携の具体的展開方法を理解する。				演 習	川 崎
10	3)4)	連携実践場面の事例を活用し、連携の具体的展開方法を理解する。				演 習	川 崎 外部講師
11	5)	連携実践場面の見学を行い、連携実践力の現状を理解する。				演 習	川 崎 外部講師
12	5)	連携実践場面の見学を行い、連携実践力の現状を理解する。				演 習	川 崎
13	6)	事例演習(ロールプレイ)により、実践力を習得する。				演 習	川 崎
14	6)	事例演習(ロールプレイ)により、実践力を習得する。				演 習	川 崎
15	1)2)3) 4)5)6)	まとめ 福祉・医療を中心とした多職種連携のあり方が説明できる。				演 習	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて講義時に関連教材を紹介する。					

科目名	認知症の理解Ⅰ			授業コード	120838B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C321P07	AL 科目	○
担当者	稲田 弘子(福・福)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	我が国における認知症ケアは、パーソンセンタードケアつまりその人らしさを大切にしたいケアの在り方が主になっている。認知症高齢者がその人らしく、地域や施設で生活できるよう支援することのできる介護福祉士となるために、認知症に関する基礎的知識や、認知症の特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を修得する。(DP3.6)(CP9)						
学修目標	1) 認知症の基本的な知識(動向・医学的・心理的側面)について説明できる。 2) 認知症に伴うこころの変化について説明できる。 3) 認知症に伴う生活への影響とケアのあり方(家族支援も含む)について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が5年以上ある。その経験に基づき、介護福祉士として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	学期末の単位認定試験 70%、学修への取り組み状況(授業態度、課題提出・内容)30%で総括的に評価する。 ◆学修への取り組み状況 DVD 視聴後、レポートの課題がある。期限内の提出と、レポートの内容で評価する。 SGD 時は、積極的に発言し参加すること。 詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。高等学校教諭1種免許状(福祉)を希望する場合は必修。 授業で配布したプリントはきちんとファイリングすること。欠席した場合は、プリントを研究室まで取りに来ること。 毎授業ごとに配布するプリント、テキストをよみかえし、復習し、まとめること。 レポート、課題は期限内に提出すること。 定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。 介護福祉士の国家試験対策の模試を配布するので、計画的に解答しておくこと。						
オフィスアワー	時間割確定後、研究室前に提示。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション。認知症を取り巻く社会的状況について				講 義	稲 田
2	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症の定義について(介護保険法、ICD-10)				講 義	稲 田
3	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症の原因となる主な病気について				講 義	稲 田
4	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症の中核症状とBPSD について				講 義	稲 田
5	1)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】介護の基本について(竹内理論)				講 義	稲 田
6	2)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症高齢者本人の心情や心理について(DVD「遠い日の架け橋」)				講 義	稲 田
7	2)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症高齢者本人の心情や心理について				講義・演習	稲 田
8	2)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症高齢者本人の内的世界について				講義・演習	稲 田
9	2)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症高齢者本人の内的世界について(クリスティンブライデン氏の手記より)				講 義	稲 田
10	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症ケアの原理・原則について(9 の法則)				講 義	稲 田
11	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症ケアの実践について(環境を変えない GH、小規模多機能等)				講義・SGD	稲 田
12	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症ケアの実践について(DVD「ぼけと向き合う日々」)				講義・SGD	稲 田
13	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症ケアの実践について(DVD「ぼけと向き合う日々」)				講義・SGD	稲 田
14	3)	「家族のたどる心理ステップ」と家族への支援について考える				講義・SGD	稲 田
15	3)	総括「いつだってここは生きている」他				講 義	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		改訂5版 認知症ケアの基礎(日本認知症ケア学会 編)株式会社 ワールドプランニング 【ISBN978-4-86351-231-3】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない(必要時プリントを配布する)					

科目名		認知症の理解Ⅱ		授業コード	120839B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(3 年)		ナンバリング	13C322P06	AL 科目	○	
担当者		稲田 弘子(福・福)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.		我が国における認知症ケアは、パーソンセンタードケアつまりその人らしさを大切にしたケアの在り方が主になっている。認知症高齢者がその人らしく、地域や施設で生活できるよう支援することのできる介護福祉士となるために、認知症に関する基礎的知識やケアの在り方をさらに深め、認知症ケアの課題を理解し、地域全体でささえることができる介護の視点を修得する。「認知症の理解Ⅱ」では、「認知症の理解Ⅰ」の内容をさらに深める。臨床福祉学科(DP3.6)(CP9) スポーツ健康福祉学科(DP1.2)(CP2) 臨床心理学科(DP5)(CP4)						
学修目標		1) 認知症についての基礎知識(動向・医学的・心理的側面)について説明できる。 2) 認知症の人のケアのあり方について説明できる。 3) 若年性認知症の理解と支援について説明できる。 4) 認知症予防について説明できる。 5) 認知症ケアの連携と協働のあり方について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が5年以上ある。その経験に基づき、介護福祉士として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法		7 回目に 40%分、16 回目に 40%分の筆記試験、学修への取り組み状況(授業態度、課題提出・内容)20%で総括的評価する。 ◆学修への取り組み姿勢 DVD 視聴後、レポートの課題がある。期限内の提出と、レポートの内容で評価する。 SGD 時は、積極的に発言し参加すること。 詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等		「認知症の理解Ⅰ」を履修していること。介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 授業で配布したプリントはきちんとファイリングすること。欠席した場合は、プリントを研究室まで取りに来ること。 毎授業ごとに配布するプリント、テキストをよみかえし、復習し、まとめること。 レポート、課題は期限内に提出すること。 定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。 介護福祉士の国家試験対策の模試を配布するので、計画的に解答しておくこと。						
オフィスアワー		時間割確定後、研究室前に提示						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当	
1	1)	「認知症の理解Ⅰ」の復習				講 義	稲 田	
2	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】脳神経系、記憶について				講 義	稲 田	
3	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】アルツハイマー型認知症について① 病態				講 義	稲 田	
4	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】アルツハイマー型認知症について② 薬 検 査				講 義	稲 田	
5	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症について				講 義	稲 田	
6	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】脳血管性認知症、生常圧水頭症、慢性硬膜下血腫について				講 義	稲 田	
7	2)	中間試験 【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症の歴史 DVD「きのこエスポール病院の 30 年」				講 義	稲 田	
8	2)	認知症の歴史から認知症ケア変遷を考える				講 義	稲 田	
9	2)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】パーソンセンタードケアについて				講 義	稲 田	
10	2)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】バリデーション、ユマニチュードについて				講 義	稲 田	
11	2)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】高齢者虐待、身体拘束について①				講義・SGD	稲 田	
12	2)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】高齢者虐待、身体拘束について②				講義・SGD	稲 田	
13	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】若年性認知症について				講義・SGD	稲 田	
14	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】若年性認知症の支援のあり方について				講義・SGD	稲 田	
15	4)5)	MCI、認知症予防、連携と協働のあり方について(認知症初期集中支援チームについて)				講 義	稲 田	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		改訂5版・認知症ケアの基礎(日本認知症ケア学会 編)株式会社 ワールドプランニング【ISBN978-4-86351-231-3】 「認知症の理解Ⅰ」で使用している。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。(必要時プリントを配布する)						

科目名	スクールソーシャルワーク論			授業コード	12118B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉専攻(3 年)、臨床心理専攻(3 年)、スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C321P08	AL 科目	
担当者	日田 剛	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシNo.	ソーシャルワークの基本的理解を進めた上で、学校を実践現場とするスクールソーシャルワークを学ぶ(DP3)。教育現場である学校の組織論、指導論、運営論から学校文化について理解する。さらに学校現場でソーシャルワークが求められている背景を知り、スクールソーシャルワークの歴史(世界的な動向とわが国の取り組み)、役割について具体的に理解する(DP7)。						
学修目標	1)ソーシャルワークの方法、機能、価値について説明できる。 2)学校の組織構造を図示して表すことができる。 3)学校運営について説明できる。 4)学校でソーシャルワークが求められる要因についてあげることができる。 5)スクールソーシャルワークの歴史を整理することができる。 6)スクールソーシャルワークの理論、方法について理解できる。 7)具体的な実践について事例から理解できる。						
実務経験のある 教員による教育	外部講師として社会福祉士のスクールソーシャルワーカーを招く予定						
評価方法	客観試験 60%、課題提出(レポートなど)40%として総括的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	本科目は基本的に社会福祉士の取得を前提として展開されるものである。そのため社会福祉、ソーシャルワークについての基礎的知識を習得していることが必要である。						
オフィスアワー	研究室前に掲示						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	ソーシャルワークの基礎について復習する。				講 義	日 田
2	1)4)	スクールソーシャルワークが求められる背景と要因を理解する①				講 義	日 田
3	1)4)	スクールソーシャルワークが求められる背景と要因を理解する②				講 義	日 田
4	4)5)	スクールソーシャルワークの歴史を知る。				講 義	日 田
5	4)5)	スクールソーシャルワークの動向と現状を理解する。				講 義	日 田
6	1)6)	スクールソーシャルワークの価値と目的を理解する。				講 義	日 田
7	1)6)	スクールソーシャルワークとカウンセリングの違いを理解する。				講 義	日 田
8	2)3)4)	学校教育の特徴を知る①				講 義	日 田
9	2)3)4)	学校教育の特徴を知る②				講 義	日 田
10	2)3)4)	連携機関を理解する。				講 義	日 田
11	1)6)	スクールソーシャルワークの基礎理論を理解する。				講 義	日 田
12	1)6) 7)	事例検討1				講 義	外部講師
13	1)6) 7)	事例検討2				講 義	外部講師
14	1)3)4) 6)7)	スクールソーシャルワーク実践見学(もしくは事例検討3)				講 義	外部講師
15	1)2) 3)4) 6)7)	事例まとめ				講 義	日 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		よくわかるスクールソーシャルワーク 第2版(山野則子・野田正人・半羽利美佳) ミネルヴァ書房【978-4-623-07834-9】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		スクールソーシャルワーカー活動実践事例集 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1246334.htm					

科目名	スクールソーシャルワーク演習			授業コード	121513A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3 年)、臨床心理学科(3 年)、スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C322P07	AL 科目	○
担当者	日田 剛	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシNo.	実践場面を想定した事例を用いて、スクールソーシャルワークの一連の流れを検討して目標達成を具体的にイメージする。その際個人作業、グループでのディスカッションを取り入れる。この演習で理論と実践を結びつけることを目標とする(DP7)。						
学修目標	1)スクールソーシャルワークの意義を確認する。 2)学校現場で把握される児童、生徒のニーズについて理解できる。 3)ニーズ発見から介入までの流れを組み立てることができる。 4)児童、生徒についての目標を設定できる。 5)連携協働する社会資源について理解し、連携する力を身につける。 6)演習を通してソーシャルワークの理論と方法を結びつけることができる。						
実務経験のある 教員による教育	社会福祉士のスクールソーシャルワーカーを外部講師として招く予定である。						
評価方法	演習内での指導を含めた演習への取り組み60%、ボランティア等の学外活動への参加40%						
準備学習・ 履修上の注意等	この演習はスクールソーシャルワーク論の既習者を対象とする。また授業内での演習に加え、学外でのボランティア活動への参加を原則とする。						
オフィスアワー	月水金 12:30~13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	スクールソーシャルワークの意義を確認する。				講 義	日 田
2	2)	学校現場で把握される児童、生徒のニーズについて理解する①				演 習	日 田
3	2)	学校現場で把握される児童、生徒のニーズについて理解する②				演 習	日 田
4	2)3)	スクールソーシャルワークの展開過程を理解する①				演 習	外部講師
5	2)3)4)	スクールソーシャルワークの展開過程について理解する②				演 習	外部講師
6	2)3)4)	学内連携とスーパービジョンの機能と実際				演 習	外部講師
7	2)3)4)	教師による生徒指導や学習指導におけるスクールソーシャルワーカーの関わり				演 習	外部講師
8	2)3)4) 5)6)	演習1(児童虐待事案)				演 習	日 田
9	2)3)4) 5)6)	演習2(貧困家庭事案)				演 習	日 田
10	2)3)4) 5)6)	演習3(いじめ問題事案)				演 習	日 田
11	2)3)4) 5)6)	演習4(不登校事案)				演 習	日 田
12	2)3)4) 5)6)	演習5(性的マイノリティ事案)				演 習	日 田
13	2)3)4) 5)6)	演習6(保護者対応トラブル事案)				演 習	日 田
14	2)3)4) 5)6)	演習7(自殺問題事案)				演 習	日 田
15	2)3)4) 5)6)	事例発表				演 習	日 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		よくわかる スクールソーシャルワーク 第2版(山野則子・野田正人・半羽利美佳)ミネルヴァ書房【978-4-623-07834-9】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		スクールソーシャルワーカー活動実践事例集 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1246334.htm					

科目名		スクールソーシャルワーク実習指導			授業コード	121688A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(4 年)・スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C421P04	AL 科目	○
担当者		日田 剛	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リソーNo.		【授業の概要】 SSW 実習の概要、実習内容の理解、実習計画書の作成など、SSW 実習に向けた準備指導を行う(DP3)。 【一般目標】 実習の意義を明確にして、スクールソーシャルワーカーとしての倫理、行動規範を習得する。また、実習のねらいや目標を理解して実習計画書を作成するなど、実習を効果的に実施できるための準備を行う。						
学修目標		1)SSW 実習の内容について理解できる。 2)実習の意義について理解できる。 3)実習に向けての事前学習、事前準備ができる。 4)教育機関や関連機関について理解できる。 5)自らの実習の目標を明確にできる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員は社会福祉士で実務経験がある。						
評価方法		課題の提出状況、定期試験、受講態度により総合的に評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		授業外での作業(書類作成、関係資料の収集)を求める。 社会福祉士取得希望者のみ履修可能。よって、ソーシャルワーク実習を履修していることが条件となる。						
オフィスアワー		随時						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)3)	実習の目的、指導内容、履修条件、評価方法の説明					講 義	日田 剛
2	1)2) 3)4)	実習先の理解					講 義	日田 剛
3	1)2) 3)4)	実習先の理解					講 義	日田 剛
4	2)5)	実習計画書の作成					講義・演習	日田 剛
5	2)5)	実習計画書の作成					演 習	日田 剛
6	2)5)	実習計画書の作成					演 習	日田 剛
7	5)	個人面談					演 習	日田 剛
8	3)5)	実習日誌の書き方					講義・演習	日田 剛
9	3)5)	実習日誌の書き方					演 習	日田 剛
10	3)5)	実習日誌の書き方					演 習	日田 剛
11	5)	個人面談					演 習	日田 剛
0	1)2)	実習生としての心得					講義・演習	日田 剛
13	1)2)	実習生としての心得					講義・演習	日田 剛
14	1)3)	実習の留意点					講 義	日田 剛
15	1)3) 5)	事前指導の総括					講 義	日田 剛
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			特になし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			特になし					

科目名	スクールソーシャルワーク実習			授業コード	121689A101	単位数 (時間数)	1 単位 (80)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(4 年)・スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C421P05	AL 科目	○
担当者	日田 剛(福・臨)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	【授業の概要】 SSWに必要な知識、技術について、実習での経験を通して体得する。 【一般目標】 実習計画に基づいて、児童・生徒や保護者等の権利擁護、支援のあり方、関係機関との連携、社会資源の活用などを実践的に 理解し(DP3)、スクールソーシャルワーカーとして必要な資質、技術、倫理を明確にしながら実践力を身につける(DP3)。						
学修目標	1)スクールソーシャルワーカーとして基本的態度を習得する。 2)積極的に実習に臨むことができる。 3)記録物を期限内に提出できる。 4)児童・生徒・教職員等と円滑な人間関係、援助関係を構築できる。 5)社会資源との連携について理解できる。 6)ソーシャルワークの実践力を習得できる。						
実務経験のある 教員による教育	担当教員が社会福祉士、実習指導者は現役のスクールソーシャルワーカー						
評価方法	実習指導者による評価と大学での個別指導による評価を総合して評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習】 SSW 実習指導で学んだことを整理して実習に臨むこと。 【履修上の注意等】 社会福祉士の取得を目指すことが履修条件となっている。						
オフィスアワー	随時						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2) 3)	実習オリエンテーション				実 習	実習指導者
2	2)3)	スクールソーシャルワーカーの仕事の説明				実 習	実習指導者
3	2)3) 4)	学校教育に関わる制度・行政の役割				実 習	実習指導者
4	3)5) 6)	関係機関の役割				実 習	実習指導者
5	3)5) 6)	関係機関の役割				実 習	実習指導者
6	2)3) 6)	スクールソーシャルワーカーの仕事の理解				実 習	実習施設
7	2)3) 6)	スクールソーシャルワーカーの仕事の理解				実 習	実習指導者
8	3)5)	学校内の組織、校務分掌の理解				実 習	実習指導者
9	1)3)	教師による児童・生徒および保護者の支援				実 習	実習指導者
10	3)4)	児童・生徒および家庭の課題の理解				実 習	実習指導者
0	4)5) 6)	学校での子どもたちの様子				実 習	実習指導者
12	4)5) 6)	保健室・養護教諭等の理解				実 習	実習指導者
13	5)6)	関係機関の役割(適応指導教室)				実 習	実習指導者
14	5)6)	関係機関の役割(児童クラブ)				実 習	実習指導者
15	1)2) 6)	学びの発表				実 習	実習指導者
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					

科目名	医療ソーシャルワーク演習			授業コード	121690A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(3 年) 臨床心理学部 臨床心理学科(3年)			ナンバリング	13C322P08	AL 科目	○
担当者	川崎 順子(福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義 演 習 見 学
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	保健・医療分野のソーシャルワーク展開においても、多くの職種や多様な関係機関と連携・協働していくことで、利用者の支援システムを構築していくことが求められる。 医療ソーシャルワーク演習では、多様な職種・機関の目的、役割や視点を理解するとともに、チームで支援していくための連携の考え方や方法論を修得する 臨床 DP(2)(3)、スポ DP(1)(3)(1)(3)、心理 DP(1)(3)) また、医療領域特有の実践課題を理解し、ソーシャルワークを展開できる実践力を修得する 臨床 DP(3)(4)、スポ DP(1)(3)、心理 DP(2)(3)						
学修目標	1) 医療ソーシャルワークの連携・協働の目的と必要性について説明できる。 2) 医療領域に関わる専門職の位置づけと役割について説明できる。 3) 医療領域における多職種連携のあり方を説明できる。 4) 連携場面における医療ソーシャルワーカーの役割を説明できる。 5) 連携に必要なとされる実践力とは何かを説明できる。 6) 医療領域における実践課題が整理でき、チームマネジメントの重要性が説明ができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当は、社会福祉士の資格を有し実践現場 5 年以上の経験に基づき、連携実践場面の実際を参考に授業を行う。						
評価方法	レポート課題にて 30%、定期試験 70%にて評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	次の履修条件を全て満たすことを基本とする。 1) 社会福祉士の資格取得を希望し、ソーシャルワーク実習Ⅱを履修済みのもの。 2) 4 年次の医療ソーシャルワーク実習指導、実習を履修予定のもの。 1 回の授業につき、4 時間を目安に予習・復習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割確定後研究室に掲示した時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	医療領域におけるソーシャルワーク展開を理解する(医療機関内)(1)				講 義	川 崎
2	1)	医療領域におけるソーシャルワーク展開を理解する(医療機関外)(2)				講 義	川 崎
3	2)	医療領域に関わる専門職の法的根拠と役割を理解する(1)				講義・SGD	川 崎
4	2)	医療領域に関わる専門職の法的根拠と役割を理解する(2)				講義・SGD	川崎・外部講師
5	3)	医療ソーシャルワークにおける連携の必要性を理解する				講 義	川 崎
6	3)	連携の考え方やチームワーク方法論を理解する(1)				講義・SGD	川 崎
7	3)	連携の考え方やチームワーク方法論を理解する(2)				講義・SGD	川 崎
8	3)	事例に基づく多職種連携の実践状況を理解する(1)				講 義	川 崎
9	3)	事例に基づく多職種連携の実践状況を理解する(2)				講 義	川 崎
10	4)	医療機関内の連携場面における医療ソーシャルワーカーの役割を理解する				講義・SGD	川崎・外部講師
11	4)	医療機関外との連携場面における医療ソーシャルワーカーの役割を理解する				講義・SGD	川 崎
12	2)(3)4) 5)	医療機関などの見学を行い、医療ソーシャルワーカー業務の実際を学とともに、連携実践課題を理解する。				病院見学	川 崎 外部見学
13	2)(3)4) 5)	多職種連携に関わる専門職からの講義を受け、連携の有り方を理解する				講義・SGD	川崎・外部講師
14	4)5)6)	多職種連携のあり方を理解する(ケア会議・カンファレンス等の見学)				ケア会議・カンファレンス	川崎・外部講師
15	4)5)6)	医療ソーシャルワーク実践のチームマネジメントの重要性をまとめることができる				講 義	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて紹介を行う					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	医療ソーシャルワーク実習指導			授業コード	121515A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 臨床福祉学科(4 年)・スポーツ健康福祉学科(4 年) 臨床心理学部 臨床心理学科(4年)			ナンバリング	13C421P06	AL 科目	○
担当者	川崎 順子(福・福)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	実習前指導と実習後指導として、前期から後期に分けて授業を行う。 実習前指導では、医療ソーシャルワークの実習先を十分に理解し、具体的な実習課題を立て実習準備ができることが求められる。そこで、実習を効果的におこなうために、実習先となる医療機関の法的根拠、業務内容、対象者の理解をはじめ、医療ソーシャルワーカーとして求められる資質、知識、技術等を修得し、実習における自己の課題を明確にすることを目標とする。臨床 DP(3)(7)、スポ DP(2)(3)、心理 DP(3)(5) 実習事後指導では、実習内容を振り返ることにより、目標達成状況を評価し、医療ソーシャルワーカーとしての課題を明確にする。臨床 DP(5)(6)(7)、スポ DP(2)(4)、心理 DP(5)(6)						
学修目標	実習前指導 1)実習の事前準備に必要な心構えができる。 2)医療機関の概要や法的根拠・役割・機能が説明できる。 3)医療ソーシャルワークの業務内容や利用者の特性が説明できる。 4)医療ソーシャルワーカーに必要とされる知識・技術について説明できる。 5)実習目標・課題を明確に設定することができる。 実習後指導 6)実習内容を振り返り、医療ソーシャルワークの業務内容の実際について説明できる。 7)医療ソーシャルワークに必要とされる知識・技術の実際について説明できる。 8)実習目標や実習課題の達成状況を評価し、報告できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、社会福祉士の有資格者であり5年以上の実務経験に基づき、医療ソーシャルワークに必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。						
評価方法	実習事前課題の取り組み状況、実習計画の内容 50%、実習事後の振り返り状況、実習報告まとめ成果を 50%とし、総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	3 年次に社会福祉士のソーシャルワーク実習Ⅱを修得していること。 3 年次の医療ソーシャルワーク論・チーム医療概論を修得していること。 医療機関における実習のため、特に健康管理に留意すること。 指示された課題、書類等は提出期日を厳守すること。						
オフィスアワー	実習センター 9:00～17:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 授業スケジュールに基づく実習の事前準備の必要性の理解と実習に向けての心構えが理解できる。				演 習	川 崎
2	1)2)3)	医療ソーシャルワーカーの業務内容を理解し、実習課題設定の準備ができる。。				演 習	川 崎
3	1)2)3)	実習先を選定するために、実践現場を見学し、具体的な実習のイメージをつくる。				見学・講義	川 崎
4	1)2)3)	実習先を確定し、実習先の概要を理解するとともに、医療ソーシャルワークの実習課題を設定し、実習計画を作成する準備を進めることができる。				演 習	川 崎
5	4)5)	医療ソーシャルワークの実習課題を設定し、実習計画を作成することができる。				演 習	川 崎
6	3)4)	医療機関における実習に伴うリスクマネジメントを再確認し、具体的方法を理解できる。				演 習	川 崎
7	1)2)3) 4)5)	実習先指導者と面談を行うことにより、具体的な実習内容・プログラムの確認を行い、実習に向けた準備ができる。				演 習 面 談	川崎・外部講師
8	1)5)	実習に向けての記録の取り扱いや実習中の姿勢・態度について説明できる。 実習直前オリエンテーションを行い、本実習に向けての最終確認ができる。				演 習	川 崎
9	6)	実習内容を振り返り、医療ソーシャルワーカーの実際から学んだことを理論的枠組みを用いて整理することができる。				演 習	川 崎
10	6)7)	実習体験から、医療ソーシャルワークに必要とされる知識や技術を整理し、その必要性を認識したケースをもとに分析を試みる。				演 習	川 崎
11	6)7)	実習体験から、医療ソーシャルワークに必要とされる知識や技術を整理し、その必要性を認識したケースをもとに分析を試みる。				演 習	川 崎
12	7)8)	実習日誌をもとに実習課題の達成状況を振り返り、報告書作成に取り組む。				演 習	川 崎
13	8)	実習先からの評価を踏まえ、ソーシャルワーカーに求められる資質について、自己課題を明確にする。				演 習	川 崎
14	8)	実習報告書をもとに、実習報告会にて実習状況について発表する。				演 習 学生発表	川 崎
15	6)7)8)	最終総括として、医療領域におけるソーシャルワーカーの役割を再確認するとともに、ソーシャルワークに共通する価値、知識、技術について説明できる。				演 習	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

[illegible]

教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		

科目名	キャリアデザイン演習Ⅰ			授業コード	121691A101	単位数 (時間数)	1 単位 (0)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科 臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング	13C221P07	AL 科目	
担当者	松原由美(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	子どもの育ちの社会的背景として『少子化 核家族化 情報化 国際化』など急激な変化を受けて、人々の価値観や生活様式が多様化している。その一方で、社会の傾向として『人間関係の希薄化 地域社会のコミュニティー意識の衰退 過度に経済性や効率性を重視する傾向 大人優先の社会風潮』などの状況が見られる。 このような社会状況が、子どもの育ちを巡る環境や家庭における親の子育て環境を変化させ、これらのことが複合的に絡み合い子どもの育ちに影響を及ぼしている。子どもの育ちの現状として、『基本的な生活習慣や態度が身についていない 他者とのかわりが苦手 自制心や耐性④運動能力が低下している』などの課題が指摘されている。また、 子ども虐待として児童相談所が対応した件数は、昨年度、全国で 20 万件を超え過去最多を更新したことが厚生労働省がまとめている。。18 歳未満の子どもが親などの保護者から虐待を受けたとして児童相談所が対応した件数は全国で 20 万 5029 件に上り、年々上昇している。そして、子どもがより良い人生を歩むために、個人への養護や教育を担う「保育士」の役割は重要である。 本講義では「子どもの社会的背景」や「子どもの育ちの現状」を理解し、「保育士」の役割や保育士資格について学ぶ。						
学修目標	①子どもの育ちの社会的背景を理解できる。 ②子どもの育ちについて理解できる。 ③児童施設の『保育士』の役割を理解できる。 ④『保育士資格』の内容に関して理解できる。 ⑤グループディスカッションや個別指導により、知識・技術の習得方法を学ぶ。 ⑥擬試験結果を振り返り、必要とされる知識・技術の強化すべき点を理解でき、実践力を高める。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、児童分野の施設や学校で 20 年以上の経験に基づき、最新の法制度等の理解を深めることを目的として授業を行う。						
評価方法	毎回の小レポート 30% 課題の提出 70% により評価する						
準備学習・ 履修上の注意等	課題を確実に行ってほしい できたら児童・家庭福祉を履修してほしい						
オフィスアワー	授業日に対応する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	①③ ④	1.子どもの育ちの社会的背景を理解する。 2.子どもの家庭福祉について理解する。 ・現代社会における子ども過程福祉の意義と歴史 ・子どもの人権 ・子どもの家庭福祉の制度と実施体系				講 義	松 原
2	①③ ④⑤	1.子どもの育ちの社会的背景を理解する。 2.子どもの家庭福祉を理解する。 ・子ども家庭福祉の現状と課題 ・子ども家庭福祉の動向と展望 ・子ども家庭支援論				調べた内容を発表する	松 原
3	②③ ④	1.子どもの育ちについて理解できる。 2.子どものための社会福祉を理解できる。 ・現代社会における社会福祉の意義と歴史 ・社会福祉制度と実施体系 ・社会福祉における相談援助				その場での質疑応答を行う	松 原
4	②③ ④⑤	1.子どもの育ちについて理解できる。 2. 子どもの社会福祉について理解する。 ・利用者保護に関わる仕組み ・社会福祉の動向と課題				調べた内容の発表 習得状況を確認する	松 原
5	②③ ④⑤	1.保育現場において子どもの保健についての「保育士」の役割を実際を見学しながら理解する。 2.子どもの保健に関して理解する。 ・子どもの心身の健康と保険の意義 ・子どもの心身的発育・発達と健康 ・子どもの心身の健康状態とその把握				演習・講義	松原・現場保育士
6	①② ③④	1.保育現場において子どもの保健についての「保育士」の役割を実際を見学し、現職保育士の話によって理解する。 2.子どもの保健について理解する。 ・子どもの疾病の予防と適切な対応 ・子どもの健康と安全について ・保育における保健活動の計画および評価について				演習・講義	松 原
7	①② ③④ ⑤⑥	1.子どもをのための「福祉」「家庭福祉」「子どもの保健」に関して模擬試験をして確認する。 2.保育士からの学びをまとめる。				講 義	松原・現場保育士
8	①② ③④	子どもの心理に関して理解する。 ・保育の心理学発達を支える視点 ・子どもの発達過程 ・子どもの学びと保育				講 義	松 原
9	①② ③④	子どもの心理について理解する。 ・子ども家庭支援の心理学				講 義	松 原

		生涯発達 家族・家庭の理解 子育て家庭に関する現状と課題 子どもの精神保健とその課題 ・子どもの理解と援助		
10	①② ③④	1.児童養護施設における子どもの食と栄養を理解する。 児童養護施設における保育士の食に関わる仕事について見学や質問により学ぶ 2.子どもの食と栄養について学ぶ ・子どもの健康と食生活の意義 ・栄養に関する基本的知識 ・子どもの発達と食生活	演習・講義	松原、地城保育士
11	①② ③④	1.児童養護施設における子どもの食と栄養を理解する。 児童養護施設における保育士の食に関わる仕事について見学や質問により学ぶ 2.子どもの食と栄養について学ぶ 食育の基本と内容 家庭や児童福祉施設における食事と栄養 特別な配慮を要する子どもの食と栄養	演習・講義	松原、地城保育士
12	①② ③④ ⑤	社会的養護とは何かを理解する。 ・社会的養護の意義と歴史 ・社会的養護の基本 ・社会的養護の制度と実施体験	講義・演習	松原、地城保育士
13	①② ③④ ⑤	児童養護施設における社会的養護について学び、発表し理解を深める。 ・社会的養護の内容と実際 ・釈迦的養護の現状と課題	13	松原、地城保育士
14	①② ③④ ⑤⑥	1.子どもの食と栄養・社会的養護についてまとめ、理解する。 2.模試を実施しながら学びを整理する。	講義	松原
15	①② ③④ ⑤⑥	前期の学びをまとめ、理解を深める。	講義	松原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		保育士 完全合格テキスト上 2023 年度版		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		授業内で紹介する		

科目名	キャリアデザイン演習Ⅱ			授業コード	121692A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科 臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング	13C222P08	AL 科目	
担当者	松原由美(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義 演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	子どもの育ちの社会的背景として『少子化 核家族化 情報化 国際化』など急激な変化を受けて、人々の価値観や生活様式が多様化している。その一方で、社会の傾向として『人間関係の希薄化 地域社会のコミュニティ意識の衰退 過度に経済性や効率性を重視する傾向 大人優先の社会風潮』などの状況が見られる。 このような社会状況が、子どもの育ちを巡る環境や家庭における親の子育て環境を変化させ、これらのことが複合的に絡み合い子どもの育ちに影響を及ぼしている。子どもの育ちの現状として、『基本的な生活習慣や態度が身についていない 他者とのかわりが苦手 自制心や耐性④運動能力が低下している』などの課題が指摘されている。また、子ども虐待として児童相談所が対応した件数は、昨年度、全国で 20 万件を超え過去最多を更新したことが厚生労働省がまとめている。。18 歳未満の子どもが親などの保護者から虐待を受けたとして児童相談所が対応した件数は全国で 20 万 5029 件に上り、年々上昇している。そして、子どもがより良い人生を歩むために、個人への養護や教育を担う「保育士」の役割は重要である。 本講義では「子どもの社会的背景」や「子どもの育ちの現状」を理解し、「保育士」の役割や保育士資格について前期の学習をさらに深める。						
学修目標	①子どもの育ちの社会的背景を理解できる。 ②子どもの育ちについて理解できる。 ③児童施設の『保育士』の役割を理解できる。 ④『保育士資格』の内容に関して理解できる。 ⑤グループディスカッションや個別指導により、知識・技術の習得方法を学ぶ。 ⑥擬試験結果を振り返り、必要とされる知識・技術の強化すべき点を理解でき、実践力を高める。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、児童分野の施設や学校で 20 年以上の経験に基づき、最新の法制度等の理解を深めることを目的として授業を行う。						
評価方法	授業内レポート30% レポート 70% で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	キャリアデザインⅠを履修していること。 児童家庭論を履修していることが望ましい。						
オフィスアワー	授業日に実施する						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	①② ③④ ⑤⑥	保育原理を理解する。 ・保育の意義と目的 ・保育に関する法令と制度 ・保育所保育指針における保育の基本				講 義	松 原
2	①② ③④ ⑤⑥	保育原理を理解する ・保育の思想や歴史 ・保育現状と課題 ・子育て支援				講 義	松 原
3	①② ③④ ⑤⑥	【教育原理】に関して理解する。 ・教育の意義・目的と児童福祉との関係 ・教育思想と歴史的変革 ・教育制度				講 義	松 原
0	③④ ⑤⑥	【確認試験】 保育原理と教育原理に関して習得状況を確認する				講 義	松 原
5	①② ③④ ⑤	障がい児施設における保育士の役割を見学や質問により理解する。				講義・演習	
6	①② ③④ ⑤	障がい児施設における保育士の役割を見学と質問により理解する。				講義 演習	
7	①② ③④ ⑤	保育士の役割について理解する ・保育所における保育士の役割 ・児童福祉施設における保育士の役割				講 義	松 原
8	①② ③④ ⑤⑥	【保育実習理論】を学ぶ ・音楽に関する技術 ・造形に関する技術 ・造形に関する技術 ・言語に関する技術				講義 演習	松 原
9	①② ③④	【保育士試験模擬試験】 習得内容を確認し、必要とされる知識・技術を習得する				講 義	松 原
10	①② ③④	【保育士試験模擬試験】 習得内容を確認し、必要とされる知識・技術を習得する				講 義	松 原
11	①② ③④	【保育士試験模擬試験】 習得内容を確認し、必要とされる知識・技術を習得する				講 義	松 原
12	①② ③④	【保育士試験模擬試験】 習得内容を確認し、必要とされる知識・技術を習得する				講 義	松 原
13	①② ③④	【保育士試験模擬試験】 習得内容を確認し、必要とされる知識・技術を習得する				講 義	松 原

14	①② ③④	【保育士試験模擬試験】 習得内容を確認し、必要とされる知識・技術を習得する 【実技試験対策】 音楽・造形・言語の技術	講義 演習	松 原
15	①② ③④ ⑤	【保育士試験模擬試験】 習得内容を確認し、必要とされる知識・技術を習得する 【実技試験対策】 音楽・造形・言語の技術を習得する。	講義 演習	松 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		保育士完全合格テキスト2023年度版 日経印刷株式会社		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		授業内で必要に応じて紹介する。		

科目名	キャリアデザイン演習Ⅲ			授業コード	121693A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング	13C222P09	AL 科目	○
担当者	山本順之(スポ)・井藤英俊(スポ)・衣笠高広(スポ)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	教育現場において、いじめや不登校をはじめとする教育に関する諸問題は、情報通信技術の急激な進歩に伴って多様化して いる。さらに、家庭や地域の教育力の低下、教育格差など社会を背景とする諸問題も顕在化している。 本講義は、昨今の様々な教育に関する諸問題に対応すべく、教育に関する基礎的な知識、最新の知識に基づいた対応力や柔 軟性、問題解決能力などを習得する。						
学修目標	1)教育に関する問題やその社会的背景など教育現場の現状を説明できる。 2)教育原理、教育史、教育心理、教育法規等の教育に関する基礎的な知識について、自身の弱点を分析し、補完できる。 3)教育に関する基礎的な知識を活かし、教育現場における問題への対応や解決方法を考え、説明できる。 4)人の意見を聞き、教育現場における問題への対応や解決方法を考え、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、中学校や高等学校の教育現場での経験に基づき、最新の教育現場への理解を深めることを目的として授業 を行う。						
評価方法	授業毎に行うテスト理解度により評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	教員採用試験の受験を希望する学生 授業毎に、受講生が最新の教育に関する問題を提起し、グループディスカッションを行う。新聞等により、問題について理解をし ておくこと。授業終了後、テストの復習をすること。						
オフィスアワー	井藤 月曜日 13:00～14:40 水曜日 13:00～14:40 木曜日 13:00～14:40 山本 月曜日 10:45～12:15 火曜日 10:45～12:15						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)	オリエンテーション キャリアデザイン演習(教員)Ⅰの目的と授業の進め方を理解するとともに、自身の目標を設定する。				講 義	井藤・衣笠・山本
2	1)2)3) 4)	教育史 西洋教育史? これまで習得した西洋教育史に関する知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討				講 義	井藤・衣笠・山本
3	1)2)3) 4)	教育史 西洋教育史② これまで習得した西洋教育史についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論す る。				講 義	井藤・衣笠・山本
4	1)2)3) 4)	教育史 日本教育史 これまで習得した日本教育史についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論す る。				講 義	井藤・衣笠・山本
5	1)2)3) 4)	教育心理 教育心理学の系譜 これまで習得した教育心理学の系譜についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討 論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
6	1)2)3) 4)	教育心理 発達① これまで習得した発達についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
7	1)2)3) 4)	教育心理 発達② これまで習得した発達についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
8	1)2)3) 4)	教育心理 学習① これまで習得した学習についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
9	1)2)3) 4)	教育心理 学習② これまで習得した学習についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
10	1)2)3) 4)	教育心理 性格と適応① これまで習得した性格と適応についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
11	1)2)3) 4)	教育心理 性格と適応② これまで習得した性格と適応についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
12	1)2)3) 4)	教育心理 教育評価と学習集団 これまで習得した教育評価と学習集団についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で 討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
13	1)2)3) 4)	教育原理 教育課程と学習指導要領の変遷 これまで習得した教育課程と学習指導要領の変遷についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題につ いて集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
14	1)2)3) 4)	教育原理 道徳教育と特別活動 これまで習得した道徳教育と特別活動についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で 討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
15	1)2)3) 4)	教育原理 学習指導 これまで習得した学習指導についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		教員採用試験対策 セサミノート 教職教養 2024 年度版(オープンセサミシリーズ)東京アカデミー七賢出版 1,760 円 ISBN-10 ? : ? 4864555214					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて資料を配布する。					

科目名	キャリアデザイン演習Ⅳ			授業コード	121694A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C321P09	AL 科目	○
担当者	山本順之(スポ)・井藤英俊(スポ)・衣笠高広(スポ)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リジ-No.	教育現場では社会の急激な変化に対応すべく、各教科において様々な教授方法が模索されている。特に、情報通信技術の進歩は著しく、各教科の教授方法は日進月歩である。 本講義では、様々な教科の現状に対応すべく、教育に関する基礎的な知識、さらに最新の知識に基づいた教授方法を習得する。						
学修目標	1)教育に関する問題やその社会的背景など教育現場の現状を説明できる。 2)教育原理、教育史、教育心理、教育法規等の教育に関する基礎的な知識について、自身の弱点を分析し、補完できる。 3)教育に関する基礎的な知識を活かし、教育現場における問題への対応や解決方法を考え、説明できる。 4)人の意見を聞き、教育現場における問題への対応や解決方法を考え、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、中学校や高等学校の教育現場での経験に基づき、最新の教育現場への理解を深めることを目的として授業を行う。						
評価方法	授業毎に行うテスト理解度により評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	教員採用試験の受験を希望する学生 授業毎に、受講生が最新の教育に関する問題を提起し、グループディスカッションを行う。新聞等により、問題について理解をしておくこと。授業終了後、テストの復習をすること。						
オフィスアワー	井藤 月曜日 13:00～14:40 水曜日 13:00～14:40 木曜日 13:00～14:40 山本 月曜日から水曜日 12:30～13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)	教育原理 生徒指導 これまで習得した学習指導についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
2	1)2)3) 4)	教育原理 学校経営と学級経営 これまで習得した学校経営と学級経営についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
3	1)2)3) 4)	教育原理 特別支援教育 これまで習得した特別支援教育についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
4	1)2)3) 4)	教育原理 人権教育 これまで習得した人権教育についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
5	1)2)3) 4)	教育原理 生涯学習と社会教育 これまで習得した生涯学習と社会教育についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
6	1)2)3) 4)	教育原理 これからの教育 これまで習得したこれからの教育についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
7	1)2)3) 4)	教育法規 教育の基本理念 これまで習得した教育の基本理念についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
8	1)2)3) 4)	これまで習得した学校教育についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
9	1)2)3) 4)	これまで習得した学校教育についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
10	1)2)3) 4)	教育法規 学校の管理と運営① これまで習得した学校の管理と運営についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
11	1)2)3) 4)	教育法規 学校の管理と運営② これまで習得した学校の管理と運営①についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
12	1)2)3) 4)	教育法規 児童生徒 これまで習得した児童生徒についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
13	1)2)3) 4)	教育法規 教職員① これまで習得した教職員についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
14	1)2)3) 4)	教育法規 教職員② これまで習得した教職員についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
15	1)2)3) 4)	教育法規 教育委員会 これまで習得した教育委員会についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。				講 義	井藤・衣笠・山本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		教員採用試験対策 セサミノート 教職教養 2024 年度版(オープンセサミシリーズ)東京アカデミー七賢出版 1,760 円 ISBN-10 ? : ? 4864555214					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて資料を配布する。					

科目名		精神疾患とその治療Ⅰ		授業コード	121546B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床福祉学科(2 年)		ナンバリング	13C221P08	AL 科目	○	
担当者		堀 徹也(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		本講義では、精神科医療機関等の現場で援助を行うにあたり必要とされる精神疾患とその治療、精神科医療機関で活用されるべき基礎知識を修得する(DP1,2,3,4)。特に、代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解するとともに、精神科病院等における専門治療の内容及び特性について修得する。さらに、精神科医療チームの一員としてかわる際に担うべき役割や他機関との連携の重要性について理解する(CP5)。						
学修目標		1)精神障害の概念について説明できる。 2)精神疾患の成因と分類について説明できる。 3)精神症状の概略について説明できる。 4)精神疾患の診断と心理的・身体的検査について説明できる。 5)代表的な精神疾患の症状や経過、治療方法について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		担当科目者は精神科医として 20 年以上の臨床経験を有している。その臨床経験に基づき、精神疾患と治療、精神科医療機関で活用される基礎知識の修得を目的とした講義を行う。						
評価方法		学習への取り組み姿勢(レポートなどの課題提出、質問・発言など授業への参加)を 10%及び、学期末の単位認定試験を 90%として、単位認定を行う						
準備学習・ 履修上の注意等		1)授業内容の項目について、テキストを読み予習しておくこと。 2)日頃から、新聞やテレビ等で報道される精神医療福祉に関する時事問題にも関心を持つように心がける。						
オフィスアワー		講義前後の時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当	
1	1)～3)	【精神疾患の症状と診断】 異常を判定する基準、精神医学特有の方法(了解、追体験、解釈等)				講義・SGD	堀	
2	1)～3)	【精神疾患の症状と診断】 精神症状の概略				講 義	堀	
3	1)～3)	【精神疾患の症状と診断】 伝統的分類(器質性、内因性、心因性)、国際的診断分類(ICD、DSM)				講 義	堀	
4	4)5)	【精神疾患の症状と診断】 精神障害の評価と診断、薬物療法				講 義	堀	
5	1)～3)	【精神障害の理解】 精神障害の概念、健康の定義、健康と精神障害の違い、ICF の考え方				講 義	堀	
6	2)～5)	【代表的な精神疾患】 器質的精神障害				講 義	堀	
7	2)～5)	【代表的な精神疾患】 症状性精神障害、精神作用物質使用による精神および行動の障害				講 義	堀	
8	2)～5)	【代表的な精神疾患】 統合失調症				講 義	堀	
9	2)～5)	【代表的な精神疾患】 気分(感情)障害				講 義	堀	
10	2)～5)	【代表的な精神疾患】 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害				講義・演習	堀	
11	2)～5)	【代表的な精神疾患】 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群				講 義	堀	
12	2)～5)	【代表的な精神疾患】 パーソナリティ障害と行動の障害、性の障害(性同一性障害)				講 義	堀	
13	2)～5)	【代表的な精神疾患】 精神遅滞(知的障害)				講 義	堀	
14	2)～5)	【代表的な精神疾患】 心理的発達の障害				講 義	堀	
15	2)～5)	【代表的な精神疾患】 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害				講義・SGD	堀	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新・精神保健福祉士養成講座 1 精神医学と精神医療(一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟) 中央法規出版株式会社【978-4-8058-8252-8】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて紹介						

科目名	精神疾患とその治療Ⅱ			授業コード	121547B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング	13C222P00	AL 科目	○
担当者	堀 徹也(非常勤講師)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	本講義では、精神科医療機関等の現場で援助を行うにあたり必要とされる精神疾患とその治療、精神科医療機関で活用されるべき基礎知識を修得する(DP1,2,3,4)。特に、代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解するとともに、精神科病院等における専門治療の内容及び特性について修得する。さらに、精神科医療チームの一員としてかかわる際に担うべき役割や他機関との連携の重要性について理解する(CP5)。						
学修目標	1)精神疾患の治療形態について説明できる。 2)精神保健福祉法における精神科病院の入院形態や医療観察法について理解し、その中での精神保健福祉士の役割や法制度の課題を説明できる。 3)精神医療と人権擁護の歴史と現状について説明できる。 4)精神科病院等においてチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について説明できる。 5)早期介入、再発予防や地域生活の支援等における地域の多職種連携・多機関連携について理解し、その中での精神保健福祉士の役割について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	担当科目者は精神科医として 20 年以上の臨床経験を有している。その臨床経験に基づき、精神疾患と治療、精神科医療機関で活用される基礎知識の修得を目的とした講義を行う。						
評価方法	学習への取り組み姿勢(レポートなどの課題提出、質問・発言など授業への参加)を 10%及び、学期末の単位認定試験を 90%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1)授業内容の項目について、テキストを読み予習しておくこと。 2)日頃から、新聞やテレビ等で報道される精神医療福祉に関する時事問題にも関心を持つように心がける。						
オフィスアワー	講義前後の時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【精神疾患の治療】 精神疾患治療総論				講義・SGD	堀
2	1)	【精神疾患の治療】 精神科治療療法				講 義	堀
3	1)	【精神疾患の治療】 精神療法				講 義	堀
4	1)	【精神疾患の治療】 脳刺激法などの身体療法				講 義	堀
5	1)	【精神疾患の治療】 精神科リハビリテーション				講 義	堀
6	2)3)4) 5)	【精神科医療機関における治療の実際】 外来診療、在宅医療				講 義	堀
7	2)3)4) 5)	【精神科医療機関における治療の実際】 入院治療				講 義	堀
8	2)3)4) 5)	【精神科医療機関における治療の実際】 医療観察法における入院・通院治療				講 義	堀
9	2)3)4) 5)	【精神科医療機関における治療の実際】 精神科医療機関における精神保健福祉士の役割				講 義	堀
10	2)3)4) 5)	【精神科医療機関における治療の実際】 精神保健福祉士と協働する職種				講 義	堀
11	2)3)4) 5)	【精神医療と保健、福祉の連携】 治療導入に向けた支援				講 義	堀
12	2)3)4) 5)	【精神医療と保健、福祉の連携】 再発予防や地域生活に向けた支援				講 義	堀
13	2)3)4) 5)	【精神医療の動向】 精神疾患患者の動向				講義・演習	堀
14	2)3)4) 5)	【精神医療の動向】 医療制度改革と精神医療				講 義	堀
15	2)3)4) 5)	【精神医療の動向】 医療機関の医療機能の明確化				講義・SGD	堀
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新・精神保健福祉士養成講座 1 精神医学と精神医療 (一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟) 中央法規出版株式会社 【978-4-8058-8252-8】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて紹介					

科目名	精神保健の課題と支援Ⅰ			授業コード	121548B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C321P11	AL 科目	○
担当者	西田 美香(臨床福祉学科)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	本講義は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は、精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としているが、そのことに加え、現代社会における精神保健の様々な課題に対する支援も求められている。精神障害の予防、治療、リハビリテーションに加え、国民全体の心の健康の保持・増進についても視野に入れ、社会から要請される精神保健福祉士となるため(DP1,3)、本講義では精神の健康における基本的考え方について修得する。また、現代社会における精神保健の諸課題と精神保健の実践について修得する。さらに、精神保健を維持、増進するために機能している専門機関や関係職種の役割と連携について修得する(CP(5))。						
学修目標	1)現代の精神保健分野の動向と課題について説明できる。 2)精神保健の基本的考え方について説明できる。 3)現代社会における精神保健の諸課題の実際を生活環境ごとに理解し、精神保健福祉士の役割について説明できる。 4)精神保健の保持・増進と発生予防のための支援及び専門機関や関係職種の役割と連携について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での 6 年以上の実務経験に基づき、我が国における精神保健の現状や課題、支援のあり方より具体的な理解を促す。さらに、精神保健福祉士としての精神保健の様々な課題に対応できる視点や創造力の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	学習への取り組み姿勢(レポートなど課題提出、質問・発言など授業への参加)を 20%及び学期末の単位認定試験を 80%として、単位認定を行う。詳細な評価の基準は授業開始日に資料を配布し説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業内容の項目について、テキストを読み予習しておくこと。 SGDでは、自分の意見を述べるとともに、グループメンバーが多くの意見を出しあうことによる、様々な意見や考え方の共有を目的とするため、積極的な発言や他者の意見を批判しない姿勢が求められる。 授業で配布された資料はファイルし、授業時に持参すること。						
オフィスアワー	火・木・金曜日 12:30～13:00 場所 B-411						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	精神保健の概要 精神保健とは/ライフサイクルと精神保健/生活習慣と精神の健康				講義・SGD	西 田
2	1)2)	現代の精神保健の動向と基本的考え方 精神保健の動向/精神保健活動の三つの対象/精神の健康に関する心的態度/生活と嗜癖				講 義	西 田
3	3)	家族に関連する精神保健の課題と支援(1) 家族関係における暴力と精神保健/出産・育児をめぐる精神保健/介護をめぐる精神保健				講 義	西 田
4	3)	家族に関連する精神保健の課題と支援(2) 社会的ひきこもりをめぐる精神保健/家族関係の課題				講 義	西 田
5	3)4)	家族に関連する精神保健の課題と支援(3) グリーフケア/精神保健支援を担う機関				講 義	西 田
6	3)	精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ(1) 学校教育における精神保健的課題				講 義	西 田
7	3)4)	精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ(2) 教員の精神保健/関与する専門職と関係法規				講 義	西 田
8	3)4)	精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ(3) スクールソーシャルワーカーの役割/学校精神保健にかかわる社会資源				講 義	西 田
9	3)4)	精神保健の視点からみた勤労者の課題とアプローチ(1) 現代日本の労働環境/産業精神保健とその対策				講 義	西 田
10	3)4)	精神保健の視点からみた勤労者の課題とアプローチ(2) 職場のメンタルヘルスのための相談/職場内の問題を解決するための機関および関係法規				講 義	西 田
11	3)4)	精神保健の視点からみた現代社会の課題とアプローチ(1) 災害被害者の精神保健/犯罪被害者等の支援				講 義	西 田
12	3)4)	精神保健の視点からみた現代社会の課題とアプローチ(2) 自殺予防/身体疾患に伴う精神保健				講 義	西 田
13	3)4)	精神保健の視点からみた現代社会の課題とアプローチ(3) 貧困問題と精神保健/社会的孤立				講 義	西 田
14	3)4)	精神保健の視点からみた現代社会の課題とアプローチ(4) 性的マイノリティと精神保健/多文化に接することで生じる精神保健上の問題				講 義	西 田
15	3)4)	精神保健の視点からみた現代社会の課題とアプローチ(5) 反復違法行為と精神保健/高齢化と精神保健				講義・SGD	西 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新・精神保健福祉士養成講座 2 現代の精神保健の課題と支援 (一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集) 中央法規【978-4-8058-8253-5】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	精神保健の課題と支援Ⅱ			授業コード	121549B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C322P09	AL 科目	○
担当者	西田 美香(臨床福祉学科)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	本講義は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は、精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としているが、そのことに加え、現代社会における精神保健の様々な課題に対する支援も求められている。精神障害の予防、治療、リハビリテーションに加え、国民全体の心の健康の保持・増進についても視野に入れ、社会から要請される精神保健福祉士となるため(DP1,3)、本講義では精神の健康における基本的考え方について修得する。また、現代社会における精神保健の諸課題と精神保健の実践について修得する。さらに、精神保健を維持、増進するために機能している専門機関や関係職種の役割と連携について修得する(CP(5))。						
学修目標	1)精神保健の基本的考え方について説明できる。 2)現代社会における精神保健の諸課題の実践を生活環境ごとに理解し、精神保健福祉士の役割について説明できる。 3)精神保健の保持・増進と発生予防のための支援及び専門機関や関係職種の役割と連携について説明できる。 4)国際連合の精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での6年以上の実務経験に基づき、我が国における精神保健の現状や課題、支援のあり方により具体的な理解を促す。さらに、精神保健福祉士としての精神保健の様々な課題に対応できる視点や創造力の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	学習への取り組み姿勢(レポートなど課題提出、質問・発言など授業への参加)を 20%及び学期末の単位認定試験を 80%として、単位認定を行う。詳細な評価の基準は授業開始日に資料を配布し説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業内容の項目について、テキストを読み予習しておくこと。 SGDでは、自分の意見を述べるとともに、グループメンバーが多くの意見を出しあうことによる、様々な意見や考え方の共有を目的とするため、積極的な発言や他者の意見を批判しない姿勢が求められる。 授業で配布された資料はファイルし、授業時に持参すること。						
オフィスアワー	火・木・金曜日 12:30～13:00 場所 B-411						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3)	精神保健に関する発生予防と対策(1) 精神保健における予防の考え方/アルコール関連問題に対する対策				講義・SGD	西 田
2	1)2)3)	精神保健に関する発生予防と対策(2) 薬物依存対策/ギャンブル等依存対策				講 義	西 田
3	1)2)3)	精神保健に関する発生予防と対策(3) うつ病と自殺防止対策				講 義	西 田
4	1)2)3)	精神保健に関する発生予防と対策(4) 子育て支援と暴力、虐待予防				講 義	西 田
5	1)2)3)	精神保健に関する発生予防と対策(5) 認知症高齢者に対する対策				講 義	西 田
6	1)2)3)	精神保健に関する発生予防と対策(6) 発達障害者に対する対策/社会的ひきこもりに対する対策				講 義	西 田
7	1)2)3)	精神保健に関する発生予防と対策(7) 災害時の精神保健に対する対策				講 義	西 田
8	1)2)3)	地域精神保健に関する偏見・差別等の課題(1) 関係法規/精神保健にかかわる人材育成				講 義	西 田
9	1)2)3)	地域精神保健に関する偏見・差別等の課題(2) 精神保健における偏見・差別				講 義	西 田
10	1)2)3)	精神保健に関する専門職種と国、都道府県、市町村、団体等の役割および連携(1) 国の機関とその役割/精神保健に関する法規				講 義	西 田
11	1)2)3)	精神保健に関する専門職種と国、都道府県、市町村、団体等の役割および連携(2) 多職種の役割と連携/地域精神保健にかかわる行政機関の役割および連携				講 義	西 田
12	1)2)3)	精神保健に関する専門職種と国、都道府県、市町村、団体等の役割および連携(3) 学会や啓発団体/セルフヘルプグループと地域精神保健を課題とした市民団体				講 義	西 田
13	4)	諸外国の精神保健活動の現状および対策(1) 世界の精神保健の実情				講 義	西 田
14	4)	諸外国の精神保健活動の現状および対策(2) WHO などの国際機関の活動				講 義	西 田
15	4)	諸外国の精神保健活動の現状および対策(3) 諸外国の精神保健医療の実情				講義・SGD	西 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新・精神保健福祉士養成講座 2 現代の精神保健の課題と支援 (一般社団法人日本ソーシャルワーク教育 学校連盟編集) 中央法規【978-4-8058-8253-5】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	こころとからだのしくみⅡ			授業コード	120028B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング	13C221P09	AL 科目	
担当者	稲田 弘子(福 福)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	介護をするには、「介護技術」というテクニックだけでなく、なぜそのように介護したかというその根拠となる心身面に関する基礎 的知識が必要である。根拠のある介護が実践できる介護福祉士になるために、人体の構造や機能、疾病を理解し、介護実践の 提供における留意点についての知識を修得する。(DP3 .5)(CP9)						
学修目標	1) 人の発達・老化について説明することができる。 2) 移動に関連したこころとからだのしくみについて説明することができる。 3) 食事に関連したこころとからだのしくみについて説明することができる。 4) 排泄に関連したこころとからだのしくみについて説明することができる。 5) 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみについて説明することができる。 6) 休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみについて説明することができる。 7) 身じたくに関連したこころとからだのしくみについて説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が 5 年以上ある。その経験に基づき、介護福 祉士として必要な知識の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	9 回目に中間試験(50%)、16 回目に終了試験(50%)を実施する。 学修への取り組み状況等は成績評価の参考にとどめる。 詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 授業で配布したプリントはきちんとファイリングすること。テキストを使用しないため、欠席した場合は、プリントを研究室まで取り に来ること。 毎授業ごとに配布するプリントをよみかえし、復習し、まとめること。 定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。 介護福祉士の国家試験対策の模試を配布するので、計画的に解答しておくこと。						
オフィスアワー	時間割が確定後、研究室前に提示します						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	人体の老化について				講 義	稲 田
2	1)	こころのしくみを理解する				講 義	稲 田
3	1)	からだのしくみを理解する				講 義	稲 田
4	2)	【こころとからだのしくみⅡ】移動に関連したこころとからだのしくみ①				講 義	稲 田
5	2)	【こころとからだのしくみⅡ】移動に関連したこころとからだのしくみ②				講 義	稲 田
6	2)	【こころとからだのしくみⅡ】移動に関連したこころとからだのしくみ③				講 義	稲 田
7	3)	【こころとからだのしくみⅡ】食事に関連したこころとからだのしくみ①				講 義	稲 田
8	3)	【こころとからだのしくみⅡ】食事に関連したこころとからだのしくみ②				講 義	稲 田
9	1)2)3)	中間試験 1～8 回目の総括				講 義	稲 田
10	4)	【こころとからだのしくみⅡ】排泄に関連したこころとからだのしくみ①				講 義	稲 田
11	4)	【こころとからだのしくみⅡ】排泄に関連したこころとからだのしくみ②				講 義	稲 田
12	5)	【こころとからだのしくみⅡ】入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ①				講 義	稲 田
13	5)	【こころとからだのしくみⅡ】入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ②				講 義	稲 田
14	6)	【こころとからだのしくみⅡ】休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ①				講 義	稲 田
15	7)	【こころとからだのしくみⅡ】身支度に関連したこころとからだのしくみ①				講 義	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。(講義時にプリントを配布するので、きちんとファイリングしておくこと)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		発達と老化の理解Ⅱ			授業コード	120857B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C322P10	AL 科目	○
担当者		稲田 弘子(福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		介護福祉士は、介護や支援を必要とする高齢者はもちろん、障害児・者など、いろいろな年代の方を対象としている。また、人は生まれてから最後を迎えるまで連続線上を生きている。いろいろな年代の人に対し、生活を支えることのできる介護福祉士になるために、人間の成長や発達についての基礎的な知識を修得する。 「発達と老化の理解Ⅱ」では、誕生から、それぞれの発達段階の課題についての知識を修得する。(DP3.5)(CP9)						
学修目標		1) 人間の発達と成長について説明することができる。 2) 各発達段階における課題について説明することができる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が5年以上ある。その経験に基づき、介護福祉士として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法		学期末の単位認定試験 80%と学修への取り組み状況(授業態度、課題提出・内容)20%として、総括的に評価する。 ◆学修への取り組み状況(20 点分) グループワークの取り組み状況と発表 ◆単位認定試験(80 点分) テキスト、プリント 70 点 模擬問題から 10 点 詳細な評価基準は、授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等		介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 授業で配布したプリント、学生が作成したプリントはきちんとファイリングすること。欠席した場合は、プリントを研究室まで取りに来ること。 配布プリント、テキストをよみかえし、復習し、まとめること。 レポート、課題は期限内に提出すること。 定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。 模擬問題を配布するので、計画的に解答しておくこと。						
オフィスアワー		時間割が確定後に研究室前に提示する。						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	【人間の成長と発達に基本的理解】誕生について					講 義	稲 田
2	1)	【人間の成長と発達に基本的理解】乳幼児期・学童時期の成長と発達について①					講 義	稲 田
3	1)	【人間の成長と発達に基本的理解】乳幼児期・学童時期の成長と発達について②					講 義	稲 田
4	1)	【人間の成長と発達に基本的理解】乳幼児期・学童時期の成長と発達について グループワーク①					演 習	稲 田
5	1)	【人間の成長と発達に基本的理解】乳幼児期・学童時期の成長と発達について グループワーク②					演 習	稲 田
6	1)	【人間の成長と発達に基本的理解】乳幼児期・学童時期の成長と発達について 発表①					演 習	稲 田
7	1)	【人間の成長と発達に基本的理解】乳幼児期・学童時期の成長と発達について 発表②					演 習	稲 田
8	1)	【人間の成長と発達に基本的理解】乳幼児期・学童時期の成長と発達について まとめ					講 義	稲 田
9	2)	乳幼児期における発達課題について					講 義	稲 田
10	2)	学童期における発達課題について					講 義	稲 田
11	2)	青年期における発達課題について①					講 義	稲 田
12	2)	青年期における発達課題について②					講 義	稲 田
13	1)2)	発達と老化の理解 総括①					講 義	稲 田
14	1)2)	発達と老化の理解 総括②					講 義	稲 田
15	1)2)	発達と老化の理解 総括③					講 義	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新介護福祉士養成講座12 発達と老化の理解 第2版 中央法規出版【978-4-8058-8401-0】「発達と老化の理解Ⅰ」で使用している。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。(必要時プリントを配布する)						

科目名		障害の理解			授業コード	121521B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング	13C221P10	AL 科目	
担当者		清水 径子(福・福) 稲田 弘子 (福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		我が国の障害者施策をめぐる状況は大きく変化した。障害者自立支援法の成立にともない、障害者福祉サービスの利用の仕組みはかわり、さらにサービス内容と質の充実が求められるようになった。障害者施策の対象は高齢化に伴い増加し幅広い年齢層にわたり障害の種類也多様化している。講義では、「障害の構造的理解」が提起され、ICIDHからICFへと進展してきた過程などの障害に関する基本的な知識を十分理解し、その「考え方」を基本として個々の障害(例えば、視覚障害、聴覚障害や知的障害など)について医学的、心理的側面を正しく理解しまた、障がいの特性に応じた生活支援のあり方を学習する。また、障がいのある人との交流や性格上の様々なことを理解し、さらに障がい者本人のみならず、家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を学習する。障がいのある人の心理や生活上の問題点などを具体的に学習するとともに、家族への支援、チームアプローチの必要性や地域での介護支援資源の探求、連携と協働などについての学習を深める。 DP(3)、CP2(14)						
学修目標		1) 障害の基本的知識について理解できる。 2) 障害の医学的・心理的側面を理解し、その障害の特性に応じた生活支援のあり方について説明できる。 3) 障害のある人を施設・地域で支援するために、家族への支援や、多職種との連携と協働のあり方について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		実施予定なし。						
評価方法		7 回目に実施する中間試験 50 点、16 回目に実施する最終試験 50 点にて評価する。評価基準の詳細については、授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等		介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修である。 1 回の授業につき、1 時間を目安に予習・復習等を行うこと。 与えられた課題に取り組み、提出期限を守ること。						
オフィスアワー		各自、研究室前等に掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	【我が国の障害者福祉の歴史】我が国の障害者施策の発展の歴史を理解する。					講 義	清 水
2	1)	【国際的な障害の捉え方】我が国の障害者施策の発展に影響を与えた国際障害年と国際障害概念について理解する。さらに国際生活機能分類について理解する。					講 義	清 水
3	1)	【障害者総合支援法の制度1】障害者総合支援法の制度、とくに自立支援給付としての介護給付と訓練等給付の事業に焦点をあて学ぶ。					講 義	清 水
4	1)	【障害者総合支援法の制度2】障害者総合支援法の制度、とくに地域生活支援事業に焦点をあて学ぶ。					講 義	清 水
5	1)	【障害者総合支援法の制度3】障害者総合支援法の制度利用を進める上での専門職の役割と関係機関の連携について学ぶ。					講 義	清 水
6	1)	【関連施策1】障害児者、高齢者の移動・情報保障、社会参加の促進に関する施策を理解する。					講 義	清 水
7	1)	【関連施策2】障害者の雇用に関する施策を理解する。中間試験。					講 義	清 水
8	2)	【障害の医学的・心理的側面の基礎知識と特性に応じた生活支援1】身体障害①					講 義	稲 田
9	2)	【障害の医学的・心理的側面の基礎知識と特性に応じた生活支援2】身体障害②					講 義	稲 田
10	2)	【障害の医学的・心理的側面の基礎知識と特性に応じた生活支援3】身体障害③					講 義	稲 田
11	2)	【障害の医学的・心理的側面の基礎知識と特性に応じた生活支援4】内部障害					講 義	稲 田
12	2)	【障害の医学的・心理的側面の基礎知識と特性に応じた生活支援5】精神障害①					講 義	稲 田
13	2)	【障害の医学的・心理的側面の基礎知識と特性に応じた生活支援6】精神障害②					講 義	稲 田
14	2)	【障害の医学的・心理的側面の基礎知識と特性に応じた生活支援7】知的障害・高次脳機能障害					講 義	稲 田
15	3)	【連携と協働】地域・関係機関との連携、多職種との協働、家族への支援など地域におけるサポートとチームアプローチについて理解する					講 義	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			最新介護福祉士養成講座 14 障害の理解 中央法規					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			最新社会福祉士養成講座 8 障害者福祉 中央法規					

科目名		公衆衛生学		授業コード	120370B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉専攻・スポーツ健康福祉学科(3 年)		ナンバリング	13C321P13	AL 科目	
担当者		鬼塚 信	開講学期	2024 年度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		人々の健康の維持・増進は「福祉社会」の構築にとって基本的な要素となっている。公衆衛生学は「みんなの健康をみんなで守り、向上させるための組織的な営み」といえるので、社会福祉を学ぶ学生には大切な講義である。また、保健の教員を目指す学生にとっても、生徒の保健教育上、欠かせない情報が学ぶことができる。本講義を受講すれば、公衆衛生学の知識に基づいて、より良い福祉サービスが提供できるような視点を持てるようになる。特に、予防医学(特に感染症対策、母子保健、生活習慣病対策、老人保健、環境保健)、国際保健、保健行政の分野での理解を深めることができる。					
学修目標		1)公衆衛生の概念を理解できる。 2)公衆衛生と疾病の関係について説明ができる。 3)公衆衛生と様々な制度との関係を述べることができる。 4)世界の保健と公衆衛生活動の関係を説明できる。					
実務経験のある 教員による教育							
評価方法		学期末の筆記試験(70%)、小テスト、課題の提出状況・授業態度(30%)を考慮して評価する。					
準備学習・ 履修上の注意等		講義中に学生の意見を求めることがある。緊張感を持って講義に臨んでほしい。 学習の範囲が広範囲に及ぶので、教科書を用いた十分な復習(1 時間以上)が必要である。					
オフィスアワー		講義前後の可能な時間					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)	公衆衛生では何を学ぶのか？				講 義	鬼 塚
2	1)2)3) 4)	健康の定義とは？				講 義	鬼 塚
3		健康と環境はどのように関連しているのか？				講 義	鬼 塚
4		公衆衛生学で用いられる疫学的手法にどんなものがあるのか？				講 義	鬼 塚
5		健康に関する指標がなぜ大事なのか？				講 義	鬼 塚
6		公衆衛生上重要な感染症にどんなものがあるの？				講 義	鬼 塚
7		公衆衛生上重要な感染症にどんなものがあるの？				講 義	鬼 塚
8		栄養と健康はどんな関係になっているの？				講 義	鬼 塚
9		生活環境の保全でなんなの？				講 義	鬼 塚
10		日本の医療制度はどうなっているの？				講 義	鬼 塚
11		地域保健活動ってなに？				講 義	鬼 塚
12		母子保健はなぜ大事なの？				講 義	鬼 塚
13		学校保健はどんな内容なの？				講 義	鬼 塚
14		生活習慣病、難病はどんなインパクトを社会に与えているの？				講 義	鬼 塚
15		ヘルスプロモーションでなんなの？				講 義	鬼 塚
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		わかりやすい公衆衛生学 清水忠彦 佐藤拓代 NOUVELLE HIROKAWA					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	精神保健福祉の原理Ⅰ			授業コード	121664B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(1 年)			ナンバリング	13C122P07	AL 科目	○
担当者	黒須依子(心・心)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	本科目は「精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための必修科目」に該当する。 日本の精神保健福祉の歴史により創られた精神障害者やその家族の生活実態、先進諸外国と比較した日本の精神保健福祉 の特徴と課題を学び、日本の精神保健福祉向上に向け必要な取組みを考え理解することを目的とする。						
学修目標	1)日本の精神障害者に対する地域住民の差別・偏見の現状を理解し説明できる。 2)ICF による障害概念の意義と ICIDH の障害概念との相違点を理解し説明できる。 3)障害者基本法、障害者総合支援法による障害者、精神保健福祉法による精神障害者の法的定義を説明できる。 4)日本の優性思想と社会防衛思想が精神障害者の地域生活に及ぼした影響を理解し説明できる。 5)OECD 諸外国と比較した日本の精神保健福祉の特徴を理解し説明できる。 6)精神病患者監護法の特徴を理解し説明できる。 7)精神病院法制定後の日本の精神保健の特徴を理解し説明できる。 8)精神衛生法、改正精神衛生法制定後の日本の精神保健の推移と特徴を理解し説明できる。 9)精神保健法制定後の日本の精神保健の推移と特徴を理解し説明できる。 10)精神保健福祉法制定過程と制定の意義を理解し説明できる。 11)精神科病院の入院中心医療システムが精神障害者の生活に及ぼした影響を理解し説明できる。 12)地域住民の偏見等を要因とする精神障害者やその家族が抱える生活のしづらさと精神保健福祉の課題を理解し説明でき る。 13)障害者福祉の基本的な人権尊重の意義を理解し説明できる。 14)精神障害者の自立と社会参加、消費者としての権利を保障する意義を理解し説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	無し						
評価方法	定期試験結果を全体の 70%、学習への取り組み姿勢(レポート課題の提出と内容、隔週毎を基本に実施する小テスト結果、 SGD への参加・発言状況、返却物の受取)を全体の 30%として単位認定を行う。詳細な評価の基準は授業開始時に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業時の配布資料はファイルに綴じ、指定テキストと共に毎授業時に持参すること。なお、受講生は当授業に関する自主学習 時間を 1 回の授業につき 2 時間以上/週設け予習復習を行い、講義内小テストを受験すること。また、提出期限厳守で課題レポ ートを作成・提出し、講義時に指定した事例やテキスト指定内容を購読した上で授業に臨むこと。ただし、これによらない場合は 授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計 30 時間以上の自主学習を行うこと。その他、各講義内容での不明点は、授 業時や授業後のオフィスアワーを利用し学生各自で主体的に質問すること。						
オフィスアワー	時間割決定後、研究室前に提示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 「精神障害者に対する地域社会の偏見が精神精神障害者の地域生活に及ぼす影響(1)」				講 義 S G D	黒 須
2	1)	「精神障害者に対する地域社会の偏見が精神障害者の地域生活に及ぼす影響(2)」				講 義	黒 須
3	2)	障害の捉え方 (1) 「ICFの障害概念①」				講 義	黒 須
4	2)	障害の捉え方 (2) 「ICFの障害概念②(ICFの概念で障害を捉える意義)」				講 義 S G D	黒 須
5	3)	障害の定義 「日本の制度に基づく障害者・精神障害者の定義」				講 義	黒 須
6	4)13)	社会防衛思想と優生思想が精神障害に及ぼした影響(日本)				講 義	黒 須
7	4)13)	社会防衛思想と優生思想が精神障害者に及ぼした影響(ドイツ)				講 義	黒 須
8	5)6)	日本の精神保健福祉の特徴 日本の精神保健福祉歴史① 「精神病患者監護法の特徴」				講 義	黒 須
9	7)	日本の精神保健福祉の歴史② 「精神病院法制定の経緯と特徴」				講 義	黒 須
10	8)	日本の精神保健福祉の歴史③ 「精神衛生法制定の経緯と特徴」				講 義	黒 須
11	8)	日本の精神保健福祉の歴史④ 「改正精神衛生法制定の経緯と特徴」				講 義	黒 須
12	10)11)	日本の精神保健福祉の歴史⑤ 「精神保健福祉法制定の経緯と特徴」				講 義	黒 須
13	10)	日本の精神保健福祉の歴史⑥ 「精神保健福祉法制定の意義」				講 義	黒 須
14	11)12) 13)	日本の精神保健福祉歴史が精神障害者の家族や地域住民の地域生活に及ぼした負の影響				講 義	黒 須
15	12 11)12) 13)14)	日本の精神保健福祉の歴史が精神障害当事者の地域生活に及ぼした負の影響				講 義	黒 須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 精神保健福祉士養成講座5 精神保健福祉の原理(日本ソーシャルワーク教育学校連盟編)中央法規 出版【978-4-8058-8256-6】					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	①心病める人たち-開かれた精神医療へ- (石川 信義) 岩波新書 【4-00-430122-X】 ②ルポ・精神病棟(大熊一夫)朝日新聞社【4-02-260244-9】 ③自由こそ治療だ～イタリア精神病院解体のレポート～(ジル・シュミット著、半田文穂訳)社会評論社【4-7845-0181-9】

科目名	精神保健福祉の原理Ⅱ			授業コード	121698B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング	13C221P11	AL 科目	○
担当者	黒須依子(心・心)・外部講師	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	本科目は「精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための必修科目」に該当する。 本講義は、日本の精神保健福祉発展過程を通じ誕生した精神保健福祉士の存在意義、援助理念、援助対象者とその関係性、倫理綱領に基づく職責について理解し、精神保健福祉向上に向け求められる精神保健福祉士の基礎的な役割を理解することを目的とする。併せて、欧米諸国で発展した精神保健福祉援助理念や援助技法を学び、今後、日本の精神保健福祉士に必要な役割と課題を理解する。						
学修目標	1)日本の精神障害者に対する入院中心医療施策により生じた精神障害者の長期入院、社会的入院の現状、退院阻害要因を理解し説明できる。 2)精神障害者の社会生活の現状と社会生活困難要因を理解し説明できる。 3)インスティチュナリズム、ホスピタリズム意味と課題について説明できる。 4)日本の精神保健福祉施策によって生じた精神障害者家族の位置づけと生活課題を理解し説明できる。 5)日本の精神医学ソーシャルワーカー誕生の歴史と意義を理解し説明できる。 6)精神保健福祉士法の目的と精神保健福祉士法に規定された精神保健福祉士の基本的役割を理解し説明できる。 7)精神保健福祉士法の精神保健福祉士倫理綱領の内容と意味を理解し説明できる。 8)精神障害者の「社会的復権と権養擁護」「自己決定」「当事者主体」を精神保健福祉士が支援する意味と重要性を理解し説明できる。 9)精神障害者の「社会正義」「ごく当たり前の生活」を精神保健福祉士が支援する意味と重要性を理解し説明できる。 10)精神保健福祉援助における「ノーマライゼーション」「エンパワメント支援」「ソーシャルインクルージョン」の意味を理解し説明できる。 11)精神保健福祉援助における「リカバリーの視点」「アンチスティグマの視点」の意味を理解し説明できる。 12)精神保健福祉援助において精神保健福祉士がパートナーシップな関係、当事者主体の関係を保つ必要性を理解し説明できる。 13)欧米諸外国における障害者排除の歴史を理解し説明できる。 14)欧米諸国で誕生した精神保健福祉におけるセルフヘルプ活動、ピアサポート、ナラティブ・アプローチ、オープンダイアログ等について理解しその特徴を説明できる。 15)精神保健福祉援助におけるピアサポートの意義とピアサポーターの役割を理解する 16)精神保健福祉士業務指針を基に精神保健福祉士の業務内容と専門性を理解し説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	なし						
評価方法	授業開始時、隔週ごとに小テストを行い授業成果をフィードバックする。 定期筆記試験の結果を評価の 70%、講義内実施の確認小テストの結果(平均点)を評価の 15%、及び授業への取り組み姿勢(課題レポート提出状況と内容、授業中の SGD への参加、発言等)を評価の 15%として単位認定を行う。評価基準の詳細は授業開始(オリエンテーション)時に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	指定テキストの他、講義配布資料はファイルに綴じ、毎授業時に持参すること。尚、返却を受けた確認小テストの結果はファイルに綴じ、各自復習に活用すること。 また、1 回の授業につき 2 時間以上/週、当授業に関する自主学習時間を設け予習復習を行い、課題レポートは提出期限厳守で提出すること。その他、講義時に提示した事例やテキスト指定内容を購読した上で授業に臨むこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計 60 時間以上の自主学習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割決定後、提示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション 精神障害者の生活特性(1) 「精神科医療サービスによる影響」				講 義	黒 須
2	2)3)	精神障害者の生活特性(2) 「精神障害者の社会生活の状況」				講 義 S G D	黒 須
3	4)	精神障害者の生活特性(3) 「精神障害者の家族の生活状況」				講 義 S G D	黒 須
4	5)6)	精神保健福祉士誕生の歴史と精神保健福祉士の役割と倫理				講 義	黒 須
5	7)	精神保健福祉士の倫理綱領(1)				講 義	黒 須
6	7)	精神保健福祉士の倫理綱領(2)				講 義	黒 須
7	8)	精神保健福祉士の価値と原理(1)社会的復権・権利擁護・自己決定・当事者主体				講 義 S G D	黒 須
8	9)	精神保健福祉士の価値と原理(2)社会正義・ごく当たり前の生活				講 義 S G D	黒 須
9	10)	精神保健福祉士の援助理念 「自立支援・ノーマライゼーション・エンパワーメント・ソーシャルインクルージョン」				講 義	黒 須
10	11)	精神保健福祉士の援助視点 「リカバリー支援・アンチスティグマ」				講 義	黒 須
11	12)	精神保健福祉援助における間主観関係とパートナーシップ				講 義 S G D	黒 須
12	13)	欧米諸国における排除の歴史と構造				講 義 S G D	黒 須

13	14)	新たな精神保健福祉援助の発展 「自助グループ・当事者研究・オープンダイアログ・ナラティブ・アプローチ」	講 義	黒 須
14	15)	精神保健福祉におけるピアサポートの役割と現状	講 義	黒 須 外部講師
15	16)	精神保健福祉士の役割と専門性	講 義 S G D	黒 須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		① 最新 精神保健福祉士養成講座 5「精神保健福祉の原理」(一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編) 中央法規出版株式会社【978-4-8058-8256-6】 ②「福祉小六法 2024」(大阪ボランティア協会:編)中央法規出版株式会社【978-4-8058-8981-7】 ③「精神科病院を出て、町へーACTがつくる地域精神医療ー」(伊藤順一郎)岩波書店【978-4-00-270854-6】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		①「べてるの家の「非」援助論 そのままでいいと思えるための25章 」(浦河べてるの家)医学書院【4-260-33210-4】 ②「精神障がいピアサポーター ―活動と効果的な養成・育成プログラム―(相川章子)中央法規出版株式会社【978-4-8058-3907-2】 ③「自由こそ治療だ イタリアの精神病院解体のレポート」(ジル・シュミット/半田文穂 訳)社会評論社【4-7845-0181-9】		

科目名	精神障害リハビリテーション論			授業コード	121699B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C321P14	AL 科目	○
担当者	西田 美香(臨床福祉学科)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	本講義は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は、精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としており、そのなかでも精神障害を対象とするリハビリテーションは、精神障害者の社会復帰支援において熟知しなければならない重要な分野である。これまで停滞してきた我が国における精神障害者の社会復帰を支える精神保健福祉士となるために(DP1,3)、本講義では精神科リハビリテーションの概念や基本原則、精神科リハビリテーションの構成やプログラムの実際について修得する(CP(5))。						
学修目標	1)精神障害リハビリテーションの概念とプロセス及び精神保健福祉士の役割について説明できる。 2)精神障害リハビリテーションプログラムの知識と援助場面での活用について説明できる。 3)精神科リハビリテーションの実施機関と精神科リハビリテーションプログラムの関連について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での 6 年以上の実務経験に基づき、精神障害者に対する支援の基本的考え方やリハビリテーションの概念と構成のより具体的な理解を促す。さらに、精神障害リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	学習への取り組み姿勢(レポートなど課題提出、質問・発言など授業への参加)を 20%及び学期末の単位認定試験を 80%として、単位認定を行う。詳細な評価の基準は授業開始日に資料を配布し説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業内容の項目について、テキストを読み予習しておくこと。 SGDでは、自分の意見を述べるとともに、グループメンバーが多くの意見を出しあうことによる、様々な意見や考え方の共有を目的とするため、積極的な発言や他者の意見を批判しない姿勢が求められる。 授業で配布された資料はファイルし、授業時に持参すること。						
オフィスアワー	火・木・金曜日 12:30～13:00 場所 B-411						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	精神障害リハビリテーションとソーシャルワーク(1) 精神障害リハビリテーションとソーシャルワークの関係				講 義	西 田
2	1)	精神障害リハビリテーションとソーシャルワーク(2) 精神障害リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割				講 義	西 田
3	1)	精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則(1) 精神障害リハビリテーションの理念と定義				講義・SGD	西 田
4	1)	精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則(2) 医学的・職業的・社会的・教育的リハビリテーション				講 義	西 田
5	1)	精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則(3) 精神障害リハビリテーションの基本原則				講 義	西 田
6	1)	精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則(4) 地域およびリカバリー概念を基盤としたリハビリテーションの意義				講義・SGD	西 田
7	2)	精神障害リハビリテーションの構成および展開(1) 精神障害リハビリテーションの対象				講 義	西 田
8	2)	精神障害リハビリテーションの構成および展開(2) チームアプローチ				講 義	西 田
9	2)	精神障害リハビリテーションの構成および展開(3) 精神障害リハビリテーションのプロセス				講 義	西 田
10	2)3)	精神科リハビリテーションプログラムの内容と実施機関(1) 医学的リハビリテーションプログラム				講 義	西 田
11	2)3)	精神科リハビリテーションプログラムの内容と実施機関(2) 職業的リハビリテーションプログラム				講 義	西 田
12	2)3)	精神科リハビリテーションプログラムの内容と実施機関(3) 社会的リハビリテーションプログラム				講義・SGD	西 田
13	2)3)	精神科リハビリテーションプログラムの内容と実施機関(4) 教育的リハビリテーションプログラム・家族支援プログラム				講 義	西 田
14	2)3)	精神科リハビリテーションプログラムの内容と実施機関(5) リハビリテーションに用いられるその他の手法・プログラム				講 義	西 田
15	2)3)	精神障害リハビリテーションの動向と実際 精神障害当事者や家族を主体としたリハビリテーション/依存症のリハビリテーション				講義・SGD	西 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新・精神保健福祉士養成講座 3 精神障害リハビリテーション論(一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集) 中央法規 【978-4-8058-8254-2】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	精神保健福祉制度論			授業コード	121700B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング	13C222P11	AL 科目	○
担当者	黒須 依子(心・心)・外部講師	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	本講義は「精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための必修科目」に該当する。 精神障害者等に対し質の高い相談援助を行うためには、現行の精神保健福祉関連制度やサービスの内容を熟知しておくことが必要である。精神保健福祉士として働く上で必要となる精神保健福祉法、障害者総合支援法、精神障害者生活支援に関わる居住・就労・経済的支援に関する制度、医療観察法の概要と課題と、これらの制度に規定される精神保健福祉士の役割を理解することを本講義の目的とする。						
学修目標	1)精神保健福祉士が精神保健福祉制度の発展過程や制度内容を習得する意義を理解、説明できる。 2)精神保健法が精神保健福祉法に改正された社会背景と成立の意義を理解、説明できる。 3)精神保健福祉法における入院制度の概要を理解し説明できる。 4)精神保健福祉法に基づく精神保健福祉士による精神障害者権利擁護の役割を理解、説明できる。 5)障害福祉サービス利用過程を支援する精神保健福祉士の役割を理解し説明できる。 6)相談支援事業の種類と事業内容の相違点を理解、説明できる。 7)相談支援事業に携わる精神保健福祉士の役割と課題を理解、説明できる。 8)精神障害者の居住支援サービス利用状況と居住支援における精神保健福祉士の役割と課題を理解し説明できる。 9)障害者就労支援サービスの精神障害者の利用状況と就労支援サービスの内容を理解し説明できる。 10)障害者就労支援における精神保健福祉の役割と課題を理解、説明できる。 11)医療観察法成立の経緯と概要を理解、説明できる。 12)医療観察法対象者を支援する精神保健福祉士の役割を理解、説明できる。 13)福祉と司法が連携して障害者支援を行う意義を理解し説明できる。 14)障害者権利擁護における障害者権利条約・改正障害者基本法の要点を理解し説明できる。 15)精神障害者権利擁護制度に基づく精神保健福祉士の役割を理解し説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	あり 第 13 回目授業では外部講師として障害福祉サービス事業所で精神障害者支援を行う精神保健福祉士を招聘し、精神障害者支援における相談支援業務の実際と具体的な支援事例を通じ、障害者総合福祉法における相談支援事業を担う精神保健福祉士の役割、精神保健福祉士に必要な倫理と知識について聴講し学びを深める。						
評価方法	隔週毎に授業開始時に確認小テストを行い、学習成果をフィードバックする。定期試験結果を全体の 70%、各講義内での確認小テストの結果(平均点)を全体の 15%、学習への取り組み姿勢(レポート課題提出状況、SGD への参加・発言、返却物の受取り)を全体の 15%として単位認定を行う。詳細な評価の基準は授業時に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業時の配布資料はファイルに綴じ、指定テキスト①、②と共に毎授業時に持参すること。 なお、1 回の授業につき 2 時間以上/週の当授業に関する自主学習時間を設け、講義時に指定した事例やテキスト指定内容購読等の予習復習を行い授業に臨むこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計 30 時間以上の自主学習を行うこと。また、提出期限厳守で課題レポートを作成・提出すること。 各講義内容での不明点は、授業時や授業後のオフィスアワーを利用し学生各自で主体的に質問すること。						
オフィスアワー	時間割決定後、研究室前に提示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)4)	オリエンテーション 「精神保健福祉法の目的と対象」				講 義 S G D	黒 須
2	2)4)	精神保健福祉法の概要(1) 「精神保健福祉の役割に関する規定」				講 義	黒 須
3	2)3)	精神保健福祉法の概要(2) 「精神保健福祉法の入院制度①」				講 義 S G D	黒 須
4	2)3)	精神保健福祉法の概要(3) 「精神保健福祉法の入院制度②」				講 義 S G D	黒 須
5	3)4)14)15)	精神保健福祉法の概要(4) 「精神障害者の権利擁護に関する規定」				講 義 S G D	黒 須
6	5)	精神障害者の生活支援に関する制度(1) 障害者総合支援法①「サービス体系と内容」				講 義	黒 須
7	5)	精神障害者の生活支援に関する制度(2) 障害者総合支援法②「サービス提供過程と精神保健福祉士の役割」				講 義	黒 須
8	5)6)7)	精神障害者の生活支援に関する制度(3) 障害者総合支援法③「相談支援事業の種類・内容と精神保健福祉士の役割」				講 義	黒 須
9	8)	精神障害者の生活支援に関する制度(4) 「居住支援制度」				講 義 S G D	黒 須
10	8)	精神障害者の生活支援に関する制度(5) 「居住支援制度と精神保健福祉士の役割」				講 義	黒 須
11	9)	精神障害者の生活支援に関する制度(6) 「就労支援制度」				講 義	黒 須
12	9)10)	精神障害者の生活支援に関する制度(7) 「就労支援制度と精神保健福祉の役割」				講 義 S G D	黒 須
13	5)6)7)	精神障害者の生活支援に関する制度(まとめ) 「精神障害者の相談支援を担う精神保健福祉士の業務と役割」				講 義	黒 須 外部講師
14	11)	医療観察法(1) 「医療観察法の目的と内容」				講 義	黒 須

15	11)12) 13)	医療観察法(2) 「医療観察法における精神保健福祉士の役割」	講義	黒須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		①最新「精神保健福祉士養成講座 5 精神保健福祉制度論」(日本精神保健福祉士協会:編)中央法規出版【978-4-8058-8255-9】 ②福祉小六法 2024(大阪ボランティア協会:編)中央法規出版【978-4-8058-8981-7】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		①「精神科病院を出て、町へーACT がつくる地域精神医療ー」(伊藤 順一郎)岩波書店【978-4-00-270854-6】 ②「精神病院を捨てたイタリア、捨てない日本 (大熊 一夫)」岩波書店【978-4-00-023685-0】		

科目名	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ			授業コード	121701B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C321P15	AL 科目	○
担当者	黒須 依子(心・心)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	本科目は「精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための必修科目」に該当する。 本講義の目的は精神保健福祉におけるソーシャルワークの理念、価値、視点、援助技法に関する理論と方法について理解することである。具体的には、精神保健福祉分野でのケースワーク、ケアマネジメント、チームアプローチの援助理論、援助技法、及びソーシャルワーカーの役割や実践上の留意点等について事例検討や SGD を通じ理解を深める。また、精神障害者家族に対するソーシャルワーク理論と方法について習得する。						
学修目標	1)精神保健福祉における援助理念とソーシャルワークの過程と留意点を説明できる。 2)ソーシャルワークの専門性、生活モデルと医学モデルの相違点を説明できる。 3)リフレーミングの技法を理解し、ストレングス視点による相談援助の技法と留意点を説明できる。 4)グループワークの意義とモデルを説明できる。 5)精神保健領域でのグループワーク実践におけるソーシャルワーカーの役割と留意点を説明できる。 6)ケアマネジメントの発展過程を説明できる。 7)精神障害者ケアマネジメントの目的と意義、援助モデルを説明できる。 8)精神障害者ケアマネジメントにおけるストレングスモデルの原則を説明できる。 9)ストレングスモデルのケアマネジメントにおけるケア計画作成の方法、留意点を説明できる。 10)精神障害者家族が抱える課題を説明できる。 11)精神障害者家族に対する援助理論を説明できる。 12)チームアプローチにおけるチームの形態と特徴を説明できる。 13)チームアプローチ実践として ACT の特徴と意義を説明できる。 14)精神障害者家族が抱える課題を説明できる。 15)精神障害者家族理解に関する理論と特徴を説明できる。 16)精神障害者の家族支援方法と留意点を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	なし						
評価方法	定期試験の結果を 70%、レポート課題提出状況、授業内で行う小テスト結果、学習への取り組み姿勢(演習や SGD への参加状況)を合わせて 30%として評価する。詳細な評価の基準は授業時に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱを履修済、又は履修中であること、精神保健福祉の原理Ⅰ・Ⅱの受講経験者(履修中を含む)であることを本講義履修の条件とする。 受講生は授業中の演習や SGD に主体的に参加すると共に、授業 1 コマにつき 2 時間以上の本授業に関する自主学習時間を設け、課題レポートは提出期限厳守で作成・提出すること。 講義時に指定した事例やテキスト指定内容は、自主学習時間内で事前購読し授業に臨むこと。 授業内配布資料はファイルに綴じ、指定テキスト、資料を綴じたファイルを毎時、持参すること。						
オフィスアワー	時間割決定後、提示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション、精神保健福祉援助の理念 「利用者主体、リカバリー、エンパワーメント、ストレングス」				講 義	黒 須
2	2)	ソーシャルワークのモデル 「医療モデルと生活モデル」				講 義 S G D	黒 須
3	3)	ケースワークの手法(1) 「ケースワークの展開過程」				講 義 S G D	黒 須
4	3)4)	ケースワークの手法(2) 「精神保健福祉援助におけるアセスメントの留意点」				講 義	黒 須
5	3)4)5)	ケースワークの手法(3) 「精神保健福祉援助における個別面談の技法と留意点」				講 義 S G D	黒 須
6	6)7)	ケアマネジメント(1) 「ケアマネジメントの目的と意義」				講 義	黒 須
7	8)	ケアマネジメント(2) 「ストレングスモデルの意義と原則①」				講 義	黒 須
8	8)10)	ケアマネジメント(3) 「ストレングスモデルの意義と原則②」				講 義	黒 須
9	8)9)10)	ケアマネジメント(4) 「ストレングスモデルにおけるケアプランの作成方法と留意点①」				講 義 演 習	黒 須
10	8)9)10)	ケアマネジメント(5) 「ストレングスモデルにおけるケアプランの作成方法と留意点②」				講 義 演 習	黒 須
11	11)	チームアプローチ(1) 精神保健福祉援助における多職種連携の理念と意義				講 義	黒 須
12	12)	チームアプローチ(2) 「チームのモデルと精神保健福祉士の役割」				講 義	黒 須
13	13)	チームアプローチ(3) 「チームアプローチの実践」				講 義 S G D	黒 須
14	14)15)	精神保健福祉分野における家族支援の方法(1) 「精神障害者家族の課題と家族理解の変遷」				講 義	黒 須
15	16)	精神保健福祉分野における家族支援の方法(2) 「精神障害者家族の支援方法」				講 義	黒 須

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	①最新・精神保健福祉養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法(日本ソーシャルワーク教育学校連盟:編)中央法規出版株式会社【ISBN:978-4-8058-8257-3】 ②精神科病院を出て町へ ACT がつくる地域精神医療(伊藤順一郎)岩波書店【ISBN:978-4-00-270854-6】
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	①ストレングスモデル(第3版)精神障害者のケースマネジメント(チャールス・A・ラップ、リチャード・J・ゴスチャ著、田中英樹 監訳)金剛出版【978-4-7724-1346-6】 ②ケースワークの原則(新訳版)援助関係を形成する技法(F・P・バイスティック著、尾崎新・福田綾子・原田和幸訳)誠信書房【4-414-60403-6】 ③図説 医療保健福祉のキーワード リカバリー(野中猛)中央法規【978-4-8058-3532-6】 ④ACT-K の挑戦-ACT がひらく精神医療・福祉の未来(高木俊介)批評社【97

科目名	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ			授業コード	121702B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C322P11	AL 科目	○
担当者	黒須 依子(心・心)、外部講師	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	本科目は「精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための必修科目」に該当する。 利用者のニーズと主体性を尊重し地域に根差した精神保健福祉援助活動を行う質の高い精神保健福祉士となるために必要な コミュニティワーク、ソーシャルアクション、ソーシャルアドミスとレーションの理論と方法、その具体的な展開過程と精神保健福祉 士の役割を理解することが本講義の目標である。また、近年の日本の精神障害者の地域移行・地域定着支援においてこれらの 技法を活用しソーシャルインクルージョンなまちづくりを実践する上で必要な理念、援助の価値と視点、援助方法を事例検討を通 じ習得する。						
学修目標	1)イギリスでのコミュニティワーク発展の歴史を説明できる。 2)ソーシャルインクルージョンの理念とその実現に向けた精神保健福祉士の援助視点と役割を説明できる。 3)ACT の理念と特徴を説明できる。 4)精神保健福祉援助におけるACT実践の意義を説明できる。 5)精神障害当事者の主体性を尊重したコミュニティワークの手法と留意点を説明できる。 6)ソーシャルインクルージョンな街作りを地域住民と共に進めるコミュニティワークの展開過程と精神保健福祉士の役割と説明 できる。 7)地域精神医療と入院中心医療の違い説明できる。 8)イタリアの地域精神医療の特徴を説明できる。 9)ソーシャルアクションの定義と目的を説明できる。 10)ソーシャルアクションの基本視点を説明できる。 11)ソーシャルアクションの機能と意義を説明できる。 12)ソーシャルアクションの展開過程を説明できる。 13)ソーシャルアクションの展開過程における当事者参加の意義を説明できる。 14)ミクロ・メゾレベルのソーシャルアクションにおいて個別支援会議開催の意義と精神保健福祉士の役割を説明できる。 15)協議会を活用したミクロレベルからマクロレベルへのソーシャルアクションの展開過程と精神保健福祉士の役割を説明でき る。 16)ソーシャルアドミニストレーションの概念を説明できる。 17)ソーシャルアドミニストレーションとソーシャルワーク理論との関係性を説明できる。 18)精神保健福祉分野に係わる組織の運営とその基盤について説明できる。 19)精神保健福祉分野におけるソーシャルアドミニストレーションの課題について説明できる。 20)精神保健福祉士によるソーシャルアドミニストレーションの展開過程を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	精神保健福祉現場で働く精神保健福祉士を外部講師として招聘し、協議会を活用したマクロレベルからメゾレベルへの取組事 例、精神保健福祉士の役割について学ぶ。						
評価方法	定期試験の結果を 70%、授業中に行う小テストの結果、レポート課題やその他の課題の提出状況、学習への取り組み姿勢(演 習や SGD への参加状況、返却物の受取り)を 30%として単位認定を行う。詳細な評価の基準は授業時に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	・ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱを履修済、又は履修中であること、精神保健福 祉の原理Ⅰ・Ⅱの受講経験者(履修中を含む)であることを本講義履修の条件とする。 ・受講生は指定テキスト①②、各回の授業配布資料をファイルに綴じ、毎時間持参すること。本授業では精神保健福祉援助にお ける事例検討や演習を通じて、援助理論やその際に要する精神保健福祉士の役割について理解し、第3者に説明できるように なることを目的とする。よって、受講生は授業中の演習や SGD には主体的に参加すると共に、本授業に関する自主学習時間を 1 回の授業につき 2 時間以上/週設け、予習復習を行い、提出期限厳守で課題レポートを作成、提出すること。 ・また、講義時に指定した事例やテキスト指定内容を購読し、必要に応じて事例分析した上で授業に臨むこと。ただし、これによ らない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計 60 時間以上の自主学習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割決定後、提示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション コミュニティワーク(1) 「コミュニティワークの歴史」				講 義	黒 須
2	2)	コミュニティワーク(2) 「コミュニティワークの理念と精神保健福祉士に求められる役割」				講 義 S G D	黒 須
3	3)4)	コミュニティワーク(4) 「ACTの理念と特徴」				講 義	黒 須
4	5)	コミュニティワーク(5) 「精神保健福祉におけるコミュニティワーク実践例①」				講 義 S G D	黒 須
5	6)	コミュニティワーク(6) 「精神保健福祉におけるコミュニティワーク実践例②」				講 義 S G D	黒 須
6	7)8)	諸外国の精神保健福祉 「イタリアの精神保健福祉の特徴」				講 義	黒 須
7	9)10)	ソーシャルアクション(1) 「精神保健福祉におけるソーシャルアクションの基本視点と歴史」				講 義	黒 須
8	11)12)	ソーシャルアクション(2) 「ソーシャルアクションの機能と精神保健福祉援助における意義」				講 義	黒 須
9	13)	ソーシャルアクション(3) 「ミクロレベルでの取組みと精神保健福祉士の役割」				講 義 S G D	黒 須
10	14)	ソーシャルアクション(4) 「メゾレベルでの取組みと精神保健福祉士の役割」				講 義	黒 須 外部講師

11	15)	ソーシャルアクション(5) 「マクロレベルでの取組みの実際と精神保健福祉士の役割」	講義	黒須
12	16)17)	ソーシャルアドミニストレーション(1) 「ソーシャルアドミニストレーションの概念」	講義	黒須
13	18)	ソーシャルアドミニストレーション(2) 「精神保健福祉における支援組織と運営基盤」	講義	黒須
14	19)20)	ソーシャルアドミニストレーション(3) ソーシャルアドミニストレーションの展開過程①	講義	黒須
15	19)20)	ソーシャルアドミニストレーション(4) ソーシャルアドミニストレーションの展開過程②	講義	黒須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		①最新・精神保健福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法(日本ソーシャルワーク教育学校連盟:編)中央法規【978-4-8058-8257-3】 ②精神科病院を出て、町へ〜ACTがつくる地域精神医療〜(伊藤順一郎)岩波書店【978-4-00-270854-6】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		①ストレングスモデル(第3版) リカバリー志向の精神保健福祉サービス(ラップ・チャールズ・A, ゴスチャ・リチャード・J 田中英樹 監訳)金剛出版【978-4-7724-1346-6】 ②ACT-K の挑戦-ACTが開く精神医療・福祉の未来(高木 俊介)批評社【978-4-8265-0485-0】 ③自由こそ治療だ〜イタリア精神病院解体のレポート〜(ジル・シュミット著、半田文穂訳)社会評論社【4-7845-0181-9】		

科目名		精神保健福祉援助演習Ⅰ		授業コード	121265A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(3 年)		ナンバリング	13C322P12	AL 科目	○
担当者		西田 美香(臨床福祉学科)、外部講師	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態 演習/実習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		本講義は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は、精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としている。専門的援助技術を身につけ、社会から要請される精神保健福祉士となるため(DP1,2,3,4)、精神保健福祉援助演習では、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、相談援助に係る知識と技術について実践的に習得する。また、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する(CP5)。					
学修目標		1)精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人の状況や困難、また希望を的確に聞き取り、とりまく状況や環境を含めて理解してソーシャルワークを展開するための精神保健福祉士の専門性(知識、技術、価値)の基礎を獲得する。 2)精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、援助に活用できるようになる。 3)精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための関係機関や職種の役割を理解し、本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を担えるようになる。 4)精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人を取り巻く環境や社会を見渡し、こうした人々への差別や偏見を除去し共生社会を実現するための活動を精神保健福祉士の役割として認識し、政策や制度、関係行政や地域住民に働きかける方法をイメージできるようになる。 5)精神保健福祉士として考え、行動するための基盤を獲得し、職業アイデンティティを構築する意義を理解できる。					
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での5年以上の実務経験に基づき、ソーシャルワークにかかる知識と技術について具体的かつ実地的な理解を促す。さらに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力の修得を目的とした授業を行う。					
評価方法		学習への取り組み姿勢(演習への積極的参加、質問・発言など)で総括的評価を行う。					
準備学習・ 履修上の注意等		授業内容の項目について、テキストを読み予習しておくこと。 現場実習では、実習体験を通して精神保健福祉士としての知識、技術、倫理を学ぶため、積極性、観察力、洞察力等が求められる。演習に積極的に取り組み、主体的に学ぶという姿勢が求められる。					
オフィスアワー		火・木・金曜日 12:30～13:00 場所 B-411					
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)5)	精神保健福祉士の演習の意義と目的① 演習の意義と目的/演習の内容/精神保健福祉士の実践における原理・原則				演 習	西 田
2	1)2)3) 4)5)	精神保健福祉士の演習の意義と目的② 演習の意義と目的/演習の内容/精神保健福祉士の実践における原理・原則				演 習	西 田
3	1)2)3) 4)5)	ソーシャルワークの課題を通じた演習 個人に対する相談援助の理解①				演 習	西 田
4	1)2)3) 4)5)	ソーシャルワークの課題を通じた演習 個人に対する相談援助の理解②				演 習	西 田
5	1)2)3) 4)5)	ソーシャルワークの課題を通じた演習 コミュニティソーシャルワークの理解①				演 習	西 田
6	1)2)3) 4)5)	ソーシャルワークの課題を通じた演習 コミュニティソーシャルワークの理解②				演 習	西 田
7	1)2)3) 4)5)	支援の場に応じた相談援助の理解(障害福祉サービス事業所情報収集) 精神保健福祉士の多様な職場におけるソーシャルワーク実践①				演 習	西 田
8	1)2)3) 4)5)	支援の場に応じた相談援助の理解(障害福祉サービス事業所調査実習) 精神保健福祉士の多様な職場におけるソーシャルワーク実践②				実 習	西 田
9	1)2)3) 4)5)	支援の場に応じた相談援助の理解(障害福祉サービス事業所調査結果報告) 精神保健福祉士の多様な職場におけるソーシャルワーク実践③				演 習	西 田
10	1)2)3) 4)5)	支援の場に応じた相談援助の理解 相談支援事業所における危機介入からの地域生活支援				演 習	西 田
11	1)2)3) 4)5)	ソーシャルワークの課題に通じた演習 SSTを用いたリハビリテーション				演 習	外部講師・西田
12	1)2)3) 4)5)	支援の場に応じた相談援助の理解 施設コンフリクト				演 習	西 田
13	1)2)3) 4)5)	支援の場に応じた相談援助の理解 コミュニケーション技術①				演 習	西 田
14	1)2)3) 4)5)	支援の場に応じた相談援助の理解 コミュニケーション技術②				演 習	西 田
15	1)2)3) 4)5)	支援の場に応じた相談援助の理解 実習生に求められる力 個別面談				演 習	西 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新・精神保健福祉士養成講座 7 ソーシャルワーク演習【精神専門】(一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟) 中央法規出版【978-4-8058-8258-0】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名		精神保健福祉援助演習Ⅱ			授業コード	121266A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C421P08	AL 科目	○
担当者		西田 美香(臨床)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	演習・講義・実習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.		本講義は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は、精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としている。専門的援助技術を身につけ、社会から要請される精神保健福祉士となるため(DP1,2,3,4)、精神保健福祉援助演習では、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、相談援助に係る知識と技術について実践的に習得する。また、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。特に本講義では、実習での個別的な体験を一般化し、実践的な知識と技術として習得することを目指す(CP5)。						
学修目標		1)精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人の状況や困難、また希望を的確に聞き取り、とりまく状況や環境を含めて理解してソーシャルワークを展開するための精神保健福祉士の専門性(知識、技術、価値)の基礎を獲得する。 2)精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、援助に活用できるようになる。 3)精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための関係機関や職種の役割を理解し、本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を担えるようになる。 4)精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人を取り巻く環境や社会を見渡し、こうした人々への差別や偏見を除去し共生社会を実現するための活動を精神保健福祉士の役割として認識し、政策や制度、関係行政や地域住民に働きかける方法をイメージできるようになる。 5)精神保健福祉士として考え、行動するための基盤を獲得し、職業アイデンティティを構築する意義を理解できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での6年以上の実務経験に基づき、ソーシャルワークにかかる知識と技術について具体的かつ実際的な理解を促す。さらに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法		学習への取り組み姿勢(演習への積極的参加、質問・発言など)で総括的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		授業内容の項目について、テキストを読み予習しておくこと。 現場実習では、実習体験を通して精神保健福祉士としての知識、技術、倫理を学ぶため、積極性、観察力、洞察力等が求められる。演習に積極的に取り組み、主体的に学ぶという姿勢が求められる。						
オフィスアワー		火・木・金曜日 12:30～13:00 場所 B-411						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)5)	精神保健福祉援助演習に関するオリエンテーション					演 習	西 田
2	1)2)3) 4)5)	施設実習報告会準備					演 習	西 田
3	1)3)4) 5)	ジレンマの共有と検討①					演 習	西 田
4	1)3)4) 5)	ジレンマの共有と検討②					演 習	西 田
5	1)2)3) 4)5)	事例検討①					演 習	西 田
6	1)2)3) 4)5)	事例検討②					演 習	西 田
7	1)2)3) 4)5)	事例検討③					演 習	西 田
8	1)2)3) 4)5)	事例検討④					演 習	西 田
9	1)2)3) 4)5)	ソーシャルワークの思考過程①					演 習	西 田
10	1)2)3) 4)5)	ソーシャルワークの思考過程②					演 習	西 田
11	1)2)3) 4)5)	ソーシャルワークの思考過程③					演 習	西 田
12	1)2)3) 4)	筆記試験解説					講 義	西 田
13	1)2)3) 4)5)	精神科病院見学研修					実 習	西 田
14	1)2)3) 4)5)	精神科病院見学研修					実 習	西 田
15	1)2)3) 4)5)	精神保健福祉援助演習のまとめ					演 習	西 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新・精神保健福祉士養成講座7 ソーシャルワーク演習【精神専門】(一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟) 中央法規出版【978-4-8058-8258-0】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名		精神保健福祉援助演習Ⅲ			授業コード	121709A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C422P02	AL 科目	○
担当者		西田 美香(臨床)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.		本講義は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は、精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としている。専門的援助技術を身につけ、社会から要請される精神保健福祉士となるため(DP1,2,3,4)、精神保健福祉援助演習では、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、相談援助に係る知識と技術について実践的に習得する。また、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。特に本講義では、実習での個別的な体験を一般化し、実践的な知識と技術として習得することを目指す(CP5)。						
学修目標		1)精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人の状況や困難、また希望を的確に聞き取り、とりまく状況や環境を含めて理解してソーシャルワークを展開するための精神保健福祉士の専門性(知識、技術、価値)の基礎を獲得する。 2)精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、援助に活用できるようになる。 3)精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための関係機関や職種の役割を理解し、本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を担えるようになる。 4)精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人を取り巻く環境や社会を見渡し、こうした人々への差別や偏見を除去し共生社会を実現するための活動を精神保健福祉士の役割として認識し、政策や制度、関係行政や地域住民に働きかける方法をイメージできるようになる。 5)精神保健福祉士として考え、行動するための基盤を獲得し、職業アイデンティティを構築する意義を理解できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での6年以上の実務経験に基づき、ソーシャルワークにかかる知識と技術について具体的かつ実証的な理解を促す。さらに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法		学習への取り組み姿勢(演習への積極的参加、質問・発言など)で総括的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		授業内容の項目について、テキストを読み予習しておくこと。 現場実習では、実習体験を通して精神保健福祉士としての知識、技術、倫理を学ぶため、積極性、観察力、洞察力等が求められる。演習に積極的に取り組み、主体的に学ぶという姿勢が求められる。						
オフィスアワー		火・木・金曜日 12:30～13:00 場所 B-411						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)5)	精神保健福祉援助演習に関するオリエンテーション					演 習	西 田
2	1)2)3) 4)5)	事例検討準備					演 習	西 田
3	1)2)3) 4)5)	事例検討会①					演 習	西 田
4	1)2)3) 4)5)	事例検討会②					演 習	西 田
5	1)2)3) 4)5)	事例検討会③					演 習	西 田
6	1)2)3) 4)5)	事例検討会④					演 習	西 田
7	1)2)3) 4)5)	事例検討会⑤					演 習	西 田
8	1)2)3) 4)5)	事例検討会⑥					演 習	西 田
9	1)2)3) 4)5)	事例検討会⑦					演 習	西 田
10	1)2)3) 4)5)	事例検討会⑧					演 習	西 田
11	1)2)3) 4)5)	事例検討会⑨					演 習	西 田
12	1)2)3) 4)5)	事例検討会⑩					演 習	西 田
13	1)2)3) 4)5)	事例検討会⑪					演 習	西 田
14	1)2)3) 4)	社会資源のまとめ					演 習	西 田
15	1)2)3) 4)5)	精神保健福祉援助演習のまとめ					演 習	西 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新・精神保健福祉士養成講座 7 ソーシャルワーク演習【精神専門】(一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟) 中央法規出版【978-4-8058-8258-0】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ			授業コード	121269A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C322P13	AL 科目	○
担当者		西田 美香(臨床福祉学科)、外部講師	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義/演習/実習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		本講義は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としているため、現場実習を通して臨床現場を理解し、より実践的な知識、技術、そして、専門職としての倫理を学習することが求められる(DP1,2,3,4)。 精神保健福祉援助実習は、実習事前指導、現場実習、実習事後指導で構成される。 本講義は実習事前指導に位置づけられている。特に障害福祉サービス事業所における実習に向けて、精神保健福祉援助実習の意義について理解するとともに、精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の困難について理解する。また、精神保健福祉援助にかかる知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術等を体得するとともに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する(CP5)。						
学修目標		1)精神保健福祉援助実習指導と精神保健福祉援助実習の意義について説明できる。 2)精神保健医療福祉の現状(利用者理解も含む)について説明できる。 3)実習を行う施設、機関、事業者、団体、地域社会等について説明できる。 4)実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術について説明できる。 5)精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務について説明できる。 6)実習における個人のプライバシー保護と守秘義務について説明できる。 7)「実習記録ノート」への記録内容及び記録方法について説明できる。 8)実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえ実習計画書を作成する。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での6年以上の実務経験に基づき、ソーシャルワークにかかる知識と技術について具体的かつ实际的な理解を促す。さらに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法		学習への取り組み姿勢(レポートなど課題提出、質問・発言など授業への参加)の評価を 70%、筆記試験を 30%として総括的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		授業内容の項目について、テキストを読み予習しておくこと。 現場実習では、実習体験を通して精神保健福祉士としての知識、技術、倫理を学ぶため、積極性、観察力、洞察力等が求められる。実習指導における講義および演習、実習において積極的に取り組み、主体的に学ぶという姿勢が求められる。						
オフィスアワー		火・木・金曜日 12:30～13:00 場所 B-411						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	精神保健福祉援助実習事前指導および現場実習の目的と方法 グループワーク					講義・演習	西 田
2	2)3)4) 5)6)	精神障害当事者の理解と精神科病院の現状					講義・演習	西 田
3	2)3)4)	精神障害当事者の生活と希望①					講義・演習	西 田
4	2)3)4)	精神障害当事者の生活と希望②					講義・演習	西 田
5	6)8)	実習関係書類の作成 実習課題・自己紹介書の書き方①					講義・演習	西 田
6	6)8)	実習関係書類の作成 実習課題・自己紹介書の書き方②					講義・演習	西 田
7	2)3)4)	精神保健医療福祉の現状の理解(情報収集) 障害福祉サービス事業所について①					講義・演習	西 田
8	2)3)4) 5)6)	精神保健医療福祉の現状の理解(調査実習) 障害福祉サービス事業所について②					実 習	西 田
9	2)3)4) 5)6)	精神保健医療福祉の現状の理解(調査結果報告) 障害福祉サービス事業所について③					講義・演習	西田・外部講師
10	4)6)7)	実習日誌の書き方					講義・演習	西 田
11	2)3)4)	障害福祉サービス事業所における精神保健福祉士の役割 地域活動支援センターで働く精神保健福祉士の講話					講 義	外部講師・西田
12	2)3)4) 5)	施設コンフリクト					講義・演習	西 田
13	2)3)4)	精神保健福祉援助実習に必要な専門知識 筆記試験					講 義	西 田
14	2)3)4) 5)6)	実習におけるスーパービジョンについて 精神保健福祉援助実習に必要な専門知識(制度・社会保障に関する講義)					講義・演習	西 田
15	4)5)6)	実習直前指導(実習に向けての心構え、アクシデントへの対応等) 実習巡回指導教員によるスーパービジョン					個別面接	西 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新・精神保健福祉士養成講座 8 ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習【精神専門】(一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟) 中央法規出版【978-4-8058-8259-7】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						

科目名	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ			授業コード	121270A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C421P09	AL 科目	○	
担当者	西田 美香(臨床福祉学科)、外部講師	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講演実	義習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	本講義は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としているため、現場実習を通して臨床現場を理解し、より実践的な知識、技術、そして、専門職としての倫理を学習することが求められる(DP1,2,3,4)。 精神保健福祉援助実習は、実習事前指導、現場実習、実習事後指導で構成される。 本講義では施設実習事後指導と病院実習事前指導を行う。施設実習事後指導では障害福祉サービス事業所における実習の振り返りを行い、具体的な体験や援助活動を、専門的知識および技術として概念化し理論化し体系立てていく能力を涵養する。 病院実習事前指導では、病院実習の意義を理解するとともに、精神障害者やその家族のおかれている現状を理解し、社会復帰支援について理解する。また、精神保健福祉援助にかかる知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術等を体得するとともに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する(CP5)。							
学修目標	1)精神保健福祉援助実習指導と精神保健福祉援助実習の意義について説明できる。 2)精神保健医療福祉の現状(利用者理解も含む)について説明できる。 3)実習を行う施設、機関、事業者、団体、地域社会等について説明できる。 4)実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術について説明できる。 5)精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務について説明できる。 6)実習における個人のプライバシー保護と守秘義務について説明できる。 7)「実習記録ノート」への記録内容及び記録方法について説明できる。 8)実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえ実習計画書を作成する。 9)実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習報告書を作成する。 10)実習報告会で報告を行い、実習の総括を行う。							
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、(臨床現場緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での6年以上の実務経験に基づき、ソーシャルワークにかかる知識と技術について具体的かつ実的な理解を促す。さらに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力の修得を目的とした授業を行う。							
評価方法	学習への取り組み姿勢(レポートなど課題提出、質問・発言など授業への参加)の評価を70%、筆記試験を30%として総括的評価を行う。							
準備学習・ 履修上の注意等	授業内容の項目について、テキストを読み予習しておくこと。 現場実習では、実習体験を通して精神保健福祉士としての知識、技術、倫理を学ぶため、積極性、観察力、洞察力等が求められる。実習指導における講義および演習、実習において積極的に取り組み、主体的に学ぶという姿勢が求められる。							
オフィスアワー	火・木・金曜日 12:30～13:00 場所 B-411							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	精神保健福祉援助実習指導Ⅱの目的と方法 施設実習報告の意義と方法					講義・演習	西 田
2	2)3)4) 5)6)9) 10)	障害福祉サービス事業所実習報告会準備					演 習	西 田
3	2)3)4) 5)6)9) 10)	障害福祉サービス事業所実習報告会①					演 習	西 田
4	2)3)4) 5)6)9) 10)	障害福祉サービス事業所実習報告会②					演 習	西 田
5	2)3)4) 5)6)9) 10)	障害福祉サービス事業所実習報告会③					演 習	西 田
6	2)3)4) 5)6)9) 10)	障害福祉サービス事業所実習報告会④					演 習	西 田
7	2)3)4) 5)	精神医療機関における精神保健福祉士の役割 精神科病院勤務精神保健福祉士の講話					講義・演習	外部講師・西田
8	7)8)	実習課題・実習関係書類作成					講 義	西 田
9	7)	実習日誌の書き方					講 義	西 田
10	2)3)4) 5)	精神科医療機関における精神保健福祉士の役割 卒業生の講話					講 義	外部講師・西田
11	3)4)5) 6)8)	精神科病院見学研修オリエンテーション 実習事前訪問・実習指導者会議に関するオリエンテーション					講義・演習	西 田
12	4)	実習前筆記試験					試 験	西 田
13	2)3)4) 5)6)	精神科病院見学研修①					実 習	西 田
14	2)3)4) 5)6)	精神科病院見学研修①					実 習	西 田

15	4)5)6)	実習直前指導 実習に向けての心構え、アクシデントへの対応等	講義・演習	西 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新・精神保健福祉士養成講座 8 ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習【精神専門】（一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟）中央法規出版【978-4-8058-8259-7】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		

科目名	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ			授業コード	121271A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C422P03	AL 科目	○
担当者	西田 美香(臨床福祉学科)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義 演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	本講義は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としているため、現場実習を通して臨床現場を理解し、より実践的な知識、技術、そして、専門職としての倫理を学習することが求められる(DP1,2,3,4)。 精神保健福祉援助実習は、実習事前指導、現場実習、実習事後指導で構成される。 本講義では病院実習事後指導を中心に精神保健福祉援助実習の総合的教育を行う。精神科病院及び障害福祉サービス事業所における実習の振り返りを行い、具体的な体験や援助活動を、専門的知識および技術として概念化し理論化し体系立てていく能力を涵養する。さらに、精神保健福祉士としての価値や倫理を改めて学習する(CP5)。						
学修目標	1)精神保健医療福祉の現状(利用者理解も含む)について説明できる。 2)実習を行う施設、機関、事業者、団体、地域社会等について説明できる。 3)現場体験学習及び見学実習の意義について説明できる。 4)実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術について説明できる。 5)精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務について説明できる。 6)実習における個人のプライバシー保護と守秘義務について説明できる。 7)実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習報告書を作成する。 8)実習報告会で報告を行い、実習の総括を行う。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での5年以上の実務経験に基づき、ソーシャルワークにかかる知識と技術について具体的かつ実際的な理解を促す。さらに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	学習への取り組み姿勢(実習報告プレゼンテーションへの取り組み、質問・発言など授業や見学研修への参加)で総括的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業内容の項目について、テキストを読み予習しておくこと。 現場実習では、実習体験を通して精神保健福祉士としての知識、技術、倫理を学ぶため、積極性、観察力、洞察力等が求められる。実習指導および演習、実習において積極的に取り組み、主体的に学ぶという姿勢が求められる。						
オフィスアワー	火・木・金曜日 12:30～13:00 場所 B-411						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)7)8)	精神保健福祉援助実習事後指導の目的と方法 実習報告の意義と方法				講義・演習	西 田
2	2)3)4) 5)6)	実習における学習成果の共有				講義・演習	西 田
3	2)3)4) 5)6)	実習報告会準備				演 習	西 田
4	2)3)4) 5)6)	精神科病院実習報告会①				演 習	西 田
5	2)3)4) 5)6)	精神科病院実習報告会②				演 習	西 田
6	2)3)4) 5)6)	精神科病院実習報告会③				演 習	西 田
7	2)3)4) 5)6)	精神科病院実習報告会④				演 習	西 田
8	3)5)6) 7)8)	実習報告書作成①				講義・演習	西 田
9	3)5)6) 7)8)	実習報告書作成②				講義・演習	西 田
10	3)5)6) 7)8)	実習報告書作成③				講義・演習	西 田
11	1)2)4)	社会資源のまとめ①				講義・演習	西 田
12	1)2)4)	社会資源のまとめ②				講義・演習	西 田
13	1)2)4)	社会資源のまとめ③				講義・演習	西 田
14	1)2)4)	社会資源のまとめ④				講義・演習	西 田
15	3)5)6) 7)8)	実習の評価(個別面談)				講義・演習	西 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新・精神保健福祉士養成講座 8 ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習【精神専門】(一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟) 中央法規出版【978-4-8058-8259-7】 参考書(著者名)出版社名【ISBN】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		精神保健福祉援助実習Ⅰ		授業コード	121703A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(3 年)		ナンバリング	13C322P14	AL 科目	○
担当者		西田 美香(臨床福祉学科)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態 実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		本科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としているため、現場実習を通して臨床現場を理解し、より実践的な知識、技術、そして、専門職としての倫理(DP1,2,3,4)を学習することが求められる。 精神保健福祉士養成に係る実習は、実習事前指導、現場実習、実習事後指導で構成される。本科目は現場実習に位置づけられ、実習を通して精神保健福祉援助ならびに障害者等の相談援助にかかる専門的知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術等を体得する。また、障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について把握するとともに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。さらに、総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方およびその具体的内容を実践的に修得する(CP(5))。					
学修目標		1)精神保健福祉士としてのソーシャルに係る専門的知識と技術の理解に基づき精神保健福祉現場での試行と省察の反復により実践的な技術を体得し、その技術について説明できる。 2)精神疾患や精神障害、メンタルヘルスの課題をもつ人びとのおかれている現状に関する知識をもとに、その生活実態や生活上の課題について具体的に把握し説明できる。 3)実習指導者からのスーパービジョンを受け、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理について理解し説明できる。 4)精神保健福祉士としての役割において自己に求められる課題を把握し、総合的に対応できる能力を理解するとともに説明できる。 5)総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解し説明できる。					
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での 6 年以上の実務経験に基づき、ソーシャルワークにかかる知識と技術について具体的かつ実際的な理解を促す。さらに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力の修得を目的とした実習指導を行う。					
評価方法		実習への取り組み姿勢 40%、実習巡回時の省察内容 30%、実習指導者による評価を 30%として総合的に評価する。					
準備学習・ 履修上の注意等		実習に係る申し合わせ事項を確認し、履修に関する条件を満たしておくこと。 実習事前指導に積極的に取り組み、実習課題を明確に設定しておくこと。 実習に積極的に取り組み、主体的に学ぶという姿勢で臨むこと。					
オフィスアワー		実習センター9:00～17:00					
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)5)	【実習の実施】 障害福祉サービス事業所において、5 日間かつ 30 時間以上の実習を行う。 実習期間は本学の指定した期間を原則とするが、実習先との協議により変更して行うこともある。 実習期間には毎日実習記録を行い、実習施設に提出する。				実 習	西 田
2	1)2)3) 4)5)	具体的な実習プログラムは、自己の実習課題を踏まえ、実習指導者との調整により決定する。 実習中は実習指導者からの指導を受けるとともに、大学の実習担当教員による巡回指導を受ける。				実 習	西 田
3	1)2)3) 4)5)	実習では次に掲げる事項の達成を目標とする。 1.基本的な姿勢・態度 (1)実習生の立場・位置、責任範囲 ・実習指導者が提示した実習の枠組みを遵守している。 ・実習生という立場を自覚して利用者や職員に接している。 ・報告、連絡、相談を必要な時に適切に行っている。 (2)実習中の責任遂行 ・実習中の体調管理は十分できている。 ・出退勤時間や規則を遵守している。 ・記録、課題などの提出物は期限を守っている。 (3)実習指導者から学ぶ態度 ・指導を謙虚に受けている。 ・実習を客観的に振り返ることができる。 (4)				実 習	西 田
4	1)2)3) 4)5)	実習では次に掲げる事項の達成を目標とする。 2.援助対象者の理解と関係性 (1)利用者の理解 ・病気の特性について理解している。 ・利用者が抱えている病気や障害及び課題やニーズについて理解している。 (2)利用者とのコミュニケーション ・利用者に積極的に関わっている。 ・利用者に傾聴し、共感的に理解している。 (3)利用者との良好な関係を築く。 ・治療の場、生活の場へ入り込むことへの礼節と配慮がある。 ・個人を尊重し、生活者としてかかわっている。				実 習	西 田
5	1)2)3) 4)5)	実習では次に掲げる事項の達成を目標とする。 3.社会福祉実践の能力 (1)実習施設の目的・機構・機能の理解 ・期間の目的、社会的意義やこの分野の課題について理解している。 (2)医療チームや地域との関係 ・他職種について理解し、良好な官営を築いている。				実 習	西 田

		・関係機関や地域について理解している。 (3)援助の方法、社会資源の理解と活用 ・精神保健福祉士の具体的な業務について理解している。 ・アセスメント、プランニング等、ケアマネジメント技法を理解している。 ・社会資源を理解し活用している。 ・面接、訪問などの		
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新・精神保健福祉士養成講座 8 ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習[専門科目](一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集) 中央法規 【978-4-8058-8259-7】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない		

科目名	精神保健福祉援助実習Ⅱ			授業コード	121704B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C421P10	AL 科目	○
担当者	西田 美香(臨床)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	本科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としているため、現場実習を通して臨床現場を理解し、より実践的な知識、技術、そして、専門職としての倫理(DP1,2,3,4)を学習することが求められる。 精神保健福祉士養成に係る実習は、実習事前指導、現場実習、実習事後指導で構成される。本科目は現場実習に位置づけられ、実習を通して精神保健福祉援助ならびに障害者等の相談援助にかかる専門的知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術等を体得する。また、障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について把握するとともに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。さらに、総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方およびその具体的内容を実践的に修得する(CP(5))。						
学修目標	1)精神保健福祉士としてのソーシャルに係る専門的知識と技術の理解に基づき精神保健福祉現場での試行と省察の反復により実践的な技術を体得し、その技術について説明できる。 2)精神疾患や精神障害、メンタルヘルスの課題をもつ人びとのおかれている現状に関する知識をもとに、その生活実態や生活上の課題について具体的に把握し説明できる。 3)実習指導者からのスーパービジョンを受け、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理について理解し説明できる。 4)精神保健福祉士としての役割において自己に求められる課題を把握し、総合的に対応できる能力を理解するとともに説明できる。 5)総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解し説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での 6 年以上の実務経験に基づき、ソーシャルワークにかかる知識と技術について具体的かつ実際的な理解を促す。さらに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力の修得を目的とした実習指導を行う。						
評価方法	実習への取り組み姿勢 40%、実習巡回時の省察内容 30%、実習指導者による評価を 30%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	実習に係る申し合わせ事項を確認し、履修に関する条件を満たしておくこと。 実習事前指導に積極的に取り組み、実習課題を明確に設定しておくこと。 実習に積極的に取り組み、主体的に学ぶという姿勢で臨むこと。						
オフィスアワー	実習センター9:00～17:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)5)	【実習の実施】 精神科病院において、24 日間かつ 180 時間以上の実習を行う。 実習期間は本学の指定した期間を原則とするが、実習先との協議により変更して行うこともある。 実習期間には毎日実習記録を行い、実習施設に提出する。				実 習	西 田
2	1)2)3) 4)5)	具体的な実習プログラムは、自己の実習課題を踏まえ、実習指導者との調整により決定する。 実習中は実習指導者からの指導を受けるとともに、大学の実習担当教員による巡回指導を受ける。				実 習	西 田
3	1)2)3) 4)5)	実習では次に掲げる事項の達成を目標とする。 1.基本的な姿勢・態度 (1)実習生の立場・位置、責任範囲 ・実習指導者が提示した実習の枠組みを遵守している。 ・実習生という立場を自覚して利用者や職員に接している。 ・報告、連絡、相談を必要な時に適切に行っている。 (2)実習中の責任遂行 ・実習中の体調管理は十分できている。 ・出退勤時間や規則を遵守している。 ・記録、課題などの提出物は期限を守っている。 (3)実習指導者から学ぶ態度 ・指導を謙虚に受けている。 ・実習を客観的に振り返ることができる。 (4)				実 習	西 田
4	1)2)3) 4)5)	実習では次に掲げる事項の達成を目標とする。 2.援助対象者の理解と関係性 (1)利用者の理解 ・病気の特性について理解している。 ・利用者が抱えている病気や障害及び課題やニーズについて理解している。 (2)利用者とのコミュニケーション ・利用者に積極的に関わっている。 ・利用者に傾聴し、共感的に理解している。 (3)利用者との良好な関係を築く。 ・治療の場、生活の場へ入り込むことへの礼節と配慮がある。 ・個人を尊重し、生活者としてかかわっている。				実 習	西 田
5	1)2)3) 4)5)	実習では次に掲げる事項の達成を目標とする。 3.社会福祉実践の能力 (1)実習施設の目的・機構・機能の理解 ・期間の目的、社会的意義やこの分野の課題について理解している。 (2)医療チームや地域との関係 ・他職種について理解し、良好な官営を築いている。				実 習	西 田

		・関係機関や地域について理解している。 (3)援助の方法、社会資源の理解と活用 ・精神保健福祉士の具体的な業務について理解している。 ・アセスメント、プランニング等、ケアマネジメント技法を理解している。 ・社会資源を理解し活用している。 ・面接、訪問などの		
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新・精神保健福祉士養成講座 8 ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習[専門科目](一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集) 中央法規 【978-4-8058-8259-7】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない		

科目名	介護の基本Ⅲ			授業コード	121137B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉専攻(2 年)			ナンバリング	13K221P01	AL 科目	
担当者	児崎 友美(講師)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義、SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	＊ 介護の基本Ⅲでは、介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するための仕組みを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を習得できる。(DP:③、④、⑤)						
学修目標	1)介護福祉を必要とする人の背景(生活や暮らし、その人らしさや生活のしづらさ)について説明できる。 2)介護福祉を必要とする人の生活を支えるフォーマルサービス、インフォーマルサービスについて説明できる。 3)介護における安全の確保について説明できる。 4)リスクマネジメントについて説明できる。 5)感染症対策について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、福祉現場である特別養護老人ホームに 3 年、地域包括支援センターに 13 年という実務経験がある。その経験に基づき講義を行う。						
評価方法	＊ 毎時間後のミニレポート・提出物(課題)・小テストの評価を 10% ＊ 授業態度を 10% ＊ 前期末試験の点数を 80%とし、総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 事前にテキストを熟読し予習してくること。1 コマ当たり 4 時間を目安に予習・復習を行うこと。SGDでは、積極的に議論をすること。配布資料はファイルすること。						
オフィスアワー	授業前後の 1 時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【私たちの生活の理解】 生活とは何か、生活にとって大切な要素、生活の特性を学ぶ。				講 義	児 崎
2	1)	【介護福祉を必要とする人たちの暮らし】 介護を必要とする人(高齢者、障害者)の暮らし、個人の暮らしや歴史を聴く場合の注意点を学ぶ。				講 義	児 崎
3	1)	【「その人らしさ」と「生活のニーズ」の理解】 「その人らしさ」とは何か、「その人らしさ」の背景、「その人らしさ」の介護福祉における活用、「生活ニーズ」の理解、 個々の生活ニーズにどこまでこたえるかを学ぶ。				講義・SGD	児 崎
4	1)	【生活のしづらさの理解とその支援】 生活のしづらさ、家族介護者への支援を学ぶ。				講 義	児 崎
5	1)	【生活を支えるフォーマルサービス①】 高齢者のためのフォーマルサービスを学ぶ。				講義・SGD	児 崎
6	2)	【生活を支えるフォーマルサービス②】 障害者のフォーマルサービスを学ぶ。				講 義	児 崎
7	2)	【生活を支えるインフォーマルサービス】 費用負担による区分、フォーマルサービスとインフォーマルサービスの関係、インフォーマルサービスの種類、提供者、 介護福祉士に求められる支援の視点を学ぶ。				S G D	児 崎
8	3)	【地域連携】 地域連携の意義と目的、地域連携に関わる機関を学ぶ。				講 義	児 崎
9	3)4)	【地域連携】 利用者を取り巻く地域連携の実際を学ぶ。				講 義	児 崎
10	3)4)	【介護における安全の確保】 介護福祉士の責務と安全の確保、介護の場におけるセーフティマネジメントを学ぶ。				講 義	児 崎
11	3)4)	【リスクマネジメントとは】 尊厳のある暮らしの継続のためのリスクマネジメント、ルールや約束事を守ることの重要性を学ぶ。				講 義	児 崎
12	3)4)	【リスクマネジメントとは】 福祉サービスに求められる安全・安心、事故防止のための対策を学ぶ。				講義・SGD	児 崎
13	3)4)	【リスクマネジメントとは】 身体拘束の廃止について学ぶ。				講義・SGD	児 崎
14	4)	【感染症対策】 介護福祉職に必要な感染に関する知識を学ぶ。				講 義	児 崎
15	5)	【感染症対策】 安全な薬物療法を支える視点・連携、感染予防のための観察ポイントを学ぶ。				講 義	児 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 介護福祉士養成講座4 介護の基本Ⅱ 第2版 中央法規【978-4-8058-8393-8】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		参考書は、使用しない。 講義時に配布するプリントなどを使用する。					

科目名		介護の基本Ⅳ			授業コード	121138B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉専攻(2 年)			ナンバリング	13K222P01	AL 科目	
担当者		児崎 友美(講師)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義、SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.		介護の基本Ⅳでは、介護実践場面における連携の必要性を理解し、他職種連携によるチームケアのあり方を学び、連携力をもった介護福祉士として実践できるようになる。また、利用者の権利擁護の視点によるリスクマネジメントの具体的方法や自らの健康管理のあり方を学ぶことにより、実践現場で汎用できる知識・技術が習得できる。(DP:②、③、④、⑤)						
学修目標		1)他職種連携・協働の必要性について説明できる。 2)他職種連携・協働に求められる基本的な能力について説明できる。 3)保険・医療・福祉職の役割と機能について説明できる。 4)他職種連携・協働の実践について説明できる。 5)健康管理の意義と目的について説明できる。 6)こころの健康管理について説明できる。 7)身体の健康管理について説明できる。 8)労働環境について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		目担当者は、福祉現場である特別養護老人ホームに 3 年、地域包括支援センターに 13 年という実務経験がある。その経験に基づき講義を行う。						
評価方法		* 毎時間後のミニレポート・提出物(課題等)・小テストの評価を 10% * 授業態度を 10% * 後期末試験の点数を 80%とし、総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 事前にテキストを熟読し予習してくる。1コマ当たり 4 時間を目安に予習・復習を行うこと。SGDでは、積極的に議論をすること。配布資料はファイルすること。						
オフィスアワー		授業開始前後 1 時間						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	【協働する他職種の機能と役割】 多職種連携・協働とは、多職種連携・協働の必要性、阻害因子、効果を学ぶ。					講 義	児 崎
2	2)	【他職種連携・協働に求められる基本的な能力】 介護実践の場で他職種連携・協働が必要とされる意味、チームづくり、多様な視点と受容を必要とする協働について学ぶ。					講義・SGD	児 崎
3	2)	【他職種連携・協働に求められる基本的な能力】 課題解決に対する他職種のかかわり、多職種協働を成功させるための介護技術と知識、多職種協働とホスピタリティ的視点、多職種協働に求められるコミュニケーション能力を学ぶ。					講義・SGD	児 崎
4	3)	【保健医療福祉の役割と機能】 社会福祉士、介護支援専門員、医師、歯科医師について学ぶ。					講義・SGD	児 崎
5	3)	【保健医療福祉の役割と機能】 看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、栄養士について学ぶ。					講義・SGD	児 崎
6	3)	【保健医療福祉の役割と機能】 歯科衛生士、公認心理士、薬剤師、サービス提供責任者を学ぶ。					講義・SGD	児 崎
7	4)	【多職種連携・協働の実践】 専門職連携の実践とは何か、多職種における地域での連携・協働について学ぶ。					講義・SGD	児 崎
8	4)	【多職種連携・協働の実践】 特別養護老人ホームの連携の実態調査、自立支援介護における多職種連携の実践を学ぶ。					講 義	児 崎
9	5)	【健康管理の意義と目的】 健康管理の意義と目的、働く人の健康や生活を守る法制度、介護労働の特性と健康問題を学ぶ。					講 義	児 崎
10	5)	【健康管理の意義と目的】 介護に従事する人の健康問題、健康に働くための健康管理について学ぶ。					講義・SGD	児 崎
11	6)	【こころの健康管理】 介護従事者にとってのこころの健康問題、ストレスとこころの健康について学ぶ。					講義・SGD	児 崎
12	6)	【こころの健康管理】 こころの病気、職場で取り組むこころの健康管理を学ぶ。					講 義	児 崎
13	7)	【身体の健康管理】 介護従事者の身体への健康障害の現状について学ぶ。					講 義	児 崎
14	8)	【労働環境の整備】 労働環境について学ぶ意義、労働条件がかかわる労働環境、介護従事者の労働災害について学ぶ。					講義・SGD	児 崎
15	8)	【労働環境の整備】 熱中症と労働環境、労働環境の関係、労働環境の整備やケガ予防について学ぶ。					講義・SGD	児 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			最新 介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ 中央法規【978-4-8058-5764-9】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			参考書は、使用しない。 講義時に配布するプリントなどを使用する。					

科目名	介護福祉学Ⅰ			授業コード	121140B101	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(介護コース)4年			ナンバリング	13K421P01	AL 科目	○
担当者	稲田 弘子(福・福) 立石 修康 (保・作)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	介護サービスを提供する対象者のみならず、あらゆる介護場面に汎用できる介護福祉士になるために、450 時間の介護実習で学んだことをふまえ、介護福祉の集大成としての総括となる知識・技術を取得する。 (DP3)(CP5)						
学修目標	1)利用者・介護者の安全の確保とリスクマネジメントについて説明・実践できる。 2)リハビリなど多職種の役割や機能について学び、協働するための基礎的な知識を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が 5 年以上ある。その経験に基づき、介護福祉士として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	単位認定テスト 80%と課題・学修への取り組み状況(授業態度、課題提出・内容) 20%として、総括的に評価する。 ◆単位認定テスト 立石先生分 30 点 稲田 50 点 ◆学修への取り組み状況 課題は期日内に提出すること。提出状況と課題内容で評価する。 GW 時は、積極的に参加すること 詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	介護福祉士の資格修得を希望する場合は必修。 授業で配布したプリントはきちんとファイリングすること。欠席した場合は、プリントを研究室まで取りに来ること。 毎授業ごとに配布するプリントをよみかえし、復習し、まとめること。 レポート、課題は期限内に提出すること。 定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。						
オフィスアワー	時間割が確定後に研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【介護における安全の確保とリスクマネジメント】施設の事例を通して考える				講義・演習	稲 田
2	1)	【介護における安全の確保とリスクマネジメント】施設の事例を通して考える				講義・演習	稲 田
3	1)	【介護における安全の確保とリスクマネジメント】施設の事例を通して考える				講義・演習	稲 田
4	1)	【介護における安全の確保とリスクマネジメント】在宅の事例(認知症の徘徊)を通して考える				講義・演習	稲 田
5	1)	【介護における安全の確保とリスクマネジメント】在宅の事例(認知症の交通事故)を通して考える				講義・演習	稲 田
6	1)	【介護における安全の確保とリスクマネジメント】在宅の事例(家族とのかかわり)を通して考える				講義・演習	稲 田
7	1)	【介護における安全の確保とリスクマネジメント】施設の事例(転倒)を通して考える				講義・演習	稲 田
8	1)	【介護従事者の安全】個人情報保護法とは				講義・演習	稲 田
9	1)	【介護従事者の安全】個人情報保護法 守秘義務について				講義・演習	稲 田
10	2)	【協働する多職種の役割と機能】リハビリテーションについて				講義・演習	立 石
11	2)	【協働する多職種の役割と機能】リハビリテーションについて				講義・演習	立 石
12	2)	【協働する多職種の役割と機能】リハビリテーションについて				講義・演習	立 石
13	2)	【協働する多職種の役割と機能】リハビリテーションについて				講義・演習	立 石
14	2)	【協働する多職種の役割と機能】リハビリテーションについて				講義・演習	立 石
15	2)	【協働する多職種の役割と機能】リハビリテーションについて				講義・演習	立 石
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。(講義時プリントを配布するのできちんとファイリングすること)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		介護福祉学Ⅱ			授業コード	121141B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(介護コース)4年			ナンバリング	13K422P01	AL 科目	○
担当者		稲田 弘子(福・福)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		介護サービスを提供する対象者のみならず、あらゆる介護場面に汎用できる介護福祉士になるために、450 時間の介護実習で 学んだことをふまえ、介護福祉の集大成としての総括となる知識・技術を取得する。 (DP3)(CP5)						
学修目標		1) 自立支援の観点から介護実践できる能力を養い他者に説明できる。 2) 介護福祉士ができる医療的な対応について説明・実践できる。 3)これからの介護のあり方について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が5年以上ある。その経験に基づき、介護 福祉士として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法		単位認定テスト70%と学修への取り組み状況(授業態度、課題提出・内容)30%として、総括的に評価する。 詳細な評価基準は、授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等		介護福祉士の資格修得を希望する場合は必修。 授業で配布したプリントはきちんとファイリングすること。欠席した場合は、プリントを研究室まで取りに来ること。 教案作成には積極的に取り組むこと。 グループ内での期限、教員提出の期限は厳守すること。 介護福祉士の国試の模擬問題を配布するので、計画的に解答しておくこと。						
オフィスアワー		時間割が確定後に研究室前に掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	生活支援技術(移動・食事)の総括					講義・演習	稲 田
2	1)	生活支援技術(移動・着脱)の総括					講義・演習	稲 田
3	1)	生活支援技術(移動・排泄)の総括					講義・演習	稲 田
4	2)	医療的ケアの歴史					講 義	稲 田
5	2)	医療的な対応が必要な人の介護①					講義・演習	稲 田
6	2)	医療的な対応が必要な人の介護②					講義・演習	稲 田
7	2)	医療的な対応が必要な人の介護③					講義・演習	稲 田
8	2)	医療的な対応が必要な人の介護④					講義・演習	稲 田
9	3)	これからの介護について考える①					講義・演習	稲 田
10	3)	これからの介護について考える②					講義・演習	稲 田
11	3)	これからの介護について考える③					講義・演習	稲 田
12	3)	これからの介護について考える④					講義・演習	稲 田
13	1)2)3)	総括1					講義・演習	稲 田
14	1)2)3)	総括2					講義・演習	稲 田
15	1)2)3)	総括3					講義・演習	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。(講義時プリントを配布するのできちんとファイリングすること)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	コミュニケーション技術Ⅰ			授業コード	121115A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科介護福祉コース(3 年)			ナンバリング	13K321P01	AL 科目	○
担当者	清水 径子(福・福)、外部講師	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リラーNo.	介護福祉士資格取得のためには、基礎的知識・技術・態度を身につける必要がある。本講義により、受講者は基礎的知識として介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解することができる。また、技術・態度として利用者や利用者家族、あるいはチームにおけるコミュニケーション能力を実践できる。DP(3)(4)、CP2(11)(14)						
学修目標	1)事例(介護技術)をふまえてのコミュニケーションのあり方について理解し、実践することができる。 2)構音障害の方とのコミュニケーションの基本的な技術を習得できる。 3)失語症の方とのコミュニケーションの基本的な技術を習得できる。 4)利用者の情報を適切にまとめ、発表できる。 5)視覚障害の方とのコミュニケーションの基本的な技術を習得できる。 6)点字の実際を理解し、実践できる。 7)聴覚障害の方とのコミュニケーションの基本的な技術(手話)を習得し、実践することができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者の清水は、介護福祉士として高齢者施設での 6 年の実務経験に基づき、介護福祉士として実務で必要な技術・知識の修得を目的とした授業を行う。 ※外部講師として、現場で活躍している方を招き、点字や手話についての実践的な授業を行う。						
評価方法	定期試験 50%と演習態度 50%で総合的に判断し評価します。定期試験は、学期末に実施する。演習態度については、学習への取り組み姿勢や課題への取り組みを各担当者が評価いたします。詳細な評価基準については、授業開始日に説明します。						
準備学習・ 履修上の注意等	毎授業後に必ず1時間は復習する時間を設け、レジュメを読み返すこと。 長期休暇中に出題された課題は、指定期日までに取り組むこと。						
オフィスアワー	時間割が確定後、提示する。外部講師への質問等は授業時間の前後を利用してください。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	介護を必要とする人とのコミュニケーションの実際(1) コミュニケーション				講 義	清 水
2	1)	介護を必要とする人とのコミュニケーションの実際(2)				演 習	清 水
3	1)	介護を必要とする人とのコミュニケーションの実際(3)				演 習	清 水
4	1)	介護におけるチームのコミュニケーション(1) チームケアとは				講義・演習	清 水
5	1)4)	介護におけるチームのコミュニケーション(2) 情報の共有化				演 習	清 水
6	1)4)	介護におけるチームのコミュニケーション(3) 情報の共有化				演 習	清 水
7	2)3)	障害の特性に応じたコミュニケーションの技法の実際(1) 言語障害				演 習	外部講師
8	2)3)	障害の特性に応じたコミュニケーションの技法の実際(2) 言語障害				演 習	外部講師
9	5)	障害の特性に応じたコミュニケーションの技法の実際(3) 視覚障害				演 習	清 水
10	5)6)	障害の特性に応じたコミュニケーションの技法の実際(4) 視覚障害				演 習	外部講師
11	5)6)	障害の特性に応じたコミュニケーションの技法の実際(5) 視覚障害				演 習	外部講師
12	5)6)	障害の特性に応じたコミュニケーションの技法の実際(6) 視覚障害				演 習	清 水
13	5)6)	障害の特性に応じたコミュニケーションの技法の実際(7) 視覚障害				演 習	外部講師
14	7)	障害の特性に応じたコミュニケーションの技法の実際(8) 聴覚障害				演 習	外部講師
15	7)	障害の特性に応じたコミュニケーションの技法の実際(9) 聴覚障害				演 習	外部講師
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		視覚障害者介護技術シリーズ1 初めての点訳(全国視覚障害者情報提供施設協会) 全国視覚障害者情報提供施設協会 最新介護福祉士養成講座 5 コミュニケーション技術 中央法規					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし。					

科目名	コミュニケーション技術Ⅱ			授業コード	121116A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 介護福祉コース(3 年)			ナンバリング	13K322P01	AL 科目	○
担当者	清水 径子(福・福)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	介護福祉士資格取得のためには、基礎的知識・技術・態度を身につける必要がある。本講義により、受講者は基礎的知識として介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解することができる。また、技術・態度として利用者や利用者家族、あるいはチームにおけるコミュニケーション能力を実践できる。DP(3)(4)、CP2(11)(14)						
学修目標	1)事例を通して支援関係の構築や意思決定を支援するためのコミュニケーションの基本的な技術が実践できる。 2)障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的な技術が習得できる。 3)家族の状況・場面等を理解し、家族への支援やパートナーシップを構築するための技術が習得できる。 4)情報を適切にまとめ、発信するための具体的な方法を理解できる。 5)チームで介護を実践するための情報の共有や管理について理解できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者の清水は、介護福祉士として高齢者施設での 6 年の実務経験に基づき、介護福祉士として実務に必要な技術・知識の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	定期試験(90%)と演習態度(10%)で総合的に判断し、評価します。定期試験は、学期末に実技試験及び筆記試験を実施する。演習態度については、学習への取り組み姿勢や課題提出状況およびその内容を評価いたします。詳細な評価基準については、授業開始日に説明します。						
準備学習・ 履修上の注意等	毎授業後に必ず 1 時間は復習する時間を設け、レジュメを読み返すこと。 演習等で必要な場合は、介護実習室を使用し技術の確認を行うこと。 また、出題された課題は指定期日までに提出すること。						
オフィスアワー	時間割が確定後、提示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際(1)言語障害				演 習	清 水
2	1)2)	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際(2)知的障害				演 習	清 水
3	1)2)	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際(3)視覚障害				演 習	清 水
4	1)2)	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際(4)聴覚障害・難聴				演 習	清 水
5	1)2)	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際(5)身体障害				演 習	清 水
6	1)2)	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際(6)認知症				演 習	清 水
7	1)2)	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際(7)認知症				演 習	清 水
8	1)2)	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際(8)認知症				演 習	清 水
9	3)	介護における家族とのコミュニケーション(1)				講義・演習	清 水
10	3)	介護における家族とのコミュニケーション(2)				演 習	清 水
11	3)	介護における家族とのコミュニケーション(3)				演 習	清 水
12	4)	介護におけるチームのコミュニケーションの技法(1)記録				講義・演習	清 水
13	4)	介護におけるチームのコミュニケーションの技法(2)記録				演 習	清 水
14	5)	介護におけるチームのコミュニケーションの技法(3)報告・連絡・相談				講義・演習	清 水
15	5)	介護におけるチームのコミュニケーションの技法(4)会議				講義・演習	清 水
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		※コミュニケーション技術Ⅰと同じテキストです。 最新介護福祉士養成講座5 コミュニケーション技術 中央法規					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし					

科目名		生活支援技術演習（応用Ⅰ）			授業コード	121244A101	単位数 （時間数）	1 単位 （30）
配当学科（学年）		臨床福祉学科 介護福祉コース（2 年）			ナンバリング	13K221P02	AL 科目	○
担当者		清水 径子（福・福）	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.		将来、介護福祉士を目指すものとして、「心身の状態に応じた介護」を根底に据えて、利用者のその状態に応じた介護が細やかに実践できるということを目的とする。利用者一人ひとりの能力、潜在能力を見極めながら利用者にとって適切な対応に繋がる支援の方法を修得する。（DP2.3.6.CP2.3.6）						
学修目標		1)ICF の視点に基づいたアセスメント方法を理解し説明できる。 2) 自立に向けた介護の意義や留意点を理解し、まとめることができる。 3) 心身機能に応じた介護技術を考え、実践できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は介護福祉士、社会福祉士の有資格者として、5 年以上の実務経験に基づきその経験を通して介護福祉士に必要な知識、技術、価値の修得を目的として授業を行う。						
評価方法		定期試験（80 点）と演習態度（20 点）で総合的に判断する。 定期試験、実技試験は学期末に実施する。 また演習態度の評価については、授業への取り組み姿勢、課題提出状況などで判断する。 評価の詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等		介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 1 回の授業につき、60 分を目安に予習・復習を行うこと。 また授業で出題された課題は、期日内に提出すること。						
オフィスアワー		研究室前に掲示						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション ICF の視点に基づいた支援					講義・演習	清 水
2	1)2)3)	自立に向けた居住環境の整備（シーツ交換）					演 習	清 水
3	1)2)3)	自立に向けた移動の介護（ベッド上での移動）					演 習	清 水
4	1)2)3)	自立に向けた移動の介護（杖・車いす）					演 習	清 水
5	1)2)3)	自立に向けた排泄の介護（ポータブルトイレ）					演 習	清 水
6	1)2)3)	自立に向けた排泄の介護（おむつ交換）					演 習	清 水
7	1)2)3)	自立に向けた身じたくの介護（寝たきりの人の着脱）					演 習	清 水
8	1)2)3)	自立に向けた身じたくの介護（片麻痺の人の着脱）					演 習	清 水
9	1)2)3)	自立に向けた身じたくの介護（整容）					演 習	清 水
10	1)2)3)	自立に向けた身じたくの介護（口腔ケア）					演 習	清 水
11	1)2)3)	自立に向けた入浴・清潔保持の介護					講 義	清 水
12	1)2)3)	自立に向けた入浴・清潔保持の介護（入浴体験）					演 習	清 水
13	1)2)3)	自立に向けた入浴・清潔保持の介護（部分浴体験）					演 習	清 水
14	1)2)3)	事例に基づいた介護技術の展開①					演 習	清 水
15	1)2)3)	事例に基づいた介護技術の展開②					演 習	清 水
教科書（著者名）出版社名【ISBN】		※1 年次の「生活支援技術演習（基本Ⅰ・Ⅱ）」で使用したテキストと同じものを使用します。 最新介護福祉士養成講座7 生活支援技術Ⅱ（中央法規）						
参考書（著者名）出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名		生活支援技術演習(応用Ⅱ)		授業コード	121245A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床福祉学科(介護コース)2 年		ナンバリング	13K222P02	AL 科目	○	
担当者		稲田 弘子(福・福)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		介護福祉士として「心身の状態に応じた介護」を根底に据えて、利用者のその状態に応じた介護が細やかに実践できるということ を目的とする。利用者一人ひとりの能力、潜在能力を見極めながら利用者にとって適切な対応に繋がる支援の方法を取得す る。(DP2.3)(CP7.9)						
学修目標		1) 利用者の障害の基礎知識を理解し、状況・状態に応じた介護技術を展開できる。 2) 心身機能に応じた福祉用具・機器の説明ができる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は看護師、保健師の有資格者として5年以上の実務経験に基づき、介護福祉士の実務で必要な知識、技術、価値 の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法		単位認定試験 80%、学修への取り組み状況(授業・演習への取り組み内容)20%で総合的に判断する。 評価の詳細な評価基準は授業開始日に説明する。 定期試験、実技試験は学期末に実施する。 また演習態度の評価については、授業への取り組み姿勢、課題提出状況などで判断する。						
準備学習・ 履修上の注意等		介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 1 回の授業につき、60 分を目安に予習・復習を行うこと。 また授業で出題された課題は、期日内に提出すること。						
オフィスアワー		研究室前に掲示						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	前期の実技課題1)の復習					演 習	稲 田
2	1)	前期の実技課題2)の復習					演 習	稲 田
3	1)	前期の実技課題3)の復習					演 習	稲 田
4	1)	肢体不自由に応じた介護の方法を理解し、支援ができる					講義・演習	稲 田
5	1)	内部障害に応じた介護の方法を理解し、支援ができる①					講義・演習	稲 田
6	1)	内部障害に応じた介護の方法を理解し、支援ができる②					講義・演習	稲 田
7	1)	難病に応じた介護の方法を理解し、支援ができる。					講義・演習	稲 田
8	1)	前半の総括					講 義	稲 田
9	2)	障害に応じた福祉用具・機器について説明できる①					講 義	稲 田
10	2)	障害に応じた福祉用具・機器について説明できる②					講 義	稲 田
11	2)	障害に応じた福祉用具・機器について説明できる③					講 義	稲 田
12	1)2)	障害に応じた介護についての総括					講 義	稲 田
13	1)	障害に応じた介護の方法を理解し、支援ができる(入浴介助)①					講 義	稲 田
14	1)	障害に応じた介護の方法を理解し、支援ができる(入浴介助)②					演 習	稲 田
15	1)2)	障害に応じた介護の方法を理解し、支援ができる(排泄・食事・着脱)					演 習	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			最新・介護福祉士養成講座 14 障害の理解 第2版 中央法規					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。必要時プリントを配布する。					

科目名	生活支援技術演習（終末期）			授業コード	121253B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 介護コース(3年)			ナンバリング	13K321P02	AL 科目	○
担当者	稲田弘子(福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義 演 習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	介護福祉士として、利用者の「尊厳の保持」「自立支援」という新しい介護の考え方を理解するとともに「介護を必要とする人」を生活の観点から捉えることができるようになる。また介護サービスを提供する対象、場によらず、あらゆる介護場面に汎用できる基本的な介護の知識・技術を修得する。(DP2.3)(CP7)						
学修目標	1) 介護福祉士の役割と機能を理解し説明ができる。 2) 生活とはなにか、自分たちの生活や家族の生活を深くみつめ、様々な生活の違いがあることを理解する。 3) 高齢者や障害をもった人たちの暮らしについて理解できる。 4) 高齢者の生きてきた時代背景を調べ、説明できる。 5) 利用者の生活環境を整えるためには何が必要か、どのような制度が関わっているのかを理解する。 6) 日常の生活習慣が障害されるという観点から、具体的に何が生活障害になっているのかを考察し説明ができる						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は看護師、保健師の有資格者として、その経験を通して介護福祉士に必要な知識、技術、価値について講義を行う。						
評価方法	単位認定試験を 80%、学修への取り組み状況(授業態度、課題提出・内容)を 20%として総合的に評価する。 詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 SGD では積極的に自分の意見を述べること。 授業で出題された課題は、指定期日までに提出すること。 毎授業後、必ず 1 時間は復習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割確定後、研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	介護の基本となる理念について理解する(1)				講 義	稲 田
2	1)	介護の基本となる理念について理解する(2)				講義・SGD	稲 田
3	2)	介護福祉士の倫理について理解する(1)				講義・SGD	稲 田
4	2)	介護福祉士の倫理について事例を通して理解する(2)				講 義	稲 田
5	3)	介護実践の場における尊厳の保持について具体的に理解できる。				講 義	稲 田
6	4)	日本の介護問題の背景を理解することができる				講 義	稲 田
7	5)	生活とは何か、一人ひとりの生活の違いについて理解する				講 義	稲 田
8	6)	利用者の自立に向けた支援の方法を理解する。(1)				講 義	稲 田
9	6)	利用者の自立に向けた支援の方法を理解する。(2)				講 義	稲 田
10	6)	障がいのある人の生活の理解(1)				S G D	稲 田
11	6)	障がいのある人の生活の理解(2)				講 義	稲 田
12	6)	高齢者の暮らしを支える介護 生活の場を知る(1)				施設見学	稲 田
13	6)	高齢者の暮らしを支える介護 在宅生活の場 (2)				施設見学	稲 田
14	6)	高齢者が生きてきた時代や文化を理解する(1)				講 義	稲 田
15	6)	高齢者が生きてきた時代や文化を理解する(2)				講義・演習	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新介護福祉士養成講座 3 介護の基本1 中央法規					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	生活支援技術演習（環境Ⅰ）			授業コード	121251B101	単位数 （時間数）	2 単位 （30）
配当学科(学年)	臨床福祉学科 4 年			ナンバリング	13K421P02	AL 科目	○
担当者	三宮 基裕(福・臨)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】 介護福祉士として住環境整備の点から支援が展開できるようになるために、生活の基盤である住宅および生活施設について、住 宅改修の具体的な改修方法、高齢者に関わる住宅政策や居住施設の概要などについて学ぶ。 【一般目標（GIO）】 高齢者に対するこれからの環境整備のあり方を理解し、介護福祉士として必要となる生活環境整備の基本的知識を修得する。 【対応するポリシーNo.】 DP3、CP1(7)、CP2(1)(4)、CP3(1)						
学修目標	1)住宅の役割と緒室の構成が説明できる。 2)住居に関連する法制度が理解でき、説明できる。 3)環境整備の具体的な方法が説明できる。 4)高齢者のための生活施設の特徴が説明できる。 5)建築図面が読み取れ簡単な作図ができる。 6)高齢者に配慮した環境整備の方法が提案できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	各回の授業で学習内容の確認テストを行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、 授業への参加)を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	次回講義の内容をシラバスで確認し、参考書等の該当箇所を予め読んで予習しておくこと。 復習として、毎時間の学習内容をノートにまとめておくこと。※試験は直筆のノートのみ持ち込みを認める。						
オフィスアワー	火・水 15:00～17:00 研究室						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	生活支援と建築空間				講 義	三 宮
2	2)	住宅の問題と住環境整備の意義				講 義	三 宮
3	2)	ノーマライゼーションとリハビリテーション				講 義	三 宮
4	2)	バリアフリーとユニバーサルデザイン				講 義	三 宮
5	2)	住環境整備のプロセス				講 義	三 宮
6	3)	介護保険制度と住環境整備				講 義	三 宮
7	6)	住宅図面の読み取りと作図法				講義・演習	三 宮
8	1)3)4)	移動空間の整備①				講 義	三 宮
9	1)3)4)	移動空間の整備②				講 義	三 宮
10	1)3)4)	トイレ空間の整備①				講 義	三 宮
11	1)3)4)	トイレ空間の整備②				講 義	三 宮
12	1)3)4)	浴室空間の整備①				講 義	三 宮
13	1)3)4)	浴室空間の整備②				講 義	三 宮
14	1)4)6) 7)	住環境整備の提案①				講義・演習	三 宮
15	1)4)6) 7)	住環境整備の提案②				講義・演習	三 宮
教科書（著者名）出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書（著者名）出版社名【ISBN】		改訂 4 版 福祉住環境コーディネーター3 級公式テキスト（東京商工会議所 編）東京商工会議所 【 978- 4924547599】 新・介護福祉士養成講座 6 生活支援技術Ⅰ 第3版（介護福祉士養成講座編集委員会＝編集）【978-4- 8058-3940-9】					

科目名	生活支援技術演習（環境Ⅱ）			授業コード	121252B101	単位数 （時間数）	2 単位 （30）
配当学科（学年）	臨床福祉学科 4 年			ナンバリング	13K422P02	AL 科目	○
担当者	三宮 基裕（福・臨）	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】 福祉専門職として住環境整備の点から支援が展開できるようになるために、日本の住宅の問題、住宅改修のプロセスと具体的な改修方法、そして関係する法律や助成制度について学ぶ。 【一般目標（GIO）】 身体に障害のある方や加齢等により心身機能が低下した方が住宅で生活する時の生活環境上の問題を認識し、将来、福祉職として必要となる生活環境整備の基本的知識を修得する。 【対応するポリシーNo.】 DP3、CP1(7)、CP2(1)(4)、CP3(1)						
学修目標	1)住宅の役割と緒室の構成が説明できる。 2)住居に関連する法制度が理解でき、説明できる。 3)環境整備の具体的な方法が説明できる。 4)高齢者のための生活施設の特徴が説明できる。 5)建築図面が読み取れ簡単な作図ができる。 6)高齢者に配慮した環境整備の方法が提案できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	各回の授業で学習内容の確認テストを行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢（確認テストや課題の提出、授業への参加）を 30%、作品の提案内容と発表の仕方（70%程度）で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	図面の作図の際は各自で必要となる文具を準備すること。 作品制作に関わる環境改善の方法について、各自で学んでおくこと。						
オフィスアワー	月・火・水・16:00～17:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	2)5)	高齢者のための住宅政策				講 義	三 宮
2	2)5)	高齢者施設の種類				講 義	三 宮
3	2)5)	高齢者の生活環境①（グループホーム）				講 義	三 宮
4	2)5)	高齢者の生活環境②（ユニットケア）				講 義	三 宮
5	2)5)	高齢者の生活環境③（小規模多機能）				講 義	三 宮
6	1)4)6) 7)	住宅改修の提案①（課題説明）				講義・演習	三 宮
7	1)4)6) 7)	住宅改修の提案②（対象者の設定）				講義・演習	三 宮
8	1)4)6) 7)	住宅改修の提案③（理由書の作成）				講義・演習	三 宮
9	1)4)6) 7)	住宅改修の提案④（住宅図面の作図）				講義・演習	三 宮
10	1)4)6) 7)	住宅改修の提案⑤（問題点の抽出）				講義・演習	三 宮
11	1)4)6) 7)	住宅改修の提案⑥（改善策の検討）				講義・演習	三 宮
12	1)4)6) 7)	住宅改修の提案⑦（提案図面の制作）				講義・演習	三 宮
13	1)4)6) 7)	住宅改修の提案⑧（提案図面の制作）				講義・演習	三 宮
14	1)4)6) 7)	住宅改修の提案⑨（提案図面の制作）				講義・演習	三 宮
15	1)4)6) 7)	住宅改修の提案⑩（発表）				講義・演習	三 宮
教科書（著者名）出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書（著者名）出版社名【ISBN】		新・介護福祉士養成講座 6 生活支援技術Ⅰ 第3版（介護福祉士養成講座編集委員会＝編集）【978-4-8058-3940-9】 住宅改修アセスメントのすべて 介護保険「理由書」の書き方・使い方マニュアル（加島守／著）三和書籍【978-4-86251-064-8】					

科目名		生活支援技術演習(総括)			授業コード	121250A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(介護コース)4 年			ナンバリング	13K421P03	AL 科目	○
担当者		稲田 弘子(福・福) 清水 径子 (福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.		第 3 段階実習が終了し、介護福祉実習の総括である。、社会に有意義なそして指導者となれるような介護福祉士となるため、利 用者の状態に応じた声掛けや介護技術が実践できるようになる。また、「できる」だけでなく指導できるようになるために、介護技 術のチェックリストを作成し、客観的に評価できるようになる。(DP2.3)(CP7)						
学修目標		1) 利用者に状態応じた介護技術を考えながら実践することができる。 2)根拠に基づいた介護技術実践を客観的に評価することができるための知識・技術を習得することができる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が 5 年以上ある。その経験に基づき、介護 福祉士として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法		単位認定テスト 80%と学修への取り組み状況(授業態度、課題提出・内容)20%として、総括的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 毎授業1回の授業につき 60 分をめどに復習し、また、グループワークにも積極的に参加すること。						
オフィスアワー		時間割が確定後に研究室前に掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	自立支援介護について(排泄)					講 義	稲 田
2	1)	自立支援介護について(食事・水分)					講 義	稲 田
3	1)	自立支援介護について(認知症)					講 義	稲 田
4	1)	自立支援介護について(運動)					講 義	稲 田
5	1)	医療的な対応の基礎知識①					講義・演習	稲 田
6	1)	医療的な対応の基礎知識②					講義・演習	稲 田
7	1)	医療的な対応の基礎知識③					講義・演習	稲 田
8	1)	【自立に向けた移動の介護】スライディングボード等の活用について					講義・演習	稲 田
9	1)	【福祉用具の意義と活用】腰痛指針について、ノーリフトについて					講義・演習	稲 田
10	1)2)	チェックリスト作成					演 習	清 水
11	1)2)	チェックリスト作成					演 習	清 水
12	1)2)	チェックリスト作成					演 習	清 水
13	1)2)	チェックリスト作成・発表					演 習	清 水
14	1)2)	チェックリスト作成・発表					演 習	清 水
15	1)2)	チェックリスト作成・発表					演 習	清 水
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない(講義時に配布するプリントを使用する)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名		介護過程Ⅰ			授業コード	120191A102	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科 介護福祉コース(2 年)			ナンバリング	13K222P03	AL 科目	○
担当者		稲田 弘子(福・福) 清水 径子 (福 福)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		介護過程とは、介護の専門職として介護実践の過程を根拠をもって論理的に考え、過程の道筋を明文化し実践することである。 利用者の状態を理解し、アセスメントし利用者のニーズに合った介護サービスの提供ができる介護福祉士となるため、介護過程 の展開するうえで必要な知識・技術とそれを応用した介護実践の方法論を修得する。DP(2)(3)(6) 介護過程Ⅰでは、第1段階実習で実施した情報収集をさらに深め、情報収集の方法論と介護過程の意義とプロセスについての 基礎的理解を修得する。CP1(8)CP2(11)						
学修目標		1)介護過程の意義とプロセスについての基礎的理解について説明できる。 2)情報収集について説明できる。 3)介護過程の展開方法について理解できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者(清水・稲田)は、高齢者施設での5年以上の実務経験に基づき、介護福祉士として実務に必要な技術・知識の修得 を目的とした授業を行う。						
評価方法		学年末の単位認定テスト90%と学習への取り組み姿勢(授業態度、課題内容等)10%として、総括的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 毎授業ごとに配布するプリントをよみかえし、1回の授業につき60分をめどに自分で復習し、まとめること。 定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。						
オフィスアワー		時間割が確定後に研究室前に提示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション 第1段階実習の情報収集をまとめる					演 習	清 水
2	2)	受け持ち利用者の情報収集をまとめる					演 習	清 水
3	2)	受け持ち利用者の情報収集をまとめ発表する					演 習	清水・稲田
4	2)	情報収集の方法について					講 義	清 水
5	2)	情報収集の方法について(演習)					演 習	清 水
6	2)	利用者を理解するために:生活歴の捉え方について					講義・演習	清 水
7	1)2)3)	当大学で使用しているアセスメントシート(情報収集①②)について					講 義	清 水
8	1)2)3)	当大学で使用しているアセスメントシート(情報収集①②)について					講 義	清 水
9	1)2)3)	第1段階の情報収集をアセスメントシート(情報収集①②)に記入する					演 習	清 水
10	1)2)3)	第1段階の情報収集をアセスメントシート(情報収集①②)に記入する					演 習	清 水
11	1)3)	介護過程の意義とプロセスについて(事例を通して)					講 義	稲 田
12	1)3)	介護過程の展開方法(事例を通して) グループワーク					演 習	稲 田
13	2)	第2段階に向けての情報収集(事例 ビデオ「こんにちは老人ホームです」)					演 習	稲 田
14	2)	第2段階に向けての情報収集(事例 ビデオ「こんにちは老人ホームです」)					演 習	稲 田
15	2)	第2段階に向けての情報収集 総括					講 義	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。(講義時にプリントを配布使用するので、きちんとファイリングすること)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	介護過程Ⅱ			授業コード	120192A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(介護コース)3年			ナンバリング	13K321P03	AL 科目	○
担当者	稲田 弘子(福・福)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	介護過程とは、介護の専門職として介護実践の過程を根拠をもって論理的に考え、過程の道筋を明文化し実践することである。利用者の状態を理解し、アセスメントし利用者のニーズに合った介護サービスの提供ができる介護福祉士となるために、アセスメントをするために必要な知識・技術とそれを応用した介護実践の方法論を修得する。介護過程Ⅱでは、アセスメントの概略を理解したうえで、第2段階実習で情報収集した利用者の食事介護のアセスメント(情報の分析)を実施し、介護過程を展開するのに必要な基礎的知識の修得と実践について学ぶ。 (DP2.3)(CP5.7)						
学修目標	1)情報収集の意義について理解し、情報収集シート①②に記入することができる。 2)アセスメントについて概説できる。 3)食事介護に関する知識を活用し、受け持ち利用者の食事の「アセスメント(情報の分析)」を作成し、「食事」に関する介護過程の展開を理解する。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が5年以上ある。その経験に基づき、介護福祉士として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	学年末の単位認定テスト80%、学修への取り組み状況(授業態度、課題提出・内容)20%として、総合的に的に評価する。 ◆学修への取り組み状況 介護過程、情報の分析(食事)の課題は期限内に提出すること GW 時は、積極的に参加すること 詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 授業で配布したプリントはきちんとファイリングすること。テキストを使用しないため、欠席した場合は、プリントを研究室まで取りに来ること。 毎授業ごとに配布するプリントをよみかえし、復習し、まとめること。 課題の提出は、期限内に提出すること。 定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。						
オフィスアワー	授業の時間割が確定した段階で、掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	第2段階実習の課題である受け持ち利用者の「情報収集シート①②」をまとめる。				演 習	稲 田
2	1)	第2段階実習の課題である受け持ち利用者の「情報収集シート①②」をまとめる。				演 習	稲 田
3	2)	介護過程の意義とプロセスの基本的理解についての復習①				講 義	稲 田
4	2)	介護過程の意義とプロセスの基本的理解についての復習②				講 義	稲 田
5	3)	食事介護に関する基礎知識①				講 義	稲 田
6	3)	食事介護に関する基礎知識②				講 義	稲 田
7	3)	食事介護に関する基礎知識③				講 義	稲 田
8	3)	食事介護に関する基礎知識④				講 義	稲 田
9	3)	【食事の介護過程の展開の理解】の事例を通して「ニーズ」の意味について考える				講 義	稲 田
10	3)	【食事の介護過程の展開の理解】の事例を通して食事介護のあり方について考える①				講義・演習	稲 田
11	3)	【食事の介護過程の展開の理解】の事例を通して食事介護のあり方について考える②				講義・演習	稲 田
12	3)	【食事の介護過程の展開の理解】受け持ち利用者のアセスメント(情報の分析)作成				演 習	稲 田
13	3)	【食事の介護過程の展開の理解】学生が作成したアセスメント(情報の分析)のグループワーク検討①				演 習	稲 田
14	3)	【食事の介護過程の展開の理解】学生が作成したアセスメント(情報の分析)のグループワーク検討②				演 習	稲 田
15	3)	【【食事の介護過程の展開の理解】学生、教員の意見をもとに(情報の分析)を再度作成する。総括				講義・演習	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない(プリントを配布するので、きちんとファイリングすること)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	介護過程Ⅲ			授業コード	120193B102	単位数 (時間数)	2 単位 (60)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(介護コース)3 年			ナンバリング	13K322P02	AL 科目	○
担当者	稲田 弘子(福・福)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	介護過程とは、介護の専門職として介護実践の過程を根拠をもって論理的に考え、過程の道筋を明文化し実践することである。利用者の状態を理解し、アセスメントし利用者のニーズに合った介護サービスの提供ができる介護福祉士となるために、アセスメントをするために必要な知識・技術とそれを応用した介護実践の方法論を修得する。介護過程Ⅲでは、主に排泄・清潔介護、活動等のアセスメント、介護計画を立案するのに必要な基礎的知識の修得と実践について学ぶ。(DP2.3)(CP5.7)						
学修目標	1)排泄介護に関する知識を活用し、受け持ち利用者の排泄の「アセスメント(情報の分析)」を作成し、「排泄」に関する介護過程の展開を理解する。 2)保清介護に関する知識を活用し、受け持ち利用者の保清の「アセスメント(情報の分析)」を作成し、「保清」に関する介護過程の展開を理解する。 3)生きがい・精神状態等に関する知識を活用し、受け持ち利用者の生きがい・精神状態等の「アセスメント(情報の分析)」を作成し、「生きがい・精神状態等」に関する介護過程の展開を理解する。 4)事例を基に、介護過程を展開するために必要なチームアプローチについて説明できる。 5)第3段階実習における「介護過程」の取り組みについて説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が5年以上ある。その経験に基づき、介護福祉士として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	学年末の単位認定テスト80%、学修への取り組み状況(授業態度、課題提出・内容)20%として、総合的に的に評価する。 ◆学修への取り組み状況 【課題】 介護過程、情報の分析(排泄、保清・整容、生きがい)の課題は期限内に提出すること 介護過程、介護計画(生きがい他)の課題は期限内に提出すること。 介護過程Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで配布されたプリント類をきちんとファイリングすること *提出期限までに、課題が達成できない時は、介護実習Ⅲを履修できないことがある。 GW 時は、積極的に参加すること 詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 授業で配布したプリントはきちんとファイリングすること。テキストを使用しないため、欠席した場合は、プリントを研究室まで取りに来ること。 毎授業ごとに配布するプリントをよみかえし、復習し、まとめること。 課題の提出は、期限内に提出すること。 定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。						
オフィスアワー	時間割が確定後、研究室前に表示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	排泄介護に関する基礎知識①②				講 義	稲 田
2	1)	排泄介護に関する基礎知識③④				講 義	稲 田
3	1)	【排泄の介護過程の展開の理解】受け持ち利用者と事例のアセスメント(情報の分析)作成				演 習	稲 田
4	1)	【排泄の介護過程の展開の理解】受け持ち利用者のアセスメント(情報の分析)グループワーク①②				演 習	稲 田
5	1)	【排泄の介護過程の展開の理解】受け持ち利用者のアセスメント(情報の分析)グループワーク③④				演 習	稲 田
6	2)	清潔介護に関する基礎知識①②				講 義	稲 田
7	2)	【清潔の介護過程の展開の理解】受け持ち利用者のアセスメント(情報の分析)作成①②				演 習	稲 田
8	2)	【清潔の介護過程の展開の理解】受け持ち利用者のアセスメント(情報の分析)グループワーク①②				演 習	稲 田
9	3)	【生きがい・精神状態等の介護過程の展開の理解】に関する基礎知識				講義・演習	稲 田
10	1)2)3)	介護目標・介護計画の作成①②				講義・演習	稲 田
11	1)2)3)	【介護過程の展開の理解】事例検討Ⅰ…アセスメント(情報の分析)から介護計画立案①②				演 習	稲 田
12	1)2)3)	【介護過程の展開の理解】事例検討Ⅰ…アセスメント(情報の分析)から介護計画立案①②(実技の発表準備)				演 習	稲 田
13	1)2)3)	【介護過程の展開の理解】事例検討Ⅰ…アセスメント(情報の分析)から介護計画立案①②(実技の発表・総評				演 習	稲 田
14	4)	【チームアプローチ】事例検討Ⅱ…介護過程の展開を通し、チームアプローチの意義や方法について理解する。 ①②				演 習	稲 田
15	5)	第3段階実習での介護過程の取り組み方について①②				講 義	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない(プリントを配布するので、きちんとファイリングすること)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	介護過程Ⅳ			授業コード	121139A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(介護コース)4年			ナンバリング	13K421P04	AL 科目	○
担当者	稲田 弘子(福・福)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	介護過程とは、介護の専門職として介護実践の過程を根拠を持って理論的に考え、過程の道筋を明文化し実践することである。利用者の状態を把握し、アセスメントし、利用者のニーズに合った介護サービスの提供ができる介護福祉士となるために、アセスメントに必要な知識・技術とそれを応用した介護実践の方法論を修得する。介護過程Ⅲでは、第3段階実習で展開した介護過程をもとに、介護過程の展開を理解するとともに、チームアプローチについて理解を深める。また、施設だけでなく在宅で生活する利用者に対する介護過程を展開する。(DP2.3)(CP5.7)						
学修目標	1)第3段階実習で実践した介護過程を通して、介護過程を説明することができる。 2)チームアプローチについて説明することができる。 3)在宅で生活する利用者に対する介護過程を展開することができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が5年以上ある。その経験に基づき、介護福祉士として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	①第3段階実習で展開した介護過程一式の内容 ②介護過程のグループワーク後、他の学生や教員からの意見を基に訂正した介護過程一式の内容。 ③介護過程のグループワークの参加状況 ①②③(8回目まで)で70%とする 9回～15回(30%)の講義・演習の評価は、積極的な授業参加状況と課題提出・内容にて評価する。 詳細な評価基準は、授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 介護過程のやり直しや課題は期日内に提出すること。 GW時は、積極的に意見を述べ参加すること。						
オフィスアワー	時間割が確定後、掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	第3段階実習報告会				演 習	稲 田
2	1)	【第3段階実習で展開した介護過程の理解】グループワーク①				演 習	稲 田
3	1)	【第3段階実習で展開した介護過程の理解】グループワーク②				演 習	稲 田
4	1)	【第3段階実習で展開した介護過程の理解】グループワーク③				演 習	稲 田
5	1)	第3段階実習で展開した介護過程のまとめ(パワーポイント作成)①				演 習	稲 田
6	1)	第3段階実習で展開した介護過程のまとめ(パワーポイント作成)②				演 習	稲 田
7	1)	第3段階実習で展開した介護過程のまとめ(パワーポイント作成)③				演 習	稲 田
8	1)	第3段階実習で展開した介護過程についての総括				講 義	稲 田
9	1)	介護計画とケアプランについて				講 義	稲 田
10	2)	介護過程を展開するためのチームアプローチについて①				講義・演習	稲 田
11	2)	介護過程を展開するためのチームアプローチについて②				講義・演習	稲 田
12	3)	在宅での介護過程の展開①				講義・演習	稲 田
13	3)	在宅での介護過程の展開②				講義・演習	稲 田
14	3)	在宅での介護過程の展開③				講義・演習	稲 田
15	1)2)3)	総括				講 義	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。(講義中にプリントを配布するのできちんとファイリングすること)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	介護総合演習Ⅰ			授業コード	120202A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 介護福祉コース(2年)			ナンバリング	13K221P03	AL 科目	○
担当者	清水 径子(福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	介護の知識を実践の場で統合できるように介護技術の確認行い、個々の利用者にあった介護が展開できる。また実習オリエンテーション、実習中における実習指導、実習後の報告会等で自己を振り返りを次の段階に繋げることができる。 (DP2.3.6.CP.2.3.6)						
学修目標	1)介護実習が始まるまでの流れと事前学習の内容が理解できる。 2)実習における介護実習の意義と目的を理解する。また介護実習の流れと、学習のポイントが理解できる。 3)各施設におけるサービス内容や利用者像などが理解できる。 4)介護を提供するためのアセスメント(情報収集)の必要性や日誌の記載方法を理解し実際に書くことができる。 5)実習生としての態度を身につけ、第1段階実習の目的・目標を理解し、事前準備や心構えができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は介護福祉士、社会福祉士の有資格者として、その経験を通して介護福祉士に必要な知識、技術、価値について講義を行う。						
評価方法	定期試験(80点)と演習態度(20点)で総合的に判断する。 定期試験、実技試験は学期末に実施する。 また演習態度の評価については、授業への取り組み姿勢、課題提出状況などで判断する。 評価の詳細な評価基準は授業開始日に説明する。 詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	介護福祉コースのみ必修。 1回の授業につき、60分を目安に予習・復習を行うこと。 上記以外の実習前・実習中・実習後についても疑問点等についてはその都度、自己学習し明確にしておくこと。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	授業オリエンテーション				講 義	清 水
2	2)3)	施設について(1) 実習先のサービス内容・利用者像を理解する				講 義	清 水
3	2)3)	施設について(2) 介護老人福祉施設・介護老人保健施設・障害者支援施設				講 義	清 水
4	2)3)	施設について(3) 認知症対応型共同生活介護・小規模多機能ホーム				講 義	清 水
5	2)3)	施設について(4)				講 義	清 水
6	2)3)	施設について(5)				講 義	清 水
7	4)	実習に係る記録の種類と記入方法について①				講 義	清 水
8	4)	実習に係る記録の種類と記入方法について②				講 義	清 水
9	4)	実習に係る記録の種類と記入方法について③				講 義	清 水
10	4)	実習に係る記録の種類と記入方法について④				演 習	清 水
11	5)	第1段階実習事前指導(1)				講 義	清 水
12	5)	第1段階実習事前指導(2)				講 義	清 水
13	5)	第1段階実習事前指導(3)				講 義	清 水
14	5)	第1段階実習事前指導(4)				講 義	清 水
15	5)	第1段階実習事前指導(5)				講 義	清 水
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		介護総合演習Ⅱ			授業コード	120203A102	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科介護福祉コース(2 年)			ナンバリング	13K222P04	AL 科目	○
担当者		清水 径子(福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		介護福祉士取得のためには、介護福祉現場のニーズに対応できる知識・技術・態度を身につける必要がある。本講義では、実習の教育効果を上げるため、以下の項目について個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。 第 1 段階実習を振り返り、各領域で学んだ介護の知識や技術を実践と結びつけて統合、深化させる。自己課題を明確にし、介護福祉士としての態度を養う。DP(2)(3)(6) また、第 2 段階実習に向け、実習施設の概要を理解し、実習に必要な知識や技術を修得する。CP1(8)CP2(13) 本授業については、介護実習Ⅰ及び介護実習Ⅱと組み合わせての学習となる。						
学修目標		1)事後学習の意義と目的が理解できる。第 1 段階実習の報告を行い、実習で学んだことを振り返る。 2)利用者の暮らしや住まい等の日常生活の理解や多様な介護サービスの理解ができる。 3)コミュニケーションのあり方を考えることができる。 4)他職種協働の視点を学ぶことができる。 5)介護福祉に関する記録の書き方を学び、適切な記録を書くことができる。 6)介護福祉実習Ⅱ(第 2 段階)の目的について学び、目標を明確にすることができる。 7)レクリエーションのあり方を理解し、実施できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者(清水)は、施設や病院での 5 年以上の実務経験に基づき、介護福祉士として実務に必要な技術・知識の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法		定期試験(70 点)と演習態度(30 点)で総合的に判断する。定期試験は、学期末に実施する。また、演習態度については、授業への取り組み姿勢、課題提出状況、積極的な演習への参加等で判断する。詳細な評価方法については授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等		授業で出題される課題は、指定期日までに提出すること。 毎授業後、必ず1時間は復習を行うこと。						
オフィスアワー		研究室前に掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)5)	第 1 段階実習事後指導					演 習	清 水
2	1)2)5)	第 1 段階実習事後指導					演 習	清 水
3	1)2)5)	第 1 段階実習事後指導					演 習	清 水
4	1)2)5)	第 1 段階実習事後指導					演 習	清 水
5	1)2)5)	第 1 段階実習事後指導					演 習	清 水
6	3)	プロセスレコード					講義・演習	清 水
7	1)2)4)	高齢者の施設について					演 習	清 水
8	1)2)4)	高齢者・障害者の施設について					演 習	清 水
9	1)2)4)	障害者の施設について					演 習	清 水
10	7)	レクリエーションについて					講義・演習	清 水
11	7)	レクリエーションについて					演 習	清 水
12	6)	第 2 段階実習事前指導					講 義	清 水
13	6)	第 2 段階実習事前指導					講 義	清 水
14	6)	第 2 段階実習事前指導					講 義	清 水
15	6)	第 2 段階実習事前指導					講 義	清 水
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			介護福祉実習の手引き(介護総合演習Ⅰで配布したもの。)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	介護総合演習Ⅲ			授業コード	120204A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科介護福祉コース(3 年)			ナンバリング	13K321P04	AL 科目	○
担当者	清水 径子(福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	介護実習中に必要な知識や技術の統合を図り、介護過程の展開等について適切な介護サービスが展開できる能力を養う。また、介護実習Ⅰ・Ⅱを振り返り、報告会で実習での学びを報告できる。介護総合演習Ⅲでは、すべての科目を介護実習を通じて意識的につなぎ、介護福祉の知識、技術を駆使し、質の高い介護実践を科学的に探究する中で、介護技術等を検証し、実習先での介護の方法を柔軟に受入、なぜそうするのかの根拠を学び、説明できる能力を修得する。DP(2)(3)(6)、CP1(8)、CP2(13)						
学修目標	1) 第 2 段階実習を振り返り、実習中、不十分な知識、技術の再確認ができる。 2) 実習で学んだ施設の概要やサービスについて説明できる。 3) 介護実習中の日誌の意義と目的を再確認し、結果や考察を盛り込んだ報告書を書き、発表できる。 4) 事例に基づき、介護実践の科学的探究を行い、介護技術が展開できる。 5) 利用者とのコミュニケーションや生活状況を理解し、生活課題を把握できる。 6) 各領域で学んだ知識と技術を統合し、質の高い介護が実践できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者の清水は、介護福祉士として高齢者施設での 6 年の実務経験に基づき、介護福祉士として必要な技術・知識の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	定期試験及び実技試験(80%)、小テスト及び課題提出状況(20%)により総合的に評価をする。定期試験は学期末に行う。小テスト及び課題提出状況については、課題への取り組み姿勢、提出状況などを総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 1 回の授業につき、60 分を目安に予習・復習を行うこと。 授業毎に実施する復習小テストを解き、完全に答えられるようにする。 また夏季休暇中は指示のあった課題に取り組み、後期授業開始時提出する。						
オフィスアワー	オフィスアワーについては授業開始日に知らせる。また、研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	第 2 段階介護実習事後指導(1) 振り返り				講義・SGD	清 水
2	1)2)3)	第 2 段階介護実習事後指導(2) 報告書作成				講義・SGD	清 水
3	1)2)3)	第 2 段階介護実習事後指導(3) 報告書作成				講義・SGD	清 水
4	1)2)3)	第 2 段階介護実習事後指導(4) 報告書作成				講義・演習	清 水
5	1)2)3)	第 2 段階介護実習事後指導(5) 報告会発表に向けた資料作成				講義・演習	清 水
6	1)2)3)	第 2 段階介護実習事後指導(6) 報告会発表に向けた資料作成				講義・演習	清 水
7	1)2)3)	第 2 段階介護実習事後指導(7) 報告会発表に向けた資料作成・発表準備				講義・演習	清 水
8	1)2)3)	実習報告会				演 習	清 水
9	4)5)6)	利用者の状況・状態に応じた生活支援技術(1)				講義・演習	清 水
10	4)5)6)	利用者の状況・状態に応じた生活支援技術(2)				講義・演習	清 水
11	4)5)6)	利用者の状況・状態に応じた生活支援技術(3)				演 習	清 水
12	4)5)6)	利用者の状況・状態に応じた生活支援技術(4)				演 習	清 水
13	4)5)6)	利用者の状況・状態に応じた生活支援技術(5)				演 習	清 水
14	4)5)6)	利用者の状況・状態に応じた生活支援技術(6)				演 習	清 水
15	4)5)6)	利用者の状況・状態に応じた生活支援技術(7)				演 習	清 水
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		介護福祉実習の手引き(介護総合演習Ⅰで配布したもの)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		介護福祉士関係科目で使用したテキスト					

科目名		介護総合演習Ⅳ			授業コード	120205A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(介護コース)4 年			ナンバリング	13K421P05	AL 科目	○
担当者		稲田 弘子(福・福)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	講義・選択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソ-No.		第3段階実習が終了し、介護福祉実習の総括である。、社会に有意義な介護福祉士となるため、実習報告会や介護実習の報告集の作成や介護過程のまとめを通して、介護福祉実習で得た知識、技術、態度を振り返り、学生自身が自分で不足している知識、技術、態度が自己覚知し実践できるようになる。(DP2.3)(CP5)						
学修目標		1)実習をふりかえり、学んだことを説明できる。 2)大学での演習と実習で得た知識と技術を統合し具体的に実施することができる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が5年以上ある。その経験に基づき、介護福祉士として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法		実習報告書、実習報告会での発表状況(パワーポイント作成内容も含む)等にて評価する。 詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等		介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 演習時は、積極的に参加すること。 実習報告書、実習報告会発表のパワーポイントの提出期限を厳守すること。 詳細な評価は授業開始日に説明する。						
オフィスアワー		時間割が確定後に研究室前に掲示する。						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	実習報告書作成①					演 習	稲 田
2	1)	実習報告書作成②					演 習	稲 田
3	1)	実習報告書作成③					演 習	稲 田
4	1)	実習報告書作成④					演 習	稲 田
5	1)	実習報告会での発表準備(パワーポイント作成)					演 習	稲 田
6	1)	実習報告会での発表(パワーポイント作成)					演 習	稲 田
7	1)	実習報告会での発表準備(パワーポイント作成)での発表					演 習	稲 田
8	1)	実習報告会での発表(1回目発表)					演 習	稲 田
9	1)	実習報告会での発表準備(パワーポイント加筆、訂正等)					演 習	稲 田
10	1)	実習報告会での発表の実際					演 習	稲 田
11	2)	生活支援技術の総括:施設での介護技術から食事介護を考える					演 習	稲 田
12	2)	生活支援技術の総括:施設での介護技術から排泄介護を考える					演 習	稲 田
13	2)	生活支援技術の総括:施設での介護技術から保清・整容介護を考える					演 習	稲 田
14	2)	生活支援技術の総括:施設での介護技術から生きがい(活動)を考える					演 習	稲 田
15	2)	総括					講義・演習	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない(講義時に配布するプリントを使用する)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	介護実習Ⅰ			授業コード	120197C101	単位数 (時間数)	3単位 (135)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(介護コース)2年			ナンバリング	13K221P04	AL 科目	○
担当者	稲田 弘子(福・福)、清水 径子 (福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において個別ケアを理解する。 また利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員とし ての介護福祉士の役割について学ぶ。(DP2.3.7)(CP.2.3.6)						
学修目標	1)施設の概要を説明することができる。 2)介護福祉士の役割について説明することができる。 3)利用者を支援するための基本的技術を実施できるようになる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員(稲田・清水)は、福祉、医療分野での実務経験が5年以上ある。 その経験に基づき、介護福祉士として必要な知識、技術の修得を目標とした実習での 巡回指導を行う。						
評価方法	①第1段階実習の課題である、利用者の暮らしの場を理解する。 ②利用者との関わりのなかで、より良い人間関係を築くためのコミュニケーションの方法を学ぶ ③利用者を支援するための基本的な介護技術を学ぶ ④介護福祉士の役割について学ぶ。 以上の①～④を踏まえ実習巡回教員全員で協議し総合的に判断する。						
準備学習・ 履修上の注意等	介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 実習は、積極的に取り組むこと。 また社会的マナーを守り、職員だけではなく利用者やその家族に対して自ら 挨拶をする。 詳細については「実習の手引き」に沿って説明する。						
オフィスアワー	時間割が確定後、研究室に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	1.利用者のさまざまな暮らしの場を理解する。				実 習	全 員
2	3)	2.利用者との関わりの中で、よりよい人間関係を築くためのコミュニケーションのあり方を学ぶ。				実 習	全 員
3	2)3)	3.利用者との関わりの中で、利用者の思いや願いにふれる。				実 習	全 員
4	3)	4.利用者の生活を支援するための基本的な介護を学ぶ。				実 習	全 員
5	2)	5.介護福祉士の役割について学ぶ。				実 習	全 員
		上記内容で135時間以上の実習を行う。					
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。(講義時に配布する「実習の手引き」を使用する)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		介護実習Ⅱ		授業コード	120198C101	単位数 (時間数)	3 単位 (135)
配当学科(学年)		臨床福祉学科介護福祉コース(2 年)		ナンバリング	13K222P05	AL 科目	○
担当者		稲田 弘子(福・福)、清水 径子 (福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態 実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾーNo.		介護福祉士として個別ケアを行うためには、個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にする必要がある。本実習により、受講者は利用者を一人受け持ち、情報収集を実施することにより、個別性に応じた介護過程の実践的展開(情報収集)ができるようになる。DP(2)(3)(6) CP1(8) CP2(13)					
学修目標		1)施設の概要を理解し、介護福祉士専門職の役割を説明できる。 2)利用者の個別性や障害に応じた実施できる。 3)利用者の個別ニーズを説明する。 4)介護過程を展開するための情報収集(利用者理解)ができる。					
実務経験のある 教員による教育		本科目は、学外の特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・障害者支援施設等での 17 日間の実習を行う。5 年以上の実務経験のある実習指導者による実践教育の場となる。また、担当教員(稲田・貴・清水)についても実務経験があり、週 1 回以上の巡回指導にて実習指導を行う。					
評価方法		①第2段階実習の課題である情報収集、レクリエーション企画書・報告書の状況 ②実習の取り組み状況等(遅刻、欠席、積極的に実習に取り組んでいるのか、記録類等) ③実習指導者からの評価表(実習巡回時の評価も含む) ④実習巡回教員による評価 ①～④を踏まえ、実習巡回教員全員で協議し、総合的に判断する。					
準備学習・ 履修上の注意等		介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 オリエンテーション時に説明する。					
オフィスアワー		時間割が確定後に研究室に提示する					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	1.施設の概要を理解し、地域との関わりについて学ぶ。				実 習	全 員
2	2)	2.利用者の生活を支援するために、必要な情報を得る手段としてのコミュニケーションのあり方を学ぶ。				実 習	全 員
3	2)	3.利用者との関わりの中で、個別にニーズを理解する。				実 習	全 員
4	3)	4.利用者の個別性や障害に応じた個別ケアの意義を学ぶ(介護過程の展開:情報収集)。				実 習	全 員
5	1)	5.施設内における、他職種との連携のあり方や、社会資源や関係領域との連携を学ぶ。				実 習	全 員
		上記内容で 135 時間の実習を行う。					
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。(講義時に配布する「実習の手引き」を使用する)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		介護実習Ⅲ			授業コード	120199D101	単位数 (時間数)	4 単位 (180)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(介護コース)3年			ナンバリング	13K322P03	AL 科目	○
担当者		稲田 弘子(福・福)、清水 径子 (福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.		個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実 施、評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護計画を展開し、他教目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サ ービスの提供の基本となる実践力を修得することができる。(DP2.3.7)(CP.2.3.6)						
学修目標		1)介護過程を展開し、利用者の個性を尊重した援助方法を実施することができる。 2)介護福祉士としての職業倫理と社会的役割について説明することができる。 3)地域・施設での継続ケアの意義を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員(稲田・貫・清水)は、福祉等実務経験が5年以上ある。その経験に基づき、介護福祉士として必要な知識・技術 の修得を目的とした実習での巡回指導を行う。						
評価方法		①第3段階実習の課題である、介護過程の展開状況 ②実習の取り組み状況等(遅刻、欠席、積極的に実習に取り組んでいるのか、記録類等) ③実習指導者からの評価表(実習巡回時の評価も含む) ④実習巡回教員による評価 ①～④を踏まえ、実習巡回教員全員で協議し、総合的に判断する。						
準備学習・ 履修上の注意等		介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 実習は積極的に取り組むこと。 社会的マナーを守ること。 詳細は、「実習の手引き」に沿って説明する。 介護過程Ⅱ・Ⅲでの課題提出等できない場合は、実習が履修できない場合がある。 実習履修の可否は介護教員で協議する。						
オフィスアワー		時間割が確定後に研究室に提示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	3)	1.法的根拠をもとに施設の概要を理解氏、地域との関わりについて学ぶ。					実 習	全 員
2	1)	2.利用者を理解するためのコミュニケーションのあり方を学ぶ。					実 習	全 員
3	1)	3.利用者との関わりの中で、個別にニーズを理解し、そのニーズが達成できるよう支援する。					実 習	全 員
4	1)	4.利用者の個性や障害に応じた個別ケアのを立案し実践する。					実 習	全 員
5	2)	5.施設職員と協調して、チームの一員としての援助方法について学び、介護福祉士としての倫理、役割を考える。					実 習	全 員
		上記内容にて 180 時間の実習を行う。						
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。(講義時に配布する「実習の手びき」を使用する)						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名	医療的ケアⅠ			授業コード	121132B101	単位数 (時間数)	2 単位 (60)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 介護福祉コース(3 年)			ナンバリング	13K321P05	AL 科目	○
担当者	稲田弘子(福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義 演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	近年の著しい高齢化に伴い医療依存の高い要介護者が増加し医療ニーズが高まっている。 社会福祉士及び介護福祉士法が一部改正され、喀痰吸引・経管栄養という医療行為の一部を介護福祉等が一定の要件のもと にこれを業とすることができるようになった。 医療的ケアⅠでは、介護福祉士が「なぜ医療的ケアを学ぶのか」について理解し、そのうえで医療的ケアを安全かつ適切に実施 するために必要な知識と技術を習得する学習とする。(DP2.3)(CP7.9)						
学修目標	1)医療的ケアについての経緯を理解し説明できる。 2)バイタルサインについて正常値を理解し正確に測定できる。 また救急法や感染対策について知識を深める。 3)高齢者、障害児・者の代表的な疾患について理解する。 4)喀痰吸引について、口腔から呼吸器系の構造を理解したうえで安全に吸引が 実施できる。 5)経管栄養について、消化管系の構造や働きを理解したうえで安全かつ適切に 経管栄養が実践的できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、看護師・保健師の資格を持ち、病院・施設での 5 年以上の実務経験をにに基づき、介護福祉士としての実務で必 要な知識、技術の修得を目指した授業を行う。						
評価方法	単位認定試験 80%と学修への取り組み状況(授業態度、演習態度・内容)20%で総合的に判断する。 評価の詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 1 回の授業につき、60 分を目安に演習で実施した手順・技術について復習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割が確定後、研究室前に提示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1.2	1)	「医療的ケア」について(喀痰吸引等について)。保健医療制度とチーム医療について				講 義	稲 田
	1)	保健医療制度とチーム医療について。医療的ケアを安全に行うための基礎知識。				講 義	稲 田
	1)	医療的ケアを安全に行うための基礎知識。清潔保持と感染予防について。				講 義	稲 田
	1) 2)	清潔保持と感染予防について。健康状態の把握のための基礎知識。				講 義	稲 田
	2)3) 4)	健康状態の把握(バイタルサインを実際に測定する)高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について 医療知識・概要 を学ぶ。				講義 演習	稲 田
	3)4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について 医療知識・概要を学ぶ				講 義	稲 田
	3)4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について 医療知識・概要を学ぶ				講 義	稲 田
15.16	3)4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について 医療知識・概要を学ぶ				講 義	稲 田
17.18	4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引の実際(演習)				演 習	稲 田
	4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引の実際(演習)				演 習	稲 田
	2)3) 5)	高齢者及び障害児・者の経管栄養について 医療知識・概要を学ぶ				講 義	稲 田
	2)3) 5)	高齢者及び障害児・者の経管栄養について 医療知識・概要を学ぶ				講 義	稲 田
	2)3) 5)	高齢者及び障害児・者の経管栄養について 医療知識・概要を学ぶ				講 義	稲 田
	2)3) 5)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について 医療知識・概要と実際(演習)				講義 演習	稲 田
	5)	高齢者及び障害児・者の経管栄養について実際(演習)				演 習	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規【ISBN978-4-8058-8404-1】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	医療的ケアⅡ			授業コード	121340A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 介護コース 3 年			ナンバリング	13K322P04	AL 科目	○
担当者	稲田弘子(福・福)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義 演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	近年の著しい高齢化に伴い医療依存の高い要介護者が増加し医療ニーズが高まっている。 社会福祉士及び介護福祉士法が一部改正され、喀痰吸引・経管栄養という医療行為の一部を介護福祉等が一定の要件のもとにこれを業とすることができるようになった。 医療的ケアⅡでは、医療的ケアⅠで学んだことを基礎にし喀痰吸引や経管栄養の手順・技術を実践的であることを目指す。 (DP2.3)(CP7.9)						
学修目標	1)喀痰吸引や経管栄養の手順・技術を安全・確実に実践的できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、看護師・保健師の資格を有し病院等での 5 年以上の実務経験をに基つき、介護福祉士としての実務に必要な医療知識、技術の修得を目指した授業 を行う。						
評価方法	実技試験(喀痰吸引、経管栄養)、学修への取り組み姿勢などで判断する。 喀痰吸引や経管栄養の実施手順の評価については、介護福祉士養成校で定められた一定の基準(評価表)に基づいて評価する。 詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 1 回の授業につき、60 分を目安に演習で実施した手順・技術について復習を行うこと。						
オフィスアワー	研究室前に掲示						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	前期の振り返り				講義 演習	稲 田
2	1)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引の実際(演習)				演 習	稲 田
3	1)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引の実際(演習)				演 習	稲 田
4	1)	高齢者及び障害児・者の経管栄養の実際(演習)				演 習	稲 田
5	1)	高齢者及び障害児・者の経管栄養の実際(演習)				演 習	稲 田
6	1)	口腔内の喀痰吸引				演 習	稲 田
7	1)	口腔内の喀痰吸引				演 習	稲 田
8	1)	鼻腔内の喀痰吸引				演 習	稲 田
9	1)	鼻腔内の喀痰吸引				演 習	稲 田
10	1)	気管カニューレ内部の喀痰吸引				演 習	稲 田
11	1)	気管カニューレ内部の喀痰吸引				演 習	稲 田
12	1)	胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養				演 習	稲 田
13	1)	胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養				演 習	稲 田
14	1)	経鼻経管栄養				演 習	稲 田
15	1)	経鼻経管栄養				演 習	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		新・介護福祉士養成講座 15 医療的ケア 第 2 版 中央法規(医療的ケアⅠで使用)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	福祉住環境論Ⅰ			授業コード	121705B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 3 年			ナンバリング	13C321P16	AL 科目	○
担当者	三宮 基裕(福・臨)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】 福祉専門職として住環境整備の点から支援が展開できるようになるために、日本の住宅の問題、住宅改修のプロセスと具体的な 改修方法、そして関係する法律や助成制度について学ぶ。 【一般目標(GIO)】 身体に障害のある方や加齢等により心身機能が低下した方が住宅で生活する時の生活環境上の問題を認識し、将来、福祉職 として必要となる生活環境整備の基本的知識を修得する。 【対応するポリシーNo.】 DP3、CP1(10)、CP2(1)						
学修目標	1)住環境整備の意義を理解し、住環境整備における福祉職の役割を説明できる。 2)住環境整備に関わる基本的な用語を理解し、説明ができる。 3)住環境整備のプロセスとそれに関わる専門職を理解し、それぞれの役割が説明できる。 4)関連する法制度を理解し、制度活用のプロセスが説明できる。 5)建築図面を読み取り簡単な平面図が描ける。 6)高齢者や障がいのある方の生活において生じる日本住宅の問題が列挙できる。 7)住環境整備の方法が列挙できる。 8)住環境整備の方法を立案できる。						
実務経験のある 教員による教育							
評価方法	各回の授業で学習内容の確認テストを行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、 授業への参加)を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	次回講義の内容をシラバスで確認し、参考書等の該当箇所を予め読んで予習しておくこと。 復習として、毎時間の学習内容をノートにまとめておくこと。※試験は直筆のノートのみ持ち込みを認める。						
オフィスアワー	火・水 15:00～17:00 研究室						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	住環境整備の意義				講 義	三 宮
2	2)	ノーマライゼーションとリハビリテーション				講 義	三 宮
3	2)	バリアフリーとユニバーサルデザイン				講 義	三 宮
4	3)	住環境整備のプロセス				講 義	三 宮
5	4)	介護保険制度と住環境整備				講 義	三 宮
6	5)	住宅図面の読み取りと作図法				講義・演習	三 宮
7	6)	日本住宅の問題と住環境整備				講 義	三 宮
8	4)5)7)	移動空間の整備①(移動に関わる福祉用具)				講 義	三 宮
9	4)5)7)	移動空間の整備②(アプローチ、玄関、廊下、階段)				講 義	三 宮
10	4)5)7)	トイレ空間の整備①(排泄に関わる福祉用)				講 義	三 宮
11	4)5)7)	トイレ空間の整備②(手すり、段差解消、便座、スペース)				講 義	三 宮
12	4)5)7)	浴室空間の整備①(入浴に関わる福祉用具)				講 義	三 宮
13	4)5)7)	浴室空間の整備②(手すり、段差解消、浴槽)				講 義	三 宮
14	5)7)8)	住環境整備の提案①(サニタリー空間の環境整備)				講義・演習	三 宮
15	5)7)8)	住環境整備の提案②(戸建住宅の環境整備)				講義・演習	三 宮
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		改訂 4 版 福祉住環境コーディネーター3 級公式テキスト (東京商工会議所 編) 東京商工会議所 【 978- 4924547599】					

科目名		福祉住環境論Ⅱ			授業コード	121706B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科 3 年			ナンバリング	13C321P17	AL 科目	
担当者		三宮 基裕(福・臨)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		【授業の概要】 福祉用具の種類や利用のための諸制度、福祉用具の利用目的などについて学ぶ。 【一般目標(GIO)】 福祉用具が高齢者や障がい者の自立促進と介護負担軽減に有効であることを認識し、福祉用具を提供する専門職に必要な基 本的知識を習得する。 【対応するポリシーNo.】 DP3、CP1(10)、CP2(1)						
学修目標		1)福祉用具の利用目的が説明できる。 2)福祉用具に関わる法制度および給付の仕組みが説明できる。 3)高齢者・障がい者の心身特性が説明できる。 4)福祉用具の種類が列挙でき、その利用方法が説明できる。 5)福祉用具提供者としての職業倫理を理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		特になし						
評価方法		学習への取り組み姿勢(確認テストの得点率、授業への参加)を 30%および期末試験を 70%として単位認定をおこなう。						
準備学習・ 履修上の注意等		【準備学習】 高齢者・障害者福祉に関わる講義を習得していることが望ましい。 【履修上の注意等】 1 回の授業につき 4 時間を目安に予習・復習をおこなうこと。						
オフィスアワー		研究室在室時は、原則、常時対応						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	福祉用具の定義と利用の目的					講 義	三 宮
2	2)	介護保険制度の理解					講 義	三 宮
3	2)4)	介護保険による福祉用具の利用					講 義	三 宮
4	3)	高齢者・障がい者の心身特性					講 義	三 宮
5	1)2)3) 4)	移動・移乗関連用具①:車いす					講 義	三 宮
6	1)2)3) 4)	移動・移乗関連用具②:杖、歩行器、リフト					講 義	演 習
7	1)2)3) 4)	排泄・入浴関連用具①:ポータブルトイレ					講 義	三 宮
8	1)2)3) 4)	排泄・入浴関連用具②:排泄動作補助具、入浴動作補助具					講 義	三 宮
9	1)2)3) 4)	排泄・入浴関連用具③:入浴動作補助具					講 義	三 宮
10	1)2)3) 4)	福祉用具を導入した住宅環境整備					演 習	三 宮
11	1)2)3) 4)	起居・床ずれ防止関連用具					講 義	三 宮
12	1)2)3) 4)	自助具・コミュニケーション関連用具					講 義	三 宮
13	1)2)3) 4)	福祉用具関連業者の理解(事業所見学)(予定)					S G D	三 宮
14	1)2)3) 4)	福祉用具関連業者の理解(見学の振り返り)(予定)					S G D	三 宮
15	5)	福祉用具提供者としての職業倫理					講 義	三 宮
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			福祉用具専門相談員研修用テキスト (社団法人 シルバーサービス振興会 編集) 中央法規 【978-4-8058-4927-9】					

科目名	福祉住環境デザイン			授業コード	121523B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 3 年			ナンバリング	13C322P15	AL 科目	○
担当者	三宮 基裕(福・臨)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】 福祉専門職として住環境整備の点から支援が展開できるようになるめに、日本の住宅の問題、住宅改修のプロセスと具体的な 改修方法、そして関係する法律や助成制度について学ぶ。 【一般目標(GIO)】 身体に障害のある方や加齢等により心身機能が低下した方が住宅で生活する時の生活環境上の問題を認識し、将来、福祉職 として必要となる生活環境整備の基本的知識を修得する。 【対応するポリシーNo.】 DP3、CP1(10)、CP2(1)						
学修目標	1)住宅の役割と緒室の構成が説明できる。 2)住居に関連する法制度が理解でき、説明できる。 3)環境整備の具体的な方法が説明できる。 4)建築図面が読み取れ簡単な作図ができる。 5)高齢者に配慮した環境整備の方法が提案できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	作品(70%)と発表の仕方(30%)で評価する。 作品は、作品の完成度(30%)、図面の仕上がり具合(20%)、提案内容(20%)の点で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	前期開講の「福祉住環境論」を受講すること(学んだ内容を活用するため) 図面の作図の際は各自で必要となる文具を準備すること。 作品制作に関わる環境改善の方法について、各自で学んでおくこと。						
オフィスアワー	月・火・水・16:00～17:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	2)4)5)	練習課題 ①環境整備のポイント				講義・演習	三 宮
2	2)4)5)	練習課題 ②問題点の抽出				講義・演習	三 宮
3	2)4)5)	練習課題 ③トイレ・浴室の改修				講義・演習	三 宮
4	2)4)5)	練習課題 ③トイレ・浴室の改修				講義・演習	三 宮
5	2)4)5)	練習課題 ④間取りの提案				講義・演習	三 宮
6	2)4)5)	練習課題 ④間取りの提案 課題説明・生活者の条件設定・作図法				講義・演習	三 宮
7	1)3)4) 5)	住宅図面の作図法				講義・演習	三 宮
8	1)3)4) 5)	自宅の平面図の作図				講義・演習	三 宮
9	1)3)4) 5)	自宅の配置図・展開図の作図				講義・演習	三 宮
10	1)3)4) 5)	問題点の抽出・改善案の検討				講義・演習	三 宮
11	1)3)4) 5)	改善案の検討・改善計画の作図				講義・演習	三 宮
12	1)3)4) 5)	改善案の検討・改善計画の作図				講義・演習	三 宮
13	1)3)4) 5)	作品の仕上げ				講義・演習	三 宮
14	1)3)4) 5)	作品の仕上げ				講義・演習	三 宮
15	1)3)4) 5)	住宅改修の提案(発表)				講義・演習	三 宮
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		新・介護福祉士養成講座 6 生活支援技術Ⅰ 第3版 (介護福祉士養成講座編集委員会＝編集)【978-4-8058-3940-9】 住宅改修アセスメントのすべて 介護保険「理由書」の書き方・使い方マニュアル(加島守／著)三和書籍【978-4-86251-064-8】					

科目名	福祉施設とまちづくり			授業コード	121524B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 3 年			ナンバリング	13C322P16	AL 科目	○
担当者	三宮 基裕(福・臨)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】 福祉のまちづくりを実現するために、福祉施設・まちづくりの必要性とそれを実現するためのプロセスを学ぶ。 【一般目標(GIO)】 高齢者の施設を中心に、福祉施設とまちづくりの意義とその必要性を認識し、福祉のまちづくりの具体的提案を実践することで、 ノーマライゼーション社会の実現に向けた福祉職の立場からの提案ができるようになるための基本的知識を修得する。 【対応するポリシーNo.】 DP3、CP1(10)、CP2(1)						
学修目標	1)まちづくりの意義と方法が説明できる。 2)まちづくりの歴史と素材が説明ができる。 3)まちづくりのための手順が説明できる。 4)関連する法制度が説明できる。 5)まちづくりの提案ができる。 6)福祉施設の種類と役割が説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	各回の授業で学習内容の確認テストを行い、学習成果をフィードバックする。 学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、授業への参加)を 30%、講義全体についてのレポート課題(70%)で総合的に 評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	あらかじめ次回の講義レジュメを配布するので、予習しておくこと。 復習として講義内容をノートにまとめておくこと。 課題レポートを期末試験の代わりとする。レポート作成においては直筆のノートのみ持ち込みを認める 必要に応じて、冬休み中にフィールドワーク学習をおこなう。						
オフィスアワー	月・火・水・16:00～17:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	4)6)	高齢者のための福祉施設 高齢者のための福祉施設の種類と役割が説明できる				講 義	三 宮
2	4)6)	高齢者のための居住施設(個室・ユニットケア) 高齢者のための居住施設の空間的変遷が説明できる				講 義	三 宮
3	4)6)	高齢者が地域で暮らすための居住支援(グループホーム・小規模多機能) グループホーム・小規模多機能の意義と役割が説明できる				講 義	三 宮
4	4)6)	高齢者の地域で暮らすための高齢者向け住宅 住宅に代わる住まいとしての高齢者住宅の意義と役割が説明できる				講 義	三 宮
5	4)6)	障がい者、児童のための福祉施設① 障がい者、児童のための福祉施設の意義と役割が説明できる				講 義	三 宮
6	4)6)	障がい者、児童のための福祉施設② 障がい者、児童のための福祉施設の意義と役割が説明できる				講 義	三 宮
7	1)	まちづくりの定義 まちづくりの対象と定義が説明できる				講 義	三 宮
8	2)	まちづくりの歴史 戦後から現在までのまちづくりの歴史が説明できる				講 義	三 宮
9	1)2)	まちづくりと財産権 まちづくりにおける公共性と私的財産の関係が説明できる				講 義	三 宮
10	1)3)	まちづくりの原理① まちづくりを進める上での原理が説明できる				講 義	三 宮
11	1)3)	まちづくりの原理② まちづくりを進める上での原理が説明できる				講 義	三 宮
12	1)2)3)	まちづくりの基本目標① まちづくりに含まれる基本的な目標が説明できる				講 義	三 宮
13	1)2)3)	まちづくりの基本目標② まちづくりに含まれる基本的な目標が説明できる				講 義	三 宮
14	1)3)5)	まちづくりの具体的イメージ 先進的実践例から、まちづくりの原理と基本目標を学び取ることができる				講 義	三 宮
15	1)2)3) 4)5)6)	総括				講 義	三 宮
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		まちづくり教科書第 1 巻まちづくりの方法(日本建築学会編)【4-621-07419-9】					

科目名	教育原論			授業コード	120302B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング	13C221P12	AL 科目	
担当者	児玉 修(福・ス)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	教育や学校をめぐる基本的な概念(教える、学ぶ、発達、学校、授業、学力、評価、教育課程等)について考えることを通して、現代の学校教育を成り立たせている基本的な枠組み、及び、それらの成立発展過程について学び、教育のあり方や教育をめぐる諸課題について考えていくための基本的視座を身につける。 本授業科目は、カリキュラムポリシーに基づき、受講生の教職を目指したキャリアデザインを支援するために開講される。 授業は、講義を基本とし、問答、発表、ディスカッションを適宜組み合わせで行われる。						
学修目標	1)人間の成長や発達の特質についての知見を踏まえ、教育の本質(教えるとはどういう意味か)を理解している。 2)学校または教育制度がどのように成立発展してきたかについて、その概略を理解している。 3)学校教育の任務と教師(とくに授業者として)の役割について理解している。 4)教育課程、指導法および教育評価について、その概要を理解している。 5)現代教育をめぐる問題と課題について、その概要を理解している。						
実務経験のある 教員による教育	現職教員(小学校・中学校)を長年指導してきた経験をふまえて授業を行う。						
評価方法	評価は、複数回のレポートを 80%、そして、授業のなかでの提出物や学修への取組状況を 20%として行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1)授業はシラバスに即して(対応するテキストの章節を示しながら)進めるので、次回の授業で扱うテキストの該当箇所については必ず予習しておくこと。 2)授業では資料も配付するので、テキストの内容と合わせて復習しておくこと 3)授業中の座席は指定する場合があるので、指示に従うこと。						
オフィスアワー	火曜日 12 時～13 時、顧問室(事務棟)で対応する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【教育の本質】:「教える」とはどう意味か(1) 人間を教えることの意味。				講 義	児 玉
2	1)	【教育の本質】:「教える」とはどう意味か(2) 「教える」とことと「学ぶ」とこととの関係				講 義	児 玉
3	1)	【教育の本質】:「教える」とはどう意味か(3) 「教える」とことと発達との関係				講 義	児 玉
4	2)	【世界の教育の歴史(1)】 なぜ学校が誕生したのか。				講 義	児 玉
5	2)	【世界の教育の歴史(2)】 なぜすべての子どもが学校に通うようになったのか。				講 義	児 玉
6	2)	【日本の教育の歴史(1)】 日本ではどのようにして教育制度が成立したのか。				講 義	児 玉
7	2)	【日本の教育の歴史(2)】 日本の学校や教育制度は、戦後どのように変遷してきたのか。				講 義	児 玉
8	3)	【学力の形成】 学力はどのように捉えられてきたのか。その捉え方の問題はどこにあるのか。				講 義	児 玉
9	3)	【道徳性の育成】 学力と道徳性はどのように関係づけられているのか。				講 義	児 玉
10	4)	【教育課程】 学校では、なぜ、何を、どのように教えようとしているのか。				講 義	児 玉
11	4)	【教育評価】 なぜ学校では評価が必要とされるのか。				講 義	児 玉
12	3)	【教師の仕事】 教師はどのようにして授業をつくり、実践しているのか。				講 義	児 玉
13	3)	【教師の仕事】 教師に求められる資質とは何か。				講 義	児 玉
14	5)	【現代社会と教育の課題(1)】 現代社会に生きる子どもの視点から。				講 義	児 玉
15	5)	【現代社会と教育の課題(2)】 変動し続ける社会の視点から。				講 義	児 玉
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		『やさしい教育原理 第3版』(田嶋 一・中野 新之祐・福田 須美子・狩野 浩二) 有斐閣 【ISBN-10: 4641220816／ISBN-13: 978-4641220812】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	教育心理学			授業コード	120305B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	13C321P18	AL 科目	○
担当者	福島明子	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	教育心理学とは心理学の一分野です。教育活動に関する心理学的な法則や事実を研究し、教育活動をより効果的に行うための新たな知見や方法を提供する、教育のための心理学です。理論的な研究と実践的な研究を併せ持つところに教育心理学の特徴があります。本科目の目的は、①発達、②学習、③学級集団、④自己とパーソナリティ、⑤適応に関する問いを取り上げ、理論的背景を理解したうえで、教育心理学的な知見や方法を教育活動においてどのように活用するか考えることを目的とします。そのため本科目では、一方的に講義を聞くだけでなく、教育現場において起こりうる身近な問題について、みずからの言葉で小レポートにまとめたり、小グループに分かれてディスカッションを行う(スモールグループディスカッション:SGD)形式で進めます。教育心理学の学びをとおして、教育活動を行うにあたって必要な問題解決能力、共感性、コミュニケーション能力、ファシリテーター能力、プレゼンテーション能力などを高めていくことを期待します。						
学修目標	1) 子どもの発達の代表的な理論を踏まえ、教育における発達理解の意義を理解している。 2) 子どもの発達(運動・言語・認知・社会性)の具体的な内容について理解している。 3) 学習に関する心理学の基礎を理解している。 4) 個人と集団の心理について生徒の心身の発達を踏まえて理解している。 5) 学校不適応の問題について発達を関連づけて理解し、指導に活用できる。 6) 代表的な教授法と学習評価について理解している。						
実務経験のある 教員による教育	公認心理師、キャリアコンサルタント国家資格保有。長年、大学や NPO 法人を拠点に、不登校支援、子育て支援、障がい児支援、ひきこもり支援、緩和ケア、グリーフケアなどさまざまな支援活動に従事してきました。						
評価方法	授業に取り組む姿勢(50%)と学期末レポート(50%)で総合的に評価します。 授業に取り組む姿勢:SGD への取り組みと小レポート。 学期末レポート:課題に沿って提出していただきます。						
準備学習・ 履修上の注意等	・心理学の基本的な知識を習得しておくこと。 ・教育関連のニュースや動向に関心をもつこと。 ・授業で配布するプリントは SGD や小レポート、学期末レポート作成に使用しますのでファイルして授業に臨むこと。						
オフィスアワー	授業後の休み時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方法	担当
1	1)2)3) 4)5)	【導入】教育心理学とは、教育心理学の研究法、実践につなげる教育心理学 【発達】発達とは				講 義	福島明子
2	1)2)	【発達】人間の心とからだはどのように変化していくのだろうか①				講 義	福島明子
3	1)2)	【発達】人間の心とからだはどのように変化していくのだろうか②				講義・SGD	福島明子
4	2)	【認知の発達】考える力はどのように育つのだろうか?				講義・SGD	福島明子
5	2)3)	【人間関係と社会性の発達】子どもは人間関係の中でどのように成長する?①				講 義	福島明子
6	2)3)	【人間関係と社会性の発達】子どもは人間関係の中でどのように成長する?②				講義・SGD	福島明子
7	2)	【学習】子どもの行動はどうやって身につく?				講義・SGD	福島明子
8	2)	【学習】知識をしっかりと身につけるには?①				講 義	福島明子
9	2)	【学習】知識をしっかりと身につけるには?②				講義・SGD	福島明子
10	2)	【学習:動機づけ】意欲を高めるためにはどうすればよい?				講義・SGD	福島明子
11	1)2)3) 4)5)	【学習:学習指導】児童生徒の学びをどのように導けばよい?				講義・SGD	福島明子
12	1)2)3) 4)5)	【学習:教育評価】児童生徒をどのように評価すればよい?				講義・SGD	福島明子
13	2)3)	【学級集団】クラスはどのようにしてまとまる?				講義・SGD	福島明子
14	3)	【自己とパーソナリティ】自分らしさって何だろう?				講義・SGD	福島明子
15	1)3)4)	【適応】子どもの不適応をどのように理解し、対応すればよい?				講義・SGD	福島明子
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		教科書は指定しません。毎回、プリントを配布します。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		『実践につながる教育心理学』改訂版(櫻井茂男監修)北樹出版【978-4-7793-0654-9】					

科目名	社会・集団・家族心理学			授業コード	121540B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(1 年)			ナンバリング	13C122P08	AL 科目	×
担当者	加藤 謙介	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	本講義では、「社会」「集団」「家族」が関わる心理学領域の特徴・専門知識について、様々な個別研究事例を通して習得する。具体的には、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」「人の態度及び行動」「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」などの小テーマから、心理学の知識を福祉分野に応用するための教養を習得する。【DP(1)(3)(5)・CP(3)】						
学修目標	1)「社会・集団・家族心理学」の学問的志向について説明できる。 2) 対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程について説明できる。 3) 人の態度及び行動について説明できる。 4) 家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし。						
評価方法	学期末の試験によって評価する(100%)。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習(予習・復習等)時間】毎授業後次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。また、毎授業後に、1 コマあたり 1 時間を目安に、必ず講義ノートを読み返すこと。 【履修上の注意等】本講義に際しては、心理学・福祉・医療等、幅広い分野に関心を持ち、様々な講義を受講していることが望ましい。また、他の受講生の迷惑になるような行為(私語等)は厳に謹んで頂きたい。 【出席登録について】本科目では、学生証による出席登録をしなかった場合、出席を認めないので注意すること(「学生便覧」参照)						
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【1】オリエンテーション 「社会」「集団」「家族」の心理学をめぐる問題群の概要について紹介する。				講 義	加 藤
2	2)	【2】「社会的認知」に関する個別テーマのうち、「帰属と対人認知のメカニズム」「社会的判断・推論のメカニズム」「ステレオタイプと偏見」などについて説明する。				講 義	加 藤
3	2)	【3】「社会的自己」に関する個別テーマのうち、「自己知識・自己概念」「自己知覚」「自己評価・自尊心の維持・高揚のメカニズム」「自己制御」「自己呈示」などについて説明する。				講 義	加 藤
4	2)	【4】「対人関係・対人行動」に関する個別テーマのうち、「対人魅力」「社会的交換」「協力と競争」などについて説明する。				講 義	加 藤
5	2)	【5】「対人関係・対人行動」に関する個別テーマのうち、「援助行動」「攻撃行動」などについて説明する。				講 義	加 藤
6	2)	【6】「コミュニケーション」に関する個別テーマのうち、「言語コミュニケーション」「非言語コミュニケーション」「コミュニケーション・ネットワーク」などについて説明する。				講 義	加 藤
7	2)	【7】「集団・組織」に関する個別テーマのうち、「所属・成員性」「集団への同調」「内集団ひいき」「集団内の地位とリーダーシップ」などについて説明する。				講 義	加 藤
8	3)	【8】「態度の機能と構造」に関する個別テーマのうち、「態度の形成と機能」「態度の構造と変化」「態度と行動の一貫性」などについて説明する。				講 義	加 藤
9	3)	【9】「説得による態度と行動の変化」に関する個別テーマのうち、「送り手の要因」「メッセージの要因」「受け手の要因」「状況の要因」「態度変化のモデル」「説得への抵抗」などについて説明する。				講 義	加 藤
10	4)	【10】「家族の機能」に関する個別テーマのうち、「性に関わる機能」「子どもの社会化に関わる機能」「情緒に関わる機能」などについて説明する。				講 義	加 藤
11	4)	【11】「家族内の関係」に関する個別テーマのうち、「家族システム」「夫婦関係」「親子関係」「きょうだい関係」「家族の発達段階」などについて説明する。				講 義	加 藤
12	4)	【12】「集団・組織の影響」に関する個別テーマのうち、「情報的影響と規範的影響」「集団凝集性」などについて説明する。				講 義	加 藤
13	4)	【13】「集団・組織の影響」に関する個別テーマのうち、「組織規範と組織文化」などについて説明する。				講 義	加 藤
14	4)	【14】「文化の影響」に関する個別テーマのうち、「規範」「慣習・習慣」「制度」「相互構成的な文化的存在としての人間」などについて説明する。				講 義	加 藤
15	4)	【15】「文化の影響」に関する個別テーマのうち、「子どもの養育と発達」「異文化接触」などについて説明する。				講 義	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	発達心理学			授業コード	120866B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科、臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	13C121P06	AL 科目	○
担当者	福島明子(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	発達心理学において、発達は「受精してから死に至るまでの心身の変化の過程」と定義され、何かを獲得していくだけでなく、失っていく過程も含まれます。とはいえ、すべての能力が失われるわけではなく、経験を通して知識が熟達化され英知となったり、高齢になるに従い生活をより充実したものにとらえる傾向が増すこともあります(以上、テキスト 5 頁)。発達心理学は、皆さんのような大学生はもちろんのこと、生まれる前の胎児から高齢者に至るまで命ある人すべてに関わる学問領域であり、生きていくうえで拠り所となる知識を授けてくれます。本授業では、毎回授業の冒頭で皆さんに問いを投げかけます。その問いを頭の隅において授業を聞くことで、授業の終わりには自らその問いに答えられるようになります。また公認心理師の過去問にも挑戦します。その積み重ねにより、人の発達に対する理解を深めていくことを本授業の目的とします。						
学修目標	1)発達とは何か説明できる。 2)知覚・認知、言語・コミュニケーション、知能、運動、感情、気質と性格、遊び、親子関係、仲間関係・きょうだい関係、自己、発達障害、それぞれの発達の特徴を説明できる。 3)各発達段階の特徴を説明できる。 4)発達心理学の研究法を理解できる。 5)公認心理師の試験において発達心理学がどのような観点から出題されるか把握する。						
実務経験のある 教員による教育	公認心理師、キャリアコンサルタント国家資格保有。長年、大学や NPO 法人を拠点に、不登校支援、子育て支援、障がい児支援、ひきこもり支援、緩和ケア、グリーフケアなどさまざまな 支援活動に従事してきました。						
評価方法	授業に取り組む姿勢(50%)と学期末レポート(50%)で総合的に評価します。 授業に取り組む姿勢:毎回、授業の最後に小レポートを提出していただきます。 学期末レポート:課題に沿って提出していただきます。						
準備学習・ 履修上の注意等	1)毎回プリントを配布します。プリントには各回の授業内容のほか、関連する公認心理師の過去問も記載。公認心理師試験の受験勉強にも役立ちますので、専用のファイルを用意しファイルしてください。 2)毎回、授業の冒頭で問いを投げかけ、それに対する答えを授業の最後に書いて提出していただきます。主体的に授業に臨んでください。						
オフィスアワー	講義後の空き時間						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)4) 5)	【発達の過程と変化のメカニズム】発達の定義、発達を規定する要因、初期環境の影響、発達へのアプローチ				講 義	福島明子
0	2)3) 4)5)	【知覚・認知の発達】新生児期・乳児期の知覚の発達、知覚の発達の測定法、認知の発達				講 義	福島明子
3	2)3) 5)	【言語・コミュニケーションの発達】コミュニケーションの種類、乳児期のコミュニケーション、幼児期のコミュニケーション、学童期のコミュニケーション				講 義	福島明子
4	2)3) 4)5)	【知能の発達】知能とは、知能の諸理論、知能の発達の変化、知能の測定と評価				講 義	福島明子
5	2)3) 4)5)	【運動の発達】現代社会における運動との関係、運動発達の捉え方、運動発達と他の領域との関連、運動のぎこちなさとDCD				講 義	福島明子
6	2)3) 5)	【感情の発達】感情とは、感情の機能、感情の分化・発生としての感情の発達、感情に関する知識やスキルの獲得としての感情の発達、感情抑制の発達、感情理解の発達、感情表出の発達、感情と社会性の発達				講 義	福島明子
7	2)3) 4)5)	【気質と性格の発達】性格とは、気質とは、気質に対する考え方と測定する方法、気質の安定性、性格を捉える				講 義	福島明子
8	2)3) 5)	【遊びの発達】遊びとは何か、遊びの発達				講 義	福島明子
9	2)3) 4)5)	【親子関係の発達】アタッチメントの成立、アタッチメントのタイプと測定方法、親が子どもに及ぼす影響、子どもが親に及ぼす影響、母親―父親―子どもの三角関係				講 義	福島明子
10	1)2) 3)4) 5)	【仲間関係・きょうだい関係の発達】仲間関係の成立、仲間関係への支援、仲間関係と家族、仲間関係の役割				講 義	福島明子
11	2)3) 4)5)	【自己の発達】自己の理論と概念、乳幼児期の自己の発達、自己概念、児童期の自己の発達、青年期以降の自己の発達				講 義	福島明子
12	2)4) 5)	【発達障害と非典型発達】発達障害の基礎的理解、非典型発達(非定型発達)の諸相、発達障害と虐待				講 義	福島明子
13	2)3) 5)	【青年期の発達】発達課題について、アイデンティティと心理社会的モラトリアム、キャリアの視点から				講 義	福島明子
14	1)2) 3)5)	【成人期・高齢期の発達】成人期・高齢期における「発達」とは、成人期における発達課題、加齢による身体機能の変化、加齢による知的機能の変化、社会的環境・社会的関係の変化、老いへの心理的適応				講 義	福島明子
15	1)2) 3)4) 5)	【まとめ】 ・これまでのふり振り返りと総括				講義・演習	福島明子
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		教科書は指定しません。毎回プリントを配布します。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		公認心理師の基礎と実践 12「発達心理学」(本郷一夫編) 遠見書房 ISBN978-4-86616-062-7 C3011					

科目名	臨床心理学概論			授業コード	121538B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	13C122P09	AL 科目	
担当者	前田直樹(心・心)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	急激な社会の変化にともなって、人々の心の健康に様々な問題が生じている。臨床心理学は心理的問題の解決や援助に携わる理論的研究と実践に関する心理学の応用分野である。この講義では臨床心理学の基礎的な理論と実践について幅広く学習する。 (DP1) (DP4) (CP1) (CP2) (CP3)						
学修目標	1)臨床心理学が様々な心理の考え方で成り立っていることを理解する。 2)臨床心理学と臨床心理士について理解する。 3)臨床心理学におけるアセスメントについて理解できる。 4)各種心理療法を理解できる。 5)神経症、心身症、精神病の違いを理解できる。						
実務経験のある 教員による教育							
評価方法	確認テスト						
準備学習・ 履修上の注意等	臨床心理学を自ら積極的に学習しようとする姿勢。						
オフィスアワー	毎週月曜 18:00-18:30						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	(臨床心理学とは) ・臨床心理学の定義、理論、歴史などを理解する。				講 義	前 田
2	2)	(臨床心理学と臨床心理士) ・心理臨床の現場で働く臨床心理士の援助活動について理解する。				講 義	前 田
3	1)4)	(臨床心理学の考え方①) ・精神力動的立場の理論・技法を理解する。				講 義	前 田
4	1)4)	(臨床心理学の考え方②) ・人間性心理学の立場の理論・技法を理解する。				講 義	前 田
5	1)	(臨床心理学の考え方③) ・行動理論的立場の理論・技法を理解する。				講 義	前 田
6	1)4)	(臨床心理学の考え方④) ・近年台頭している認知療法的立場の理論・技法を理解する。				講 義	前 田
7	3)	(臨床心理アセスメント①) ・アセスメントの基礎、アセスメント面接について理解する。				講 義	前 田
8	3)	(臨床心理アセスメント②) ・アセスメントにおける質問紙法について理解する。				講 義	前 田
9	3)	(臨床心理アセスメント③) ・アセスメントにおける投影法について理解する。				講 義	前 田
10	3)	(臨床心理アセスメント④) ・各種知能検査について理解する。				講 義	前 田
11	3)	(臨床心理アセスメント⑤) ・機能アセスメントについて理解する。				講 義	前 田
12	5)	(臨床心理学と心の健康①) ・神経症に対する臨床心理的援助について理解する。				講 義	前 田
13	5)	(臨床心理学と心の健康②) ・心身症に対する臨床心理的援助について理解する。				講 義	前 田
14	5)	(臨床心理学と心の健康③) ・様々な精神疾患に対する臨床心理的支援について理解する。				講 義	前 田
15	1)2)3) 4)5)	(総括) ・これまで学習したことを総括し、臨床心理学の基礎的知識を身につける。				講 義	前 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名		福祉心理学			授業コード	121567B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(3 年) 臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	13C322P18	AL 科目	○
担当者		松山光生(臨心)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		福祉現場には、多くの人々の生活にかかわるさまざまな問題が山積している。それらに対して多様な専門家が様々な視点から解決に向けて対応・支援を行っているが、心理職も例外ではない。本講義では、福祉現場において生じる問題及びその背景について心理社会的課題を整理し、幅広い心理的支援の基本を習得することを目的とする。特に増加傾向にある、児童・高齢者等への虐待に対しては、心理職の役割について理解を深める。						
学修目標		1)福祉分野の体系を説明できる。 2)それぞれの福祉分野における対象者の特性を説明できる。 3)福祉分野で心理的支援をおこなう場合、必要な対象に関する知識を説明でき、基本的な心理的支援を実施できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、社会福祉的な課題に対する心理学的アプローチに関する知識の習得を目的とした授業を行う。						
評価方法		授業に取り組む姿勢、課されたレポート・小テストと、定期試験の点数で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		・すでに心理学やカウンセリングに関する講義を受講していることが望ましい。						
オフィスアワー		月曜日 15 時～17 時						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	【社会福祉の展開と心理支援】 我が国の福祉の歴史と現在の制度の概要を学び、福祉対象者への心理支援の必要性・重要性および課題を巨視的な視点で学ぶ。					講 義	松 山
2	1)	【生活を支える支援】 各福祉分野における心理支援の必要性・重要性および課題を個別に概説する。					講 義	松 山
3	2)	【暴力被害者への心理支援】 児童虐待や夫婦間暴力など、暴力がなぜ起きるのか、どのように支援するほかについて学ぶ。					講 義	松 山
4	2)3)	【高齢者への心理支援】 高齢者福祉関連の法制度、認知症の理解、在宅・施設における高齢者への支援、家族やスタッフ、地域住民に対する支援などについて学ぶ。					講 義	松 山
5	2)	【障害・疾病のある人への心理支援】 障害・疾病のある人への福祉的支援、心理支援の必要性。本人への発達支援と親子関係の調整など事例を通して学ぶ。					講 義	松 山
6	2)3)	【生活困窮・貧困者への心理支援】 生活困窮・貧困の背景や実態、その救済制度や心理支援について学ぶ。					講 義	松 山
7	2)3)	【児童虐待への心理支援の実際】 増加する児童虐待と児童相談所の役割、児童相談所における心理診断・支援。児童福祉施設などにおける心理職の役割について学ぶ。					講 義	松 山
8	2)3)	【子どもと親への心理支援の実際】 市町村の子育て支援事業、母子保健事業、ひとり親家庭等への支援、要保護・要支援ケースへの支援、社会的養護における子どもと親への支援等について学ぶ。					講 義	松 山
9	2)3)	【認知症高齢者の心理支援の実際】 認知症による症状の特徴と支援環境、心理支援の実践について学ぶ。					講 義	松 山
10	2)3)	【ひきこもり・自殺予防の心理支援の実際】 ひきこもり・自殺の実態と支援施策、および心理学的支援について学ぶ。					講 義	松 山
11	2)3)	【精神障害者への心理支援の実際】 精神障害者を支える制度とサービス、精神障害者の困難さへの理解、心理支援の実際について学ぶ。					講 義	松 山
12	2)3)	【家族・職員への心理支援の実際】 高齢者、障害児者の家族の心理的理解と支援の実際。福祉施設職員への心理支援(共感疲労とストレスマネジメントなど)について学ぶ。					講 義	松 山
13	2)3)	【福祉・介護分野での多職種協働と心理職の位置づけ】 多職種協働に関わる専門職とその役割およびチームアプローチ、さらにその中における心理職の役割について学ぶ。					講 義	松 山
14	2)3)	【IPW(多職種協働)実践事例報告】 療養病棟、特別養護老人ホーム、児童養護施設、障害者生活介護施設、母子生活支援施設での、実践事例を通して多職種協働の実際と工夫について学ぶ。					講 義	松 山
15	1)2)3)	【福祉カウンセリング演習】 さまざまな福祉現場を想定して、実践的な演習を行う。					演 習	松 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			随時紹介する					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			公認心理師の基礎と実践 福祉心理学(中嶋 健一 編) 遠見書房 (ISBN978-4-86616-067-2C3011					

科目名	芸術療法			授業コード	121575B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C322P19	AL 科目	
担当者	松原 由美(福・福)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソ-No.	だれもが経験したことのある「ごっこ遊び」「粘土遊び」などの活動は、子どもの成長・発達をうながす一助として重要な役割と意味がある。 芸術療法とは、このような表現活動の意味や役割を生かした心理療法といわれている。表現活動の相違によって、絵画療法、音楽療法、心理劇、箱庭療法、舞踏療法、詩歌療法、コラージュ療法、造形療法などがあるが、芸術療法は、これらの多彩な技法の総称である。 芸術療法の特徴は、心の世界や感情を、「音楽」「絵画」「詩歌」「書」などのイメージ表現手段によって理解することであり、それにより、自己実現への道を開くことを目的にする。また、その方法は各技法によって異なり、幼児から高齢者まで適応が可能で、どの技法をどのように用いるかは、クライアントの意志が尊重される。 本講義は、社会福祉士や認定心理士を目指す学生が、福祉や医療の現場に出たとき、芸術療法を広く活かしていくことができるよう、その理論や技法を演習により習得する。						
学修目標	1)芸術的表現と治療との関係について説明できる。 2)音楽における発達段階の理解と、音楽や絵画等の持つイメージを読み取りの理論について説明できる。 3)芸術療法で行われる楽器等の効能について理解し、それを説明できる。 4)芸術療法とスピリチュアルケアとの関係を理解できる。 5)芸術療法の治療的意味を説明でき、その実際を習得する。 6)集団療法を体験し基礎理論を説明できる。 7)様々な個人療法を体験し基礎理論や方法を習得する。 8)アセスメントや評価に関して理解し、作成できる。						
実務経験のある 教員による教育	芸術療法の一つである「音楽療法」においては、担当者が担当する日ごろのセッションの事例を多く提示する。その中で、クライアントへのセッション方法や目標・計画の立案方法、フィードバックについて学習する。						
評価方法	授業内レポート 30%、発達障害のレポート(20%)課題レポート 15% 最終レポート 35%により評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	体験的学習を中心に行う。 「人が元気になる」ことや『意欲的に行動できる』様々な行動において芸術がどのように役に立つことができるかについて考えておいてほしい。 また、できるだけ『子どもと遊ぶ』体験しておいてほしい。						
オフィスアワー	授業日に対応する						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3)	オリエンテーション (学習の流れ・方法・評価など) 芸術療法とは何か 効果や歴史を学ぶ				講義・演習	松 原
2	1)2)	芸術療法の種類とその方法 音楽療法の体験①				講義・演習	松 原
3	1)2)	音楽療法とは何か。 音楽療法の歴史的視点 音楽療法のセッションについて 音楽療法の体験②				講義・演習	松 原
4	1)2)	音楽療法の対象者について 現場での実践を知る (脳挫傷の若者への音楽療法) 音楽療法の体験③				講義・演習	松 原
5	1)2)	音楽療法お現場での実践を知る(高齢者の音楽療法) 音楽療法の体験④				講義・演習	松 原
6	1)2)	音楽療法における現場での実践を学ぶ (幼児期 学童期) 音楽療法の体験⑤				講義・演習	松 原
7	1)2)	音楽療法における現場での実践を学ぶ (知的障がい者) 音楽療法の体験⑥				講義・演習	松 原
8	1)2)	音楽療法における現場での実践を学ぶ (終末期における療法) 音楽療法の体験⑦				講義・演習	松 原
9	1)2)	音楽療法を実施するにあたってアセスメント・フィードバック・評価の方法について学ぶ 音楽療法の体験⑧				講義・演習	松 原
10	1)2)	肢体不自由のある障がい児への簡単な音楽を活用したあそびのセッションを立案する 音楽療法体験⑨				講義・演習	松 原
11	1)2)	書道療法のクライアントの症状によつてのセッションの方法を学ぶ。 音楽療法体験⑩				講義・演習	松 原
12	1) 3)	詩歌療法を体験する				講義・演習	松 原
13	1)3)	絵画療法を体験する				講義・演習	松 原
14	1)2)3)	被虐待児への芸術療法を学ぶ				講義・演習	松 原
15	1)2)3)	芸術療法のまとめとレポート作成				講 義	松 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		指定の教科書なし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		授業中に紹介する					

科目名		レクリエーション論		授業コード	120102B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科・臨床福祉専攻・臨床心理専攻(2 年)		ナンバリング	13C221P13	AL 科目	○	
担当者		松田 智香子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		生涯学習、生涯スポーツの振興、また地域コミュニティ再編の有効な手立てとして期待されつつあるレクリエーション活動に着目し、その可能性について検討を行うとともに、レクリエーション支援活動を展開していく際の心得と留意点等について理解を深める。						
学修目標		1)現代社会におけるレクリエーションの意味と有用性について理解する。 2)自らの生活の中に存在しているレクリエーション活動とは何なのかを理解する。 3)レクリエーション支援活動の基礎を理解する。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		学習への取り組む姿勢(確認テストや課題の提出、返却物の受け取り、質問・発言、グループワークへの取り組みなど授業への参加)を 10%及び学期末の単位認定試験を 90%として 単位認定を行う。 原則、再試験は行わない。						
準備学習・ 履修上の注意等		毎授業後に次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。 遅刻・私語厳禁。						
オフィスアワー		水曜日：11:00～15:00						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3)	【現代社会におけるレクリエーションの意義と必要性】 現代社会における我々の生活状況について理解する。その中でレクリエーションが果たす役割について理解を深める。					講 義	松 田
2	1)2)3)	【レクリエーション運動の歴史とその背景】 社会運動としてのレクリエーション展開の歴史を理解する。					講 義	松 田
3	1)2)3)	【レクリエーション支援の考え方】 現代人にとってのレクリエーションの意味とそれを支援することの大切さを理解する。					講 義	松 田
4	1)2)3)	【ライフステージに応じたレクリエーション支援】 人々のライフステージに応じたレクリエーション支援の考え方について理解する。					講 義	松 田
5	1)2)3)	【高齢社会の課題とレクリエーション支援】 現代社会の一課題である高齢社会に着目し、レクリエーション支援の意味について理解する。					講 義	松 田
6	1)2)3)	【子どもの体力向上とレクリエーション】 今日的社会課題と言われている子どもの体力向上問題に着目し、レクリエーション支援が果たしうる可能性について理解する。					講 義	松 田
7	1)2)3)	【地域におけるレクリエーション展開の意味】 レクリエーションによる地域再編成の可能性について理解する。					講 義	松 田
8	1)2)3)	【レクリエーション事業展開のあり方】 レクリエーション・イベントを中心とした各種事業展開の方法と意味について理解する。					講 義	松 田
9	1)2)3)	【ホスピタリティとレクリエーション】 レクリエーション支援時の心得の一つである“おもてなし”の心について理解する。					講 義	松 田
10	1)2)3)	【コミュニケーションワークの理解】 レクリエーションの構成要素の一つであるコミュニケーションの意味を理解し、実践できるようになる。					講 義	松 田
11	1)2)3)	【レクリエーションとスポーツ】 レクリエーションと緊密な関係に位置するスポーツの意味を理解する。					講 義	松 田
12	1)2)3)	【レクリエーション組織経営論Ⅰ】 レクリエーションを支援するための団体・組織を経営していく方法と意味について理解する。					講 義	松 田
13	1)2)3)	【レクリエーション組織経営論Ⅱ】 レクリエーション団体・組織の経営論について理解する。					講 義	松 田
14	1)2)3)	【GWT(グループワークトレーニング)の理解】 レクリエーションスキルアップの訓練であるGWTの内容を理解し、実践する力を養う。					講 義	松 田
15	1)2)3)	【再考 レクリエーションってなに？】 レクリエーションの意味、今日的役割について理解を深める。					講 義	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	レクリエーション実技			授業コード	120098A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉専攻・臨床心理専攻(2 年)			ナンバリング	13C222P22	AL 科目	○
担当者	松田 智香子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 技
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシ-No.	レクリエーションは、生活の快や QOL の向上に貢献し、人々の生を豊かにするものである。そして、それぞれのライフステージ やライフスタイルに応じて生涯にわたって実践される活動のひとつである。本授業においては、さまざまなレクリエーション実技の 実践を通じて、コミュニケーションスキルやレクリエーションに関する知識、技術とともに、さまざまな対象者に応じた対人援助(指 導)方法を修得する。						
学修目標	①コミュニケーションスキル(姿勢、態度、行動等)を身につける。 ②レクリエーションに必要なアイスブレイキングの技術を身につける。 ③対象者に応じたレク内容、各種ニュースポーツやレクダンス等の実技を通じてその実践方法を修得する。 ④支援者(指導者)として、レクリエーション支援(指導)の実践方法を修得する。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	レクリエーション実技への積極的な参加態度、コミュニケーションスキル等(40%)、 レクリエーション実技の支援(指導)実践(30%) 課題(個人・グループ課題)(30%)						
準備学習・ 履修上の注意等	原則として、レクリエーション論を受講していること。 緊張感、積極的な受講態度を望む。 事前準備(個人、グループ課題)を行うこと。 実技に必要な運動着、シューズの着用。						
オフィスアワー	月曜日 9:00～金曜日 17:00 (講義、出張等で研究室を不在にしていることもある)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション コミュニケーションワーク①				実 技	松 田
2	1)	コミュニケーションワーク②				実 技	松 田
3	1)2)	コミュニケーションワーク③(ホスピタリティトレーニング)				実 技	松 田
4	1)2)	コミュニケーショントレーニング①(対象者に応じたアイスブレイキングの技法)				実 技	松 田
5	1)3)	コミュニケーショントレーニング②(対象者に応じたアイスブレイキングの技法)				実 技	松 田
6	1)3)	レクリエーション実践①				実 技	松 田
7	1)3)	レクリエーション実践②				実 技	松 田
8	1)3)	レクリエーション実践③(ニュースポーツ)				実 技	松 田
9	1)3)	レクリエーション実践④(レクダンス・リハビリ体操)				実 技	松 田
10	1)3)	レクリエーション実践⑤(クラフト)				実 技	松 田
11	1)3)	レクリエーション実践⑥(クラフト)				実 技	松 田
12	1)3) 4)	レクリエーション支援実習(オリエンテーション・グループ分け・計画策定)				実 技	松 田
13	1)3) 4)	レクリエーション支援実習(計画策定)				実 技	松 田
14	1)3) 4)	レクリエーション支援実習(発表・実施)				実 技	松 田
15	1)3) 4)	レクリエーション支援実習(発表・実施)				実 技	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	アダプテッドスポーツ論			授業コード	120002B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C421P11	AL 科目	○
担当者	松田 智香子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義、SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	アダプテッド(adapted)とは「適合した」という意味である。歴史的には障がい者を対象にスポーツをリハビリテーションの一環として取り入れたことから始まり競技にまで発展している。現在では、単に障がい者スポーツとしてではなく、様々な人々を対象としたスポーツとして考えられている。本講義では、「アダプテッド・スポーツ」種目の意味と必要性を認識、アダプテッド・スポーツを取り巻いている身体的・文化的・社会的背景、そして関わっている諸々の事象について理解し、将来、教育や福祉などの分野で実践的に活かせる知識の修得を目指す。						
学修目標	1)パラスポーツ指導者に求められるスポーツのインテグリティや役割、心構え、必要な視点について説明できる。 2)パラスポーツの歴史(Dr. グットマンの功績や実践上・指導上の理念)や障がい者にとってのスポーツの意義と理念を説明できる。 3)アダプテッド・スポーツが心身の健康に及ぼす効果について説明できる。 4)様々な人が安全にスポーツを行うために指導者として必要なリスクマネジメントについて理解し、安全配慮義務、緊急時のAED の使用や応急処置について説明できる。 5)障がい者や高齢者におけるトレーニングの可能性を説明できる。 6)パラスポーツ指導者制度の概要を理解し、県や市町村のおパラスポーツ推進の現状と課題について説明できる。 7)高齢者・障がい者にとってのレクリエーションの意義を説明できる。 8)アダプテッド・スポーツがノーマライゼーション社会の実現に与えた影響について説明できる。 9)女性のアダプテッド・スポーツへの参加の現状と課題について説明できる。 10)我が国における障がい者福祉施策やパラスポーツに関する施策について説明できる。 11)パラスポーツにおけるボランティア心得や留意点、またボランティアの魅力について説明ができる。 12)幼児期、高齢者、障がい者(肢体不自由者)で実施されているアダプテッド・スポーツを説明できる。 13)各障がいを理解し、障がいの主たる特性(知的障がい、精神障がい)に応じたアダプテッド・スポーツの実践を説明できる。 14)全国障がい者スポーツ大会の基本理念や開催の意義、パラスポーツ振興を進める契機になっていることが説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	学習内容の確認テストを随時行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、質問・発言、SGD 等の授業への参加状況等)を(5%)、期末試験(95%)とする。 原則、再試験は行わない。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業時に配布した資料やノートをまとめ事後学習を行う。また毎授業後に次回授業内容を提示するので事前準備を行うなど1コマ当たり4 時間を目安に予習・復習を行うこと。						
オフィスアワー	月曜日:15:00～17:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	アダプテッド・スポーツの提唱と基本理念				講 義	松 田
2	2)	アダプテッド・スポーツの歴史変遷				講 義	松 田
3	2)	アダプテッド・スポーツ発展の社会的背景				講義、SGD	松 田
4	1)2)	アダプテッド・スポーツと障がい者・高齢者の福祉				講義、SGD	松 田
5	10)11)	アダプテッド・スポーツの法的、行政的支援				講 義	松 田
6	11)	アダプテッド・スポーツにおけるボランティアの意義				講義、SGD	松 田
7	1)10)1 4)	アダプテッド・スポーツの指導者システム				講義、SGD	松 田
8	3)7)	アダプテッド・スポーツとリハビリテーション、レクリエーション				講義、SGD	松 田
9	7)8)	アダプテッド・スポーツとノーマライゼーション				講義、SGD	松 田
10	3)4)	アダプテッド・スポーツにおける健康づくりや安全管理				講義、SGD	松 田
11	3)5)	体力運動能力の向上とアダプテッド・スポーツ①(障がい者)				講義、SGD	松 田
12	3)6)	体力運動能力の向上とアダプテッド・スポーツ②(中高年・高齢者)				講義、SGD	松 田
13	9)	女性とアダプテッド・スポーツ				講義、SGD	松 田
14	12)	アダプテッド・スポーツの実践①(幼児期、高齢者、障がい者(肢体不自由))				講義、SGD	松 田
15	13)	アダプテッド・スポーツの実践②(障がい者(知的、精神))				講義、SGD	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし。					

科目名	高齢者・障害者スポーツ実習			授業コード	121205A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C321P19	AL 科目	○
担当者	松田 智香子(スポーツ健康福祉学科)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	高齢者や障がいがある人も含めた、幅広い年齢層の人々が手軽に行えるスポーツについて具体的に学ぶ。その中でも、スポーツを行う際の指導上の留意点をはじめ、安全の確保や健康の保持増進のための方法を学び、将来、教育、福祉現場や障がい者スポーツ分野で実践的に活かせる知識を修得することを目的とする。						
学修目標	1) 高齢者や障がいの者の身体状況を理解した上で、各スポーツを安全に行う為の留意点について説明できる。 2) 高齢者の体力水準の違いに応じたスポーツを理解し、適切な運動支援について説明できる。 3) 障がいの障がい特性(身体障がい・内的障がい、精神障がい等)を理解し、それぞれに配慮した説明やスポーツを実施することができる。 4) 良い人間関係を作るために相手の意見を傾聴し、スポーツ指導者として障がい特性に応じたコミュニケーション手法を実践できる。 5) 高齢者・障がい者スポーツにとってのスポーツの必要性、意義、価値について直接学び、スポーツ支援ができる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	積極的な授業参加態度(40%)、授業記録の内容(10%)、課題(50%) なお、15 回目に設定している「障がい者スポーツ活動への参加と交流」への参加は必須で学外で行う(授業日以外)。これに参加しなかった場合は不可となる。(詳しくは授業時に説明を行う)						
準備学習・ 履修上の注意等	提示する各種スポーツの成り立ちや特徴について事前に調べた上で受講する。 毎授業後には必ず資料を確認し、ルールや留意点などを確実に修得すること。 実習授業であることから積極的な受講態度に加え、緊張感を持って参加することを望む。 必ず運動着、シューズを着用すること。						
オフィスアワー	木曜日：15:00～17:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	高齢者・障がい者の身体状況の理解				講義・実習	松 田
2	2)	ミニバレー, 風船バレーボール				実 習	松 田
3	1)	シットイングバレーボール				実 習	松 田
4	1)2)	ペタンク, グランドゴルフ				実 習	松 田
5	1)2)	ディスク競技				実 習	松 田
6	3)4)	ローリングバレーボール				実 習	松 田
7	1)	車椅子ベースボール, テーブルテニス				実 習	松 田
8	3)4)	アルティメット				実 習	松 田
9	1)2)	スポーツ吹矢, 公式ワナゲ				実 習	松 田
10	1)4)	フロアバレーボール				実 習	松 田
11	1)4)	ブラインドバレーボール				実 習	松 田
12	1)	柔軟体操・ストレッチング				実 習	松 田
13	1)	ウォーミングアップとクールングダウン				実 習	松 田
14	1)4)5)	地域社会における高齢者・障がいの者の実際				実 習	松 田
15	1)4)5)	障がい者スポーツ活動への参加と交流				実 習	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	フィールドワーク演習Ⅰ			授業コード	121707A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 3 年			ナンバリング	13C322P20	AL 科目	○
担当者	三宮基裕(福・臨)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】調査方法の一つであるフィールドワークについて、意義と目的を理解し、演習を通じて模擬的にフィールドワークを体験する。演習Ⅰではとくに質的調査に焦点を充てて演習する。 【一般目標】フィールドワークはソーシャルワーク実践においても重要な情報収集・課題解決手段になる。フィールドワークの意義と目的を理解し、準備から実践、得られた情報の分析までの一連のプロセスを実践できるようになる。 【対応するポリシーNo.】DP(6)、CP1(8)、CP2(1)						
学修目標	1)フィールドワークの意義と目的が説明できる 2)量的調査と質的調査の特徴が説明できる 3)質的調査の方法が説明できる 4)質的調査が実施できる 5)質的調査で得られたデータを用いて分析できる 6)分析結果を考察できる						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	授業に取り組む姿勢(参加頻度、聴講態度、作業態度)を 30%、課題の完成度 70%により単位認定をおこなう。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習】日常の生活のなかで常に疑問を持つ意識を習慣づけておくこと。 【履修上の注意等】演習授業のため、積極的・主体的に授業に参加すること。授業時間ないで指定した作業が終わらないときは、時間外で作業を求めることがある。						
オフィスアワー	12:30～13:00(不在のときがあります)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	フィールドワークと研究活動				講 義	三 宮
2	2)	量的研究と質的研究の違い				講 義	三 宮
3	2)	量的研究の方法①(対象の選定と調査方法)				講 義	三 宮
4	2)	量的研究の方法②(分析方法)				講義・演習	三 宮
5	2)3)4)	質的研究の方法①(対象の選定と調査方法)				講 義	三 宮
6	2)5)6)	質的研究の方法②(分析方法)				講義・演習	三 宮
7	3)4)	インタビューガイドの作成①				演習・SGD	三 宮
8	3)4)	インタビューガイドの作成②				演習・SGD	三 宮
9	4)	模擬インタビューの実践				演習・SGD	三 宮
10	5)	質的データの分析①(逐語録)				演 習	三 宮
11	5)	質的データの分析②(テキストマイニング)				演 習	三 宮
12	5)6)	グラウンデッド・セオリー・アプローチによる分析①(コード化①)				演習・SGD	三 宮
13	5)6)	グラウンデッド・セオリー・アプローチによる分析②(コード化②)				演習・SGD	三 宮
14	5)6)	グラウンデッド・セオリー・アプローチによる分析③(図解化)				演習・SGD	三 宮
15	1)	フィールドワークで得られる価値				講義・SGD	三 宮
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座5 社会福祉調査の基礎(一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟＝編集)中央法規【978-4-8058-8235-1】 よくわかる質的社会調査 技法編(谷富夫 編、芦田徹郎 編)ミネルヴァ書房【9784623052738】 入門・社会調査法〔第 4 版〕: 2 ステップで基礎から学ぶ(轟 亮 ほか)法律文化社【9784589041418】					

科目名	フィールドワーク演習Ⅱ			授業コード	121708A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 4 年			ナンバリング	13C421P12	AL 科目	○
担当者	三宮基裕(福・臨)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】調査方法の一つであるフィールドワークについて、意義と目的を理解し、演習を通じて模擬的にフィールドワークを体験する。演習Ⅰではとくに量的調査に焦点を充てて演習する。 【一般目標】フィールドワークはソーシャルワーク実践においても重要な情報収集・課題解決手段になる。フィールドワークの意義と目的を理解し、準備から実践、得られた情報の分析までの一連のプロセスを実践できるようになる。 【対応するポリシーNo.】DP(6)、CP1(8)、CP2(1)						
学修目標	1)フィールドワークの意義と目的が説明できる 2)量的調査と質的調査の特徴が説明できる 3)量的調査の方法が説明できる 4)量的調査が実施できる 5)量的調査で得られたデータを用いて分析できる 6)分析結果を考察できる						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	授業に取り組む姿勢(参加頻度、聴講態度、作業態度)を 30%、課題の完成度 70%により単位認定をおこなう。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習】日常の生活のなかで常に疑問を持つ意識を習慣づけておくこと。 【履修上の注意等】演習授業のため、積極的・主体的に授業に参加すること。授業時間ないで指定した作業が終わらないときは、時間外で作業を求めることがある。						
オフィスアワー	12:30～13:00(不在のときがあります)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	フィールドワークと研究活動				講 義	三 宮
2	2)	量的研究と質的研究の違い				講 義	三 宮
3	2)3)4)	量的研究の方法①(対象の選定と調査方法)				講 義	三 宮
4	2)5)6)	量的研究の方法②(分析方法)				講義・演習	三 宮
5	2)	質的研究の方法①(対象の選定と調査方法)				講 義	三 宮
6	2)	質的研究の方法②(分析方法)				講義・演習	三 宮
7	3)4)	質問紙調査票の作成①				演習・SGD	三 宮
8	3)4)	質問紙調査票の作成②				演習・SGD	三 宮
9	4)	模擬質問紙調査の実践				演習・SGD	三 宮
10	5)	量的データの分析①(データ入力)				演習・SGD	三 宮
11	5)6)	量的データの分析②(一次集計)				演習・SGD	三 宮
12	5)6)	代表値による分析(平均値、標準偏差)				演習・SGD	三 宮
13	5)6)	検定による分析①(カイ二乗検定①)				演習・SGD	三 宮
14	6)	検定による分析②(検定結果の読み取り)				演習・SGD	三 宮
15	1)	フィールドワークで得られる価値				講義・SGD	三 宮
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座5 社会福祉調査の基礎(一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟＝編集)中央法規【978-4-8058-8235-1】 1 歩前からはじめる「統計」の読み方・考え方[第 2 版](神林博史 著)ミネルヴァ書房【9784623084784】 入門・社会調査法[第 4 版]: 2 ステップで基礎から学ぶ(轟 亮 ほか)法律文化社【9784589041418】					

科目名	臨床福祉学演習Ⅰ			授業コード	121087A108	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3年)			ナンバリング	13C311P01	AL 科目	○
担当者	稲田弘子(福・福)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	大学は「学問」をするところです。「学問」とは「学」んで「問」うことです。社会福祉分野の専門的知識を単に「学」ぶだけではなく、自分でさまざまなことに「問」いを発していくことで新たな解決法や対処法を身につけていくことができます。社会はこのような人材を求めています。 「臨床福祉学演習Ⅰ」では、4年次の卒業論文作成に必要なテーマの設定法、情報収集法、調査方法などを修得する。前期は、卒業論文のテーマ選定をするため、いろいろな分野の知識を幅広く修得する。 (DP6.7)CP8)						
学修目標	1)論文とレポートの相違について説明できる。 2)論文の構成について説明できる。 3)論文の各構成について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	稲田は、福祉・医療現場 5 年以上の経験と、認知症や介護過程等に関する論文投稿や学会発表などの研究活動を5年以上継続しており、その経験に基づき、研究の視点、方法、卒業論文作成を目的とした授業を行う。						
評価方法	演習態度、演習内容で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	福祉分野に興味のある学生。 授業以外に、新聞を読んだり、図書館で文献を読むこと。						
オフィスアワー	時間割が確定後、表示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション				講義・演習	稲 田
2	1)	レポートについて				講義・演習	稲 田
3	1)	論文について				講義・演習	稲 田
4	2)	論文の構成について				講義・演習	稲 田
5	2)	論文の構成について				講義・演習	稲 田
6	2)	発表されている論文を読んでもみる				講義・演習	稲 田
7	2)	興味のあるテーマを探す				講義・演習	稲 田
8	2)	テーマに沿った論文を読んでもみる				講義・演習	稲 田
9	2)	テーマに沿った論文を読んでもみる				講義・演習	稲 田
10	3)	調査方法について				講義・演習	稲 田
11	3)	調査方法について				講義・演習	稲 田
12	3)	調査方法について				講義・演習	稲 田
13	1)2)3)	前期の演習内容をまとめる。				講義・演習	稲 田
14	1)2)3)	前期の演習内容をまとめる。				講義・演習	稲 田
15	1)2)3)	前期の演習内容を発表する。				講義・演習	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない(必要時プリントを配布する)。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		臨床福祉学演習 I			授業コード	121087A120	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C311P01	AL 科目	○
担当者		西田 美香(臨床福祉学科)	開講学期	2024 年度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		本演習は、卒業論文作成の具体的な方法(テーマ設定、情報収集、調査方法等)の習得を目的とする。さらに、自分の興味、 関心のあるテーマに関する情報収集で得た内容を他者に伝えるためのプレゼンテーション力を身につける(DP6/CP8)。						
学修目標		1) 研究の進め方について理解し、重要なポイントについて説明できる。 2) 研究テーマに関する文献を収集することができる。 3) 文献を精読することができる。 4) 研究テーマに関して明らかになったことや新たな課題について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での 6 年以上の実務経験に基づ き、我が国における医療や社会福祉の現状や課題、支援のあり方のより具体的な理解を促すとともに、学生自らが医療福祉の 諸課題に対して能動的に考え行動する力の醸成を目指した演習を行う。						
評価方法		学習態度 40%、ゼミでの発表内容 30%、課題の提出 30%として、総合的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		本演習では卒業論文作成の具体的な方法を学習するが、集めた情報を咀嚼する作業や調査研究を進める具体的な作業につ いては演習時間外で学生が主体的に実施していくことが基本となる。そのため、常に問題意識を持ち、積極的に行動するという 姿勢で取り組んでいただきたい。						
オフィスアワー		火・木・金曜日 12:30～13:00 場所 B-411						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション					演 習	西 田
2	1)	卒業研究の進め方①					演 習	西 田
3	1)	卒業研究の進め方②					演 習	西 田
4	2)	文献収集の方法と実践①					演 習	西 田
5	2)	文献収集の方法と実践②					演 習	西 田
6	2)	施設見学による情報収集					実 習	西 田
7	3)	文献の講読①					演 習	西 田
8	3)	文献の講読②					演 習	西 田
9	3)	文献の講読③					演 習	西 田
10	4)	レポート作成①					演 習	西 田
11	4)	レポート作成②					演 習	西 田
12	4)	レポート作成③					演 習	西 田
13	4)	レポートの発表①					演 習	西 田
14	4)	レポートの発表②					演 習	西 田
15	1)2)3) 4)	まとめ					演 習	西 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			指定なし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない					

科目名	臨床福祉学演習 I			授業コード	121087A121	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C311P01	AL 科目	○
担当者	清水 径子(福・福)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	【授業の概要】 研究活動及び文献の要約や研究手法などの学術論文執筆の基礎を学び、福祉分野での課題や問題点が議論できる。 DP(2)(3)(6) 【一般目標】 研究の進め方を理解し、論文の書き方や研究の具体的な手法を学ぶ能力を修得する。 CP2(11)						
学修目標	1) 研究の進め方が理解でき、説明することができる。 2) 文献を要約し、他者に内容を説明できる。 3) 研究手法について学び、その手法の特徴を理解できる。 4) 研究テーマに関する文献の収集ができる。 5) 研究テーマに関する課題や問題点について討議する。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者の清水は、介護福祉士として高齢者施設での 6 年の実務経験及び 5 年以上の研究活動に基づき、臨床福祉学に必要な視点や課題などを含めた指導を行う。						
評価方法	個別指導の状況(課題提出状況など)40%、学習態度(課題、ゼミ活動への取り組み姿勢、質問等の発言)30%、中間発表の内容(まとめ方、プレゼン力、わかりやすさ等)30%で評価する。授業開始日に詳細な評価基準を説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	演習時間外での文献の精読やレポート作成などの作業を 1 コマにつき 60 分程度、学生が主体的に実施していく必要がある。課題の提出締め切りは確実に守ること。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション				演 習	清 水
2	1)	研究とは				講義・演習	清 水
3	1)	代表的な研究の方法				講義・演習	清 水
4	1)	卒業研究の進め方				講義・演習	清 水
5	1)	研究方法の理解①				講義・演習	清 水
6	1)	研究方法の理解②				講義・演習	清 水
7	1)	研究方法の理解③				講義・演習	清 水
8	2)	基礎文献を要約する①				演 習	清 水
9	2)	基礎文献を要約する②				演 習	清 水
10	2)	基礎文献を要約する③				演 習	清 水
11	4)	文献の探し方				講義・演習	清 水
12	3)4)	文献の購読				演 習	清 水
13	3)4)	文献の購読				演 習	清 水
14	3)4)	文献の購読				演 習	清 水
15	2)3) 4)5)	文献を要約し、発表できる。				演 習	清 水
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	臨床福祉学演習Ⅰ			授業コード	121087A122	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 3 年			ナンバリング	13C311P01	AL 科目	○
担当者	三宮 基裕(福・臨)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】 研究力を身につけつために、研究活動および学術論文執筆の基礎を学ぶとともに、研究成果のプレゼンテーション力を習得する。 【一般目標(GIO)】 研究の手順を理解し、研究を進めるための具体的手法を演習を通じて学ぶ。 【対応するポリシーNo.】 DP6、CP1(8)、CP2(1)、CP3(3)						
学修目標	1)研究の進め方が理解でき、研究手法の特徴が説明できる。 2)文献を要約し、他者に説明できる。 3)図表を読み取り考察できる。 4)ワープロ、表計算ソフトなど、研究および論文の作成に必要なパソコン操作ができる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	取り組む姿勢(議論への参加、課題の提出および受け取りなど)60%、および発表内容の完成度(発表および作成した資料の内容と、発表時の受け答え)により総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	演習時間以外に各自で 15 時間以上の研究活動をおこなうこと。						
オフィスアワー	在室時は随時対応する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	卒業研究の進め方(研究とは何か)				講 義	三 宮
2	1)	卒業研究の進め方(代表的な研究手法)				講 義	三 宮
3	1)	卒業研究の進め方(研究成果の論文化と研究発表)				講 義	三 宮
4	1)	研究手法の理解(文献研究)				講 義	三 宮
5	1)	研究手法の理解(調査研究)				講 義	三 宮
6	1)	研究手法の理解(実験研究)				講 義	三 宮
7	3)4)	図表の読み取り(図表の効果)				講義・演習	三 宮
8	3)4)	図表の読み取り(表の作成)				講義・演習	三 宮
9	3)4)	図表の読み取り(グラフの作成)				講義・演習	三 宮
10	3)4)	図表の読み取り(図形の作成)				講義・演習	三 宮
11	2)	基礎文献のレビュー(新聞記事レベル)				演習・SGD	三 宮
12	2)	基礎文献のレビュー(新書レベル)				演習・SGD	三 宮
13	2)	基礎文献のレビュー(研究要旨レベル)				演習・SGD	三 宮
14	2)	基礎文献のレビュー(学術論文レベル)				演習・SGD	三 宮
15	2)	基礎文献のレビュー(学術論文レベル)				演習・SGD	三 宮
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		臨床福祉学演習Ⅰ			授業コード	121087A125	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(3年)			ナンバリング	13C311P01	AL 科目	○
担当者		日田 剛(福・福)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		自らが関心を持つ分野を発見、確認して、さらに知見を深めることを目標とする。また、本演習を通して卒業研究の進め方について理解する(DP6)。						
学修目標		1)関心ある分野を絞り込むことができる 2)選定した分野について文献などから知識を深めることができる 3)研究の進め方について展望を説明できる						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、高齢者施設でのケア、ソーシャルワークを5年以上、社会福祉士としてのフィールドソーシャルワーク 10年以上の経験を有している。また社会福祉に関しての研究に7年以上携わっている。特に社会福祉の固有性について議論を深めることを本科目では意識している。						
評価方法		取組み姿勢50%、提出課題等50%						
準備学習・ 履修上の注意等		自らがどの分野に興味関心があるのかを日頃から意識してほしい。好奇心を持って卒業研究に向かえるように心がけること。						
オフィスアワー		随時対応						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション					演 習	日田 剛
2	1)	卒業研究について					演 習	日田 剛
3	2)	文献や先行研究について①					演 習	日田 剛
4	2)	文献や先行研究について②					演 習	日田 剛
5	3)	論文作成方法について①					演 習	日田 剛
6	3)	論文作成方法について②					演 習	日田 剛
7	3)	論文作成方法について③					演 習	日田 剛
8	3)	社会資源について①					演 習	日田 剛
9	3)	社会資源について②					演 習	日田 剛
10	1) 3)	社会資源について③(見学)					演 習	日田 剛
11	1) 3)	社会資源について④(見学)					演 習	日田 剛
12	1) 3)	研究テーマについて①					演 習	日田 剛
13	1) 3)	研究テーマについて②					演 習	日田 剛
14	1) 3)	研究テーマについて③発表					演 習	日田 剛
15	1) 3)	研究テーマについて④発表					演 習	日田 剛
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			指定なし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			指定なし					

科目名	臨床福祉学演習Ⅰ			授業コード	121087A127	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C311P01	AL 科目	○
担当者	川崎 順子(福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	社会福祉に携わる援助者としてのあり方を探求するために、実践現場の実際を学び、卒業研究に向けた知識と技術を習得するDP(6)。社会情勢を理解するために、現代社会の生活課題を取り上げ、議論していきながら自己表現力、発表力を習得する臨床DP(2)(3)(5)(6)(7)。 演習時間外に社会活動やボランティア活動に参加することにより、実践現場の理解と実践活動の展開方法を習得する臨床DP(1)(2)(3)(4)						
学修目標	1)演習Ⅰの目的を理解し、相互学習に主体的に参加できる。 2)グループ討議において、自分の意見を持ち、発言することができる。 3)行事等の企画・立案ができる。 4)資料収集・調査などによりまとめることができる。 5)実践現場における基本的態度・援助者としてのあり方について説明できる。 6)関心のある研究領域を探索し、率先して研究に取り組むことができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(川崎)は、行政や社会福祉協議会などの実践現場 5 年以上の経験に基づき、地域社会における生活課題を探索し、問題解決に向けた研究方法の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	課題・レポート 30%・取り組み姿勢 70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	1 コマあたり 2 時間の予習・復習を行うこと。社会情勢に関する新聞や文献などを熟読し、レポートにまとめる。授業時に課題提起し、議論できる準備を行う。関心のある領域に関する社会活動への参加を行い、その意義についてレポートをまとめる。						
オフィスアワー	時間割確定後研究室に掲示						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 演習Ⅰの目的、進め方、取り組み方を理解する				演 習	川 崎
2	1)2)	【関心分野の発表】 関心のあるテーマ・分野の発表を行う				演 習	川 崎
3	1)2)	【文献研究①】 文献探索の仕方、読み方を知る				演 習	川 崎
4	1)2)	【文献研究②】 文献内容の把握・まとめ方を知る				演 習	川 崎
5	1)2)4)	【文献研究③】 関心のあるテーマ・分野の先行研究を収集する				演 習	川 崎
6	1)2)4)	【文献研究④】 関心のあるテーマ・分野の先行研究のまとめを行い、発表の準備をする				演 習	川 崎
7	1)2)4)	【発表】 関心のあるテーマ・分野の発表をふまえての討議する				演 習	川 崎
8	1)2)3)	【演習①】 施設見学等の計画・立案を考える				演 習	川 崎
9	1)2)3)	【演習②】 施設見学等の計画・立案をまとめる				演 習	川 崎
10	1)4)	【演習③】 施設見学先の事前学習を行い、レポートにまとめる				演 習	川 崎
11	5)	【演習④】 施設見学を実施する				演 習	川 崎
12	5)	【演習⑤】 施設見学を実施する				演 習	川 崎
13	1)2)4)	【演習⑥】 施設見学による実態についてのレポートを作成し、発表の準備をする				演 習	川 崎
14	1)2)4)	【演習⑦】 施設見学による実態についてのレポートを発表する				演 習	川 崎
15	1)2)6)	【まとめ】 これまで得た先行研究・施設見学等から得た課題、研究領域・テーマの検討を行う				演 習	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		随時、参考図書を紹介する。					

科目名	臨床福祉学演習Ⅰ			授業コード	121087A129	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科、3 年			ナンバリング	13C311P01	AL 科目	○
担当者	藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	「現代社会における社会福祉問題」をテーマとする。各自テーマを決め順次報告し、討論を重ねていく。前期では受講生の関心 領域について、文献や新聞等より取り上げて報告する。後期ではさらに関心領域を絞り、文献を取り上げて報告する。福 DP1～ 4						
学修目標	私たちが直面する問題についてその実態を把握し、制度政策のあり方、具体的なソーシャルワークのあり方等を学ぶ。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	出席状況・受講態度(40%)、レポート・課題発表の結果(60%)によって評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	問題意識を明確にし積極的に研究テーマに取り組むこと。予習・復習を行い毎回の授業に臨むこと。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 講義の進め方と概要				演 習	藤 原
2	1)	テーマ設定の仕方				演 習	藤 原
3	1)	資料の探し方				演 習	藤 原
4	1)	図書館の利用				演 習	藤 原
5	1)	報告レジュメの書き方				演 習	藤 原
6	1)	発表の仕方				演 習	藤 原
7	1)	各自関心のあるテーマの設定				演 習	藤 原
8	1)	グループ発表				演 習	藤 原
9	1)	討論				演 習	藤 原
10	1)	個人発表				演 習	藤 原
11	1)	討論				演 習	藤 原
12	1)	文献抄録発表				演 習	藤 原
13	1)	個人発表				演 習	藤 原
14	1)	討論				演 習	藤 原
15	1)	振り返り				演 習	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		随時紹介する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		随時紹介する。					

科目名	臨床福祉学演習Ⅰ			授業コード	121087A131	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3年)			ナンバリング	13C311P01	AL 科目	○
担当者	児崎 友美(福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	＊ 演習時間やそれ以外の時間を使い、社会活動やボランティア活動に参加することで実践現場の理解と実践活動の展開方法を習得する。 (DP:①、②、③、④、⑤、⑥、⑦) ＊ 卒業研究の進め方を理解し、論文の書き方や研究の具体的な手法を習得する。 (DP:②、③、⑤、⑥、⑦)						
学修目標	1) 研究の進め方を理解し、説明することができる。 2) 文献を要約し、他者に内容を説明することができる。 3) 研究手法について学び、その手法を実践することができる。 4) 研究領域を探索し、自主的に研究に取り組むことができる。 5) 研究テーマに関する文献の収集ができる。 6) 資料収集・調査などをまとめることができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当は、特別養護老人ホームで3年、地域包括支援センターで13年、認知症対応型共同生活介護で1年間の実務経験がある。また、高齢者福祉(特に、地域での認知症支援)に関する研究に5年以上携わっている。これらの経験を基に、高齢者福祉の実践現場に必要な視点や技術の修得に向けた指導を行う。						
評価方法	取組姿勢 60%、提出課題などを 40%とし、統合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	必要に応じてボランティア活動に参加すること。 図書館のジャーナルや福祉新聞、一般の全国紙などを用いて、自己研究に関連する情報収集を行うこと。						
オフィスアワー	随時、対応する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 臨床福祉学演習のねらいと進め方を理解する。				演 習	児 崎
2	1)	卒業研究について				講義・演習	児 崎
3	1)3)	代表的な研究の方法				演 習	児 崎
4	1)	卒業研究の進め方				講義・演習	児 崎
5	1)	研究方法の理解(1)				講義・演習	児 崎
6	1)	研究方法の理解(2)				講義・演習	児 崎
7	1)	研究方法の理解(3)				講義・演習	児 崎
8	1)2) 4)5)	基礎文献を要約する(1)				演 習	児 崎
9	1)2) 4)5)	基礎文献を要約する(2)				演 習	児 崎
10	1)2) 4)5) 6)	基礎文献の要約内容について、発表する。				演 習	児 崎
11	4)	高齢者福祉の実践現場へ出向き、研究テーマの検討を行う(1)				演 習	児 崎
12	4)	高齢者福祉の実践現場へ出向き、研究テーマの検討を行う(2)				演 習	児 崎
13	4)6)	高齢者福祉実践現場の実態についてレポートを作成する。				演 習	児 崎
14	4)5) 6)	高齢者福祉実践現場のレポート内容を発表する。				演 習	児 崎
15	3)4)	研究のテーマを決定し、研究計画を立てる。				講義・演習	児 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		随時、必要に応じて紹介する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		随時、必要に応じて紹介する。					

科目名		臨床福祉学演習Ⅱ			授業コード	121088A108	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(3年)			ナンバリング	13C312P01	AL 科目	○
担当者		稲田弘子(福・福)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		大学は「学問」をするところです。「学問」とは「学」んで「問」うことです。社会福祉分野の専門的知識を単に「学」ぶだけではなく、自分でさまざまなことに「問」いを発していくことで新たな解決法や対処法を身につけていくことができます。社会はこのような人材を求めています。 「臨床福祉学演習Ⅱ」では、4年次の卒業論文作成に必要な参考文献等の収集法やアンケート調査方法などを修得する。 (DP6.7)(CP8)						
学修目標		1)参考文献を収集法を理解し、卒業論文に必要な情報を収集することができる。 2)アンケート調査法について説明することができる。						
実務経験のある 教員による教育		稲田は、福祉・医療現場 5 年以上の経験と、認知症や介護過程等に関する論文投稿や学会発表などの研究活動を5年以上継続しており、その経験に基づき、研究の視点、方法、卒業論文作成を目的とした授業を行う。						
評価方法		演習態度、演習内容で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		福祉分野に興味のある学生。 授業以外に、新聞を読んだり、図書館で文献を読むこと。						
オフィスアワー		時間割が確定後、表示する。						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション(後期の進め方等)					講義・演習	稲 田
2	1)	文献検索について					講義・演習	稲 田
3	1)	文献検索について					講義・演習	稲 田
4	1)	テーマの設定					講義・演習	稲 田
5	1)	テーマの設定					講義・演習	稲 田
6	1)	テーマの設定					講義・演習	稲 田
7	1)	テーマに沿った文献を検索する					講義・演習	稲 田
8	1)	テーマに沿った文献を検索する					講義・演習	稲 田
9	1)	テーマに沿った文献を検索する					講義・演習	稲 田
10	1)	テーマに沿った文献を検索する					講義・演習	稲 田
11	2)	アンケート調査方法について					講義・演習	稲 田
12	2)	アンケート調査方法について					講義・演習	稲 田
13	2)	アンケート調査方法について					講義・演習	稲 田
14	2)	アンケート調査方法について					講義・演習	稲 田
15	1)2)	前期の演習内容をまとめ発表する。					講義・演習	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない(必要時プリントを配布する)。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	臨床福祉学演習Ⅱ			授業コード	121088A120	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C312P01	AL 科目	○
担当者	西田 美香(臨床福祉学科)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	本演習は、卒業論文作成の具体的な方法(テーマ設定、情報収集、調査方法等)の習得を目的とする。さらに、自分の興味、 関心のあるテーマに関する情報収集で得た内容を他者に伝えるためのプレゼンテーション力を身につける(DP6/CP8)。						
学修目標	1) 研究の進め方について理解し、重要なポイントについて説明できる。 2) 研究テーマに関する文献を収集することができる。 3) 文献を精読することができる。 4) 研究テーマに関して明らかになったことや新たな課題について説明できる。 5) 関心のある研究テーマを設定することができる。 6) 研究計画を作成できる。 7) 研究計画を進める準備ができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での 6 年以上の実務経験に基づ き、我が国における医療や社会福祉の現状や課題、支援のあり方により具体的な理解を促すとともに、学生自らが医療福祉の 諸課題に対して能動的に考え行動する力の醸成を目指した演習を行う。						
評価方法	学習態度 40%、ゼミでの発表内容 30%、課題の提出 30%として、総合的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	本演習では卒業論文作成の具体的な方法を学習するが、集めた情報を咀嚼する作業や調査研究を進める具体的な作業につ いては演習時間外で学生が主体的に実施していくことが基本となる。そのため、常に問題意識を持ち、積極的に行動するという 姿勢で取り組んでいただきたい。						
オフィスアワー	火・木・金曜日 12:30～13:00 場所 B-411						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション				演 習	西 田
2	5)	テーマ設定①				演 習	西 田
3	5)	テーマ設定②				演 習	西 田
4	5)	テーマ設定③				演 習	西 田
5	2)3)4)	関連文献の収集と整理①				演 習	西 田
6	2)3)4)	関連文献の収集と整理②				演 習	西 田
7	2)3)4)	関連文献の収集と整理③				演 習	西 田
8	2)3)4)	関連文献の収集と整理④				演 習	西 田
9	2)3)4)	関連文献の収集と整理⑤				演 習	西 田
10	6)	研究計画の作成①				演 習	西 田
11	6)	研究計画の作成②				演 習	西 田
12	6)	研究計画の作成③				演 習	西 田
13	7)	調査準備と実践①				演 習	西 田
14	7)	調査準備と実践②				演 習	西 田
15	7)	まとめ				演 習	西 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		指定なし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名		臨床福祉学演習Ⅱ			授業コード	121088A121	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C312P01	AL 科目	○
担当者		清水 径子(福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		【授業の概要】 研究活動及び文献の収集・整理ができ、福祉分野での課題や問題点よりテーマ設定を行い卒業研究の計画を立案し、自主的に実践できる。DP(2)(3)(6) 【一般目標】 研究の進め方を理解し、論文の書き方や研究の具体的な手法を学び、実践できる。CP2(11)						
学修目標		1) 研究の進め方が理解でき、説明することができる。 2) 文献を要約し、他者に内容を説明できる。 3) 研究手法について学び、その手法の特徴を理解できる。 4) 研究テーマに関する文献の収集ができる。 5) 研究テーマに関する課題や問題点について議論できる。 6) 研究計画が立案できる。 7) 計画に沿って研究を進めることができる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者の清水は、介護福祉士として高齢者施設での 6 年の実務経験及び 5 年以上の研究活動に基づき、臨床福祉学に必要な視点や課題などを含めた指導を行う。						
評価方法		個別指導の状況(課題提出状況など)40%、学習態度(課題、ゼミ活動への取り組み姿勢、質問等の発言)30%、中間発表の内容(まとめ方、プレゼン力、わかりやすさ等)30%で評価する。授業開始日に詳細な評価基準を説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等		演習時間外での文献の精読やレポート作成などの作業を学生が主体的に実施していく必要がある。課題の提出締め切りは確実に守ること。						
オフィスアワー		研究室前に掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	5)	卒業研究に向けたテーマ設定					演 習	清 水
2	4)	先行研究及び文献の収集					演 習	清 水
3	2)4)	先行研究及び文献の収集・整理					演 習	清 水
4	2)4)	先行研究及び文献の収集・整理					演 習	清 水
5	2)4)	先行研究及び文献の収集・整理					演 習	清 水
6	2)4)	先行研究及び文献の収集・整理					演 習	清 水
7	2)4)	先行研究及び文献の収集・整理					演 習	清 水
8	5)6)	卒業論文の研究計画立案					演 習	清 水
9	5)6)	卒業論文の研究計画立案					演 習	清 水
10	7)	調査方法・調査対象者の検討					演 習	清 水
11	7)	調査方法・調査対象者の検討					演 習	清 水
12	7)	調査方法・調査対象者の検討					演 習	清 水
13	1)5)	研究倫理について					講義・演習	清 水
14	7)	調査準備及び実践					演 習	清 水
15	7)	調査準備及び実践					演 習	清 水
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			テーマに沿ってテキストを指示する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			テーマに沿って参考書を指示する。					

科目名	臨床福祉学演習Ⅱ			授業コード	121088A122	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 3 年			ナンバリング	13C312P01	AL 科目	○
担当者	三宮 基裕(福・臨)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】 研究力を身につけつために、研究活動および学術論文執筆の基礎を学ぶとともに、研究成果のプレゼンテーション力を習得する。 【一般目標(GIO)】 研究の手順を理解し、研究を進めるための具体的手法を演習を通じて学ぶ。 【対応するポリシーNo.】 DP6、CP1(8)、CP2(1)、CP3(3)						
学修目標	5)研究のテーマ設定ができる。 6)研究テーマに関する内容の文献・資料を収集し、その内容についてまとめ、報告・討議できる。 7)研究資料の集計・分析手法を活用できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	取り組む姿勢(議論への参加、課題の提出および受け取りなど)60%、および発表内容の完成度(発表および作成した資料の内容と、発表時の受け答え)により総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	演習時間以外に各自で 15 時間以上の研究活動をおこなうこと。						
オフィスアワー	在室時は随時対応する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方法	担当
1	5)	テーマ設定(興味・関心の抽出)				演習・SGD	三 宮
2	5)	テーマ設定(興味・関心の具体化)				演習・SGD	三 宮
3	5)	テーマ設定(分野・対象・内容の検討)				演習・SGD	三 宮
4	5)	テーマ設定(分野・対象・内容の検討)				演習・SGD	三 宮
5	5)	テーマ設定(研究テーマの具体化)				演習・SGD	三 宮
6	6)	既往研究の収集・整理				演 習	三 宮
7	6)	既往研究の収集・整理				演 習	三 宮
8	6)	既往研究の収集・整理				演 習	三 宮
9	6)	既往研究の収集・整理				演 習	三 宮
10	7)	研究対象の検討				演習・SGD	三 宮
11	7)	研究対象の検討				演習・SGD	三 宮
12	7)	研究対象の検討				演習・SGD	三 宮
13	7)	研究手法の検討				演習・SGD	三 宮
14	7)	研究手法の検討				演習・SGD	三 宮
15	7)	研究手法の検討				演習・SGD	三 宮
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		臨床福祉学演習Ⅱ			授業コード	121088A125	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C312P01	AL 科目	○
担当者		日田 剛(福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		自らが関心を持つ分野を発見、確認して、さらに知見を深めることを目標とする。また、本演習を通して卒業研究の進め方について理解する(DP6)。						
学修目標		1)関心ある分野を絞り込むことができる 2)選定した分野について文献などから知識を深めることができる 3)研究の進め方について展望を説明できる 4)研究計画書を作成できる						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、高齢者施設でのケア、ソーシャルワークを 5 年以上、社会福祉士としてのフィールドソーシャルワーク 10 年以上の経験を有している。また社会福祉に関しての研究に 7 年以上携わっている。特に社会福祉の固有性について議論を深めることを本科目では意識している。						
評価方法		取組み姿勢50%、提出課題等50%						
準備学習・ 履修上の注意等		自らがどの分野に興味関心があるのかを日頃から意識してほしい。好奇心を持って卒業研究に向かえるように心がけること。						
オフィスアワー		随時対応						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション					演 習	日田 剛
2	1)	卒業研究について①					演 習	日田 剛
3	2)	卒業研究について②					演 習	日田 剛
4	2)	研究テーマの設定について①					演 習	日田 剛
5	3)	研究テーマの設定について②					演 習	日田 剛
6	3)	研究テーマ発表①					演 習	日田 剛
7	3)	研究テーマ発表②					演 習	日田 剛
8	3)	調査について①					演 習	日田 剛
9	3)	調査について②					演 習	日田 剛
10	1) 3)	社会資源について①(見学)					演 習	日田 剛
11	1) 3)	社会資源について②(見学)					演 習	日田 剛
12	1) 3) 4)	研究計画について①					演 習	日田 剛
13	1) 3) 4)	研究計画について②					演 習	日田 剛
14	1) 3) 4)	研究計画について③発表					演 習	日田 剛
15	1) 3) 4)	研究計画について④発表					演 習	日田 剛
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			指定なし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			指定なし					

科目名		臨床福祉学演習Ⅱ		授業コード	121088A127	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(3 年)		ナンバリング	13C312P01	AL 科目	○
担当者		川崎 順子(福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態 演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		社会福祉に携わる援助者としてのあり方を探求しながら、実践現場の実際を学び、卒業研究に向けた知識と技術を習得する臨床 DP(5)(6)(6)。多岐にわたる社会情勢の話題を基に、議論していきながら自己表現力、発表力を習得する臨床 DP(3)(4)(6)。演習時間外に社会活動やボランティア活動に参加することにより、実践現場の理解と実践活動の展開方法を習得する臨床 DP(1)(2)(3)(4)					
学修目標		1)演習Ⅱの目的を理解し、相互学習に主体的に参加できる。 2)グループ討議において、自分の意見を持ち、発言することができる。 3)行事等の企画・立案ができる。 4)資料収集・調査などによりまとめることができる。 5)実践現場における基本的態度・援助者としてのあり方について説明できる。 6)関心のある研究領域を探索し、率先して研究に取り組むことができる。					
実務経験のある 教員による教育		科目担当(川崎)は、行政や社会福祉協議会等の実践現場 5 年以上の経験に基づき、社会福祉に携わる援助者としてのあり方を探求し、実践現場の実際を学び、卒業研究に向けた知識と技術を修得することを目的として事業を行う。					
評価方法		課題・レポート 30%・取り組み姿勢 70%として総合的に評価する。					
準備学習・ 履修上の注意等		1 コマあたり 2 時間の予習・復習を行うこと。社会情勢に関する新聞や文献などを熟読し、レポートにまとめる。授業時に課題提起し、議論できる準備を行う。関心のある領域に関する社会活動への参加を行い、その意義についてレポートをまとめる。					
オフィスアワー		時間割確定後研究室に掲示					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	6)	【卒業研究の理解】 卒業研究の意義を理解する				演 習	川 崎
2	1)6)	【論文作成の基本】 論文作成における基本事項を知る				演 習	川 崎
3	4)6)	【研究テーマの検討①】 研究領域・研究テーマの発表を行う				演 習	川 崎
4	4)6)	【研究テーマの検討②】 研究領域・研究テーマの再確認する				演 習	川 崎
5	6)	【研究の具体化①】 研究計画書を作成する				演 習	川 崎
6	6)	【研究の具体化②】 研究計画書を作成する				演 習	川 崎
7	6)	【研究の具体化③】 研究テーマに基づく文献学習・研究を行う				演 習	川 崎
8	6)	【研究の具体化④】 研究テーマに基づく文献学習・研究を行う				演 習	川 崎
9	6)	【研究の具体化⑤】 研究テーマに基づく文献学習・研究を行う				演 習	川 崎
10	1)2)6)	【研究の具体化⑥】 研究進捗状況を発表し討議する				演 習	川 崎
11	1)2)6)	【研究の具体化⑦】 研究の進捗状況を発表し討議する				演 習	川 崎
12	6)	【卒業研究の進め方①】 卒業研究の進め方・調査研究等の内容を検討する				演 習	川 崎
13	6)	【卒業研究の進め方②】 卒業研究の進め方・調査研究等の内容を検討する				演 習	川 崎
14	1)2)6)	【卒業研究発表会への参加】 4 年生の卒業研究発表会へ参加する				演 習	川 崎
15	1)6)	【まとめ】 要点の整理を確認する				演 習	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			必要時に提示する。				

科目名		臨床福祉学演習Ⅱ			授業コード	121088A129	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C312P01	AL 科目	
担当者		藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		臨床福祉学演習Ⅰで行った「現代社会における社会福祉問題」に関する基本的理解を踏まえ、各自が研究テーマを設定し、より実践的な問題に取り組んでいく。福 DP1～4						
学修目標		選んだテーマについて深く研究し、卒業論文につなげていくことを目標とする。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし						
評価方法		受講態度(40%)、レポート・課題発表の結果(60%)によって評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		問題意識を明確にし積極的に研究テーマに取り組むこと。予習・復習を行い毎回の授業に臨むこと。						
オフィスアワー		研究室前に掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 講義の進め方と概要					演 習	藤 原
2	1)	個人発表					演 習	藤 原
3	1)	討論					演 習	藤 原
4	1)	個人発表					演 習	藤 原
5	1)	討論					演 習	藤 原
6	1)	個人発表					演 習	藤 原
7	1)	討論					演 習	藤 原
8	1)	個人発表					演 習	藤 原
9	1)	討論					演 習	藤 原
10	1)	個人発表					演 習	藤 原
11	1)	討論					演 習	藤 原
12	1)	個人発表					演 習	藤 原
13	1)	討論					演 習	藤 原
14	1)	個人発表					演 習	藤 原
15	1)	討論 振り返り					演 習	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			随時紹介する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			随時紹介する。					

科目名	臨床福祉学演習Ⅱ			授業コード	121088A131	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C312P01	AL 科目	○
担当者	児崎 友美(福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	* 演習時間やそれ以外の時間を使い、社会活動やボランティア活動、ゼミ活動に参加することで実践現場の理解と実践活動の 展開方法を習得する。 (DP:①、②、③、④、⑤) * 卒業研究の進め方を理解し、論文の書き方や研究の具体的な手法を習得する。 (DP:②、③、⑤、⑥、⑦)						
学修目標	1)研究の進め方を理解し、説明することができる。 2)文献を要約し、他者に内容を説明することができる。 3)研究手法について学び、その手法を実践することができる。 4)研究領域を探索し、自主的に研究に取り組むことができる。 5)研究テーマに関する文献の収集ができる。 6)資料収集・調査などをまとめることができる。 7)研究計画の立案ができる。 8)計画に沿って研究を進めることができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当は、特別養護老人ホームで3年、地域包括支援センターで13年、認知症対応型共同生活介護で1年間の実務経験が ある。また、高齢者福祉(特に、地域での認知症支援)に関する研究に5年以上携わっている。これらの経験を基に、高齢者福 祉の実践現場に必要な視点や技術の修得に向けた指導を行う。						
評価方法	取組姿勢 50%、中間発表(まとめ方、プレゼン力など)30%、提出課題 20%						
準備学習・ 履修上の注意等	演習時間外での文献の精読やレポート作成などの作業を、学生が主体的に実施していくこと。また、課題の提出締切日は必ず 守ること。						
オフィスアワー	(月)13:00～17:00 (木)13:00～17:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)4) 5)	研究テーマの決定				講義・演習	児 崎
2	1)3) 4)5)	論文作成における基本事項を理解する。				講義・演習	児 崎
3	1)7)	研究計画書を作成する(1)				講義・演習	児 崎
4	1)7)	研究計画書を作成する(2)				講義・演習	児 崎
5	1)2) 3)4) 5)6) 8)	先行研究・文献学習を行う(1)				講義・演習	児 崎
6	1)2) 3)4) 5)6) 8)	先行研究・文献学習を行う(2)				演 習	児 崎
7	1)2) 3)4) 5)6) 8)	先行研究・文献学習を行う(3)				演 習	児 崎
8	1)2) 3)4) 5)6) 8)	研究の進捗状況を発表する				演 習	児 崎
9	6)8)	調査方法・調査対象者の検討(1)				演 習	児 崎
10	6)8)	調査方法・調査対象者の検討(2)				演 習	児 崎
11	6)8)	研究倫理について				講 義	児 崎
12	6)8)	調査の準備(1)				演 習	児 崎
13	6)8)	調査の準備(2)				演 習	児 崎
14	6)8)	調査の準備(3)				演 習	児 崎
15	6)8)	調査の実施				演 習	児 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		随時、必要に応じて紹介する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		随時、必要に応じて紹介する。					

科目名	臨床福祉学演習Ⅲ			授業コード	121333A108	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(4年生)			ナンバリング	13C411P01	AL 科目	○
担当者	稲田 弘子(福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	大学は「学問」をするところです。「学問」とは「学」んで「問」うことです。社会福祉分野の専門的知識を単に「学」ぶだけではなく、自分でさまざまなことに「問」いを発していくことで新たな解決法や対処法を身につけていくことができます。社会はこのような人材を求めています。 「臨床福祉学演習Ⅱ」では、各ゼミ生が卒業論文のテーマ設定、論文作成スケジュールの立案、研究の実際、論文の著述、論文の報告ができる能力を修得する。(DP6.7)(CP8)						
学修目標	1)論文作成のスケジュールを立案する。 2)個別指導を受けながら、論文作成を行う。 3)論文形態にまとめることができる。 4)卒業論文の報告を行うことができる。						
実務経験のある 教員による教育	稲田は、福祉・医療現場 5 年以上の経験と、認知症や介護過程等に関する論文投稿や学会発表などの研究活動を5年以上継続しており、その経験に基づき、研究の視点、方法、卒業論文作成を目的とした授業を行う。						
評価方法	演習内容、演習態度等で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉分野に関心のある学生 福祉分野に興味のある学生。 授業以外に、新聞を読んだり、図書館で文献を読むこと。						
オフィスアワー	時間割確定後に研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)	オリエンテーション				講 義	稲 田
2	1)	論文作成のための年間スケジュールをたてる。				演 習	稲 田
3	2)	個別指導				演 習	稲 田
4	2)	個別指導				演 習	稲 田
5	2)	個別指導				演 習	稲 田
6	2)	個別指導				演 習	稲 田
7	2)	個別指導				演 習	稲 田
8	2)	個別指導				演 習	稲 田
9	2)	個別指導				演 習	稲 田
10	4)	ゼミ内での中間発表・意見交換				演 習	稲 田
11	2)	個別指導				演 習	稲 田
12	2)	個別指導				演 習	稲 田
13	2)	個別指導				演 習	稲 田
14	2)	個別指導				演 習	稲 田
15	4)	個別指導(中間発表会後の訂正等)				演 習	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。必要時はプリント配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	臨床福祉学演習Ⅲ			授業コード	121333A120	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C411P01	AL 科目	○
担当者	西田 美香(臨床福祉学科)	開講学期	2024 年度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	本演習は、卒業論文作成の具体的な方法(テーマ設定、情報収集、調査方法等)の習得を目的とする。さらに、自分の興味、 関心のあるテーマに関する情報収集で得た内容を他者に伝えるためのプレゼンテーション力を身につける(DP6/CP8)。						
学修目標	1) 研究の進め方について理解し、重要なポイントについて説明できる。 2) 研究テーマに関する文献を収集することができる。 3) 文献を精読することができる。 4) 研究テーマに関して明らかになったことや新たな課題について説明できる。 5) 関心のある研究テーマを設定することができる。 6) 研究計画を作成し進める。 7) 研究内容のプレゼンテーションを行うことができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での 6 年以上の実務経験に基づ き、我が国における医療や社会福祉の現状や課題、支援のあり方のより具体的な理解を促すとともに、学生自らが医療福祉の 諸課題に対して能動的に考え行動する力の醸成を目指した演習を行う。						
評価方法	学習態度 40%、ゼミでの発表内容 30%、課題の提出 30%として、総合的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	本演習では卒業論文作成の具体的な方法を学習するが、集めた情報を咀嚼する作業や調査研究を進める具体的な作業に ついては演習時間外で学生が主体的に実施していくことが基本となる。そのため、常に問題意識を持ち、積極的に行動するとい う姿勢で取り組んでいただきたい。						
オフィスアワー	火・木・金曜日 12:30～13:00 場所 B-411						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション				演 習	西 田
2	2)3)4) 5)6)	テーマ見直し①				演 習	西 田
3	2)3)4) 5)6)	テーマ見直し②				演 習	西 田
4	2)3)4) 5)6)	関連文献の収集と整理①				演 習	西 田
5	2)3)4) 5)6)	関連文献の収集と整理②				演 習	西 田
6	2)3)4) 5)6)	関連文献の収集と整理③				演 習	西 田
7	2)3)4) 5)6)	関連文献の収集と整理④				演 習	西 田
8	7)	プレゼンテーション①				演 習	西 田
9	2)3)4) 5)6)	調査準備と実践①				演 習	西 田
10	2)3)4) 5)6)	調査準備と実践②				演 習	西 田
11	2)3)4) 5)6)	調査準備と実践③				演 習	西 田
12	2)3)4) 5)6)	調査準備と実践④				演 習	西 田
13	2)3)4) 5)6)	調査準備と実践⑤				演 習	西 田
14	7)	プレゼンテーション②				演 習	西 田
15	2)3)4) 5)6)	まとめ				演 習	西 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない。					

科目名	臨床福祉学演習Ⅲ			授業コード	121333A121	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C411P01	AL 科目	○
担当者	清水 径子(福・福)	開講学期	2024 年度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	【授業の概要】 本演習は、卒業論文作成のための具体的な方法(テーマ設定、調査方法等)を実践し、各自のテーマに併せた研究内容をわかりやすくプレゼンする。DP(2)(3)(6) 【一般目標】 研究の進め方を理解し、研究の具体的な手法を学ぶ。また、研究に対する姿勢を学ぶ。CP2(11)						
学修目標	1) 研究の進め方が理解でき、研究計画が立案できる。 2) 文献を要約し、他者に内容を説明できる。 3) 研究テーマに関する情報収集ができる。 4) 研究テーマに関する課題や問題点について議論できる。 5) 計画に沿って研究を進めることができる。 6) 研究内容のプレゼンテーションができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者の清水は、介護福祉士として高齢者施設での 6 年の実務経験及び 5 年以上の研究活動に基づき、臨床福祉学に必要な視点や課題などを含めた指導を行う。						
評価方法	個別指導の状況(課題提出状況など)40%、学習態度(課題、ゼミ活動への取り組み姿勢、質問等の発言)30%、中間発表の内容(まとめ方、プレゼン力、わかりやすさ等)30%で評価する。授業開始日に詳細な評価基準を説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	演習時間外での調査準備や研究活動を学生が主体的に実施していく必要がある。課題の提出締め切りは確実に守ること。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション・研究テーマ設定				演 習	清 水
2	1)	卒業研究の年間計画を立案し、発表する				演 習	清 水
3	2)3) 4)5)	調査準備及び実践(個別指導)				演 習	清 水
4	2)3) 4)5)	調査準備及び実践(個別指導)				演 習	清 水
5	2)3) 4)5)	調査準備及び実践(個別指導)				演 習	清 水
6	2)3) 4)5)	調査準備及び実践(個別指導)				演 習	清 水
7	2)3) 4)5)	調査準備及び実践(個別指導)				演 習	清 水
8	2)3) 4)5)	調査結果のまとめ(個別指導)				演 習	清 水
9	2)3) 4)5)	調査結果のまとめ(個別指導)				演 習	清 水
10	2)3) 4)5)	調査結果のまとめ(個別指導)				演 習	清 水
11	2)3) 4)5)	調査結果のまとめ(個別指導)				演 習	清 水
12	2)3) 4)5)	調査結果のまとめ(個別指導)				演 習	清 水
13	2)3) 4)5)	調査結果のまとめ(個別指導)				演 習	清 水
14	2)3) 4)5)	調査結果のまとめ(個別指導)				演 習	清 水
15	4)5) 6)	中間発表・意見交換				演 習	清 水
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		臨床福祉学演習Ⅲ			授業コード	121333A122	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科 4 年			ナンバリング	13C411P01	AL 科目	○
担当者		三宮 基裕(福・臨)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		【授業の概要】 研究力を身につけつために、研究活動および学術論文執筆の基礎を学ぶとともに、研究成果のプレゼンテーション力を習得する。 【一般目標(GIO)】 必要な研究資料を収集の方法と、得た資料に対する分析考察の仕方を学ぶ。 研究テーマについて論理的な結論付けができるようになる。 【対応するポリシーNo.】 DP6、CP1(8)、CP2(1)、CP3(3)						
学修目標		1)既往研究を読み、要約および他者へ報告できる。 2)適切な研究資料の収集方法が選択でき、資料の収集ができる。 3)研究資料を適切な方法で集計し、客観的立場からの分析と、適切な考察ができる。 4)論理的な結論付けができる。 5)適切な発表資料が作成でき、分かりやすい発表ができる。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし						
評価方法		取り組む姿勢(議論への参加、課題の提出および受け取りなど)60%、および論文の完成度(論文内容と、発表時の受け答え)により総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		演習時間以外に各自で 30 時間以上の研究活動をおこなうこと。						
オフィスアワー		在室時は随時対応する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	既往研究のレビュー					S G D	三 宮
2	1)	既往研究のレビュー					S G D	三 宮
3	1)	既往研究のレビュー					S G D	三 宮
4	2)	研究資料の収集					演 習	三 宮
5	2)	研究資料の収集					演 習	三 宮
6	2)	研究資料の収集					演 習	三 宮
7	2)	研究資料の収集					演 習	三 宮
8	3)4)	分析・考察の報告					S G D	三 宮
9	3)4)	分析・考察の報告					S G D	三 宮
10	3)4)	分析・考察の報告					S G D	三 宮
11	3)4)	分析・考察の報告					S G D	三 宮
12	4)5)	発表演習					S G D	三 宮
13	4)5)	発表演習					S G D	三 宮
14	4)5)	発表演習					S G D	三 宮
15	4)5)	中間発表					S G D	三 宮
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名		臨床福祉学演習Ⅲ			授業コード	121333A125	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科臨床福祉専攻(4 年)			ナンバリング	13C411P01	AL 科目	○
担当者		日田 剛(福・福)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		自らが関心を持つ分野について具体的に何を問い、何を明らかにするのか、研究計画に沿って研究を進めていくことを目標とする(DP6)。						
学修目標		1)研究テーマを設定できる 2)文献など先行研究について調査できる 3)研究方法を設定して進めることができる						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、高齢者施設でのケア、ソーシャルワークを5年以上、社会福祉士としてのフィールドソーシャルワーク10年以上の経験を有している。また社会福祉に関しての研究に7年以上携わっている。特に社会福祉の固有性について議論を深めることを本科目では意識している。						
評価方法		取組み姿勢50%、提出課題等50%						
準備学習・ 履修上の注意等		自らがどの分野に興味関心があるのかを日頃から意識してほしい。好奇心を持って卒業研究に向かえるように心がけること。						
オフィスアワー		随時対応						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション					演 習	日田 剛
2	1)	研究テーマの確認、検討①					演 習	日田 剛
3	1)	研究テーマの確認、検討②					演 習	日田 剛
4	2)	参考文献について①					演 習	日田 剛
5	2)	参考文献について②					演 習	日田 剛
6	2) 3)	先行研究について①					演 習	日田 剛
7	2) 3)	先行研究について②					演 習	日田 剛
8	3)	調査方法について①					演 習	日田 剛
9	3)	調査方法について②					演 習	日田 剛
10	3)	調査方法について③					演 習	日田 剛
11	3)	調査方法について④					演 習	日田 剛
12	3)	調査方法について⑤					演 習	日田 剛
13	3)	調査方法について⑥					演 習	日田 剛
14	3)	研究報告①発表					演 習	日田 剛
15	3)	研究報告②発表					演 習	日田 剛
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			指定なし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			指定なし					

科目名		臨床福祉学演習Ⅲ		授業コード	121333A127	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(4 年)		ナンバリング	13C411P01	AL 科目	○
担当者		川崎 順子(福・福)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態 演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		臨床福祉学演習Ⅲでは、演習Ⅰ・Ⅱを基礎としながら、各自で研究するテーマに基づく、研究の調査・分析方法を修得する臨床DP(2)(3)(5)(6)(7)					
学修目標		1)演習Ⅲの目的を理解し、相互学習に主体的に参加できる。 2)関心のある研究領域を探索し、率先して研究に取り組むことができる。 3)グループ討議において、自分の意見を持ち、発言することができる。 4)調査・文献研究等の情報収集が適切にできる。 5)資料収集・調査などをまとめ、分析することができる。 6)調査・研究で取り組んだ内容をまとめ、発表することができる。					
実務経験のある 教員による教育		科目担当(川崎)は、行政や社会福祉協議会などの実践現場 5 年以上の経験に基づき、社会福祉に関連する研究の調査・分析方法を修得することを目的とした授業を行う。					
評価方法		課題・レポート 50%・取り組み姿勢 50%などにより総合的に評価する。					
準備学習・ 履修上の注意等		1 コマあたり 1 時間の予習・復習を行う。具体的には、研究テーマに沿った現地調査の準備や調査実施、調査結果集計などのデータ整理・分析等に取り組む。また、関連する社会活動へ参加し、レポートを作成する。さらに、添削指導に基づき、計画的に執筆作業を進める。					
オフィスアワー		担当教員に確認のこと。					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 演習Ⅲの目的・進め方・取り組み方を理解する				演 習	川 崎
2	1)2)	【研究の進め方①】 演習Ⅱにおける研究テーマの再確認を行う				演 習	川 崎
3	1)2)3) 6)	【研究の進め方②】 研究テーマの発表を行う				演 習	川 崎
4	2)	【研究テーマに沿った演習・実験・調査・情報収集の実施①】 研究テーマを確定する				演 習	川 崎
5	2)4)	【研究テーマに沿った演習・実験・調査・情報収集の実施②】 研究テーマに関する先行研究の収集・整理・まとめを行う				演 習	川 崎
6	2)3)4)	【研究テーマに沿った演習・実験・調査・情報収集の実施③】 研究テーマに関する先行研究の収集・整理・まとめ・討議を行う				演 習	川 崎
7	4)	【演習・調査・情報収集の方法とその計画①】 研究テーマに沿った演習・調査の方法を知る				演 習	川 崎
8	4)	【演習・調査・情報収集の方法とその計画②】 研究テーマに沿った演習・調査の準備をする				演 習	川 崎
9	6)	【中間発表】 演習・調査・情報収集等についての計画発表を行う				演 習	川 崎
10	4)	【演習・調査・情報収集の実施①】 演習・調査を実施する				演 習	川 崎
11	4)	【演習・実験・調査・情報収集の実施②】 演習・調査を実施する				演 習	川 崎
12	4)	【演習・実験・調査・情報収集の実施③】 演習・調査を実施する				演 習	川 崎
13	4)5)	【演習・実験・調査・情報収集のまとめ①】 演習・調査・文献収集結果のまとめを行う				演 習	川 崎
14	4)5)	【演習・実験・調査・情報収集のまとめ②】 演習・調査・文献収集結果のまとめを行う				演 習	川 崎
15	2)6)	【研究の進捗状況の確認】 研究テーマ、目的、方法、結果の進捗状況を確認する				演 習	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			随時、参考図書を紹介する。				

科目名		臨床福祉学演習Ⅲ			授業コード	121333A129	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科、4 年			ナンバリング	13C411P01	AL 科目	○
担当者		藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		「現代社会における社会福祉問題」をテーマとする。各自テーマを決め順次報告し、討論を重ねていく。前期では受講生の関心 領域について、文献や新聞等より取り上げて報告する。後期ではさらに関心領域を絞り、文献を取り上げて報告する。福 DP1～ 4						
学修目標		私たちが直面する問題についてその実態を把握するとともに、制度政策のあり方、具体的なソーシャルワークのあり方等につい て学習することを目的とする。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし						
評価方法		出席状況・受講態度(40%)、レポート・課題発表の結果(60%)によって評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		問題意識を明確にし積極的に研究テーマに取り組むこと。予習・復習を行い毎回の授業に臨むこと。						
オフィスアワー		研究室前に掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 講義の進め方と概要					演 習	藤 原
2	1)	テーマ設定の仕方					演 習	藤 原
3	1)	資料の探し方					演 習	藤 原
4	1)	図書館の利用					演 習	藤 原
5	1)	報告レジュメの書き方					演 習	藤 原
6	1)	発表の仕方					演 習	藤 原
7	1)	各自関心のあるテーマの設定					演 習	藤 原
8	1)	グループ発表					演 習	藤 原
9	1)	討論					演 習	藤 原
10	1)	個人発表					演 習	藤 原
11	1)	討論					演 習	藤 原
12	1)	文献抄録発表					演 習	藤 原
13	1)	個人発表					演 習	藤 原
14	1)	討論					演 習	藤 原
15	1)	振り返り					演 習	随時紹介する。
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			随時紹介する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			随時紹介する。					

科目名		臨床福祉学演習Ⅲ			授業コード	121333A130	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C411P01	AL 科目	○
担当者		児崎 友美(福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		卒業研究を行い、卒業論文作成の準備を行う。 臨床福祉学演習Ⅰ、Ⅱで習得した社会福祉に関する専門的知識および技術を軸に、研究テーマに沿った研究をまとめ、表現する力(卒業研究発表、卒業論文作成)を習得する。 DP: (2)(3)(6)、CP: 1-(8)						
学修目標		1)演習Ⅲの目的を理解し、相互学修に主体的に参加できる。 2)関心のある研究領域を探索し、率先して研究に取り組むことができる。 3)グループ討議において、自分の意見を持ち発言することができる。 4)調査・文献研究等の情報収集が適切にできる。 5)資料収集・調査などをまとめ、分析することができる。 6)調査・研究で取り組んだ内容をまとめ、わかりやすく発表することができる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当(児崎)は、特別養護老人ホームや地域包括支援センター等の高齢者福祉分野において 15 年以上の経験がある。この経験に基づき、社会福祉に関する研究テーマの設定や研究方法の修得を目的とした授業を展開する。						
評価方法		課題・レポート 50% 取り組み姿勢 50% を目安に総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		1 コマあたり 1 時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的には、研究テーマに沿った現地調査の準備や調査実施、調査結果集計などのデータ整理・分析に取り組む。 また関連する社会活動へ参加し、レポートを作成する。さらに添削指導に基づき、計画的に卒業論文の執筆作業を進める。						
オフィスアワー		研究室ドアに張り出す。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 演習Ⅲの目的、進め方、取組内容や方法について理解する。					講義・演習	児 崎
2	1)2)	卒業研究の進め方 演習Ⅱにおける研究テーマの再確認を行う。					演 習	児 崎
3	1)2)3) 6)	卒業研究の進め方 研究テーマの発表(確定)を行う。					演 習	児 崎
4	2)	研究テーマに沿った演習・調査等の実施 研究テーマに沿い、先行研究等の収集・整理・まとめを行う。					講義・演習	児 崎
5	2)4)	研究テーマに沿った演習・調査等の実施 研究テーマに沿い、先行研究等の収集・整理・まとめを行う。					演 習	児 崎
6	2)3)4)	研究テーマに沿った演習・調査等の実施 研究テーマに沿い、先行研究等の収集・整理・まとめを行う。					演 習	児 崎
7	4)	演習・調査・情報収集 研究テーマに沿った演習・調査・情報収集を行う。					講義・演習	児 崎
8	4)	演習・調査・情報収集 研究テーマに沿った演習・調査・情報収集を行う。					演 習	児 崎
9	6)	卒業研究中間発表会 卒業研究の進捗状況をまとめ、発表する。					演 習	児 崎
10	4)	演習・調査・情報収集 研究テーマに沿った演習・調査・情報収集を行う。					演 習	児 崎
11	4)	演習・調査・情報収集 研究テーマに沿った演習・調査・情報収集を行う。					演 習	児 崎
12	4)	研究結果のまとめ 演習・調査・文献整理等の結果をまとめる。					演 習	児 崎
13	4)5)	研究結果のまとめ 演習・調査・文献整理等の結果をまとめる。					演 習	児 崎
14	4)5)	研究結果のまとめ 演習・調査・文献整理等の結果をまとめる。					演 習	児 崎
15	2)6)	卒業研究発表会(前期) 卒業研究の進捗状況を発表する。					演 習	児 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			教科書の指定なし。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			随時、参考図書の紹介を行う。					

科目名	臨床福祉学演習Ⅳ			授業コード	121334A108	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉専攻(4年生)			ナンバリング	13C412P01	AL 科目	○
担当者	稲田 弘子(福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	大学は「学問」をするところです。「学問」とは「学」んで「問」うことです。社会福祉分野の専門的知識を単に「学」ぶだけではなく、自分でさまざまなことに「問」いを発していくことで新たな解決法や対処法を身につけていくことができます。社会はこのような人材を求めています。 (「臨床福祉学演習Ⅱ」では、各ゼミ生が卒業論文のテーマ設定、論文作成スケジュールの立案、研究の実際、論文の著述、論文の報告ができる能力を修得する。(DP6.7)(CP8)						
学修目標	1)論文作成のスケジュールを立案する。 2)個別指導を受けながら、論文作成を行う。 3)論文形態にまとめることができる。 4)卒業論文の報告を行うことができる。						
実務経験のある 教員による教育	稲田は、福祉・医療現場 5 年以上の経験と、認知症や介護過程等に関する論文投稿や学会発表などの研究活動を5年以上継続しており、その経験に基づき、研究の視点、方法、卒業論文作成を目的とした授業を行う。						
評価方法	演習内容、演習態度、出欠状況で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉分野に関心のある学生 福祉分野に興味のある学生。 授業以外に、新聞を読んだり、図書館で文献を読むこと。						
オフィスアワー	時間割確定後に研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)	オリエンテーション				講 義	稲 田
2	1)	論文作成のための後期スケジュールをたてる。				演 習	稲 田
3	2)	個別指導				演 習	稲 田
4	2)	個別指導				演 習	稲 田
5	2)	個別指導				演 習	稲 田
6	2)	個別指導				演 習	稲 田
7	2)	個別指導				演 習	稲 田
8	3)	これまでの成果をまとめる				演 習	稲 田
9	3)	これまでの成果をまとめる				演 習	稲 田
10	3)	ゼミ内での発表・意見交換				演 習	稲 田
11	3)	卒業発表会の準備				演 習	稲 田
12	3)	卒業発表会の準備				演 習	稲 田
13	3)	卒業発表会の準備				演 習	稲 田
14	4)	卒業発表会の準備				演 習	稲 田
15	4)	卒業発表会 発表				演 習	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。必要時はプリント配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	臨床福祉学演習Ⅳ			授業コード	121334A120	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C412P01	AL 科目	○
担当者	西田 美香(臨床福祉学科)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	本演習は、卒業論文作成の具体的な方法(テーマ設定、情報収集、調査方法等)の習得を目的とする。さらに、自分の興味、 関心のあるテーマに関する情報収集で得た内容を他者に伝えるためのプレゼンテーション力を身につける。						
学修目標	1) 研究の進め方について理解し、重要なポイントについて説明できる。 2) 研究テーマに関する文献を収集することができる。 3) 文献を精読することができる。 4) 研究テーマに関して明らかになったことや新たな課題について説明できる。 5) 関心のある研究テーマを設定することができる。 6) 研究計画を作成し進める。 7) 研究内容のプレゼンテーションを行うことができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での 6 年以上の実務経験に基づ き、我が国における医療や社会福祉の現状や課題、支援のあり方のより具体的な理解を促すとともに、学生自らが医療福祉の 諸課題に対して能動的に考え行動する力の醸成を目指した演習を行う。						
評価方法	学習態度 40%、ゼミでの発表内容 30%、課題の提出 30%として、総合的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	本演習では卒業論文作成の具体的な方法を学習するが、集めた情報を咀嚼する作業や調査研究を進める具体的な作業に ついては演習時間外で学生が主体的に実施していくことが基本となる。そのため、常に問題意識を持ち、積極的に行動するとい う姿勢で取り組んでいただきたい。						
オフィスアワー	火・木・金曜日 12:30～13:00 場所 B-411						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション				演 習	西 田
2	2)3)4) 5)6)	調査準備と実践①				演 習	西 田
3	2)3)4) 5)6)	調査準備と実践②				演 習	西 田
4	2)3)4) 5)6)	調査準備と実践③				演 習	西 田
5	7)	プレゼンテーション①				演 習	西 田
6	2)3)4) 5)6)	調査結果のまとめ①				演 習	西 田
7	2)3)4) 5)6)	調査結果のまとめ②				演 習	西 田
8	2)3)4) 5)6)	調査結果のまとめ③				演 習	西 田
9	2)3)4) 5)6)	調査結果のまとめ④				演 習	西 田
10	2)3)4) 5)6)	調査結果のまとめ⑤				演 習	西 田
11	2)3)4) 5)6)	調査結果のまとめ⑥				演 習	西 田
12	2)3)4) 5)6)	調査結果のまとめ⑦				演 習	西 田
13	2)3)4) 5)6)	調査結果のまとめ⑧				演 習	西 田
14	7)	プレゼンテーション②				演 習	西 田
15	2)3)4) 5)6)	まとめ				演 習	西 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない。					

科目名	臨床福祉学演習Ⅳ			授業コード	121334A121	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C412P01	AL 科目	○	
担当者	清水 径子(福・福)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】 各自のテーマに併せた卒業論文の調査結果をまとめ、卒業論文の書き方を理解し、個別指導を通して作成していく。卒業論文 の研究内容をわかりやすく他者にプレゼンする。DP(2)(3)(6) 【一般目標】 卒業論文の書き方を理解し、作成できる。また、研究に対する姿勢を学び、他者に研究結果を報告できる。CP2(11)							
学修目標	1)卒業論文を作成し、完成することができる。 2)論文を簡潔にまとめることができる。 3)論文をわかりやすく報告することができる。							
実務経験のある 教員による教育	科目担当者の清水は、介護福祉士として高齢者施設での 6 年の実務経験及び 5 年以上の研究活動に基づき、臨床福祉学に 必要な視点や課題などを含めた指導を行う。							
評価方法	個別指導の状況(課題提出状況など)40%、学習態度(課題、ゼミ活動への取り組み姿勢、質問等の発言)30%、発表の内容(ま とめ方、プレゼン力、わかりやすさ等)30%で評価する。授業開始日に詳細な評価基準を説明する。							
準備学習・ 履修上の注意等	演習時間外での研究活動や論文作成を学生が主体的に実施していく必要がある。							
オフィスアワー	研究室前に掲示する							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	卒業論文作成指導(個別指導)					演 習	清 水
2	1)	卒業論文作成指導(個別指導)					演 習	清 水
3	1)	卒業論文作成指導(個別指導)					演 習	清 水
4	1)	卒業論文作成指導(個別指導)					演 習	清 水
5	1)	卒業論文作成指導(個別指導)					演 習	清 水
6	1)	卒業論文作成指導(個別指導)					演 習	清 水
7	1)	卒業論文作成指導(個別指導)					演 習	清 水
8	1)	卒業論文作成指導(個別指導)					演 習	清 水
9	1)	卒業論文作成指導(個別指導)					演 習	清 水
10	1)	卒業論文作成指導(個別指導)					演 習	清 水
11	1)	卒業論文作成指導(個別指導)					演 習	清 水
12	1)3)	発表会に向けたプレゼンの準備					演 習	清 水
13	2)3)	発表会に向けたプレゼンの準備					演 習	清 水
14	2)3)	発表会に向けたプレゼンの準備					演 習	清 水
15	3)	卒業研究報告会					演 習	清 水
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名		臨床福祉学演習Ⅳ			授業コード	121334A122	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科 4 年			ナンバリング	13C412P01	AL 科目	○
担当者		三宮 基裕(福・臨)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		【授業の概要】 研究力を身につけつために、研究活動および学術論文執筆の基礎を学ぶとともに、研究成果のプレゼンテーション力を習得する。 【一般目標(GIO)】 必要な研究資料を収集の方法と、得た資料に対する分析考察の仕方を学ぶ。 研究テーマについて論理的な結論付けができるようになる。 【対応するポリシーNo.】 DP6、CP1(8)、CP2(1)、CP3(3)						
学修目標		1)既往研究を読み、要約および他者へ報告できる。 2)適切な研究資料の収集方法が選択でき、資料の収集ができる。 3)研究資料を適切な方法で集計し、客観的立場からの分析と、適切な考察ができる。 4)論理的な結論付けができる。 5)適切な発表資料が作成でき、分かりやすい発表ができる。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし						
評価方法		取り組む姿勢(議論への参加、課題の提出および受け取りなど)60%、および論文の完成度(論文内容と、発表時の受け答え)により総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		演習時間以外に各自で 30 時間以上の研究活動をおこなうこと。						
オフィスアワー		在室時は随時対応する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	2)	研究資料の収集					演 習	三 宮
2	2)	研究資料の収集					演 習	三 宮
3	2)	研究資料の収集					演 習	三 宮
4	2)	研究資料の収集					演 習	三 宮
5	2)	研究資料の収集					演 習	三 宮
6	3)4)	分析・考察の報告					S G D	三 宮
7	3)4)	分析・考察の報告					S G D	三 宮
8	3)4)	分析・考察の報告					S G D	三 宮
9	3)4)	分析・考察の報告					S G D	三 宮
10	3)4)	分析・考察の報告					S G D	三 宮
11	3)4)	分析・考察の報告					S G D	三 宮
12	4)5)	発表演習					S G D	三 宮
13	4)5)	発表演習					S G D	三 宮
14	4)5)	発表演習					S G D	三 宮
15	4)5)	発表					S G D	三 宮
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名		臨床福祉学演習Ⅳ			授業コード	121334A125	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		社会福祉学科臨床福祉専攻(4 年)			ナンバリング	13C412P01	AL 科目	○
担当者		日田 剛(福・福)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		研究テーマについて、自らが設定した研究方法を用いて研究を進める。最終的には卒業論文としてまとめ、研究概要を発表する(DP6)。						
学修目標		1)研究について基本的なプロセスを学ぶ 2)論文を作成し研究成果を発表する						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、高齢者施設でのケア、ソーシャルワークを 5 年以上、社会福祉士としてのフィールドソーシャルワーク 10 年以上の経験を有している。また社会福祉に関しての研究に 7 年以上携わっている。特に社会福祉の固有性について議論を深めることを本科目では意識している。						
評価方法		取組み姿勢50%、卒業論文の結果50%で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		計画的に研究を進めて、自分なりの答えを導き出してほしい。						
オフィスアワー		随時対応						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1) 2)	オリエンテーション					講義・演習	日田 剛
2	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
3	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
4	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
5	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
6	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
7	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
8	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
9	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
10	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
11	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
12	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
13	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
14	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
15	1) 2)	卒業研究報告会					演 習	日田 剛
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名		臨床福祉学演習Ⅳ		授業コード	121334A127	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(4 年)		ナンバリング	13C412P01	AL 科目	○
担当者		川崎 順子(福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態 演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		臨床福祉学演習Ⅳでは、演習Ⅲを基礎としながら、各自で研究するテーマに基づく、研究の調査・分析方法を習得する臨床DP(2)(3)(5)(6)(7)					
学修目標		1)演習Ⅳの目的を理解し、相互学習に主体的に参加できる。 2)関心のある研究領域を探索し、率先して研究に取り組むことができる。 3)グループ討議において、自分の意見を持ち、発言することができる。 4)調査・文献研究等の情報収集が適切にできる。 5)資料収集・調査などをまとめ、分析することができる。 6)調査・研究で取り組んだ内容をまとめ、発表することができる。					
実務経験のある 教員による教育		科目担当(川崎)は、行政や社会福祉協議会などの実践現場 5 年以上の経験に基づき、卒業研究と連動して社会福祉関連領域における研究に資する議論を深められる事を目的に授業を行う。					
評価方法		課題・レポート 50%・取り組み姿勢 50%などにより総合的に評価する。					
準備学習・ 履修上の注意等		1 コマあたり 1 時間の予習・復習を行う。具体的には、研究テーマに沿った現地調査の準備や調査実施、調査結果集計などのデータ整理・分析等に取り組む。また、関連する社会活動へ参加し、レポートを作成する。さらに、添削指導に基づき、計画的に執筆作業を進める。					
オフィスアワー		担当教員に確認のこと。					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)6)	【オリエンテーション】 演習Ⅳの目的・進め方・取り組み方を理解する 【研究の進捗状況の確認】 研究テーマ、目的、方法、結果の進捗状況を確認する				演 習	川 崎
2	3)6)	【各自の研究テーマの発表と課題①】 各自の研究の発表と討論を行う				演 習	川 崎
3	1)2)3) 6)	【各自の研究テーマの発表と課題②】 各自の研究の発表と討論を行う				演 習	川 崎
4	1)2)3) 6)	【各自の研究テーマの発表と課題③】 各自の研究の発表と討論を行う				演 習	川 崎
5	4)5)	【研究論文の作成①】 論文の執筆を開始する				演 習	川 崎
6	4)5)	【研究論文の作成②】 論文作成を行う				演 習	川 崎
7	4)5)	【研究論文の作成③】 論文作成を行う				演 習	川 崎
8	4)5)	【研究論文の作成④】 論文作成を行う				演 習	川 崎
9	3)5)	【研究論文の作成⑤】 論文作成を行う				演 習	川 崎
10	3)5)	【研究論文の推敲①】 論文の推敲、指導教員の指導を受ける				演 習	川 崎
11	3)5)	【研究論文の推敲②】 論文の推敲、指導教員の指導を受ける				演 習	川 崎
12	3)5)	【研究論文の推敲③】 論文の推敲、指導教員の指導を受ける				演 習	川 崎
13	6)	【研究発表の仕方①】 研究発表の準備を行う				演 習	川 崎
14	6)	【研究発表の仕方②】 研究発表の準備を行う				演 習	川 崎
15	5)6)	【まとめ】 要点の整理を確認する				演 習	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			随時、参考図書を紹介する。				

科目名		臨床福祉学演習Ⅳ			授業コード	121334A129	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科、4 年			ナンバリング	13C412P01	AL 科目	○
担当者		藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		「現代社会における社会福祉問題」をテーマとする。各自テーマを決め順次報告し、討論を重ねていく。前期では受講生の関心 領域について、文献や新聞等より取り上げて報告する。後期ではさらに関心領域を絞り、文献を取り上げて報告する。福 DP1～ 4						
学修目標		私たちが直面する問題についてその実態を把握するとともに、制度政策のあり方、具体的なソーシャルワークのあり方等につい て学習することを目的とする。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし						
評価方法		出席状況・受講態度(40%)、レポート・課題発表の結果(60%)によって評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		問題意識を明確にし積極的に研究テーマに取り組むこと。予習・復習を行い毎回の授業に臨むこと。						
オフィスアワー		研究室前に掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 講義の進め方と概要					演 習	藤 原
2	1)	テーマ設定の仕方					演 習	藤 原
3	1)	資料の探し方					演 習	藤 原
4	1)	図書館の利用					演 習	藤 原
5	1)	報告レジュメの書き方					演 習	藤 原
6	1)	図書館の利用					演 習	藤 原
7	1)	各自関心のあるテーマの設定					演 習	藤 原
8	1)	グループ発表					演 習	藤 原
9	1)	討論					演 習	藤 原
10	1)	個人発表					演 習	藤 原
11	1)	討論					演 習	藤 原
12	1)	文献抄録発表					演 習	藤 原
13	1)	個人発表					演 習	藤 原
14	1)	討論					演 習	藤 原
15	1)	振り返り					演 習	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			随時紹介する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			随時紹介する。					

科目名	臨床福祉学演習Ⅳ			授業コード	121334A130	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C412P01	AL 科目	○
担当者	児崎 友美(福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	演習Ⅲを基礎とし、各自で研究するテーマに基づく研究の調査・分析方法を習得する。 DP: (2)(6)(7)、CP: 1-(8)						
学修目標	1)演習Ⅳの目的を理解し、相互学修に主体的に参加できる。 2)関心のある研究領域を探索し、率先して研究に取り組むことができる。 3)グループ討議において、自分の意見を持ち発言することができる。 4)調査・文献研究等の情報収集が適切にできる。 5)資料収集・調査などをまとめ、分析することができる。 6)調査・研究で取り組んだ内容をまとめ、わかりやすく発表することができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(児崎)は、特別養護老人ホームや地域包括支援センター等の高齢者福祉分野において 15 年以上の経験がある。この経験に基づき、社会福祉に関する研究テーマの設定や研究方法の修得を目的とした授業を展開する。						
評価方法	課題・レポート 50% 取組み姿勢 50% を目安に総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	1 コマあたり 4 時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的には、研究テーマに関連する領域の先行研究や文献検索を行う。先行研究や文献を通読し、レポートにまとめる。 研究計画に基づいて、論文の執筆作業を行い、授業時に提出する。 研究進捗状況に応じて、計画的に、自主的に研究を進める。						
オフィスアワー	研究室ドアに張り出す。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 演習Ⅳの目的、進め方、取り組み方について確認する。 卒業研究の進捗状況を確認する。				講義・演習	児 崎
2	1)2)	研究テーマの発表と課題 各自の研究内容の発表と討論を行う。				演 習	児 崎
3	1)2)3) 6)	研究テーマの発表と課題 各自の研究内容の発表と討論を行う。				演 習	児 崎
4	2)	研究テーマの発表と課題 各自の研究内容の発表と討論を行う。				講義・演習	児 崎
5	2)4)	卒業論文の作成 論文の執筆を始める。				演 習	児 崎
6	2)3)4)	卒業論文の作成 卒業論文を作成する。				演 習	児 崎
7	4)	卒業論文の作成 卒業論文を作成する。				講義・演習	児 崎
8	4)	卒業論文の作成 卒業論文を作成する。				演 習	児 崎
9	6)	卒業論文の作成 卒業論文を作成する。				演 習	児 崎
10	4)	卒業論文の推敲 指導教員の指導を受ける。 卒業論文の修正をする。				演 習	児 崎
11	4)	卒業論文の推敲 指導教員の指導を受ける。 卒業論文の修正をする。				演 習	児 崎
12	4)	卒業論文の推敲 指導教員の指導を受ける。 卒業論文の修正をする。				演 習	児 崎
13	4)5)	卒業研究発表の仕方 卒業研究の発表準備を行う。				演 習	児 崎
14	4)5)	卒業研究発表の仕方 卒業研究の発表準備を行う。				演 習	児 崎
15	2)6)	卒業研究発表会 卒業研究を発表する。				演 習	児 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		教科書の指定なし。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		随時、参考図書の紹介を行う。					

科目名	卒業研究Ⅰ				授業コード	120735B103	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)				ナンバリング	13C411P02	AL 科目	○	
担当者	正野 知基(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期		必修・選択	必 修	授業形態	S G D	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	スポーツ健康福祉学演習Ⅰ・Ⅱを踏まえ、各自の研究テーマを絞り込み、卒業研究のテーマを決定する。研究を遂行するために研究目的を明確にし、研究計画を立てて調査・研究を行い、論文としてまとめていく。スポーツ健康福祉学演習Ⅲと連動させて実施し、執筆した章毎にそれぞれが発表し、ゼミ生全員で内容の確認、誤字脱字の修正などを行い、情報を共有しながら卒業論文の完成を目指す。								
学修目標	1)卒業研究のテーマ設定を行い、その内容を説明できる。 2)研究目的を明確にし、研究計画を立てることができる。 3)設定した課題について研究計画に基づき調査を行い、調査した結果を文章にまとめ、発表・討論することができる。 4)メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。								
実務経験のある 教員による教育									
評価方法	発表内容(80%)および討論への参加・取り組み状況(20%)を総合的に評価する。								
準備学習・ 履修上の注意等	SGD への積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと(予習復習の目安は1コマ当たり4時間)。								
オフィスアワー	毎週月曜～水曜日 12:30～13:00								
授業計画									
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容						授業 方法	担当
1	1)4)	卒業研究のテーマ発表						S G D	正 野
2	2)4)	卒業研究 目的(緒言)・方法・目次(1)						S G D	正 野
3	2)4)	卒業研究 目的(緒言)・方法・目次(2)						S G D	正 野
4	2)4)	卒業研究 目的(緒言)・方法・目次(3)						S G D	正 野
5	2)4)	卒業研究 目的(緒言)・方法・目次(4)						S G D	正 野
6	3)4)	卒業研究中間発表会						S G D	正 野
7	2)4)	卒業研究中間発表見直し						S G D	正 野
8	3)4)	卒業研究発表・討論(1)						S G D	正 野
9	3)4)	卒業研究発表・討論(2)						S G D	正 野
10	3)4)	卒業研究発表・討論(3)						S G D	正 野
11	3)4)	卒業研究発表・討論(4)						S G D	正 野
12	3)4)	卒業研究発表・討論(5)						S G D	正 野
13	3)4)	卒業研究発表・討論(6)						S G D	正 野
14	3)4)	卒業研究発表・討論(7)						S G D	正 野
15	3)4)	卒業研究発表・討論(8)						S G D	正 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。							
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。							

科目名		卒業研究Ⅰ			授業コード	120735B105	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C411P02	AL 科目	○
担当者		松田 智香子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義、演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		演習Ⅰ、Ⅱで積み上げられた内容を踏まえて関心がある研究テーマを決定する。研究テーマについて適切な研究計画を立て、 実験あるいは調査を踏まえた論文の作成を行うことによって、体系的な論文作成の方法を修得する。						
学修目標		1) 関心のあるテーマについて先行研究等の文献収集の方法や資料管理方法を理解し活用することができる。 2) 管理している資料を総合的に分析し、それに基づいた意見を客観的に他者に説明することができる。 3) 自らの意見を他者とディスカッションできる。 4) 論文作成のための方法の基礎を理解できる。 5) 調査した内容を論理的にまとめ、論文として仕上げるすることができる。						
実務経験のある 教員による教育		特になし						
評価方法		卒業論文・要旨作成(100%)						
準備学習・ 履修上の注意等		卒業論文、要旨を完成させるために、適宜論文の推敲を受ける。 指摘を受けた内容や研究内容の発展について次時までに準備を行う必要があるため、1 コマあたり 4 時間を目安に事前準備を 行うこと。						
オフィスアワー		講義前後の空き時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	【卒業研究の意義、進め方、提出日等の基本事項の理解】					演習、SGD	松 田
2	4)	【卒業研究のデザイン①】					演習、SGD	松 田
3	4)	【卒業研究のデザイン②】					演習、SGD	松 田
4	4)	【論文の書き方①】					演習、SGD	松 田
5	4)	【論文の書き方②】					演習、SGD	松 田
6	1)2)3)	【論文の書き方③】					演習、SGD	松 田
7	1)2)3)	【研究結果のまとめ方①】					演習、SGD	松 田
8	1)2)3)	【研究結果のまとめ方②】					演習、SGD	松 田
9	1)2)3)	【研究結果のまとめ方③】					演習、SGD	松 田
10	1)2)3)	【研究結果のまとめ方④】					演習、SGD	松 田
11	1)2)3)	【研究結果のまとめ方⑤】					演習、SGD	松 田
12	1)2)3)	【研究の考察について①】					演習、SGD	松 田
13	1)2)3)	【研究の考察について②】					演習、SGD	松 田
14	1)2)3)	【研究の考察について③】					演習、SGD	松 田
15		【内容の確認】					演習、SGD	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	卒業研究Ⅰ			授業コード	120735B107	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4年)			ナンバリング	13C411P02	AL科目	○
担当者	山本 順之(福・ス)	開講学期	2024年度前期	必修・選択	必修	授業形態	講義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	演習Ⅰ、Ⅱで積み上げられた内容を踏まえて関心がある研究テーマを決定する。研究テーマについて適切な研究計画を立て、 実験あるいは調査を踏まえた論文の作成を行うことによって、体系的な論文作成の方法を修得する。						
学修目標	1)関心のあるテーマを設定し、先行研究等の文献収集の方法や資料管理方法について理解し活用することができる。 2)管理している資料を総合的に分析し、それに基づいて客観的に他者に説明することができる。 3)自らが調べた内容について他者とディスカッションできる。						
実務経験のある 教員による教育							
評価方法	卒業論文・要旨作成(100%)						
準備学習・ 履修上の注意等	研究資料・関係資料を良く読み理解すること。 他の研究との比較もすること。						
オフィスアワー	月曜日2限、火曜日2限						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【卒業研究の意義、進め方、提出日等の基本事項の理解】				講義・演習	山 本
2	4)	【卒業研究のデザイン①】				講義・演習	山 本
3	4)	【卒業研究のデザイン②】				講義・演習	山 本
4	4)	【論文の書き方①】				講義・演習	山 本
5	4)	【論文の書き方②】				講義・演習	山 本
6	1)2)3)	【論文の書き方③】				講義・演習	山 本
7	1)2)3)	【研究結果のまとめ方①】				講義・演習	山 本
8	1)2)3)	【研究結果のまとめ方②】				講義・演習	山 本
9	1)2)3)	【研究結果のまとめ方③】				講義・演習	山 本
10	1)2)3)	【研究結果のまとめ方④】				講義・演習	山 本
11	1)2)3)	【研究結果のまとめ方⑤】				講義・演習	山 本
12	1)2)3)	【研究の考察について①】				講義・演習	山 本
13	1)2)3)	【研究の考察について②】				講義・演習	山 本
14	1)2)3)	【研究の考察について③】				講義・演習	山 本
15	1)2)3)	【内容の確認】				講義・演習	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		卒業研究Ⅰ			授業コード	120735B117	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(4 年次)			ナンバリング	13C411P02	AL 科目	○
担当者		西田 美香(臨床福祉学科)	開講学期	2024 年度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		臨床福祉学演習で学んだことを通して、各自の研究テーマを具体的に絞り込む。そして、関連する文献を収集し情報の整理を行い、これまで明らかになっていることと明らかになっていないことを明らかにする。更に、本研究で明らかにしたい事柄の明確化を図り、研究計画を立て研究を進める(DP6)。この一連のプロセスを経ることにより、論文作成の手法を理解するとともに、研究に対する姿勢を学ぶ(CP8)。						
学修目標		1)本研究を通して、何を明らかにしたいのかを確定することができる。 2)適切な調査方法を選択できる。 3)調査に必要な手続きをふみ、倫理規定を守りながら調査を進めることができる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での 6 年以上の実務経験に基づき、我が国における医療や社会福祉の現状や課題、支援のあり方のより具体的な理解を促すとともに、学生自らが医療福祉の諸課題に対して能動的に考え行動する力の醸成を目指した指導を行う。						
評価方法		出席状況 30%、取組み姿勢 30%、卒業論文の結果 40%で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		探求心をもって、積極的に調査研究に臨んでいただきたい。						
オフィスアワー		火・木・金曜日 12:30～13:00 場所 B-411						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3)	オリエンテーション					演 習	西 田
2	1)2)3)	卒業論文作成指導					演 習	西 田
3	1)2)3)	卒業論文作成指導					演 習	西 田
4	1)2)3)	卒業論文作成指導					演 習	西 田
5	1)2)3)	卒業論文作成指導					演 習	西 田
6	1)2)3)	卒業論文作成指導					演 習	西 田
7	1)2)3)	卒業論文作成指導					演 習	西 田
8	1)2)3)	卒業論文作成指導					演 習	西 田
9	1)2)3)	卒業論文作成指導					演 習	西 田
10	1)2)3)	卒業論文作成指導					演 習	西 田
11	1)2)3)	卒業論文作成指導					演 習	西 田
12	1)2)3)	卒業論文作成指導					演 習	西 田
13	1)2)3)	卒業論文作成指導					演 習	西 田
14	1)2)3)	卒業論文作成指導					演 習	西 田
15	1)2)3)	中間報告会					演 習	西 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名		卒業研究Ⅰ			授業コード	120735B120	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(4年)			ナンバリング	13C411P02	AL科目	○
担当者		稲田 弘子(福・福)	開講学期	2024年度前期	必修・選択	必修	授業形態	演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		大学は「学問」をするところです。「学問」とは「学」んで「問」うことです。社会福祉分野の専門的知識を単に「学」ぶだけではなく、自分でさまざまなことに「問」いを発していくことで新たな解決法や対処法を身につけていくことができます。社会はこのような人材を求めています。 「卒業研究」では、臨床福祉学演習Ⅰ、Ⅱで得られた知識をもとに、卒業論文としてまとめる知識・スキルを修得する。 (DP6.7)(CP8)						
学修目標		1)卒業論文を作成、完成することができる。						
実務経験のある 教員による教育		稲田は、福祉・医療現場5年以上の経験と、認知症や介護過程等に関する論文投稿や学会発表などの研究活動を5年以上継続しており、その経験に基づき、研究の視点、方法、卒業論文作成を目的とした授業を行う。						
評価方法		演習態度、演習内容にて評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		社会福祉分野に関心のある学生 授業時間以外でも、自主的に論文作成をすること。 4年次夏休みまでに、卒業論文を完成させること。						
オフィスアワー		時間割確定後に研究室前に提示する。						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演習	稲田
2	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演習	稲田
3	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演習	稲田
4	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演習	稲田
5	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演習	稲田
6	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演習	稲田
7	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演習	稲田
8	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演習	稲田
9	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演習	稲田
10	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演習	稲田
11	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演習	稲田
12	1)	中間発表会の準備					演習	稲田
13	1)	中間発表会の準備					演習	稲田
14	1)	中間発表会の準備					演習	稲田
15	1)	中間発表会					演習	稲田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。(必要時に配布するプリントを使用する)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	卒業研究Ⅰ			授業コード	120735B122	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(4 年)			ナンバリング	13C411P02	AL 科目	○
担当者	渡邊 一平(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	スポーツ健康福祉学演習Ⅰ、Ⅱで得られた知識、技法をもとに、論理的思考過程を修得する(研究を遂行する意欲と問題発見および解決力を獲得する)と同時に、研究における倫理観について学び、卒業論文として記述するための基礎的能力を修得する(DP2)。						
学修目標	1)論文作成スケジュールを立案、実行できる。 2)論文のテーマに沿った方法論を検討し、実施できる。 3)研究に関する倫理観について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	卒業論文へとつなげるための基礎的能力、主に基礎的な資料収集能力や問題提起能力などについて、各人の進捗状況チェックのために提出するレポート(50%)および中間発表(50%)で、総合的に評価することで単位認定を行う。詳細な評価基準については授業開始時に説明を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	各自、必要な資料をファイルなどで整理・管理し、必要な情報を取り出せるようにしておく。また講義や資料から得た知識は必ず研究ノートに記録する。記録ノート等は各自で保管すること。この資料はチューター面談にも使用される。1 コマあたり 4 時間の予習復習時間を設定すること。予習復習時間の確保は、講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。復習では教員からの指摘事項に基づき、各自で訂正する作業を行うこと。予習では次の課題について必要な資料を熟読することとする。						
オフィスアワー	月曜から金曜の 12 時 30 分から 13 時 00 分までとし、場所は研究室(B-419)とする。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1, 2)	論文作成のためのスケジュール作成と検討1				演 習	渡 邊
2	1, 2)	論文作成のためのスケジュール作成と検討1				演 習	渡 邊
3	1, 2, 3)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論・研究倫理(1)				演 習	渡 邊
4	1, 2, 3)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論・研究倫理(2)				演 習	渡 邊
5	1, 2, 3)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論・研究倫理(3)				演 習	渡 邊
6	1, 2, 3)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論・研究倫理(4)				演 習	渡 邊
7	1, 2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(5)				演 習	渡 邊
8	1, 2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(6)				演 習	渡 邊
9	1, 2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(1)				演 習	渡 邊
10	1, 2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(2)				演 習	渡 邊
11	1, 2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(3)				演 習	渡 邊
12	1, 2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(4)				演 習	渡 邊
13	1, 2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(5)				演 習	渡 邊
14	1, 2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(6)				演 習	渡 邊
15	1, 2)	中間発表				演 習	渡 邊
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		卒業研究テーマにより適宜紹介する。					

科目名	卒業研究Ⅰ			授業コード	120735B125	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(4年)			ナンバリング	13C411P02	AL科目	○
担当者	清水 径子(福・福)	開講学期	2024 年度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	【授業の概要】 臨床福祉学演習Ⅰ・Ⅱで学んだことを基に、各自の研究テーマに併せた調査・研究についての卒業論文を作成する。DP2(2)(3)(6) 【一般目標】 論文作成の方法を理解し、研究に対する姿勢を学ぶ。各自の研究テーマに併せて、地域社会や支援対象者に対して、課題の発見から解決策などを調べるができる。CP2(11)						
学修目標	1)テーマに沿って何を明らかにしたいのかを明確にする。 2)卒業論文を作成するためのルールを理解し、実践できる。 3)倫理規定を理解し、適切な調査・研究をすすめることができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者の清水は、介護福祉士として高齢者施設での6年の実務経験に基づき、臨床福祉学に必要な視点や課題などを含めた指導を行う。						
評価方法	個別指導の状況(課題提出状況など)40%、学習態度(課題、ゼミ活動への取り組み姿勢、質問等の発言)30%、中間発表の内容(まとめ方、プレゼン力、わかりやすさ等)30%で評価する。授業開始日に詳細な評価基準を説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	演習時間外での調査準備や研究活動を学生が主体的に実施していく必要がある。 1コマにつき1時間を目安に調査準備、調査内容のまとめ、文献のまとめ等を行うこと。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2) 3)	オリエンテーション				演 習	清 水
2	1)2) 3)	卒業論文作成指導				演 習	清 水
3	1)2) 3)	個別指導				演 習	清 水
4	1)2) 3)	個別指導				演 習	清 水
5	1)2) 3)	個別指導				演 習	清 水
6	1)2) 3)	個別指導				演 習	清 水
7	1)2) 3)	個別指導				演 習	清 水
8	1)2) 3)	個別指導				演 習	清 水
9	1)2) 3)	個別指導				演 習	清 水
10	1)2) 3)	個別指導				演 習	清 水
11	1)2) 3)	個別指導				演 習	清 水
12	1)2) 3)	個別指導				演 習	清 水
13	1)2) 3)	個別指導				演 習	清 水
14	1)2) 3)	個別指導				演 習	清 水
15	1)2) 3)	中間発表・意見交換				演 習	清 水
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		個別に指示する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	卒業研究Ⅰ			授業コード	120735B126	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(4年)			ナンバリング	13C411P02	AL科目	○
担当者	富田 賢一(福・ス)	開講学期	2024年度前期	必修・選択	必修	授業形態	演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	卒業研究は大学4年間の集大成となる科目であり、総合的な能力の養成に役立つ。将来、鍼灸師としての問題解決能力、論理的な思考を形成する礎となる。スポーツ健康福祉学演習Ⅰ、Ⅱで得られた知識、技術をもとに、論理的思考過程を修得すると同時に、卒業論文を完成する能力を修得する。研究プロトコルの検討、方法論の検討、調査測定とその検討が行えるようになることを目標とする。 CP:教育内容(4)鍼灸健康専門科目を通して、東西両医学からみた人体構造・機能の生理的・病理的状态に関する知識、ならびにそれらを基盤とした臨床医学の知識を修得します。実習を通して的確かつ安全な鍼灸治療技術を学び、人々の健康維持増進に貢献できる臨床態度および能力を獲得します。(7)総合科目を通して、社会福祉、スポーツ・健康運動、鍼灸治療、救急救命分野の進歩と改善に資するために、研究を遂行する意欲と問題発見・解決力を獲得します。 CP:教育方法(1)専門領域の実習科目では、主体的な学びの力を高めるために、アクティブラーニングを取り入れた教育方法を実施します。(5)チューター教員との面談を適宜に設け、自己の学修成果と学生生活について「ふりかえり」を行います。						
学修目標	1)論文作成スケジュールを立案、実行できる。 2)論文のテーマに沿った方法論を検討し、実施できる。 3)調査した内容をまとめることができる。 4)必要な文献を収集し、根拠ある論述ができる。						
実務経験のある 教員による教育							
評価方法	卒業論文完成を最大の目標としているため、研究の進行度合いに合わせて評価する。 所定の評価表(ルーブリック)を用いて総合的に評価する。評価表は事前に確認することができる。 採点の開示に応えるので、点数が知りたい学生は申し出ること。						
準備学習・ 履修上の注意等	各自、必要な資料をファイルなどで整理・管理し、必要な情報を取り出せるようにしておくこと。また講義や資料から得た知識は必ず研究ノートに記録する姿勢が求められる。卒業研究に関わる書類作成、測定、執筆のための時間確保は、講義前後だけではなく、講義の空き時間や週末あるいは長期休暇を利用すること。1回の講義に対し、最低でも1時間の準備学習を求める。次の講義までに、前回の講義で指摘された内容の修正、卒業研究に関するタスクを完了しておきましょう。						
オフィスアワー	月曜から木曜の12時30分から1時00分までとする。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	論文作成のためのスケジュール作成と検討1				演習	富田
2	1)2)	論文作成のためのスケジュール作成と検討1				演習	富田
3	1-3)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(1)「緒論」に必要な情報の整理				演習	富田
4	1-3)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(2)「緒論」の流れを確認				演習	富田
5	1-3)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(3)『方法』の手順と記載内容の確認				演習	富田
6	1-3)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(4)方法』の手順と記載内容の確認				演習	富田
7	1-4)	進捗状況の報告と質疑応答				演習 SGD	富田
8	3-4)	個別指導を受けながら論文作成を行う 報告会で明らかになった問題点の修正				演習	富田
9	1)2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(1)				演習	富田
10	1)2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(2)				演習	富田
11	1)2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(3)				演習	富田
12	1)2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(4)				演習	富田
13	1)2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(5)				演習	富田
14	1)-4)	進捗状況の報告と質疑応答				演習 SGD	富田
15	1)-4)	前回の報告会で明らかになった問題点の修正				演習 SGD	富田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布する資料を使用する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	卒業研究Ⅰ			授業コード	120735B127	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 4 年			ナンバリング	13C411P02	AL 科目	○
担当者	三宮 基裕(福・臨)	開講学期	2024 年度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】 研究力を身につけるために、研究活動および学術論文執筆の基礎を学ぶとともに、研究成果のプレゼンテーション力を習得する。 【一般目標(GIO)】 学術論文執筆の基礎を習得する。 研究成果のプレゼンテーション力を習得する。 【対応するポリシーNo.】 DP6、CP1(8)、CP2(1)、CP3(3)						
学修目標	1)結論に向けて論理的な構成が立てられる。 2)論文にふさわしい文章が書ける。 3)研究資料の分析結果考察したことを適切な表現で文章化できる。 4)分かりやすい図表等を作成し、論拠の肉付けができる。 5)他者に分かりやすい発表資料が作成できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	取り組む姿勢(議論への参加、課題の提出および受け取りなど)60%、および論文の完成度(論文内容と、発表時の受け答え)により総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	研究室の卒業論文集を作成するので、卒業論文の作成を義務付ける。 卒業研究発表会を実施する。						
オフィスアワー	在室時は随時対応する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	論文構成の検討				講義・SGD	三 宮
2	1)	論文構成の検討				講義・SGD	三 宮
3	1)	論文構成の検討				講義・SGD	三 宮
4	2)3)	研究資料の分析・考察				講義・SGD	三 宮
5	2)3)	研究資料の分析・考察				講義・SGD	三 宮
6	2)3)	研究資料の分析・考察				講義・SGD	三 宮
7	2)3)	研究資料の分析・考察				講義・SGD	三 宮
8	2)3)4)	卒業論文の執筆				講義・演習	三 宮
9	2)3)4)	卒業論文の執筆				講義・演習	三 宮
10	2)3)4)	卒業論文の執筆				講義・演習	三 宮
11	2)3)4)	卒業論文の執筆				講義・演習	三 宮
12	4)5)	発表資料の作成				講義・SGD	三 宮
13	4)5)	発表資料の作成				講義・SGD	三 宮
14	4)5)	発表資料の作成				講義・SGD	三 宮
15	4)5)	発表資料の作成				講義・SGD	三 宮
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		卒業研究Ⅰ			授業コード	120735B130	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4年)			ナンバリング	13C411P02	AL 科目	○
担当者		黒須 依子(心・心)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		スポーツ健康福祉学演習Ⅰ・Ⅱで進めた研究活動を踏まえ各自の研究を進め、研究目的に照らし研究の調査結果や考察を卒業論文として文章化することを目的とする。 また、ゼミ内で行う卒業論文中間発表会にて研究の途中経過を3年・4年ゼミ生に向け発表し、第三者より質問を受けることで各自の研究内容を見直し各自の研究内容の質を高める。						
学修目標		1)卒業研究・卒業論文執筆の目的を理解し、説明できる。 2)卒論提出期限、中間発表会に合わせて研究計画を立て、主体的に研究活動に取り組むことができる。 3)研究に必要な必要な資料・情報を主体的に収集、講読し、研究論文に活用することができる。 4)研究目的に沿った調査計画を立て、調査活動を進めることができる。 5)自身の研究内容をメンバーに分かりやすく報告し、質疑応答に対応することができる。 6)論文構成を決定し、主体的に論文作成に取り組むことができる。 7)研究倫理に配慮し論文を執筆、報告することができる。						
実務経験のある 教員による教育		なし						
評価方法		発表資料 40%、研究の取組状況 60%の割合で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		全授業出席を原則する。卒業研究Ⅰではゼミメンバー間のグループ発表を通じ卒業研究の論点を焦点化、調査結果分析を行う。 社会福祉士国家試験受験予定学生は、卒業論文・論文要旨を2024年9月末日までに完成することを目標とした研究計画を策定し、各自の研究、論文執筆を進める。 ゼミ生は1コマあたり2時間以上の自宅学習を目安に各自の研究、論文執筆に取組み、指定課題(研究論文や調査結果)を準備しゼミ指定時間に発表すること。						
オフィスアワー		時間割確定後に研究室前に提示する。						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	(オリエンテーション) 卒論Ⅰの目的、内容、評価方法、授業計画について理解する。 研究の進捗状況を発表し、中間発表会、10月末に卒論本文、卒論要旨完成を目標に研究計画書を作成する。					講義・演習	黒 須
2	2)3)4)	論文の目的と方法(1) 論文の目的と方法を発表し、内容を確認する。					演 習	黒 須
3	2)3)4)	論文の目的と方法(2) 研究目的を確認し、論文構成を決定する。					演 習	黒 須
4	2)3)	卒論中間発表会の資料作成(1) 卒論中間発表会の資料作成を作成する。					演 習	黒 須
5	2)3)	卒論中間発表会の資料作成(2) 卒論中間発表会のプレゼンテーションを練習する。					演 習	黒 須
6	5)6)	卒論中間発表会に参加し、発表する。					演 習	黒 須
7	3)4)6)	論文構成と書き方(1) 中間発表結果より論文構成を修正し、序章執筆に取り組む。					演 習	黒 須
8	3)4)6)	論文構成と書き方(2) 序章を仕上げる。					演 習	黒 須
9	3)6)7)	研究結果の文章化(1) 調査結果と考察における記述内容の相違点を確認する。 調査研究結果の記述方法(文章構成、図式化)、留意点を学ぶ。 各自の研究結果の記述方法を考案する。					演 習	黒 須
10	3)6)7)	研究結果の文章化(2) 各自の研究結果の記述方法を決定する。 調査結果を文章化、教員の添削指導を受ける。					演 習	黒 須
11	3)6)7)	研究結果の文章化(3) 調査研究結果を文章化し、教員の添削指導を受ける。					演 習	黒 須
12	6)7)	研究結果の文章化(4) 調査研究結果を文章化し、教員の添削指導を受ける。					演 習	黒 須
13	3)6)7)	考察の書き方(1) 調査結果と考察の相違点を再確認する。 考察を文章化する上での留意点を学ぶ。					演 習	黒 須
14	3)6)7)	考察の書き方(2) 考察内容を記し、教員の添削指導を受ける。					演 習	黒 須
15	2)5)7)	研究の進捗状況を確認し、研究計画を見直し、卒論完成に向け夏季休暇の課題を設定する。					演 習	黒 須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	卒業研究Ⅰ			授業コード	120735B131	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科臨床福祉専攻(4 年)			ナンバリング	13C411P02	AL 科目	○
担当者	日田 剛(福・福)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	臨床福祉学演習を通して、自らが 興味関心を持った分野について研究テーマを設定する。それに伴い研究方法、研究計画等、 研究デザインの作成を目標とする。また、先行研究や文献を調べて、研究テーマについてさらに深く掘り下げて、その分野の知 識を広げる(DP7)。						
学修目標	1) 研究テーマを明確にできる 2) 研究デザインを作成できる 3) 文献等を使った調査ができる						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、高齢者施設でのケア、ソーシャルワークを 5 年以上、社会福祉士としてのフィールドソーシャルワーク 10 年以上 の経験を有している。また社会福祉に関しての研究に 7 年以上携わっている。特に社会福祉の固有性について議論を深めるこ とを本科目では意識している。						
評価方法	提出課題30%、取組み姿勢40%、卒業論文の結果30%で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	自ら問いを設定することを意識して研究活動を行うこと。						
オフィスアワー	随時対応						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション				講 義	日 田
2	1) 2) 3)	卒業論文作成指導				演 習	日 田
3	1) 2) 3)	卒業論文作成指導				演 習	日 田
4	1) 2) 3)	卒業論文作成指導				演 習	日 田
5	1) 2) 3)	卒業論文作成指導				演 習	日 田
6	1) 2) 3)	卒業論文作成指導				演 習	日 田
7	1) 2) 3)	卒業論文作成指導				演 習	日 田
8	1) 2) 3)	卒業論文作成指導				演 習	日 田
9	1) 2) 3)	卒業論文作成指導				演 習	日 田
10	1) 2) 3)	卒業論文作成指導				演 習	日 田
11	1) 2) 3)	卒業論文作成指導				演 習	日 田
12	1) 2) 3)	卒業論文作成指導				演 習	日 田
13	1) 2) 3)	卒業論文作成指導				演 習	日 田
14	1) 2) 3)	卒業論文作成指導				演 習	日 田
15	1) 2) 3)	研究の進捗状況確認				演 習	日 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	卒業研究Ⅰ			授業コード	120735B132	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C411P02	AL 科目	○
担当者	井藤英俊(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	体育・スポーツ・保健・健康に関連した研究論文の作成、発表を行うため、①データ収集、②統計を用いた分析、③資料・文献の 収集、④文章作成の能力の習得を目指す。						
学修目標	1)研究論文作成のために必要な知識や方法を理解し、実践できる。 2)研究テーマに即したデータの収集ができる。 3)統計を用いて収集したデータの分析ができる。 4)体育・スポーツ、保健・健康に関する知識を理解し、資料・文献を収集できる。 5)収集した資料・文献、研究方法や結果を文章にして説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	卒業研究Ⅰは、これまで学修してきた研究論文作成のための①データ収集、②統計を用いた分析、③資料・文献の収集、④文 章作成の能力を活かして卒業論文作成を目指す。 研究テーマの選定から、研究の方法や分析方法など様々な論文作成のための能力を必要とする。 科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。						
評価方法	発表資料および討論への参加・取り組み状況(100%)						
準備学習・ 履修上の注意等	毎時、卒業論文の進捗状況について資料を作成し、報告をする。 発表においては、紙媒体、PCを用いた発表を行い、その内容についてディスカッションをする。ディスカッションにおいて指摘を 受けた点、説明が不十分な点について次回までに答えることができるようにする必要がある。そのため、1コマあたり2時間を目 安に予習復習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション				講 義	井 藤
2	1)	研究論文の作成 1 研究計画書の作成				演 習	井 藤
3	1)	卒業論文の作成 2 研究倫理の理解				演 習	井 藤
4	1)2)3)	研究論文の作成 3 収集したデータの整理				演 習	井 藤
5	1)2)3)	研究論文の作成 4 収集したデータの分析				演 習	井 藤
6	1)2)3)	研究論文の作成 5 収集したデータの分析				演 習	井 藤
7	1)5)	研究論文の作成 6 分析結果のまとめ				演 習	井 藤
8	1)5)	研究論文の作成 7 分析結果のまとめ				演 習	井 藤
9	1)5)	研究論文の作成 8 分析結果のまとめ				演 習	井 藤
10	1)5)	研究論文の作成 9 分析結果の考察				演 習	井 藤
11	1)5)	研究論文の作成 10 分析結果の考察				演 習	井 藤
12	1)5)	研究論文の作成 11 分析結果の考察				演 習	井 藤
13	1)4)5)	研究論文の作成 12 文献の収集・編集				演 習	井 藤
14	1)4)5)	研究論文の作成 13 文献の収集・編集				演 習	井 藤
15	1)4)5)	研究論文の作成 14 文献の収集・編集				演 習	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					

科目名		卒業研究Ⅰ		授業コード	120735B134	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(4年)		ナンバリング	13C411P02	AL科目	○
担当者		川崎 順子(福・福)	開講学期	2024年度前期	必修・選択	必修	授業形態 講義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		臨床福祉学演習Ⅰ、Ⅱで習得した社会福祉に関する専門知識及び技術を基本に、研究テーマに沿った研究をまとめ表現する力 (発表、論文作成)を習得する。臨床 DP(2)(3)((5)(6)(7)					
学修目標		1)研究計画を立てることができる。 2)計画に基づいて論文作成に取り組むことができる。 3)論文の構成・表現が適切にできる。 4)論文のまとめを行い、研究成果を発表することができる。 5)他者の研究について議論をすることができる。					
実務経験のある 教員による教育		科目担当(川崎)は、行政や社会福祉協議会などの実践現場5年以上の経験に基づき、社会福祉に関連する研究テーマの設 定から研究方法の修得を目的とした授業を行う。					
評価方法		課題・レポート 30%・取り組み姿勢 20%・卒論 50%などにより総合的に評価する。					
準備学習・ 履修上の注意等		1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的には、研究テーマに関連する領域の先行研究や文献検索を行う。先 行研究や文献を通読し、レポートにまとめる。研究計画に基づいて、論文の執筆作業を行い、授業時に提出する。研究進捗状況 に応じて、計画的に研究をすすめる。また、研究に関連した社会活動に参加し、その成果をレポートにまとめ、発表する。社会情 勢に関心を示し、問題認識を持ちながら、議論できる準備を行うこと。					
オフィスアワー		担当教員に確認のこと					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】卒業研究の意義、進め方、提出日等の基本事項の確認する				演 習	川 崎
2	1)2)	【卒業研究のデザイン①】卒業研究のデザインの設定方法を知る				演 習	川 崎
3	1)2)	【卒業研究のデザイン②】卒業研究のデザインの設定を試みる				演 習	川 崎
4	1)2)	【論文の書き方①】論文の書き方を理解する				演 習	川 崎
5	1)2)	【論文の書き方②】論文の書き方を理解する				演 習	川 崎
6	1)2)	【論文の書き方③】論文の書き方を理解する				演 習	川 崎
7	2)3)	【研究結果のまとめ方①】 演習・調査・文献整理等の結果のまとめ方を考える				演 習	川 崎
8	2)3)	【研究結果のまとめ方②】 演習・調査・文献整理等の結果をまとめる				演 習	川 崎
9	3)4)5)	【中間発表会】卒業研究の進捗状況を発表する				演 習	川 崎
10	2)3)	【研究結果のまとめ方③】 演習・調査・文献整理等の結果のまとめを行う				演 習	川 崎
11	2)3)	【研究結果のまとめ方④】 演習・調査・文献整理等の結果のまとめを行う				演 習	川 崎
12	2)3)	【研究の考察について①】 演習・調査・文献整理等の結果を考察する				演 習	川 崎
13	2)3)	【研究の考察について②】 演習・調査・文献整理等の結果を考察する				演 習	川 崎
14	2)3)	【研究の考察について③】 演習・調査・文献整理等の結果を考察する				演 習	川 崎
15	3)4)5)	【学期末発表会】				演 習	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			随時、参考図書を紹介する。				

科目名		卒業研究 I			授業コード	120735B135	単位数 (時間数)	2 単位 (0)
配当学科(学年)		3年			ナンバリング	13C411P02	AL 科目	
担当者		鬼塚 信	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択		授業形態	研究及び論文作成
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		研究課題を解決し、その過程及び結果を考察し、卒業論文として記録し発表しうる能力を身につける。 研究課題:メタボリックシンドロームはがん細胞にも起こるか?癌細胞の増殖と栄養状態の関係 1. 目的 様々な病気を惹起するメタボリックシンドロームは癌の原因とされているか?、はたして、メタボリックな環境で?癌細胞の増殖か?と?のように変化するのはか?は解明されていない。と?のよう な環境で?癌細胞は増殖しうるのかを培養か?ん細胞を用いて検証する。						
学修目標		自身で研究遂行、論文作成能力を持つこと。						
実務経験のある 教員による教育		運営方法 培養か?ん細胞(Hela 細胞)を、様々な環境下(培養液の脂肪量、たんぱく質量、ビタミンの相違)で?培養し、発育状態を比較検討する。						
評価方法		卒業論文の内容を評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		運営方法 培養か?ん細胞(Hela 細胞)を、様々な環境下(培養液の脂肪量、たんぱく質量、ビタミンの相違)で?培養し、発育状態を比較検討する。 実験内容は、担当教官より説明いたします。卒業論文は、自ら作成すること。						
オフィスアワー		金曜日1限目もしくは、3限目						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
0	実験器具を取り扱い、細胞が継代培養できるようになる。	細胞継代にあたり、必要な器具や、培養液について学ぶ。					細胞継代培養の実験	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		教科書は、特に指定しないが、研究論文を英語も含めて、可能な限り熟読すること。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		参考書は特に指定しないが、pubmed 等で参考文献を収集し、熟読すること。						

科目名		卒業研究Ⅰ			授業コード	120735B136	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4年)			ナンバリング	13C411P02	AL科目	○
担当者		神田 潤一(福・ス)	開講学期	2024年度前期	必修・選択	必修	授業形態	演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リスNo.		卒業論文の作成を通して、論理的思考を展開させる能力を身につけることを目標とする。						
学修目標		1) さまざまな情報から自らが課題を見つける能力を習得する。 2) 課題解決に向けた方法を論理的思考により、自らが決定および解決できる能力を習得する。 3) 自らの論理的思考を他者に向け、わかりやすく説明できる能力を習得する。 4) 他者の考えを尊重したうえで、論理的思考のもと、議論できる能力を習得する。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法		演習に対する発表内容・態度(50%)、卒業論文および抄録の完成度(50%)にて評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		提出期限など最低限のルールは必ず守るようにすること。予習・復習は毎時間必ず行うこと。						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)～4)	オリエンテーション					講 義	神 田
0	1)～4)	卒業論文の作成					演 習	神 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						

科目名		卒業研究Ⅰ			授業コード	120735B137	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C411P02	AL 科目	○
担当者		佐々木 さはら(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		【授業の概要】 研究テーマを決定し、研究計画書の作成を行い、測定・実験・調査を開始する。 【一般目標(GIO)】 体系的な論文作成方法について理解することが目標である。						
学修目標		1) テーマを決定するにあたり必要な論文を収集・精読することができる。 2) 正しい研究計画書の作成について理解し、実際に作成することができる。 3) 測定・実験・調査の内容を理解し、正しく実施することができる。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		プレゼンテーションによる最終試験で評価する(100%) 基準については授業開始日に説明する						
準備学習・ 履修上の注意等		物事に対し疑問をもち、その疑問はすぐに議論もしくは解決する習慣を身につけること。また、与えられた課題に対し、真摯に取り組むこと。						
オフィスアワー		研究室前に掲示						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
0	1)~3)	テーマの決定、研究計画書の作成、実験・測定・調査					講義、演習、SGD	佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						

科目名	卒業研究Ⅰ			授業コード	120735B138	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(4 年)			ナンバリング	13C411P02	AL 科目	○
担当者	中野祐也(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	スポーツ健康福祉学演習Ⅰ、Ⅱで得られた知識、技法をもとに、論理的思考(問題の発見・解決力)を獲得すると同時に、卒業論文として記述するための基礎的能力を修得する。 (CP⑦)						
学修目標	1) 立案した論文作成スケジュールを実行できる。 2) 研究倫理について理解することができる。 3) 論文のテーマに沿った方法論を検討し、データの収集・分析ができる。 4) 関連文献を吟味し、情報の質を評価できる。 5) 論理的な文章構成を用いて論文を作成できる。						
実務経験のある 教員による教育	なし						
評価方法	レポート提出(50%)および中間発表(50%)により、卒業論文作成に必要な資料収集能力や問題提起能力を総合的に評価し、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	各自、必要な資料をファイルなどで整理・管理し、必要な情報を取り出せるようにしておく。また講義や資料から得た知識は必ず研究ノートに記録する。記録ノート等は各自で保管すること。この資料はチューター面談にも使用される。1 コマあたり 4 時間の予習復習時間を設定すること。予習復習時間の確保は、講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。復習では教員からの指摘事項に基づき、各自で訂正する作業を行うこと。予習では次の課題について必要な資料を熟読することとする。						
オフィスアワー	毎週月～金曜日 12:30～13:00 (場所:B-421)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1, 2)	論文作成のためのスケジュール作成と検討1				演 習	中 野
2	1, 2)	論文作成のためのスケジュール作成と検討 2				演 習	中 野
3	2, 3)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(1)				演 習	中 野
4	2, 3)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(2)				演 習	中 野
5	2, 3, 4)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(3)				演 習	中 野
6	2, 3, 4)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(4)				演 習	中 野
7	2, 3, 4)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(5)				演 習	中 野
8	2, 3, 4)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(6)				演 習	中 野
9	2, 3, 4)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(1)				演 習	中 野
10	2, 3, 4)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(2)				演 習	中 野
11	2, 3, 4)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(3)				演 習	中 野
12	1～5)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(4)				演 習	中 野
13	1～5)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(5)				演 習	中 野
14	1～5)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(6)				演 習	中 野
15	1～5)	中間発表				演 習	中 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		卒業研究Ⅰ			授業コード	120735B139	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科 4 年			ナンバリング	13C411P02	AL 科目	○
担当者		藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシ-No.		受講生各自の関心に沿ったテーマについて考察を深め、研究・調査を進めていくことを目標とする。なお、卒業論文は4年間の 学習の集大成である点を明確に意識し取り組むことが重要である。福 DP1～4						
学修目標		私たちが直面する問題についてその実態を把握するとともに、制度政策のあり方、具体的なソーシャルワークのあり方等につい て学習することを目的とする。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし						
評価方法		出席状況・受講態度(40%)、レポート・課題発表の結果(60%)によって評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		問題意識を明確にし積極的に研究テーマに取り組むこと。予習・復習を行い毎回の授業に臨むこと。						
オフィスアワー		研究室前に掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 講義の進め方と概要					演 習	藤 原
2	1)	テーマ設定の仕方					演 習	藤 原
3	1)	資料の探し方					演 習	藤 原
4	1)	図書館の利用					演 習	藤 原
5	1)	報告レジュメの書き方					演 習	藤 原
6	1)	発表の仕方					演 習	藤 原
7	1)	各自関心のあるテーマの設定					演 習	藤 原
8	1)	グループ発表					演 習	藤 原
9	1)	討論					演 習	藤 原
10	1)	個人発表					演 習	藤 原
11	1)	討論					演 習	藤 原
12	1)	文献抄録発表					演 習	藤 原
13	1)	個人発表					演 習	藤 原
14	1)	討論					演 習	藤 原
15	1)	振り返り					演 習	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			随時紹介する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			随時紹介する。					

科目名		卒業研究Ⅰ			授業コード	120735B140	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(4年)			ナンバリング	13C411P02	AL科目	○
担当者		児崎 友美(福・福)	開講学期	2024年度前期	必修・選択	必修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		卒業研究を行い、卒業論文作成の準備を行う。 臨床福祉学演習Ⅰ、Ⅱで習得した社会福祉に関する専門的知識および技術を軸に、研究テーマに沿った研究をまとめ、表現する力(卒業研究発表、卒業論文作成)を習得する。 DP: (2)(3)(6)、CP: 1-(8)						
学修目標		1)研究計画を立てることができる。 2)計画に基づいて論文作成に取り組むことができる。 3)論文の構成・表現が適切にできる。 4)論文のまとめを行い、研究成果を発表することができる。 5)他者の研究について関心を持ち、議論をすることができる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当(児崎)は、特別養護老人ホームや地域包括支援センター等の高齢者福祉分野において15年以上の経験がある。この経験に基づき、社会福祉に関する研究テーマの設定や研究方法の修得を目的とした授業を展開する。						
評価方法		課題・レポート 30% 取組み姿勢 20% 卒論 50% を目安に総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的には、研究テーマに関連する領域の先行研究や文献検索を行う。先行研究や文献を通読し、レポートにまとめる。 研究計画に基づいて、論文の執筆作業を行い、授業時に提出する。 研究進捗状況に応じて、計画的に、自主的に研究を進める。						
オフィスアワー		研究室ドアに張り出す。						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 卒業研究の意義、進め方、提出日等の基本事項について確認する。					講義・演習	児 崎
2	1)2)	卒業研究デザイン 卒業研究デザインの設定方法を知る。					演 習	児 崎
3	1)2)	卒業研究デザイン 卒業研究デザインの設定する。					演 習	児 崎
4	1)2)	論文の書き方 論文の書き方を理解する。					講義・演習	児 崎
5	1)2)	論文の書き方 論文の書き方を理解する。					演 習	児 崎
6	1)2)	論文の書き方 論文の書き方を理解する。					演 習	児 崎
7	2)3)	研究結果のまとめ方 演習・調査・文献整理等の結果のまとめ方を知る。					講義・演習	児 崎
8	2)3)	研究結果のまとめ 演習・調査・文献整理等の結果をまとめる。					演 習	児 崎
9	3)4)5)	卒業研究中間発表会 卒業研究の進捗状況をまとめ、発表する。					演 習	児 崎
10	2)3)	研究結果のまとめ 演習・調査・文献整理等の結果をまとめる。					演 習	児 崎
11	2)3)	研究結果のまとめ 演習・調査・文献整理等の結果をまとめる。					演 習	児 崎
12	2)3)	研究結果のまとめ 演習・調査・文献整理等の結果をまとめる。					演 習	児 崎
13	2)3)	卒業研究の考察について 演習・調査・文献整理等の結果を考察する					演 習	児 崎
14	2)3)	卒業研究の考察について 演習・調査・文献整理等の結果を考察する					演 習	児 崎
15	3)4)5)	卒業研究発表会(前期) 卒業研究の進捗状況を発表する。					演 習	児 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			教科書の指定なし。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			随時、参考図書の紹介を行う。					

科目名		卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B103	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○
担当者		正野 知基(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	S G D
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		卒業研究Ⅰからの継続で、各自の研究テーマに沿って研究を遂行し、論文としてまとめていく。スポーツ健康福祉学演習Ⅳと連動させて実施し、執筆した章毎にそれぞれが発表し、ゼミ生全員で内容の確認、誤字脱字の修正などを行い、情報を共有しながら卒業論文の完成を目指す。						
学修目標		1) 設定した課題について研究計画に基づき調査を行い、調査した結果を文章にまとめ、発表・討論することができる。 2) メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。 3) パワーポイントを使用してのプレゼンテーションが行える。 4) 研究した内容を要約し、抄録にまとめることができる。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		卒業論文・抄録(80%)および討論への参加・取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		SGD への積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと(予習復習の目安は 1 コマ当たり 4 時間)。						
オフィスアワー		毎週月曜～水曜日 12:30～13:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	卒業研究発表・討論(1)					S G D	正 野
2	1)2)	卒業研究発表・討論(2)					S G D	正 野
3	1)2)	卒業研究発表・討論(3)					S G D	正 野
4	1)2)	卒業研究発表・討論(4)					S G D	正 野
5	1)2)	卒業研究発表・討論(5)					S G D	正 野
6	1)2)	卒業研究発表・討論(6)					S G D	正 野
7	1)2)	卒業研究発表・討論(7)					S G D	正 野
8	1)2)	卒業研究発表・討論(8)					S G D	正 野
9	1)2)	卒業研究発表・討論(9)					S G D	正 野
10	1)2)	卒業研究発表・討論(10)					S G D	正 野
11	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(1)					S G D	正 野
12	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(2)					S G D	正 野
13	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(3)					S G D	正 野
14	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(4)					S G D	正 野
15	1)2)3)	卒業研究発表会・総括					S G D	正 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B105	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○
担当者	松田 智香子(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	演習Ⅰ、Ⅱで積み上げられた内容を踏まえて関心がある研究テーマを決定する。研究テーマについて適切な研究計画を立て、 実験あるいは調査を踏まえた論文の作成を行うことによって、体系的な論文作成の方法を習得する。						
学修目標	1) 関心のあるテーマについて先行研究等の文献収集の方法や資料管理方法を理解し活用することができる。 2) 管理している資料を総合的に分析し、それに基づいて客観的に他者に説明することができる。 3) 自らが調べた内容について他者とディスカッションできる。 4) 論文作成のための方法の基礎を理解できる。 5) 調査した内容を論理的にまとめ、論文として仕上げるすることができる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	卒業論文・要旨作成(100%)						
準備学習・ 履修上の注意等	卒業論文、要旨を完成させるために、毎時、論文の推敲を受ける。 指摘を受けた内容や、研究内容の発展について次時までには準備を行う必要があるため、1 コマあたり 4 時間を目安に事前準備 を行うこと。						
オフィスアワー	講義前後の空き時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)5)	【研究論文の作成①】				演習、SGD	松 田
2	1)2)3) 4)5)	【研究論文の作成②】				演習、SGD	松 田
3	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の作成③】				演習、SGD	松 田
4	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の作成④】				演習、SGD	松 田
5	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の作成⑤】				演習、SGD	松 田
6	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の作成⑥】				演習、SGD	松 田
7	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の作成⑦】				演習、SGD	松 田
8	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の推敲を受ける①】				演 習	松 田
9	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の推敲を受ける②】				演 習	松 田
10	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の推敲を受ける③】				演 習	松 田
11	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の推敲を受ける④】				演 習	松 田
12	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の推敲を受ける⑤】				演 習	松 田
13	1)2)3) 4)5)	【要点の整理と確認と「要旨」及び発表資料の作成①】				演習、SGD	松 田
14	1)2)3) 4)5)	【要点の整理と確認と「要旨」及び発表資料の作成②】				演習、SGD	松 田
15		【要点の整理と確認と「要旨」及び発表資料の作成③】				演習、SGD	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B107	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○
担当者		山本 順之(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		演習Ⅰ、Ⅱで積み上げられた内容を踏まえて関心がある研究テーマを決定する。研究テーマについて適切な研究計画を立て、 実験あるいは調査を踏まえた論文の作成を行うことによって、体系的な論文作成の方法を習得する。						
学修目標		1)関心のあるテーマを設定し、先行研究等の文献収集の方法や資料管理方法について理解し活用することができる。 2)管理している資料を総合的に分析し、それに基づいて客観的に他者に説明することができる。 3)自らが調べた内容について他者とディスカッションできる。 4)論文作成のための方法の基礎を理解できる。 5)調査した内容を論理的にまとめ、論文として仕上げるすることができる。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		卒業論文・要旨作成(100%)						
準備学習・ 履修上の注意等		研究資料・関係資料を良く読み理解すること。 他の研究との比較もすること。						
オフィスアワー		月曜日2限、火曜日3限						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授 業 方法	担 当
1	1)2)3) 4)5)	【研究論文の作成①】					講義・演習	山 本
2	1)2)3) 4)5)	【研究論文の作成②】					講義・演習	山 本
3	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の作成③】					講義・演習	山 本
4	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の作成④】					講義・演習	山 本
5	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の作成⑤】					講義・演習	山 本
6	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の作成⑥】					講義・演習	山 本
7	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の作成⑦】					講義・演習	山 本
8	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の推敲を受ける①】					講義・演習	山 本
9	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の推敲を受ける②】					講義・演習	山 本
10	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の推敲を受ける③】					講義・演習	山 本
11	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の推敲を受ける④】					講義・演習	山 本
12	1)2)3) 4)5)	【卒業論文の推敲を受ける⑤】					講義・演習	山 本
13	1)2)3) 4)5)	【要点の整理と確認と「要旨」の作成①】					講義・演習	山 本
14	1)2)3) 4)5)	【要点の整理と確認と「要旨」の作成②】					講義・演習	山 本
15	1)2)3) 4)5)	【要点の整理と確認と「要旨」作成③】					講義・演習	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B117	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉専攻(4 年次)			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○
担当者	西田 美香(臨床福祉学科)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	各自の研究テーマにそって調査を行い、新たな知見を見出す作業を行う。その際、論文作成上のルールを理解し、そのルールに則って作業を行う(DP6)。 この一連のプロセスを経ることにより、論文作成の手法を理解するとともに、研究に対する姿勢を学ぶ(CP8)。						
学修目標	1)本研究を通して、新たな知見を得る。 2)論文作成時のルールを理解し実践する。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での 6 年以上の実務経験に基づき、我が国における医療や社会福祉の現状や課題、支援のあり方により具体的な理解を促すとともに、学生自らが医療福祉の諸課題に対して能動的に考え行動する力の醸成を目指した指導を行う。						
評価方法	出席状況 30%、取組み姿勢 30%、卒業論文の結果 40%で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	探求心をもって、積極的に調査研究に臨んでいただきたい。						
オフィスアワー	火・木・金曜日 12:30～13:00 場所 B-411						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション				演 習	西 田
2	1)2)	卒業論文作成指導				演 習	西 田
3	1)2)	卒業論文作成指導				演 習	西 田
4	1)2)	卒業論文作成指導				演 習	西 田
5	1)2)	卒業論文作成指導				演 習	西 田
6	1)2)	卒業論文作成指導				演 習	西 田
7	1)2)	卒業論文作成指導				演 習	西 田
8	1)2)	卒業論文作成指導				演 習	西 田
9	1)2)	卒業論文作成指導				演 習	西 田
10	1)2)	卒業論文作成指導				演 習	西 田
11	1)2)	卒業論文作成指導				演 習	西 田
12	1)2)	卒業論文作成指導				演 習	西 田
13	1)2)	卒業論文作成指導				演 習	西 田
14	1)2)	卒業論文作成指導				演 習	西 田
15	1)2)	卒業研究報告会				演 習	西 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B120	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○	
担当者	稲田 弘子(福・福)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	大学は「学問」をするところです。「学問」とは「学」んで「問」うことです。社会福祉分野の専門的知識を単に「学」ぶだけではなく、自分でさまざまなことに「問」いを発していくことで新たな解決法や対処法を身につけていくことができます。社会はこのような人材を求めています。 「卒業研究」では、臨床福祉学演習Ⅰ、Ⅱで得られた知識をもとに、卒業論文としてまとめる知識・スキルを修得する。 (DP6.7)(CP8)							
学修目標	1) 卒業論文を作成、完成することができる。							
実務経験のある 教員による教育	稲田は、福祉・医療現場 5 年以上の経験と、認知症や介護過程等に関する論文投稿や学会発表などの研究活動を5年以上継続しており、その経験に基づき、研究の視点、方法、卒業論文作成を目的とした授業を行う。							
評価方法	演習態度、演習内容にて評価する。							
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉分野に関心のある学生 授業時間以外でも、自主的に論文作成をすること。 4年次夏休みまでに、卒業論文を完成させること。							
オフィスアワー	時間割確定後に研究室前に提示する。							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演 習	稲 田
2	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演 習	稲 田
3	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演 習	稲 田
4	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演 習	稲 田
5	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演 習	稲 田
6	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演 習	稲 田
7	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演 習	稲 田
8	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演 習	稲 田
9	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演 習	稲 田
10	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演 習	稲 田
11	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。					演 習	稲 田
12	1)	要旨集の作成					演 習	稲 田
13	1)	要旨集の作成					演 習	稲 田
14	1)	要旨集の作成					演 習	稲 田
15	1)	要旨集の作成					演 習	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。(必要時に配布するプリントを使用する)						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名	卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B122	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(4 年)			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○
担当者	渡邊 一平(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	スポーツ健康福祉学演習Ⅰ、Ⅱで得られた知識、技法をもとに、論理的思考過程を修得すると同時に、卒業論文を完成する能力を修得する(DP4)。このことは問題解決のための実践的方法を実行する能力を修得することにつながる。また、地域や他種職との連携、協働する力を修得するために、学科全体で実施する卒業研究のプレゼンテーションを通して研究内容を分かりやすく他者に伝える能力を修得する(DP4、CP7)。						
学修目標	1)各自が立てた研究方法を実践できる。 2)客観的事実をもとに、論文作成ができる。 3)研究成果をわかりやすくプレゼンテーションできる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	卒論の内容、構成、調査方法及びデータ解析方法の妥当性を(50%)、プレゼンテーション技術については学科で定めたルーブリック表(50%)を用いて総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	各自の研究に必要な資料はファイル等で整理し、必要な情報を取り出せるようにしておくこと。また講義で得た知識は必ず研究ノート等に記載し、記録する姿勢が求められる。この資料は各自で保管すること。また資料はチューター面談にも使用される。1 コマあたり 4 時間の予習復習時間を行うこと。予習復習では適宜配布された資料あるいは各自が収集した資料を読み返し、要点をまとめておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。						
オフィスアワー	月曜から金曜の 12 時 30 分から 13 時 00 分までとし、場所は研究室(B-419)とする。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	論文作成のスケジュールの作成と検討				演 習	渡 邊
2	1)	個別指導を受けながら論文作成を行うー方法論(1)ー				演 習	渡 邊
3	2)	個別指導を受けながら論文作成を行うー方法論(2)ー				演 習	渡 邊
4	2)	個別指導を受けながら論文作成を行うー方法論(3)ー				演 習	渡 邊
5	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行うー調査・研究(1)ー				演 習	渡 邊
6	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行うー調査・研究(2)ー				演 習	渡 邊
7	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行うー調査・研究(3)ー				演 習	渡 邊
8	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行うー調査・研究(4)ー				演 習	渡 邊
9	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行うー調査・研究(5)ー				演 習	渡 邊
10	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行うー調査・研究(6)ー				演 習	渡 邊
11	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行うー論文作成(1)ー				演 習	渡 邊
12	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行うー論文作成(2)ー				演 習	渡 邊
13	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行うー論文作成(3)ー				演 習	渡 邊
14	2)3)	卒業論文発表				演 習	渡 邊
15	2)3)	卒業論文発表				演 習	渡 邊
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		研究テーマに合わせて適宜紹介する。					

科目名		卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B125	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○	
担当者		清水 径子(福・福)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		【授業の概要】 各自の研究テーマに併せた調査・研究を進め、卒業論文を完成させる。DP(2)(6) 【一般目標】 論文作成の方法を理解し、研究に対する姿勢を学ぶ。CP2(11)、CP3(17)							
学修目標		1) 卒業論文を作成し、完成することができる。 2) 論文を簡潔にまとめることができる。							
実務経験のある 教員による教育		科目担当者の清水は、介護福祉士として高齢者施設での 6 年の実務経験及び 5 年以上の研究活動に基づき、臨床福祉学に 必要な視点や課題などを含めた指導を行う。							
評価方法		個別指導の状況(課題提出状況など)30%、学習態度(課題、ゼミ活動への取り組み姿勢、質問等の発言)30%、卒業論文の内 容(まとめ方、わかりやすさ等)40%で評価する。授業開始日に詳細な評価基準を説明する。							
準備学習・ 履修上の注意等		演習時間外での研究活動や論文作成を学生が主体的に実施していく必要がある。							
オフィスアワー		研究室前に掲示する。							
授業計画									
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容						授業 方法	担当
1	1)	卒業論文作成指導(個別指導)						演 習	清 水
2	1)	卒業論文作成指導(個別指導)						演 習	清 水
3	1)	卒業論文作成指導(個別指導)						演 習	清 水
4	1)	卒業論文作成指導(個別指導)						演 習	清 水
5	1)	卒業論文作成指導(個別指導)						演 習	清 水
6	1)	卒業論文作成指導(個別指導)						演 習	清 水
7	1)	卒業論文作成指導(個別指導)						演 習	清 水
8	1)	卒業論文作成指導(個別指導)						演 習	清 水
9	1)	卒業論文作成指導(個別指導)						演 習	清 水
10	1)	卒業論文作成指導(個別指導)						演 習	清 水
11	1)	卒業論文作成指導(個別指導)						演 習	清 水
12	1)2)	卒業論文要旨集作成						演 習	清 水
13	1)2)	卒業論文要旨集作成						演 習	清 水
14	1)2)	卒業論文要旨集作成						演 習	清 水
15	1)2)	まとめ						演 習	清 水
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。						

科目名		卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B126	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(4 年)			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○
担当者		富田 賢一(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.		スポーツ健康福祉学演習Ⅰ、Ⅱで得られた知識、技術をもとに、論理的思考過程を修得すると同時に、卒業論文を完成する能力を修得する。鍼灸臨床の現場では、様々な困難な局面に遭遇する。自らの望む目標を達成するためには客観的な情報を基に論理的な思考を駆使して、その困難な局面を開きなければならない。その方法論の基礎を卒業研究を通して学ぶことが目的である。 CP:教育内容(4)鍼灸健康専門科目を通して、東西両医学からみた人体構造・機能の生理的・病理的状態に関する知識、ならびにそれらを基盤とした臨床医学の知識を修得します。実習を通して的確かつ安全な鍼灸治療技術を学び、人々の健康維持増進に貢献できる臨床態度および能力を獲得します。(7)総合科目を通して、社会福祉、スポーツ・健康運動、鍼灸治療、救急救命分野の進歩と改善に資するために、研究を遂行する意欲と問題発見・解決力を獲得します。 CP:教育方法(1)専門領域の実習科目では、主体的な学びの力を高めるために、アクティブラーニングを取り入れた教育方法を実施します。(5)チューター教員との面談を適宜に設け、自己の学修成果と学生生活について「ふりかえり」を行います。						
学修目標		1)各自が立てた研究方法を実践できる。 2)客観的事実をもとに、論文作成ができる。 3)研究成果をわかりやすくプレゼンテーションできる。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		1)卒論の内容、構成、調査方法の妥当性、データ解析の正確さなど所定の評価表(ルーブリック)を用いて総合的に評価する。評価表は事前に確認することができる。 2)学科が開催する卒業研究発表会で発表を行わなければならない(必須)。						
準備学習・ 履修上の注意等		各自の研究に必要な資料はファイル等で整理し、必要な情報を取り出せるようにしておくこと。また講義で得た知識は必ず研究ノート等に記載し、記録する姿勢が求められる。卒業論文を書き上げること、卒業研究発表会において発表することが最大の目標となる。週1回のゼミでは時間が不足する場合は、講義時間外も卒業研究に取り組まなければならない。長期休暇も活用し、研究に取り組むことがスムーズな研究の進捗には重要である。1回の講義に対し、最低でも1時間の準備学習を求める。次の講義までに、前回の講義で指摘された内容の修正、卒業研究に関するタスクを完了しておきましょう。 卒業論文は学科で定められた所定のフォーマットで提出すること。 作成しなければならないもの①卒業論文(12000 字以上)②要旨(A4 用紙2枚)③発表スライド						
オフィスアワー		月曜から木曜の 12 時 30 分から 1 時 00 分までとする。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	論文作成のスケジュールの作成と検討					演 習	富 田
2	1)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー方法論(1)ー					演 習	富 田
3	2)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー方法論(2)ー					演 習	富 田
4	2)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー方法論(3)ー					演 習	富 田
5	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(1)ー					演 習	富 田
6	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(2)ー					演 習	富 田
7	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(3)ー					演 習	富 田
8	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(4)ー					演 習	富 田
9	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(5)ー					演 習	富 田
10	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(6)ー					演 習	富 田
11	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー論文作成(1)ー					演 習	富 田
12	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー論文作成(2)ー					演 習	富 田
13	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー論文作成(3)ー					演 習	富 田
14	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー論文作成(4)ー					演 習	富 田
15	2)3)	卒業論文発表					演 習	富 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			※講義時に配布する資料を使用する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名		卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B127	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科 4 年			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○
担当者		三宮 基裕(福・臨)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		【授業の概要】 研究力を身につけるために、研究活動および学術論文執筆の基礎を学ぶとともに、研究成果のプレゼンテーション力を習得する。 【一般目標(GIO)】 学術論文執筆の基礎を習得する。 研究成果のプレゼンテーション力を習得する。 【対応するポリシーNo.】 DP6、CP1(8)、CP2(1)、CP3(3)						
学修目標		1)結論に向けて論理的な構成が立てられる。 2)論文にふさわしい文章が書ける。 3)研究資料の分析結果考察したことを適切な表現で文章化できる。 4)分かりやすい図表等を作成し、論拠の肉付けができる。 5)他者に分かりやすい発表資料が作成できる。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし						
評価方法		取り組む姿勢(議論への参加、課題の提出および受け取りなど)60%、および論文の完成度(論文内容と、発表時の受け答え)により総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		研究室の卒業論文集を作成するので、卒業論文の作成を義務付ける。 卒業研究発表会を実施する。						
オフィスアワー		在室時は随時対応する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	2)3)	研究資料の再考察					講義・SGD	三 宮
2	2)3)	研究資料の再考察					講義・SGD	三 宮
3	2)3)	研究資料の再考察					講義・SGD	三 宮
4	2)3)	研究資料の再考察					講義・SGD	三 宮
5	2)3)	研究資料の再考察					講義・SGD	三 宮
6	2)3)4)	卒業論文の執筆					講義・演習	三 宮
7	2)3)4)	卒業論文の執筆					講義・演習	三 宮
8	2)3)4)	卒業論文の執筆					講義・演習	三 宮
9	2)3)4)	卒業論文の執筆					講義・演習	三 宮
10	2)3)4)	卒業論文の執筆					講義・演習	三 宮
11	2)3)4)	卒業論文の執筆					講義・演習	三 宮
12	4)5)	発表資料の作成					講義・SGD	三 宮
13	4)5)	発表資料の作成					講義・SGD	三 宮
14	4)5)	発表資料の作成					講義・SGD	三 宮
15	4)5)	発表資料の作成					講義・SGD	三 宮
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B130	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○
担当者	黒須 依子(心・心)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	卒業研究Ⅱの目標は卒業研究に主体的に取り組み、卒業研究論文執筆と卒業研究論文要旨執筆を指定期限までに完成すること、卒業研究発表会で聴者にわかりやすく卒業研究結果を発表し、質疑応答できることである。						
学修目標	1)卒業研究Ⅱの目的を理解し、説明できる。 2)研究計画に基づき、卒論執筆を進めることができる。 3)グループ討議において、自分の意見を明確に伝えることができる。 4)グループ討議において、メンバーの発表や意見を傾聴することができる。 5)パワーポイントを使用して報告資料を作成、研究内容を発表することができる。 6)研究内容を要約し、規定に従い抄録にまとめることができる。 7)卒業論文作成の意義と課題を理解する。						
実務経験のある 教員による教育	なし						
評価方法	卒業論文作成、抄録(卒論要旨)作成状況：70%、グループ討論への参加状況、研究への取組状況：30%、の割合で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	卒業研究Ⅱでは個別指導を中心に、卒業論文指導を行う。授業は全出席を原則とする。卒業論文発表会、ゼミメンバー間の研究報告時間では、発表用資料を作成を求めため、発表のための準備にも主体的に取り組むこと。卒業論文、卒業論文抄録は提出期限までに完成するために、研究計画書を立て、計画的に論文執筆を進めていくこと。予習、復習の目安は1コマあたり2時間以上とする。						
オフィスアワー	時間割確定後に研究室前に提示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)	(オリエンテーション) 卒業研究Ⅱの目的、内容、評価方法、授業計画について理解する。 論文作成計画を報告し合う。				講義・演習	黒 須
2	2)	論文作成(1) 論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要事項を追記、修正する。				演 習	黒 須
3	2)	論文作成(2) 論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要事項を追記、修正する。				演 習	黒 須
4	2)	論文作成(3) 論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要事項を追記、修正する。				演 習	黒 須
5	2)	論文作成(4) 論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要事項を追記、修正する。				演 習	黒 須
6	2)3)4)	卒論進捗状況報告会 卒論進捗状況をゼミメンバーに発表し、質疑応答する。				演 習	黒 須
7	2)	卒業論文内容の見直し 報告会で質疑を受けた内容を見直す。 論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要事項を追記、修正する。				演 習	黒 須
8	2)	論文作成(5) 論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要事項を追記、修正する。				演 習	黒 須
9	2)	論文作成(6) 論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要事項を追記、修正する。				演 習	黒 須
10	2)	論文作成(7) 卒業論文を完成する。				演 習	黒 須
11	2)6)	抄録作成(1) 卒業論文抄録(卒論要旨)を作成する。				演 習	黒 須
12	2)6)	抄録作成(2) 卒業論文抄録(卒論要旨)を作成する。				演 習	黒 須
13	2)6)	抄録作成(3) 卒業論文抄録(卒論要旨)を完成する。 卒論発表資料の作成、プレゼンテーション練習。				演 習	黒 須
14	3)4)5)	卒業研究発表会に参加し、自身の卒業研究について聴者にわかりやすく発表する。				演 習	黒 須
15	3)4)7)	卒業研究のまとめ メンバー間のディスカッションを通じ、卒業研究、論文執筆の意義を理解する。今後の研究課題を発表する。				演 習	黒 須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B131	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		社会福祉学科臨床福祉専攻(4 年)			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○
担当者		日田 剛(福・福)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		研究テーマについて、自らが設定した研究方法を用いて研究を進める。最終的には卒業論文としてまとめ、研究概要を発表する(DP6)。						
学修目標		1)研究について基本的なプロセスを学ぶ 2)論文を作成し研究成果を発表する						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、高齢者施設でのケア、ソーシャルワークを 5 年以上、社会福祉士としてのフィールドソーシャルワーク 10 年以上の経験を有している。また社会福祉に関しての研究に 7 年以上携わっている。特に社会福祉の固有性について議論を深めることを本科目では意識している。						
評価方法		提出課題30%、取組み姿勢40%、卒業論文の結果30%で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		計画的に研究を進めて、自分なりの答えを導き出してほしい。						
オフィスアワー		随時対応						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1) 2)	オリエンテーション					講義・演習	日田 剛
2	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
3	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
4	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
5	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
6	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
7	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
8	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
9	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
10	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
11	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
12	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
13	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
14	1) 2)	論文作成指導					演 習	日田 剛
15	1) 2)	卒業研究報告会					演 習	日田 剛
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B132	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○
担当者	井藤英俊(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	体育・スポーツ・保健・健康に関連した研究論文の作成、発表を行うため、①データ収集、②統計を用いた分析、③資料・文献の 収集、④文章作成の能力の習得を目指す。						
学修目標	1)研究論文作成のために必要な知識や方法を理解し、実践できる。 2)研究テーマに即したデータの収集ができる。 3)統計を用いて収集したデータの分析ができる。 4)体育・スポーツ、保健・健康に関する知識を理解し、資料・文献を収集できる。 5)収集した資料・文献、研究方法や結果を文章にして説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	卒業研究Ⅰは、これまで学修してきた研究論文作成のための①データ収集、②統計を用いた分析、③資料・文献の収集、④文 章作成の能力を活かして卒業論文作成を目指す。 研究テーマの選定から、研究の方法や分析方法など様々な論文作成のための能力を必要とする。 科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。						
評価方法	発表資料および討論への参加・取り組み状況(100%)						
準備学習・ 履修上の注意等	毎時、卒業論文の進捗状況について資料を作成し、報告をする。 発表においては、紙媒体、PC を用いた発表を行い、その内容についてディスカッションをする。ディスカッションにおいて指摘を 受けた点、説明が不十分な点について次回までに答えることができるようにする必要がある。そのため、1 コマあたり2 時間を目 安に予習復習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)4)5)	研究論文の作成 15 緒言の作成				演 習	井 藤
2	1)4)5)	研究論文の作成 16 緒言の作成				演 習	井 藤
3	1)4)5)	研究論文の作成 17 緒言の作成				演 習	井 藤
4	1)2)3)	研究論文の作成 18 研究方法の作成				演 習	井 藤
5	1)2)3)	研究論文の作成 19 研究方法の作成				演 習	井 藤
6	1)2)3)	研究論文の作成 20 研究方法の作成				演 習	井 藤
7	1)3)5)	研究論文の作成 21 結果の作成				演 習	井 藤
8	1)5)	研究論文の作成 22 結果の作成				演 習	井 藤
9	1)5)	研究論文の作成 23 結果の作成				演 習	井 藤
10	1)5)	研究論文の作成 24 考察の作成				演 習	井 藤
11	1)5)	研究論文の作成 25 考察の作成				演 習	井 藤
12	1)5)	研究論文の作成 26 考察の作成				演 習	井 藤
13	1)5)	研究論文の作成 27 まとめの作成				演 習	井 藤
14	1)4)5)	研究論文の作成 28 文献一覧の作成				演 習	井 藤
15	1)2)3) 4)5)	研究論文の作成 29 論文の確認				演 習	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					

科目名		卒業研究Ⅱ		授業コード	120736B134	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床福祉学科(4 年)		ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○	
担当者		川崎 順子(福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態 講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		臨床福祉学演習Ⅰ、Ⅱで習得した社会福祉に関する専門知識及び技術を基本に、研究テーマに沿った研究をまとめ表現する力(発表、論文作成)を習得する。臨床 DP(2)(3)(5)(6)(7)						
学修目標		1)研究計画を立てることができる。 2)計画に基づいて論文作成に取り組むことができる。 3)論文の構成・表現が適切にできる。 4)論文のまとめを行い、研究成果を発表することができる。 5)他者の研究について議論をすることができる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当(川崎)は、行政や社会福祉協議会などの実践現場 5 年以上の経験に基づき、社会福祉に関連する研究テーマの議論を深め、研究論文を完成することを目的として授業を行う。						
評価方法		課題・レポート 30%・取り組み姿勢 20%・卒論 50%などにより総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		1 コマあたり 4 時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的には、研究テーマに関連する領域の先行研究や文献検索を行う。先行研究や文献を通読し、レポートにまとめる。研究計画に基づいて、論文の執筆作業を行い、授業時に提出する。研究進捗状況に応じて、計画的に研究をすすめる。また、研究に関連した社会活動に参加し、その成果をレポートにまとめ、発表する。社会情勢に関心を示し、問題認識を持ちながら、議論できる準備を行うこと。						
オフィスアワー		担当教員に確認のこと						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 卒業研究の進め方、提出日等の基本事項を確認する					演 習	川 崎
2	2)(3)	【卒業論文の作成①】 卒業論文の作成を行う					演 習	川 崎
3	2)(3)	【卒業論文の作成②】 卒業論文の作成を行う					演 習	川 崎
4	2)(3)	【卒業論文の作成③】 卒業論文の作成を行う					演 習	川 崎
5	2)(3)	【卒業論文の作成④】 卒業論文の作成を行う					演 習	川 崎
6	2)(3)	【卒業論文の推敲を受ける①】 卒業論文の推敲、指導教員からの添削を受ける					演 習	川 崎
7	2)(3)	【卒業論文の推敲を受ける②】 卒業論文の推敲、指導教員からの添削を受ける					演 習	川 崎
8	2)(3)	【卒業論文の推敲を受ける③】 卒業論文の推敲、指導教員からの添削を受ける					演 習	川 崎
9	2)(3)	【卒業論文の推敲を受ける④】 卒業論文の推敲、指導教員からの添削を受ける					演 習	川 崎
10	2)(3)	【卒業論文の推敲を受ける⑤】 卒業論文の推敲、指導教員からの添削を受ける					演 習	川 崎
11	4)	【卒業研究の発表①】 卒業研究の発表に向けた準備を行う					演 習	川 崎
12	4)	【卒業研究の発表②】 卒業研究の発表を練習する					演 習	川 崎
13	4)	【卒業研究の発表③】 卒業研究の発表を練習する					演 習	川 崎
14	4)5)	【卒業研究発表会】 研究成果の発表を行う					演 習	川 崎
15	4)5)	【まとめ】 要点の整理と確認、「要旨」の作成を行う					演 習	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名		卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B135	単位数 (時間数)	2 単位 (15)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科、3年次			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	
担当者		鬼塚 信	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		目標:様々な病気を惹起するメタボリックシンドロームは癌の原因とされているか?、はたして、メ タボリックな環境で?癌細胞の増殖か?と?のように変化するのはか?は解明されていない。と?のよう な環境で?癌細胞は増殖しうるのかを培養か?ん細胞を用いて検証する。 この目標における研究課題の選定、実験、論文作成。 運営方法 培養か?ん細胞(Hela 細胞)を、様々な環境下(培養液の脂肪量、たんは?く質量、ヒ?タミンの相違)で?培養し、発育状態を比較検討する。						
学修目標		実験を遂行し論文作成することを目標とする。						
実務経験のある 教員による教育		研究手技の取得および遂行は、担当教員である鬼塚信の指導下に遂行する。						
評価方法		卒業論文の内容、発表を評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		周に1回は、観察研究を遂行すること。卒論は、自力で?作成すること。 実験、研究は、少しずつでも良いので、ことごとくコンスタントに行うことが、卒論作成への王道です。						
オフィスアワー		毎週金曜日 13 時～17 時						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
0	当研究室で遂行されている研究内容の理解	当研究室で遂行されている研究の紹介。						
0	各自の卒論テーマの選定	各自の卒論テーマの選定						
0	実験方法の計画:どのような手技や実験法で、研究テーマを解決するか計画する。	実験の実践					実験の実践	実験の実践
0	実験の実践	実験の実践					実験の実践	実験の実践
0	実験結果の検討、考察、追加実験	実験結果の検討、考察、追加実験						
0	実験結果の検討、考察、追加実験	論文の作成					論文の作成	論文の作成

0	論文の作成	論文の作成	論文の作成	論文の作成
0	論文の作成	論文の作成	論文の作成	論文の作成
0	論文の作成	論文の作成	論文の作成	論文の作成
	論文の作成	論文の作成	論文の作成	論文の作成
0	論文の作成	論文の作成	論文の作成	論文の作成
0	論文の作成	論文の作成	論文の作成	論文の作成
0	論文の作成	論文の作成	論文の作成	論文の作成
0	研究成果発表の準備、スライドの作成	研究成果発表の準備、スライドの作成	研究成果発表の準備、スライドの作成	研究成果発表の準備、スライドの作成
0	研究成果発表の準備、スライドの作成	研究成果発表の準備、スライドの作成	研究成果発表の準備、スライドの作成	研究成果発表の準備、スライドの作成
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない。各自の研究テーマに沿った文献を持ち寄り、抄読する。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		テキストは、特には、指定しないか?、実験系の内容を理解し、遂行で?きるようになること。各自の研究テーマに沿った文献を持ち寄り、抄読する。		

科目名		卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B136	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○
担当者		神田 潤一(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		卒業論文の作成を通して、論理的思考を展開させる能力を身につけることを目標とする。						
学修目標		1) さまざまな情報から自らが課題を見つける能力を習得する。 2) 課題解決に向けた方法を論理的思考により、自らが決定および解決できる能力を習得する。 3) 自らの論理的思考を他者に向け、わかりやすく説明できる能力を習得する。 4) 他者の考えを尊重したうえで、論理的思考のもと、議論できる能力を習得する。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法		演習に対する発表内容・態度(30%)、卒業論文および抄録の完成度(50%)、卒業論文発表会の内容・態度(20%)にて評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		提出期限など最低限のルールは守るようにすること。予習・復習は毎時間必ず行うこと。						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)～4)	オリエンテーション					講 義	神 田
0	1)～4)	卒業論文の作成および発表準備					演 習	神 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						

科目名		卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B137	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○
担当者		佐々木 さはら(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		【授業の概要】 実験・測定・調査によって得られたデータをもとに、卒業論文の完成を目指す授業である。 【一般目標:GIO】 自分自身の研究について、限られた文字数でまとめる(抄録)ことや、限られた時間の中で他者に伝える(発表会)ことができるようになる。ひいては、自分の考えを他者へ簡潔に正しく伝えるコミュニケーションスキルを得ることが目標である。						
学修目標		1) 得られたデータから正しい結果・考察・結論を導き出すことができる。 2) Word、Excel、PowerPoint を使用し、他者が理解しやすい資料を作成することができる。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		プレゼンテーションによる最終試験で評価する(100%) 基準については授業開始日に説明する						
準備学習・ 履修上の注意等		物事に対し疑問をもち、その疑問はすぐに議論もしくは解決する習慣を身につけること。また、与えられた課題に対し、真摯に取り組むこと。						
オフィスアワー		研究室前に掲示						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
0	1)、2)	卒業論文の作成					講義・演習・SGD	佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						

科目名	卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B138	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(4 年)			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○
担当者	中野祐也(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	スポーツ健康福祉学演習Ⅰ・Ⅱで得られた知識・技法をもとに、論理的思考過程を修得すると同時に、卒業論文を完成する能力を修得する。このことは問題解決のための実践的方法を実行する能力を修得することにつながる。また、地域や他種職との連携、協働する力を修得するために、学科全体で実施する卒業研究のプレゼンテーションを通して研究内容を分かりやすく他者に伝える能力を修得する。 (CP⑦)						
学修目標	1) 各自が立てた研究方法を実践できる。 2) 研究倫理について理解することができる。 3) 指導教員の指示に従い、関連領域の知識・技術を修得できる。 4) 関連文献の収集方法・分析方法を理解し、データの収集・分析ができる。 5) 客観的事実をもとに、論文作成ができる。 6) 研究成果をわかりやすくプレゼンテーションできる。						
実務経験のある 教員による教育	なし						
評価方法	卒業論文の内容・構成・調査方法の妥当性・データ解析の正確さ(50%)、およびプレゼンテーション技術(50%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	各自の研究に必要な資料はファイル等で整理し、必要な情報を取り出せるようにしておくこと。また講義で得た知識は必ず研究ノート等に記載し、記録する姿勢が求められる。この資料は各自で保管すること。また資料はチューター面談にも使用される。1 コマあたり 4 時間の予習復習時間を行うこと。予習復習では適宜配布された資料あるいは各自が収集した資料を読み返し、要点をまとめておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。						
オフィスアワー	毎週月～金曜日 12:30～13:00 (場所:B-421)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	論文作成のスケジュールの見直しと検討				演 習	中 野
2	2～4)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー方法論(1)ー				演 習	中 野
3	2～4)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー方法論(2)ー				演 習	中 野
4	2～4)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー方法論(3)ー				演 習	中 野
5	2～4)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(1)ー				演 習	中 野
6	2～4)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(2)ー				演 習	中 野
7	2～4)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(3)ー				演 習	中 野
8	2～4)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(4)ー				演 習	中 野
9	2～4)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(5)ー				演 習	中 野
10	2～5)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(6)ー				演 習	中 野
11	2～5)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー論文作成(1)ー				演 習	中 野
12	2～5)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー論文作成(2)ー				演 習	中 野
13	2～5)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー論文作成(3)ー				演 習	中 野
14	2～6)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー論文作成(4)ー				演 習	中 野
15	2～6)	卒業論文発表				演 習	中 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B139	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科、4 年			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○
担当者		藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		「現代社会における社会福祉問題」をテーマとする。各自テーマを決め順次報告し、討論を重ねていく。前期では受講生の関心 領域について、文献や新聞等より取り上げて報告する。後期ではさらに関心領域を絞り、文献を取り上げて報告する。福 DP1～ 4						
学修目標		私たちが直面する問題についてその実態を把握するとともに、制度政策のあり方、具体的なソーシャルワークのあり方等につい て学習することを目的とする。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし						
評価方法		出席状況・受講態度(40%)、レポート・課題発表の結果(60%)によって評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		問題意識を明確にし積極的に研究テーマに取り組むこと。予習・復習を行い毎回の授業に臨むこと。						
オフィスアワー		研究室前に掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 講義の進め方と概要					演 習	藤 原
2	1)	テーマ設定の仕方					演 習	藤 原
3	1)	資料の探し方					演 習	藤 原
4	1)	図書館の利用					演 習	藤 原
5	1)	報告レジュメの書き方					演 習	藤 原
6	1)	発表の仕方					演 習	藤 原
7	1)	各自関心のあるテーマの設定					演 習	藤 原
8	1)	グループ発表					演 習	藤 原
9	1)	討論					演 習	藤 原
10	1)	個人発表					演 習	藤 原
11	1)	討論					演 習	藤 原
12	1)	文献抄録発表					演 習	藤 原
13	1)	個人発表					演 習	藤 原
14	1)	討論					演 習	藤 原
15	1)	振り返り					演 習	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			随時紹介する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			随時紹介する。					

科目名		卒業研究Ⅱ			授業コード	120736B140	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(4 年)			ナンバリング	13C412P02	AL 科目	○
担当者		兒崎 友美(福・福)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		卒業研究を行い、卒業論文作成の準備を行う。 臨床福祉学演習Ⅰ、Ⅱで習得した社会福祉に関する専門的知識および技術を軸に、研究テーマに沿った研究をまとめ、表現する力(卒業研究発表、卒業論文作成)を習得する。 DP: (2)(3)(6)、CP: 1-(8)						
学修目標		1)研究計画を立てることができる。 2)計画に基づいて論文作成に取り組むことができる。 3)論文の構成・表現が適切にできる。 4)論文のまとめを行い、研究成果を発表することができる。 5)他者の研究について関心を持ち、議論をすることができる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当(兒崎)は、特別養護老人ホームや地域包括支援センター等の高齢者福祉分野において 15 年以上の経験がある。この経験に基づき、社会福祉に関する研究テーマの設定や研究方法の修得を目的とした授業を展開する。						
評価方法		課題・レポート 30% 取組み姿勢 20% 卒論 50% を目安に総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		1 コマあたり 4 時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的には、研究テーマに関連する領域の先行研究や文献検索を行う。先行研究や文献を通読し、レポートにまとめる。 研究計画に基づいて、論文の執筆作業を行い、授業時に提出する。 研究進捗状況に応じて、計画的に、自主的に研究を進める。						
オフィスアワー		研究室ドアに張り出す。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 卒業研究の進め方、提出日等の基本事項について確認する。 卒業研究の進捗状況について確認する。					講義・演習	兒 崎
2	2)3)	卒業論文の作成 卒業論文の作成を行う。					演 習	兒 崎
3	2)3)	卒業論文の作成 卒業論文の作成を行う。					演 習	兒 崎
4	2)3)	卒業論文の作成 卒業論文の作成を行う。					講義・演習	兒 崎
5	2)3)	卒業論文の作成 卒業論文の作成を行う。					演 習	兒 崎
6	2)3)	卒業論文の指導 卒業論文の推敲、指導教員からの添削を受ける					演 習	兒 崎
7	2)3)	卒業論文の指導 卒業論文の推敲、指導教員からの添削を受ける					講義・演習	兒 崎
8	2)3)	卒業論文の指導 卒業論文の推敲、指導教員からの添削を受ける					演 習	兒 崎
9	3)4)5)	卒業論文の指導 卒業論文の推敲、指導教員からの添削を受ける					演 習	兒 崎
10	2)3)	卒業論文の指導 卒業論文の推敲、指導教員からの添削を受ける					演 習	兒 崎
11	4)	卒業研究の発表 卒業研究発表会に向けた準備を行う。					演 習	兒 崎
12	4)	卒業研究の発表 卒業研究発表会の練習を行う。					演 習	兒 崎
13	4)	卒業研究の発表 卒業研究発表会の練習を行う。					演 習	兒 崎
14	4)5)	卒業研究発表会 研究成果の発表を行う。 他者の研究成果を聴講する。					演 習	兒 崎
15	4)5)	まとめ 要点の整理と確認、「要旨」の作成を行う。					演 習	兒 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			教科書の指定なし。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			随時、参考図書の紹介を行う。					

科目名	教職論			授業コード	140011B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	13C132T01	AL 科目	
担当者	衣笠 高広 (福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	教 職	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	「教師を志す人は、これから、何について、どのように学ぶべきなのか。」この問いについて、自分自身で考え続けていけるように、本授業では、教職の意義、教職に関する専門科目の意義、教師の仕事の社会的使命と職務の具体的内容、学校や教師に解決が求められている諸問題等について学ぶことを通して、教職に向けての見通しをもつことを目標とします。 本授業科目は、カリキュラムポリシーに基づき、受講生の教職を目指したキャリアデザインを支援するために開講される。 授業は、講義を基本とし、問答、発表、ディスカッション、演習等を適宜組み合わせで行う。						
学修目標	1)教師の社会的使命と具体的な職務内容について理解している。 2)教師の仕事の場としての学校制度とその管理・運営について理解している。 3)教員としての研修の権利と義務や遵守事項、身分保障制度、学校における同僚関係の重要性について理解している。 4)今日の教師が直面する教育の現代的課題について理解している。 5)教師の仕事に向けての目的意識を身につけている。 6)教師になるためにどのような学びと経験を積み、どのような資質能力を身につけるべきかについて理解している。						
実務経験のある 教員による教育	教員としての経験、指導主事等として現職教員への指導・研修・講習を行ってきた経験を生かして授業を行う。						
評価方法	評価は、複数回のレポート(上記の到達目標をどの程度達成しているかを基準とする)を 80%、学習への取り組み状況(発言等の活動を通しての授業への参加度、学生相互のコミュニケーションへの参加度)を 20%として行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1)授業はシラバスに即して(対応するテキストの章節を示しながら)進めるので、次回授業で扱うテキストの該当箇所については必ず予習しておくこと。 2)授業では資料も配付するので、テキストの内容と合わせて復習しておくこと。 3)授業中の座席は指定する場合があるので、指示に従うこと。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室 416 のドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	6)	【教職科目を学ぶ意義】教職の専門性を支える教職専門科目を学ぶ意義、教職専門科目の構成と内容、およびそれらの教育職員免許法上の位置づけについて理解する。				講 義	衣 笠
2	1)	【子どもの生活と学校】子どもをめぐる現状および課題について、基本的な生活習慣や学校生活などの側面から理解する。				講 義	衣 笠
3	1)	【教師の仕事(1)学習指導】子どもの認識と技能の発達を促す学習指導の意義と役割、目的と方法について、授業論や教育内容論などを踏まえて理解を深める。				講 義	衣 笠
4	1)	【教師の仕事(2)生徒指導・教育相談】子どもの人格形成や人間的成長を促す生徒指導および教育相談の意義と役割について、その基盤としての生徒理解の重要性も含めて理解する。				講 義	衣 笠
5	1)	【教師の仕事(3)進路指導・キャリア教育】子どもを豊かな人生に向けて導くための進路指導とキャリア教育の意義と課題について、学校から仕事への移行をめぐる現代的な困難も含めて理解を深める。				講 義	衣 笠
6	1)	【教師の仕事(4)学級経営】子どもたちが安心して生活でき、学習に取り組める教育環境の整備にかかわる学級経営の課題について、現代的諸問題をも踏まえつつ理解を深める。				講 義	衣 笠
7	4)	【子どもの荒れと学級崩壊】今日の子どもたちはさまざまな事情によって発達上の困難に直面していることを、学級崩壊という事象を手がかりに理解する。				講 義	衣 笠
8	4)	【教員の資質・能力(1)教師像の歴史的変遷】学校における教師の役割はどのように変化し、それに伴って期待される教師像はどのように変遷してきたかを理解する。				講 義	衣 笠
9	3)	【教員の資質・能力(2)現代社会と教師像】教師の社会的役割の歴史的変遷を踏まえて、現代の教師に求められる資質能力について理解を深める。				講 義	衣 笠
10	3)	【教員の養成と採用(1)教員養成】教員養成制度の歴史と現状、および今日の教員養成の仕組みと内容について理解する。				講 義	衣 笠
11	3)	【教員の養成と採用(2)教員の採用と研修】教員採用の現状と課題、採用後の研修について、法規定を含めて現状と課題を理解する。				講 義	衣 笠
12	3)	【教員の地位と身分(1)専門職としての教職】教師像の歴史的変遷について学び、教職の専門職としての特質と社会的責任の重さについて理解する。				講 義	衣 笠
13	2)	【教員の地位と身分(2)教員の待遇と勤務条件】教員が職務に専念できるように身分の安定が保障されていることについて、法規定を含めて理解する。				講 義	衣 笠
14	2)	【学校制度と管理運営(1)】日本における学校の種類と制度について学び、学校の種別や段階に応じて教員の職務内容がどう異なるかを理解する。				講 義	衣 笠
15	5)	【学校制度と管理運営(2)】学校管理・学校運営について学び、学校の使命を遂行するために教員はどのような役割を担うべきかを理解する。				講 義	衣 笠
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		藤本典裕編著『新版(改訂 2 版)教職入門―教師への道―』 図書文化社、2019 年 【ISBN:9784810097207】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		佐久間亜紀・佐伯胖編著『現代の教師論』ミネルヴァ書房、2019 年 グループ・ディダクティカ編『学びのための教師論』勁草書房、2007 年 グループ・ディダクティカ編『教師になること、教師であり続けること』勁草書房、2012 年 高橋哲『聖職と労働のあいだ―「教員の働き方改革」への法理論』岩波書店、2022 年 無着成恭編『山びこ学校』岩波文庫、1995 年					

科目名	教育行政学			授業コード	140004B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	13C232T01	AL 科目	○
担当者	渡邊 庸(非常勤)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義及び SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	平成 18 年 12 月に教育基本法が改正され、教育行政を支える法体系は大きく変更された。また、地方教育行政法の改正により平成 27 年 4 月から新教育委員会制度が始まった。本講義では、公教育の概念とその制度的原理を教育法体系と関連づけて整理することを出発点に、文部科学省と教育委員会制度を中心に教育行政の構造と機能を学習するとともに学校安全教育や「チーム学校」運営、さらに幼保一元化の動きを含めた最近の教育政策や制度改革の動向等、我が国の教育行政の課題について考察し、教員としての知識を獲得することを目的とする。						
学修目標	1)憲法を頂点とする教育法規の体系について理解を深め、教育基本法改正の意義について説明できる。 2)公教育の概念・歴史と制度的原理について理解を深め、教育行政の意義について説明できる。 3)教育行政機関としての文部科学省及び教育委員会の機能について説明できる。 4)学校経営と教職員の職務について理解を深め、副校長等新しく設置された職の意義について説明できる。 5)教育課程行政について理解を深め、学習指導要領及び教科書検定制度について説明できる。 6)国及び地方の教育費と教育財政について理解し、教育行政の課題について説明できる。 7)生涯学習・社会教育行政について理解を深め、学校教育との関連について説明できる。 8)学校評価制度や学校評議員制度等、開かれた学校に向けての制度と課題について説明できる。 9)保育行政について理解を深め、近年の幼稚園・保育園をめぐる動きについて説明できる。 10)学校安全に関する基礎的知識について理解を深め、実践できる力を養う。						
実務経験のある 教員による教育	授業担当者は、教師として教育現場での 30 年以上の実務経験に基づき、教育行政に関する知識の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	各授業ごとに小テストを行い、結果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(小テストや課題の提出、授業プリントの受け取り、質問・発言・回答など授業への参加)を 2 割、学期末の筆記試験を 8 割として、単位認定を行う。詳細な評価基準は授業開始日に資料を配付し説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	予習は教科書を熟読して言葉の意味等を調べるのに 150 分、復習は小テストの確認、授業のレジュメの見直し・整理と教科書の再読に 90 分を充てて行うこと。 新型コロナウイルスの感染状況によっては、SDG など内容を変更することもある。						
オフィスアワー	授業前後の時間(事前に要予約のこと。場所は講義室等)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	ガイダンス:現在の教育問題と教育行政及び教育行政学				講 義	渡 邊
2	1)2)	我が国の教育制度:明治期の学制から現在まで				講 義	渡 邊
3	1)2)	教育行政と教育行政学:教育行政の主体と活動、教育行政と教育行政学の関係				講 義	渡 邊
4	1)3)	教育行政を動かす組織:地方教育行政を担う機関。国の教育行政機関。教育行政組織の変容。				講 義	渡 邊
5	1)5)	教育を受ける権利の保障:児童・生徒・保護者の権利。義務教育と就学保障。 特別なニーズを持つ子どもの教育。				講 義	渡 邊
6	3)4)8)	学校管理と経営:学校運営の動向、組織。安全教育。開かれた学校づくりと学校評価。安全教育に関してはSGDを行う。				講義, SGD	渡 邊
7	3)6)	就学前の子どもたちの教育:近年の幼稚園・保育園をめぐる動き。				講 義	渡 邊
8	3)6)	教育費と教育財政:教育財政の制度と機能、地方分権化と義務教育費。学校財務。				講 義	渡 邊
9	1)2)7)	教育活動を支える諸条件:教育条件整備と法制度。新しい動向。				講 義	渡 邊
10	1)2)7)	生涯学習・社会教育制度(1):生涯学習と社会教育。社会教育の歴史とその成立。 教育基本法の改正と社会教育・生涯学習。				講 義	渡 邊
11	3)4)	生涯学習・社会教育制度(2):生涯学習・社会教育行政の運営原則。主な生涯学習・社会教育制度。 今後の課題。				講 義	渡 邊
12	3)4)8)	教職員の養成・採用・研修と身分保障(1):教員という職業。教員養成と採用。 教員養成のしくみ、教員採用選考。				講 義	渡 邊
13	2)3)5)	教職員の養成・採用・研修と身分保障(2):教員の研修、身分保障。新しい動き。				講 義	渡 邊
14	2)3)5)	教育課程行政と教科書(1):教育課程行政の基本的な考え方、学習指導要領、教科書。				講 義	渡 邊
15	1)9)	教育課程行政と教科書(2):教科書問題の歴史				講 義	渡 邊
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		教育行政学 改訂新版(藤野 正章・藤本 典裕 編著)学文社【978-4-7620-2490-0】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		工藤勇一『学校の「当たり前」をやめた。』時事通信社【978-4-7887-1594-3】 その他、適宜紹介します。					

科目名		特別支援教育			授業コード	140038A101	単位数 (時間数)	1 単位 (15)
配当学科(学年)		臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C331T01	AL 科目	
担当者		藤原 直子(非常勤講師)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	教 職	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が、学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。						
学修目標		1)インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解している。 2)特別支援教育に関する教育課程の枠組みを踏まえ、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解している。 3)特別支援教育コーディネーター、関係機関・家庭と連携しながら支援体制を構築することの必要性を理解している。 4)発達障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の心身の発達、心理的特性及び学習の過程を理解している。 5)自閉スペクトラム症の幼児、児童及び生徒に対する支援の方法について例示することができる。 6)注意欠如多動症の幼児、児童及び生徒に対する支援の方法について例示することができる。 7)学習障害の児童及び生徒に対する支援の方法について例示することができる。 8)視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む様々な障害のある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難について基礎的な知識を身に付けている。						
実務経験のある 教員による教育		心理師として障害児者に対する心理的支援の実務経験(小中高等学校におけるスクールカウンセラー、特別支援教育に関する巡回指導・研修会講師、心理相談室における発達障害児のカウンセリング、保護者支援等)がある教員が担当する。障害児の支援において必要な知識や技法を、事例も紹介しながら教授していく。						
評価方法		授業では、毎時間振り返りや小テストを行い、最終試験と併せて総合的に評価する。 成績評価は、おおむね、授業での発表・演習態度 10%、振り返り・小テスト 30%、最終試験 60%とする。小テストや講義内の課題については、講義内で回答・フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		2 日間の集中講義であるため、できるかぎり全回出席すること。 講義内で行う振り返りや小テストは、指示された時間内に提出すること。 授業内容が十分理解できるよう、予習復習として、該当部分の教科書を熟読すること。本講義では扱わない内容もあるため、教科書の内容は全て読み、自己学習に努めること。						
オフィスアワー		授業前後の可能な時間						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1, 3	特別支援教育の制度と理念、学校における支援体制及び連携					講 義	藤 原
2	1、2	特別支援教育の実際、指導計画の作成					講 義	藤 原
3	4	発達障害の幼児、児童及び生徒の心身の発達、心理的特性					講 義	藤 原
4	4、5	自閉スペクトラム症(ASD)の幼児、児童及び生徒への理解と支援					講 義	藤 原
5	4、6	注意欠如多動症(ADHD)の幼児、児童及び生徒への理解と支援					講 義	藤 原
6	4、7	限局性学習症(LD)の児童及び生徒への理解と支援					講 義	藤 原
7	8	様々な障害のある幼児、児童生徒の特性と指導					講 義	藤 原
8	1、3	今後の特別支援教育の在り方、最終試験					講義・試験	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		改訂版 教員と教員になりたい人のための特別支援教育のテキスト【9784058017623】学研教育みらい 小林倫代(編・著)?藤井茂樹(著)?廣瀬由美子(著)?星祐子(著)?						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし						

科目名	教育課程論			授業コード	140002B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング	13C232T02	AL 科目	
担当者	衣笠 高広(福・ス)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	教 職	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	教育課程と教師とのかかわりを主体的に考えることができるようになるために、各学校で学習指導要領を基準に編成されている教育課程について、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。 本授業科目は、カリキュラムポリシーに基づき、受講生の教職を目指したキャリアデザインを支援するために開講される。 授業は、講義を基本に、問答、発表、ディスカッション、演習等を随時組み合わせで行う。						
学修目標	1)教育課程編成の基礎的事項(教育課程とは何であり、どのような意義があるか。教育課程にはどのような類型があるか。教育課程は誰がどのような基準で編成するのか。)を理解している。 2)我が国の学校における教育課程はどのような変遷を経てきたのかを理解している。 3)教育課程はどのような教育思想に支えられているのかを理解している。 4)中学校学習指導要領(総則編)・高等学校学習指導要領(総則編)はどのような特色をもち、どのように編成されているのかを理解している。 5)教育課程の意義と視点について理解している。 6)教育課程の編成・実施・評価・改善の在り方について理解している。 7)カリキュラム・マネジメントはどのように進められるべきかを理解している。						
実務経験のある 教員による教育	校長、教頭、教務主任としての実際の教育課程編成・実施・評価・改善に取り組んだ経験、指導主事として現職教員への指導・研修・講習を行ってきた経験等を生かして授業を行う。						
評価方法	評価は、複数回のレポート(上記の到達目標をどの程度達成しているかを基準とする)を 80%、学習への取り組み状況(発言等の活動を通しての授業への参加度、学生相互のコミュニケーションへの参加度)を 20%として行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1)授業はシラバス(シラバスに該当するテキストの章節)に即して進めるので、次時に扱うテキストの該当箇所については必ず予習しておくこと。 2)授業では資料も配付するので、テキストの内容と合わせて復習しておくこと。 3)授業中の座席は指定する場合があるので、指示に従うこと。						
オフィスアワー	時間割決定後、研究室 416 の入り口に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【教育課程の意義】なぜ「教育課程」について考えなければならないのか。「隠れたカリキュラム」とは何か。(テキスト:序章)				講 義	衣 笠
2	1)	【カリキュラムの要素・構造】教育課程はどのような要素によって、どのように組み立てられているのか。(テキスト:第 5 章)				講 義	衣 笠
3	1)～ 3)	【日本における教育課程の成立】近代の教育課程はどのようにして成立してきたのか。(テキスト第 1 章)				講 義	衣 笠
4	1)～ 3)	【現代における教育課程の変遷】戦後の教育課程(学習指導要領)はどのように変遷してきたのか。(テキスト:第 2 章 1～5)				講 義	衣 笠
5	1)～ 3)	【1990 年代以降の教育課程】「生きる力」・「確かな学力」を育てるためにどのような教育課程が編成されているのか。(テキスト第 2 章 6～8、第 3 章)				講 義	衣 笠
6	1)、4)	【教育課程と教育思想】教育課程はどのような教育思想に支えられてきたのか。教育課程にはどのようなタイプ(類型)があるか。(テキスト:第 4 章)				講 義	衣 笠
7	1)、 2)、4)	【教育課程編成の法的基準と現行学習指導要領】公教育における教育課程はどのような法的基準や規程に基づいているか。学習指導要領はどのように編成されているのか。(授業時に配付する資料を中心に進める。テキスト:第 4・5 章。)				講 義	衣 笠
8	1)～ 3)	【中学校学習指導要領総則の内容(1)】現行の中学校学習指導要領総則における内容にはどのような特色があり、どのように編成されているのか。(授業時に配付する資料を中心に進める。テキスト:第 2 章～第 6 章。)				講 義	衣 笠
9	1)、 2)、4)	【中学校学習指導要領総則の内容(2)】現行の中学校学習指導要領総則における内容にはどのような特色があり、どのように編成されているのか。(授業時に配付する資料を中心に進める。テキスト:第 2 章～第 6 章。)				講 義	衣 笠
10	1)、 2)、4)	【高等学校学習指導要領総則の内容】現行の中学校学習指導要領総則における内容にはどのような特色があり、どのように編成されているのか。(授業時に配付する資料を中心に進める。テキスト:第 2 章～第 6 章。)				講 義	衣 笠
11	4)	【教育課程編成の実際 1】学校の教育目標を具現化する教育課程の意義と視点は何か。(授業時に配付する「教育課程に関する資料」を中心に進める。)				講 義	衣 笠
12	5)、 6)、7)	【教育課程編成の実際 2】学校の教育目標を具現化する教育課程の意義と視点は何か。(授業時に配付する「教育課程に関する資料」を中心に進める。)				講 義	衣 笠
13	5)、 6)、7)	【教育課程編成の実際 3】学校の教育目標を具現化する教育課程の意義と視点は何か。(授業時に配付する「教育課程に関する資料」を中心に進める。)				講 義	衣 笠
14	5)、 6)、7)	【教育課程編成の実際 4】学校の教育目標を具現化する教育課程の意義と視点は何か。(授業時に配付する「教育課程に関する資料」を中心に進める。)				講 義	衣 笠
15	5)、 6)、7)	【教育課程編成の実際 5】学校の教育目標を具現化する教育課程の意義と視点は何か。(授業時に配付する「教育課程に関する資料」を中心に進める。)				講 義	衣 笠
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		田中耕治・水原克敏・三石初雄・西岡加名恵『(第 4 版)新しい時代の教育課程』有斐閣、2018 年【ISBN: 9784641221079】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		文部科学省『中学校学習指導要領解説総則編』2018 年【ISBN:9784827815597】 文部科学省『高等学校学習指導要領解説総則編』2019 年【ISBN:9784491036397】 荻谷剛彦『学校って何だろう』ちくま文庫、2005 年					

科目名	福祉科教育法			授業コード	140027D101	単位数 (時間数)	4 単位 (60)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C333T01	AL 科目	○
担当者	福永 善秀(非常勤講師)、稲田 弘子(福・福)、清水 径子(福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	教 職	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	この科目は、高等学校の教科「福祉」の教育内容及び方法を学ぶ科目である。教科「福祉」は「福祉の本質」や「福祉の担い手の意義や役割」等、社会福祉学及び介護福祉学などの一般教養及び職業教育を施す福祉教育である。 したがって、この科目では、「福祉とは何か」や「福祉の制度や仕組み」など福祉の考え・見方及び社会制度や仕組みなどを教科「福祉」の教育目標、教育内容及び指導方法について学習します。また、本講義は、総論、教科「福祉」の教科・科目の教育内容及び指導法、福祉科教育実践力の資質・能力を育てる三部構成とし、特に、教科「福祉」の教科・科目の教育内容及び指導法に関連する講義では、福祉・情報関連科目と介護関連科目に分け、福祉と介護の専門領域に関する知識や技術を深く理解させ、これらの知識や技術を教科「福祉」の教育目標・内容・方法の学習に深められるように講義を工夫する。 この講義では教科「福祉」の教育目標及び内容に関する知識を教育実践力に高めるように工夫します。また、年間指導計画や指導案の作成し、模擬授業の実施、その事後指導を実施します。そして、授業の分析し、授業を改善する福祉科教育実践力の資質・能力を高めるように工夫します。 一般目標 ① 福祉科教育法の考え方を理解させ、福祉科教育法に必要な基本的な知識や技術を学び、福祉科教育実践力に必要な資質・能力を身に付けさせる。 ② 平成 30 年度高等学校学習指導要領の改定の趣旨、経緯及び改定内容の要点、さらに、教科「福祉」の改定の詳細を理解させ、福祉科の教育経営及び福祉科教育実践力を身に付けさせる。 ③ 教科「福祉」の教育課程を編成し、教育実施体制を整備し、高校福祉科が生徒にとって学び場、さらに生きる力を培う場として改善 ④ 教科「福祉」の教科・科目の目標及び教育内容とその取扱いについて学び、アクティブ・ラーニングを実践する資質・能力を育てる。 ⑤ 教科福祉の教材研究については、教育内容を精選し、適切な教材を見出し、授業を展開し、アクティブ・ラーニングを実践する資質・能力を育てる。 ⑥ 指導計画や学習指導案を作成し、さらに模擬授業を実施して、福祉科教育法で学習した知識や技術を福祉科教育実践力まで高める。						
学修目標	① 高等学校福祉科における教育の目的、意義及び役割を理解させ、福祉科が学校の特色や地域の状況に沿った創造的な福祉教育を実践する資質・能力を育てる。 ② 教科「福祉」の学習指導要領の理解、特に平成 30 年度の指導要領の改定の趣旨、経緯、及び教育政策とそのポイントを理解させる。さらに、学習指導要領の改定の趣旨を生かし、教育課程を作成し、学科の教育経営及び創造的な学習指導における教育実践力を育てる。 ③ 教科「福祉」の教育課程を適切に編成し、それに基づいて地域の福祉関連機関と連携を図り、その地域の特性に応じた教育システムを構築する能力を育てる。 ④ 教科「福祉」の教科・科目の教育目標と内容及びその取扱いに沿って授業を改善し、アクティブ・ラーニングを実践できる能力を育てる。 ⑤ 教科「福祉」の教科・科目の教育実践力を科学的に学び、教育マネジメント能力を育てアクティブ・ラーニングを実践する力を育てる。 ⑥ 福祉科の教材研究、教育内容、教材研究、及び授業研究などの研究方法を学ばせ、教科「福祉」の教科・科目において教育実践に関する資質・能力を育て、福祉科教育実践力を高める。 ⑦ 教科「福祉」の各教科・科目の指導計画を学習指導要領に沿って作成し、学科の特色や地域の状況を充分の考慮した指導計画が作成できるようにする。 ⑧ 教科「福祉」の教科・科目の教材研究、特に、教育内容を精選し、その教科に内容に適した教材を見つけ、授業を展開できる能力を育てる。 ⑨ さらに、教科「福祉」の教科・科目の学習指導案を作成できるようにする。 ⑩ また、模擬授業を実施し、授業の展開及び生徒の能動的な学習活動を引き出し、授業の実践力を高め、授業の展開及び生徒の学習活動に関する問題点を発見し、その問題点の改善を図る能力を高める。						
実務経験のある 教員による教育	公立小学校 5 年勤務、通級教室で障害児教育担当、難聴幼児通園施設 4 年勤務、診断や治療業務担当、短期大学の介護福祉士養成施設課程の設置審において教科「社会福祉、障害者福祉、老人福祉」等担当認可、また大学の社会福祉養成課程の設置審において教科「障害者福祉」担当認定。						
評価方法	学習態度 10 点、レポート 10 点、模擬授業 20 点、試験 60 点の総合評価 準備学習・履修上の注意点 講義は対話法で実施します。社会福祉、特に高齢者・障害者福祉の基本事項(社会福祉用語辞典)をもとに、社会福祉関連の基本的事項をノートに整理し、それぞれの項目をまとめてください。この科目では、高等学校福祉科で指導する福祉に関する基本的な知識や技術事項、さらにその基本事項を如何に指導するかについて学ぶので、これらの知識及び技術にある考え方や見方を学習しておく必要があります。 また、福祉科の教育では、皆さんが居住する地域の状況や福祉の状況をもとに指導するので、地域の福祉行政について学ぶ必要があります。						
準備学習・ 履修上の注意等	講義は対話形式で進めるので、適切に対応できるようにしてほしい。 1 コマにつき 4 時間程度の予習・復習を行うこと。						
オフィスアワー	講義は集中講義として金土曜日に実施しますので、土曜日の昼休や講義の終了時に実施します。どんなことでも結構です。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
0	1)	第 1 回 オリエンテーション 第 2 回 学習指導要領改訂の基本方針				講 義	1. 福永 2. 福永
0	1)	第 3 回 現代社会に対応した「福祉」の在り方①現代社会のニーズと高校学校「福祉」の意義 第 4 回 現代社会に対応した「福祉」の在り方②社会福祉学における教科「福祉」の位置付け				講 義	3. 福永 4. 福永
0	2)	第 5 回 教科「福祉」に関する学習指導要領の改定の要点:生きる力を育てる授業改善 第 6 回 福祉科の目標及び内容構成と教科「福祉」の全体構造				講 義	5. 福永 6. 福永

0	3)	第7回 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い①計画の作成に当たっての配慮事項:授業改善 第8回 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い②内容の取扱いに当たっての配慮事項	講義	7. 福永 8. 福永
0	3)	第9回 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い③実験・実習の実施等に当たっての配慮事項 第10回「福祉」の福祉・情報科目?「社会福祉基礎」の目標に当たっての配慮事項	講義	9. 福永 10. 稲田・清水
0	3)	第11回「福祉」の福祉・情報科目②「こころとからだの理解」の目標及び内容・取扱い 第12回「福祉」の福祉・情報科目③「福祉情報」の目標及び内容・取扱い	講義	11. 稲田・清水 12. 稲田・清水
0	3)	第13回 介護関連科目教育法①現代の介護問題と介護の考え方 第14回 介護関連科目教育法②介護福祉のあり方及び今後の介護福祉士に求められる資質・能力	講義	13. 福永 14. 福永
0	3)	第15回 介護関連科目教育法③高校福祉科における介護教育 第16回「福祉」の介護関連科目①「介護福祉基礎」の目標及び内容・取扱い	講義	15. 福永 16. 稲田・清水
0	3)	第17回「福祉」の介護関連科目②「コミュニケーション技術」の目標及び内容・取扱い 第18回「福祉」の介護関連科目③「生活支援技術」の目標及び内容・取扱い	講義	17. 稲田・清水 18. 稲田・清水
0	1)	第19回「福祉」の介護関連科目?「介護過程」の目標及び内容・取扱い 第20回「福祉」の介護関連科目⑤「介護総合演習」の目標及び内容・取扱い	講義	19. 稲田・清水 20. 稲田・清水
0	2)	第21回「福祉」の介護関連科目⑥「介護実習」の目標及び内容・取扱い 第22回 福祉科教育法実践論(1)教育課程の編成と作成の方法	講義	21. 稲田・清水 22. 福永
0	3)	第23回 福祉科教育法実践論(2)年間指導計画の作成 第24回 福祉科教育法実践論(3)学習指導案の作成	講義	23. 福永 24. 福永
0	4)	第25回 福祉科教育法実践論(4)福祉科実践教育実践論①—教育内容研究 第26回 福祉科教育法実践論(5)福祉科実践教育実践論②—教材研究	講義	25. 福永 26. 福永
0	5)	第27回 福祉科教育法実践論(6)福祉科実践教育実践論③—授業研究 第28回 福祉科教育法実践論(7)授業の展開と学習活動	講義	27. 福永 28. 福永
0	6)	第29回 福祉科教育法実践論(8)模擬授業 第30回 福祉科教育法実践論(9)事後指導	講義	29. 福永 30. 福永
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		文部科学省編「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 福祉編」、海文堂出版		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		保住芳美編著「高等学校 新学習指導要領の展開 福祉科編 明治図書 硯川眞旬他編著「福祉教科教育法」 ミネルヴァ書房		

科目名		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法			授業コード	140039B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科, 臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング	13C231T01	AL 科目	○
担当者		川上はる江(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	教 職	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.		特別活動・総合的な学習の時間の特徴を考慮しながら, 下記の内容を実践的に学修する。 1)特別活動の目標, 教育課程上の位置づけ, 学級活動, クラブ活動, 生徒会活動等の内容については, 事前にプリントで予習しておく。そして, 講義の中でグループワークを通して主体的に学びを深める。 2)学級活動指導案作成の仕方については, 実際に作成することを通して学修する。 3)総合的な学習の時間の目標, 教育課程上の位置づけ, 特徴については, 予習プリントで事前に学修しておき, 講義の中でグループワークを通して主体的に学びを深める。 4)全体計画, 年間計画, 単元計画, 思考ツール等は作成, 活用することを通して学修する。						
学修目標		1)特別活動・総合的な学習の時間の意義, 目標, 教育課程上の位置づけ, 内容を理解する。 2)特別活動の内容の種類と関連性を理解し, 学級活動の年間計画, 学習指導案を作成することができる。 3)総合的な学習の時間の課題を決めて単元計画を作成し, その強みと探求の過程について説明することができる。 4)特別活動・総合的な学習の時間の評価の考え方を理解することができる。						
実務経験のある 教員による教育		小学校教諭, 教育センター研究員, 小学校校長として, 38年間の実務経験を有する教員が, その経験を活かし, 教育現場において実践的に役立つ授業を行う。						
評価方法		授業では, テキストを事前に熟読してくることを大前提にする。授業でレポートを出すこともある。レポートの評価は, 授業への参画状況として評価する。 評価は, 授業での発表や発表をめぐる発言, 討論など(20%), 授業への参画状況(30%), 試験(50%)で評価する。 なお, 評価ために実施した課題や小テスト等は, 授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。						
準備学習・ 履修上の注意等		予習 2 時間 次回に学修する箇所を読んでくこと。 復習 2 時間 毎回課題を出すので少しずつまとめること。						
オフィスアワー		授業前後の空き時間に対応する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	【特別活動の意義, 目標】 特別活動とは何か, 特別活動は歴史的にどのように展開され, 教育課程にどのように組み込まれてきたか, 変遷を学修する。さらに, 特別活動の目標について, 社会参画, 自己実現, 人間関係形成という視点から整理し, 身に付けさせる資質, 能力について学修する。					講 義	川 上
2	2) 5)	【特別活動の内容(学級活動 学校行事 生徒会活動)と全体計画】 特別活動は望ましい集団活動を通して, 社会参画, 自己実現, 人間関係形成のための資質, 能力を育成すること を理解する。内容には学級活動, 学校行事, 生徒会活動があるが, 全体計画を理解することを通して, それぞれの 特徴と相互関係について理解する。					講義, クラブ活動	川 上
3	2)	【学級活動の目標, 内容, 年間計画】 学級活動は, 3つの内容に分かれていること, それぞれの活動を自治的に行うことを通して, 生徒が学級経営に参 画することを学修する。また, 学級活動の年間計画の作成の仕方を学修した後, 具体的に生徒に身に付けさせたい 資質, 能力について考察する。					講義, クラブ活動	川 上
4	2)	【学級活動の年間計画作成(演習)】 学級活動には3つの内容があることを理解し, 全体計画に従って, 学級担任になったつもりで年間計画を作成す る。作成過程を通して, 発達段階に応じた題材の設定や生徒に身に付けさせたい資質, 能力について考察する。					講義, クラブ活動	川 上
5	2)	【学校行事、生徒会活動の目標, 内容, 具体的活動】 学習指導要領を基に, 学校行事は, 日常と異なる活動によって学校生活を充実したものとし, 新たな自己発見を促 す点で重要であることを理解する。生徒会活動は, 自治的な活動を通して, 将来の社会人としての資質, 能力を育 成する上で重要であることを理解する。					講義, 反転学修	川 上
6	5)	【学級活動の指導案の書き方 指導案作成】 学級活動(2)の指導案の作成の仕方について学び, 各自題材を決めて学級活動指導案を作成する。					講義, クラブ活動	川 上
7	4)	模擬授業 グループ①②③ 特別活動のうち, 学級活動(2)の内容で作成した学習指導案により, 模擬授業を実施する。授業後, 良かった点, 問題点などについて協議することを通して授業の観察の視点や授業者としての指導方法について具体的に学修す る。					演習, グループ活動	川 上
8	3)	【学級活動と SEL】 学級活動は生徒指導と深い関連があることを理解し, その機能を学級経営に生かすための方法として SEL の考え 方を知る。また, SEL の理論について実践を通して学修する。					講義, 演習	川 上
9	6)	【総合的な学習の時間の意義, 目標】 総合的な学習の時間が生まれた背景から, 「生きる力」を具現化するための資質, 能力を身に付けるものであるこ とを学修する。また, 学習指導要領の目標から総合的な学習の時間の特徴を読み取る。					講 義	川 上
10	6)	【総合的な学習の時間の歴史 教育課程上の位置づけ】 学習指導要領の目標や内容の変遷から, 総合的な学習の時間の変化と現在の内容を理解する。また, 戦後すぐに 「川口プラン」「本郷プラン」といった問題解決的な学習プランがあったことを理解する。					講 義	川 上
11	6)	【総合的な学習の時間 全体計画 単元計画】 総合的な学習の時間の全体計画, 年間計画, 単元計画の具体を知り, 教科(領域)としての特徴や他教科との関連 を学修する。					講義, クラブ活動	川 上
12	7) 8)	【単元計画の考え方 作成の仕方】 前回の講義を基に, 自分で課題をもち, 目標を設定し, 単元計画を作成する。その際, 地域の教育力をいかに取り 入れるか, 効果的に活用できるように工夫させる。					講義, 演習	川 上
13	7) 8)	【作成した単元計画の発表 (グループ内で情報交換)】 各自作成した単元計画を基に, 探求の過程を踏んでいるか, 地域の教育力を生かしているか, 他教科との関連を 意識しているかについて協議する。					演 習	川 上

14	8)	【思考ツールと活用例(演習)】 総合的な学習の時間で活用する思考ツールと思考スキルについて、テキスト、学習指導要領を用いて学修する。また、実際に思考を深める道具として、グループで演習を行い、活用の仕方を理解する。	講義	川上
15	9)	【総合的な学習の時間の評価】 教育活動における評価、一般の考え方について学修した後、総合的な学習の時間における児童、生徒の学習状況の評価について、方法と留意点を説明する。	講義	川上
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		新しい教職教育講座 9 特別活動(中村豊／原清治 著、ミネルヴァ書房)【9784623081929】 新しい教職教育講座 8 総合的な学習の時間(森田真樹／篠原正典 著、ミネルヴァ書房)【9784623081912】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 最新版 中学校学習指導要領解説 特別活動編 最新版 高等学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 最新版 高等学校学習指導要領解説 特別活動編 最新版		

科目名		教育方法論			授業コード	140008B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉専攻・スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C332T01	AL 科目	○
担当者		井藤 英俊	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	教 職	授業形態	講義, SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		現在, 中学校や高等学校の教師としての力量や能力を形成することが求められている。そのために, 先哲の業績を手掛かりに, これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために, 適切な教育の方法, 技術, 情報機器及び教材の活用などの知識・技術を修得し, さらに教育評価に関する基礎的な教員としての知識・技能を修得することを目的とする。						
学修目標		1)教育の目的と、教育内容、教育方法との関連性について説明できる。 2)先哲の教育思想の要点について理解し、現代の教育との関わりについて説明できる。 3)授業づくりの観点から授業の構造や「学び方」, 学習内容について理解を深めるとともに, 説明できる。 4)学習指導案の意義について理解を深め、実際に自分の担当する教科目についての学習指導案を作成することができる。また、教育評価の意味や方法について理解を深め、授業の目的は生徒の価値ある変容であることを説明できる。 5)教育課程について理解を深め、学習指導要領を中心とする教育課程に関する法制について説明できる。 6)教育効果を高める教材・教具・情報機器の使用法について理解を深めるとともに、実際に活用することができる。						
実務経験のある 教員による教育		授業担当者(井藤)は, 教育現場(中学校・高等学校・特別支援学校)での実務経験に基づき, 教育方法に関する知識・技能の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法		各授業ごとに小テストを行い, 結果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(小テストや課題の提出, 授業プリントの受け取り, 質問・発言・回答など授業への参加)を 2 割, 学期末の筆記試験を 8 割として, 単位認定を行う。詳細な評価基準は授業開始日に資料を配付して説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等		予習は, テキストを熟読し, 言葉の意味等を調べるのに 150 分, 復習は小テストの確認, レジュメの見直しと整理, 教科書の再読に90分はかけること。 レジュメと, 板書を中心に授業を進めるが、学生の意見も求める。プリントホルダーを作成すること。 新型コロナの感染状況によっては, SGD など内容を変更することもある。						
オフィスアワー		時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	教育方法論入門 教育の目的と教育内容、様々な教育方法。 教育方法史1 ソクラテス～コメニウス					講 義	井 藤
2	1)2)	教育方法史2 ルソー～ペスタロッチ～ヘルバルトとヘルバルト学派					講 義	井 藤
3	1)2)	教育方法史3 20世紀初頭の新教育運動 明治期近代学校制度の成立と公教育教授定型					講 義	井 藤
4	1)2)	教育方法史4 大正自由教育と昭和戦時期の教育					講 義	井 藤
5	1)3)4)	教育課程論1 学習指導要領の変遷, 教科書の教育的役割, 「教科書を教える」と「教科書で教える」の区別					講 義	井 藤
6	1)3)	学習指導論2 学校の教育課程の編成, かくれた(ヒドウン)カリキュラム					講 義	井 藤
7	1)3)	学習指導論3 総合的な学習(探究)の時間の意義と課題, 特別活動の意義と課題, 道德教育の意義と課題					講 義	井 藤
8	1)3)	学習指導論4 キャリア教育と進路指導					講 義	井 藤
9	1)3)5)	授業論1 授業の構造と意義, 学習指導案, 授業目標づくり					講 義	井 藤
10	1)3)5)	授業論2 問題解決学習, 「学び方」を学ぶ, 教材研究と教材解釈					講 義	井 藤
11	1)5)	授業論3 展開のある授業, 発問の種類と機能, 安全教育					講 義	井 藤
12	1)3)5)	教育技術論1 教育技術の特質, 集団づくり, 習熟度別指導, ティーム・ティーチング					講 義	井 藤
13	1)3)6)	教育技術論2 教育メディア, ICT 教育, インターネット教育, メディア・リテラシー					講 義	井 藤
14	1)3)5)	教育技術論3 板書とノート指導, 調べ学習, 机間指導, 模擬授業の意義と方法					講 義	井 藤
15	1)4)	教育評価論 学力, 相対評価と絶対評価, 指導と評価の一体化, 到達目標と方向目標, 新しい評価法, , 指導要録, 新しい実践 課題:ジェンダー(SGD)					講義, SGD	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		教育の方法と技術 第三版(柴田 義松／山崎 準二) 学文社 【978-4-7620-2869-4】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		高等学校学習指導要領解説 総則編 (文部科学省) 東洋館出版社 【978-4491036397】 工藤勇一 『学校の「当たり前」をやめた。』時事通信社 【978-4-7887-1594-3】 その他, 適宜紹介します。						

科目名	生徒・進路指導論			授業コード	140035B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉専攻・スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	13C231T02	AL 科目	○
担当者	渡邊 庸(非常勤)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	教 職	授業形態	講義, SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	生徒指導は、学校の教育目標を達成するために重要な機能の一つであり、一人一人の生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、倫理観や正義感などの社会的資質や行動力を高めるように指導・援助するものである。学校の教育活動全体を通じて、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を勧めていくために教員として必要な知識・技能や素養を修得する。特に、いじめ防止や自殺防止への早期対応のため生徒理解への認識を深める。さらに、LGBTQを含む性に関する課題と多様な課題を持つ生徒への理解を深める。また、進路指導の意義とキャリア教育の重要性を理解し、その目的のために必要な授業改善や学校内外の組織体制に必要な知識や素養を修得することを目的とする。						
学修目標	1)進路指導を含む生徒指導の意義と課題について理解を深め、教育課程における生徒指導の位置付けについて説明できる。 2)集団指導と個別指導の方法原理について理解を深め、学校運営と生徒指導について説明できる。 3)教科等教育課程の各場面における生徒指導の在り方について理解を深め、指導力の基礎について説明できる。 4)児童期・青年期の心理と発達について理解を深め、児童生徒理解の基本としての資料収集法について説明できる。 5)全体に対する指導等学校における生徒指導体制について理解し、生徒指導の改善と評価について説明できる。 6)教育相談の意義、相談の進め方等について理解を深め、カウンセラーとしての基礎的素養について説明できる。 7)個々の課題について理解を深め、チーム学校としての具体的な指導の在り方について説明できる。 8)生徒指導に関する法制について理解を深め、関係機関との連携の在り方について説明できる。 9)進路指導・キャリア教育の位置づけを理解し、組織的な指導体制及び家庭や関係機関との連携の在り方を理解し、説明できる。 10)学校安全に関する基礎的知識について理解を深め、実践できる力を養う。						
実務経験のある 教員による教育	担当者は、教師として 30 年以上教育現場に立ち、その実務経験に基づき、生徒指導・進路指導に関する知識・技能の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	各授業ごとに小テストを行い、結果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(小テストや課題の提出、授業プリントの受け取り、質問・発言・回答など授業への参加)を 2 割、学期末の筆記試験を 8 割として、単位認定を行う。詳細な評価基準は授業開始日に資料を配付して説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	予習は、使用する教科書を熟読して語句の意味を調べるのに 150 分、復習は小テストの確認、授業のレジュメの見直しと教科書の再読に 90 分を充てて行うこと。 新型コロナウイルスの感染状況によっては、SGD など内容を変更することもある。						
オフィスアワー	授業前後の時間に授業の教室で行う。事前に要予約。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)9)	生徒指導の基礎(1) 生徒指導の意義と構造				講 義	渡 邊
2	1)2)9)	生徒指導の基礎(2) 生徒指導の構造、2軸3類4層				講 義	渡 邊
3	1)3)9)	生徒指導と教育課程、進路指導(1) 教科及び道德教育における生徒・進路指導				講 義	渡 邊
4	1)3)9)	生徒指導と教育課程、進路指導(2) 総合的な学習の時間及び特別活動における生徒・進路指導				講 義	渡 邊
5	4)5)7)	チーム学校による生徒指導体制(1) 生徒指導体制、生徒指導主事の役割、教育相談体制				講 義	渡 邊
6	4)5)7) 8)	チーム学校による生徒指導体制(2) 危機管理体制、校則、懲戒と体罰、出席停止、関係機関との連携				講 義	渡 邊
7	3)4)5) 6)9)10)	チーム学校による生徒指導体制(3) 生徒指導組織、進路指導組織、年間指導計画、安全教育、資料の保管活用等。安全教育に関してはSGDを行う。				講義, SGD	渡 邊
8	1)2)5) 7)8)	いじめ 法整備の経緯、いじめ防止対策のための組織と計画、いじめに関する生徒指導の重層的支援構造、関係機関との連携				講義,	渡 邊
9	4)5)7) 8)10)	暴力行為、少年非行 暴力行為に対する対応指針等、学校の組織体制と計画、暴力行為に対する生徒指導の重層的支援構造、関係機関との連携 少年非行に関する法令等、少年非行への視点、少年非行への対応の基本、関係機関との連携				講 義	渡 邊
10	2)4)5) 6)7)8)	児童虐待と自殺防止 児童虐待に関する法律等、学校の体制、児童虐待の課題予防的生徒指導、児童虐待の発見と通告、関係機関との連携 自殺防止に関する法律等、自殺予防のための学校の組織体制と計画、自殺予防に関する生徒指導の重層的支援構造、関係機関との連携				講 義	渡 邊
11	1)2)4)) 5)6)7) 8)	性に関する課題、インターネット・携帯電話等に案ずる問題 性犯罪・性暴力対策強化、性に関する課題の早期発見・対応、性犯罪・性暴力に関する生徒指導の重層的支援構造、「性的マイノリティ」に関する課題と対応 インターネット・携帯電話等に関連する法律等、インターネット問題への組織的取組、インターネット問題への生徒指導の重層的支援構造、関係機関との連携				講 義	渡 邊
12	1)2)4) 5)6)7) 8)	多様な背景を持つ生徒の理解と生徒理 発達障がいに関する理解と対応、精神疾患に関する理解と対応、健康問題に関する理解と対応、支援を要する家庭状況				講 義	渡 邊

13	1)2)4) 5)6)7) 8)	生徒指導の進め方(1) 生徒理解の資料と収集, 家庭訪問の在り方と留意点	講義	渡邊
14	1)9)	進路指導とキャリア教育(1) 中学校における進路指導の意義と方法, キャリア教育の目標と展開	講義	渡邊
15	1)9)	進路指導とキャリア教育(2) 高等学校における進路指導の意義と方法, キャリア教育の目標と展開	講義	渡邊
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		生徒指導提要 (文部科学省) 教育図書株式会社 【978-4-87730-274-0】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		改訂版『生徒指導要領』web版【97849912899804】 高等学校学習指導要領解説 総則編 平成31年11月(文部科学省) 株式会社東洋館 【97844491036397】 中学校学習指導要領解説 総則編 平成30年6月(文部科学省) 株式会社東山書房 【978-4-8278-1559-7】 工藤勇一 学校の「当たり前」をやめた。時事通信社 【978-4-7887-1594-3】 その他, 適宜紹介します。		

科目名	教職実践演習(中・高)			授業コード	140010B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)・臨床福祉専攻(4 年)			ナンバリング	13C432T01	AL 科目	○
担当者	井藤 英俊・衣笠 高広(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	教 職	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	(1)教員としての現場経験が豊富な外部講師の講話によって、教師の資質として求められる「使命感・責任感・教育愛」「社会性・対人関係能力」「子ども理解・学級経営」および「教科等の指導力」について現場の視点で理解する。 (2)「履修カルテ」および「教育実習録」をもとに、これまでの教職課程の学習履歴を振り返って、すでに何を獲得し、何が課題として残されているかを確認する。 (3)その上で、課題として残されている点については、その解決のため卒業までにどんなことに取り組むかを具体的に考え、明確化する。 (4)教育実習での授業経験をもとに指導案を作成して模擬授業を行い、相互講評によって、教科の指導力等に関わる自己の課題を明確にする。 ――以上を通して、教職に向けての学びにおける自己の到達点を明らかにし、卒業までに取り組むべき課題についての自覚を深める。						
学修目標	1)教師として求められる資質能力について、大事なことがらを理解している。 2)これまでの学習や実習等の経験をとおして、自分が教師としての資質能力をどの程度まで修得しているかを、客観的に把握している。 3)教職に向けて、今後さらにどのような課題に取り組むべきかを理解し、その課題に取り組もうとする姿勢を身につけている。						
実務経験のある 教員による教育	4 回・7 回・11 回・13 回の外部講師は、小・中・高の現職及び退職教員である。						
評価方法	成績は模擬授業・課題発表等パフォーマンスの内容(50%)、演習への参加態度(25%)およびレポートや課題の提出状況(25%)をもとに評価する。 発表に際しては十分な質疑応答の時間を取り、教師が仔細にコメントするほか、学生相互で意見交換を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	(1)本科目を履修するには、次の条件を満たしておかなければならない。――①4年次前期までに「教職課程履修カルテ」を作成していること、②教育実習を終了していること、③4年で卒業できる見込みであること。 (2)1コマ当たり平均3時間を目安に予習・復習を行うこと。 (3)「教育実習録」および実習で作成した指導案をもとに実習を振り返り、実習で行った授業を再現して模擬授業ができるように予習しておくこと。 (4)模擬授業を踏まえて復習し、教員としての自己の課題を整理すること。 (5)模擬授業に先立つ指導案の作成や模擬授業の実施にあたっては、教科担当(「中高保健体育」及び「高校福祉」)の教員の助言と指導のもと実施する。 (5)レポート等の提出はクラスルームを使用する。PC の準備をしておくこと。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 授業のねらい:教職課程の学習履歴を振り返り、自己の到達点と課題を明らかにする意義について理解する。				講 義	井 藤
2	2)	【省察と課題の確認1】 「履修カルテ」「実習ノート」にもとづく振り返り:「履修カルテ」と「実習記録」をもとに、これまでの学習履歴を振り返る。				演 習	井 藤
3	1)	【省察と課題の確認2】 到達点の確認と課題の明確化				演 習	井 藤
4	2)	【外部講師による講話〈1〉】 「使命感・責任感・教育愛」:経験豊かな現場教員の講話によって、教師の「使命感・責任感・教育愛」について学ぶ。				講 義	井藤・外部講師
5	2)	【省察と課題の確認3】 発表と交流:学習履歴の振り返りにもとづいて明らかになった到達点と課題を発表し、互いに交流する。				演 習	井 藤
6	1)	【教師の使命と資質能力についての討論】 グループ討論および全体討論:講話と自己省察を踏まえて、教師の使命や必要な資質能力について、討論を行う。				演 習	井 藤
7	2)	【外部講師による講話〈2〉】 「社会性・対人関係能力」:経験豊かな現場教員の講話によって、教師に必要な「社会性・対人関係能力」について学ぶ。				演習、SGD	井 藤
8	1)	【学習指導案の作成と模擬授業1】 教育実習を振り返って、その反省に立って学習指導案を作成する				演 習	井 藤
9	2)	【学習指導案の作成と模擬授業2】 教育実習を振り返って、その反省に立って学習指導案を作成する				演 習	井 藤
10	2)	【指導案の作成と模擬授業3】 模擬授業と相互講評(その1):指導案にもとづく模擬授業を行い、相互に講評しあって交流する。(第1回目)				演 習	井 藤
11	2)	【外部講師による講話〈3〉】 「社会性・対人関係能力」:経験豊かな現場教員の講話によって、教師に必要な「社会性・対人関係能力」について学ぶ。				講 義	井藤・外部講師
12	2)	【指導案の作成と模擬授業4】 模擬授業と相互講評(その2):指導案にもとづく模擬授業を行い、相互に講評しあって交流する。(第2回目) 「最終レポート」についての指示				演 習	井 藤
13	1)	【外部講師による講話〈4〉】 「生徒理解・学級経営」: 経験豊かな現場教員の講話によって、教師に必要な「生徒理解・学級経営能力」について学ぶ。				講 義	井藤・外部講師
14	3)	【模擬授業のまとめ】 「最終レポート」提出締め切り日				講 義	井 藤

15	3)	【まとめ】 今後に向けて:授業の全体を振り返り, 今後に向けての各自の課題を確認する。	演 習	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		

科目名	教育実習指導			授業コード	140036A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)・臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング	13C332T02	AL 科目	○
担当者	長友道彦(非常勤講師)衣笠高広 (スポ)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	教 職	授業形態	講義及び演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	(1)教育実習の意義とねらいについて理解する。 (2)教育実習に向けての心得および礼儀作法について理解する。 (3)これまで教職課程で学んできたことをもとに、教育実習に関わる基礎的事項についての理解を深める。 (4)これまでの学習を踏まえて教師としての自己の在り方を省察し、実習に向けて取り組むべき課題を明確にする。 ―これらを通して、これまでの学習を集大成し、教育実習に向けての目的意識を明確にする。						
学修目標	1)教育実習の目的を理解し、教育実習生としての本分と基本的作法について理解している。 2)教職に向けてこれまでに学んできたことの意味を、実践的な視点からとらえ直すことができる。 3)学校で行われている事柄について、実習生の視点からその意義をとらえることができる。 4)指導案の作成や生徒への対応の仕方など、教育実習生としてなすべきことについて具体的に見通しを持つことができる。 5)自己のありようを省察し、教育実習に向けて取り組むべき自己の課題を自覚している。						
実務経験のある 教員による教育	授業担当者(長友)は、教育現場(宮崎県立高等学校教諭及び教頭)での 30 年以上の実務経験に基づき、教育実習に対する心 構えや実際等についての授業を行う。						
評価方法	成績評価は、感想文や複数回の課題の提出・発表、模擬授業等の発表の内容・態度、そして最終レポートの内容ををもとに行 う。 (1)視聴覚教材については、視聴して問題点を把握し、対応等を考えることができる。 (2)「挨拶」については、挨拶する対象によってその内容を考えることができる。 (3)「講話」については、講話の対象によってその内容を考えることができる。 (4)「模擬授業」については、①「学習指導案」を作成し、それに基づいた教材研究が出来る。②実際の授業を想定した「シナリオ」 を作成できる。 ③学習指導案(シナリオ)に従って授業が出来る。 (5)「最終レポート」については、入学後の学びを振り返って、①学びの内容 ②これまでの学びの成果を踏まえて、③教育実習ま での課題を自覚できる。						
準備学習・ 履修上の注意等	(1)1コマ当たり2 時間を目安に予習・復習を行うこと。 (2)授業はテキストのほか本学作成の「教育実習の手引き」をもとに進める。次回授業で取り上げるテーマを予め呈示するので、 テキストおよび手引きで予習しておくこと。 (3)他の学生の発表や模擬授業を見て、良かった点、改善点、参考になった点を意識的につかむこと。 (4)復習では授業で学んだことを整理し、その観点から教師としての自己の課題を明らかにすること。 (5)課題やレポート等は、ワープロ原稿での提出とするので、PC機器等の準備をしておくこと。 (6)模擬授業では、パワーポイント等情報機器を積極的に使用すること。						
オフィスアワー	授業前後の時間(事前に要予約、場所は講義室等)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【教育実習ガイダンス】 教育実習の意義、教育実習の流れ、評価方法、教育実習の心得、教育実習の実際、『教育実習録』の使い方を 理解する。				講 義	長友 衣笠
2	1)2)5)	【学校教育に関する基礎的理解1】 1 学校経営 2 学級経営・ホームルーム経営 3 学習指導(授業観察、教材研究、学習指導案の作成、教科指導) を理解し、課題を確認する。				講 義	長友 衣笠
3	1)2)	【学校教育に関する基礎的理解2】 1 道徳教育 2 総合的な学習(探究)の時間 3 特別活動 について理解し、課題を確認する。				講 義	長友 衣笠
4	2)3)	【学校教育に関する基礎的理解3】 1 生徒指導・教育相談・進路指導 2 学校保健 3 特別支援教育 4 人権・同和教育について理解し、課題を確認す る				講 義	長友 衣笠
5	2)3)	【生徒指導の実際】DVD 視聴と感想文作成 集団指導と個別指導のあり方、いじめ・不登校への対応の仕方を学び、学級経営について、これまでに学んできた ことを整理し確認する。				講義・演習	長友 衣笠
6	2)3)	【教育実習の実際1】 教育実習の 1 日を時系列で確認しながら、ワークシートを作成する。				講義・演習	長友 衣笠
7	2)3)	【教育実習の実際2】教育実習でのあいさつ1 教育実習で直面する対職員、対生徒、対受け持ち学級 対授業クラスに向けたあいさつ原稿を作成する。				講義・演習	長友 衣笠
8	3)4)	【教育実習の実際3】 教育実習でのあいさつ2 前回作成した原稿をもとに、実際に教壇に立って、あいさつを行う。				演 習	長友 衣笠
9	3)4)	【教育実習の実際4】対 生徒講話例(1) 教育実習の際に、中学生・高校生に向けての講話を求められる機会を想定して、「私が教師を目指す理由」などの テーマで、講話原稿を作成する。				講義・演習	長友 衣笠
10	3)4)	【教育実習の実際5】対生徒講話(2) 前回作成した講話原稿をもとに、実際に教壇で講話を行う。				演 習	長友 衣笠
11	2)3)	【教育実習の実際6】模擬授業(1) 学習指導案を作成し、導入(または展開部分の冒頭)部分の授業のシナリオを作成する。				講義・演習	長友 衣笠
12	2)3)	【教育実習の実際7】 前回作成した学習指導案とシナリオをもとに、学生を生徒に見立てて、実際に模擬授業を行う。生徒役の学生及び 担当教員が質問及び講評を行う。				演 習	長友 衣笠
13	1)5)	【教育実習の実際7】 模擬授業(2)				演 習	長友 衣笠

		前回作成した学習指導案とシナリオをもとに、学生を生徒に見立てて、実際に模擬授業を行う。生徒役の学生及び担当教員が質問及び講評を行う。		
14	5)	【教育実習及び終了後の対応】 ①これまでの教職課程の学習を踏まえて自己を省察し、実習に向けた課題を確認し、レポートにまとめる。その際、履修カルテを活用する。 ②実習校へのお礼状(校長先生、教科指導教諭、学級指導教諭)を作成する。	講義・演習	長友 衣笠
15	4)5)	【まとめ】 前回作成したレポート及び挨拶状を印刷・製本したものを」配布して、フィードバックバックして、実習までに取り組むべき課題等を再確認する。	講義・演習	長友 衣笠
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		『教育実習の手引き(九州保健福祉大学教職課程)』(非売品) * 授業の際に配布する。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜、授業の中で紹介する。		

科目名	教育実習Ⅰ			授業コード	140033B101	単位数 (時間数)	2 単位 (60)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(4年次)			ナンバリング	13C431T02	AL 科目	○
担当者	井藤 英俊・衣笠 高広(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	教 職 必 修	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	中学校または高等学校における2週間の教育実習で、授業観察、指導案作成、授業の実践、部活指導、生徒との交流などを通して、教育実践について体験的に学ぶ。 また、本教育実習での体験について、これまでに教職課程科目で学んできた内容と関連づけて考察を行い、理論と実践の統合を目指す。						
学修目標	中学校または高等学校における2週間の教育実習で、授業観察、指導案作成、授業の実践、部活指導、生徒との交流などを通して、教育実践について体験的に学ぶ。 また、本教育実習での体験について、これまでに教職課程科目で学んできた内容と関連づけて考察を行い、理論と実践の統合を目指す。						
実務経験のある 教員による教育	学校現場の実際の教職員に指導をいただきながら、実務の経験を身に付ける。						
評価方法	実習校による評価及び巡回指導の報告にもとづき、教育実習担当教員が評定(案)を作成し、教職課程運営委員会の承認により決定される。						
準備学習・ 履修上の注意等	・前年度に実習校より内諾を受けている者のみ履修可。 ・「教育実習の研究」等の事前指導内容、および実習校でのガイダンス内容をよく理解し、実習期間中は教職員としての自覚を持ち行動すること。 ・中学校免許、高等学校免許のいずれを希望するかにかかわらず、「教育実習Ⅰ」は中学校または高等学校のいずれで履修してもよい。 ・ただし、中学校免許取得を希望する者は、必ず同一の実習校で「教育実習Ⅱ」とあわせて、連続3週間の実習を履修しなければならない。 ・高等学校免許のみを希望する者は、「教育実習Ⅰ」を2週間履修しなければならない。 ・実習校においては指導案作成のため PC が必須となる。事前に準備をしておくこと。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
0	到達 目標 は各 回の 授業 ごと に総 合的 に達 成さ れる。	授業内容は、実習校の計画に基づく。				実 習	実習校の教職員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1196-2】 高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1202-0】 高等学校学習指導要領解説 福祉編 (文部科学省)海文堂出版 【978-4-303-12511-0】					

	上記については教育実習を行う校種のことを必ず購入すること 加えて、教育実習期間を通して事前に配布した「実習録」および「手引き」を使用する。

科目名	教育実習Ⅱ			授業コード	140034B101	単位数 (時間数)	2 単位 (60)
配当学科(学年)	臨床福祉専攻・スポーツ健康福祉学科(4年次)			ナンバリング	13C431T03	AL 科目	○
担当者	井藤 英俊・衣笠 高広(福・ス)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	教 職 必 修	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	「教育実習Ⅰ」を踏まえ、中学校または高等学校における2週間の教育実習で、授業観察、指導案作成、授業の実践、部活指導、生徒との交流などを通して、教育実践について体験的に学ぶ。 また、本教育実習での体験について、これまでに教職課程科目で学んできた内容と関連づけて考察を行い、理論と実践の統合を目指す。						
学修目標	「教育実習Ⅰ」を踏まえ、中学校または高等学校における2週間の教育実習で、授業観察、指導案作成、授業の実践、部活指導、生徒との交流などを通して、教育実践について体験的に学ぶ。 また、本教育実習での体験について、これまでに教職課程科目で学んできた内容と関連づけて考察を行い、理論と実践の統合を目指す。						
実務経験のある 教員による教育	学校現場の実際の教職員に指導をいただきながら、実務の経験を身に付ける。						
評価方法	実習校による評価及び巡回指導の報告に基づき、教職課程運営委員会により成績評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	・前年度に実習校より内諾を受けている者のみ履修可。 ・「教育実習の研究」等の事前指導内容、および実習校でのガイダンス内容をよく理解し、実習期間中は教職員としての自覚を持ち行動すること。 ・中学校免許、高等学校免許のいずれを希望するかにかかわらず、「教育実習Ⅱ」は中学校または高等学校のいずれで履修してもよい。 ・ただし、「教育実習Ⅱ」は「教育実習Ⅰ」とあわせて履修すること(「教育実習Ⅱ」だけを履修することはできない)。また、ⅠとⅡは同一の実習校で履修しなければならない。 ・中学校免許取得を希望する者は、必ず「教育実習Ⅰ」とあわせて履修すること。 ・高等学校免許取得を希望する者もⅠとⅡをあわせて履修できるが、「教育実習Ⅱ」だけを履修することはできない。実習期間は、ⅠとⅡを合わせて、計3週間とする。 ・実習校においては指導案作成のため PC が必須となる。事前に準備をしておくこと。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
0	到達 目標 は各 回の 授業 ごとに 総合 的に 達成さ れる。	授業内容は、実習校の計画に基づく。				実 習	実習校の教職員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1196-2】 高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1202-0】					

	高等学校学習指導要領解説 福祉編（文部科学省）海文堂出版【978-4-303-12511-0】 上記については教育実習を行う校種のことを必ず購入すること 加えて、教育実習期間を通して事前に配布した「実習録」および「手引き」を使用する。

科目名		英語			授業コード	110026B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	9CC121B01	AL 科目	○
担当者		上田 留理(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.		Students will be able to improve their reading, writing, listening, speaking by comprehending English materials regarding to vasion subjects. Students will be expected be involved acively in all class activities and tasks.						
学修目標		1) Students will be able to improve reading skill by comprehending grammar/structure of English. 2) Students will be able to comprehend basic writing skill through translation practices. 3) Students will be able to improve English communication skill through class activities. 4) Students will be able to comprehend listening skill through dictation practices. 5) Students will be confident expressing their ideas and opinions in English.						
実務経験のある 教員による教育		This class is designed and couducted based on the experiences of the instructor who had worked as an interpreter and a translator. The instrctor was also educated and trained to teach active learning based on the CALA method which had been created for st						
評価方法		Total evaluation on class attitude (40%), reports (30%), and a comprehensive examination (30%).						
準備学習・ 履修上の注意等		Bring English/Japanese and Japanese/English dictionaries. Read assigned English materials to prepare for the classes.						
オフィスアワー		After classes						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1) 2)3)4)	Introducton of the Class					講義・演習	上 田
2	3)5)	Intercultural Communication (Group Activity)					講義・演習	上 田
3	1)2) 3)4)	Cell Phone – Mobile Phone Addict & Reduce Amount of Time to Use					講義・演習	上 田
4	1)2) 3)4)	Cell Phone – Mbile Phone Addict & Reduce Amount Time of Use					講義・演習	上 田
5	1)2) 3)5)	Process of Learning English (Practical Activity)					講義・演習	上 田
6	1)2) 3)5)	Process of Learning English (Practical Activity)					講義・演習	上 田
7	1)2) 3)	Eight Steps Towards a More Satisfing Life					講義・演習	上 田
8	1)2) 3)	Eight Steps Towards a More Satisfying Life					講義・演習	上 田
9	3) 4) 5)	Listening and Understanding English on DVD Material					講義・演習	上 田
10	3) 4) 5)	Listening and Understanding English on DVD Material					講義・演習	上 田
11	1)2) 3)4) 5)	Discussion regarding the contents on the DVD Material					講義・演習	上 田
12	2) 3) 5)	How to Develop Communication Skills Neccessary for Personels in Clinical Psychology Fields					講義・演習	上 田
13	2) 3) 5)	How to Develop Communication Skills Neccessary for Personels in Clinical Psychology Fields					講義・演習	上 田
14	1)2)3) 4) 5)	Open Subject related to Clinical Psychology (the subject chosen by students and necessary materials prepared by the instructor)					講義・演習	上 田
15	1)2) 3)4) 5)	Review for the course					講義・演習	上 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	英語コミュニケーション			授業コード	110031B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科 2 年			ナンバリング	9CC122B01	AL 科目	○	
担当者	上田 留理(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソ No.	Students will improve their English communication ability by using their knowledge, experiences and informagion regarding to various fields.							
学修目標	1) Students will improve their English comprehension skill through class lectures. 2) Students will improve their English communication skills through class activities. 3) Studtnes will improve their five English skills such as listening, specking, reading, writing and thinking.							
実務経験のある 教員による教育	This class is designed and conducted based on the experiences of the instrutor who had worked as an interpreter and translator. This instructor was also educated and trained to teach active learning based on CALA method whic had been created for ESL stu							
評価方法	Total evaluation on class attitude, reports, and a comprehensive examination.							
準備学習・ 履修上の注意等	Bring English/Japanese and Japanese/English dictionaries. Read assigned English material to prpare for the classes							
オフィスアワー	After classes.							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1-3)	Introduction of the Class					講義・演習	上 田
2	1-3)	How to write logical reports in English					講義・演習	上 田
3	1-3)	How to prepare for a presentation (1)					講義・演習	上 田
4	1-3)	How to prepare for a presentation (2) understanding an audio and vivusl material as an example.					講義・演習	上 田
5	1-3)	How to prepare for a presentation (3): Choose a theme for a presentation (group activity)					講義・演習	上 田
6	1-3)	Preparation to give a presentation in a class (group activity) ①					講義・演習	上 田
7	1-3)	Preparation to give a presentation in a class (group activity) ②					講義・演習	上 田
8	1-3)	Giving a presentation in a class ①					講義・演習	上 田
9	1-3)	Giving a presentation in a class ②					講義・演習	上 田
10	1-3)	Review and discuss regarding presentations given in a class					講義・演習	上 田
11	1-3)	Learning about English activites for different age groups					講義・演習	上 田
12	1-3)	Making English activites for different age groups ①					講義・演習	上 田
13	1-3)	Making English activites for different age groups ②					講義・演習	上 田
14	1-3)	Presenting English activites created by students					講義・演習	上 田
15	1-3)	Review for the course					講義・演習	上 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						

科目名	英語コミュニケーション			授業コード	110031B103	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科 1 年			ナンバリング	9CC122B01	AL 科目	○	
担当者	上田 留理(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	Students will improve their English communication ability by using their knowledge, experiences and informagion regarding to various fields.							
学修目標	1) Students will improve their English comprehension skill through class lectures. 2) Students will improve their English communication skills through class activities. 3) Studtnes will improve their five English skills such as listening, specking, reading, writing and thinking.							
実務経験のある 教員による教育	This class is designed and conducted based on the experiences of the instrutor who had worked as an interpreter and translator. This instructor was also educated and trained to teach active learning based on CALA method whic had been created for ESL stu							
評価方法	Total evaluation on class attitude, reports, and a comprehensive examination.							
準備学習・ 履修上の注意等	Bring English/Japanese and Japanese/English dictionaries. Read assigned English material to prpare for the classes							
オフィスアワー	After classes.							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1-3)	Introduction of the Class					講義・演習	上 田
2	1-3)	How to write logical reports in English					講義・演習	上 田
3	1-3)	How to prepare for a presentation (1)					講義・演習	上 田
4	1-3)	How to prepare for a presentation (2) understanding an audio and vivusl material as an example.					講義・演習	上 田
5	1-3)	How to prepare for a presentation (3): Choose a theme for a presentation (group activity)					講義・演習	上 田
6	1-3)	Preparation to give a presentation in a class (group activity) ①					講義・演習	上 田
7	1-3)	Preparation to give a presentation in a class (group activity) ②					講義・演習	上 田
8	1-3)	Giving a presentation in a class ①					講義・演習	上 田
9	1-3)	Giving a presentation in a class ②					講義・演習	上 田
10	1-3)	Review and discuss regarding presentations given in a class					講義・演習	上 田
11	1-3)	Learning about English activites for different age groups					講義・演習	上 田
12	1-3)	Making English activites for different age groups ①					講義・演習	上 田
13	1-3)	Making English activites for different age groups ②					講義・演習	上 田
14	1-3)	Presenting English activites created by students					講義・演習	上 田
15	1-3)	Review for the course					講義・演習	上 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						

科目名	情報処理入門			授業コード	110084A102	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	9CC111B01	AL 科目	○
担当者	井藤 英俊(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	情報処理は、①情報の収集、②情報の整理・分析、③情報の表示・配布の一連の過程で行われる。授業では PC を用いて、① 検索ソフトによる情報の収集、②表計算ソフト等による情報の整理・分析、③文書作成ソフトによる情報の表示およびプレゼンテ ーションソフトによる発表を行う。 なお、近年は情報を扱うメディアの多様化、インターネットの普及によって、情報を正しく読み取り、発信していくためのメディアリ テラシーを身につける必要がある。授業では基礎的な情報処理技術とともにメディアリテラシーについても習得する。						
学修目標	1)メディアリテラシーについて理解し、実践できる。 2)Word で文書作成ができる。 3)Word で写真やイラストを取り込んだ文書作成ができる。 4)Excel で表計算や集計ができる。 5)Excel でグラフ作成ができる。 6)Excel で関数を用いたデータ処理ができる。 7)PowerPoint を使ってプレゼンテーションの資料作成ができる。 8)PowerPoint を使ってプレゼンテーションができる。						
実務経験のある 教員による教育	情報処理に関する技能及びメディアリテラシーは、教育、健康、運動・スポーツに関する現場に限らず、様々な場面において必要 とされるの能力である。 科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。						
評価方法	毎回の授業で作成したファイル(60 点) 最終授業でのプレゼンテーション(20 点) 授業への取り組み(20 点)						
準備学習・ 履修上の注意等	テキストは配布プリントを使用。毎授業、授業時間内に課題ファイルの提出を行う。パソコン操作にはタイピングが不可欠であ る。各自練習し、入力速度と正確さを身につけること。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	メディアリテラシーの理解 検索ソフトを用いた情報の収集 授業における AI の活用 授業における ICT の活用				講義・演習	井 藤
2	2)	Word1 文章作成と文字の編集				講義・演習	井 藤
3	2)3)	Word2 文章作成とレイアウト、写真・イラストの編集				講義・演習	井 藤
4	2)3)	Word3 写真・イラストを用いた文章作成				講義・演習	井 藤
5	4)	Excel1 データの入力、表の作成				講義・演習	井 藤
6	4)	Excel2 表の作成と加減乗除の計算				講義・演習	井 藤
7	4)5)	Excel3 簡単な計算とグラフの作成				講義・演習	井 藤
8	4)5)6)	Excel4 関数を用いた計算①				講義・演習	井 藤
9	4)5)6)	Excel5 関数を用いた計算②				講義・演習	井 藤
10	7)	Power Point1 資料の作成				講義・演習	井 藤
11	7)	Power Point2 効果的な技術による資料の編集				講義・演習	井 藤
12	1)7)	Power Point3 発表資料の作成①				講義・演習	井 藤
13	1)7)	Power Point4 発表資料の作成②				講義・演習	井 藤
14	1)7)	Power Point5 発表①				講義・演習	井 藤
15	1)7)	Power Point6 発表②				講義・演習	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しないが、分からないパソコン用語や操作方法是、その都度インターネットで検索すること。					

科目名		日本語 I		授業コード	110163B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(1 年) ※外国人留学生対象科目		ナンバリング	1CC121B01	AL 科目	
担当者		正野知基/衣笠高広(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		日本語の理解を深めるために、聴解と読解について学習し、入門レベルから出発し、日本語能力試験 N2 レベルまで到達できる日本語力を習得する。					
学修目標		1)聴解力を高め、日常会話および大学での講義の内容が聞き取れるようになる 2)基礎的な読解力を高め、日常生活および講義で使用するテキスト等の書籍が読めるようになる 3)基本的な日本語文章の記述力を高め、簡単な日本語の文章が書ける					
実務経験のある 教員による教育		特になし					
評価方法		授業への取り組みの態度(40%)＋単元ごとに行われる習熟度チェック(60%)で合算評価する。					
準備学習・ 履修上の注意等		留学生のみを対象とする。 本授業は積み重ね学習であるため、必ず毎週出席すること。 1回の授業につき最低2時間を目安に予習・復習をおこなうこと。					
オフィスアワー		毎週月曜～水曜日 12:30～13:00					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3)	授業のイントロダクション。 文字や数字について正確に発音し、書くことができる。				講 義	正野・衣笠
2	1)2)3)	基本の言葉や挨拶を正確に発音し、書くことができる。				講 義	正 野
3	1)2)3)	日常生活で知っておくと便利なフレーズを正確に発音し、書くことができる。				講 義	正 野
4	1)2)3)	自己紹介の表現方法を正確に発音でき、書くことができる。				講 義	正 野
5	1)2)3)	街歩きをするときによく使う表現を正確に発音し、書くことができる。				講 義	正 野
6	1)2)3)	電車やバス、タクシー等に乗るときによく使う表現を正確に発音でき、書くことができる。				講 義	正 野
7	1)2)3)	買い物の時によく使う表現を正確に発音し、書くことができる。				講 義	正 野
8	1)2)3)	食事をするときによく使う表現を正確に発音し、書くことができる。				講 義	正 野
9	1)2)3)	郵便局や銀行で良く使う表現を正確に発音し、書くことができる。				講 義	正 野
10	1)2)3)	学校で良く使う表現を正確に発音し、書くことができる。				講 義	正 野
11	1)2)3)	病院にかかるときによく使う表現を正確に発音し、書くことができる。				講 義	正 野
12	1)2)3)	電話をかけるときに良く使う表現を正確に発音し、書くことができる。				講 義	正 野
13	1)2)3)	住まいに関する様々な表現を正確に発音し、書くことができる。				講 義	正 野
14	1)2)3)	役所で手続き等をする際に必要な表現を正確に発音し、書くことができる。				講 義	正 野
15	1)2)3)	緊急・トラブルの際に知っておくべき表現を正確に発音し、書くことができる。				講 義	正 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		てくてく日本語教師会『Konnichiwa, Nihongo! こんにちは、にほんご！』 ジャパンタイムズ ISBN-10: 4789013707					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜、国際交流基金が作成した各種教材コンテンツも利用する。 【参考 URL】 https://minnanokyoza.jp/kyozai/top/ja/render.dojsessionid=4E5217EE0C34893A6B2D10F70E2E7723 https://www.marugoto.org/					

科目名		日本語Ⅱ		授業コード	110164B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(1 年) ※外国人留学生対象科目		ナンバリング	1CC122B02	AL 科目	
担当者		正野知基/衣笠高広(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		日本語の理解を深めるために、聴解と読解について学習し、日本語能力試験 N2 レベルの日本語力を習得する。					
学修目標		1)聴解力を高め、日常会話および大学での講義の内容が聞き取れるようになる 2)基礎的な読解力を高め、日常生活および講義で使用するテキスト等の書籍が読めるようになる 3)基本的な日本語文章の記述力を高め、ベーシックな日本語の文章を書くことができるようになる					
実務経験のある 教員による教育		特になし					
評価方法		授業への取り組みの態度(40%)＋単元ごとに行う小テスト(60%)で合算評価する。					
準備学習・ 履修上の注意等		留学生のみを対象とする。 本授業は積み重ね学習であるため、必ず毎週出席すること。 1 回の授業につき 3 時間を目安に予習・復習をおこなうこと。					
オフィスアワー		毎週月曜～水曜日 12:30～13:00					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	2)3)	【読解・書き方 1】 説明文を読む 3				講 義	正野・衣笠
2	2)3)	【読解・書き方 2】 電話の応対をする				講 義	正 野
3	2)3)	【読解・書き方 3】 説明文を読む 4				講 義	正 野
4	1)	【聴解 1】 即時応答 1				講 義	正 野
5	1)	【聴解 2】 即時応答 2				講 義	正 野
6	2)3)	【読解・書き方 4】 会話文を読む 2				講 義	正 野
7	2)3)	【読解・書き方 5】 新聞記事を読む 1				講 義	正 野
8	2)3)	【読解・書き方 6】 説明文を読む 5				講 義	正 野
9	2)3)	【読解・書き方 7】 説明文を読む 6				講 義	正 野
10	1)	【聴解 3】 統合理解 1				講 義	正 野
11	1)	【聴解 4】 統合理解 2				講 義	正 野
12	2)3)	【読解・書き方 8】 新聞記事を読む 2				講 義	正 野
13	2)3)	【読解・書き方 9】 新聞記事を読む 3				講 義	正 野
14	2)3)	【読解・書き方 10】 会話文を読む 3				講 義	正 野
15	2)3)	【読解・書き方 11】 意見文を読む				講 義	正 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		日本語初級読解 アルク ドリル&ドリル日本語能力試験 N2 聴解・読解 ユニコム					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜、国際交流基金が作成した各種教材コンテンツも利用する。 【参考 URL】 https://minnanokyoza.jp/kyozai/top/ja/render.dojsessionid=4E5217EE0C34893A6B2D10F70E2E7723 https://www.marugoto.org/					

科目名	生涯スポーツ実習 I			授業コード	110097A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	1CC121B05	AL 科目	○
担当者	正野 知基(福・ス) 塩瀬 圭佑 (非常勤)	開講学期	2024 年度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシNo.	生涯を通じてスポーツ・レクリエーションを楽しみながら体力づくり・生きがいづくりを進める生涯スポーツの実現を目指すとともに、心身の健全な発達と明るく豊かで活力に満ちた生きがいのある生活を形成していく態度を学ぶ。本授業では、健康づくりの運動、ネット型スポーツであるバドミントン、ゴール型スポーツであるバスケットを取り上げる。これらの種目を通して、スポーツ・レクリエーション活動を行う際の協調性やマナー等の重要性を理解し、さらに安全に実施するための資質を習得する。						
学修目標	1) 当該種目のルールが説明でき、基本動作が実践できる。 2) 当該種目の個人技術が実践できる。 3) 状況に応じた攻撃や守備が実践できる。 4) 技術の習得やパフォーマンス向上のために仲間とコミュニケーションをとり協力できる。 5) 安全を考慮した行動ができる。						
実務経験のある 教員による教育	教員経験をもとに学校教育における体育の在り方や生涯学習としてのスポーツの在り方を学習させる。						
評価方法	実技習熟度(20%)、授業の記録(30%)、授業に対する取り組み状況(50%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	運動にふさわしい服装・体育館シューズを準備すること。また、安全のためにも緊張感を持って授業に臨むこと。日常生活の中でも身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること。						
オフィスアワー	月曜日2限、火曜日2限						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	4)5)	健康づくり運動:体ほぐし運動、体づくり運動				実 習	塩 瀬
2	4)5)	健康づくり運動:体力測定				実 習	塩 瀬
3	4)5)	健康づくり運動:ウォーキング・ジョギング				実 習	塩 瀬
4	1)2) 4)5)	バスケットボール:個人的技術の習得を目指した基礎編(シュートスキル)				実 習	塩 瀬
5	2)4) 5)	バスケットボール:個人的技術の習得を目指した基礎編(パススキル)				実 習	塩 瀬
6	2)3) 4)5)	バスケットボール:個人的技術の習得を目指した基礎編(ドリブルスキル)/ 状況に応じた攻撃や守備のための応用編(複数人での動き)				実 習	塩 瀬
7	2)3) 4)5)	バスケットボール: 個人技術のまとめ:スキルテスト①、②				実 習	塩 瀬
8	1)3) 4)5)	バスケットボール:試合を中心とした実践編(3x3 形式でのゲーム)				実 習	塩 瀬
9	1)3) 4)5)	バスケットボール:試合を中心とした実践編(5 on 5 形式でのゲーム)				実 習	塩 瀬
10	1)2) 4)5)	バドミントン:個人的技術の習得を目指した基礎編(フォアハンド・バックハンド)				実 習	塩 瀬
11	2)4) 5)	バドミントン:個人的技術の習得を目指した基礎編(ハイクリア・スマッシュ)				実 習	塩 瀬
12	2)4) 5)	バドミントン:個人的技術の習得を目指した基礎編(ドロップ・ヘアピン)				実 習	塩 瀬
13	3)4) 5)	バドミントン:状況に応じた攻撃や守備を目指した応用編(サーブ・レシーブとその後の展開)				実 習	塩 瀬
14	2)3) 4)5)	バドミントン:個人技術のまとめ:スキルテスト①、②				実 習	塩 瀬
15	1)3) 4)5)	バドミントン:試合を中心とした実践編(ダブルスのゲーム)				実 習	塩 瀬
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	生涯スポーツ実習Ⅱ			授業コード	110098A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	1CC122B08	AL 科目	○
担当者	山本 順之(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	生涯を通じてスポーツ・レクリエーションを楽しみながら体力づくり・生きがいづくりを進める生涯スポーツの実現を目指すとともに、心身の健全な発達と明るく豊かで活力に満ちた生きがいのある生活を形成していく態度を学ぶ。本授業では、ネット型スポーツであるバレーボール、バドミントンと、同じくネットを用いたニュースポーツであるインディアカ、ミニバレー、ラケットテニスを取り上げる。これらの種目を通して、スポーツ・レクリエーション活動を行う際の協調性やマナー等の重要性を理解し、さらに安全に実施するための資質を習得する。						
学修目標	1)当該種目のルールが説明でき、基本動作が実践できる。 2)当該種目の個人技術が実践できる。 3)状況に応じた攻撃や守備が実践できる。 4)技術の習得やパフォーマンス向上のために仲間とコミュニケーションをとり協力できる。 5)安全を考慮した行動ができる。						
実務経験のある 教員による教育	中学校教員経験をもとに学校教育における体育の在り方や生涯学習としてのスポーツの在り方を学習させる。						
評価方法	試合成績(20%)、授業の記録(30%)、授業に対する取り組み状況(50%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	運動にふさわしい服装・体育館シューズを準備すること。また、安全のためにも緊張感を持って授業に臨むこと。日常生活の中でも身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること。						
オフィスアワー	月曜日から水曜日 12:30～13:00 研究室						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)5)	バレーボール:チーム編成、基本動作の習得				実 習	山 本
2	2)4) 5)	バレーボール:個人的技術の習得を目指した基礎編(1)				実 習	山 本
3	2)4) 5)	バレーボール:個人的技術の習得を目指した基礎編(2)				実 習	山 本
4	3)4) 5)	バレーボール:状況に応じた攻撃や守備を目指した応用編(1)				実 習	山 本
5	3)4) 5)	バレーボール:状況に応じた攻撃や守備を目指した応用編(2)				実 習	山 本
6	3)4) 5)	バレーボール:状況に応じた攻撃や守備を目指した応用編(3)				実 習	山 本
7	3)4) 5)	バレーボール:状況に応じた攻撃や守備を目指した応用編(4)				実 習	山 本
8	1)4) 5)	ミニバレー:用具やルールを変更したニュースポーツの体験				実 習	山 本
9	1)4) 5)	インディアカ:用具やルールを変更したニュースポーツの体験				実 習	山 本
10	1)5)	バドミントン:チーム編成、基本動作の習得				実 習	山 本
11	2)4) 5)	バドミントン:個人的技術の習得を目指した基礎編				実 習	山 本
12	3)4) 5)	バドミントン:状況に応じた攻撃や守備を目指した応用編(1)				実 習	山 本
13	3)4) 5)	バドミントン:状況に応じた攻撃や守備を目指した応用編(2)				実 習	山 本
14	3)4) 5)	バドミントン:状況に応じた攻撃や守備を目指した応用編(3)				実 習	山 本
15	1)4) 5)	ラケットテニス:用具やルールを変更したニュースポーツの体験				実 習	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	基礎演習Ⅰ			授業コード	110049A102	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	1CC111B01	AL 科目	○
担当者	学科所属教員	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】大学での学びへのスムーズな移行という目標の下、大学での学びを開始するにあたって必要な内容を提供するとともに、有意義な大学生活を送れるように支援する。学科のそれぞれのコースで行われている学びについて、学科所属教員がその概要を教授し、学生の幅広い学びに繋げると同時に、専門教育への導入を図る。大学での勉学の土台となる総合的国語力を伸ばすために e-ラーニングによるホームワークを課し、インターネットを利用して学ぶ学習形態の経験(遠隔授業への導入も含む)と自宅学習の習慣を身につける。 【一般目標(GIO)】大学生活の理解とスポーツ健康福祉学科での学びの概略を理解し説明することができる。文章作法の基礎を身に付け、それを用いて文章読解、作成に活かすことができる。 【対応するポリシーNo.】DP3、CP1(1)、CP3(1)						
学修目標	1)高校と大学での生活の違いを理解し、自律的な学生生活を送ることができる 2)高校の授業と大学講義との違いを認識し、講義ノートを作成することができる 3)文章作成の基本的なルールを認識し、文章作成に応用できる						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	・受講態度とホームワークの達成度(50%)＋毎回の小テスト(50%) ・毎回の講義での小テスト(またはレポート)の合計点数を 50 点満点に換算して評価する ・本学の全学科で共通の問題を用いた「国語統一テスト(古文、漢文は含まない)」の結果を 10 点換算し加点する ・3 分の 2 以上の出席かつホームワーク課題(e ラーニング)の完遂を単位認定の条件とする						
準備学習・ 履修上の注意等	・原則月に 1 回のチューター時間を設ける ・1 回の授業につき 1 時間を目安にホームワーク課題を行うこと ・年3回の全学国語統一試験を受験すること						
オフィスアワー	各担当教員に確認						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	チューター時間				個別指導	チューター
2	1)3)	特別講座① 大学生の消費生活トラブル				講 義	外部講師
3	1)2)	特別講座② 大学における学びとルール				講 義	学部長
4	1)	チューター時間				個別指導	チューター
5	1)2)	特別講座③ マナー・コミュニケーション講座 1				演習・SGD	外部講師
6	1)2)	特別講座④ マナー・コミュニケーション講座 2				演習・SGD	外部講師
7	3)	特別講座⑤e-ラーニングを用いた学習法(すらら説明会)				演 習	三宮・神田
8	1)	チューター時間				個別指導	チューター
9	2)3)	学科教員講座①				演習・SGD	学科教員
10	2)3)	学科教員講座②				演習・SGD	学科教員
11	2)3)	学科教員講座③				演習・SGD	学科教員
12	1)	チューター時間				個別指導	チューター
13	1)2)	特別講座⑥ 食事と栄養講座				演習・SGD	外部講師
14	2)3)	学科教員講座④				演習・SGD	学科教員
15	2)3)	学科教員講座⑤				演習・SGD	学科教員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		大学共通のテキストとして、世界思想社出版部編『大学生 学びのハンドブック』[6 訂版]、世界思想社【ISBN978-4-7907-1791-1】を適宜使用する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	基礎演習Ⅱ			授業コード	110050A102	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	1CC112B01	AL 科目	○
担当者	学科所属教員	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】大学での学びへのスムーズな移行という目標の下、大学での学びを開始するにあたって必要な内容を提供するとともに、有意義な大学生活を送れるように支援する。学科のそれぞれのコースで行われている学びについて、学科所属教員がその概要を教授し、学生の幅広い学びに繋げると同時に、専門教育への導入を図る。大学での勉学の土台となる総合的国語力を伸ばすために e-ラーニングによるホームワークを課し、インターネットを利用して学ぶ学習形態の経験(遠隔授業への導入も含む)と自宅学習の習慣を身につける。 【一般目標(GIO)】大学生活の理解とスポーツ健康福祉学科での学びの概略を理解し説明することができる。文章作法の基礎を身に付け、それを用いて文章読解、作成に活かすことができる。 【対応するポリシーNo.】DP3、CP1(1)、CP3(1)						
学修目標	1)高校と大学での生活の違いを理解し、自律的な学生生活を送ることができる 2)高校の授業と大学講義との違いを認識し、講義ノートを作成することができる 3)文章作成の基本的なルールを認識し、文章作成に応用できる						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	・受講態度とホームワークの達成度(50%)＋毎回の小テスト(50%) ・毎回の講義での小テスト(またはレポート)の合計点数を 50 点満点に換算して評価する ・本学の全学科で共通の問題を用いた「国語統一テスト(古文、漢文は含まない)」の結果を 10 点換算し加点する ・3 分の 2 以上の出席かつホームワーク課題(e ラーニング)の完遂を単位認定の条件とする						
準備学習・ 履修上の注意等	・原則月に 1 回のチューター時間を設ける ・1 回の授業につき 1 時間を目安にホームワーク課題を行うこと ・年3回の全学国語統一試験を受験すること						
オフィスアワー	各担当教員に確認						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	チューター時間				個別指導	チューター
2	1)2)	特別講座① くすりの基礎知識				講 義	外部講師
3	2)3)	学科教員講座①				演習・SGD	学科教員
4	2)3)	学科教員講座②				演習・SGD	学科教員
5	2)3)	学科教員講座③				演習・SGD	学科教員
6	2)3)	学科教員講座④				演習・SGD	学科教員
7	1)	チューター時間				個別指導	チューター
8	2)3)	学科教員講座⑤				演習・SGD	学科教員
9	2)3)	学科教員講座⑥				演習・SGD	学科教員
10	2)3)	学科教員講座⑦				演習・SGD	学科教員
11	1)	チューター時間				個別指導	チューター
12	2)3)	学科教員講座⑧				演習・SGD	学科教員
13	2)3)	卒業研究とは(卒業研究発表会聴講)				講 義	学科教員
14	1)	チューター時間				個別指導	チューター
15	2)3)	卒業研究とは(卒業研究発表会聴講)				講 義	学科教員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		大学共通のテキストとして、世界思想社出版部編『大学生 学びのハンドブック』[6 訂版]、世界思想社【ISBN978-4-7907-1791-1】を適宜使用する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	介護概論			授業コード	120194B102	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・臨床心理学科、2 年			ナンバリング	14C221P01	AL 科目	○
担当者	藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	高齢者を取り巻く社会情勢、福祉・介護需要を踏まえ、介護の知識・技術とその実践能力を持った専門職が必要である。そのため本講義では、介護の概念や対象及びその理念等について理解し、介護過程における介護の生活支援技術や終末期の援助の基本的な考え方について理解する。(ス DP1～3,CP1～3/福 DP1～3,CP1～3/心 DP1～3, CP1～3)						
学修目標	1)介護の意義・目的が説明できる。 2)介護の原則と倫理を学び、介護の専門職のあり方を討議できる。 3)介護に関する歴史を理解し、現在の介護を取り巻く制度やサービスを説明できる。 4)体験を通して、高齢者や障がい者の立場や介護者のあり方について考察できる。 5)ICF の視点から利用者理解の方法を学ぶ。 6)医療的ケアについて説明できる。 7)リスクマネジメントの実際を理解できる。 8)介護過程の目的や流れが説明できる。 9)介護の目的や基本技法を理解し、実践できる。 10)尊厳を支える介護の視点を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	高等学校教諭 1 種免許状(福祉)の取得を希望している場合は必修となる。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 介護の目的、介護福祉職の役割				講 義	藤 原
2	2)	介護の原則と職業倫理				講 義	藤 原
3	4)5)	介護を必要とする人々の理解				講 義	藤 原
4	3)	介護に関する制度 1				講 義	藤 原
5	3)	介護に関する制度 2				講 義	藤 原
6	6)7)	医療的ケア				講 義	藤 原
7	4)5)	コミュニケーション技術				講 義	藤 原
8	5)8)	介護過程とチームアプローチ				講 義	藤 原
9	9)	介護の基本(体位変換、身じたく)				講 義	藤 原
10	9)	介護の基本(食事、入浴・清潔保持)				講 義	藤 原
11	9)	介護の基本(排泄、家事)				講 義	藤 原
12	9)	介護の基本(睡眠)				講 義	藤 原
13	9)	介護の基本(療養が必要な人の介護)				講 義	藤 原
14	10)	緊急・事故時に求められる介護福祉職の対応				講 義	藤 原
15	10)	終末期の介護				講 義	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		社会福祉学習双書 2024 第 15 巻 介護概論 全国社会福祉協議会					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		授業時に紹介する。					

科目名	認知症の理解Ⅰ			授業コード	120838B102	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	14C321P07	AL 科目	○
担当者	稲田 弘子(福・福)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	我が国における認知症ケアは、パーソンセンタードケアつまりその人らしさを大切にしたケアの在り方が主になっている。認知症高齢者がその人らしく、地域や施設で生活できるよう支援することのできる介護福祉士となるために、認知症に関する基礎的知識や、認知症の特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を修得する。スポーツ健康福祉学科(DP1.2)(CP2) 臨床心理学科(DP5)(CP4)						
学修目標	1) 認知症の基本的な知識(動向・医学的・心理的側面)について説明できる。 2) 認知症に伴うこころの変化について説明できる。 3) 認知症に伴う生活への影響とケアのあり方(家族支援も含む)について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が5年以上ある。その経験に基づき、介護福祉士として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	学期末の単位認定試験 80%、学修への取り組み状況(授業態度、課題提出・内容)20%で総括的に評価する。 ◆学修への取り組み状況 DVD 視聴後、レポートの課題がある。期限内の提出と、レポートの内容で評価する。 SGD 時は、積極的に発言し参加すること。 詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。高等学校教諭1種免許状(福祉)を希望する場合は必修。 授業で配布したプリントはきちんとファイリングすること。欠席した場合は、プリントを研究室まで取りに来ること。 毎授業ごとに配布するプリント、テキストをよみかえし、復習し、まとめること。 レポート、課題は期限内に提出すること。 定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。 介護福祉士の国家試験対策の模試を配布するので、計画的に解答しておくこと。						
オフィスアワー	時間割確定後、研究室前に提示。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション。認知症を取り巻く社会的状況について				講 義	稲 田
2	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症の定義について(介護保険法、ICD-10)				講 義	稲 田
3	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症の原因となる主な病気について				講 義	稲 田
4	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症の中核症状とBPSD について				講 義	稲 田
5	1)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】介護の基本について(竹内理論)				講 義	稲 田
6	2)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症高齢者本人の心情や心理について(ビデオ「遠い日の架け橋」)				講 義	稲 田
7	2)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症高齢者本人の心情や心理について				講義・演習	稲 田
8	2)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症高齢者本人の内的世界について				講義・演習	稲 田
9	2)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症高齢者本人の内的世界について(クリスティンブライデン氏の手記より)				講 義	稲 田
10	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症ケアの原理・原則について(9 の法則)				講 義	稲 田
11	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症ケアの実際について(環境を変えない GH、小規模多機能等)				講義・SGD	稲 田
12	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症ケアの実際について(ビデオ「ぼけと向き合う日々」)				講義・SGD	稲 田
13	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症ケアの実際について(ビデオ「ぼけと向き合う日々」)				講義・SGD	稲 田
14	3)	「家族のたどる心理ステップ」と家族への支援について考える				講義・SGD	稲 田
15	3)	総括「いつだってここは生きている」他				講 義	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		改訂5版 認知症ケアの基礎(日本認知症ケア学会 編)株式会社 ワールドプランニング【978-4-86351-231-3】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。(必要時プリントを配布する)					

科目名	スポーツマネジメント			授業コード	120049B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C421P08	AL 科目	○
担当者	山本 順之(福・ス)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	マネジメントに関する概念定義やその方法等に関する基礎知識を理解し、さまざまなスポーツ集団や組織、団体等を運営・管理 やスポーツイベント、教室、あるいは体育授業の運営、管理等、マネジメントの実践的知識を修得する。グループワークを通し て、スポーツにかかわるマネジメントを発表する。						
学修目標	1) マネジメントの概念や、その目的、意義、方法について説明できる。 2) 商品としてのスポーツに関するマネジメントを説明できる。 3) スポーツにおける個人マネジメントと組織マネジメントを説明できる。 4) スポーツクラブやスポーツ集団におけるマネジメントを説明できる。 5) 学校体育におけるマネジメントについて説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	中学校教員の経験を生かし、学校教育機関における体育授業のマネジメントや学校教育における健康に関するマネジメントの 知識を習得させる。						
評価方法	定期試験(60%) 課題(レポート・小テスト等) (20%) 講義内における総合的姿勢(20%)						
準備学習・ 履修上の注意等	1 コマあたり 4 時間を目安に予習・復習する。講義に関連する小課題を提出する。						
オフィスアワー	月曜日2限、火曜日2限						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【マネジメントとは】 現代におけるマネジメントのあり方から、その概念、目的、方法などについて理解する。特に、組織管理という視点 から、モノ、ヒト、カネを総合的に管理するあり方について理解する。				講 義	山 本
2	1)2)	【スポーツにおけるサービスマーケティング】 マーケティングの基礎知識とともに、サービスとしてのスポーツについて理解する。				講 義	山 本
3	1)2)	【スポーツにおけるブランドマーケティング】 ブランドとしてのスポーツに関する知識とともにそのスポーツ商品、サービスのプロモーション戦略について理解する。				講 義	山 本
4	3)	【現代におけるスポーツマネジメントとは】 現代におけるスポーツマネジメントの現状からその概念、目的、方法やその領域と構造について理解する。				講 義	山 本
5	1)3)	【スポーツ選手の心理的マネジメントと集団マネジメント】 スポーツ指導における集団、及び選手の心理的マネジメントについて理解する。				講 義	山 本
6	3)4)	【スポーツ組織、団体におけるスタッフの役割】 スポーツ関連の組織、団体や地域におけるスポーツクラブ等におけるスタッフの資質や役割について理解する。				講 義	山 本
7	1)3) 4)	【まちづくりとスポーツマネジメント】 まちづくりに活用されるスポーツクラブやスポーツイベントの運営、企画や地域におけるさまざまなスポーツ関連事業 におけるマネジメントについて理解する。				講 義	山 本
8	3)4)	【チーム・クラブ・アソシエーションにおけるマネジメント】 スポーツ集団についてチーム・クラブ・アソシエーションのあり方、及びそれぞれのマネジメントについて理解する。				講 義	山 本
9	1)3) 4)	【総合型地域スポーツクラブのマネジメント 1】 地域のスポーツクラブにおけるマネジメントの仕組みについて理解する。				講 義	山 本
10	3)4) 5)	【総合型地域スポーツクラブのマネジメント 2】 総合型地域スポーツクラブを事例としてその育成と運営におけるスポーツマネジメントの必要性和実際について理 解する。				講 義	山 本
11	3)4) 5)	【クラブマネジャーの役割】 地域で活躍するクラブマネジャーの役割について、総合型地域スポーツクラブにおける事例を取り上げ、理解する。				講 義	山 本
12	3)4) 5)	【スポーツ団体・組織の経営と権利ビジネス】 スポーツ団体・組織におけるマネジメントと権利ビジネスについて理解する。				講 義	山 本
13	3)4) 5)	【スポーツマネジメントとしてのガバナンス】 スポーツ団体、・組織に必要なガバナンスについて理解する。				講 義	山 本
14	3)4) 5)	【スポーツマネジメントにおけるリスク管理】 スポーツ団体・組織等におけるリスクマネジメントについて理解する。				講 義	山 本
15	1)2)3) 4)5)	【スポーツマネジメントの現状と課題】 スポーツに関するマネジメントについて整理し発表する。				講 義	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		リファレンスブック(公益財団法人 日本スポーツ協会)					

科目名	スポーツ心理学Ⅰ			授業コード	121342B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	14C222P10	AL 科目	
担当者	正野 知基(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	自己実現へ向け運動・スポーツを楽しむために必要な運動・スポーツと心とのかかわり合いについて学ぶ。また、運動・スポーツ 習慣の確立を含め、健康や生活習慣病予防のための望ましい健康行動を実践していくための行動変容の理論と実践について 理解する。さらに、心身の健康増進のためにメンタルヘルスについて理解し、カウンセリング、ストレスアセスメントと対処法につ いての理論と方法を修得する。						
学修目標	1) 運動・スポーツと心とのかかわり合いを理解し、説明できる。 2) 運動・スポーツにおける動機づけと対他者の知識について理解し、説明できる。 3) プレイヤーズセンタードなコーチングを理解し、コーチングを効率的に進めていく上での心理的問題とその解決方法、行ったコ ーチングの評価方法について理解し、説明できる。 4) 行動変容の理論と実際について理解し、説明できる。 5) 行動変容のための技法、カウンセリングおよび相談指導の技法を体験・理解する。 6) 心の健康(メンタルヘルス)の維持増進に必要な知識を理解し、説明できる。 7) 運動・スポーツにかかわる様々な心理的問題解決の援助を行うために必要な知識を理解し、説明できる。 8) ストレスアセスメントとストレスに対する対処法について理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	高校生・大学生を対象にコーチング・トレーニング指導を行い、全国大会をはじめ上位レベルの大会へ出場し、現在も指導を継 続している担当者が、現場経験も踏まえた授業を行う。						
評価方法	定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業の中で、小グループでの話し合いを行い、まとめた意見を発表する機会を設けたり、健康行動改善のための行動変容技法 やカウンセリングの実習を行う。単に講義を聴くだけではなく、積極的に与えられた課題に取り組むこと。毎回の授業後に次回授 業内容を示すので、必ず予習を行って授業に臨むこと。また、配布資料・ノートをしっかりとまとめ、復習を行うこと。予習復習は 1 コマ当たり 4 時間を目安とする。						
オフィスアワー	毎週月曜～水曜日 12:30～13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	運動・スポーツと心				講 義	正 野
2	2)	運動・スポーツにおける動機づけと対他者の知識				講 義	正 野
3	3)	コーチングの心理(1)				講 義	正 野
4	3)	コーチングの心理(2)				講 義	正 野
5	4)	行動変容の理論と実際(1)				講 義	正 野
6	4)	行動変容の理論と実際(2)				講 義	正 野
7	4)	行動変容の理論と実際(3)				講 義	正 野
8	5)	行動変容の理論と実際(4)				実 習	正 野
9	6)	心の健康論				講 義	正 野
10	7)	運動・スポーツとカウンセリング(1)				講 義	正 野
11	7)	運動・スポーツとカウンセリング(2)				講 義	正 野
12	7)	運動・スポーツとカウンセリング(3)				講 義	正 野
13	8)	ストレスアセスメントと対処法(1)				講 義	正 野
14	8)	ストレスアセスメントと対処法(2)				講 義	正 野
15	8)	ストレスアセスメントと対処法(3)				講 義	正 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		健康運動指導士養成講習会テキスト(健康体力づくり事業財団) 健康運動実践指導者養成用テキスト(健康体力づくり事業財団) リファレンスブック(公益財団法人 日本スポーツ協会)					

科目名	スポーツ心理学Ⅱ			授業コード	121343B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	14C222P11	AL 科目	○	
担当者	藤原 大樹(非常勤講師)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	スポーツ現場で働く人間にとって、運動・スポーツ場面におけるアスリートの心理・行動の理解は必須である。この授業では、競技パフォーマンスに影響するモチベーション、覚醒水準、自信、イメージ等の心理的要因についての理論を学習するとともに、心理的スキルトレーニングの実習を行うことで、アスリートに対する心理的サポートについての理解を深める。							
学修目標	1)アスリートに必要な心理的スキルの内容について説明できる。 2)アスリートの特徴を把握するためのポイントについて説明できる。 3)心理的要因が競技パフォーマンスに影響するメカニズムの理論的背景を説明できる。 4)競技前の心理的準備に必要な手順を説明できる。 5)チームビルディングの方法を説明できる。 6)メンタルトレーニングを指導する際の注意点について説明できる。							
実務経験のある 教員による教育	高校運動部に対するメンタルトレーニング指導 総合型地域スポーツクラブの運営・指導							
評価方法	講義レポート 15% 小テスト 24% 演習レポート 6% テスト 55%							
準備学習・ 履修上の注意等	学習課題:講義レポート、小テスト、課題レポートの準備など 所要時間:予習・復習など各 30 分程度							
オフィスアワー	授業時間の前後 30 分間							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	16	オリエンテーション:スポーツ心理学(Ⅱ)の概要について理解する					講 義	藤 原
2	1246	競技力向上とメンタルトレーニング					講義・演習	藤 原
3	236	パーソナリティ:競技選手のパーソナリティ					講義・演習	藤 原
4	1346	モチベーション:競技意欲を高めるトレーニング					講義・演習	藤 原
5	1346	情動のコントロール:緊張や不安のコントロール、あがりの防止					講義・演習	藤 原
6	1346	注意と集中:注意の認知過程、注意の固定、視線、ルーティンなど					講義・演習	藤 原
7	1346	イメージ:イメージの特徴、イメージトレーニングの基礎					講義・演習	藤 原
8	1346	自信:自信とは、自信を形成する要因、自信を育てる方法					講義・演習	藤 原
9	45	チームビルディング①:集団力学、凝集性、コミュニケーション					講義・演習	藤 原
10	45	チームビルディング②:リーダーシップ、フォロワーシップ					講義・演習	藤 原
11	45	運動実習:ストレス測定とレポート作成					演 習	藤 原
12	345	運動・スポーツの心理的効果					講 義	藤 原
13	236	スポーツ傷害と心理的サポート:傷害の原因、ストレス、リハビリ					講 義	藤 原
14	26	スポーツと攻撃性:攻撃行動、社会的逸脱、怒りのコントロール					講 義	藤 原
15	26	スポーツキャリア:バーンアウト、キャリアパターン、引退、セカンドキャリア					講 義	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		よくわかるスポーツ心理学(中込四朗、伊藤豊彦、山本祐二 編著) ミネルヴァ書房 スポーツメンタルトレーニング教本:日本スポーツ心理学編(2005) 大修館書店 教養としてのスポーツ心理学:徳永幹雄編(2005) 大修館書店						

科目名	スポーツ社会学			授業コード	120066B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C322P09	AL 科目	○
担当者	山本 順之(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	スポーツと社会の関係性について、さまざまな現代スポーツから検証する。具体的には現代スポーツにおける特徴的なスポーツ現象やスポーツを取り巻く社会的状況を取り上げ、スポーツにみられる現象と社会がいかなる関係性において成立しているか(スポーツが社会へ何をもたらしているかや社会がスポーツの何を規定しているか等)について理解し、現代社会におけるスポーツや身体文化の状況を分析する視角を身につける。						
学修目標	1)スポーツと社会の多面的な関係性について説明できる。 2)スポーツと文化、政治、経済との関係性について説明できる。 3)スポーツの社会的価値について説明できる。 4)現代スポーツにみられる課題について社会学的に説明できる 5)今後のスポーツにおける方向性について社会学的に説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	中学校教員の経験を生かし、学校教育におけるスポーツの歴史的背景や社会とのかかわりについて理解させる。						
評価方法	定期試験(60%)課題(レポート・小テスト等)(20%) 講義内における総合的姿勢(20%)						
準備学習・ 履修上の注意等	1 コマあたり 4 時間を目安に予習・復習する。設定された各テーマ関連する小課題を提出する。						
オフィスアワー	月曜日2限、火曜日2限						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)3)	【スポーツ社会学はなぜ必要か】 スポーツ社会学の学問的特徴とそこに見出される価値について理解する。				講 義	山 本
2	1)2)	【スポーツの社会、文化システム】 スポーツが社会においていかに位置づけられているか、あるいは文化システムとしてどのように機能しているのか等について理解する。				講 義	山 本
3	3)	【スポーツと社会化】 スポーツによる社会化、スポーツへの社会、両面からスポーツと社会化の概念について理解する。				講 義	山 本
4	2)	【スポーツと政治】 政治的プロパガンダとしてのスポーツのあり方を歴史的な事象(ヒトラーとオリンピック、ワールドカップサッカーの誘致合戦等)から理解する。				講 義	山 本
5	2)	【スポーツと経済】 高騰するプロ選手の年俸やプロチーム経営からスポーツと経済の関係性について理解する。				講 義	山 本
6	1)2)4)	【スポーツと暴力】 暴力性を有するスポーツに注目し、選手のみならずファン(フーリガンと呼ばれるサポーター)の暴力性について理解する。				講 義	山 本
7	1)2)4)	【スポーツにおける非社会的行為】 八百長あるいはドーピングなどの不正行為がなぜ起きるのかについて社会との関連性から理解する。				講 義	山 本
8	1)2)4)	【肥大化するスポーツ】 プロフェッショナルリズムの進行やスポーツイベントの肥大化から起こりうるスポーツの課題について理解する。				講 義	山 本
9	2)3)4)	【スポーツ行政の政策、施策】 スポーツ行政におけるスポーツ政策、施策の社会的背景やその現状について理解する。				講 義	山 本
10	3)4)5)	【地域スポーツの未来像】 地域におけるスポーツ振興の出現した社会的背景とその歴史的変遷とともに、現代における総合型地域スポーツクラブの取り組みについて理解する。				講 義	山 本
11	3)4)5)	【学校体育の行く末】 学校体育に求められるアカウントビリティと今後予想される学校体育の方向性について理解する。				講 義	山 本
12	3)4)5)	【学校運動部のあり方】 学校運動部の社会的必要性和教育現場におけるその役割について理解する。				講 義	山 本
13	3)4)5)	【アスリート育成システムとデュアルキャリア】 アスリートの育成におけるそのシステムとデュアルキャリアに関する取り組みについて理解する。				講 義	山 本
14	3)4)5)	【障害者スポーツの普及、発展と文化的課題】 障害者スポーツの歴史的展開と、現代における障害者とスポーツを取り巻く環境からその文化的課題を理解する。				講 義	山 本
15	5)	【スポーツ社会学考】 スポーツに関する最もタイムリーな話題から現代スポーツの課題と今後のスポーツの創造に対する、スポーツ社会学の可能性について理解し、発表する。				講 義	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		リファレンスブック(公益財団法人 日本スポーツ協会)					

科目名	運動学			授業コード	120149b101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C322P10	AL 科目	
担当者	三輪 佳見(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	体育授業における運動指導の基礎理論である現象学的な発生運動学について、運動の構造と発生に関する基本的な事項(DP4)を講義する。また、具体的な指導事例を取り上げながら、学習者の動きのどこに問題を見出し、どのように指導を進められるか解説することによって、運動指導の問題を分析できるようにする(CP2(3))。						
学修目標	1) 非循環運動の局面構造の説明ができる。 2) 単一形態の運動の習熟と動きの変容を説明できる。 3) 戦術的意味における動きの変容を説明できる。 4) 消失動作の意味(価値)について説明できる。 5) 循環運動の局面構造について説明できる。 6) 複合形態のタイプについて説明できる。 7) 複合形態の運動の構造について説明できる。 8) 複合形態の運動の指導における問題点について説明できる。 9) 運動指導の体系化について説明できる。 10) 運動の系統的指導について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	30 年以上にわたる子ども(幼児から中学生)を対象とした運動指導の実務経験に基づいた授業を行う。						
評価方法	試験(90%) 及び授業中の発問への応答(10%)にて評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	毎回の講義内容について、自己の専門種目を中心に具体的な例でまとめ理解を深めるようにする。						
オフィスアワー	講義時間の前後						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	単一形態の運動の構造 ①非循環運動の局面構造				講 義	三 輪
2	2)	単一形態の運動の構造 ②動きの習熟と新たな構造の発生				講 義	三 輪
3	3)	単一形態の運動の構造 ③戦術的意味における構造の発生				講 義	三 輪
4	4)	単一形態の運動の構造 ④消失動作の意味(価値)について				講 義	三 輪
5	5)	単一形態の運動の構造 ⑤循環運動の局面構造				講 義	三 輪
6	5)	単一形態の運動の構造 ⑥循環運動の指導について				講 義	三 輪
7	1)2)3) 4)5)	単一形態の運動の構造 ⑦まとめ(テスト)				講 義	三 輪
8	6)	複合形態の運動の構造				講 義	三 輪
9	7)8)	複合形態の運動の指導 ①手で打つ(ボレー)				講 義	三 輪
10	7)8)	複合形態の運動の指導 ②用具で打つ(ボレー)				講 義	三 輪
11	7)8)	複合形態の運動の指導 ③走って跳ぶ				講 義	三 輪
12	7)8)	複合形態の運動の指導 ④走って投げる・打つ・蹴る				講 義	三 輪
13	7)8)	複合形態の運動の指導 ⑤投げて打つ、走って跳んで打つ				講 義	三 輪
14	7)8)	複合形態の運動の指導 ⑥走りながら突く				講 義	三 輪
15	9)10)	運動指導の体系化 一運動の系統的指導について一				講 義	三 輪
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		「先生、どうやったらできるの?」と聞かれたときに読む本(三輪佳見)大修館書店【978-4-469-26929-1】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		スポーツ運動学(マイネル 著 金子明友訳)大修館書店【978-4-469-26066-3】 教師のための運動学(吉田 茂・三木四郎編)大修館書店【4-469-26335-4】 身体知の構造(金子明友)明和出版【978-4-901933-15-5】 指導者のためのスポーツ運動学(朝岡正雄)大修館書店【978-4-469-26874-4】 コツとカンの運動学(日本スポーツ運動学会)【978-4-469-26891-1】					

科目名	スポーツ・レクリエーション演習			授業コード	121586A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C322P11	AL 科目	?
担当者	松田 智香子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	スポーツやレクリエーションに参加することは、他社とコミュニケーションを図ったりストレスを解消するなど QOL の向上に貢献し、人生を豊かにするものである。また積極的に身体を動かす習慣を持つことは、健康の維持・増進のためにも重要である。一方で、運動が苦手やスポーツには無関心といった「スポーツ未実施者」が多くいる現状がみられる。そこで本授業は、様々な人が楽しみながら運動に親しみ、ストレスの解消や健康づくりの一環として生涯にわたったスポーツ・レクリエーション活動の実施を支援することができる専門的知識の修得を目標とする。						
学修目標	① スポーツ・レクリエーションの目的を理解し、支援者(指導者)の役割について説明できる。 ② スポーツ未実施者について理解を深め、参加促進法を考えて実施できる。 ③ 様々なスポーツ・レクリエーションの実施方法を実践できる。 ④ スポーツ・レクリエーション支援者(指導者)として必要な様々な対象者についての知識を修得し、安全に活動を実施することができる。						
実務経験のある 教員による教育							
評価方法	演習・実技時の積極的な参加態度、コミュニケーションスキル(10%)、期末試験(90%)とする。 原則、再試験は行わない。						
準備学習・ 履修上の注意等	原則としてレクリエーション論、レクリエーション実技を受講していること。 緊張感をもち、積極的な受講態度であることを望む。 事前準備(個人、グループ課題)を行うこと。 演習時には必要な運動着、シューズの着用のこと。						
オフィスアワー	月曜日:9:00～12:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	①	【スポーツ・レクリエーションの概論】 スポーツ・レクリエーションの定義や目的について理解する。またスポーツ・レクリエーション指導者の使命や役割、社会的意義について学ぶ。				講 義	松 田
2	②④	【スポーツ・レクリエーション生理学】 超高齢化社会をむかえた日本人の生涯と高齢期の身体的特徴について学ぶ。高齢期におこる様々な身体機能の低下(サルコペニア、ロコモティブシンドローム、メタボリックシンドローム、介護など)と、それらの危険を回避するための運動効果について修得する。				講 義	松 田
3	②④	【スポーツ・レクリエーションの心理学】 高齢者は、外観の変化や諸機能の低下、ライフイベントの変化によって、これまでのライフステージとは異なってくるため、心理的にも大きな影響を受けることが多い。ここでは高齢者の心理について学び、心理的健康の維持・増進に効果的なスポーツ・レクリエーションの在り方について修得する。				講 義	松 田
4	①②	【スポーツ未実施者への参加促進法①】 現代社会では、身体活動が低くなりがちな生活状況であり、その中でも特にスポーツ未実施者の現状について理解する。健康の維持・増進のためには身体活動は不可欠なものであり、スポーツ未実施者の掘り起こしや、スポーツ・レクリエーション活動の重要性について学ぶ。				講 義	松 田
5	①②	【スポーツ未実施者への参加促進②】 スポーツ未実施者に対して、地域や対象者の特性に応じた体験会の開催など参加促進事業の進め方を学ぶ。				講 義	松 田
6	①②	【スポーツ・レクリエーション継続のための場づくり】 「健康スポレク広場」など、活動の場づくりや活動の場を継続するための取り組みについて学習する。				講 義	松 田
7	①	【スポーツ行政の仕組みと実際】 スポーツ基本計画の推進に向けた具体的な取り組みについて学び、行政やレクリエーション協会などの連携方法について学ぶ。				講 義	松 田
8	①④	【動機づけの支援技術①】 スポーツ未実施者を引き込むための手法や、楽しめる指導法、またスポーツ・レクリエーション効果を理解し意欲を高めるための指導法について学ぶ。				講 義	松 田
9	①④	【動機づけの支援技術②】 スポーツ・レクリエーションの継続意欲を高める活動の展開法や、継続意欲を高める評価方法を修得する。				講 義	松 田
10	④	【安全管理の輝度】 高齢者に対する危険予知や応急処置の方法、救急体制の作り方などを学ぶ。また避難や保険についても学習する。				講 義	松 田
11	④	【信頼関係づくりの手法】 スポーツ・レクリエーションの展開に必要な信頼関係を作るためのコミュニケーションについて学ぶ。				講 義	松 田
12	②③ ④	【スポーツ・レクリエーション指導の具体的プログラム①】				演 習	松 田
13	②③ ④	【スポーツ・レクリエーション指導の具体的プログラム②】				演 習	松 田
14	②③ ④	【スポーツ・レクリエーション指導の具体的プログラム③】				演 習	松 田
15	②③ ④	【スポーツ・レクリエーション指導の具体的プログラム④】				演 習	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて授業時に案内する。					

科目名	運動生理学			授業コード	120154B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科 2 年			ナンバリング	14C221P08	AL 科目	
担当者	正野 知基(福・ス)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	健康の維持増進、体力・運動能力向上やスポーツ外傷・障害予防の計画と実践に必要な運動生理学の基礎知識を理解するために、身体活動やスポーツを行っているときの身体内部のさまざまな応答や働きについて学ぶ。安静にしている時と運動を行っている時の身体活動の応答の違いを、①神経、②筋、③エネルギー代謝、④呼吸、⑤循環、⑥内分泌、⑦免疫、⑧体温、⑨環境、⑩発育発達と加齢の視点から理解する。						
学修目標	1)運動生理学の概略を理解し、説明できる。 2)神経系と運動との関係を理解し、説明できる。 3)骨格筋と運動との関係を理解し、説明できる。 4)エネルギー代謝と運動との関係を理解し、説明できる。 5)呼吸と運動との関係を理解し、説明できる。 6)循環系と運動との関係を理解し、説明できる。 7)内分泌と運動との関係を理解し、説明できる。 8)免疫と運動との関係を理解し、説明できる。 9)運動時の環境温と体温調節機構について理解し、説明できる。 10)水中での運動時の身体応答について理解し、説明できる。 11)運動と発育発達・加齢の関係について理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	高校生・大学生を対象にコーチング・トレーニング指導を行い、全国大会をはじめ上位レベルの大会へ出場し、現在も指導を継続している担当者が、現場経験も踏まえた授業を行う。						
評価方法	定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授授業中に理解度を確認するために学生への質問を適宜行う。緊張感を持って参加すること。毎回の授業後に次回授業内容を示すので、必ず予習を行って授業に臨むこと。また、配布資料・ノートをしっかりとまとめ、復習を行うこと。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。						
オフィスアワー	毎週月曜～水曜日 12:30～13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	運動生理学とは？／神経系と運動1				講 義	正 野
2	2)	神経系と運動2				講 義	正 野
3	3)	骨格筋と運動1				講 義	正 野
4	3)	骨格筋と運動2				講 義	正 野
5	4)	エネルギー代謝と運動 1				講 義	正 野
6	4)	エネルギー代謝と運動 2				講 義	正 野
7	5)	呼吸と運動1				講 義	正 野
8	5)	呼吸と運動2				講 義	正 野
9	6)	循環系と運動 1				講 義	正 野
10	6)	循環系と運動 2				講 義	正 野
11	7)	内分泌と運動				講 義	正 野
12	8)	免疫と運動				講 義	正 野
13	9)	環境温と運動				講 義	正 野
14	10)	水中環境と運動				講 義	正 野
15	11)	運動と発育・発達と老化				講 義	正 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		教科書は用いない。その都度プリントを配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		入門運動生理学(杏林書院)健康運動指導士養成講習会テキスト(健康体力づくり事業財団)、健康運動実践指導者養成用テキスト(健康体力づくり事業財団)リファレンスブック(日本スポーツ協会)					

科目名	スポーツ栄養学Ⅰ			授業コード	121344B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	14C222P12	AL 科目	○
担当者	松田 智香子(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義、SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	ヒトにとっての栄養素の役割、それらの消化吸収の機序やその必要量、体内での活用方法についての栄養学の基礎的知識を学ぶ。その上で食物摂取のアンバランスにより生じる生体への影響についての知識を深める。特にメタボリックシンドロームを防ぐため必要な正しい体重コントロールの方法を理解するなど、人々の健康の維持・増進を支援できる人材を目指すために、栄養学の基礎的知識の修得を目指す。 授業は、講義、確認テスト、スモールディスカッション(SGD)等で進められる。						
学修目標	1)身体と栄養・食事について理解し説明できる。 2)日本人の栄養摂取状況の変化について知り、食生活と生活習慣病の関係について具体的に説明できる。 3)食品の分類と栄養学的特徴について列挙でき、食事摂取基準について具体的に説明できる。 4)日本人の食生活指針、食事バランスガイドについて理解し、特定保健食品と栄養補助食品の摂取について説明できる。 5)三大栄養素の役割について理解し、説明できる。 6)ビタミンとミネラル、水の特徴と役割について理解し、説明できる。 7)消化器系の構造と栄養素の消化の機構について具体的に理解する。 8)3 大栄養素の代謝について理解し、体内のエネルギー代謝と酸素消費量について説明でき。 9)安静時代謝と生活活動代謝について理解し、1 日の総エネルギー量消費と推定エネルギー必要量を推定することができる。 10)1 日のエネルギー代謝率と METS について理解した上で、身体活動量測定(生活時間調査)を行い問題点を列挙できる。 11)栄養・食事アセスメントを行い、問題点に対して改善案を提示できる。 12)低栄養を含む栄養・食事ケアについて理解し、説明できる。 13)スポーツ活動に応じた栄養摂取の方法について説明できる。 14)アスリートの活動量に適切な食生活について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	学習内容の確認テストを随時行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、質問・発言、SGD 等の授業への参加状況)を(5%)、期末試験(95%)とする。 原則、再試験は行わない。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業時に配布した資料やノートをまとめ事後学習を行う。また毎授業後に次回授業内容を提示するので事前準備を行うなど予習・復習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割が確定次第掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	身体と栄養・食事				講義、SGD	松 田
2	2)	日本人の栄養摂取状況の変化と生活習慣病				講義、SGD	松 田
3	3)	食品の分類と栄養学的特徴				講義、SGD	松 田
4	4)	食生活指針と食事バランスガイド				講義、SGD	松 田
5	5)	炭水化物の役割				講 義	松 田
6	5)	たんぱく質の役割				講 義	松 田
7	5)	脂質の役割				講 義	松 田
8	6)	ビタミンとミネラル、水の特徴と役割				講 義	松 田
9	7)	消化器系の構造と栄養素の消化機構				講 義	松 田
10	7)13)	栄養素の吸収機構				講 義	松 田
11	8)9)13)	3 大栄養素の代謝、体内のエネルギー代謝と酸素消費量				講義、SGD	松 田
12	9)10)13)	安静時代謝と生活活動代謝、スポーツと栄養				講義、SGD	松 田
13	11)	身体活動量測定(生活時間調査)				演 習	松 田
14	12)	栄養・食事アセスメント				演 習	松 田
15	14)	アスリートの栄養・食事ケア				講義、SGD	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	スポーツ栄養学Ⅱ			授業コード	121345B101	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4年)			ナンバリング	14C421P09	AL 科目	
担当者	安達瑞保(非常勤・スポーツ栄養士)、西村貴子(非常勤・スポーツ栄養士)	開講学期	2024年度前期	必修・選択	選択	授業形態	講義
授業の概要・一般 目標・対応するポリシーNo.	アスレティックトレーナーとして、スポーツ活動時に対象者がけがを予防し、トレーニングを継続すること、さらにその効果を得て試合等で最大限パフォーマンスを発揮するための栄養補給に関するサポートが行えることを目指す。そのために、スポーツ活動時における栄養管理の重要性について理解する。また、望ましい栄養状態を保てるように栄養素や食品についての正しい知識を獲得し、実践のための技術を身につける。さらに、競技特性や練習量、目的に応じた食事管理について説明できることを目標とする。						
学修目標	1)アスリートの身体組成について理解し、説明できる。 2)アスリートのからだ作りとウエイトコントロールについて理解し、説明できる。 3)アスリートの栄養ケア・マネジメントについて理解し、説明できる。 4)アスリートのエネルギー消費量について理解し、説明できる。 5)アスリートのコンディショニングと栄養補給について理解し、説明できる。 6)アスリートの水分補給について理解し、説明できる。 7)アスリートの食事計画について理解し、説明できる。 8)栄養欠陥に基づく疾病と対策について理解し、説明できる。 9)さまざまな状況下における栄養ケアについて理解し、説明できる。 10)サプリメント利用時の留意点について理解し、説明できる。 11)アスリートの栄養指導、栄養教育の実践について理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(西村・安達)は、スポーツ栄養士として、プロ野球チームや卓球日本代表などに関わっている。このような豊富な実務経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法	定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー	講義時間以外の可能な時間						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	アスリートの身体組成				講義	西村
2	2)	アスリートのからだ作りとウエイトコントロール1				講義	西村
3	2)	アスリートのからだ作りとウエイトコントロール2				講義	西村
4	3)	アスリートの栄養ケア・マネジメント				講義	西村
5	4)	アスリートのエネルギー消費量				講義	西村
6	5)	アスリートのグリコーゲンの補給と回復				講義	西村
7	5)	アスリートのコンディショニングと栄養補給				講義	安達
8	6)	アスリートの水分補給				講義	安達
9	7)	アスリートの食事計画				講義	安達
10	8)	栄養欠陥に基づく疾病と対策1				講義	安達
11	8)	栄養欠陥に基づく疾病と対策2				講義	安達
12	9)	さまざまな状況下における栄養ケア1				講義	安達
13	9)	さまざまな状況下における栄養ケア2				講義	安達
14	10)	サプリメントと栄養エルゴジェニック				講義	安達
15	11)	アスリートの栄養指導、栄養教育の実践				講義	安達
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑨スポーツと栄養(公益財団法人日本スポーツ協会)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		アスリートの栄養・食事ガイド(日本スポーツ協会スポーツ医・科学専門委員会編集)					

科目名		バイオメカニクス			授業コード	120076B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14C122P06	AL 科目	
担当者		和田 直樹(非常勤講師)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		生体の内部構造を学び、外部からの力学的影響を理解する。人体の構造・機能(骨や筋の名称、関節運動、全身運動)について力学的な視点から学ぶ。						
学修目標		1)バイオメカニクスの概要を理解し、説明できる。 2)身体運動に関係する骨・筋・関節についてその名称と機能を理解し、説明できる。 3)身体構造と力学的運動要因および骨格筋の力特徴について理解し、説明できる。 4)頭頸部の関節運動について理解し、説明できる。 5)上肢の関節運動について理解し、説明できる。 6)脊柱と胸郭の運動について理解し、説明できる。 7)骨盤と下肢の運動について理解し、説明できる。 8)全身運動と仕事・エネルギーについて理解し、説明できる。 9)陸上での運動・動作について理解し、説明できる。 10)水中での運動・動作について理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		特になし						
評価方法		小テスト、レポートと期末試験等による総合評価とする。						
準備学習・ 履修上の注意等		予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー		授業開始前・後の時間を設定する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	バイオメカニクスとは？／関節運動と全身運動1					講 義	和 田
2	2)	関節運動と全身運動2					講 義	和 田
3	3)	身体構造と力学的運動要因、骨格筋の力特徴1					講 義	和 田
4	3)	身体構造と力学的運動要因、骨格筋の力特徴2					講 義	和 田
5	4)	頭頸部の関節運動					講 義	和 田
6	5)	上肢の関節運動					講 義	和 田
7	6)	脊柱と胸郭の運動					講 義	和 田
8	7)	骨盤と下肢の運動1					講 義	和 田
9	7)	骨盤と下肢の運動2					講 義	和 田
10	8)	全身運動と仕事・エネルギー1					講 義	和 田
11	8)	全身運動と仕事・エネルギー2					講 義	和 田
12	9)	陸上での運動・動作各論1					講 義	和 田
13	9)	陸上での運動・動作各論2					講 義	和 田
14	10)	水泳・水中運動1					講 義	和 田
15	10)	水泳・水中運動2					講 義	和 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			スポーツバイオメカニクス入門(杏林書院)					

科目名	トレーニング論			授業コード	120075B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C421P10	AL 科目	
担当者	正野 知基(福・ス)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	トレーニングの重要性はスポーツだけではなく、減量、生活習慣病予防、そして介護保険による筋力トレーニングなど社会的にも注目されている。このようなニーズに応えるためには、適切な知識と技能が求められる。そこで本講義では、まず体力学で学んだ健康運動・スポーツと体力との関係を確認したうえで、体力を向上させるための科学的トレーニングの基本的な考え方・具体的な実施方法や指導上の注意点を理解することによって、トレーニングの合理的かつ効果的な指導に必要な知識を修得する。						
学修目標	1)健康と運動・スポーツとのかかわりを理解し、説明できる。 2)運動・スポーツ指導者がその役割を果たすために必要な心構え、どのような視点を持つべきか理解し、説明できる。 3)トレーニングの原理・原則について理解し、説明できる。 4)トレーニングの種類について理解し、説明できる。 5)健康づくりの観点からみたトレーニング・運動処方の方の原則について理解し、説明できる。 6)トレーニングとトレーニング効果には特異性があることを理解し、説明できる。 7)全身運動によるエアロビクトトレーニングの理論とその効果について理解し、説明できる。 8)筋力・筋持久力・筋パワー向上のためのトレーニングの理論とその効果について理解し、説明できる。 9)女性の体力・運動能力の特徴とトレーニングについて理解し、説明できる。 10)青少年期の発育発達とトレーニングについて理解し、説明できる。 11)加齢に伴う体力の自然減退とトレーニング、特に高齢者への対応について理解し、説明できる。 12)障がい者の運動能力の特徴とトレーニングについて理解し、説明できる。 13)指導計画の立案と安全管理の方法について理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	高校生・大学生を対象にコーチング・トレーニング指導を行い、全国大会をはじめ上位レベルの大会へ出場し、現在も指導を継続している担当者が、現場経験も踏まえた授業を行う。						
評価方法	定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業中に理解度を確認するために学生への質問を適宜行う。緊張感を持って参加すること。毎回の授業後に次回授業内容を示すので、必ず予習を行って授業に臨むこと。また、配布資料・ノートをしっかりとまとめ、復習を行うこと。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。						
オフィスアワー	毎週月曜～水曜日 12:30～13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	健康と運動・スポーツ／指導者の役割				講 義	正 野
2	3)	トレーニングの原理・原則(1)				講 義	正 野
3	3)	トレーニングの原理・原則(2)				講 義	正 野
4	3)	トレーニングの原理・原則(3)				講 義	正 野
5	4)	トレーニングの種類				講 義	正 野
6	5)	健康づくりのためのトレーニング・運動処方の原則				講 義	正 野
7	6)	トレーニングとトレーニング効果の特異性				講 義	正 野
8	7)	全身運動によるエアロビクトトレーニング				講 義	正 野
9	8)	筋力・筋持久力・筋パワーとトレーニング(1)				講 義	正 野
10	8)	筋力・筋持久力・筋パワーとトレーニング(2)				講 義	正 野
11	9)	女性の体力・運動能力の特徴とトレーニング				講 義	正 野
12	10)	青少年期の発育発達とトレーニング				講 義	正 野
13	11)	加齢に伴う体力の自然減退とトレーニング				講 義	正 野
14	12)	障がい者の運動能力の特徴とトレーニング				講 義	正 野
15	13)	指導計画と安全管理				講 義	正 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		健康運動指導士養成講習会テキスト(健康体力づくり事業財団) 健康運動実践指導者養成用テキスト(健康体力づくり事業財団) リファレンスブック(公益財団法人 日本スポーツ協会)					

科目名	体力学			授業コード	120739B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	14C222P13	AL 科目	○
担当者	井藤 英俊(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	「体力」とは何かを学修する。はじめに、現代の我が国において必要とされる健康と体力について考える。次に、「体力」について の定義を理解し、その測定方法を実際の測定を通して学修する。さらに、様々な体力テストの内容と変遷、年代や対象別の特徴 について理解をする。						
学修目標	1)現代のわが国において求められる健康と体力について、各年代別に説明できる。説明できる。 2)体力とは何か、その構成と要素を説明できる。 3)エネルギーと栄養についての考え方を理解し、消費エネルギーと摂取エネルギーのバランスについて、 METs を用いたカロリーの計算を説明できる。 4)運動のエネルギーと種類について、3 つのエネルギー発生 の仕組みを説明できる。 5)体力測定・テストの意義について説明できる。 6)新体力テストのねらいと特徴について説明できる。 7)新体力テストの各テスト項目の持つ意義および測定・評価方法について説明できる。 8)形態・身体組成の持つ意義および測定・評価方法について説明できる。 9)有酸素性および無酸素性体力の指標と測定法について説明できる。 10)筋力・筋持久力・柔軟性の持つ意義および測定・評価方法について説明できる。 11)高齢者の体力的特徴と体力測定を行うことの意義およびその測定・評価方法について説明できる。 12)介護予防の観点から捉えた体力とその測定・評価方法について説明できる。 13)障がい者の体力的特徴と体力測定を行うことの意義およびその測定・評価方法について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	体力測定は、子どもの発育発達やスポーツの競技能力向上の観点から学校教育現場において必要とされてきた。しかし、現代 社会においては、成人における予防医学、さらには高齢者における介護予防の観点からも必要とされ、そのニーズは高まってい る。科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。						
評価方法	定期試験(70%)および授業への取り組み状況(体力テストの実施及び評価等:30%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	教科書を必ず購入・持参すること。授業では計算機を用いるため計算機を準備すること(試験でも使う。スマホは不可)。予習復 習は 1 コマ当たり 2 時間を目安とする。 授業の内容によっては、実際に体力測定や形態測定を行う。その際は、体育館シューズ、グラウンドシューズ、運動着(ジャ ージ)で受講すること。アクセサリは(金具)は身につけないこと。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	現代の我が国において求められる健康と体力についての理解				講 義	井 藤
2	2)	体力とは何か、その構成と要素からの理解				講 義	井 藤
3	3)	消費エネルギーと摂取エネルギーのバランスについての基礎知識の習得 METs を用いたカロリーの計算				講 義	井 藤
4	4)	運動のエネルギーと種類についての基礎知識の習得 3 つのエネルギー発生 の仕組み				講 義	井 藤
5	6)	体力測定・テストの意義についての理解				講 義	井 藤
6	6)	体力テストの変遷、新体力テストのねらいと特徴の理解				講 義	井 藤
7	7)	新体力テストのテスト項目の実践及び評価方法の理解 1 ハンドボール投げ、50m 走など				演 習	井 藤
8	7)	新体力テストのテスト項目の実践及び評価方法の理解 2 反復横跳び、上体起こし、長座体前屈、20m シャトルランなど				演 習	井 藤
9	8)	形態測定の意義と測定方法の理解				講 義	井 藤
10	8)	形態測定の実践				演 習	井 藤
11	5)	有酸素性および無酸素性体力の指標と測定方法についての理解				講 義	井 藤
12	10)	筋力・筋持久力・柔軟性の持つ意義の理解および測定・評価方法の修得				講 義	井 藤
13	10)	高齢者における体力測定と意義についての理解				講 義	井 藤
14	11)	介護予防の観点からの体力測定とその評価についての理解				講 義	井 藤
15	12)	障がい者の体力的特徴と体力測定の意義についての理解				講 義	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		実習・体力の測定と評価 みらい ISBN9784860155773					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		健康運動指導士養成講習会テキスト(健康体力づくり事業財団) 健康運動実践指導者養成用テキスト(健康体力づくり事業財団) リファレンスブック(公益財団法人 日本スポーツ協会)					

科目名	スポーツ医学Ⅰ			授業コード	121346B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C321P11	AL 科目	○
担当者	加藤 晴康(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・実習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	高齢化社会進む現在、スポーツは健康維持するために大変注目されている。しかし、成人病などを抱えている人たちが、安全にスポーツを行うためには、サポートする人たちが最低の医学的知識を有することが必要とされてきている。学生は、心電図の基本的知識を修得し、正常心電図と異常心電図を見分けること、スポーツ外傷の簡単な処置、負荷心電図の方法を理解することを目的とする。						
学修目標	1)スポーツ医学的な知識が必要な状況および必要となる具体的な知識を列挙することができる。 2)運動負荷試験の目的、必要性および具体的な方法について説明および実施することができる。 3)運動負荷試験の絶対的禁忌および相対的禁忌を列挙し、説明することができる。 4)心電図を測定することができ、正常心電図を説明することができる。 5)不整脈や虚血性心疾患の心電図を判断し、それを説明できる。 6)スポーツで生じる代表的な外傷・障害を列挙し、説明できる。 7)スポーツ外傷の応急処置、治療や予防ができる。 8)内科的疾患および救急疾患(熱中症・心肺停止)に対して、適切な処置ができる。						
実務経験のある 教員による教育	スポーツドクターとしての経験を活かし、スポーツ医学の基礎から専門までを網羅的に教授する。						
評価方法	毎時間における小テストや発言などによる授業への取り組み(20%)、最終テスト(80%)により総合的に判断する。						
準備学習・ 履修上の注意等	実習の時に、床に座ったり、横になったりすることがある。実習の時は、対応できる服装が望ましい。 予習・復習を行い授業に臨むこと。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【スポーツ医学について】 スポーツ現場でおきるアクシデントを探る				講 義	鬼塚 信
2	2)	【運動負荷試験とは】 運動負荷試験について考えよう。				講 義	鬼塚 信
3	3)	【運動負荷試験の禁忌1】 絶対に運動してはいけない病気とは。				講 義	鬼塚 信
4	3)	【運動負荷試験の禁忌2】 とても注意しないと運動することができない病気とは。				講 義	鬼塚 信
5	1)	【運動負荷試験】 運動負荷試験はどのように行うのか。				実 習	鬼塚 信
6	4)	【運動負荷試験・心電図1】 正常心電図とは何？				講 義	鬼塚 信
7	5)	【運動負荷試験・心電図2】 異常な心電図を見つけよう-不整脈・心筋梗塞				実 習	鬼塚 信
8	6)	【スポーツ医学(外科系)】 スポーツのケガには、どのようなものがあるか。				講 義	鬼塚 信
9	7)	【スポーツ医学(外科系)】 けが人が出た！そのときあなたは、どうする？				実 習	鬼塚 信
10	7)	【スポーツ医学(外科系)】 スポーツ障害や変形性関節症などの疾患に運動プログラム、予防プログラムを作ってみよう。				実 習	鬼塚 信
11	8)	【スポーツ医学(内科系)】 スポーツの現場で死者を出してはならない。				講 義	鬼塚 信
12	8)	【スポーツ医学(内科系)】 突然死や熱中症の選手に対し、あなたはどのように対応しますか。				実 習	鬼塚 信
13	6)7)	【スポーツ医学(頭部打撲)】 脳震盪の運動休止をしなければならない理由とその休止期間について説明できる。				講 義	鬼塚 信
14	1)8)	【スポーツ医学(育成期スポーツ障害とドーピング)】 トップアスリートを育てるためには、どのような医学的サポートが必要か。				講 義	鬼塚 信
15	1)	【トップアスリートサポート】 トップアスリートについて語ろう！				講 義	鬼塚 信
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	スポーツ医学Ⅱ			授業コード	121347B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C322P12	AL 科目	○
担当者	鬼塚 信(福・ス:医師) 神田 潤一 (福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・実習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	競技力の向上に効果的で安全なスポーツ活動をサポートするシステムをはじめ、アスリートに生じやすい内科的障害や外科的な外傷・障害について理解し、その予防法と対応策、アスレティックリハビリテーション、コンディショニングなどの実際を身につける。そのほか、精神障害、特殊環境、アンチドーピングなど、スポーツを取り巻く様々な環境における医学的知識について学修する。						
学修目標	1)アスリートの健康管理について理解し、説明できる。 2)アスリートの内科的障害と対策について理解し、説明できる。 3)アスリートの外傷・障害と対策について理解し、説明できる。 4)アスレティックリハビリテーションとトレーニング計画について理解し、説明できる。 5)コンディショニングの手法について理解し、説明できる。 6)スポーツによる精神障害と対策について理解し、説明できる。 7)特殊環境下での対応について理解し、説明できる。 8)アンチドーピングについて理解し、説明できる。 9)コンディショニングの手法(ストレッチング、テーピング、アイシング、スポーツマッサージ)の実際について理解し、実施できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者の神田はアスレティックトレーナーとして、鬼塚はドクターとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法	毎時間における小テストや発言などによる授業への取り組み、最終テストにより総合的に判断する。						
準備学習・ 履修上の注意等	実習の時に、床に座ったり、横になったりすることがある。実習のときは、対応できる服装が望ましい。1 コマあたり 4 時間を目安に予習・復習を行うこと。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	アスリートの健康管理				講 義	鬼 塚
2	2)	アスリートの内科的障害と対策				講 義	鬼 塚
3	3)	アスリートの外傷・障害と対策1				講 義	鬼 塚
4	3)	アスリートの外傷・障害と対策2				講 義	鬼 塚
5	4)	アスレティックリハビリテーションとトレーニング計画1				講 義	鬼 塚
6	4)	アスレティックリハビリテーションとトレーニング計画2				講 義	鬼 塚
7	5)	コンディショニングの手法				講 義	鬼 塚
8	6)	スポーツによる精神障害と対策				講 義	鬼 塚
9	7)	特殊環境下での対応				講 義	鬼 塚
10	8)	アンチドーピング				講 義	鬼 塚
11	9)	コンディショニングの手法の実際1				実 習	神 田
12	9)	コンディショニングの手法の実際2				実 習	神 田
13	9)	コンディショニングの手法の実際3				実 習	神 田
14	9)	コンディショニングの手法の実際4				実 習	神 田
15	9)	コンディショニングの手法の実際5				実 習	神 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅲ(公益財団法人日本スポーツ協会)					

科目名		スポーツファーストエイド			授業コード	121398B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C321P13	AL 科目	○
担当者		神田潤一(福・ス)、佐々木さはら (福・ス)、米川正悟(非常勤:医師)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	JSPQ-AT、JPSU-ST 必修	授業形態	講義・実習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシ-No.		重篤な傷害や疾患についての知識を身につけたうえで、心肺蘇生法や AED などの第一発見者が行うべき救急処置法や、スポーツ現場で頻発する怪我に対する応急処置を実践を通じて学ぶ。また、スポーツ現場に必要な救急体制の整備についての知識も習得していく。						
学修目標		1)救急処置とは・救急時の行動と救急処置の実際について理解し、説明できる。 2)整形外科的障害(骨・関節および筋の損傷～RICE・固定法)の救急処置について理解し、説明できる。 3)整形外科的障害(骨・関節および筋の損傷～RICE・固定法)の救急処置について理解し、実施できる。 4)外科的救急処置(創傷と出血)の救急処置について理解し、説明できる。 5)外科的救急処置(創傷と出血)の救急処置について理解し、実施できる。 6)心肺蘇生法について理解し、説明できる。 7)心肺蘇生法について理解し、実施できる。 8)頭部外傷の救急処置について理解し、説明できる。 9)頭部外傷の救急処置について理解し、実施できる。 10)ショックの救急処置について理解し、説明できる。 11)ショックの救急処置について理解し、実施できる。 12)高温と低温による障害の救急処置について理解し、説明できる。 13)高温と低温による障害の救急処置について理解し、実施できる。 14)救急体制について理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者の神田・佐々木はアスレティックトレーナーとして、米川はスポーツドクターとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法		定期試験(50%)および筆記試験(50%)により評価する 基準については授業開始日に説明する						
準備学習・ 履修上の注意等		技術習得のための理解は必須です。予習・復習は 1 コマあたり 4 時間を目安に行うこと。						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	救急処置とは・救急時の行動と救急処置の実際					講 義	神田/佐々木
2	2)	整形外科的障害(骨・関節および筋の損傷～RICE・固定法)					講 義	米 川
3	3)	整形外科的障害(骨・関節および筋の損傷～RICE・固定法) 実習					実 習	米 川
4	4)	外科的救急処置(創傷と出血)					講 義	神田/佐々木
5	5)	外科的救急処置(創傷と出血) 実習					実 習	神田/佐々木
6	6)	心肺蘇生法					講 義	米 川
7	7)	心肺蘇生法 実習1					実 習	米 川
8	7)	心肺蘇生法 実習2					実 習	神田/佐々木
9	8)	頭部外傷					講 義	神田/佐々木
10	9)	頭部外傷 実習					実 習	神田/佐々木
11	10)	ショック					講 義	神田/佐々木
12	11)	ショック 実習					実 習	神田/佐々木
13	12)	高温と低温による障害					講 義	神田/佐々木
14	13)	高温と低温による障害 実習					実 習	神田/佐々木
15	14)	救急体制					講 義	神田/佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			1 回目の講義にて説明。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			健康運動指導士養成講習会テキスト(健康・体力づくり事業財団)、健康運動実践指導者養成用テキスト(健康・体力づくり事業財団)、公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑧救急処置(公益財団法人日本スポーツ協会)					

科目名	コーチング論			授業コード	121348B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C421P12	AL 科目	○
担当者	正野 知基(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	スポーツ指導者(コーチ)は、基本的には多種多様な世代・層の人たちに対して、それぞれの関心や目的に応じた指導・支援と環境づくりを行わなくてはならない。いくらトレーニングの原理・原則に基づいたプログラムを作成できたとしても、コーチ自身の人間力の不足によって、競技者の自発性や積極性を導き出して主体的にトレーニングに取り組んでもらえなければ、その効果を十分に得ることはできない。そこで、本講義では、コーチングの基本的な考え方、コーチの役割を理解し、さらにスポーツ活動やパフォーマンスを促進するコーチングに際して必要な、メンタルマネジメントとメンタルトレーニングについての知識と実践力を修得する。						
学修目標	1)コーチングとは何かについて理解し、説明できる。 2)コーチに求められる役割・知識・スキルについて理解し、説明できる。 3)コーチとしての対他者力・対自己力を磨くために必要な知識や方法について理解し、説明できる。 4)スポーツ倫理と事故や紛争が生じた場合の法的責任・スポーツ仲裁について理解し、説明できる。 5)対象や環境に応じたコーチングについて理解し、説明できる。 6)ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチングについて理解し、説明できる。 7)メンタルマネジメントおよびメンタルトレーニングの理論とその方法について理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	高校生・大学生を対象にコーチング・トレーニング指導を行い、全国大会をはじめ上位レベルの大会へ出場し、現在も指導を継続している担当者が、現場経験も踏まえた授業を行う。						
評価方法	定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業中に理解度を確認するために学生への質問を適宜行う。また、小グループでの話し合いを行い、まとめた意見を発表する機会を設ける。問題意識を持ち、緊張感を持って参加すること。毎回の授業後に次回授業内容を示すので、必ず予習を行って授業に臨むこと。また、配布資料・ノートをしっかりとまとめ、復習を行うこと。予習復習は 1 コマ当たり 4 時間を目安とする。						
オフィスアワー	毎週月曜～水曜日 12:30～13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	コーチングとは(1)				講義・SGD	正 野
2	1)	コーチングとは(2)				講義・SGD	正 野
3	2)	コーチに求められる役割・知識・スキル				講義・SGD	正 野
4	3)	コーチとしての対他者力・対自己力を磨こう(1)				講義・SGD	正 野
5	3)	コーチとしての対他者力・対自己力を磨こう(2)				講義・SGD	正 野
6	3)	コーチとしての対他者力・対自己力を磨こう(3)				講義・SGD	正 野
7	4)	スポーツ倫理と事故や紛争が生じた場合の法的責任・スポーツ仲裁				講義・SGD	正 野
8	5)	対象や環境に応じたコーチング(1)				講義・SGD	正 野
9	5)	対象や環境に応じたコーチング(2)				講義・SGD	正 野
10	5)	対象や環境に応じたコーチング(3)				講義・SGD	正 野
11	6)	ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング				講義・SGD	正 野
12	7)	メンタルマネジメントとメンタルトレーニング(1)				講義・実習	正 野
13	7)	メンタルマネジメントとメンタルトレーニング(2)				講義・実習	正 野
14	7)	メンタルマネジメントとメンタルトレーニング(3)				講義・実習	正 野
15	7)	メンタルマネジメントとメンタルトレーニング(4)				講義・実習	正 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		リファレンスブック(公益財団法人 日本スポーツ協会)					

科目名	運動器の解剖と機能 I			授業コード	121349B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	14C221P09	AL 科目	○
担当者	神田潤一(福・ス)、佐々木さはら(福・ス)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	バイオメカニクス、運動生理学で学習した身体の構造と機能を基に各関節の動きを理解し、関節可動域の測定方法を学ぶ。筋肉の起始・付着、各関節運動にかかわる筋肉を理解し、徒手筋力テストの方法を学ぶ。運動器の解剖と機能 I では、上肢・体幹を中心に学ぶ。						
学修目標	1)運動器の解剖と機能の概論について理解し、説明できる。 2)脊椎の解剖と機能について理解し、説明できる。 3)脊椎の関節可動域について理解し、説明できる。 4)上肢の解剖と機能について理解し、説明できる。 5)上肢の関節可動域について理解し、説明できる。 6)下肢の解剖と機能について理解し、説明できる。 7)下肢の関節可動域について理解し、説明できる。 8)頸部・体幹の解剖と機能について理解し、説明できる。 9)頸部・体幹の徒手筋力テストについて理解し、実施できる。 10)肩の解剖と機能について理解し、説明できる。 11)肩の徒手筋力テストについて理解し、実施できる。 12)肘・前腕・手の解剖と機能について理解し、説明できる。 13)肘・前腕・手の徒手筋力テストについて理解し、実施できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(神田・佐々木)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるよう な授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法	定期試験により評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	バイオメカニクス、運動生理学を合格した者が受講可能。 予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー	講義時間以外の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	運動器の解剖と機能概論				講 義	神 田
2	2)	脊椎				講 義	神 田
3	3)	脊椎の関節可動域				講 義	神 田
4	4)	上肢				講 義	神 田
5	5)	上肢の可動域				講 義	神 田
6	6)	下肢				講 義	神 田
7	7)	下肢の可動域				講 義	神 田
8	2～7)	2～7 回目の授業のまとめ				講 義	神 田
9	8)	頸部・体幹				講 義	神 田
10	9)	頸部・体幹の徒手筋力テスト				講 義	神 田
11	10)	肩				講 義	佐々木
12	11)	肩の徒手筋力テスト				講 義	佐々木
13	12)	肘・前腕・手				講 義	佐々木
14	13)	肘・前腕・手の徒手筋力テスト				講 義	佐々木
15	8～ 13)	9～14 回目の授業のまとめ				講 義	佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		1 回目の講義にて説明。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト②運動器の解剖と機能(公益財団法人日本スポーツ協会)					

科目名	運動器の解剖と機能Ⅱ			授業コード	121350B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	14C222P14	AL 科目	○
担当者	神田 潤一(福・ス)、佐々木さはら(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシーNo.	バイオメカニクス、運動生理学で学習した身体の構造と機能を基に各関節の動きを理解し、関節可動域の測定方法を学ぶ。筋肉の起始・付着、各関節運動にかかわる筋肉を理解し、徒手筋力テストの方法を学ぶ。運動器の解剖と機能Ⅱでは、下肢について学んだ後、身体全体の運動について総合的に学ぶ。						
学修目標	1)股関節の解剖と機能について理解し、説明できる。 2)股関節の関節可動域について理解し、説明できる。 3)膝関節の解剖と機能について理解し、説明できる。 4)膝関節の関節可動域について理解し、説明でき 5)足関節の解剖と機能について理解し、説明でき 6)足関節の関節可動域について理解し、説明でき 7)バイオメカニクスの原理について理解し、説明できる。 8)肩ユニットのバイオメカニクスについて理解し、説明できる。 9)肘・手関節ユニットのバイオメカニクスについて理解し、説明できる。 10)脊椎ユニットのバイオメカニクスについて理解し、説明できる。 11)股関節ユニットのバイオメカニクスについて理解し、説明できる。 12)膝関節ユニットのバイオメカニクスについて理解し、説明できる。 13)足関節ユニットのバイオメカニクスについて理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(神田・佐々木)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるよう な授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法	定期試験及び実技テストの総合評価						
準備学習・ 履修上の注意等	運動器の解剖と機能Ⅰを合格した者が受講可能。 予習・復習は1コマあたり4時間を目安に行うこと。						
オフィスアワー	講義時間以外の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	股関節				講 義	神 田
2	2)	股関節の関節可動域				講 義	神 田
3	3)	膝関節				講 義	神 田
4	4)	膝関節の関節可動域				講 義	神 田
5	5)	足関節				講 義	神 田
6	6)	足関節の関節可動域				講 義	神 田
7	1)～ 6)	1～6 回目授業のまとめ				講 義	神 田
8	7)	バイオメカニクスの原理				講 義	神 田
9	8)	肩ユニット				講 義	神 田
10	9)	肘・手関節ユニット				講 義	神 田
11	10)	脊椎ユニット				講 義	佐々木
12	11)	股関節ユニット				講 義	佐々木
13	12)	膝関節ユニット				講 義	佐々木
14	13)	足関節ユニット				講 義	佐々木
15	7)～ 13)	8～14 回目の授業のまとめ				講 義	佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		1回目の講義にて説明。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		・公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト②運動器の解剖と機能(公益財団法人日本スポーツ協会) ・新・徒手筋力検査法 Helen J. Hislop, Jacqueline Montgomery 著 津山直一, 中村耕三 訳 共同医書					

科目名		スポーツ科学			授業コード	121351B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C422P02	AL 科目	○
担当者		神田 潤一(福・ス)、佐々木さはら (福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義/演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		スポーツ科学とは、現象としてのスポーツ活動の中に存在し作用している法則性を見出して、競技力向上や心身の健康、スポーツ活動そのものに役立つ知識を得ようとする学問である。本講義では、スポーツ科学研究の成果として明らかとなった競技スポーツ指導者に必要な身体の仕組みと働きについて理解し、さらに競技者育成のための指導法についての知識を修得する。						
学修目標		1)運動にかかわる身体の仕組みと働き(神経系・骨格筋・骨格・関節)を理解し、説明できる。 2)呼吸循環器系の働きとエネルギー供給に仕組みについて理解し、説明できる。 3)スキルトレーニングの基礎について理解し、説明できる。 4)スポーツバイオメカニクスの基礎について理解し、説明できる。 5)スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系について理解し、説明できる。 6)ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチングについて理解し、説明できる。 7)競技力向上のためのチームマネジメントについて理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者(神田・佐々木)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法		発表(50%)および定期試験(50%)において評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授 業 方法	担 当
1	1)	運動にかかわる身体の仕組みと働き(1)					講義/演習	神田/佐々木
2	1)	運動にかかわる身体の仕組みと働き(2)					講義/演習	神田/佐々木
3	1)	運動にかかわる身体の仕組みと働き(3)					講義/演習	神田/佐々木
4	2)	呼吸循環器系の働きとエネルギー供給(1)					講義/演習	神田/佐々木
5	2)	呼吸循環器系の働きとエネルギー供給(2)					講義/演習	神田/佐々木
6	2)	呼吸循環器系の働きとエネルギー供給(3)					講義/演習	神田/佐々木
7	3)	スキルトレーニングの基礎(1)					講義/演習	神田/佐々木
8	3)	スキルトレーニングの基礎(2)					講義/演習	神田/佐々木
9	4)	スポーツバイオメカニクスの基礎(1)					講義/演習	神田/佐々木
10	4)	スポーツバイオメカニクスの基礎(2)					講義/演習	神田/佐々木
11	5)	スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系(1)					講義/演習	神田/佐々木
12	5)	スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系(2)					講義/演習	神田/佐々木
13	6)	ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング(1)					講義/演習	神田/佐々木
14	6)	ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング(2)					講義/演習	神田/佐々木
15	7)	競技力向上のためのチームマネジメント					講義/演習	神田/佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			リファレンスブック(公益財団法人 日本スポーツ協会) トレーニング指導者テキスト理論編 3 訂版(特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会) トレーニング指導者テキスト実践編 3 訂版(特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会)					

科目名	トレーニング科学			授業コード	121352B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C422P03	AL 科目	○
担当者	神田 潤一(福・ス)、佐々木さはら(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義/演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	トレーニング科学とは、人間の運動パフォーマンス向上を目指して行われる種々のトレーニングに関する実証可能な知識を体系化したものである。競技力を向上させるためには、的確なトレーニング指導が必須となる。コンディショニングおよびリハビリテーションをトレーニングの一環と捉えたと、アスレティックトレーナーのトレーニングへのかかわりは極めて広く深いものである。本講義では、アスレティックトレーナーに必要なトレーニング科学の基礎について理解し、さらにその実際についての知識を修得する。						
学修目標	1)運動パフォーマンス向上とトレーニングとの関係を理解し、説明できる。 2)運動パフォーマンス向上を目指した的確なトレーニング条件の設定について理解し、説明できる。 3)運動パフォーマンス向上を目指した的確なトレーニングプランの作成について理解し、説明できる。 4)有酸素性機能を向上させるためのトレーニングについて理解し、説明できる。 5)無酸素性機能を向上させるためのトレーニングについて理解し、説明できる。 6)神経機能にかかわる身体能力を向上させるためのトレーニングについて理解し、説明できる。 7)柔軟性とトレーニングとの関係について理解し、説明できる。 8)身体組成・体型とトレーニングとの関係について理解し、説明できる。 9)最新のトレーニング方法について理解し、説明できる。 10)トレーニングを行う際の注意点について理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(神田・佐々木)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法	発表(50%)および定期試験(50%)において評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー	講義時間以外の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	運動パフォーマンス向上とトレーニング				講義/演習	神田/佐々木
2	2)	トレーニングの条件(1)				講義/演習	神田/佐々木
3	2)	トレーニングの条件(2)				講義/演習	神田/佐々木
4	3)	トレーニングのプラン(1)				講義/演習	神田/佐々木
5	3)	トレーニングのプラン(2)				講義/演習	神田/佐々木
6	4)	有酸素性機能(全身持久力・筋持久力)とトレーニング(1)				講義/演習	神田/佐々木
7	4)	有酸素性機能(全身持久力・筋持久力)とトレーニング(2)				講義/演習	神田/佐々木
8	5)	無酸素性機能(筋力・パワー)とトレーニング(1)				講義/演習	神田/佐々木
9	5)	無酸素性機能(筋力・パワー)とトレーニング(2)				講義/演習	神田/佐々木
10	6)	神経機能(巧緻性・スピード・バランス)とトレーニング(1)				講義/演習	神田/佐々木
11	6)	神経機能(巧緻性・スピード・バランス)とトレーニング(2)				講義/演習	神田/佐々木
12	7)	柔軟性とトレーニング				講義/演習	神田/佐々木
13	8)	身体組成・体型とトレーニング				講義/演習	神田/佐々木
14	9)	新しいトレーニング				講義/演習	神田/佐々木
15	10)	トレーニングでの注意点				講義/演習	神田/佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		リファレンスブック(公益財団法人 日本スポーツ協会) トレーニング指導者テキスト理論編 3 訂版(特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会) トレーニング指導者テキスト実践編 3 訂版(特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会)					

科目名	トレーニング科学			授業コード	121352B102	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14C422P03	AL 科目	○	
担当者	神田 潤一(福・ス)、佐々木さはら (福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	・スポーツ科学に関する基礎的知識を理解した上で、体力・運動能力向上やスポーツ外傷・障害予防に必要な分析や計画立案 及び実践に活用できるようになることをねらいとする。 ・体力・運動能力向上やスポーツ外傷・障害予防の計画と実践に必要な、スポーツ科学の応用的知識を理解することをねらいと する。 ・スポーツ科学の基礎的および応用的知識を、競技特性や目的に応じた体力・運動能力向上、スポーツ外傷・障害予防、健康管 理の計画と実践に活用できるようになることをねらいとする。							
学修目標	1)体力・運動能力向上やスポーツ外傷・障害予防の計画と実践に必要なスポーツ科学の応用的知識(トレーニング科学、運動学 習、発育発達、性差、時間生物学、環境による生理学的変化など)について説明できる。 2)スポーツ科学の基礎的・応用的知識を、運動能力向上やスポーツ外傷・障害予防を目的とした動きづくりのためのコンディショ ニング計画と実践に活用できる。 3)スポーツ科学の基礎的・応用的知識を、スポーツ現場における健康管理の計画と実践に活用できる。							
実務経験のある 教員による教育	担当教員はアスレティックトレーナーとしての実務経験を有する							
評価方法	発表(50%)、筆記試験(50%)により評価する 基準については授業開始日に説明する							
準備学習・ 履修上の注意等	予習復習を必ず行うこと							
オフィスアワー	講義時間以外の可能な時間							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)3)	運動パフォーマンス向上とトレーニング					講 義	神田/佐々木
2	1)3)	トレーニングの条件(1)					講 義	神田/佐々木
3	2)3)	トレーニングの条件(2)					講 義	神田/佐々木
4	1)3)	トレーニングのプラン(1)					講 義	神田/佐々木
5	2)3)	トレーニングのプラン(2)					講 義	神田/佐々木
6	1)3)	有酸素性機能(全身持久力・筋持久力)とトレーニング(1)					講 義	神田/佐々木
7	2)3)	有酸素性機能(全身持久力・筋持久力)とトレーニング(1)					講 義	神田/佐々木
8	1)3)	無酸素性機能(筋力・パワー)とトレーニング(1)					講 義	神田/佐々木
9	2)3)	無酸素性機能(筋力・パワー)とトレーニング(2)					講 義	神田/佐々木
10	1)3)	神経機能(巧緻性・スピード・バランス)とトレーニング(1)					講 義	神田/佐々木
11	2)3)	神経機能(巧緻性・スピード・バランス)とトレーニング(2)					講 義	神田/佐々木
12	1)~3)	柔軟性とトレーニング					講 義	神田/佐々木
13	1)~3)	身体組成・体型とトレーニング					講 義	神田/佐々木
14	1)~3)	新しいトレーニング					講 義	神田/佐々木
15	1)~3)	トレーニングでの注意点					講 義	神田/佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		共通科目リファレンスブック						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						

科目名	スポーツ原理			授業コード	120056B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14C121P06	AL 科目	○
担当者	山本 順之(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	「スポーツとは何か」という根本的な問いに対して、スポーツの起源から普及、発展等、歴史的過程を踏まえ、現代社会における様々なスポーツの概念や価値等を把握する。具体的には、近代スポーツを中心としたスポーツの歴史についてイギリス、及びアメリカにおけるスポーツの普及、発展とそこで創りあげられたスポーツのイデオロギーや価値等について理解する。そして、こうしたスポーツのイデオロギーや価値とともにスポーツがもつ本質的な構造、機能、さらには現代におけるスポーツの様相、現状とその課題を検討する能力や思考を習得する。グループワークを通して、意見を発表し、ディスカッションを行うことができる。						
学修目標	1) 古代から近代にかけたスポーツの歴史的展開について説明できる。 2) あそびとスポーツの原理的な関係について説明できる。 3) 近代スポーツの普及、発展について説明できる。 4) 現代スポーツにおける諸課題を理解し、スポーツのあり方について説明できる。 5) 体育の特徴とその歴史的展開について説明できる。 6) 体育とスポーツの関係性を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	中学校教員の経験をもとに、学校教育機関におけるスポーツの歴史やスポーツの本質の関りを教授する。						
評価方法	定期試験(60%)小課題(レポート・小テスト等)(20%) 講義内における総合的姿勢(20%)						
準備学習・ 履修上の注意等	1 コマあたり 4 時間を目安に予習・復習する。設定された各テーマ関連する小課題を提出する。						
オフィスアワー	月曜日2限、火曜日2限						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)3)	【スポーツとは何か？】 スポーツの概念について現代スポーツにおけるさまざまな課題(例えば、ドーピングや八百長問題)からスポーツとは何なのかを問うことで、スポーツの概念定義を理解する。				講 義	山 本
2	1)2)	【スポーツの起源】 古代スポーツ(エスニックススポーツ)における祝祭性や宗教性を理解する。また、遊戯論(ホイジンガ)との関連性ついて理解する。				講 義	山 本
3	1)3)	【近代スポーツの出現】 イギリスの歴史社会的状況を踏まえ、いかにして近代スポーツが創りあげられたかについて理解する。特に、近代スポーツのイデオロギーとして現代まで脈々と継承されるジェントルマンシップやアスレティシズムについて理解する。				講 義	山 本
4	3)	【近代スポーツとアメリカ】 イギリスから伝播した近代スポーツがアメリカでアメリカナイズされる過程とその特徴について理解する。				講 義	山 本
5	3)	【近代スポーツにおけるイギリスとアメリカのイデオロギー】 第3回・4回にて学習したイギリス及びアメリカそれぞれにおける近代スポーツのあり方について比較検討し、現代スポーツにおけるその影響について理解する。				講 義	山 本
6	4)	【現代スポーツにおける課題】 肥大化するスポーツイベントから現代スポーツの課題を理解する。				講 義	山 本
7	4)	【現代スポーツにおける課題】 プロフェッショナルスポーツにおける課題について理解する。				講 義	山 本
8	4)	【現代スポーツにおける課題】 ドーピング問題について理解する。				講 義	山 本
9	4)	【現代スポーツにおける課題】 スポーツマンの不正行為について理解する。				講 義	山 本
10	4)	【現代スポーツにおける課題】 グローバル化するスポーツについて理解する。				講 義	山 本
11	4)	第 6 回から第 10 回までの講義において理解した現代スポーツにおけるさまざまな課題からみた新たなスポーツのあり方論について理解する。				講 義	山 本
12	5)	【スポーツと体育の比較】 わが国における体育の概念についてその歴史的過程を踏まえ、どのように体育なるものが発展してきたか理解する。				講 義	山 本
13	5)6)	【現代におけるスポーツと体育】 現代における体育とスポーツの関連性について概観し、その関係性を構築してきた歴史的過程について理解する。				講 義	山 本
14	5)6)	【現代におけるスポーツと体育】 現代におけるスポーツと体育の関連性から、その狭間に存在する課題について理解する。				講 義	山 本
15	2)4)6)	【スポーツとは何か？なぜ必要なのか？】 体育を含め人間にとってのスポーツの存在意義と今後の新たなスポーツの創造について理解する。				講 義	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて資料を配布する。					

科目名	スポーツ健康福祉論			授業コード	120055B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14C121P07	AL 科目	○
担当者	鬼塚 信(福・ス)、松田 智香子 (福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義、SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシ-No.	「スポーツ」「健康」「福祉」の3つの側面から時代的背景やそれらの相互関係について学ぶ。健康とは何かについてその歴史的変化や、社会や個人の健康への取り組みを概観し、現代に至るまでの制度や施策について理解する。また運動不足から生じる様々な疾病や障がいの現状を知り、その具体的対処法を学ぶ。これらの理解を基に「身体を動かすこと」の意味を知り、健康のあり方について総合的に考える能力の修得を目指す。						
学修目標	1)健康と身体、健康と身体活動の関係について説明できる。 2)身体活動と福祉の関係について説明できる。 3)健康の概念と医事法規について説明できる。 4)健康づくり施策について理解し、説明することができる。 5)運動の基準と指針について特徴的なことが列挙できる。 6)生活習慣病について列挙できる。 7)生活習慣病と運動疫学について学んだことを基に改善策を提案できる。 8)介護予防への取り組みについて理解し、その問題点を説明できる。 9)健康づくりのための運動やレクリエーションの重要性について説明できる。 10)福祉社会においてスポーツやレクリエーションの役割や在り方について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(鬼塚)は、医療現場での実務経験に基づき、現在行われている健康管理や生活習慣病をはじめとする疾病対策についての知識の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	学習内容の確認テストを随時行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、質問・発言、SGD 等の授業への参加状況)を(5%)、期末試験(95%)とする。 原則、再試験は行わない。						
準備学習・ 履修上の注意等	毎授業後に必ずレジュメを読み返し、講義ノートと合わせて要点をまとめる。また毎授業終了時に次回授業内容を示すので、事前学習を行うなど 1 コマ当り 4 時間を目安に予習・復習を行うこと。						
オフィスアワー	木曜日 : 15:00～17:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	スポーツ健康福祉論の目的				講義、SGD	松 田
2	1)2)	健康と身体活動・運動				講義、SGD	松 田
3	1)9)	トレーニングとは				講義、SGD	松 田
4	1)9)	健康づくりのための運動				講義、SGD	松 田
5	9)10)	健康づくりとスポーツ、レクリエーション				講義、SGD	松 田
6	9)10)	福祉とスポーツ、レクリエーション				講義、SGD	松 田
7	9)10)	障がい者のスポーツ、レクリエーション				講義、SGD	松 田
8	9)10)	高齢者のスポーツ、レクリエーション				講義、SGD	松 田
9	9)10)	福祉社会のスポーツ、レクリエーション				講義、SGD	松 田
10	3)	健康管理概論①				講義、SGD	鬼 塚
11	4)	健康づくり施策①				講義、SGD	鬼 塚
12	5)	健康づくり施策②				講義、SGD	鬼 塚
13	6)	健康管理概論				講義、SGD	鬼 塚
14	7)	健康づくり施策				講義、SGD	鬼 塚
15	8)	健康管理概論				講義、SGD	鬼 塚
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし。					

科目名	運動処方論			授業コード	120153B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C321P14	AL 科目	
担当者	正野 知基(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	健康を維持増進するためには適度な身体活動が必要であり、そのためには「身体活動」についての基本的な理解や原則を知ることが不可欠である。運動処方論では、身体活動についてその基本・原則を理解し、身体活動の実施プログラムの作成方法について学ぶ。また、安全に対象者の目的や状態にあった適切なプログラムを作成し、実施するために、メディカルチェックの重要性、検査結果の解釈に必要な基礎知識についても学ぶ。さらに、作成したプログラムを実施するにあたっての注意点を確認し、プログラムの実施結果を評価するための基本的事項を修得する。						
学修目標	1)運動処方の理論、運動プログラム作成時の基本的な考え方(トレーニングの原則、運動指針など)を理解し、説明できる。 2)運動の効果と運動不足により惹起される生活習慣病の実態を理解し、運動実践の効果を理解し、説明できる。 3)検診結果の読み方及び効果判定について理解し、説明できる。 4)メディカルチェックの重要性について理解し、説明できる。 5)運動プログラム作成の基本原則を理解し、説明できる。 6)服薬者における運動プログラム作成の基本、運動中の事故防止について理解し、説明できる。 7)生活習慣病に対する適切な運動処方の実際と運動処方の実例提示によるプログラム作成演習を行い、運動プログラムが作成できるようになる。						
実務経験のある 教員による教育							
評価方法	課題(12～15 回目の授業時に提示する)として作成し、期日までに提出された 4 つの運動プログラムの評価を 20%、学期末の単位認定試験 80%とする。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業中に理解度を確認するために学生への質問を適宜行う。緊張感を持って参加すること。毎回の授業後に次回授業内容を示すので、必ず予習を行って授業に臨むこと。また、配布資料・ノートをしっかりとまとめ、復習を行うこと。予習復習は 1 コマ当たり 4 時間を目安とする。						
オフィスアワー	毎週月曜～水曜日 12:30～13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	運動処方とは？				講 義	正 野
2	2)	運動の効果と運動不足				講 義	正 野
3	3)	健診結果の読み方及び効果判定 1				講 義	正 野
4	3)	健診結果の読み方及び効果判定 2				講 義	正 野
5	4)	メディカルチェックの重要性 1				講 義	正 野
6	4)	メディカルチェックの重要性 2				講 義	正 野
7	5)	運動プログラム作成の理論 1				講義・演習	正 野
8	5)	運動プログラム作成の理論 2				講義・演習	正 野
9	5)	運動プログラム作成の理論 3				講義・演習	正 野
10	6)	服薬者の運動プログラム作成上の留意点 1				講 義	正 野
11	6)	服薬者の運動プログラム作成上の留意点 2				講 義	正 野
12	7)	生活習慣病に対する適切な運動療法(プログラム作成実習) 1				演習・演習	正 野
13	7)	生活習慣病に対する適切な運動療法(プログラム作成実習) 2				講義・演習	正 野
14	7)	生活習慣病に対する適切な運動療法(プログラム作成実習) 3				講義・演習	正 野
15	7)	生活習慣病に対する適切な運動療法(プログラム作成実習) 4				講義・演習	正 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		健康運動指導士養成講習会テキスト(健康体力づくり事業財団)、健康運動実践指導者養成用テキスト(健康体力づくり事業財団)					

科目名	体力学演習			授業コード	120740A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C321P15	AL 科目	○
担当者	井藤 英俊(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	「体力」の測定方法、その結果の評価・活用方法について、2 年次の「体力学」で学修したことを基に演習を行う。新体力テストおよび運動適性テストといったフィールドテストを検者と非検者の立場に立ち実践し、その実施方法を体得していく。さらに、これらのテストによって得られたデータの活用について、PC を用いて①データの入力、②データの記述、③基礎的な統計を用いたデータの分析を行う。これらの一連の過程を実践することにより、体力測定結果の分析および評価方法を修得する。						
学修目標	1)新体力テストの実施計画と運営方法について理解し、説明できる。 2)新体力テスト(20-64 歳対象)の各テスト項目の実施方法を理解し、実施できる。 3)テスト結果の分析および評価方法について理解し、実施できる。 4)新体力テスト(65-79 歳対象)の各テスト項目の実施方法を理解し、実施できる。 5)介護予防に関する体力テストの各テスト項目の実施方法を理解し、実施できる。 6)上記項目以外の調整力テストの各テスト項目の実施方法を理解し、実施できる。 7)運動適性テストの実施計画と運営方法について理解し、説明できる。 8)運動適性テストの各テスト項目の実施方法を理解し、実施できる。 9)形態・身体組成を測定するための各測定の実施方法を理解し、実施できる。 10)専門的な測定機器や医科学機器を用いた測定の実施方法を理解し、実施できる。 11)各種体力テストを実践し、分析・評価結果について理解し、活用できる。						
実務経験のある 教員による教育	体力測定は学校教育のみならず、社会における様々な健康・スポーツの現場において実践されている。また、体力測定は適切な分析により、適切な運動処方へとつながる。科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。						
評価方法	レポート(60%)および授業への取り組み状況(40%)を総合的に評価する。 ・レポートの内容 ①検者側の視点から、実施方法についての分析 ②被験者の立場から、自己の体力の分析および評価 ③九保大の学生の体力の分析および評価 ・授業への取り組み(服装等の準備)						
準備学習・ 履修上の注意等	体育館シューズ、グラウンドシューズの 2 足を必ず用意すること。教科書を必ず購入・持参すること。 多くの体力テストを実施するので、普段から身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること。 授業を通して 3 本のレポート提出が単位認定の最低条件となる。日頃より体力テストで得られたデータの整理、分析を行うこと。 予習復習は 1 コマ当たり 1 時間を目安とする。 7 月中旬に、一般市民を対象とした体力測定の実践実習を行う。事前に日程を指定するので、実習に参加できるように調整をしておくこと。なお、公的な理由により参加できない場合は、追加での実習または補講を行う。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	新体力テストの実施計画と運営				講 義	井 藤
2	2)	新体力テストの実施(20-64 歳対象)(1)				実 習	井 藤
3	2)	新体力テストの実施(20-64 歳対象)(2)				実 習	井 藤
4	3)	テスト結果の分析・評価法(1)				演 習	井 藤
5	3)	テスト結果の分析・評価法(2)				演 習	井 藤
6	4)	新体力テストの実施(65-79 歳対象)(1)				実 習	井 藤
7	4)	新体力テストの実施(65-79 歳対象)(2)				実 習	井 藤
8	5)	介護予防に関する体力測定(1)				実 習	井 藤
9	5)	介護予防に関する体力測定(2)				実 習	井 藤
10	6)	その他の調整力テストの実施				実 習	井 藤
11	7)8)	運動適性テストとは 運動適性テストの実施				講 義	井 藤
12	9)10)	形態・身体組成の測定 専門的な測定機器や医科学機器を用いた測定				実 習	井 藤
13	11)	現場での測定の実践(1)				実 習	井 藤
14	11)	現場での測定の実践(2)				実 習	井 藤
15	11)	現場での測定の実践(3)				実 習	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		新体力テスト 有意義な活用のために(文部科学省)ぎょうせい【4-324-06135-1】 * 体力学において使用したものです。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		健康運動指導士養成講習会テキスト(健康体力づくり事業財団) 健康運動実践指導者養成用テキスト(健康体力づくり事業財団) 公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅰ・Ⅱ(日本スポーツ協会)					

科目名	学校保健			授業コード	120224B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C321P16	AL 科目	
担当者	塩瀬 圭佑(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	学童期から青年期は、心身の状態は大きく変化し、将来に繋がる身体的・精神的な健康問題が生じやすい時期である。児童生徒等の健康の保持増進や、学校教育活動に必要な健康や安全への配慮に資することができる人材を育成するため、本講義では児童生徒における健康状況の評価、健康問題の現状と対策、学校安全などについて学習する。また、特に現代における学校保健の問題を取り上げ、それらの対策についても理解を深める。						
学修目標	1) 学校における保健管理・保健教育について理解し、説明できる。 2) 学校感染症や児童生徒の健康課題について理解し、対策が立てられる。 3) 学校における災害や事故の発生について理解し、対策が立てられる。 4) 学校における保健活動を行おうとする意欲を持つことができる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	下記の基準にて単位認定を行う。 講義中の評価 20%、課題(テストやレポート)での評価 80%						
準備学習・ 履修上の注意等	授業時間外の学修として、各授業内容の復習をしておくこと。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)4)	【ガイダンス、学校保健の考え方】 講義全体の説明と、学校保健の構造について学ぶ				講 義	塩 瀬
2	1)	【子どもの発育発達】 子どもの発育発達とその特徴について学ぶ				講 義	塩 瀬
3	1)2)	【健康評価と慢性疾病】 学校における健康評価の方法と代表的な慢性疾患について学ぶ				講 義	塩 瀬
4	2)	【児童生徒の健康な生活(運動)】 児童生徒の運動に関する現状と、健康な生活を送るための運動の重要性について学ぶ				講 義	塩 瀬
5	2)	【児童生徒の健康な生活(食事)】 児童生徒の食事に関する現状と、健康な生活を送るための食事の重要性について学ぶ				講 義	塩 瀬
6	2)	【児童生徒の健康な生活(休養)】 児童生徒の休養に関する現状と、健康な生活を送るための休養の重要性について学ぶ				講 義	塩 瀬
7	2)	中間テスト				講 義	塩 瀬
8	2)	【現代の健康課題と対策(喫煙・飲酒・薬物)】 喫煙・飲酒・薬物に関する現状を理解し、児童生徒の健康に及ぼすリスクを考える				講 義	塩 瀬
9	2)	【現代の健康課題と対策(性行動・性感染症)】 性行動・性感染症に関する現状を理解し、児童生徒の健康に及ぼすリスクを考える				講 義	塩 瀬
10	2)	【現代の健康課題と対策(精神保健)】 精神保健に関する現状を理解し、児童生徒の健康に及ぼすリスクを考える				講 義	塩 瀬
11	2)	【学校における感染症と対策】 感染症の成り立ちと、学校における感染症対策について学ぶ				講 義	塩 瀬
12	2)4)	【学校環境衛生】 学校環境衛生の重要性を理解し、順守するための仕組みを学ぶ				講 義	塩 瀬
13	3)4)	【学校の安全管理】 学校の事故の発生状況や事故の発生要因とその対応についての内容を理解し、その重要性について考える				講 義	塩 瀬
14	3)4)	【体育・スポーツ活動時の事故と応急手当】 体育・スポーツ活動における事故の状況や、応急手当の基本についてについて学ぶ				講 義	塩 瀬
15	1) 4)	【保健教育】 学校における保健教育について理解する				講 義	塩 瀬
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		資料を配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		基礎から学ぶ学校保健(瀧澤利行) 建帛社【978-7679-1855-6】 学校保健の世界 第2版(大澤清二 他) 杏林書院【978-4-7644-0536-3】 中学校学習指導要領解説 保健体育編(文部科学省) 東山書房【978-4-8278-1196-2】 高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編(文部科学省) 東山書房【978-4-8278-1202-0】					

科目名	生活習慣病予防学			授業コード	120663B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C421P13	AL 科目	
担当者	佐藤 圭創(薬・薬)	開講学期	2024 年度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	日本人の死因の1〜4 位である悪性新生物、虚血性心疾患、肺炎、脳血管疾患の発症誘因に、生活習慣の歪みが関与しており、その発症は、生活習慣の是正により予防可能であることが多い(病気の第 1 次予防)。 本科目「生活習慣病予防学」では、代表的な生活習慣病である高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症、糖尿病、虚血性心疾患、肥満症、メタボリック症候群、骨粗鬆症、関節リウマチ、変形性関節症の病態・治療法・予防法を修得する。						
学修目標	1)生活習慣病の概念、意義を病気の第 1 次予防と関連付けて説明できる。 2)本態性高血圧症、2 次性高血圧症の病態・治療法・予防法を説明できる。 3)脂質代謝、血中脂質異常症の病態・治療法・予防法を説明できる。 4)プリン代謝、高尿酸血症の病態・治療法・予防法を説明できる。 5)糖尿病の糖代謝異常、脂質代謝異常、蛋白質代謝異常を説明できる。 6)1 型糖尿病と 2 型糖尿病の病態・治療法の共通点、相違点を説明できる。 7)労作性狭心症、安静時狭心症、急性冠症候群の病態・治療法・予防法を説明できる。 8)内臓脂肪と皮下脂肪の医学的相違点、肥満症の病態・治療法・予防法を説明できる。 9)メタボリック症候群の概念・病態・治療法・予防法を説明できる。 10)骨粗鬆症の病態・治療法・予防法を説明できる。 11)関節リウマチなどの膠原病の病態・治療法・予防法を説明できる。 12)変形性関節症の病態・治療法・予防法を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育							
評価方法	学年末の筆記試験により、医学的知識を評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	1 年生・後期で開講の「医学概論」を受講していることが望ましい。生活習慣病予防学の授業内容を、第三者に解説できる程度、十分に復習し、理解することが必要である。 毎回の授業の前後、週末および長期休暇期間を使って、計 21 時間の予習復習を行うこと 。						
オフィスアワー	毎週月曜～金曜日 9:00～17:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)9)	高血圧症の病気としての概念の歴史的変遷、本態性高血圧症・2 次性高血圧症の診断、臓器障害などの合併症、予後などを理解し、生活習慣病としての高血圧症を説明できる。				講 義	鬼塚 信
2	1)2)9)	高脂血症の治療方針、生活習慣の改善を理解し、脂質異常症の第 1 次予防を説明できる。				講 義	鬼塚 信
3	1)3)8) 9)	高尿酸血症の成因と痛風の発症機序、治療法方針を理解し、生活習慣病として痛風を説明できる。				講 義	鬼塚 信
4	1)3)8) 9)	糖尿病の定義と分類、タイプ 2 型糖尿病の成因と病態、自然歴と合併症を理解し、生活習慣病としての糖尿病を説明できる。				講 義	鬼塚 信
5	1)4)	虚血性心疾患の定義と分類、病態生理、動脈硬化、狭心症、急性冠症候群、心筋梗塞を理解し、生活習慣病としての虚血性心疾患を説明できる。				講 義	鬼塚 信
6	1)5)6)	肥満症の定義、内臓脂肪肥満、皮下脂肪肥満、脂肪細胞の生理的・病態的役割、運動療法について理解し、肥満症の生活習慣病としての位置、第 1 次予防が説明できる。				講 義	鬼塚 信
7	1)5)6)	新しい概念であるメタボリック症候群の概念出現の背景について理解し、本概念を説明できる。				講 義	鬼塚 信
8	1)7)	骨粗鬆症の成因・病態・骨折などの合併症・治療法を理解し、超高齢社会での骨粗鬆症の重要性を説明できる。				講 義	鬼塚 信
9	1)7)	関節リウマチと変形性関節症の成因・病態・骨折などの合併症・治療法を理解し、超高齢社会での関節疾患の重要性を説明できる。				講 義	鬼塚 信
10	1)～ 12)	生活習慣病の模擬検診を通して、生活習慣病について説明できる。				S G D	鬼塚 信
11	1)～ 12)	生活習慣病の模擬検診を通して、生活習慣病について説明できる。				S G D	鬼塚 信
12	1)～ 12)	生活習慣病の模擬検診を通して、生活習慣病について説明できる。				S G D	鬼塚 信
13	1)～ 12)	生活習慣病の模擬検診を通して、生活習慣病について説明できる。				S G D	鬼塚 信
14	1)～ 12)	生活習慣病の模擬検診を通して、生活習慣病について説明できる。				S G D	鬼塚 信
15	1)～ 12)	生活習慣病の模擬検診を通して、生活習慣病について説明できる。				S G D	鬼塚 信
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		健康運動指導士養成講習会テキスト(財団法人) 健康・体力づくり事業財団(分厚い書籍で、購入の必要性はない) パワーポイントで作製した講義資料を、毎授業時間に配布するので、この資料を重視して学習に励んで頂きたい。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	健康スポーツ実習Ⅰ			授業コード	120324B101	単位数 (時間数)	2 単位 (60)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14C122P07	AL 科目	○
担当者	正野 知基(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	超高齢社会、健康志向が叫ばれる現在、身体活動に対する関心は大きくなってきている。身体活動のうち体をほぐし、体力を高めることを計画的・意図的に行う動きを「運動」と呼び、生涯にわたって健康な日常生活を送るためには大切な要素のひとつである。本授業では、子どもから高齢者まで生涯にわたって健康の維持・増進し、体力の向上のために行う運動の理論と実際を、講義と実習を通して理解し、修得する。						
学修目標	1) 健康運動・スポーツの意義について理解し、説明できる。／健康運動・スポーツ指導者とその役割について理解し、説明できる。 2) トレーニングの原理・原則およびウォームアップとクールダウンの基礎理論について理解し、説明できる。／トレーニングの形態別・体力要素別分類と方法の基礎理論について理解し、説明できる。 3) 健康・安全へ配慮し、体調チェックの意義と方法について理解し、説明できる。／体ほぐしの運動・体の柔らかさを高める運動(ストレッチング)の理論と実践方法を説明・実施できる。 4) アイソメトリックトレーニングの理論と実践方法を説明・実施できる。／自重を使ったレジスタンストレーニングの理論と実践方法を説明・実施できる。 5) 身体各部位別のフリーウエイトトレーニングの理論と実践方法を説明・実施できる。ベンチプレスによる最大筋力測定(最大下法)の理論と実践方法を説明・実施できる。／力強い動きと持久力を高める動きを組み合わせたサーキットトレーニングの理論と実践方法を説明・実施できる。 6) マシーントレーニングの理論と実践方法を説明・実施できる。 7) 発育発達期にある子どもの健康運動・スポーツプログラムの理論と実際について理解し、説明できる。／巧みな動きを高める運動と力強く・素早い動きを高める運動の理論と実践方法を説明・実施できる。 8) 女性の健康運動・スポーツプログラムの理論と実際について理解し、説明できる。／身近な用具(ダンベル・チューブ・縄跳びなど)を用いた体力を高める運動の理論と実践方法を説明・実施できる。 9) 介護予防のための運動の理論と実践方法を説明・実施できる。 10) 肥満症予防・改善を目的とした運動プログラムの理論と実践方法を説明・実施できる。／消費エネルギーを高め、持久力を高める運動: 歩行運動の理論と実践方法を説明・実施できる。 11) 高血圧・糖尿病・虚血性心疾患の運動プログラムの理論と実践方法を説明・実施できる。／消費エネルギーを高め、持久力を高める運動: ジョギングの運動プログラムの理論と実践方法を説明・実施できる。 12) 変形性関節症・腰痛症の運動プログラムの理論と実践方法を説明・実施できる。／体幹トレーニングの基礎理論と実践方法を説明・実施できる。 13) 運動負荷に対する身体応答(心拍数・酸素摂取量・無酸素性作業閾値)の測定の意義が説明できる。／運動負荷に対する身体応答(心拍数・酸素摂取量・無酸素性作業閾値)測定を体験、理解する。 14) グループ単位で体づくり運動のプログラムを作成・実施し、自己評価・相互評価を行うことができる。						
実務経験のある 教員による教育	高校生・大学生を対象にコーチング・トレーニング指導を行い、全国大会をはじめ上位レベルの大会へ出場し、現在も指導を継続している担当者が、現場経験も踏まえた授業を行う。						
評価方法	指導実習におけるプログラム・実技(指導法)とそのレポート(80%)、授業に対する取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業中に理解度を確認するために学生への質問を適宜行うので、授業内容にかかわるキーワードを事前に調べておくことと、復習を行うこと。また、ウエイト類を扱うため事故防止を徹底し、ルール・マナーを守り緊張感を持って参加すること。日常生活の中でも身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること。						
オフィスアワー	毎週月曜～水曜日 12:30～13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方法	担当
1	1)	健康運動・スポーツの意義／健康運動・スポーツ指導者とその役割				講 義	正 野
2	2)	健康運動・スポーツの基礎理論(トレーニングの原理・原則／ウォームアップとクールダウン)／健康運動・スポーツの基礎理論(トレーニングの形態別・体力要素別分類と方法)				講 義	正 野
3	3)	体調チェックの意義と方法(健康・安全への配慮)／体ほぐしの運動・体の柔らかさを高める運動(ストレッチング)の理論と実際				講義/実習	正 野
4	4)	レジスタンストレーニングの理論と実際(アイソメトリックトレーニング)／レジスタンストレーニングの理論と実際(自重を使ったレジスタンストレーニング)				講義/実習	正 野
5	5)	レジスタンストレーニングの理論と実際(身体各部位別のレジスタンストレーニング)／レジスタンストレーニングの理論と実際(力強い動きと持久力を高める動きを組み合わせたサーキットトレーニング)				講義/実習	正 野
6	6)	マシーントレーニングの理論と実際				講義/実習	正 野
7	7)	発育発達期にある子どもの健康運動・スポーツプログラムの理論と実際／巧みな動きを高める運動と力強く・素早い動きを高める運動				講義/実習	正 野
8	8)	女性の健康運動・スポーツプログラムの理論と実際／身近な用具(ダンベル・チューブ・縄跳びなど)を用いた体力を高める運動				講義/実習	正 野
9	9)	介護予防と運動の理論と実際				講義/実習	正 野
10	10)	生活習慣病に対する適切な運動療法(肥満とその運動療法／消費エネルギーを高め、持久力を高める運動: 歩行運動)				講義/実習	正 野
11	11)	生活習慣病に対する適切な運動療法(高血圧・糖尿病・虚血性心疾患とその運動療法／消費エネルギーを高め、持久力を高める運動: ジョギング)				講義/実習	正 野
12	12)	生活習慣病に対する適切な運動療法(変形性膝関節症・腰痛症／体幹トレーニングの基礎理論と実際)				講義/実習	正 野
13	13)	最大酸素摂取量(健康運動・スポーツの強度指標)の意義とその測定法(理論と実際)				講義/実習	正 野
14	14)	健康運動指導実習(運動プログラムを作成し、運動指導を行う)				実 習	正 野
15	14)	健康運動指導実習(運動プログラムを作成し、運動指導を行う)				実 習	正 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	中学校学習指導要領解説 保健体育編(文部科学省)東山書房 高等学校学習指導要領解説 保健体育編(文部科学省)東山書房 健康運動指導士養成講習会テキスト(健康体づくり事業財団) 健康運動実践指導者養成用テキスト(健康体づくり事業財団)

科目名	健康スポーツ実習Ⅱ			授業コード	120325B101	単位数 (時間数)	2 単位 (60)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	14C221P10	AL 科目	○
担当者	長野 葉子(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	実習・講義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	運動の効果、実施上の注意を理解し、安全面の配慮ができる。(A, B) 運動指導の基礎知識の理解を深め、指導技術の習得を目指す。(C, D)						
学修目標	1)運動指導を行う際に安全面の配慮ができる。 2)運動の効果、実施上の注意点を理解し、説明できる。 3)運動指導の基礎知識を学び、技術を習得し見本となる動きができる。 4)対象者をよく観察し、動きの修正や動機づけができる。						
実務経験のある 教員による教育	健康運動指導士、日本フィットネス協会認定インストラクターとして長年レッスンを担当しており、その経験をもとに指導を行う。						
評価方法	授業度の確認テストにより学習成果をフィードバックする。 学習への取り組み姿勢(確認テスト結課、質問、発言、リーダーシップなど授業への積極的な参加)30 点 実技発表 70 点として単位認定を行う。 詳細な評価の基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	講義では、毎回教科書を持参すること。 実技では、運動できる服装、室内シューズ、タオル、飲み物の持参。 前回の内容の確認テストをするので復習してくること。実技内容も確認作業をすること。 屋外活動では、運動靴で参加すること。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	2 3	授業の概要説明 「エアロビックダンスとは」について学び、説明ができるようになる。 エアロビックダンスエクササイズのモデルレッスン 実際のレッスンを体験し、楽しさ、魅力、運動量などを知る。				講 義 実 技	長 野
2	1 2 3	「有酸素性運動の基礎知識」を学び、有酸素性運動の呼吸循環器系、骨格筋、生活習慣病に対する効果を理解する。 エアロビックダンスエクササイズの基本ステップ(ローインパクト) 基本となるステップの注意点、加重の仕方、身体の使い方などを理解し技術を習得する。				講 義 実 技	長 野
0	1 2 3	「エアロビックダンスエクササイズの歴史と運動特性」を学び、エアロビックダンスエクササイズの歴史を知り、どのように発展し定着したかについて理解を深める。 エアロビックダンスエクササイズの基本ステップ(ハイインパクト) 基本ステップの注意点、加重の仕方、身体の使い方などを理解し、技術を習得する。				講 義 実 技	長 野
4	1 2 3	「エアロビックダンスエクササイズの基本の動き」を学び、姿勢の定義、良い姿勢について理解し、コントロールされた動き方を習得する。 エアロビックダンスエクササイズの基礎ステップ(ローインパクト、ハイインパクト)				講 義 実 技	長 野
0	1 2 3	「エアロビックダンスエクササイズのプログラミング」について学び、運動強度の設定の仕方を理解し、安全で効果的なプログラムを作成することができる。 規定ルーティーン(動きの習得)				講 義 実 技	長 野
6	1 2 3	「エアロビックダンスエクササイズのプログラミング」について学び、運動強度の設定の仕方を理解し、安全で効果的なプログラムを作成することができる。 規定ルーティーン(動きの習得)				講 義 実 技	長 野
7	1 2 3 4	「エアロビックダンスエクササイズの指導法」を学び、指導者の役割、指導の循環について理解し、参加者を観察し、タイミング良くキューイングができるようになる。 規定ルーティーン(キューイング)				講 義 実 技	長 野
8	1 2 3 4	「エアロビックダンスエクササイズの運動環境の整備」について学び、安全性の観点から適切な運動環境について理解し、実践できるようになる。 規定ルーティーン(実演指導)				講 義 実 技	長 野
0	1 2 3 4	「ウォーキングの理論と実際」について学び、理解を深める。 いろいろな歩き方の実習				講 義 実 技	長 野
10	1 2 3 4	「ジョギングの理論と実際」について学び、理解を深める。 いろいろな走り方の実習				講 義 実 技	長 野
11	1 2 3 4	ウォーキングの実践(野外) レジスタンストレーニングの指導 規定ルーティーン(実演指導)				実 技	長 野
0	1 2 3 4	ジョギングの実践(野外) レジスタンストレーニングの指導 グループでエアロビックダンスエクササイズのプログラムづくり				実 技	長 野

13	1	レジスタンストレーニングの指導 グループでエアロビックダンスエクササイズのプロプログラムづくり	実 技	長 野
	2			
	3			
	4			
14	1	エアロビックダンスエクササイズの規定ルーティーン実演指導練習・レジスタンストレーニング実演指導練習	実 技	長 野
	2			
	3			
	4			
15	1	エアロビックダンスエクササイズ規定ルーティーン実演指導発表 レジスタンストレーニング実演指導発表 プログラムグループ発表	実 技	長 野
	2			
	3			
	4			
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		ADBI・ADI のためのエアロビックダンスエクササイズ指導理論 ※1 回目から使用するので必ず購入すること。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし		

科目名		健康スポーツ現場実習			授業コード	120323B101	単位数 (時間数)	2 単位 (60)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C323P01	AL 科目	○
担当者		正野 知基(福・ス)、松田 智香子 (福・ス)、山本 順之(福・ス)、 佐々木 さはら(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		健康運動の指導者養成には専門的な知識等の教授だけでなく、様々なケースに対応できる実践指導能力を身につけるための 実習が重要である。受講者に対し実際の運動指導現場に触れることで、大学での授業目的・内容の一層の理解に役立たせると ともに、実務能力を身につけることにより健康運動指導者としての活動現場における役割等を体験・理解する。						
学修目標		1)実習を行うにあたって、社会人としての基本的態度・礼儀、その他必要事項について理解し、実践できる。 2)健康状態の把握、体力測定、運動プログラムの作成・提供、運動の記録・情報管理について理解し、説明できる。 3)健康運動教室受講者に対する基本的な応対を体験・理解し、実践できる。 4)施設管理に関わる基本的な業務を体験・理解し、実践できる。 5)施設で行われている一連の健康運動指導(健康状態の把握、体力測定、運動プログラムの作成・提供、運動の記録・情報の 保管、生活指導等)の基本を体験・理解し、実践できる。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		実習施設担当者による評価(80%)、実習ノート(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		健康運動実践指導者および健康運動指導士の受験を希望する者で、健康運動実践指導者受験資格関連科目のすべてを取得 済みもしくは履修中であること。社会人としての基本的態度・礼儀を身につけていること(時間の厳守、あいさつ、言葉使い等)。						
オフィスアワー		各教員のオフィスアワーに準ずる。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション(1)					講 義	正 野
2	2)	オリエンテーション(2)					講 義	正 野
3	3)4)5)	健康スポーツ施設における現場実習を 60 時間行う。					実 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		健康運動指導士養成講習会テキスト(健康体力づくり事業財団)						

科目名	スポーツ実習Ⅰ（器械体操）			授業コード	120058A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14C122P08	AL 科目	○
担当者	三輪 佳見(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	運動を指導するためには学習者の感覚に合った運動を処方しなければならない。学習者の感覚を理解できるようになるためには、まず自分自身の動きを感じ取れることが基礎能力(DP4)として求められる。そこで、授業では学習指導要領に示されている器械運動(マット運動・跳び箱運動・鉄棒運動等)の技の習得をとおして、器械運動の特性、技の指導体系・技術・指導方法について学習する(CP1(2))。						
学修目標	1) 器械運動の特性を理解し説明できる。 2) マット運動の基本的な技を演示できる。 3) 跳び箱運動の基本的な技を演示できる。 4) 鉄棒運動の基本的な技を演示できる。 5) マット運動の指導体系・技術・指導方法を説明できる。 6) 跳び箱運動の指導体系・技術・指導方法を説明できる。 7) 鉄棒運動の指導体系・技術・指導方法を説明できる。 8) 技の組合せの運動構造について説明できる 9) マット運動の技の組合せを演示できる。 10) 鉄棒運動の技の組合せを演示できる。 11) 発表会の意義を理解し説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	25 年以上にわたる子ども(幼児から中学生)を対象とした指導経験、及び文部科学省主催の教員研修講師等の経験に基づいた授業を行う。						
評価方法	運動習得に取り組む態度(練習や板書の記録)10%、実技試験(技能に応じて課題レポート作成)90%として単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に資料を配布し説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	ジャージ着用。筆記用具、記録用紙を持参すること。 受講に当たって、緊張感を持って参加すること。 器具の取り扱い方、安全に注意する。器具準備等協力すること。						
オフィスアワー	授業の前後						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)5)	器械運動の特性についての解説、マット運動の前転グループ及び倒立の基礎技能から変形技の実習。				実 習	三 輪
2	5)6)	マット運動の前転グループの発展技と跳び箱運動の基礎技能の実習。				実 習	三 輪
3	5)6)	マット運動の後転グループの基礎技能から変形技と跳び箱運動の反転系の技(開脚とび)の実習。				実 習	三 輪
4	2)5)6)	マット運動の後転グループの発展技と跳び箱運動の反転系の技(かかえ込みとび)の実習。				実 習	三 輪
5	2)3)7)	マット運動の側方倒立回転、跳び箱運動の反転系の技(屈身とび)、鉄棒運動の支持回転技の基礎技能の実習。				実 習	三 輪
6	2)7)	マット運動のはねおきグループの予備技、鉄棒運動の後転グループ(逆上がり)と前方支持回転技の実習。				実 習	三 輪
7	4)5)6)	マット運動のはねおきグループの予備技、跳び箱運動の回転系の技(頭はねとび)、鉄棒運動の後転グループ(逆上がりの発展)の実習。				実 習	三 輪
8	2)3)4)	マット運動の頭はねおきと倒立回転とびグループの予備技、跳び箱運動の回転系の技(頭はねとびの発展)、鉄棒運動の後転グループ(後方支持回転)の実習。				実 習	三 輪
9	4)5)6)	マット運動と跳び箱運動の前方倒立回転とび、鉄棒運動の前転グループ(前方支持回転)の実習。				実 習	三 輪
10	2)3)10)	マット運動と跳び箱運動の前方倒立回転とび、鉄棒運動の棒下振出しおりの実習。				実 習	三 輪
11	8)9)	マット運動と跳び箱運動の前方倒立回転とび、鉄棒運動の技の組合せの実習。				実 習	三 輪
12	9)10)	マット運動の技の組合せの実習。				実 習	三 輪
13	9)11)	マット運動と鉄棒運動における技の組合せの実習。				実 習	三 輪
14	10)11)	演技発表(マット運動)の実習。				実 習	三 輪
15	10)11)	演技発表(跳び箱運動、鉄棒運動)の実習。				実 習	三 輪
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1560-3】 高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1202-0】 教師のための器械運動指導法シリーズ 1. とび箱・平均台運動(金子明友)大修館書店【4-469-16290-6】 教師のための器械運動指導法シリーズ 2. マット運動(金子明友)大修館書店【4-469-16291-4】 教師のための器械運動指導法シリーズ 3. 鉄棒運動(金子明友)大修館書店【4-46					

科目名	スポーツ実習Ⅱ(屋外球技)			授業コード	121517A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	14C222P15	AL 科目	○
担当者	山本 順之(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	ゴール型、及びベースボール型の屋外競技(サッカー ソフトボール)に関する知識とそれらの基礎技術・戦術について理解する。投げる、捕る、打つ、パス、コントロール、シュート等の基礎技術スキルを修得し、こうしたスキルをゲーム戦術に発展させる。また、こうした基礎技術スキルや各種戦術の指導方法について理解し、実践する能力を修得する。						
学修目標	1)ゴール型、ベースボール型の競技、ゲームとしての特性を説明できる。 2)ソフトボールのルールと技術的、戦術的的特性を説明できる。 3)サッカーのルールと技術的、戦術的的特性を説明できる。 4)ソフトボールの基礎的技術を理解、実践し、習得する。 5)サッカーの基礎技術を理解、実践し、習得する。 6)ソフトボールの個人・グループ(連携)・チーム戦術を理解、実践できる。 7)サッカーの個人・グループ(連携)・チーム戦術を理解、実践できる。						
実務経験のある 教員による教育	中学校教員の経験を生かし、学校体育における球技の知識と技術を理解させる。						
評価方法	基礎技術スキルの習得、及び各種戦術理解(50%)指導方法の実践(30%)実習における積極的態度、姿勢等(20%)						
準備学習・ 履修上の注意等	運動できる服装、シューズを用意する。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	【ソフトボールのゲーム】 ソフトボールのゲームを実践し、競技、ゲームの特性とルールを理解する。				実 習	山 本
2	1)2)4)	【ソフトボールの基礎技術の理解、習得(投げる 捕る)】 ソフトボールにおける投げる、捕るといった基礎技術について理解、実践する。				実 習	山 本
3	1)2)4)	【ソフトボールの基礎技術の理解、習得 (打つ)】 ソフトボールにおける打つといった基礎技術について理解、実践する。				実 習	山 本
4	1)2)4) 6)	【ソフトボールの個人・グループ(連携)戦術の理解、習得】 さまざまな状況に応じた守備戦術(ダブルプレイ、外野フライの処理等)について理解、実践し、習得する。				実 習	山 本
5	1)2)4) 6)	【ソフトボールの個人・グループ(連携)戦術の理解、習得】 さまざまな状況に応じた攻撃戦術(バント、走塁外等)について理解、実践し、習得する。				実 習	山 本
6	1)2)4) 6)	【ソフトボールの個人・グループ(連携)・チーム戦術の理解、実践】 ゲームを通して個人・グループ(連携)・チーム戦術を理解し実践する。				実 習	山 本
7	1)2)4) 6)	【ソフトボールの個人・グループ(連携)・チーム戦術の理解、実践】 ゲームを通して個人・グループ(連携)・チーム戦術を理解し実践する。				実 習	山 本
8	1)3)5)	【サッカーのボールフィーリングとボールコントロールの技術】 ボールとからだのコーディネート能力、およびサッカーにおけるボールコントロールの技術(止める、蹴る、運ぶ等)について理解、実践する。				実 習	山 本
9	1)3)5)	【サッカーのパスとシュートの技術】 さまざまなキックの種類やヘディングを使用して、パスとシュートの技術について理解、実践する。				実 習	山 本
10	1)3)5) 7)	【サッカーの個人戦術(1対1の攻防)】 サッカーにおける対人の基本として1対1における攻防について理解、実践する。				実 習	山 本
11	1)3)5) 7)	【サッカーの個人戦術(2対1、3対2におけるフリーランニングの必要性、1対2、2対3等、守備における数的優位のつくり方)】 自チームがボールを保持しているときのフリーランニングの必要性和相手チームがボールを保持しているときの守備における数的優位のつくり方について理解、実践する。				実 習	山 本
12	1)3)5) 7)	【スモールゲームの活用(ボールポゼッショントレーニング パス&サポート)】 4対4または6対6、8対8でのスモールゲームを活用し、ボールポゼッション(ボールを保持している状態)するためのパス&サポートについて理解、実践する。				実 習	山 本
13	1)3)5) 7)	【スモールゲームの活用(トランジション 攻から守、守から攻への切り替え)】 4対2または6対3でのスモールゲームを活用し、トランジション(攻から守、守から攻への切り替え)について理解、実践する。				実 習	山 本
14	1)3)5) 7)	【サッカーのチーム戦術】 ゲーム実践において、チームにおけるシステムと主たる戦術について理解し、戦術の徹底のための各種トレーニング方法を理解、実践する。				実 習	山 本
15	1)3)5) 7)	【サッカーのチーム戦術】 ゲーム実践において、チーム戦術徹底のためのトレーニング方法と第 14 回において実践したゲームの改善トレーニングを理解、実践する。				実 習	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1196-2】 高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1202-0】					

科目名		スポーツ実習Ⅲ(屋内球技)			授業コード	121518A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14C122P09	AL 科目	○
担当者		長野 葉子(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.		屋内球技の技術の習得はもちろん、指導法や練習法などの習得を目指す。また、実践することで屋内球技の楽しさを体感し、興味、理解を深める。(A, B, C, D)						
学修目標		1)屋内球技の基礎知識を習得する。(知識・理解) 2)屋内球技の基礎技能の習得方法および指導法について思考を深める。(思考・判断) 3)体育教材としての屋内球技についての関心を深める。(関心・意欲) 4)コミュニケーションを通して基礎技能の習得および指導を行う。(態度) 5)屋内球技の基礎技能およびその指導法を身につける。(技能・表現)						
実務経験のある 教員による教育		健康運動指導士として、運動指導を行っており、バスケットボール競技者としての経験をもとに指導を行う。						
評価方法		授業の取り組み(授業準備、片付け、発言、リーダーシップなど)50 点、実技、技術テスト 50 点で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		服装・室内シューズは必ず準備する。ピアス、ネックレス、腕時計ははずして参加すること。						
オフィスアワー		講義前後の空き時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	3)4)	【オリエンテーション】 チーム編成・学習内容の確認					実 習	長 野
2	1)2)5)	【バスケットボールのパス】 パスの種類の理解、練習方法および技術習得					実 習	長 野
3	1)2)5)	【バスケットボールのシュート】 シュートの種類の理解、練習方法および技術の習得					実 習	長 野
4	1)2)5)	【バスケットボールのドリブル】 ドリブルの練習方法および技術の習得					実 習	長 野
5	4)5)	【バスケットボールの2:1の攻撃方法】 コートバランスの大切さを知る。アウトナンバーをつくる。					実 習	長 野
6	4)5)	【バスケットボールの3:2の攻撃方法】 コートバランスからの弱点の攻撃方法を知る。3:2 の中で 2:1 をつくる。					実 習	長 野
7	4)5)	【バスケットボールのマンツーマンディフェンスのポジション】 4:4 でボールマン、二人目、三人目のポジションを理解、習得					実 習	長 野
8	3)	【バスケットボールのオフェンス】 5:5 での攻撃のパターンを理解し、実践					実 習	長 野
9	3)	【バスケットボールの各ポジション】 各ポジションの役割について理解					実 習	長 野
10	3)4)	【バスケットボールのまとめ】 リーグ戦を実践、運営					実 習	長 野
11	1)2)5)	【バレーボールのパス】 パスの種類と方法の理解、習得					実 習	長 野
12	1)2)5)	【バレーボールのサーブ】 サーブの種類と方法の理解、習得					実 習	長 野
13	1)2)5)	【バレーボールスパイク】 スパイクの助走コースと助走ステップの理解、習得					実 習	長 野
14	3)4)5)	【ミニバレーボール】 実践、運営					実 習	長 野
15	3)4)5)	【バレーボールのまとめ】 リーグ戦の実践、運営					実 習	長 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1196-2】 高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1202-0】						

科目名	スポーツ実習Ⅳ(陸上)			授業コード	120061A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	14C222P16	AL 科目	○
担当者	井藤 英俊(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	陸上競技は、「走る」「跳ぶ」「投げる」などの基本的な運動で構成され、記録に挑戦したり、相手と競争したりする楽しさや喜びを 味わうことのできる運動である。授業においては、「短距離・リレー」「ハードル」「走幅跳」「走高跳」「砲丸投」「長距離走」を取り上 げ、各種目の記録向上のための技能習得および効果的な指導法の習得を目指す。						
学修目標	1. 短距離走、ハードルの技術を習得し、ルールと効果的なトレーニング及び指導法について理解し、実践することができる。 2. 走幅跳、走高跳の技術を習得し、ルールと効果的なトレーニング及び指導法について理解し、実践することができる。 3. 砲丸投、ジャベリックスローの技術を習得し、ルールと効果的なトレーニング及び指導法について理解し、実践することができ る 4. 長距離走の効果的なトレーニング及び指導法について理解し、実践することができる						
実務経験のある 教員による教育	陸上競技は、「走る」「跳ぶ」「投げる」などの基本的な運動を競う競技である。そのため、他の競技と比較してトレーニング経験が なくても、競技として楽しむことができる。その反面、誰にでもできるからこそ、能力の差がはっきりと現れる。科目担当者の実践 経験に基づいた授業を展開する。						
評価方法	実技試験＋受講態度等（短距離走、ハードル、走高跳、走幅跳、砲丸投、ジャベリックスロー）を各 10 点で評価＋審判等による 積極的な授業参加(60 点) レポート課題:長距離走のトレーニング(20 点) 陸上競技の歴史とルールのテスト(20 点)						
準備学習・ 履修上の注意等	スポーツの実践を中心とした授業を展開するため、授業毎に運動技能の評価を行う。よって、欠席見学は極力ないように、普段 から身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること 陸上競技の特性である他人との競争だけでなく、自分自身との競争(自己記録の更新)を目指して、意欲的に取り組むこと 走りやすい運動用シューズとジャージで受講すること アクセサリ(金具)は身につけないで受講すること						
オフィスアワー	毎週月曜～水曜日 12:30～13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【短距離走の基本技術】 走動作の基本とスターティングブロックを用いたスタート技術を習得 50m 走の測定				実 習	井 藤
2	1)	【短距離走とリレーの基本技術】 短距離走の 2 つの局面の理解、100m 走の測定				実 習	井 藤
3	1),2),3)	【陸上競技のルールと歴史】 陸上競技のルールと歴史の理解				実 習	井 藤
4	1)	【ハードル走の基本技術】 ハードル走の基本(ハードルトリル)とブロックを用いたスタート技術の習得				実 習	井 藤
5	1)	【ハードル走の実践】 ハードル走の基本とハードル走の測定 100m ハードル走の測定				実 習	井 藤
6	2)	【走り幅跳びのルールと基本技術】 走り幅跳びを安全に行うためのルールの理解と基本技術の習得				実 習	井 藤
7	2)	【走り幅跳びの実践】 競技会形式での走り幅跳びの測定				実 習	井 藤
8	3)	【ジャベリックスローのルールと基本技術】 ジャベリックスローを安全に行うためのルールの理解と基本技術の習得				実 習	井 藤
9	3)	【ジャベリックスローの実践】 競技会形式でのジャベリックスローの測定				実 習	井 藤
10	3)	【砲丸投のルールと基本技術】 砲丸投を安全に行うためのルールの理解と基本技術の習得				実 習	井 藤
11	3)	【砲丸投の実践】 競技会形式での砲丸投の測定				実 習	井 藤
12	2)	【走り高跳びのルールと基本技術】 走り高跳びのルールの理解と基本技術の習得				実 習	井 藤
13	2)	【走高跳の実践】 競技会形式での走高跳の測定				実 習	井 藤
14	4)	【長距離走の練習】 心拍測定を用いた効果的な長距離走のトレーニング方法を理解と実践				実 習	井 藤
15	4)	【長距離走の練習】 心拍測定を用いた効果的な長距離走のトレーニング方法を理解と実践				実 習	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1196-2】 高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1202-0】					

科目名	スポーツ実習Ⅴ（水泳）			授業コード	120062A101	単位数 （時間数）	1 単位 （30）
配当学科（学年）	スポーツ健康福祉学科（2 年）			ナンバリング	14C221P11	AL 科目	○
担当者	正野 知基（福・ス）	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	本授業では、水泳・水中運動を取り上げ、水中で運動を行う場合に必要となる基本的な知識・技術の修得および運動プログラムを作成し、幅広い年齢層に対して指導できる力を養成する。講義と実技を併用して授業を進める。講義では、水中で運動を行い、さらに指導する場合に必要な知識について学習し、実技では学生同士で指導し合う場面を多く用い、指導する立場と指導を受ける立場の両方を体験しながら指導力を身につける。						
学修目標	1) 水泳・水中運動の歴史を理解し、現在行われている水を利用した活動について説明できる。 2) 水慣れの方法について理解し、実践できる。 3) 水泳・水中運動の力学的特徴について理解し、説明できる。 4) クロール指導の基本を理解し、実践できる。 5) 水泳・水中運動の生理学的特徴について理解し、説明できる。 6) 各自の体力にあったプログラムの作成方法について理解し、説明できる。 7) 背泳ぎ指導の基本を理解し、実践できる。 8) 平泳ぎ指導の基本を理解し、実践できる。 9) 水泳・水中運動時の安全対策について理解し、説明できる。 10) バタフライ指導の基本を理解し、実践できる。 11) 4 泳法を連続して泳ぐ個人メドレー指導の基本を理解し、実践できる。 12) 水中運動指導の基本を理解し、実践できる。 13) 運動プログラムを作成し、指導できる。						
実務経験のある 教員による教育	高校生・大学生を対象にコーチング・トレーニング指導を行い、全国大会をはじめ上位レベルの大会へ出場し、現在も指導を継続している担当者が、現場経験も踏まえた授業を行う。						
評価方法	指導実習における運動プログラム・実技（指導法）とそのレポート（80%）、授業に対する取り組み状況（20%）を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	指導者としてふさわしい服装（水着・帽子・ゴーグル）で受講すること。プールへの入水に際して不適応疾患等を有する者は必ず事前に担当教員まで申し出ること。日常生活の中でも身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること。						
オフィスアワー	毎週月曜～水曜日 12:30～13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方法	担 当
1	1)2)	水と人間、そして健康 / 水慣れ				講義/実習	正 野
2	3)4)	水泳・水中運動の力学的特徴 / クロール（1）				講義/実習	正 野
3	4)5)	水泳・水中運動の生理学的特徴 / クロール（2）				講義/実習	正 野
4	6)7)	水泳・水中運動の実際とその効果（1） / 背泳ぎ（1）				講義/実習	正 野
5	6)7)	水泳・水中運動の実際とその効果（2） / 背泳ぎ（2）				講義/実習	正 野
6	6)8)	水泳・水中運動の実際とその効果（3） / 平泳ぎ（1）				講義/実習	正 野
7	6)8)	水泳・水中運動の実際とその効果（4） / 平泳ぎ（2）				講義/実習	正 野
8	6)10)	水泳・水中運動の実際とその効果（5） / バタフライ（1）				講義/実習	正 野
9	9)10)	水泳・水中運動時の安全対策 / バタフライ（2）				実 習	正 野
10	11)	個人メドレー（1）				実 習	正 野
11	11)	個人メドレー（2）				実 習	正 野
12	12)	水中運動（1）				実 習	正 野
13	12)	水中運動（2）				実 習	正 野
14	13)	指導実習（1）				実 習	正 野
15	13)	指導実習（2）				実 習	正 野
教科書（著者名）出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書（著者名）出版社名【ISBN】		中学校学習指導要領解説 保健体育編（文部科学省）東山書房【978-4-8278-1196-2】 高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編（文部科学省）東山書房【978-4-8278-1202-0】 健康運動指導士養成講習会テキスト（健康体力づくり事業財団） 健康運動実践指導者養成用テキスト（健康体力づくり事業財団）					

科目名	スポーツ実習Ⅵ(ダンス)			授業コード	120063A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	14C221P12	AL 科目	○
担当者	松田 智香子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	心身を解き放しリズムやイメージの世界に没入する喜びと解放感や、自らのからだのあり様について体感する方法を会得する。また構成の手法や振り付けの技法を学び、将来保健体育教員として実技におけるダンス分野を教授する専門的知識及び技能を修得することを目標とする。						
学修目標	1)学習指導要領のダンスの位置づけを理解し、身体表現について説明できる。 2)身体の使い方の基本を理解し、説明できる。 3)各種ステップを理解し、説明できる。 4)身体の解放、内面の表現を行うことができる。 5)他者理解(表現の違いの認識)を実践できる。 6)即興による動きのデッサンができる。 7)テーマから作品化への手法を説明できる。 8)作品鑑賞と相互評価が行える。 9)地域ごとの踊りの特性について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	学習へ取り組む姿勢、積極的な授業態度(30%)、記録ノートの内容及び提出物(20%)、個人の表現スキル(随時、確認試験を行う。加えて通常授業時の表現スキル等)(30%)、グループワークへの貢献状況(20%)						
準備学習・ 履修上の注意等	授業に対して常に緊張感ややる気のある授業態度、他者理解に努め、積極的な身体表現を望む。 修得したステップ等の復習を行うこと。 作品創作等の事前準備(個人、グループ課題)を行う。 必要な講義内容の記録を必ず行うこと。 必ず運動着、体育館シューズを着用。						
オフィスアワー	月曜日：15:00～17:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	ダンス教育の意義との在り方				講義、SGD	松 田
2	1)2)	ダンスに必要な体づくり				実 習	松 田
3	2)3)4) 5)	創作ダンスの動きとイメージ表現の基礎①(動と静、空間表現)				実 習	松 田
4	2)3)4) 5)	創作ダンスの動きとイメージ表現の基礎②(時間的、力的表現)				実 習	松 田
5	4)5)6)	動きとイメージ① 個人表現				実 習	松 田
6	4)5)6)	動きとイメージ② グループ表現				実習、SGD	松 田
7	7)	グループワークによる作品づくり① テーマの探究と作成				実習、SGD	松 田
8	7)8)	グループワークによる作品づくり② 作品発表と鑑賞				実習、SGD	松 田
9	9)	世界の民謡フォークダンス①(オクラホマミクサー、コロブチカ等)				実 習	松 田
10	9)	世界の民謡フォークダンス②(マイムマイム、ジェンカ等)				実 習	松 田
11	9)	日本の民謡 地域に根づいた踊り(ばんば等)				実 習	松 田
12	3)6)	現代的なおどり(ヒップホップ)のリズムと各種ステップ、創作法				実 習	松 田
13	7)	グループワークによる作品づくり① 選曲、構成、振り付け				実習、SGD	松 田
14	7)	グループワークによる作品づくり② 振り付け				実習、SGD	松 田
15	7)8)	グループワークによる作品づくり③ 作品発表と鑑賞				実習、SGD	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1196-2】 高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1202-0】					

科目名	スポーツ実習Ⅶ(柔道)			授業コード	120064A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	14C222P17	AL 科目	○
担当者	甲斐 浩二(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	柔道は、武技、武術などから発生した日本独自の文化であり、基本動作や基本技を身に付け、相手を攻撃したり相手の技を防 御したりすることによって、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わうことができる運動です。 また、礼儀作法や相手への思いやりを習得する機会にもなります。 柔道に積極的に取り組むことを通して、柔道の伝統的な考え方を理解し、相手を尊重して練習や試合ができるよう修得する。						
学修目標	1)柔道の本質・目的について説明できる。補助運動・補強運動を実施できる。 2)基本の受身・前受身・後受身・横受身・前回り受身を修得し実施できる。 3)組み方・作りと掛け・崩し・移動・体捌を修得し実施できる。固技・袈裟固めを修得し実施できる。 4)投技・膝車・支釣込足・出足払い、固技・肩固・横四方固を修得し実施できる。 5)投技・体落・一本背負、固技・上四方固・崩上四方固を修得し実施できる。 6)投技・大腰・払腰を修得し実施できる。 7)投技・小内刈・大内刈・大外刈を修得し実施できる。 8)投技・固技・各技の移動体さばき、掛け方及び約束練習を実施できる。 9)投技・各技の連絡変化(前技から後技へ、後技から前技へ)を実施できる。 10)柔道全「形」説明。国際柔道連盟(IJF)ルール解説及び審判ジェスチャーを説明し実施できる。 11)「投の形」(礼法～手技～腰技)を実施できる。 12)「投の形」(足技)及び形の総合練習を実施できる。 13)「投の形」の総合練習を実施できる。 14)「投の形」の総合練習及び演武を実施できる。 15)簡易試合・自分が得意とする技を多く出し、技がかかるように工夫することを修得し実施できる。試合の審判(主審・副審)を 実施できる。講道館護身術を修得し実施できる。						
実務経験のある 教員による教育	柔道教室及び中学校柔道部等での指導経験を活かし、柔道の基礎から実践的な投技などを幅広く教授する。						
評価方法	受講態度(自己の技能に関心を持ち、仲間と協力・助言しあいながら積極的に取り組む)60%、技能テスト 20%、小テスト 20%。						
準備学習・ 履修上の注意等	本実習は、昇段(初段)及び卒業後の指導活動への基本技のマスターに重点をおいている。 激しい動きもあるので安全には十分に配慮するが、学生も意欲と緊張感をもって実習に臨むこと。 柔道着は各自で準備し持参すること。						
オフィスアワー	授業前後の空き時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	柔道の歴史・心構え及び安全面の指導柔道着の正しい着用法 柔道の基本理念・礼法。柔道の補助・補強運動。				実 習	甲 斐
2	2)	基本の受身： 前受身・後受身・横受身・前回り受身。				実 習	甲 斐
3	3)	組み方・作りと掛け・崩し・移動・体捌。				実 習	甲 斐
4	4)	受身の復習。 固技： 袈裟固の掛け方及び逃れ方。投技： 膝車・支釣込足・出足払いの体さばき、掛け方及び打ち込み、約束練 習。				実 習	甲 斐
5	5)	固技： 肩固・横四方固の掛け方及び逃れ方。 投技： 体落・一本背負の体さばき、掛け方及び打ち込み、約束練習。				実 習	甲 斐
6	6)	固技：上四方固・崩上四方固の掛け方及び逃れ方。 投技：大腰・払腰の体さばき、掛け方及び打ち込み、約束練習。				実 習	甲 斐
7	7)	投技：小内刈・大内刈・大外刈の体さばき、掛け方及び打ち込み、約束練習。 固技による乱取。				実 習	甲 斐
8	8)	固技による乱取。 投技の復習、打ち込み・約束練習・乱取。				実 習	甲 斐
9	9)	固技の復習及び乱取。 投技の復習、打ち込み・約束練習・乱取。				実 習	甲 斐
10	10)	柔道全「形」説明。 国際柔道連盟(IJF)ルール及び審判ジェスチャーの解説。				実 習	甲 斐
11	11)	4 人一組になり約束試合練習(2 人)及び審判(1 名)・時計(1 名)の実施。 固技の復習及び乱取。 投技の復習、打ち込み・約束練習・乱取。				実 習	甲 斐
12	12)	「投の形」(礼法～手技～腰技)の説明・練習。 打ち込み・約束練習。 小テスト実施。				実 習	甲 斐
13	13)	「投の形」(足技)及び形の総合練習。 打ち込み・約束練習。				実 習	甲 斐
14	14)	「投の形」の総合練習及び演武				実 習	甲 斐
15	15)	簡易試合(立・寝技)：主審 1 名。 講道館護身術を説明練習。				実 習	甲 斐
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない。					

科目名	スポーツ実習Ⅷ(野外スポーツ実習)			授業コード	120065A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14C121P08	AL 科目	○
担当者	山本 順之(福・ス)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	キャンプにおける知識や技術を理解し、身につける。具体的には、テントの設営、撤収法、キャンプサイトの整備、野外調理法、キャンプファイヤーの企画、運営、野外における安全管理、健康法について理解する。また、野外活動として、自然を利用したアウトドア・レクリエーションやクラフト、ネイチャーゲーム等についても理解する。本授業の進行方法としては、キャンプや野外活動における基礎的知識を理解したうえで、学生自らが野外活動の実施計画書を作成し、その実践を通して上記のような知識や技術を修得する。						
学修目標	1) 野外活動の意義、そのプログラムについて説明できる。 2) 野外活動、キャンプにおける装備内容と、それらの使用方法を説明できる。 3) 野外活動、キャンプにおける安全管理が説明、実践できる。 4) 野外活動、キャンプの実践計画を立案することが出来る。 5) 野外教育、キャンプにおけるプログラム実践能力を身につける。						
実務経験のある 教員による教育	中学校教員の経験を生かし、野外活動の必要性を理解させる。						
評価方法	キャンプ・野外活動の知識、技術の理解、及び実習における総合的姿勢(100%)						
準備学習・ 履修上の注意等	学外実習となるため最低限の装備の準備等、実費が必要である。 集中講義での開催となる予定						
オフィスアワー	月曜日2限、火曜日2限						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【野外活動における概要 環境教育】 野外活動の種類、野外調理法、クラフト等の野外活動全般について理解する。				実 習	山 本
2	1)～3)	【キャンプ・野外活動における基本】 キャンプ・野外活動における個人装備とそれぞれの活動における行動基準、安全対策について理解する。				実 習	山 本
3	2)5)	【キャンプにおける技術】 テント設営、撤収法 ロープワーク、キャンプサイトの整備について理解する。				実 習	山 本
4	4)	【キャンプ・野外活動の実施計画書の作成】 キャンプ、野外活動における活動内容を理解し、その実施計画書を作成する。				実 習	山 本
5	4)	【キャンプ・野外活動の実施計画書の作成】 キャンプ、野外活動における活動内容を理解し、その実施計画書を作成する。				実 習	山 本
6	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。				実 習	山 本
7	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。				実 習	山 本
8	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。				実 習	山 本
9	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。				実 習	山 本
10	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。				実 習	山 本
11	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。				実 習	山 本
12	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。				実 習	山 本
13	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。				実 習	山 本
14	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。				実 習	山 本
15	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。				実 習	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1196-2】 高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1202-0】					

科目名	レクリエーション実技				授業コード	120098A102	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2 年)				ナンバリング	14C222P18	AL 科目	○
担当者	松田 智香子(福・ス)		開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 技
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシ-No.	レクリエーションは、生活の快や QOL の向上に貢献し、人々の生を豊かにするものである。そして、それぞれのライフステージ やライフスタイルに応じて生涯にわたって実践される活動のひとつである。本授業においては、さまざまなレクリエーション実技の 実践を通じて、コミュニケーションスキルやレクリエーションに関する知識、技術とともに、さまざまな対象者に応じた対人援助(指 導)方法を修得する。							
学修目標	①コミュニケーションスキル(姿勢、態度、行動等)を身につける。 ②レクリエーションに必要なアイスブレイキングの技術を身につける。 ③対象者に応じたレク内容、各種ニュースポーツやレクダンス等の実技を通じてその実践方法を修得する。 ④支援者(指導者)として、レクリエーション支援(指導)の実践方法を修得する。							
実務経験のある 教員による教育	特になし							
評価方法	レクリエーション実技への積極的な参加態度、コミュニケーションスキル(40%)、 レクリエーション実技の支援(指導)実践(30%) 課題(個人・グループ課題)(30%)							
準備学習・ 履修上の注意等	原則として、レクリエーション論を受講していること。 緊張感、積極的な受講態度を望む。 事前準備(個人、グループ課題)を行うこと。 実技に必要な運動着、シューズの着用。							
オフィスアワー	月曜日 9:00～金曜日 17:00 (講義、出張等で研究室を不在にしていることもある)							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション コミュニケーションワーク①					実 技	松 田
2	1)	コミュニケーションワーク②					実 技	松 田
3	1)2)	コミュニケーションワーク③(ホスピタリティトレーニング)					実 技	松 田
4	1)2)	コミュニケーショントレーニング①(対象者に応じたアイスブレイキングの技法)					実 技	松 田
5	1)3)	コミュニケーショントレーニング②(対象者に応じたアイスブレイキングの技法)					実 技	松 田
6	1)3)	レクリエーション実践①					実 技	松 田
7	1)3)	レクリエーション実践②					実 技	松 田
8	1)3)	レクリエーション実践③(ニュースポーツ)					実 技	松 田
9	1)3)	レクリエーション実践④(レクダンス・リハビリ体操)					実 技	松 田
10	1)3)	レクリエーション実践⑤(クラフト)					実 技	松 田
11	1)3)	レクリエーション実践⑥(クラフト)					実 技	松 田
12	1)3) 4)	レクリエーション支援実習(オリエンテーション・グループ分け・計画策定)					実 技	松 田
13	1)3) 4)	レクリエーション支援実習(計画策定)					実 技	松 田
14	1)3) 4)	レクリエーション支援実習(発表・実施)					実 技	松 田
15	1)3) 4)	レクリエーション支援実習(発表・実施)					実 技	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない					

科目名		健康運動指導論Ⅰ			授業コード	121175B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(3 年生)			ナンバリング	14C322P13	AL 科目	
担当者		正野知基(福・ス)・松田智香子 (福・ス)・佐々木さはら(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.		少子・超高齢社会を健康で活力あるものとしていくために、健康を増進し、発病を予防する「一次予防」が重視されている。スポーツ・運動は、その一つ的手段として有用である。健康運動指導論Ⅰでは、3 年生前期までに学習したスポーツ・運動関連の科目を基盤として、科学的根拠に基づき安全で効果的な健康づくりのための運動指導を実践するのに必要な知識を修得する。						
学修目標		1)健康運動指導者の役割と健康運動にかかわる社会・心理・環境的要因について説明できる。 2)健康運動にかかわる身体の生理学的な働きについて説明できる。 3)健康運動にかかわる筋・骨およびその機能と基本的な力学について説明できる。 4)健康づくりのための身体活動・運動量増加と体力向上の指導法について説明できる。 5)健康づくりのための栄養摂取と運動によるエネルギー消費について説明できる。 6)健康づくりのための運動実践の方法について説明できる。 7)健康づくりのための施策について概説できる。 8)健康づくりのための体力の測定評価の方法について説明できる。 9)健康づくり運動実践時に考えられる運動障害と予防・応急処置について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		毎回、授業の最後に授業内容の理解度確認のための小テストを行う。 定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		3 年生前期までに受講した健康運動関連の科目の復習を十分に行うこと。毎回の授業後に次回授業内容を示すので、必ず予習を行って授業に臨むこと。また、毎回の小テストの復習を必ず行うこと。予習・復習は 1 コマあたり 4 時間を目安とする。						
オフィスアワー		授業前後の可能な時間および各担当教員のオフィスアワーの時間。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	健康運動指導者の役割&健康づくりのための運動指導の心理学的・社会学的基礎					講 義	正 野
2	2)	健康づくりのための運動生理学					講 義	正 野
3	3)	健康づくりのための機能解剖とバイオメカニクス					講 義	佐々木
4	4)	健康づくりのための身体活動・運動量増加と体力向上の指導法					講 義	佐々木
5	5)	健康づくりのための栄養摂取と運動					講 義	松 田
6	6)	健康づくり運動の実際:エアロビックダンス					講 義	松 田
7	6)	健康づくり運動の実際:ストレッチング					講 義	松 田
8	7)	健康づくり施策概論					講 義	正 野
9	6)	健康づくり運動の実際:ウォーキング					講 義	佐々木
10	6)	健康づくり運動の実際:ジョギング					講 義	佐々木
11	6)	健康づくり運動の実際:水泳・水中運動					講 義	正 野
12	6)	健康づくり運動の実際:レジスタンス運動					講 義	佐々木
13	6)	健康づくり運動の実際:ウォーミングアップとクーリングダウン					講 義	佐々木
14	8)	健康づくりのための体力の測定評価					講 義	正 野
15	9)	運動障害と予防・応急処置					講 義	佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			健康運動実践指導者 養成用テキスト 公益財団法人 健康・体力づくり事業財団					

科目名	健康運動指導論Ⅱ			授業コード	121176B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年生)			ナンバリング	14C421P14	AL 科目		
担当者	正野知基(福・ス)・佐々木さはら (福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	少子・超高齢社会を健康で活力あるものとしていくために、健康を増進し、発病を予防する「一次予防」が重視されている。スポーツ・運動は、その一つ的手段として有用である。健康運動指導論Ⅱでは、3 年生後期までのスポーツ・運動関連の科目および健康運動指導論Ⅰで学修した内容を基盤として、科学的根拠に基づき安全で効果的な健康づくりのための運動指導を実践するのに必要なより高度な知識を修得する。							
学修目標	1)健康づくりのための運動実践の方法について説明できる。 2)健康づくりのための栄養摂取と運動によるエネルギー消費について説明できる。 3)健康運動にかかわる身体の生理学的な働きについて説明できる。 4)健康づくりのための体力の測定と評価の方法について説明できる。 5)健康づくりのための運動の理論について概説できる。							
実務経験のある 教員による教育								
評価方法	毎回、授業の最後に授業内容の理解度確認のための小テストを行う。 定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。							
準備学習・ 履修上の注意等	健康運動指導士を受験する者であること。3 年生後期までに受講した健康運動関連の科目の復習を十分に行うこと。毎回の授業後に次回授業内容を示すので、必ず予習を行って授業に臨むこと。また、毎回の小テストの復習を必ず行うこと。予習・復習は1 コマあたり 4 時間を目安とする。							
オフィスアワー	授業前後の可能な時間および各担当教員のオフィスアワーの時間。							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	健康づくり運動の実際:レジスタンス運動&介護予防運動					講 義	佐々木
2	1)	健康づくり運動の実際:水泳・水中運動&健康産業施設等現場実習					講 義	正 野
3	1)	健康づくり運動の実際:ウォームアップとクールダウン					講 義	佐々木
4	1)	健康づくり運動の実際:ウォーキングとジョギング					講 義	佐々木
5	1)	健康づくり運動の実際:ストレッチングと柔軟体操					講 義	佐々木
6	1)	健康づくり運動の実際:エアロビックスダンス					講 義	正 野
7	2)	健康づくりのための栄養摂取と運動(1)					講 義	佐々木
8	2)	健康づくりのための栄養摂取と運動(2)					講 義	佐々木
9	3)	健康づくりのための運動生理学(1)					講 義	正 野
10	3)	健康づくりのための運動生理学(2)					講 義	正 野
11	3)	健康づくりのための運動生理学(3)					講 義	正 野
12	4)	健康づくりのための体力測定と評価					講 義	正 野
13	5)	健康づくり運動の理論(1)					講 義	正 野
14	5)	健康づくり運動の理論(2)					講 義	正 野
15	5)	健康づくり運動の理論(3)					講 義	正 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		健康運動指導士 養成講習会テキスト 上・下巻 公益財団法人 健康・体力づくり事業財団						

科目名	健康運動指導論Ⅲ			授業コード	121177B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年生)			ナンバリング	14C422P04	AL 科目	
担当者	正野知基(福・ス)・佐々木さはら (福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシ-No.	少子・超高齢社会を健康で活力あるものとしていくために、健康を増進し、発病を予防する「一次予防」が重視されている。スポーツ・運動は、その一つの手段として有用である。健康運動指導論Ⅲでは、4 年生前期までのスポーツ・運動関連の科目および健康運動指導論Ⅰで学修した内容を基盤として、科学的根拠に基づき安全で効果的な健康づくりのための運動指導を実践するのに必要なより高度な知識を修得する。						
学修目標	1)健康づくりにかかわる運動行動変容の理論と実際について説明できる。 2)メンタルヘルスの維持・改善に果たす運動の役割について説明できる。 3)健康管理と身体活動・運動のかかわりについて説明できる。 4)生活習慣病の病態と、その予防・改善における運動の意義、運動処方の内容について説明できる。 5)健康づくりのための施策について概説できる。 6)健康運動にかかわる筋・骨およびその機能と基本的な力学について説明できる。 7)健康づくり運動実践時に考えられる運動障害とその予防について説明できる。 8)健康づくり運動実践時に考えられる救急処置について説明できる。 9)健康づくりのための運動プログラムの実際について説明できる。 10)健康づくり運動のための運動負荷試験の内容・方法・評価について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育							
評価方法	毎回、授業の最後に授業内容の理解度確認のための小テストを行う。 定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	健康運動指導士を受験する者であること。3 年生後期までに受講した健康運動関連の科目の復習を十分に行うこと。毎回の授業後に次回授業内容を示すので、必ず予習を行って授業に臨むこと。また、毎回の小テストの復習を必ず行うこと。予習・復習は 1 コマあたり 4 時間を目安とする。						
オフィスアワー	授業前後の可能な時間および各担当教員のオフィスアワーの時間。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	健康づくりのための運動行動変容の理論と実際				講 義	正 野
2	2)	健康づくりのための運動とこころの健康増進				講 義	正 野
3	3)	健康管理概論				講 義	正 野
4	4)	健康づくりのための生活習慣病概論(1)				講 義	正 野
5	4)	健康づくりのための生活習慣病概論(2)				講 義	正 野
6	4)	健康づくりのための生活習慣病概論(3)				講 義	正 野
7	5)	健康づくり施策概論(1)				講 義	正 野
8	5)	健康づくり施策概論(2)				講 義	正 野
9	6)	健康づくりのための機能解剖とバイオメカニクス(1)				講 義	佐々木
10	6)	健康づくりのための機能解剖とバイオメカニクス(2)				講 義	佐々木
11	7)	健康づくり運動における運動障害と予防				講 義	佐々木
12	8)	健康づくり運動における救急処置				講 義	佐々木
13	9)	健康づくりのための運動プログラムの実際(1)				講 義	佐々木
14	9)	健康づくりのための運動プログラムの実際(2)				講 義	佐々木
15	10)	健康づくり運動のための運動負荷試験				講 義	正 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		健康運動指導士 養成講習会テキスト 上・下巻 公益財団法人 健康・体力づくり事業財団					

科目名	教育相談			授業コード	120306B102	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・臨床心理学科(3年)			ナンバリング	14C322P14	AL 科目	○
担当者	小田 史郎(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	教育相談は、生徒が自己理解を深め、好ましい人間関係を築きながら、学校・学級集団に適応する力を育み、さらに個性を伸ばし、人格の成長を支援する教育活動である。本講義では、子どもたちの発達や心理学的な支援の技法を学び、学校で起こるさまざまな問題について、学校という場で生徒をどう支援していくか、具体的なアプローチや問題のとらえ方を学ぶことを目的とする。生徒の発達の状況や心理的特質を把握し、教育的課題を解決するよう支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を身に付ける。授業は、講義を中心にし、毎回、学習内容に関する教育現場のトピックについてスモールグループディスカッション(SGD)を行う。						
学修目標	1)学校における教育相談の意義と課題を理解している。 2)子どもの心身の発達など教育相談のための心理学の基礎的な理論、概念を理解している。 3)学校生活の中での子どもの問題を把握する方法と支援方法について理解している。 4)学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性を理解している。 5)カウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解している。 6)校内組織による役割を踏まえ、生徒や保護者への必要な対応を理解している。 7)学校での問題行動に対して、発達を踏まえた教育相談の進め方を理解している。 8)教育相談に必要な校内体制の整備など組織的な取り組みの必要性を理解している。 9)学校内外の相談体制と連携の意義や必要性を理解している。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、教育現場(高等学校)での実務経験に基づき、理論と実践的取り組みの理解・習得を目的とした授業を行う。						
評価方法	授業中のワークの参加状況と課されたレポート等 10%および学期末の単位認定試験 90%として総括的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	・教職課程を取ることをまじめに考えているか、あるいは児童福祉分野やスクールカウンセラー等に関心があること。 ・1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。特に、新聞・テレビニュースなどを通して現代の教育や親子関係などに関心を持つこと。						
オフィスアワー	研究室前に掲示						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	教育相談とは何か				講義・SGD	小 田
2	2)3)	【子どもの発達の問題とその支援①】 子どもの発達の特徴:乳幼児期・児童期・青年期				講義・SGD	小 田
3	2)3)6)	【子どもの発達の問題とその支援②】 子どもの発達の特徴をとらえるためのアセスメント : 観察法・面接法・心理検査法				講義・SGD	小 田
4	2)3)4) 6)	【子どもの発達の問題とその支援③】 子どもの発達の問題 : 広汎性発達障害・注意欠陥/多動性障害・学習障害など				講義・SGD	小 田
5	1)2)3) 4)5)	【子どもの発達の問題とその支援④】 特別支援教育とは				講義・SGD	小 田
6	2)3)4) 5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応①】 不登校の問題とその支援				講義・SGD	小 田
7	2)3)4) 5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応②】 子どもの問題行動とその支援Ⅰ : 非行など				講義・SGD	小 田
8	2)4)5) 6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応③】 子どもの問題行動とその支援Ⅱ : いじめ				講義・SGD	小 田
9	2)3)4) 5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応④】 子どもの社会性の問題とその支援				講義・SGD	小 田
10	2)3)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応⑤】 教育相談に関わる精神医学				講義・SGD	小 田
11	1)3)5)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応⑥】 学内外の相談体制・連携のあり方				講義・SGD	小 田
12	1)3)5) 6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応⑦】 教育相談に関わる危機介入				講義・SGD	小 田
13	2)3)4) 5)	【家族への支援】 子育てと家族の問題とその支援				講義・SGD	小 田
14	3)4)6)	【発達相談・教育相談のための心理療法の基礎①】 遊戯療法・表現療法・行動療法・認知行動療法等				講義・SGD	小 田
15	3)4)6)	【発達相談・教育相談のための心理療法の基礎②】 ブリーフセラピー・構成的グループエンカウンター・来談者中心療法・TFT・EMDR				講義・SGD	小 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		子どもの成長を支える発達教育相談 第4版(鎌倉 利光・藤本 昌樹 編著)北樹出版【978-4-7793-0548-1 C3011】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		生徒理解・指導と教育相談(牟田 悦子編)学文社【978-4-7620-1688-2】					

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅰ			授業コード	120053A103	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C311P01	AL 科目	○
担当者		正野 知基(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		人と運動・スポーツ・レクリエーションのかかわりを「健康」、「体力」そして「福祉」という視点から考察しながら、卒業論文作成のための基礎的能力の養成を目指す。まず、研究を行うに当たって基本となる知識を整理した後、各自の興味ある課題を設定・調査し、レジュメとしてまとめ発表・討論を行う。この活動を通して、卒業研究のテーマを探し、論文の書き方の基礎を学び、さらに調査・発表・討論の方法を修得する。						
学修目標		1) 研究を行うに当たって基本となる知識を理解し、説明できる。 2) 課題を設定して調査を行い、調査した結果をレジュメとしてまとめ発表・討論することができる。 3) メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		発表資料(50%)および討論への参加・取り組み状況(50%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		SGD への積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。						
オフィスアワー		毎週月曜～水曜日 12:30～13:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション					講 義	正 野
2	1)	基本となる知識の整理(1)					演 習	正 野
3	1)	基本となる知識の整理(2)					演 習	正 野
4	1)	基本となる知識の整理(3)					演 習	正 野
5	1)	基本となる知識の整理(4)					演 習	正 野
6	3)	卒業研究中間発表会聴講					S G D	正 野
7	2)3)	調査・発表・討論(1)					S G D	正 野
8	2)3)	調査・発表・討論(2)					S G D	正 野
9	2)3)	調査・発表・討論(3)					S G D	正 野
10	2)3)	調査・発表・討論(4)					S G D	正 野
11	2)3)	調査・発表・討論(5)					S G D	正 野
12	2)3)	調査・発表・討論(6)					S G D	正 野
13	2)3)	調査・発表・討論(7)					S G D	正 野
14	2)3)	調査・発表・討論(8)					S G D	正 野
15	2)3)	調査・発表・討論(9)					S G D	正 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅰ				授業コード	120053A106	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)				ナンバリング	14C311P01	AL 科目	○
担当者	松田 智香子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期		必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	「健康」な生活を送るために単に生活習慣病の予防としてではなく、ADL やQOLの向上の意味も踏まえて身体活動の役割や重要性について総合的に学ぶ。また身体活動や生体機能と生活習慣の関係についての基本的な事柄について具体的に学習する。学生はそれらの内容から生じた疑問点等について討論を行うとともに、先行研究を検討し問題の焦点化を図るなど卒業論文につなげる。							
学修目標	1)指導教員の指示や講座の定められたルール等を順守する。 2)関心のあるテーマを設定し、先行研究等の文献収集の方法や資料管理方法について理解し活用することができる。 3)調べた内容や原著論文に書かれた内容を他の人に正しく説明することができる。 4)資料を総合的に分析し、自分の意見を他者とディスカッションすることができる。 5)論文作成のための方法の基礎を理解できる。							
実務経験のある 教員による教育	特になし							
評価方法	研究経過(50%)・プレゼンテーション(20%)ディスカッション態度(20%)・レポート(10%)							
準備学習・ 履修上の注意等	毎時、研究テーマについて調べたことの発表を行い、その内容についてディスカッションをする。ディスカッションにおいて指摘を受けた内容や、研究内容の発展について次時までには準備を行う必要があるため、1 コマあたり1時間を目安に事前準備を行うこと。							
オフィスアワー	講義前後の空き時間							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】					演習、SGD	松 田
2	1)2)	【関心分野の発表】					演習、SGD	松 田
3	1)2)	【文献研究①】					演習、SGD	松 田
4	1)2)3)	【文献研究②】					演習、SGD	松 田
5	1)2)3)	【文献研究③】					演習、SGD	松 田
6	1)2)3) 4)	【文献研究④】					演習、SGD	松 田
7	1)2)3) 4)	【文献研究⑤】					演習、SGD	松 田
8	1)2)3) 4)	【テーマに沿った調査法を習得①】					演習、SGD	松 田
9	1)2)3) 4)	【テーマに沿った調査法を習得②】					演習、SGD	松 田
10	1)2)3) 4)	【テーマに沿った調査法を習得③】					演習、SGD	松 田
11	1)2)3) 4)	【テーマに沿った調査法を習得④】					演習、SGD	松 田
12	1)2)3) 4)	【演習・実験・調査等に沿った課題の整理①】					演習、SGD	松 田
13	1)2)3) 4)5)	【演習・実験・調査等に沿った課題の整理②】					演習、SGD	松 田
14	1)2)3) 4)5)	【演習・実験・調査等に沿った課題の整理③】					演習、SGD	松 田
15	1)2)3) 4)5)	【研究テーマのまとめ】					演習、SGD	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅰ			授業コード	120053A110	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科 鍼灸コース 3 年			ナンバリング	14C311P01	AL 科目	○
担当者		富田賢一(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.		卒業論文作成に向けた基礎知識を学ぶ。 卒業研究として取り組むべきテーマを検討すると同時に、関連する分野の論文を実際に読み解くことで、読解力、理解力を高めながら知識を深めていく。また、文献検索の具体的方法や論文の構造や書き方など基本的な知識も修得する。興味のある分野の研究内容を自らまとめ、発表し、ゼミ生同士で議論できるようになる。 【DP】4.問題発見・解決力…福祉専門職、スポーツ・健康運動指導者、はり師きゆう師、救急救命士として、福祉、スポーツ・健康運動および医療の現場の諸課題についての問題を発見・理解し、問題解決に必要な論理的・実践的知識および資源を活用することで、問題解決のための実践的方法を選択・実行することができる。 【CP】教育内容(7)総合科目を通して、社会福祉、スポーツ・健康運動、鍼灸治療、救急救命分野の進歩と改善に資するために、研究を遂行する意欲と問題発見・解決力を獲得します。 【CP】教育方法(1)専門領域の実習科目では、主体的な学びの力を高めるために、アクティブラーニングを取り入れた教育方法を実施します。(2)専門教育科目においては、教室外学修の課題を課し、適宜形成的評価のためのフィードバックを行います。 【CP】教育評価(1)期末には、各科目の修得度を確認するために、シラバスに記載の評価方法に沿って可否を判定します。						
学修目標		1)論文の構造、書き方について理解できる。 2)卒業研究に役立つ Web 活用法を身に着ける。 3)内容を理解し、他者に伝えることができる。 4)文章で内容を表現できる。 5)論文を読むことに慣れる。 6)ゼミ生同士で質疑応答を行うことができる。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		評価ルーブリックに従い、100 点換算し評価を行う。なお、ルーブリックはいつでも見ることができる。						
準備学習・ 履修上の注意等		①履修上の注意等 各自の研究に必要な資料はファイル等で整理し、必要な情報を取り出せるようにしておきましょう。 ②大学のネットワークに接続できる環境が必要になります。ログイン ID、パスワードを把握してください。 ③鍼灸師として必要な経穴の知識や技術についても再確認していきます。 上記内容の理解・生理・技術の習熟について、講義時間以外に最低一時間は取り組むことが求められます。特に卒業研究の内容については、前回行われた教員からの作業や指示を遂行しておきましょう。						
オフィスアワー		月～木の 12:30～13:00						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション					演 習	富 田
2	1)	基礎学習1 テーマについて					演 習	富 田
3	1)	基礎学習2 文献検索について					演 習	富 田
4	1)	基礎学習3 論文とは					演 習	富 田
5	1)	基礎学習4 レポートと論文の違い					演 習	富 田
6	2)	鍼灸の基礎1 鍼灸系論文抄読					演 習	富 田
7	2)	鍼灸の基礎2 鍼灸系論文抄読					演 習	富 田
8	2)	鍼灸の基礎3 鍼灸系論文抄読					演 習	富 田
9	2)	鍼灸の基礎4 鍼灸系論文抄読					演 習	富 田
10	2)	鍼灸の基礎5 鍼灸系論文抄読					演 習	富 田
11	2-5)	論文を読む1 興味のある論文を探して読もう！					演 習	富 田
12	2-5)	論文を読む2 興味のある論文を探して読もう！					演 習	富 田
13	2-5)	論文を読む3 読んだ論文をみんなで共有・レジュメの作成！					演 習	富 田
14	2-6)	論文を読む4 読んだ論文をみんなで共有・プレゼンテーション！					演 習	富 田
15	2-6)	論文を読む5 読んだ論文をみんなで共有・問題点の洗い出し！					演 習	富 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		プリント・レジュメを配布する。 また必要な教科書は演習前に指定する。						

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅰ			授業コード	120053A111	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・鍼灸コース(3 年)			ナンバリング	14C311P01	AL 科目	○
担当者	渡邊 一平(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	論文作成の手順となる論文テーマの設定方法、情報収集方法を基本とした問題発見力を修得する(DP4.DP7)。また、課題に関する客観的資料収集(文献検索)を行い、現在までにどのような研究が行われており、何がどこまで判明しているのかについて整理する能力を修得する(DP4.DP7)。						
学修目標	1)論文の特徴・特性について説明することができる。 2)疑問を持つことができる。 3)必要な情報を効率よく収集することができる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価方法	学習態度(SGD 時等における質問や発言など授業への参加姿勢)を 50%、ゼミでの発表および提出物内容(各自の進捗状況記録:どのような課題に対し、何をどこまで実行できているか等を講義毎に提出)50%として、総合的に評価することで単位認定を行う。詳細な評価基準については授業開始時に説明を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	各自の研究に必要な資料はファイル等で整理し、必要な情報を取り出せるようにしておく。また講義で得た知識は必ず研究ノート等に記載し、ファイルしたものを各自で保管すること。この資料はチューター面談にも使用される。1 コマあたり 1 時間の予習復習時間を行うこと。予習復習では適宜配布された資料あるいは各自が収集した資料を読み返し、要点をまとめておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。						
オフィスアワー	月曜から金曜の 12 時 30 分から 13 時 00 分までとし、場所は研究室(B-419)とする。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	論文の特徴とは何か? -レポート、あるいは感想文等との相違より-				演 習	渡 邊
2	1)	論文作成時の注意事項(決まり事)について学習する。				演 習	渡 邊
3	2)	疑問を持つ力をつける1 -自分が関心を持つ事象から疑問を導き出す作業を行う-				演習、SGD	渡 邊
4	2)	疑問を持つ力をつける2 -自分が関心を持つ事象から疑問を導き出す作業を行う-				演習、SGD	渡 邊
5	2)	疑問を持つ力をつける3 -自分が関心を持つ事象から疑問を導き出す作業を行う-				演習、SGD	渡 邊
6	2)	疑問を持つ力をつける4 -自分が関心を持つ事象から疑問を導き出す作業を行う-				演習、SGD	渡 邊
7	3)	調べる力をつける1 -図書館およびインターネットを活用した情報収集方法と実践-				演 習	渡 邊
8	3)	調べる力をつける2 -図書館およびインターネットを活用した情報収集方法と実践-				演 習	渡 邊
9	3)	調べる力をつける3 -図書館およびインターネットを活用した情報収集方法と実践-				演 習	渡 邊
10	3)	調べる力をつける4 -図書館およびインターネットを活用した情報収集方法と実践-				演 習	渡 邊
11	3)	調べる力をつける5 -図書館およびインターネットを活用した情報収集方法と実践-				演 習	渡 邊
12	3)	調べる力をつける6 -図書館およびインターネットを活用した情報収集方法と実践-				演 習	渡 邊
13	3)	調べる力をつける7 -図書館およびインターネットを活用した情報収集方法と実践-				演 習	渡 邊
14	3)	調べる力をつける8 -図書館およびインターネットを活用した情報収集方法と実践-				演 習	渡 邊
15	1)2)3)	1)～14)のまとめ				演 習	渡 邊
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		各自の研究テーマにより、適宜指示する。					

科目名		スポーツ健康福祉学演習 I			授業コード	120053A112	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C311P01	AL 科目	○
担当者		山本 順之(福・ス)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		人と運動・スポーツ・レクリエーションのかかわりを「健康」、「体力」そして「福祉」という視点から考察しながら、卒業論文作成のための基礎的能力の養成を目指す。まず、研究を行うに当たって基本となる知識を整理した後、各自の興味ある課題を設定・調査し、レジュメとしてまとめ発表・討論を行う。この活動を通して、卒業研究のテーマを探し、論文の書き方の基礎を学び、さらに調査・発表・討論の方法を修得する。グループワークを通して、お互いの意見を発表し、知識を深めることができる。						
学修目標		1) 研究を行うに当たって基本となる知識を理解し、説明できる。 2) 課題を設定して調査を行い、調査した結果をレジュメとしてまとめ発表・討論することができる。 3) メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		発表資料(50%)および討論への参加・取り組み状況(50%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		SGD への積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。						
オフィスアワー		月曜日2限、火曜日2限						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション					講 義	山 本
2	1)	基本となる知識の整理(1)					演 習	山 本
3	1)	基本となる知識の整理(2)					演 習	山 本
4	1)	基本となる知識の整理(3)					演 習	山 本
5	1)	基本となる知識の整理(4)					演 習	山 本
6	3)	卒業研究中間発表会聴講					S G D	山 本
7	2)3)	調査・発表・討論(1)					S G D	山 本
8	2)3)	調査・発表・討論(2)					S G D	山 本
9	2)3)	調査・発表・討論(3)					S G D	山 本
10	2)3)	調査・発表・討論(4)					S G D	山 本
11	2)3)	調査・発表・討論(5)					S G D	山 本
12	2)3)	調査・発表・討論(6)					S G D	山 本
13	2)3)	調査・発表・討論(7)					S G D	山 本
14	2)3)	調査・発表・討論(8)					S G D	山 本
15	2)3)	調査・発表・討論(9)					S G D	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅰ			授業コード	120053A113	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C311P01	AL 科目	○
担当者	井藤英俊(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	研究には、調査紙を用いた方法や、測定を行う、論文や資料をまとめるなど様々な方法がある。 この中の、調査・測定を行うことは、主要な研究の方法の1つである。 はじめに、データ収集の方法とその分析方法の理解と習得を目指す。 次に、知識を習得するとともに、レビューを作成することにより卒業論文作成に必要な文章読解・作成能力の習得を目指す。						
学修目標	1)統計処理を行うための、基礎的なスキルを習得する。 2)研究を行うに当たり、基本となる体育・スポーツ・保健・健康に関する知識を理解し、説明できる。 3)テーマを設定して文献研究を行い、結果をレジュメとしてまとめ発表・討論することができる。 4)他の発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。						
実務経験のある 教員による教育	スポーツ健康福祉学演習Ⅰは4年時の卒業論文研究へと直結するものである。そのためには、研究テーマの選定から、研究の方法や分析方法など様々な論文作成のための能力を必要とする。科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。						
評価方法	発表資料および討論への参加・取り組み状況(60%) 統計に関する基礎的スキル(40%)						
準備学習・ 履修上の注意等	毎時、交代で担当が研究テーマに関して調べたことについて資料を作成し、発表をする。 他はその内容についてディスカッションをする。ディスカッションにおいて指摘を受けた点、説明が不十分な点について次回までに答えることができるようにする必要がある。そのため、1コマあたり2時間を目安に予習復習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション				講 義	井 藤
2	1)2)	体力測定データの分析①データの入力 体力測定の必要性				演 習	井 藤
3	1)2)	体力測定データの分析②データの分析 基本統計量の算出 体力測定の活用(個人)				演 習	井 藤
4	1)2)	体力測定データの分析③データの分析:平均値の比較 体力測定の活用(集団)				演 習	井 藤
5	1)2)	体力測定データの分析④データの分析:相関関係				演 習	井 藤
6	1)2)	体力測定データの分析⑤グラフの作成:ヒストグラムの作成				演 習	井 藤
7	1)2)	体力測定データの分析⑥グラフの作成:折れ線グラフと棒グラフ				演 習	井 藤
8	1)2)	体力測定データの分析⑦グラフの作成:散布図の作成				演 習	井 藤
9	3)	文献検索(図書館)、レビューの作成				演 習	井 藤
10	3)	文献検索(PC)、レビューの作成				演 習	井 藤
11	3)4)	レビューの発表				演習・SGD	井 藤
12	3)4)	レビューの発表				演習・SGD	井 藤
13	3)	文献検索、レビューの作成				演 習	井 藤
14	3)4)	レビューの発表				演習・SGD	井 藤
15	3)4)	レビューの発表				演習・SGD	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					

科目名	スポーツ健康福祉学演習 I			授業コード	120053A114	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(3 年)			ナンバリング	14C311P01	AL 科目	○
担当者	中野祐也	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	指導教員と共に研究活動を行い、卒業論文を作成する。論文の種類や構成、情報収集方法などを学び、卒業論文のテーマ決定・研究計画の立案を行う。さらに研究計画に基づいたデータ収集を行い、論文としてまとめていく。これら一連の過程を学習し、正しい知識や判断力を身につけることを目的とする。 (CP⑦)						
学修目標	1)研究の基礎について理解できる。 2)関連領域の知識を身につける。 3)関連文献の収集方法を身につける。 4)関連文献内容の質を評価できる。 5)論文作成のための研究計画を立てることができる。						
実務経験のある 教員による教育	なし						
評価方法	研究経過状況(50%)、発表・プレゼンテーション(20%)、ディスカッション態度(20%)、レポート提出(10%)を総合して評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	研究倫理を遵守すること。研究に関する資料等は各自でファイルリングし管理する。また研究ノート等を作成し、学習した内容や研究に必要な事項はその都度ノートに記載すること。1 コマあたり 1 時間の予習復習時間を行うこと。予習復習では適宜配布された資料あるいは各自が収集した資料を読み返し、要点をまとめておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。						
オフィスアワー	毎週月～金曜日 12:30～13:00 (場所:B-421)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	卒業研究の目的、内容、進め方および受講上の注意事項について				演 習	中 野
2	1)	ゼミ研究概要および活動計画について				演 習	中 野
3	1)	研究テーマの検討・決定①				演 習	中 野
4	1)	研究テーマの検討・決定②				演 習	中 野
5	1～ 3)	文献検索①				演 習	中 野
6	1～ 3)	文献検索②				演 習	中 野
7	1～ 3)	文献検索③				演 習	中 野
8	1～ 4)	論文抄読①				演 習	中 野
9	1～ 4)	論文抄読②				演 習	中 野
10	1, 5)	研究計画の作成①				演 習	中 野
11	1, 5)	研究計画の作成②				演 習	中 野
12	1, 5)	研究計画の作成②				演 習	中 野
13	1～ 5)	関連文献の検索①				演 習	中 野
14	1～ 5)	関連文献の検索②				演 習	中 野
15	1～ 5)	中間報告				演 習	中 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅰ			授業コード	120053A116	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科			ナンバリング	14C311P01	AL 科目	
担当者		鬼塚 信(社・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・実習・ゼミ・実務経験者による授業
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		授業内容の把握状況を話し合う、日常生活における問題点を話し合う。						
学修目標		学生生活の充実						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		出席、授業態度など総合的に判定する。						
準備学習・ 履修上の注意等		出席不可能な場合は、オンライン meeting でも可						
オフィスアワー		週1回、金曜日						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
0	授業、日常生活における問題提起、解決に向けての会議。	授業、日常生活における問題提起、解決に向けての会議。					講義・演習・実習・ゼミ・実務経験者による授業	鬼塚 信
0	授業、日常生活における問題提起、解決に向けての会議。	授業、日常生活における問題提起、解決に向けての会議。					講義・演習・実習・ゼミ・実務経験者による授業	鬼塚 信
0	授業、日常生活における問題提起、解決に向けての会議。	授業、日常生活における問題提起、解決に向けての会議。					講義・演習・実習・ゼミ・実務経験者による授業	鬼塚 信
0	授業、日常生活における問題提起、解決に向けての会議。	授業、日常生活における問題提起、解決に向けての会議。					講義・演習・実習・ゼミ・実務経験者による授業	鬼塚 信
0	授業、日常生活における問題提起、解決に向けての会議。	授業、日常生活における問題提起、解決に向けての会議。					講義・演習・実習・ゼミ・実務経験者による授業	鬼塚 信

	向 け て の 会 議 。			
0	授 業 、 日 常 生 活 に お け る 問 題 提 起 、 解 決 に 向 け て の 会 議 。	授 業 、 日 常 生 活 に お け る 問 題 提 起 、 解 決 に 向 け て の 会 議 。		
0	授 業 、 日 常 生 活 に お け る 問 題 提 起 、 解 決 に 向 け て の 会 議 。	授 業 、 日 常 生 活 に お け る 問 題 提 起 、 解 決 に 向 け て の 会 議 。		
0	授 業 、 日 常 生 活 に お け る 問 題 提 起 、 解 決 に 向 け て の 会 議 。	授 業 、 日 常 生 活 に お け る 問 題 提 起 、 解 決 に 向 け て の 会 議 。		
0	授 業 、 日 常 生 活 に お け る 問 題 提 起 、 解 決 に 向 け て の 会 議 。	授 業 、 日 常 生 活 に お け る 問 題 提 起 、 解 決 に 向 け て の 会 議 。		
0	授 業 、 日 常 生 活 に お け る 問 題 提 起 、 解 決 に 向 け て の 会 議 。	授 業 、 日 常 生 活 に お け る 問 題 提 起 、 解 決 に 向 け て の 会 議 。		
0	授 業 、 日 常 生 活 に お け る 問 題 提 起 、 解 決 に 向 け て の 会 議 。	授 業 、 日 常 生 活 に お け る 問 題 提 起 、 解 決 に 向 け て の 会 議 。		
0	授 業 、 日 常 生 活 に お け る 問 題 提 起 、 解 決 に 向 け て の 会 議 。	授 業 、 日 常 生 活 に お け る 問 題 提 起 、 解 決 に 向 け て の 会 議 。		
0	授 業 、 日 常 生 活 に お け る 問 題 提 起 、 解 決 に 向 け て の 会 議 。	授 業 、 日 常 生 活 に お け る 問 題 提 起 、 解 決 に 向 け て の 会 議 。		

	題提起、解決に向けての会議。			
0	授業、日常生活における問題提起、解決に向けての会議。	授業、日常生活における問題提起、解決に向けての会議。		
0	授業、日常生活における問題提起、解決に向けての会議。	授業、日常生活における問題提起、解決に向けての会議。		
0	授業、日常生活における問題提起、解決に向けての会議。	授業、日常生活における問題提起、解決に向けての会議。		
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない。		

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅰ			授業コード	120053A117	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C311P01	AL 科目	○
担当者	神田 潤一(福・ス)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシ-No.	卒業論文の作成準備として、論理的思考について学び、理解を深めることを目標とする。						
学修目標	1) さまざまな情報から自らが課題を見つける能力を習得する。 2) 課題解決に向けた方法を論理的思考により、自らが決定および解決できる能力を習得する。 3) 自らの論理的思考を他者に向け、わかりやすく説明できる能力を習得する。 4) 他者の考えを尊重したうえで、論理的思考のもと、議論できる能力を習得する。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法	演習に対する発表内容・態度(50%)、課題についての完成度(50%)にて評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	提出期限など最低限のルールは必ず守るようにすること。予習・復習は毎時間必ず行うこと。						
オフィスアワー	講義時間以外の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)～4)	オリエンテーション				講 義	神 田
0	1)～4)	卒業論文の作成に向けた準備				演 習	神 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし					

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅰ			授業コード	120053A118	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C311P01	AL 科目	○
担当者		佐々木 さはら(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		卒業論文の作成に必要なとなる、文章読解・作成の基礎を学ぶとともに、論理的思考力の養成を目指す。						
学修目標		1) 卒業論文の作成に必要なとなる基礎知識を習得する。 2) 習得した基礎知識を他者に説明・発表する。 3) 卒業論文のテーマを設定し、仮説を立て、説明・発表する。 4) 他者の説明・発表に対し、疑問を持ち、議論する。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		プレゼンテーションによる最終試験で評価する(100%) 基準については授業開始日に説明する						
準備学習・ 履修上の注意等		物事に対し、疑問をもち、その疑問はすぐに議論もしくは解決する習慣を身につけること。また、与えられた課題に対し、真摯に 取り組むこと。						
オフィスアワー		研究室前に掲示						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション					講 義	佐々木
45337	1)~4)	卒業論文作成に向けた学習					演 習	佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅰ			授業コード	120053A119	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C311P01	AL 科目	○
担当者	衣笠 高広(福・ス)	開講学期	2024 年度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	教育実践研究の進め方を先行研究を通して理解するとともに、自己の問題意識に関する発表・討論を通して研究テーマを焦点 化していく授業を行う。前半は、先行研究を深く読み取り、論文執筆の基本を学ぶ。後半は、自己の問題意識に沿って先行研究 をあたり、発表・討論を通して研究テーマにかかわる見方・考え方を深める。 これらを通して、卒業論文作成に必要な能力の習得を目指す。						
学修目標	1)先行研究をあたり、研究テーマを絞ることができる。 2)論文の構成を理解している。 3)データの収集と分析ができる。 4)研究内容について発表・討論ができる。 5)研究を行うに当たり、教職にかかわる知識を得て説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	スポーツ健康福祉学演習Ⅰは4年時の卒業論文研究へと直結するものである。そのためには、研究テーマの選定から、研究の 方法や分析方法など様々な論文作成のための能力を必要とする。科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。						
評価方法	発表資料および討論への参加・取り組み状況(60%) 論文作成に関する基礎的スキル(40%)						
準備学習・ 履修上の注意等	毎時、交代で担当が研究テーマに関して調べたことについて資料を作成し、発表をする。 他はその内容についてディスカッションをする。ディスカッションにおいて指摘を受けた点、説明が不十分な点について次回まで に答えることができるようにする必要がある。そのため、1 コマあたり2時間を目安に予習復習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割発表後に416 研究室の入り口に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション				講 義	衣 笠
2	1)2)	【先行研究の分析・討論1】共通の先行研究を素材として取り上げ、議論することを通して、論文執筆の基本(先行 研究からテーマ選定までを中心に)を学ぶ。				演 習	衣 笠
3	1)2)3)	【先行研究の分析・討論2】共通の先行研究を素材として取り上げ、議論することを通して、論文執筆の基本(先行 研究からテーマ選定までを中心に)を学ぶ。				演 習	衣 笠
4	1)2)3)	【先行研究の分析・討論3】共通の先行研究を素材として取り上げ、議論することを通して、論文執筆の基本(論文 の構成を中心に)を学ぶ。				演 習	衣 笠
5	1)2)3)	【先行研究の分析・討論4】共通の先行研究を素材として取り上げ、議論することを通して、論文執筆の基本(論文 の構成を中心に)を学ぶ。				演 習	衣 笠
6	1)2)3)	【先行研究の分析・討論5】共通の先行研究を素材として取り上げ、議論することを通して、論文執筆の基本(データ の収集・分析を中心に)を学ぶ。				演 習	衣 笠
7	1)2)3)	【先行研究の分析・討論6】共通の先行研究を素材として取り上げ、議論することを通して、論文執筆の基本(データ の収集・分析を中心に)を学ぶ。				演 習	衣 笠
8	4)5)	【自己の研究について発表・討論1】教職にかかわる問題意識を明確にし、先行研究をあたって分かったこと・疑問 点などを発表・討論する。				演 習	衣 笠
9	4)5)	【自己の研究について発表・討論2】教職にかかわる問題意識を明確にし、先行研究をあたって分かったこと・疑問 点などを発表・討論する。				演 習	衣 笠
10	4)5)	【自己の研究について発表・討論3】教職にかかわる問題意識を明確にし、先行研究をあたって分かったこと・疑問 点などを発表・討論する。				演 習	衣 笠
11	4)5)	【自己の研究について発表・討論4】教職にかかわる問題意識を明確にし、先行研究をあたって分かったこと・疑問 点などを発表・討論する。				演習・SGD	衣 笠
12	4)5)	【自己の研究について発表・討論5】教職にかかわる問題意識を明確にし、先行研究をあたって分かったこと・疑問 点などを発表・討論する。				演 習	衣 笠
13	4)5)	【自己の研究について発表・討論6】教職にかかわる問題意識を明確にし、先行研究をあたって分かったこと・疑問 点などを発表・討論する。				演 習	衣 笠
14	4)5)	【自己の研究について発表・討論7】教職にかかわる問題意識を明確にし、先行研究をあたって分かったこと・疑問 点などを発表・討論する。				演 習	衣 笠
15	4)5)	【自己の研究について発表・討論8】教職にかかわる問題意識を明確にし、先行研究をあたって分かったこと・疑問 点などを発表・討論する。				演 習	衣 笠
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅱ			授業コード	120054A103	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C312P01	AL 科目	○
担当者		正野 知基(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	S G D
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		人と運動・スポーツ・レクリエーションのかかわりを「健康」、「体力」そして「福祉」という視点から考察しながら、卒業論文作成のための基礎的能力の養成を目指す。スポーツ健康福祉学演習Ⅰから引き続き、各自の興味ある課題を設定・調査し、レジュメとしてまとめ発表・討論を行う。この活動を通して、卒業研究のテーマを探し、論文の書き方の基礎を学び、さらに調査・発表・討論の方法を修得する。						
学修目標		1)課題を設定して調査を行い、調査した結果をレジュメとしてまとめ発表・討論することができる。 2)メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		発表資料(50%)および討論への参加・取り組み状況(50%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		SGD への積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。						
オフィスアワー		毎週月曜～水曜日 12:30～13:00						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	調査・発表・討論(1)					S G D	正 野
2	1)2)	調査・発表・討論(2)					S G D	正 野
3	1)2)	調査・発表・討論(3)					S G D	正 野
4	1)2)	調査・発表・討論(4)					S G D	正 野
5	1)2)	調査・発表・討論(5)					S G D	正 野
6	1)2)	調査・発表・討論(6)					S G D	正 野
7	1)2)	調査・発表・討論(7)					S G D	正 野
8	1)2)	調査・発表・討論(8)					S G D	正 野
9	1)2)	調査・発表・討論(9)					S G D	正 野
10	1)2)	調査・発表・討論(10)					S G D	正 野
11	2)	卒業研究発表会聴講					S G D	正 野
12	1)2)	調査・発表・討論(11)					S G D	正 野
13	1)2)	調査・発表・討論(12)					S G D	正 野
14	1)2)	調査・発表・討論(13)					S G D	正 野
15	1)2)	調査・発表・討論(14)					S G D	正 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅱ			授業コード	120054A106	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C312P01	AL 科目	○
担当者		松田 智香子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		演習Ⅰで明確化されてきた疑問点や問題点について幅広い観点からの検討を加えていく。その中から各自、調査テーマを絞り込み、予備実験あるいは予備調査の実施を目標に作業を進めるなど、論文作成のための一連の流れを修得する。						
学修目標		1)指導教員の指示や講座のルール等を順守することができる。 2)関心のあるテーマについて先行研究等の文献を活用し調べることができる。 3)管理している資料を総合的に分析し、自らの意見を他者とディスカッションができる。 4)論文作成のための方法の基礎を理解できる。 5)調べた内容を文章化し、それをを用いて自らの考えを他者に伝えることができる。						
実務経験のある 教員による教育		特になし						
評価方法		研究経過(60%)・プレゼンテーション(20%)・ディスカッション態度(20%)						
準備学習・ 履修上の注意等		毎時、研究テーマについて調べたことの発表を行い、その内容について受講生全員でディスカッションをする。ディスカッションにおいて指摘を受けた内容や、研究内容の発展について次時までには準備を行う必要があるため、1 コマあたり1時間を目安に事前準備を行うこと。						
オフィスアワー		講義前後の空き時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)5)	【研究テーマの検討】					演習、SGD	松 田
2	1)2)3) 4)5)	【論文作成の基本①】					演習、SGD	松 田
3	1)2)3) 4)5)	【論文作成の基本②】					演習、SGD	松 田
4	1)2)3) 4)5)	【研究テーマの再確認①】					演習、SGD	松 田
5	1)2)3) 4)5)	【研究テーマの再確認②】					演習、SGD	松 田
6	1)2)3) 4)5)	【研究の具体化①】					演習、SGD	松 田
7	1)2)3) 4)5)	【研究の具体化②】					演習、SGD	松 田
8	1)2)3) 4)5)	【研究の具体化③】					演習、SGD	松 田
9	1)2)3) 4)5)	【演習・実験・調査のまとめ方①】					演習、SGD	松 田
10	1)2)3) 4)5)	【演習・実験・調査のまとめ方②】					演習、SGD	松 田
11	1)2)3) 4)5)	【演習・実験・調査のまとめ方③】					演習、SGD	松 田
12	1)2)3) 4)5)	【卒業研究の進め方①】					演習、SGD	松 田
13	1)2)3) 4)5)	【卒業研究の進め方②】					演習、SGD	松 田
14	1)2)3) 4)5)	【卒業研究の進め方③】					演習、SGD	松 田
15	1)2)3) 4)5)	【まとめ】					演習、SGD	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅱ			授業コード	120054A110	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科 鍼灸コース 3 年			ナンバリング	14C312P01	AL 科目	○
担当者	富田賢一 (福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシーNo.	スポーツ健康福祉演習Ⅰで取り組んだ内容を踏まえた上で、卒業研究のテーマを絞り、必要な文献の検索・収集を行いながら、自身の意見・考えをまとめる演習を行う。実験研究を予定する者は、プロトコルの作成と実施可能な実験方法を検討・準備する。プロトコルの作成において必要な文献調査を十分に行い、客観的な方法が述べられること、予測される結果を説明できることが目標となる。また、文献調査に取り組む場合も、参考文献をもとに情報をまとめ、そこから論述が展開できるようになることが目標となる。 【DP】4.問題発見・解決力…福祉専門職、スポーツ・健康運動指導者、はり師きゆう師、救急救命士として、福祉、スポーツ・健康運動および医療の現場の諸課題についての問題を発見・理解し、問題解決に必要な論理的・実践的知識および資源を活用することで、問題解決のための実践的方法を選択・実行することができる。 【CP】教育内容(7)総合科目を通して、社会福祉、スポーツ・健康運動、鍼灸治療、救急救命分野の進歩と改善に資するために、研究を遂行する意欲と問題発見・解決力を獲得します。 【CP】教育方法(1)専門領域の実習科目では、主体的な学びの力を高めるために、アクティブラーニングを取り入れた教育方法を実施します。(2)専門教育科目においては、教室外学修の課題を課し、適宜形成的評価のためのフィードバックを行います。 【CP】教育評価(1)期末には、各科目の修得度を確認するために、シラバスに記載の評価方法に沿って合否を判定します。						
学修目標	1)情報を収集し、自らの研究テーマを絞り込むことができる。 2)卒業研究につながる主要な参考文献を検索、収集できる。 3)参考文献を読み、内容をまとめることができる。 4)まとめた内容から、研究計画を策定することができる。 5)予想される結果について、推察し、発表することができる。						
実務経験のある 教員による教育							
評価方法	評価ルーブリックに従い、100 点換算し評価を行う。なお、ルーブリックはいつでも見ることができる。						
準備学習・ 履修上の注意等	履修上の注意等 各自の研究に必要な資料はファイル等で整理し、必要な情報を取り出せるようにしておくこと。また講義で得た知識は必ず研究ノート等に記載し、記録する姿勢が求められる。1 コマあたり 1 時間の予習復習時間を行うこと。予習復習では適宜配布された資料あるいは各自が収集した資料を読み返し、要点をまとめておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後少なくとも1時間は確保することが求められる。足りない場合は週末あるいは長期休暇を用い進めることもある。						
オフィスアワー	月曜から木曜までの 12:15～13:00 の間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1.2)	研究テーマの策定： 文献検索と内容の吟味(1)				演 習	富 田
2	1.2)	研究テーマの策定： 文献検索と内容の吟味(2)				演 習	富 田
3	1.2)	研究テーマの策定： 文献検索と内容の吟味(3)				演 習	富 田
4	1-3)	研究内容の策定 ： 進捗状況の報告会				演 習	富 田
5	1- 3/4)	研究テーマの策定： 文献検索と内容の吟味(4) 文献調査・実験研究の可能性を検討-1				演 習	富 田
6	1- 3/4)	研究テーマの策定： 文献検索と内容の吟味(5) 文献調査・実験研究の可能性を検討-2				演 習	富 田
7	1- 2/4)	研究テーマの策定： 文献検索と内容の吟味(6) 現段階での情報整理と発表の準備				演 習	富 田
8	1-5)	研究テーマの策定： 文献検索と内容の吟味(7) 進捗状況の発表と質疑応答(実現可能かどうか)				演 習	富 田
9	1-5)	研究テーマの策定： 文献検索と内容の吟味(8) 前回の発表で明らかになった問題点の修正と方針の調整				演 習	富 田
10	3-5)	研究テーマの決定(1): 検証可能な研究プロトコルの作成①				演 習	富 田
11	3-5)	研究テーマの決定(2): 検証可能な研究プロトコルの作成②				演 習	富 田
12	3-5)	研究テーマの決定(3): 検証可能な研究プロトコルの作成③				演 習	富 田
13	1-5)	足りない情報を補う(1): 参考文献はこれで足りるのか？				演 習	富 田
14	1-5)	足りない情報を補う(2): 参考文献と研究計画に齟齬はないか？				演 習	富 田
15	3-5)	演習【まとめ】 / プロトコルの完成 / 報告発表				演 習	富 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅱ			授業コード	120054A111	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(3 年)			ナンバリング	14C312P01	AL 科目	○
担当者	渡邊 一平(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	問題発見、解決方法の一端として、論文作成の手順のうち、スポーツ健康福祉学演習Ⅰで学習した内容を基礎知識として、調べた内容をレビューする力を修得する(DP4)。またレビューした内容を専門職のみならず、メディカル、コメディカルスタッフあるいは一般の人々に的確かつ分かりやすく情報を伝える記述(プレゼンテーション技法)について修得する(DP4)。さらに研究を実施するために重要な「倫理観」についても修得する(DP2)。						
学修目標	1)伝えたい内容を言語的に要約することができる。 2)伝えたい内容を図表で要約および表現することができる。 3)プレゼンテーションソフトを駆使して、伝えたい内容を的確に表示できる。 4)研究における倫理について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	学習への取り組み姿勢(口頭試問や課題の提出、SGD における意見、質問等)を 50%、ゼミでの発表および提出物 50%(各自の進捗状況を記載した用紙)として総合的に評価し、単位認定を行う。学習内容把握のため、提出された書類等は添削あるいは口頭試問を必要に応じて行う。詳細な評価基準については授業開始時に説明を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	各自の研究に必要な資料はファイル等で整理し、必要な情報を取り出せるようにしておくこと。資料は各自で保管すること。この資料はチューター面談でも使用される。また講義で得た知識は必ず研究ノート等に記載し、記録する姿勢が求められる。1 コマあたり 1 時間の予習復習時間を行うこと。予習復習では適宜配布された資料あるいは各自が収集した資料を読み返し、要点をまとめておくこと。また、図書館、インターネット等を積極的に利用して、課題解決に必要な情報、知識を得ること。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。						
オフィスアワー	月曜から金曜の 12 時 30 分から 13 時 00 分までとし、場所は研究室(B-419)とする。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	調べた論文等の資料をワードを用いて要約する。				演習、SGD	渡 邊
2	1)	調べた論文等の資料をワードを用いて要約する。				演習、SGD	渡 邊
3	1)	調べた論文等の資料をワードを用いて要約する。				演習、SGD	渡 邊
4	1)	調べた論文等の資料をワードを用いて要約する。				演習、SGD	渡 邊
5	2)	調べた論文等の資料を図表を用いて要約する。				演習、SGD	渡 邊
6	2)	調べた論文等の資料を図表を用いて要約する。				演習、SGD	渡 邊
7	2)	調べた論文等の資料を図表を用いて要約する。				演習、SGD	渡 邊
8	3)	パワーポイントの使い方(1)				演習、SGD	渡 邊
9	3)	パワーポイントの使い方(2)				演習、SGD	渡 邊
10	3)	パワーポイントを用いてプレゼンテーション資料を作成する				演習、SGD	渡 邊
11	3)	パワーポイントを用いてプレゼンテーション資料を作成する				演習、SGD	渡 邊
12	3)	パワーポイントを用いてプレゼンテーション資料を作成する				演習、SGD	渡 邊
13	4)	研究における倫理 ー研究における倫理とは何かー				演習、SGD	渡 邊
14	4)	研究における倫理 ー倫理書類作成についてー				演習、SGD	渡 邊
15	1)2)3) 4)	スポーツ健康福祉学演習Ⅱのまとめ				演 習	渡 邊
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		各自の研究テーマにより、適宜指示する。					

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅱ			授業コード	120054A112	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C312P01	AL 科目	○
担当者		山本 順之(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	S G D
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.		人と運動・スポーツ・レクリエーションのかかわりを「健康」、「体力」そして「福祉」という視点から考察しながら、卒業論文作成のための基礎的能力の養成を目指す。スポーツ健康福祉学演習Ⅰから引き続き、各自の興味ある課題を設定・調査し、レジュメとしてまとめ発表・討論を行う。この活動を通して、卒業研究のテーマを探し、論文の書き方の基礎を学び、さらに調査・発表・討論の方法を修得する。						
学修目標		1)課題を設定して調査を行い、調査した結果をレジュメとしてまとめ発表・討論することができる。 2)メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		発表資料(50%)および討論への参加・取り組み状況(50%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		SGD への積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。						
オフィスアワー		月曜日2限、火曜日の2限						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	調査・発表・討論(1)					S G D	山 本
2	1)2)	調査・発表・討論(2)					S G D	山 本
3	1)2)	調査・発表・討論(3)					S G D	山 本
4	1)2)	調査・発表・討論(4)					S G D	山 本
5	1)2)	調査・発表・討論(5)					S G D	山 本
6	1)2)	調査・発表・討論(6)					S G D	山 本
7	1)2)	調査・発表・討論(7)					S G D	山 本
8	1)2)	調査・発表・討論(8)					S G D	山 本
9	1)2)	調査・発表・討論(9)					S G D	山 本
10	2)	卒業研究発表会聴講					S G D	山 本
11	1)2)	調査・発表・討論(10)					S G D	山 本
12	1)2)	調査・発表・討論(11)					S G D	山 本
13	1)2)	調査・発表・討論(12)					S G D	山 本
14	1)2)	調査・発表・討論(13)					S G D	山 本
15	1)2)	調査・発表・討論(14)					S G D	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅱ			授業コード	120054A113	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(3 年)			ナンバリング	14C312P01	AL 科目	○
担当者	中野祐也	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	スポーツ健康福祉学演習Ⅰに引き続き、指導教員と共に研究活動を行い、卒業論文を作成する。これまで学んだことを基に、研究計画の内容や自身のテーマに関する文献の収集内容・結果等を客観的に分析・評価し、研究成果の発表・報告を行う。これら論文の作成に必要な工程を実行する中で、研究を行う上での基礎知識や考え方、正確な経過報告の仕方などを身につけることを目的とする。 (CP⑦)						
学修目標	1) 研究の基礎について理解できる。 2) 関連領域に関する知識や情報収集方法を深める。 3) 自主性および協調性をもって取り組むことができる。 4) 質の高い研究の方法論を理解し、データの収集・分析ができる。 5) 自身や他者の研究内容を理解し、内容の説明やディスカッションができる。						
実務経験のある 教員による教育	なし						
評価方法	研究経過状況(50%)、発表・プレゼンテーション(20%)、ディスカッション態度(20%)、レポート提出(10%)を総合して評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	研究倫理を遵守すること。研究に関する資料等は各自でファイルリングし管理する。また研究ノート等を作成し、学習した内容や研究に必要な事項はその都度ノートに記載すること。1 コマあたり 1 時間の予習復習時間を行うこと。予習復習では適宜配布された資料あるいは各自が収集した資料を読み返し、要点をまとめておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。						
オフィスアワー	毎週月～金曜日 12:30～13:00 (場所:B-421)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1、3)	オリエンテーション・ガイダンス				演 習	中 野
2	1～ 3)	研究計画の見直し①				演 習	中 野
3	1～ 3)	研究計画の見直し②				演 習	中 野
4	1～ 3)	研究計画の見直し③				演 習	中 野
5	1～ 5)	関連文献の調査、研究内容整理・検討①				演 習	中 野
6	1～ 5)	関連文献の調査、研究内容整理・検討②				演 習	中 野
7	1～ 5)	関連文献の調査、研究内容整理・検討③				演 習	中 野
8	1～ 5)	関連文献の調査、研究内容整理・検討④				演 習	中 野
9	1～ 5)	関連文献の調査、研究内容整理・検討⑤				演 習	中 野
10	1～ 5)	関連文献の調査、研究内容整理・検討⑥				演 習	中 野
11	1～ 5)	関連文献の調査、研究内容整理・検討⑦				演 習	中 野
12	1～ 5)	関連文献の調査、研究内容整理・検討⑧				演 習	中 野
13	1～ 5)	関連文献の調査、研究内容整理・検討⑨				演 習	中 野
14	1～ 5)	関連文献の調査、研究内容整理・検討⑩				演 習	中 野
15	1～ 5)	中間報告				演 習	中 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅱ			授業コード	120054A114	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C312P01	AL 科目	○
担当者	井藤英俊(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	研究には、調査紙を用いた方法や、測定を行う、論文や資料をまとめるなど様々な方法がある。 この中の、調査・測定を行うことは、主要な研究の方法の1つである。 はじめに、統計を用いたデータの分析方法の理解と習得を目指す。 次に、体育・スポーツ・保健・健康に関する文献を読むことにより、それらに関する基礎的知識を習得するとともに、レジュメを作成することにより卒業論文作成に必要な文章読解・作成能力の習得を目指す。						
学修目標	1) データ収集のための様々な調査方法を理解し、説明できる。 2) データに応じた分析方法を理解し、説明できる。 3) 研究を行うに当たり、基本となる体育・スポーツ・保健・健康に関する知識を理解し、説明できる。 4) テーマを設定して文献研究を行い、結果をレジュメとしてまとめ、PC を用いて発表・討論することができる。 5) 他の発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。						
実務経験のある 教員による教育	スポーツ健康福祉学演習Ⅱは 4 年時の卒業論文研究へと直結するものである。そのためには、研究テーマの選定から、研究の方法や分析方法など様々な論文作成のための能力を必要とする。科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。						
評価方法	発表資料および討論への参加・取り組み状況(40%) 調査・測定に関する基礎的スキル(60%)						
準備学習・ 履修上の注意等	毎時、交代で担当が研究テーマに関して調べたことについて資料を作成し、発表をする。 他はその内容についてディスカッションをする。ディスカッションにおいて指摘を受けた点、説明が不十分な点について次回までに答えることができるようにする必要がある。そのため、1 コマあたり2時間を目安に予習復習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	質的データと量的データ				講 義	井 藤
2	1)2)	質的データの分析①:クロス表の作成				演 習	井 藤
3	1)2)	質的データの分析②: χ^2 検定				演 習	井 藤
4	1)2)	量的データの分析①: T 検定				演 習	井 藤
5	1)2)	量的データの分析②: 分散分析				演 習	井 藤
6	1)2)	調査紙を用いた研究①調査紙作成の基礎知識				講 義	井 藤
7	1)2)	調査紙を用いた研究②調査紙の作成				演 習	井 藤
8	1)2)	調査紙を用いた研究③調査紙を用いた調査				演 習	井 藤
9	1)2)	調査紙を用いた研究④調査結果の分析				演 習	井 藤
10	1)2)	調査紙を用いた研究⑤調査紙結果の発表				演 習	井 藤
11	1)2)3)	体力の測定と分析①体力測定の方法				講 義	井 藤
12	1)2)3)	体力の測定と分析②体力測定の実践1				演 習	井 藤
13	1)2)3)	体力の測定と分析③体力測定結果の分析				演 習	井 藤
14	1)2)3) 4)5)	体力の測定と分析④体力測定結果の発表1				演習・SGD	井 藤
15	1)2)3) 4)5)	体力の測定と分析⑤体力測定結果の発表 2				演習、SGD	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅱ			授業コード	120054A116	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	2 年次			ナンバリング	14C312P01	AL 科目	
担当者	鬼塚 信(社・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実験および関連論文の抄読を行う。
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	興味のある研究課題を見出し、その背景や解決法を実験によって解決する。						
学修目標	特定の、実験手技を取得して、実行可能にする。						
実務経験のある 教員による教育							
評価方法	出席、研究態度、研究結果などを総合的に判断する。						
準備学習・ 履修上の注意等	実験手技を、確実に理解する事。						
オフィスアワー	毎週金曜日 10 時～12 時。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
0	1. 関 心ある 研究 テーマ を説 明で きる	当研究室で遂行可能な実験手技を説明する。				実験法の学習	実験法の学習
0	1. 関 心ある 研究 テーマ に必 要な 実験 手技 を説 明で きる	実験手技の実践				実験手技の実践	実験手技の実践
0	実験 結果 のま とめ	実験結果のまとめ				実験結果のまとめ	実験結果の総括
0	論文 の作 成	論文の作成				論文の作成	論文の作成
0		論文の作成				論文の作成	論文の作成
0	論文 の作 成	論文の作成				論文の作成	論文の作成
0	論文 の作 成	論文の作成				論文の作成	論文の作成
0	論文 の作 成						
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない。各自の興味のある論文を持ち寄り、抄読する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		各自の興味のある論文を持ち寄り、抄読する。					

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅱ			授業コード	120054A117	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C312P01	AL 科目	○
担当者	神田 潤一(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リスNo.	卒業論文の作成準備として、論理的思考について学び、理解を深めることを目標とする。						
学修目標	1) さまざまな情報から自らが課題を見つける能力を習得する。 2) 課題解決に向けた方法を論理的思考により、自らが決定および解決できる能力を習得する。 3) 自らの論理的思考を他者に向け、わかりやすく説明できる能力を習得する。 4) 他者の考えを尊重したうえで、論理的思考のもと、議論できる能力を習得する。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法	演習に対する発表内容・態度(50%)、課題についての完成度(50%)にて評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	提出期限など最低限のルールは必ず守るようにすること。予習・復習は毎時間必ず行うこと。						
オフィスアワー	講義時間以外の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)～4)	オリエンテーション				講 義	神 田
0	1)～4)	卒業論文の作成に向けた準備				演 習	神 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし					

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅱ			授業コード	120054A118	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C312P01	AL 科目	○
担当者		佐々木 さはら(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		卒業論文の作成に必要なとなる、文章読解・作成の基礎を学ぶとともに、論理的思考力の養成を目指す。						
学修目標		1) 卒業論文の作成に必要なとなる基礎知識を習得する。 2) 習得した基礎知識を他者に説明・発表する。 3) 卒業論文のテーマを設定し、仮設を立て、説明・発表する。 4) 他者の説明・発表に対し、疑問を持ち、議論する。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		プレゼンテーションによる最終試験で評価する(100%) 基準については授業開始日に説明する						
準備学習・ 履修上の注意等		物事に対し、疑問をもち、その疑問はすぐに議論もしくは解決する習慣を身につけること。また、与えられた課題に対し、真摯に 取り組むこと。						
オフィスアワー		研究室前に掲示						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション					講 義	佐々木
45337	1)~4)	卒業論文作成に向けた学習					演 習	佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅱ			授業コード	120054A119	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C312P01	AL 科目	○
担当者	衣笠 高広(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	自己の問題意識を研究テーマとして焦点化し、発表・討論を通して知識を整理し見方・考え方を深める。 研究には、質問紙法、授業実践を通した児童・生徒の変容の分析、授業等の参観を通した教授活動の分析等いくつかのアプ ローチの仕方がある。教育実践研究における代表的な研究の進め方を知り、卒業論文作成のための基礎を固める。 また、レジュメを作成することにより文章作成能力を、互いの発表を題材にして討論することにより文章読解能力を養う。さらには 議論する能力を身に付けるとともに、教職に関する見方・考え方を深める。						
学修目標	1)テーマを設定して文献研究や授業実践・授業参観等を行い、調べたことをレジュメにまとめることができる。 2)調べたことを発表・討論することができる。 3)他の発表を聞き、討論することができる。						
実務経験のある 教員による教育	スポーツ健康福祉学演習Ⅱは 4 年時の卒業論文研究へと直結するものである。そのためには、研究テーマの選定から、研究の 方法や分析方法など様々な論文作成のための能力を必要とする。科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。						
評価方法	発表資料および討論への参加・取り組み状況(40%) 教育実践研究に関する基礎的スキル(60%)						
準備学習・ 履修上の注意等	毎時、交代で担当が研究テーマに関して調べたことについて資料を作成し、発表をする。 他はその内容についてディスカッションをする。ディスカッションにおいて指摘を受けた点、説明が不十分な点について次回ま でに答えることができるようにする必要がある。そのため、1 コマあたり2時間を目安に予習復習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3)	【自己のテーマに基づいた研究の推進1】質問紙法によるデータ収集と分析1				演 習	衣 笠
2	1)2)3)	【自己のテーマに基づいた研究の推進2】質問紙法によるデータ収集と分析2				演 習	衣 笠
3	1)2)3)	【自己のテーマに基づいた研究の推進3】質問紙法によるデータ収集と分析3				演 習	衣 笠
4	1)2)3)	【自己のテーマに基づいた研究の推進4】質問紙法によるデータ収集と分析4				演 習	衣 笠
5	1)2)3)	【自己のテーマに基づいた研究の推進5】授業実践を通した児童・生徒の変容の分析1				演 習	衣 笠
6	1)2)3)	【自己のテーマに基づいた研究の推進6】授業実践を通した児童・生徒の変容の分析2				演 習	衣 笠
7	1)2)3)	【自己のテーマに基づいた研究の推進7】授業実践を通した児童・生徒の変容の分析3				演 習	衣 笠
8	1)2)3)	【自己のテーマに基づいた研究の推進8】授業実践を通した児童・生徒の変容の分析4				演 習	衣 笠
9	1)2)3)	【自己のテーマに基づいた研究の推進9】授業実践を通した児童・生徒の変容の分析5				演 習	衣 笠
10	1)2)3)	【自己のテーマに基づいた研究の推進10】学校における授業等の参観を通した教授活動の分析1				演 習	衣 笠
11	1)2)3)	【自己のテーマに基づいた研究の推進11】学校における授業等の参観を通した教授活動の分析2				演 習	衣 笠
12	1)2)3)	【自己のテーマに基づいた研究の推進12】学校における授業等の参観を通した教授活動の分析3				演 習	衣 笠
13	1)2)3)	【自己のテーマに基づいた研究の推進13】学校における授業等の参観を通した教授活動の分析4				演 習	衣 笠
14	1)2)3)	【自己のテーマに基づいた研究の推進14】学校における授業等の参観を通した教授活動の分析5				演 習	衣 笠
15	1)2)3)	【自己のテーマに基づいた研究の推進15】研究テーマ・研究方法・論文構成等、卒業論文作成に向けての構想の 発表				演 習	衣 笠
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅲ				授業コード	121121A103	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)				ナンバリング	14C411P01	AL 科目	○	
担当者	正野 知基(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期		必修・選択	必 修	授業形態	S G D	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソンNo.	スポーツ健康福祉学演習Ⅰ・Ⅱを踏まえ、各自の研究テーマを絞り込み、卒業研究と関連した各自の課題研究の発表・討論を行う。この発表・討論を通して、各自の研究を深化させていく。卒業研究執筆時には、卒業研究Ⅰの時間と連動させ、執筆した章毎にそれぞれが発表し、ゼミ生全員で内容の確認、誤字脱字の修正などを行い、情報を共有しながら卒業論文の完成を目指す。								
学修目標	1) 卒業研究・論文とは何かを理解し、説明できる。 2) 研究目的を明確にし、研究計画を立てることができる。 3) 設定した課題について研究計画に基づき調査を行い、調査した結果を文章にまとめ、発表・討論することができる。 4) メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。								
実務経験のある 教員による教育									
評価方法	発表資料(50%)および討論への参加・取り組み状況(50%)を総合的に評価する。								
準備学習・ 履修上の注意等	SGD への積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと。								
オフィスアワー	毎週月曜～水曜日 12:30～13:00								
授業計画									
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容						授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション						講 義	正 野
2	2)4)	卒業研究 目的(緒言)・方法・目次(1)						S G D	正 野
3	2)4)	卒業研究 目的(緒言)・方法・目次(2)						S G D	正 野
4	2)4)	卒業研究 目的(緒言)・方法・目次(3)						S G D	正 野
5	2)4)	卒業研究 目的(緒言)・方法・目次(4)						S G D	正 野
6	3)4)	卒業研究中間発表会						S G D	正 野
7	2)4)	卒業研究中間発表見直し						S G D	正 野
8	3)4)	卒業研究発表・討論(1)						S G D	正 野
9	3)4)	卒業研究発表・討論(2)						S G D	正 野
10	3)4)	卒業研究発表・討論(3)						S G D	正 野
11	3)4)	卒業研究発表・討論(4)						S G D	正 野
12	3)4)	卒業研究発表・討論(5)						S G D	正 野
13	3)4)	卒業研究発表・討論(6)						S G D	正 野
14	3)4)	卒業研究発表・討論(7)						S G D	正 野
15	3)4)	卒業研究発表・討論(8)						S G D	正 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。							
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。							

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅲ			授業コード	121121A105	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C411P01	AL 科目	○
担当者	松田 智香子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	演習Ⅰ、Ⅱで明確化されてきた疑問点や問題点について幅広い観点からの検討を加えていく。その中から調査テーマを絞り込み、予備実験あるいは予備調査の実施を目標に作業を進めるなど、論文作成のための一連の流れを修得する。						
学修目標	1)関心のあるテーマについて先行研究等の文献を活用し調べることができる。 2)管理している資料を総合的に分析し、客観的に他者とディスカッションができる。 3)論文作成のための方法の基礎を理解し、理論的な文章にまとめることができる。 4)調べた内容を文章化し、それをを用いて自らの考えを他者に伝えることができる。 5)研究の実施にあたり、法令や倫理規定など配慮すべき事項を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	研究経過(60%)・プレゼンテーション(20%)・ディスカッション態度(20%)						
準備学習・ 履修上の注意等	毎時、研究テーマについて調べたことの発表を行い、その内容についてディスカッションをする。ディスカッションにおいて指摘を受けた項目や、研究内容の発展について次時までには準備を行う必要があるため、1コマあたり1時間を目安に事前準備を行うこと。						
オフィスアワー	講義前後の空き時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)5)	【オリエンテーション】				演習、SGD	松 田
2	1)2)3) 4)5)	【演習Ⅰで行った成果を発展させ、研究テーマの再確認①】				演習、SGD	松 田
3	1)2)3) 4)5)	【研究テーマを確定とそれに沿った演習・実験・調査・情報収集の実施①】				演習、SGD	松 田
4	1)2)3) 4)5)	【研究テーマを確定とそれに沿った演習・実験・調査・情報収集の実施②】				演習、SGD	松 田
5	1)2)3) 4)5)	【【研究テーマを確定とそれに沿った演習・実験・調査・情報収集の実施③】				演習、SGD	松 田
6	1)2)3) 4)5)	【演習・実験・調査・情報収集の方法とその計画①】				演習、SGD	松 田
7	1)2)3) 4)5)	【演習・実験・調査・情報収集の方法とその計画②】				演習、SGD	松 田
8	1)2)3) 4)5)	【演習・実験・調査・情報収集の方法とその計画③】				演習、SGD	松 田
9	1)2)3) 4)5)	【演習・実験・調査・情報収集の実施①】				演習、SGD	松 田
10	1)2)3) 4)5)	【演習・実験・調査・情報収集の実施②】				演習、SGD	松 田
11	1)2)3) 4)5)	【演習・実験・調査・情報収集の実施③】				演習、SGD	松 田
12	1)2)3) 4)5)	【演習・実験・調査・情報収集のまとめ①】				演習、SGD	松 田
13	1)2)3) 4)5)	【演習・実験・調査・情報収集のまとめ②】				演習、SGD	松 田
14	1)2)3) 4)5)	【演習・実験・調査・情報収集のまとめ③】				演習、SGD	松 田
15	1)2)3) 4)5)	【演習・実験・調査・情報収集のまとめ④】				演習、SGD	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅲ			授業コード	121121A109	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科 4 年(健康鍼灸 C)			ナンバリング	14C411P01	AL 科目	○
担当者	富田賢一(スポーツ健康福祉学 科)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	これまで学習した基礎科目の復習を行い、鍼灸師に必要な知識の定着を図る。特に、1年生から3年生までに修得した科目について再度学習し、鍼灸臨床に耐えうる理解力の根幹となる基礎知識を身につけることを目的とする。 CP:1.教育内容(4)鍼灸健康専門科目を通して、東西両医学からみた人体構造・機能の生理的・病理的状态に関する知識、ならびにそれらを基盤とした臨床医学の知識を修得します。実習を通して的確かつ安全な鍼灸治療技術を学び、人々の健康維持増進に貢献できる臨床態度および能力を獲得します。 CP:2. 教育方法(3)社会福祉士、精神保健福祉士、はり師きゆう師、救急救命士、健康運動指導士等の国家資格や認定資格に必要な専門的知識の修得状況を、確認テストの実施によって継続的にモニタリングします。また、学科教員による国家試験・認定試験対策のための時間を開設し、段階を追ったプログラムを実施します。						
学修目標	1)鍼灸師として基本的な医学の考え方ができる 2)鍼灸師に必要な解剖・生理の知識を身につける。 3)鍼灸師に必要な東洋医学の知識を身につける。 4)基礎知識を臨床医学系の知識とむすびつけることができる。						
実務経験のある 教員による教育							
評価方法	問題解説レポート 20%、試験 80%として評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	これまで学習した内容について自宅学習を行い、知識の定着をはかることが求められる。 現在の自分の課題をみつけ、積極的に解決する姿勢が重要となる。特に基礎知識については国家試験問題を学習することが必須となる。演習解いた問題のうち、理解できなかったもの、誤った回答をしたものは、各自解説を作成し後日提出してもらう。このやり直しの繰り返しこそ、基礎的な学習力向上のカギとなるため、積極的に取り組まなければならない。また、授業時間外の時間を積極的に活用して問題の解説作成しなければならない。やり直しの提出は成績にも反映されるため、まじめに取り組む姿勢が求められる。						
オフィスアワー	研究室前に掲示するので参照のこと。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1, 2, 3, 4	オリエンテーション＋スポ演習Ⅰ-1 解剖 衛生 臨総 東概				演 習	富 田
2	1, 2, 3, 4	スポ演習Ⅰ-2 法規 病理 生理 臨各 リハ				演 習	富 田
3	1, 2, 3, 4	スポ演習Ⅰ-3 医概 経穴 東臨 はり・きゆう理論				演 習	富 田
4	1, 2, 3, 4	スポ演習Ⅰ-4 解剖 衛生 臨総 東概				演 習	富 田
5	1, 2, 3, 4	スポ演習Ⅰ-5 法規 病理 生理 臨各 リハ				演 習	富 田
6	1, 2, 3, 4	スポ演習Ⅰ-6 医概 経穴 東臨 はり・きゆう理論				演 習	富 田
7	1, 2, 3, 4	スポ演習Ⅰ-7 解剖 衛生 臨総 東概				演 習	富 田
8	1, 2, 3, 4	スポ演習Ⅰ-8 法規 病理 生理 臨各 リハ				演 習	富 田
9	1, 2, 3, 4	スポ演習Ⅰ-9 医概 経穴 東臨 はり・きゆう理論				演 習	富 田
10	1, 2, 3, 4	スポ演習Ⅱ-1 解剖 衛生 臨総 東概				演 習	富 田
11	1, 2, 3, 4	スポ演習Ⅱ-2 法規 病理 生理 臨各 リハ				演 習	富 田
12	1, 2, 3, 4	スポ演習Ⅱ-3 医概 経穴 東臨 はり・きゆう理論				演 習	富 田
13	1, 2, 3, 4	スポ演習Ⅱ-4 解剖 衛生 臨総 東概				演 習	富 田
14	1, 2, 3, 4	スポ演習Ⅱ-5 法規 病理 生理 臨各 リハ				演 習	富 田
15	1, 2, 3, 4	スポ演習Ⅱ-6 医概 経穴 東臨 はり・きゆう理論				演 習	富 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅲ			授業コード	121121A110	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(4 年)			ナンバリング	14C411P01	AL 科目	○
担当者	渡邊 一平(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	本科目は、1～3 年生で学んだ基礎医学、臨床医学、東洋医学に関する具体的な問題を解くことを繰り返し行い、正確かつ応用力のある知識を得るために、問題解説を作成する(DP4)。このことにより、基礎医学と臨床医学(東洋医学を含む)の知識の整理、再確認を行い、双方の関連性について理解する(CP4,7)。最終的には、総合鍼灸臨床における基礎固めを行うことが目標である。						
学修目標	1) 鍼灸師に必要な基礎医学の内容が説明できる。 2) 鍼灸師に必要な臨床医学の内容が説明できる。 3) 総合的な鍼灸臨床を展開するための基礎知識の再確認、再構築ができる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価方法	講義毎に提出した問題解説レポートの内容についてフィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(問題解説レポート 20%)、試験 80%として総合的に評価し単位認定を行う。詳細な評価基準については授業開始時に説明を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	本講義は、鍼灸健康福祉コースを選択した学生は必須科目であるため、予習および復習は必須である。復習では問題解説レポート課題を確実に実施すること。提出された解説レポートは添削の上、返却する。また予習では次回に行われる項目について、教科書を中心にまとめること。問題解説レポートおよびその補助資料は各自でファイルし保管する。この資料はチューター面談にも使用される。 講義終了後には 1 コマあたり 1 時間を目安に予習復習を行うこと。その際、学習した箇所の配布資料を読み返し、講義の要点と疑問点を整理・記載しておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。						
オフィスアワー	月曜から金曜の 12 時 30 分から 13 時 00 分までとし、場所は研究室(B-419)とする。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1, 2, 3)	レベルⅠ-1 解剖 衛生 臨床医学総論 東洋医学概論				演 習	渡 邊
2	1, 2, 3)	レベルⅠ-2 法規 病理 生理 臨床医学各論 リハビリテーション				演 習	渡 邊
3	1, 2, 3)	レベルⅠ-3 医学概論 経穴 東洋医学臨床論 はり・きゅう理論				演 習	渡 邊
4	1, 2, 3)	レベルⅠ-4 解剖 衛生 臨床医学総論 東洋医学概論				演 習	渡 邊
5	1, 2, 3)	レベルⅠ-5 法規 病理 生理 臨床医学各論 リハビリテーション				演 習	渡 邊
6	1, 2, 3)	レベルⅠ-6 医学概論 経穴 東洋医学臨床論 はり・きゅう理論				演 習	渡 邊
7	1, 2, 3)	レベルⅠ-7 解剖 衛生 臨床医学総論 東洋医学概論				演 習	渡 邊
8	1, 2, 3)	レベルⅠ-8 法規 病理 生理 臨床医学各論 リハビリテーション				演 習	渡 邊
9	1, 2, 3)	レベルⅠ-9 医学概論 経穴 東洋医学臨床論 はり・きゅう理論				演 習	渡 邊
10	1, 2, 3)	レベルⅡ-1 解剖 衛生 臨床医学総論 東洋医学概論				演 習	渡 邊
11	1, 2, 3)	レベルⅡ-2 法規 病理 生理 臨床医学各論 リハビリテーション				演 習	渡 邊
12	1, 2, 3)	レベルⅡ-3 医学概論 経穴 東洋医学臨床論 はり・きゅう理論				演 習	渡 邊
13	1, 2, 3)	レベルⅡ-4 解剖 衛生 臨床医学総論 東洋医学概論				演 習	渡 邊
14	1, 2, 3)	レベルⅡ-5 法規 病理 生理 臨床医学各論 リハビリテーション				演 習	渡 邊
15	1, 2, 3)	レベルⅡ-6 医学概論 経穴 東洋医学臨床論 はり・きゅう理論				演 習	渡 邊
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅲ			授業コード	121121A111	単位数 (時間数)	1単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C411P01	AL 科目	○
担当者		山本 順之(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		社会福祉、スポーツに関する専門知識及び技術を習得し豊かな人間性を滋養するため、対人援助技術、健康、体力、スポーツ、 レクリエーション、社会福祉などをキーワードにした研究の実際を学び修得する。						
学修目標		1)専門的な文章読解、および文章構成ができる。 2)ロジカル、論理的な思考ができる。 3)テーマに基づいた関連情報の蒐集ができる。 4)自らの興味、関心に基づいた知識を得ることができる。 5)自らの興味、関心に基づいた知識、論理的に説明することができる。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		各演習におけるレポート、及びプレゼンテーション(100%)						
準備学習・ 履修上の注意等		数名の少人数で行う。1コマあたり4時間を目安に予習・復習する。設定された各テーマ関連する課題を提出する。						
オフィスアワー		月曜日2限、火曜日2限						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	【専門的知識とその文章①】 専門領域における文献、資料を読み、その要約を行なう。					演 習	山 本
2	1)2)	【専門的知識とその文章②】 専門領域における文献、資料を読み、その要約を行なう。					演 習	山 本
3	1)2)	【専門的知識とその文章③】 専門領域における文献、資料を読み、その要約を行なう。					演 習	山 本
4	2)	【研究の進め方①】 演習Ⅰで行った成果を発展させ、研究テーマの再確認をする。					演 習	山 本
5	2)	【研究の進め方②】 研究テーマを発表する。					演 習	山 本
6	1)2)3) 4)5)	【研究の具体化①】 演習Ⅰで学んだ「文献、調査研究」等の研究手法を用いて、研究を実践する。					演 習	山 本
7	1)2)3) 4)5)	【研究の具体化②】 演習Ⅰで学んだ「文献、調査研究」等の研究手法を用いて、研究を実践する。					演 習	山 本
8	1)2)3) 4)5)	【研究の具体化③】 演習Ⅰで学んだ「文献、調査研究」等の研究手法を用いて、研究を実践する。					演 習	山 本
9	1)2)3) 4)5)	【研究の具体化④】 演習Ⅰで学んだ「文献、調査研究」等の研究手法を用いて、研究を実践する。					演 習	山 本
10	1)2)3) 4)5)	【中間発表】 これまで得た調査・課題・知識等から研究テーマの再確認をする。					演 習	山 本
11	1)2)3) 4)5)	【調査・文献研究のまとめ方①】 調査・文献、資料等で得た結果をまとめる。					演 習	山 本
12	1)2)3) 4)5)	【調査・文献研究のまとめ方②】 調査・文献、資料等で得た結果をまとめる。					演 習	山 本
13	1)2)3) 4)5)	【調査・文献研究のまとめ方③】 調査・文献、資料等で得た結果をまとめ、考察を行なう。					演 習	山 本
14	1)2)3) 4)5)	【調査・文献研究のまとめ方④】 調査・文献、資料等で得た結果をまとめ、考察を行なう。					演 習	山 本
15	1)2)3) 4)5)	【調査・文献研究のまとめ方⑤】 調査・文献、資料等で得た結果をまとめ、考察を行なう。					演 習	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			必要に応じて資料を配布する。					

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅲ			授業コード	121121A114	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C411P01	AL 科目	○
担当者	黒須 依子(心・心)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	スポーツ健康福祉学演習Ⅰ・Ⅱの授業内容を踏まえ各自の研究を進め、研究の調査・分析方法を習得することを目的とする。また、卒業論文中間発表に参加し、研究の途中経過を発表しゼミ3年生との質疑応答を通じ各自の研究や論文内容を見直し研究の質を高める。						
学修目標	1)卒業研究・卒業論文執筆の目的を理解し、説明できる。 2)卒論提出期限、中間発表会に合わせて研究計画を立て、主体的に研究に取り組むことができる。 3)研究に必要な必要な資料・情報を主体的に収集、講読し、研究論文に活用することができる。 4)研究目的に沿った調査計画を立て、調査活動を進めることができる。 5)自身の研究内容をメンバーに分かりやすく報告し、質疑応答に対応することができる。 6)研究発表資料作成して卒論中間発表会へ参加し、自身の研究概要と経過を報告することができる。 7)調査結果を分析し、文章にまとめることができる。 8)研究倫理に配慮して研究に取り組むことができる。						
実務経験のある 教員による教育	なし						
評価方法	発表資料 40%、研究に対する取組状況 60%の割合いで評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	・授業出席を原則とする。やむを得ず授業を欠席する際は、教員へ事前連絡を入れること。 ・演習Ⅲでは演習Ⅰ・Ⅱで取り組んだ研究内容のゼミでの発表、ゼミメンバー間のディスカッションを通じ、研究論点を絞り各自の調査、結果分析、研究論文執筆を進める。 ・個別指導時間を設け、卒論の添削指導時間を設ける。 ・学生は1コマあたり2時間を目安に自宅学習時間を設け、各自の指定課題(研究論文や調査結果)をゼミ時間に毎時、発表し担当教員に提出できるよう文書化し持参すること。						
オフィスアワー	時間割確定後に研究室に提示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	(オリエンテーション) 演習Ⅲの目的、内容、評価方法、授業計画について理解する。 研究の進捗状況を発表し、中間発表会、卒論提出期限に合わせ研究計画書を立て直す。				講義・演習	黒 須
2	4)8)	調査研究(1) 教員の指導を受けながら、調査研究、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
3	4)8)	調査研究(2) 教員の指導を受けながら、調査研究を進める。				演 習	黒 須
4	2)3)	卒論中間発表資料の作成(1) 研究概要と研究課題を報告資料としてまとめる。				演 習	黒 須
5	2)3)	卒論中間発表資料の作成(2) 研究概要と研究課題を報告資料としてまとめる。				演 習	黒 須
6	5)6)	卒論中間発表会に参加し、発表する。				演 習	黒 須
7	4)8)	調査研究(3) 卒論中間発表会で得た指摘内容について指導教員と共に見直し、調査研究活を進める。				演 習	黒 須
8	4)8)	調査研究(4) 教員の指導を受けながら、調査研究を進める。				演 習	黒 須
9	4)8)	調査研究(5) 教員の指導を受けながら、調査研究を進める。				演 習	黒 須
10	4)7)	調査研究(6) 調査結果を文章化又は図式化し、分析する。				演 習	黒 須
11	4)7)	調査研究(7) 調査結果を文章化又は図式化し、分析する。				演 習	黒 須
12	4)7)	調査研究(8) 調査結果を文章化又は図式化し、分析する。				演 習	黒 須
13	4)7)	調査研究(9) 調査分析結果を研究目的に沿ってまとめる。				演 習	黒 須
14	4)7)	調査研究(10) ゼミメンバー間で調査結果を報告、意見交換し、調査分析結果を見直す。				演 習	黒 須
15	2)5)7) 8)	研究の進捗状況を確認し、研究計画を見直し、卒論完成に向け夏季休暇の課題を設定する。				演 習	黒 須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅲ			授業コード	121121A115	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C411P01	AL 科目	○
担当者		井藤英俊(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.		体育・スポーツ・保健・健康に関連した研究テーマと研究方法について検討し、各自の研究テーマに関する発表・討論を行う。						
学修目標		1) 研究を行うに当たり、体育・スポーツ、保健・健康に関する知識を理解し、説明できる。 2) テーマを設定して文献研究を行い、結果をレジュメとしてまとめ発表・討論することができる。 3) 他の発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。 4) PC を用いてプレゼンテーションをすることができる。						
実務経験のある 教員による教育		スポーツ健康福祉学演習Ⅲは卒業論文の作成、発表に向けての方法やスキルを具体的に検討していく場である。そのためには、研究テーマの選定から、研究の方法や分析方法など様々な論文作成のための能力を必要とする。科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。						
評価方法		発表資料および討論への参加・取り組み状況(100%)						
準備学習・ 履修上の注意等		毎時、卒業論文の進捗状況について資料を作成し、報告をする。 発表においては、紙媒体、PC を用いた発表を行い、その内容についてディスカッションをする。ディスカッションにおいて指摘を受けた点、説明が不十分な点について次回までに答えることができるようにする必要がある。そのため、1 コマあたり2時間を目安に予習復習を行うこと。						
オフィスアワー		時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション					講 義	井 藤
2	1)2)3)	紙媒体を用いた研究課題の発表・討論					演習・SGD	井 藤
3	1)2)3)	紙媒体を用いた研究課題の発表・討論					演習・SGD	井 藤
4	1)2)3)	紙媒体を用いた研究課題の発表・討論					演習・SGD	井 藤
5	1)2)3)	紙媒体を用いた研究課題の発表・討論					演習・SGD	井 藤
6	4)	PC を用いたプレゼンテーション①発表資料の作成					演 習	井 藤
7	4)	PC を用いたプレゼンテーション②発表資料の編集					演 習	井 藤
8	4)	PC を用いたプレゼンテーション③発表					演 習	井 藤
9	1)2)3) 4)	課題発表 PC を用いた発表・討論					演習・SGD	井 藤
10	1)2)3) 4)	課題発表 PC を用いた発表					演習・SGD	井 藤
11	1)2)3) 4)	課題発表 PC を用いた発表					演習・SGD	井 藤
12	1)2)3) 4)	課題発表 PC を用いた発表					演習・SGD	井 藤
13	1)2)3) 4)	課題発表 PC を用いた発表					演習・SGD	井 藤
14	1)2)3) 4)	課題発表 PC を用いた発表					演習・SGD	井 藤
15	1)2)3) 4)	課題発表 PC を用いた発表					演習・SGD	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			特になし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			特になし					

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅲ			授業コード	121121A116	単位数 (時間数)	1 単位 (0)
配当学科(学年)		1 年次			ナンバリング	14C411P01	AL 科目	
担当者		鬼塚 信	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択		授業形態	対面式授業、オンライン式授業
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		境福祉学における様々なテーマについて、議論しその解決法を探る。						
学修目標		社会福祉の概要を理解する。						
実務経験のある 教員による教育		社会福祉の概要を理解する。						
評価方法		理解度、授業態度、出席率などを鑑み、総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		社会福祉、自分の進路について、問題点などを考えておくこと。						
オフィスアワー		毎週1回木曜日1限目						
授業計画								
回 数	学修 目 標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
0	コロナ ウイル ス感 染症 につ いて、 問題 点の 理解 を深 める。	コロナウイルス感染症の問題点について議論する。						
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		教科書は特に指定しないが、ネットを含めた様々な情報を収集し、その真偽が判別可能にすること。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		参考書は特に指定しないが、ネットを含めた様々な情報を収集し、その真偽が判別可能にすること。						

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅲ			授業コード	121121A117	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C411P01	AL 科目	○
担当者		神田 潤一(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		卒業論文の作成を通して、論理的思考を展開させる能力を身につけることを目標とする。						
学修目標		1) さまざまな情報から自らが課題を見つける能力を習得する。 2) 課題解決に向けた方法を論理的思考により、自らが決定および解決できる能力を習得する。 3) 自らの論理的思考を他者に向け、わかりやすく説明できる能力を習得する。 4) 他者の考えを尊重したうえで、論理的思考のもと、議論できる能力を習得する。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法		演習に対する発表内容・態度(50%)、卒業論文および抄録の完成度(50%)にて評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		提出期限など最低限のルールは必ず守るようにすること。予習・復習は毎時間必ず行うこと。						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)～4)	オリエンテーション					講 義	神 田
0	1)～4)	卒業論文の作成					演 習	神 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅲ			授業コード	121121A118	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C411P01	AL 科目	○
担当者		佐々木 さはら(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		【授業の概要】 研究テーマを決定し、研究計画書の作成を行い、測定・実験・調査を開始する。 【一般目標(GIO)】 体系的な論文作成方法について理解することが目標である。						
学修目標		1) テーマを決定するにあたり必要な論文を収集・精読することができる。 2) 正しい研究計画書の作成について理解し、実際に作成することができる。 3) 測定・実験・調査の内容を理解し、正しく実施することができる。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		プレゼンテーションによる最終試験で評価する(100%) 基準については授業開始日に説明する						
準備学習・ 履修上の注意等		物事に対し疑問をもち、その疑問はすぐに議論もしくは解決する習慣を身につけること。また、与えられた課題に対し、真摯に取り組むこと。						
オフィスアワー		研究室前に掲示						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
0	1)~3)	テーマの決定、研究計画書の作成、実験・測定・調査					講義、演習、SGD	佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅲ			授業コード	121121A119	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(4 年)			ナンバリング	14C411P01	AL 科目	○
担当者	中野祐也(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	本科目は、1～3 年生で学んだ基礎医学、臨床医学に関する具体的な問題を解くことを繰り返し行い、正確かつ応用力のある知識を得るために、問題解説を作成する。このことにより、基礎医学と臨床医学(東洋医学を含む)の知識の整理、再確認を行い、双方の関連性について理解する。最終的には、総合鍼灸臨床における基礎固めを行うことが目標である。 (CP④)						
学修目標	1)鍼灸師に必要な基礎医学の内容が説明できる。 2)鍼灸師に必要な臨床医学の内容が説明できる。 3)総合的な鍼灸臨床を展開するための基礎知識の再確認、再構築ができる。						
実務経験のある 教員による教育	なし						
評価方法	講義毎に提出した問題解説レポートの内容についてフィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(問題解説レポートの提出：20%)、試験(80%)を総合的に評価し単位認定を行う。詳細な評価基準については授業開始時に説明を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	本講義は、鍼灸健康福祉コースを選択した学生は必須科目である。講義に積極的な参加を求めるため、予習および復習は必須である。復習では問題解説レポート課題を確実に実施し、予習では次回に行われる項目について、教科書を中心にまとめること。問題解説レポートおよびその補助資料は各自でファイルし保管する。この資料はチューター面談にも使用される。 講義終了後には 1 コマあたり 4 時間を目安に予習復習を行うこと。その際、学習した箇所の配布資料を読み返し、講義の要点と疑問点を整理・記載しておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。						
オフィスアワー	毎週月～水曜日 12:30～13:00 (場所:B-421)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1、2)	鍼灸治療に必要な基礎・臨床医学 1 レベルⅠ-1 (解剖、衛生、臨床医学総論、東洋医学概論)				演 習	中 野
2	1、2)	鍼灸治療に必要な基礎・臨床医学 2 レベルⅠ-2 (関係法規、病理、生理、臨床医学各論、リハビリテーション)				演 習	中 野
3	1、2)	鍼灸治療に必要な基礎・臨床医学 3 レベルⅠ-3 (医療概論、経絡経穴、東洋医学臨床論、はり・きゅう理論)				演 習	中 野
4	1)、2)	鍼灸治療に必要な基礎・臨床医学 4 レベルⅠ-4 (解剖、衛生、臨床医学総論、東洋医学概論)				演 習	中 野
5	1)、2)	鍼灸治療に必要な基礎・臨床医学 5 レベルⅠ-5 (関係法規、病理、生理、臨床医学各論、リハビリテーション)				演 習	中 野
6	1)、2)	鍼灸治療に必要な基礎・臨床医学 6 レベルⅠ-6 (医療概論、経絡経穴、東洋医学臨床論、はり・きゅう理論)				演 習	中 野
7	1)、2)	鍼灸治療に必要な基礎・臨床医学 7 レベルⅠ-7 (解剖、衛生、臨床医学総論、東洋医学概論)				演 習	中 野
8	1)、2)	鍼灸治療に必要な基礎・臨床医学 8 レベルⅠ-8 (関係法規、病理、生理、臨床医学各論、リハビリテーション)				演 習	中 野
9	1)、2)	鍼灸領域に必要な基礎・臨床医学 9 レベルⅠ-9 (医療概論、経絡経穴、東洋医学臨床論、はり・きゅう理論)				演 習	中 野
10	1)、 2)、3)	鍼灸領域に必要な基礎・臨床医学 10 レベルⅡ-1 (解剖、衛生、臨床医学総論、東洋医学概論)				演 習	中 野
11	1)、 2)、3)	鍼灸領域に必要な基礎・臨床医学 11 レベルⅡ-2 (関係法規、病理、生理、臨床医学各論、リハビリテーション)				演 習	中 野
12	1)、 2)、3)	鍼灸領域に必要な基礎・臨床医学 12 レベルⅡ-3 (医療概論、経絡経穴、東洋医学臨床論、はり・きゅう理論)				演 習	中 野
13	1)、 2)、3)	鍼灸領域に必要な基礎・臨床医学 13 レベルⅡ-4 (解剖、衛生、臨床医学総論、東洋医学概論)				演 習	中 野
14	1)、 2)、3)	鍼灸領域に必要な基礎・臨床医学 14 レベルⅡ-5 (関係法規、病理、生理、臨床医学各論、リハビリテーション)				演 習	中 野
15	1)、 2)、3)	鍼灸領域に必要な基礎・臨床医学 15 レベルⅡ-6 (医療概論、経絡経穴、東洋医学臨床論、はり・きゅう理論)				演 習	中 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅳ				授業コード	121122A103	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)				ナンバリング	14C412P01	AL 科目	○
担当者	正野 知基(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期		必修・選択	必 修	授業形態	S G D
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	スポーツ健康福祉学演習Ⅲ・卒業研究Ⅰを踏まえ、各自の研究課題についての発表・討論を行う。この発表・討論を通して、各自の研究を深化させていく。卒業研究Ⅱの時間と連動させ、執筆した章毎にそれぞれが発表し、ゼミ生全員で内容の確認、誤字脱字の修正などを行い、情報を共有しながら卒業論文の完成を目指す。							
学修目標	1) 設定した課題について研究計画に基づき調査を行い、調査した結果を文章にまとめ、発表・討論することができる。 2) メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。 3) パワーポイントを使用してのプレゼンテーションが行える。 4) 研究した内容を要約し、抄録にまとめることができる。							
実務経験のある 教員による教育								
評価方法	発表資料(50%)および討論への参加・取り組み状況(50%)を総合的に評価する。							
準備学習・ 履修上の注意等	SGD への積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと。							
オフィスアワー	毎週月曜～水曜日 12:30～13:00							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	卒業研究発表・討論(1)					講 義	正 野
2	1)2)	卒業研究発表・討論(2)					S G D	正 野
3	1)2)	卒業研究発表・討論(3)					S G D	正 野
4	1)2)	卒業研究発表・討論(4)					S G D	正 野
5	1)2)	卒業研究発表・討論(5)					S G D	正 野
6	1)2)	卒業研究発表・討論(6)					S G D	正 野
7	1)2)	卒業研究発表・討論(7)					S G D	正 野
8	1)2)	卒業研究発表・討論(8)					S G D	正 野
9	1)2)	卒業研究発表・討論(9)					S G D	正 野
10	1)2)	卒業研究発表・討論(10)					S G D	正 野
11	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(1)					S G D	正 野
12	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(2)					S G D	正 野
13	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(3)					S G D	正 野
14	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(4)					S G D	正 野
15	1)2)3)	卒業研究発表会・総括					S G D	正 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅳ			授業コード	121122A105	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C412P01	AL 科目	○
担当者		松田 智香子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		演習Ⅲで明確化されてきた疑問点や問題点について幅広い観点からの検討を加えていく。その中から各自、調査テーマを絞り込み、予備実験あるいは予備調査の実施を目標に作業を進めるなど、論文作成のための一連の流れを修得する。						
学修目標		1) 関心のあるテーマについて先行研究等の文献を活用し調べることができる。 2) 研究の実施にあたり、法令や倫理規定など配慮すべき事項を説明できる。 3) 管理している資料を総合的に分析し、客観的に他者とディスカッションができる。 4) 論文作成のための基礎的方法を理解できる。 5) 調べた内容を文章化し、それをを用いて自らの考えを他者に伝えることができる。						
実務経験のある 教員による教育		特になし						
評価方法		研究経過(60%)・プレゼンテーション(20%)・ディスカッション態度(20%)						
準備学習・ 履修上の注意等		毎時、研究テーマについて調べたことの発表を行い、その内容についてディスカッションをする。ディスカッションにおいて指摘を受けた内容や、研究内容の発展について次時までに準備を行う必要があるため、1 コマあたり1時間を目安に事前準備を行うこと。						
オフィスアワー		講義前後の空き時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)5)	【研究の進捗状況の確認】					演習、SGD	松 田
2	1)2)3) 4)5)	【各自の研究について発表し、考察を含めた討論①】					演習、SGD	松 田
3	1)2)3) 4)5)	【各自の研究について発表し、考察を含めた討論②】					演習、SGD	松 田
4	1)2)3) 4)5)	【各自の研究について発表し、考察を含めた討論③】					演習、SGD	松 田
5	1)2)3) 4)5)	【各自の研究について発表し、考察を含めた討論④】					演習、SGD	松 田
6	1)2)3) 4)5)	【各自の研究について発表し、考察を含めた討論⑤】					演習、SGD	松 田
7	1)2)3) 4)5)	【各自の研究について発表し、考察を含めた討論⑥】					演習、SGD	松 田
8	1)2)3) 4)5)	【各自の研究について発表し、考察を含めた討論⑦】					演習、SGD	松 田
9	1)2)3) 4)5)	【各自の研究について発表し、考察を含めた討論⑧】					演習、SGD	松 田
10	1)2)3) 4)5)	【研究論文の推敲①】					演 習	松 田
11	1)2)3) 4)5)	【研究論文の推敲②】					演 習	松 田
12	1)2)3) 4)5)	【研究論文の推敲③】					演 習	松 田
13	1)2)3) 4)5)	【研究論文の推敲④】					演 習	松 田
14	1)2)3) 4)5)	【研究論文の推敲⑤】					演 習	松 田
15	1)2)3) 4)5)	【研究論文の推敲⑥】					演 習	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅳ			授業コード	121122A109	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科 4 年(健康鍼灸 C)			ナンバリング	14C412P01	AL 科目	○	
担当者		富田賢一(スポーツ健康福祉学 科)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		これまで学習した基礎科目の復習を行い、鍼灸師に必要な知識の定着を図る。特に、1年生から3年生までに修得した科目について再度学習し、鍼灸臨床に耐える理解力の根幹となる基礎知識を身につけることを目的とする。スポ演Ⅲで学習した内容からさらにレベルを上げた問題をこなし、知識を深め、国家試験に合格する力を身に着けることが目標である。学期途中で実施される模擬試験で現在の實力を見直す機会もあり、自らの将来を見据え真剣に取り組んでほしい。 CP:1. 教育内容(4) 鍼灸健康専門科目を通して、東西両医学からみた人体構造・機能の生理的・病理的状态に関する知識、ならびにそれらを基盤とした臨床医学の知識を修得します。実習を通して的確かつ安全な鍼灸治療技術を学び、人々の健康維持増進に貢献できる臨床態度および能力を獲得します。 CP:2. 教育方法(3) 社会福祉士、精神保健福祉士、はり師きゆう師、救急救命士、健康運動指導士等の国家資格や認定資格に必要な専門的知識の修得状況を、確認テストの実施によって継続的にモニタリングします。また、学科教員による国家試験・認定試験対策のための時間を開設し、段階を追ったプログラムを実施します。							
学修目標		1)学習の基礎となる読解力を身に着ける。 2)これまでに得た知識を深める事ができる。 3)鍼灸師として臨床に役立つ知識を定着させる。							
実務経験のある 教員による教育									
評価方法		問題解説レポート 20%、試験 80%で評価を行う。							
準備学習・ 履修上の注意等		これまで学習した内容について自宅学習を行い、知識の定着をはかることが求められる。 現在の自分の課題をみつけ、積極的に解決する姿勢が重要となる。特に基礎知識については国家試験問題を学習することが必須となる。演習解いた問題のうち、理解できなかったもの、誤った回答をしたものは、各自解説を作成し後日提出してもらう。このやり直しの繰り返しこそ、基礎的な学習力向上のカギとなるため、積極的に取り組まなければならない。また、授業時間外の時間を積極的に活用して問題の解説作成しなければならない。やり直しの提出は成績にも反映されるため、まじめに取り組む姿勢が求められる。							
オフィスアワー		研究室前に掲示するので、確認すること。							
授業計画									
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容						授業 方法	担当
1	1, 2, 3	スポ演習Ⅱ-7 解剖 衛生 臨総 東概						演 習	富 田
2	1, 2, 3	スポ演習Ⅱ-8 法規 病理 生理 臨各						演 習	富 田
3	1, 2, 3	スポ演習Ⅱ-9 医概 経穴 東臨 はり・きゆう理論						演 習	富 田
4	1, 2, 3	スポ演習Ⅲ-1 解剖 衛生 臨総 東概						演 習	富 田
5	1, 2, 3	スポ演習Ⅲ-2 法規 病理 生理 臨各 リハ						演 習	富 田
6	1, 2, 3	スポ演習Ⅲ-3 医概 経穴 東臨 はり・きゆう理論						演 習	富 田
7	1, 2, 3	スポ演習Ⅲ-4 解剖 衛生 臨総 東概						演 習	富 田
8	1, 2, 3	スポ演習Ⅲ-5 法規 病理 生理 臨各 リハ						演 習	富 田
9	1, 2, 3	スポ演習Ⅲ-6 医概 経穴 東臨 はり・きゆう理論						演 習	富 田
10	1, 2, 3	スポ演習Ⅲ-7 解剖 衛生 臨総 東概						演 習	富 田
11	1, 2, 3	スポ演習Ⅲ-8 法規 病理 生理 臨各 リハ						演 習	富 田
12	1, 2, 3	スポ演習Ⅲ-9 医概 経穴 東臨 はり・きゆう理論						演 習	富 田
13	1, 2, 3	総合演習(1) 模擬試験						演 習	富 田
14	1, 2, 3	総合演習(2) 模擬試験						演 習	富 田
15	1, 2, 3	総合演習(3) 模擬試験						演 習	富 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			特になし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			特になし						

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅳ			授業コード	121122A110	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(4 年)			ナンバリング	14C412P01	AL 科目	○
担当者		渡邊 一平(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		本科目は、1～3 年生で学んだ基礎医学、臨床医学に関する具体的な問題を解くことを繰り返し行う(CP4)。同時に鍼灸師としての基礎知識、応用知識を強固にするために問題の解説を作成する(DP4,CP4)。このことにより、基礎医学と臨床医学(東洋医学を含む)の知識の整理、再確認を行い、双方の関連性について理解する(CP4)。最終的には、総合鍼灸臨床における基礎固めを行うことが目標である。						
学修目標		1) 鍼灸師に必要な東洋医学の内容が説明できる。 2) 臨床医学(西洋医学)と東洋医学臨床論との関連性と相違点について説明できる。 3) 基礎医学、臨床医学、東洋医学の関連性について総合的に説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		特になし						
評価方法		解説レポート 20%、試験 80%とし、総合的に評価する。なお評価の詳細は第 1 回の講義時に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等		本講義は、鍼灸健康福祉コースを選択した学生は必須科目である。講義毎にレポートを課すが、提出されたレポートは教員がコメントを付し返却することで学習内容のフォードバックを行う。 講義終了後には 1 コマあたり 1 時間を目安に予習復習を行うこと。その際、学習した箇所の配布資料を読み返し、講義の要点と疑問点を整理・記載しておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。						
オフィスアワー		月曜から金曜の 12 時 30 分から 13 時 00 分までとし、場所は研究室(B-419)とする。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1,2,3)	レベルⅡ-7 解剖 衛生 臨床医学総論 東洋医学概論					演 習	渡 邊
2	1,2,3)	レベルⅡ-8 法規 病理 生理 臨床医学各論 リハビリテーション					演 習	渡 邊
3	1,2,3)	レベルⅡ-9 医学概論 経穴 東洋医学臨床論 はり・きゅう理論					演 習	渡 邊
4	1,2,3)	レベルⅢ-1 解剖 衛生 臨床医学総論 東洋医学概論					演 習	渡 邊
5	1,2,3)	レベルⅢ-2 法規 病理 生理 臨床医学各論 リハビリテーション					演 習	渡 邊
6	1,2,3)	レベルⅢ-3 医学概論 経穴 東洋医学臨床論 はり・きゅう理論					演 習	渡 邊
7	1,2,3)	レベルⅢ-4 解剖 衛生 臨床医学総論 東洋医学概論					演 習	渡 邊
8	1,2,3)	レベルⅢ-5 法規 病理 生理 臨床医学各論 リハビリテーション					演 習	渡 邊
9	1,2,3)	レベルⅢ-6 医学概論 経穴 東洋医学臨床論 はり・きゅう理論					演 習	渡 邊
10	1,2,3)	レベルⅢ-7 解剖 衛生 臨床医学総論 東洋医学概論					演 習	渡 邊
11	1,2,3)	レベルⅢ-8 法規 病理 生理 臨床医学各論 リハビリテーション					演 習	渡 邊
12	1,2,3)	レベルⅢ-9 医学概論 経穴 東洋医学臨床論 はり・きゅう理論					演 習	渡 邊
13	1,2,3)	総合演習1					演 習	渡 邊
14	1,2,3)	総合演習2					演 習	渡 邊
15	1,2,3)	総合演習3					演 習	渡 邊
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅳ			授業コード	121122A111	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C412P01	AL 科目	○
担当者		山本 順之(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		社会福祉、スポーツに関する専門知識及び技術を習得し豊かな人間性を滋養するため、対人援助技術、健康、体力、スポーツ、レクリエーション、社会福祉などをキーワードにした研究の実際を学び修得する。						
学修目標		1)専門的な文章読解、および文章構成ができる。 2)ロジカル、論理的な思考ができる。 3)テーマに基づいた関連情報の蒐集ができる。 4)自らの興味、関心に基づいた知識を得ることができる。 5)自らの興味、関心に基づいた知識、論理的に説明することができる。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		各演習におけるレポート、及びプレゼンテーション(100%)						
準備学習・ 履修上の注意等		数名の少人数で行う。1 コマあたり 4 時間を目安に予習・復習する。設定された各テーマ関連する課題を提出する。						
オフィスアワー		月曜日2限、火曜日2限						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)5)	【研究の進捗状況の確認】 前期にて行なった研究テーマ、目的、方法、結果、考察についての進捗を確認する。					演 習	山 本
2	1)2)3) 4)5)	【各自の研究テーマの発表と課題①】 各自の研究について発表し、考察を含めた討論を行う。					演 習	山 本
3	1)2)3) 4)5)	【各自の研究テーマの発表と課題②】 各自の研究について発表し、考察を含めた討論を行う。					演 習	山 本
4	1)2)3) 4)5)	【各自の研究テーマの発表と課題③】 各自の研究について発表し、考察を含めた討論を行う。					演 習	山 本
5	1)2)3) 4)5)	【研究論文の作成①】 論文の書き方を理解し、執筆を開始する。					演 習	山 本
6	1)2)3) 4)5)	【研究論文の作成②】 論文を作成する。					演 習	山 本
7	1)2)3) 4)5)	【研究論文の作成③】 論文を作成する。					演 習	山 本
8	1)2)3) 4)5)	【研究論文の作成④】 論文を作成する。					演 習	山 本
9	1)2)3) 4)5)	【研究論文の作成⑤】 論文を作成する。					演 習	山 本
10	1)2)3) 4)5)	【研究論文の推敲①】 論文の推敲を行う。指導教員の指導を受ける。					演 習	山 本
11	1)2)3) 4)5)	【研究論文の推敲②】 論文の推敲を行う。指導教員の指導を受ける。					演 習	山 本
12	1)2)3) 4)5)	【研究論文の推敲③】 論文の推敲を行う。指導教員の指導を受ける。					演 習	山 本
13	1)2)3) 4)5)	【研究発表の仕方①】 研究発表の手順を学ぶ。					演 習	山 本
14	1)2)3) 4)5)	【研究発表の仕方②】 研究発表の手順を学ぶ。					演 習	山 本
15	1)2)3) 4)5)	【まとめ】 要点の整理と確認を行う。					演 習	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			必要に応じて資料を配布する。					

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅳ			授業コード	121122A114	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C412P01	AL 科目	○
担当者	黒須 依子(心・心)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	スポーツ健康福祉学演習Ⅳの目的は演習Ⅲで進めてきた研究内容を基に研究論文執筆に取り組み論文執筆方法を習得し、卒業論文、卒業論文要旨を指定期限までに完成し、卒業研究内容を聴者にわかりやすく卒業論文発表会にて発表することである。						
学修目標	1)演習Ⅳの目的を理解し、説明できる。 2)研究計画に基づき、卒論執筆を進めることができる。 3)グループ討議において、自分の意見を明確に伝えることができる。 4)グループ討議において、メンバーの発表や意見を傾聴することができる。 5)パワーポイントを使用して報告資料を作成、研究内容を発表することができる。 6)研究内容を要約し、規定に従い抄録にまとめることができる。 7)研究内容を指定時間内に第3者にわかりやすくプレゼンテーションすることができる。						
実務経験のある 教員による教育	なし						
評価方法	発表資料 40%、研究に対する取組状況 60%						
準備学習・ 履修上の注意等	演習Ⅳでは、論文添削指導を中心に、ゼミメンバー間の研究報告時間を設ける。ゼミ生は、論文執筆において文献検索内容、調査目的、調査方法、調査分析結果を第3者にわかりやすく記述できているかを意識し、論文を執筆すること。ゼミ報告会の目的は他のメンバーの報告内容を傾聴し質疑応答を行うことで各論文内容の質を高めること、自身の論文報告を通じ、論文内容を整理することにある。						
オフィスアワー	時間割確定後に研究室に提示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	(オリエンテーション) 演習Ⅳの目的、内容、評価方法、授業計画について理解する。 研究の進捗状況を発表し、中間発表会、卒論提出期限に合わせ研究計画書を立てる。				講義・演習	黒 須
2	2)	卒業論文(1) 研究計画に沿って卒業論文を執筆・提出し、教員の個別指導を受ける。				演 習	黒 須
3	2)	卒業論文(2) 研究計画に沿って卒業論文を執筆・提出し、教員の個別指導を受ける。				演 習	黒 須
4	2)	卒業論文(3) 研究計画に沿って卒業論文を執筆・提出し、教員の個別指導を受ける。				演 習	黒 須
5	2)	卒業論文(4) 研究計画に沿って卒業論文を執筆・提出し、教員の個別指導を受ける				演 習	黒 須
6	2)3)4)	卒業論文(5) 研究計画に沿って卒業論文を執筆・提出し、教員の個別指導を受ける。 卒論進捗状況をメンバーに発表し、研究の課題を確認する。				演 習	黒 須
7	2)	卒業論文(6) 研究計画に沿って卒業論文を執筆・提出し、教員の個別指導を受ける。				演 習	黒 須
8	2)	卒業論文(7) 研究計画に沿って卒業論文を執筆・提出し、教員の個別指導を受ける。				演 習	黒 須
9	2)	卒業論文(8) 研究計画に沿って卒業論文を執筆・提出し、教員の個別指導を受ける。				演 習	黒 須
10	2)	卒業論文(9) 卒業論文を完成する。 卒論抄録の執筆規定を理解する。				演 習	黒 須
11	2)6)	卒業論文抄録(1) 卒論抄録を作成・提出し、教員の個別指導を受ける。				演 習	黒 須
12	2)6)	卒業論文抄録(2) 卒論抄録を完成する。				演 習	黒 須
13	2)6)7)	卒業論文発表会に参加する。 発表資料を作成し卒業研究内容を分かりやすく報告、聴者の質疑に丁寧に応える。				演 習	黒 須
14	3)4)5)	卒業研究まとめ(1) 卒業研究発表会を振り返り、自身の研究課題を見出す。				演 習	黒 須
15	1)3)4) 5)	卒業研究のまとめ(2) ゼミ卒論集を作成する。				演 習	黒 須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅳ			授業コード	121122A115	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C412P01	AL 科目	○
担当者		井藤英俊(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		体育・スポーツ・保健・健康に関連した研究テーマと研究方法について検討し、各自の研究テーマに関する発表・討論を行う。						
学修目標		1) 研究を行うに当たり、体育・スポーツ、保健・健康に関する知識を理解し、説明できる。 2) テーマを設定して文献研究を行い、結果をレジュメとしてまとめ発表・討論することができる。 3) 他の発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。 4) PC を用いてプレゼンテーションをすることができる。						
実務経験のある 教員による教育		スポーツ健康福祉学演習Ⅳは卒業論文の作成、発表に向けての方法やスキルを具体的に検討していく場である。そのためには、プレゼンテーションスキルを中心とした能力を必要とする。科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。						
評価方法		発表資料および討論への参加・取り組み状況(100%)						
準備学習・ 履修上の注意等		毎時、卒業論文の進捗状況について資料を作成し、報告をする。 報告会においては、PC を用いた発表を行い、その内容についてディスカッションをする。ディスカッションにおいて指摘を受けた点、説明が不十分な点について次回までに答えることができるようにする必要がある。そのため、1 コマあたり2時間を目安に予習復習を行うこと。						
オフィスアワー		時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)	第 1 回卒業論文中間報告会					演習・SGD	井 藤
2	1)2)3)	第 1 回卒業論文中間報告課題検討会					演習・SGD	井 藤
3	1)2)	引用・参考文献のまとめ					演 習	井 藤
4	1)2)	引用・参考文献のまとめ					演 習	井 藤
5	1)2)	引用・参考文献のまとめ					演 習	井 藤
6	4)	卒論発表会プレゼンテーション資料の作成					演 習	井 藤
7	4)	卒論発表会プレゼンテーション資料の作成					演 習	井 藤
8	4)	卒論発表会プレゼンテーション資料の作成					演 習	井 藤
9	1)2)3) 4)	第 2 回卒業論文中間報告会					演習・SGD	井 藤
10	1)2)3)	第 2 回卒業論文中間報告課題検討会					演習・SGD	井 藤
11	1)2)4)	卒論発表会プレゼンテーション資料の編集 発表の練習					演 習	井 藤
12	1)2)4)	卒論発表会プレゼンテーション資料の編集 発表の練習					演 習	井 藤
13	1)2)4)	卒論発表会プレゼンテーション資料の編集 発表の練習					演 習	井 藤
14	1)2)3) 4)	最終卒業論文報告会					演習・SGD	井 藤
15	1)2)3) 4)	最終卒業論文報告会・検討会					演習・SGD	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			特になし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			特になし					

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅳ			授業コード	121122A116	単位数 (時間数)	1 単位 (0)
配当学科(学年)		1 年次			ナンバリング	14C412P01	AL 科目	
担当者		鬼塚 信	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択		授業形態	座学、対面討論
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシ-No.		境福祉学における様々なテーマについて、議論しその解決法を探る。						
学修目標		境福祉学における様々なテーマについて、議論しその解決しうる能力を身につける。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		出席日数、受講態度、レポートなどを総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		卒論を踏まえた研究テーマを考え、その背景となる文献、資料を収集し、理解すること。						
オフィスアワー		週一回、木曜日2もしくは3限						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
0	研究 テーマ の探 索、討 論	研究テーマの探索、討論					研究テーマの探索、討論	
0	研究 テーマ の探 索、討 論	研究テーマの探索、討論					研究テーマの探索、討論	研究テーマの探索、討論
0	研究 テーマ の探 索、討 論	研究テーマの探索、討論					研究テーマの探索、討論	研究テーマの探索、討論
0	研究 テーマ の探 索、討 論	研究テーマの探索、討論					研究テーマの探索、討論	研究テーマの探索、討論
0	研究 テーマ の探 索、討 論、関 連文 献、論 文の 抄読。	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。					研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。
0	研究 テーマ の探 索、討 論、関 連文 献、論 文の 抄読。	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。					研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。
0	研究 テーマ の探 索、討 論、関 連文 献、論 文の 抄読。	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。					研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。
0	研究 テーマ の探 索、討 論、関 連文 献、論 文の 抄読。	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。					研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。

	献、論文の抄読。			
0	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。		
0	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。		
0	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。		
0	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。		
0	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。		
0	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。		
0	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。	研究テーマの探索、討論、関連文献、論文の抄読。		
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない。研究テーマの関連文献を各自選択肢し、抄読すること。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない。研究テーマの関連文献を各自選択肢し、抄読すること。		

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅳ			授業コード	121122A117	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C412P01	AL 科目	○
担当者		神田 潤一(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		卒業論文の作成を通して、論理的思考を展開させる能力を身につけることを目標とする。						
学修目標		1) さまざまな情報から自らが課題を見つける能力を習得する。 2) 課題解決に向けた方法を論理的思考により、自らが決定および解決できる能力を習得する。 3) 自らの論理的思考を他者に向け、わかりやすく説明できる能力を習得する。 4) 他者の考えを尊重したうえで、論理的思考のもと、議論できる能力を習得する。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法		演習に対する発表内容・態度(30%)、卒業論文および抄録の完成度(50%)、卒業論文発表会の内容・態度(20%)にて評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		提出期限など最低限のルールは必ず守るようにすること。予習・復習は毎時間必ず行うこと。						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)～4)	オリエンテーション					講 義	神 田
0	1)～4)	卒業論文の作成および発表準備					演 習	神 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						

科目名		スポーツ健康福祉学演習Ⅳ			授業コード	121122A118	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C412P01	AL 科目	○
担当者		佐々木 さはら(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		【授業の概要】 実験・測定・調査によって得られたデータをもとに、卒業論文の完成を目指す授業である。 【一般目標:GIO】 自分自身の研究について、限られた文字数でまとめる(抄録)ことや、限られた時間の中で他者に伝える(発表会)ことができるようになる。ひいては、自分の考えを他者へ簡潔に正しく伝えるコミュニケーションスキルを得ることが目標である。						
学修目標		1) 得られたデータから正しい結果・考察・結論を導き出すことができる。 2) Word、Excel、PowerPoint を使用し、他者が理解しやすい資料を作成することができる。						
実務経験のある 教員による教育								
評価方法		プレゼンテーションによる最終試験で評価する(100%) 基準については授業開始日に説明する						
準備学習・ 履修上の注意等		物事に対し疑問をもち、その疑問はすぐに議論もしくは解決する習慣を身につけること。また、与えられた課題に対し、真摯に取り組むこと。						
オフィスアワー		研究室前に掲示						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
0	1)、2)	卒業論文の作成					講義・演習・SGD	佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						

科目名	スポーツ健康福祉学演習Ⅳ			授業コード	121122A119	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(4 年)			ナンバリング	14C412P01	AL 科目	○
担当者	中野祐也(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	本科目は、1～3 年生で学んだ基礎医学、臨床医学に関する具体的な問題を解くことを繰り返し行う。同時に鍼灸師としての基礎知識、応用知識を強固にするために問題の解説を作成する。このことにより、基礎医学と臨床医学(東洋医学を含む)の知識の整理、再確認を行い、双方の関連性について理解する。最終的には、総合鍼灸臨床における基礎固めを行うことが目標である。(CP④)						
学修目標	1) 鍼灸師に必要な東洋医学の内容が説明できる。 2) 総合的な鍼灸臨床を展開するための基礎・応用知識の再確認、再構築ができる。 3) 基礎医学、臨床医学、東洋医学の関連性について総合的に説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	なし						
評価方法	講義毎に提出した問題解説レポートの内容についてフィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(問題解説レポートの提出：20%)、試験(80%)を総合的に評価し単位認定を行う。詳細な評価基準については授業開始時に説明を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	本講義は、鍼灸健康福祉コースを選択した学生は必須科目である。講義に積極的な参加を求めるため、予習および復習は必須である。復習では問題解説レポート課題を確実に実施し、予習では次回に行われる項目について、教科書を中心にまとめること。問題解説レポートおよびその補助資料は各自でファイルし保管する。この資料はチューター面談にも使用される。講義終了後には 1 コマあたり 4 時間を目安に予習復習を行うこと。その際、学習した箇所の配布資料を読み返し、講義の要点と疑問点を整理・記載しておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。						
オフィスアワー	毎週月～水曜日 12:30～13:00 (場所:B-421)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学1 レベルⅡ-7 (解剖、衛生、臨床医学総論、東洋医学概論)				演 習	中 野
2	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学 2 レベルⅡ-8 (関係法規、病理、生理、臨床医学各論、リハビリテーション)				演 習	中 野
3	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学 3 レベルⅡ-9 (医療概論、経絡経穴、東洋医学臨床論、はり・きゅう理論)				演 習	中 野
4	1、2、 3)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学 4 レベルⅢ-1 (解剖、衛生、臨床医学総論、東洋医学概論)				演 習	中 野
5	1、2、 3)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学 5 レベルⅢ-2 (関係法規、病理、生理、臨床医学各論、リハビリテーション)				演 習	中 野
6	1、2、 3)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学 6 レベルⅢ-3 (医療概論、経絡経穴、東洋医学臨床論、はり・きゅう理論)				演 習	中 野
7	1、2、 3)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学 7 レベルⅢ-4 (解剖、衛生、臨床医学総論、東洋医学概論)				演 習	中 野
8	1、2、 3)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学 8 レベルⅢ-5 (関係法規、病理、生理、臨床医学各論、リハビリテーション)				演 習	中 野
9	1、2、 3)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学 9 レベルⅢ-6 (医療概論、経絡経穴、東洋医学臨床論、はり・きゅう理論)				演 習	中 野
10	1、2、 3)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学 10 レベルⅢ-7 (解剖、衛生、臨床医学総論、東洋医学概論)				演 習	中 野
11	1、2、 3)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学 11 レベルⅢ-8 (関係法規、病理、生理、臨床医学各論、リハビリテーション)				演 習	中 野
12	1、2、 3)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学 12 レベルⅢ-9 (医療概論、経絡経穴、東洋医学臨床論、はり・きゅう理論)				演 習	中 野
13	1、2、 3)	総合演習(1)				演 習	中 野
14	1、2、 3)	総合演習(2)				演 習	中 野
15	1、2、 3)	総合演習(3)				演 習	中 野
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	アスレティックトレーナー概論			授業コード	121386B101	単位数 (時間数)	1 単位 / 2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2年)			ナンバリング	14C231P01	AL 科目	○
担当者	神田潤一(福・ス)、佐々木さはら (福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	自 由	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	アスレティックトレーナーの歴史的背景を踏まえた上で、アスレティックトレーナーが担うべき任務とその役割を理解するために具 体的な業務の内容を示す。さらに、具体的な活動をする上で大切となる、選手を取り巻くコーチやスポーツドクター、その他の医 科学スタッフなどのサポートスタッフの構成とそれぞれの役割を理解するとともに、これらサポートスタッフといかに連携、協力し て選手およびチームをサポートするのか、その重要性と方法を理解することを目的とする。						
学修目標	1)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの定義および日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度について理解し、 説明できる。 2)我が国のアスレティックトレーナーの歴史についておよび諸外国のトレーナー状況について理解し、説明できる。 3)アスレティックトレーナーの任務と役割について理解し、説明できる。 4)アスレティックトレーナーの業務について理解し、説明できる。 5)コーチ・スポーツドクターとの連携について理解し、説明できる。 6)組織の運営と管理について理解し、説明できる。 7)医療関係法規について理解し、説明できる。 8)アスレティックトレーナーの法的諸問題について理解し、説明できる。 9)スポーツドクターから見たアスレティックトレーナーについて理解し、説明できる。 10)監督から見たアスレティックトレーナーについて理解し、説明できる。 11)選手から見たアスレティックトレーナーについて理解し、説明できる。 12)設定した課題について調査・発表し、討論できる。 13)アスレティックトレーナー取得のための今後の展開について理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(神田・佐々木)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるよう な授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法	課題レポート(20 点)、課題発表(30 点)、定期試験(50 点)						
準備学習・ 履修上の注意等	予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー	講義時間以外の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの定義・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度について				講 義	神田/佐々木
2	2)	我が国のアスレティックトレーナーの歴史について・諸外国のトレーナー状況				講 義	神田/佐々木
3	3)	アスレティックトレーナーの任務と役割				講 義	神田/佐々木
4	4)	アスレティックトレーナーの業務(スポーツ障害予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション、コンディショニン グ)				講 義	神田/佐々木
5	4)	アスレティックトレーナーの業務(測定評価、健康管理と組織運営、教育的指導)				講 義	神田/佐々木
6	5)	コーチ・スポーツドクターとの連携(メディカルスタッフの構成と役割)				講 義	神田/佐々木
7	5)	組織の運営と管理				講 義	神田/佐々木
8	6)	医療関係法規				講 義	神田/佐々木
9	7)	アスレティックトレーナーの法的諸問題				講 義	神田/佐々木
10	8)	スポーツドクターから見たアスレティックトレーナー				講 義	神田/佐々木
11	9)	監督から見たアスレティックトレーナー				講 義	神田/佐々木
12	10)	選手から見たアスレティックトレーナー 課題発表				講 義	神田/佐々木
13	11)	アスレティックトレーナー取得のための今後の展開				講 義	神田/佐々木
14	12)	課題発表				講 義	神田/佐々木
15	13)	アスレティックトレーナー取得のための今後の展開				講 義	神田/佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		1回目の講義にて説明。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①アスレティックトレーナー役割(公益財団法人日本スポーツ協 会)					

科目名	スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅰ			授業コード	121387B101	単位数 (時間数)	1 単位 / 2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	14C231P02	AL 科目	
担当者	神田潤一(福・ス)、米川 正悟(非常勤・スポーツドクター)、加藤卓也(非常勤・スポーツドクター)、加藤晴康(非常勤・スポーツドクター)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	スポーツにおける具体的な外傷・障害について理解し、年齢や性別等による外傷・障害の特徴も含めて、主に体の部位別(上肢・下肢・体幹・種目特性やその他)にスポーツ外傷・障害についての理解を深めていく。運動器の機能解剖、主なスポーツ外傷・障害の病理、受傷機転、治癒過程に対応したリハビリテーション、トレーニング、外傷・障害の予防法について理解する。						
学修目標	1)外傷・障害の違いについて理解し、説明できる。 2)頸部の外傷・障害について理解し、説明できる。 3)腰・背部・骨盤の外傷・障害について理解し、説明できる。 4)肩部の外傷・障害について理解し、説明できる。 5)肘関節の外傷・障害について理解し、説明できる。 6)手・手指の外傷・障害について理解し、説明できる。 7)大腿部の外傷・障害について理解し、説明できる。 8)膝関節の外傷・障害について理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者の神田はアスレティックトレーナーとして、米川・加藤卓・加藤晴はスポーツドクターとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法	定期試験により評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	スポーツ外傷・障害総論・骨折				講 義	加藤晴
2	2)	体幹のスポーツ外傷・障害:頸部①				講 義	加藤晴
3	2)	体幹のスポーツ外傷・障害:頸部②				講 義	加藤晴
4	3)	体幹のスポーツ外傷・障害:腰・背部・骨盤①				講 義	加藤晴
5	3)	体幹のスポーツ外傷・障害:腰・背部・骨盤②				講 義	加藤晴
6	4)	上肢のスポーツ外傷・障害:肩部①				講 義	米 川
7	4)	上肢のスポーツ外傷・障害:肩部②				講 義	加藤卓
8	5)	上肢のスポーツ外傷・障害:肘関節①				講 義	米 川
9	5)	上肢のスポーツ外傷・障害:肘関節②				講 義	加藤卓
10	6)	上肢のスポーツ外傷・障害:手・手指①				講 義	神 田
11	6)	上肢のスポーツ外傷・障害:手・手指②				講 義	神 田
12	7)	下肢のスポーツ外傷・障害:大腿部①				講 義	加藤晴
13	7)	下肢のスポーツ外傷・障害:大腿部②				講 義	加藤晴
14	8)	下肢のスポーツ外傷・障害:膝関節①				講 義	加藤晴
15	8)	下肢のスポーツ外傷・障害:膝関節②				講 義	加藤晴
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト③スポーツ外傷・障害の基礎知識(公益財団法人日本スポーツ協会)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		新版 スポーツ整形外科学(南江堂) スポーツ外傷・障害の理学診断・理学療法が1冊 第2版(文光堂) 整形外科学・外傷学 改訂第7版(文光堂) 標準整形外科学 第13版(医学書院)					

科目名	健康管理とスポーツ医学			授業コード	121389B101	単位数 (時間数)	1 単位 / 2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	14C231P03	AL 科目	
担当者	神田 潤一(福・ス)、樋口 潤一 (非常勤・スポーツドクター)、染矢 晋佑(非常勤・スポーツドクター)、 加藤 晴康(非常勤・スポーツドク ター)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	感染症や特殊環境を含む内科疾患を学び、年齢性別による特徴、およびドーピングについて理解する。スポーツ選手の内科的 な諸問題について理解し、それらの対応策を習得する。						
学修目標	1)循環器系疾患について理解し、説明できる。 2)呼吸器系疾患について理解し、説明できる。 3)消化器系疾患について理解し、説明できる。 4)血液疾患について理解し、説明できる。 5)腎・泌尿器系疾患について理解し、説明できる。 6)代謝性疾患について理解し、説明できる。 7)皮膚疾患について理解し、説明できる。 8)感染症について理解し、説明できる。 9)オーバートレーニング・突然死について理解し、説明できる。 10)女性のスポーツ医学について理解し、説明できる。 11)特殊環境における内科疾患について理解し、説明できる。 12)成長期と高齢者のスポーツ医学について理解し、説明できる。 13)ドーピングについて理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者の神田はアスレティックトレーナーとして、樋口・染矢・加藤はスポーツドクターとしての実務経験を有する。その経験 に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法	定期試験						
準備学習・ 履修上の注意等	予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	循環器疾患				講 義	加 藤
2	2)	呼吸器疾患				講 義	加 藤
3	3)	消化器疾患				講 義	加 藤
4	4)	血液疾患				講 義	加 藤
5	5)	腎・泌尿器疾患				講 義	染 矢
6	6)	代謝性疾患				講 義	染 矢
7	7)	皮膚疾患				講 義	染 矢
8	8)	感染症				講 義	染 矢
9	9)	オーバートレーニング・突然死				講 義	樋 口
10	10)	女性のスポーツ医学:過換気症候群・摂食障害・減量				講 義	神 田
11	11)	特殊環境:高所・高圧				講 義	神 田
12	11)	特殊環境:暑熱・低温				講 義	加 藤
13	11)	特殊環境:時差と海外遠征、感染症				講 義	樋 口
14	12)	成長期と高齢者のスポーツ医学				講 義	加 藤
15	13)	ドーピング				講 義	神 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト④健康管理とスポーツ医学(公益財団法人日本スポーツ協会)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】							

科目名	検査・測定と評価Ⅰ			授業コード	121390B101	単位数 (時間数)	1 単位 / 2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2年)			ナンバリング	14C232P02	AL 科目	○
担当者	神田 潤一(福・ス)、佐々木さはら (福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	自 由	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	様々な体力要素について理解し、その体力要素の測定方法を学ぶ。さらに、測定結果を評価・分析することで体力測定の意義を理解する。「体力測定」を専門的に理解し、一般的な測定項目を実際に実施できるようになる。						
学修目標	1)体力測定の意義について理解し、説明できる。 2)形態の測定方法について理解し、実施できる。 3)柔軟性の測定方法について理解し、実施できる。 4)筋タイトネスの測定方法について理解し、実施できる。 5)筋力の測定方法・徒手筋力測定について理解し、説明できる。 6)筋力の測定方法・徒手筋力測定について理解し、実施できる。 7)筋持久力の測定方法について理解し、実施できる。 8)全身持久力の測定方法について理解し、説明できる。 9)全身持久力の測定方法について理解し、実施できる。 10)敏捷性と協調性の測定方法について理解し、説明できる。 11)敏捷性と協調性の測定方法について理解し、実施できる。 12)姿勢・アライメントの測定方法について理解し、説明できる。 13)姿勢・アライメントの測定方法について理解し、実施できる。 14)身体組成の測定方法について理解し、実施できる。 15)体力測定のマネジメントと測定のフィードバックについて理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(神田・佐々木)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるよう な授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法	測定された各項目の評価データとその考察レポートにより評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	バイオメカニクス、運動生理学を合格した者が受講可能。 予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー	講義時間以外の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	体力測定の意義				講 義	神 田
2	2)	形態の測定方法				演 習	神 田
3	3)	柔軟性の測定方法				演 習	神 田
4	4)	筋タイトネスの測定方法				演 習	神 田
5	5)	筋力の測定方法・徒手筋力測定				講 義	神 田
6	6)	実技				演 習	神 田
7	7)	筋持久力の測定方法				演 習	神 田
8	8)	全身持久力の測定方法				講 義	神 田
9	9)	実技				演 習	神 田
10	10)	敏捷性と協調性の測定方法				講 義	神 田
11	11)	実技				演 習	佐々木
12	12)	姿勢・アライメントの測定方法				講 義	佐々木
13	13)	実技				演 習	佐々木
14	14)	身体組成の測定方法				演 習	佐々木
15	15)	体力測定のマネジメントと測定のフィードバック				講 義	佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		1回目の講義にて説明。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑤検査・測定と評価(公益財団法人日本スポーツ協会)					

科目名		検査・測定と評価Ⅱ			授業コード	121391B101	単位数 (時間数)	1 単位 / 2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C331P01	AL 科目	○
担当者		久保 誠司(非常勤・アスレティック トレーナー)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		身体の動きを観察し、理解するための知識としてバイオメカニクスの基礎を学び、運動力学の法則を用いて、スポーツの基本動作を理解する。さらに、動作分析からどのような動きの改善によりパフォーマンスの向上や障害の予防に役立てるかを学ぶ。正常なスポーツの基本動作を動作解析を基に理解し、異常を解析できる能力を身につける。						
学修目標		1)運動の基本動作について理解し、説明できる。 2)動作解析について理解し、説明できる。 3)歩行動作および測定方法について理解し、説明、実施できる。 4)床反力および測定方法について理解し、説明、実施できる。 5)走動作および測定方法について理解し、説明、実施できる。 6)ストップ、方向転換および測定方法について理解し、説明、実施できる。 7)跳動作および測定方法について理解し、説明、実施できる。 8)投球動作および測定方法について理解し、説明、実施できる。 9)異常歩行動作およびその観察・分析方法について理解し、説明、実施できる。 10)外傷・障害となる走動作およびその観察・分析方法について理解し、説明、実施できる 11)外傷・障害となるストップ・方向転換およびその観察・分析方法について理解し、説明、実施できる 12)外傷・障害となる跳動作およびその観察・分析方法について理解し、説明、実施できる 13)外傷・障害となる投球動作およびその観察・分析方法について理解し、説明、実施できる						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者(久保)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法		筆記試験(50%)・実技試験(50%)						
準備学習・ 履修上の注意等		検査・測定と評価Ⅰを合格した者が受講可。 予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	運動の基本動作					講 義	神 田
2	2)	バイオメカニクス・動作解析について(測定方法含む)					講 義	神 田
3	3)	歩行					演 習	神 田
4	4)	床反力					演 習	神 田
5	5)	走動作					演 習	神 田
6	6)	ストップ・方向転換					演 習	神 田
7	7)	跳動作					演 習	神 田
8	8)	投球動作					演 習	神 田
9	1)～ 8)	まとめ					講 義	神 田
10	9)	異常歩行					演 習	神 田
11	10)	外傷・障害となる走動作					演 習	佐々木
12	11)	外傷・障害となるストップ・方向転換動作					演 習	佐々木
13	12)	外傷・障害となる跳動作					演 習	佐々木
14	13)	外傷・障害となる投球動作					演 習	佐々木
15	9)～ 13)	まとめ					講 義	佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			1回目の講義にて説明。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑤検査・測定と評価(公益財団法人日本スポーツ協会)					

科目名	予防とコンディショニングⅠ			授業コード	121392B101	単位数 (時間数)	1単位 / 2単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3年)			ナンバリング	14C331P02	AL科目	○
担当者	神田潤一(福・ス)、佐々木さはら (福・ス)、河野徳良(非常勤講師)	開講学期	2024年度前期	必修・選択	AT・JPSU必修	授業形態	演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	試合前のコンディショニングとして、試合においてベストパフォーマンスを発揮させるために、練習によって蓄積された疲労の除去、局所的な可動域の制限、痛みの緩和を目的とした手技を学ぶ。また、練習や試合後のコンディショニングとして、運動後に疲労して硬くなった筋をほぐしたり伸ばしたりすることで、関節の可動域制限防止や疲労からの早期回復などを目的とした方法を学ぶ。スポーツの前後に、身体のコンディショニングができるようになることを目指す。						
学修目標	1)コンディショニングについて理解し、説明できる。 2)ウォーミングアップとクーリングダウンについて理解し、説明できる。 3)ストレッチングの方法について理解し、説明できる。 4)柔軟性テストについて理解し、実施できる。 5)ストレッチングの実際について理解し、実施できる。 6)テーピングについて理解し、説明できる。 7)足部のテーピングについて理解し、実施できる。 8)足関節のテーピングについて理解し、実施できる。 9)アキレス腱・シンスプリントに対するテーピングについて理解し、実施できる。 10)肉離れに対するテーピングについて理解し、実施できる。 11)膝関節のテーピングについて理解し、実施できる。 12)股関節・腰部のテーピングについて理解し、実施できる。 13)肩関節のテーピングについて理解し、実施できる。 14)肘関節のテーピングについて理解し、実施できる。 15)手関節・指のテーピングについて理解し、実施できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(佐々木・神田・河野)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるように授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法	筆記試験(70%)および実技試験(30%)により評価する 基準については授業開始日に説明する						
準備学習・ 履修上の注意等	運動器の解剖と機能Ⅰ・Ⅱ、スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅰ・Ⅱ、健康管理とスポーツ医学を合格した者が受講可。 予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー	講義時間以外の可能な時間						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	コンディショニングとは				講義	神田/佐々木
2	2)	ウォーミングアップとクーリングダウン				講義	神田/佐々木
3	3)	ストレッチングの方法				講義	河野
4	4)	柔軟性テスト				演習	河野
5	5)	ストレッチングの実際				演習	河野
6	6)	テーピング総論				講義	河野
7	7)	足部のテーピング				演習	河野
8	8)	足関節のテーピング				演習	河野
9	9)	アキレス腱・シンスプリントに対するテーピング				演習	神田/佐々木
10	10)	肉離れのテーピング				演習	神田/佐々木
11	11)	膝関節のテーピング				演習	神田/佐々木
12	12)	股関節・腰部のテーピング				演習	神田/佐々木
13	13)	肩関節のテーピング				演習	神田/佐々木
14	14)	肘関節のテーピング				演習	神田/佐々木
15	15)	手関節・指のテーピング				演習	神田/佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		1回目の講義にて説明。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥予防とコンディショニング(公益財団法人日本スポーツ協会)					

科目名	予防とコンディショニングⅡ			授業コード	121393B101	単位数 (時間数)	1 単位 / 2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C332P01	AL 科目	○
担当者	久保 誠司(非常勤)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義、実習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	コンディショニングの原理・原則、評価方法、具体的なトレーニング種目やプログラミングの方法について学ぶ。コンディショニ ングを意識したトレーニング計画の立案・実施、アドバイスができるようになることを目指す。						
学修目標	1)コンディショニングの評価・トレーニング計画について理解し、説明できる。 2)基礎体力のコンディショニングについて理解し、説明できる。 3)筋力のコンディショニングについて理解し、説明できる。 4)筋持久力のコンディショニングについて理解し、説明できる。 5)筋パワーのコンディショニングについて理解し、説明できる。 6)全身持久力のコンディショニングについて理解し、説明できる。 7)アジリティのコンディショニングについて理解し、説明できる。 8)身体組成のコンディショニングについて理解し、説明できる。 9)コンディショニングトレーニングについて理解し、実施できる。 10)代謝系トレーニングについて理解し、実施できる。 11)筋力トレーニングについて理解し、実施できる。 12)アジリティトレーニングについて理解し、実施できる。 13)スプリント・エンデュランストレーニングについて理解し、実施できる。 14)サーキットトレーニングについて理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	担当教員は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する						
評価方法	実技試験(100%)により評価する						
準備学習・ 履修上の注意等	予防とコンディショニングⅠを合格した者が受講可。 予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー	講義時間以外の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	コンディショニングの評価・トレーニング計画				講 義	久 保
2	2)	基礎体力のコンディショニング				講 義	久 保
3	3)	筋力のコンディショニング				講 義	久 保
4	4)	筋持久力のコンディショニング				講 義	久 保
5	5)	筋パワーのコンディショニング				講 義	久 保
6	6)	全身持久力のコンディショニング				講 義	久 保
7	7)	アジリティのコンディショニング				講 義	久 保
8	8)	身体組成のコンディショニング				講 義	久 保
9	9)	コンディショニングトレーニング				実 習	久 保
10	10)	代謝系トレーニング				実 習	久 保
11	11)	筋力トレーニング				実 習	久 保
12	12)	アジリティトレーニング				実 習	久 保
13	13)	スプリント・エンデュランストレーニング				実 習	久 保
14	14)	サーキットトレーニング				実 習	久 保
15	1～ 14)	まとめ				講 義	久 保
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		1回目の講義にて説明。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥					

科目名	予防とコンディショニングⅢ			授業コード	121394B101	単位数 (時間数)	1 単位 / 2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C431P01	AL 科目	
担当者	神田 潤一(福・ス)、佐々木 さは ら(福・ス)、三原 成人(非常勤講 師)、常盤 直孝(非常勤講師)、宮 崎 茂明(非常勤講師)、栗木 明 裕(非常勤講師)、宮本 浩幸(非 常勤講師)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	競技別の調整とスポーツの要求に対応するために、安全に身体 の健康と体力を向上させる方法を学ぶ。競技種目の特性や専 門性に 応じたコンディショニングサポートができるようになることを目指す。						
学修目標	1)コンディショニングの要素について理解し、説明できる。 2)心理的なコンディショニングについて理解し、説明できる。 3)装具・サポーターについて理解し、説明できる。 4)競技種目別のコンディショニングについて理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(神田・佐々木・三原・常盤・宮崎・栗木・宮本)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に 基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法	実技試験(100%)により評価する 基準については授業開始日に説明する						
準備学習・ 履修上の注意等	アスレティックリハビリテーションⅠ、予防とコンディショニングⅡを合格した者が受講可。 予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー	講義時間以外の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	コンディショニングの要素				講 義	宮 崎
2	2)	心理的なコンディショニング				講 義	常 盤
3	3)	装具・サポーター				講 義	神田/佐々木
4	4)	陸上競技				講 義	神田/佐々木
5	4)	水泳				講 義	栗 木
6	4)	サッカー				講 義	宮 本
7	4)	バレーボール				講 義	神田/佐々木
8	4)	ハンドボール・バスケットボール				講 義	神田/佐々木
9	4)	野球・ソフトボール				講 義	神田/佐々木
10	4)	ラグビー				講 義	神田/佐々木
11	4)	柔道・レスリング				講 義	神田/佐々木
12	4)	体操				講 義	神田/佐々木
13	4)	スキー				講 義	三 原
14	4)	スケート				講 義	神田/佐々木
15	1)～ 4)	まとめ				講 義	神田/佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		1 回目の講義にて説明。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥予防とコンディショニング(公益財団法人日本スポーツ協会)					

科目名		アスレティックリハビリテーションⅠ			授業コード	121395B101	単位数 (時間数)	1単位 / 2単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(3年)			ナンバリング	14C332P02	AL科目	○
担当者		久保 誠司(非常勤)	開講学期	2024年度後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義、実習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		アスレティックリハビリテーションの意味を知り、その実践にあたって必要となる基礎知識の習得をねらいとする。						
学修目標		1) リハビリテーションの概念と定義を知る。 2) アスレティックリハビリテーションの定義を知る。 3) 我が国のアスレティックリハビリテーションの歴史を知る。 4) スレティックリハビリテーションの概要(目標、過程、関係職種と役割、考慮すべき事項、等)について理解する。 5) アスレティックリハビリテーションの現場におけるアスレックトレナーの活動内容を知る。 6) 機能評価の概要について理解する。 7) アスレティックリハビリテーションで用いる基本的手法の概要について理解する。 8) 進行上のリスク管理の概要を理解する。						
実務経験のある 教員による教育		担当教員はアスレックトレナーとしての実務経験を有する						
評価方法		筆記試験(100%)により評価する						
準備学習・ 履修上の注意等		検査、測定など評価に基づき、何らかの疾病、傷害などによって起こる機能・形態障害に対し、運動療法・物理療法を実施し改善を図るエクササイズを選択するためには、知識の統合が必要となります。 「検査・測定と評価」を関連の講義に合わせて、知識の再確認のために予習を行っておいください。 この講義では、個々のエクササイズの”アスレティックリハビリテーションの基礎知識”を学びます。 そして、これは、四年生の「アスレティックリハビリテーションⅡ」につながっていきます。 「アスレティックリハビリテーションⅡ」では、「アスレックリハビリテーションⅠ」で学んだ個々のエクササイズを疾患ごとにその内容を応用していくが必要になります。 そのため、今まで、学んだことを定着させ、知識を積み重ねていけるよう自己学習をおこならないようにしてください。						
オフィスアワー		講義前後の可能な時間						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	(1)~(6)	アスレティックリハビリテーションの考え方					講 義	久 保
2	(7)(8)	運動療法の基礎知識:関節可動域回復、拡大エクササイズ					講 義	久 保
3	(7)(8)	運動療法の基礎知識:筋力回復、筋力増強エクササイズ					講 義	久 保
4	(7)(8)	運動療法の基礎知識:神経筋協調性回復、向上エクササイズ					講 義	久 保
5	(7)(8)	運動療法の基礎知識:全身持久力回復、向上エクササイズ					講 義	久 保
6	(7)(8)	運動療法の基礎知識:身体組成管理に用いるエクササイズ					講 義	久 保
7	(7)(8)	運動療法の基礎知識:再発予防・外傷予防のためのスポーツ動作エクササイズ					講 義	久 保
8	(7)(8)	物理療法の基礎知識:物理療法概論					講 義	久 保
9	(7)(8)	物理療法の基礎知識:温熱療法					講 義	久 保
10	(7)(8)	物理療法の基礎知識:寒冷療法					講 義	久 保
11	(7)(8)	物理療法の基礎知識:電気刺激療法					講 義	久 保
12	(7)(8)	物理療法の基礎知識:超音波療法					講 義	久 保
13	(7)(8)	物理療法の基礎知識:実習					実 習	久 保
14	(7)(8)	補装具使用に関する基礎知識:補装具の使用目的、体幹装具					講 義	久 保
15	(7)(8)	補装具使用に関する基礎知識:上肢・下肢装具、足底挿板 杖					実 習	久 保
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			なし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			アスレックトレナー専門科目テキスト⑦					

科目名		アスレティックリハビリテーションⅡ			授業コード	121396B101	単位数 (時間数)	1 単位 / 2 単位 (30)	
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4年)			ナンバリング	14C431P02	AL 科目	○	
担当者		久保 誠司(非常勤)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義、実習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		外傷に必要な情報収集、評価測定の項目を挙げ、スポーツ復帰と再発予防に向けたメディカルリハビリテーションからアスレティックリハビリテーションのプログラム立案について学ぶ。外傷に応じた評価、訓練プログラムの立案、リスク管理を行える考え方・方法について学ぶ。							
学修目標		1)アスレティックリハビリテーションの考え方について理解し、説明できる。 2)各疾患の病態を理解し、説明できる。各疾患のアスレティックリハビリテーションの過程と内容を理解し、必要な情報収集、機能評価、プログラミングができるようになる。スポーツ復帰の目安を明確にして、対象者に説明することができるようになる。							
実務経験のある 教員による教育		担当教員は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する							
評価方法		筆記試験(100%)により評価する							
準備学習・ 履修上の注意等		アスレティックリハビリテーションⅠを合格した者が受講可。 予習・復習を必ず行うこと。							
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間							
授業計画									
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容						授業 方法	担当
1	1)	アスレティックリハビリテーションの考え方						講義、実習	久 保
2	2)	頸椎捻挫						講義、実習	久 保
3	2)	腰部疾患						講義、実習	久 保
4	2)	肩関節前方脱臼						講義、実習	久 保
5	2)	投球障害肩						講義、実習	久 保
6	2)	肘 MCL 損傷						講義、実習	久 保
7	2)	肘内側・外側上顆炎、手関節捻挫						講義、実習	久 保
8	2)	足関節捻挫						講義、実習	久 保
9	2)	膝 MCL 損傷						講義、実技	久 保
10	2)	膝 ACL 損傷						講義、実習	久 保
11	2)	大腿肉離れ						講義、実習	久 保
12	2)	扁平足障害						講義、実習	久 保
13	2)	脛骨疲労骨折						講義、実習	久 保
14	2)	鵠足炎						講義、実習	久 保
15	2)	膝蓋大腿関節障害						講義、実習	久 保
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			なし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦						

科目名	アスレティックリハビリテーションⅢ			授業コード	121397B101	単位数 (時間数)	1 単位 / 2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C432P01	AL 科目	
担当者	神田潤一(福・ス)、佐々木さはら(福・ス)、常盤 直孝(非常勤講師)、宮崎 茂明(非常勤講師)、三原 成人(非常勤講師)、栗木 明裕(非常勤講師)、宮本浩幸(非常勤講師)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	アスレティックリハビリテーションとは、あくまで最終目標は「競技復帰」である。さらに、「再発しない」かつ「早期復帰」が求められるため、各スポーツ種目の競技特性を把握し、その種目に特徴的な体力要素や運動様式などを踏まえたトレーニングを処方することが必要となる。よりスポーツ現場に近いアスレティックリハビリテーションを理解し、競技別のアプローチができるようになることを目指す。						
学修目標	1)動作から見た競技特性について理解し、説明できる。 2)体力から見た競技特性について理解し、説明できる。 3)各競技種目における外傷発生機転について理解し、説明できる。復帰するにあたっての機能的、体力的到達目標を理解し、説明できる。復帰の目標達成に要するアスレティックリハビリテーションの内容を理解し、説明できる。アスレティックリハビリテーションプログラミングの過程と方法を理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(神田・佐々木・三原・常盤・宮崎・栗木・宮本)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法	実技試験(100%)により評価する 基準については授業開始日に説明する						
準備学習・ 履修上の注意等	アスレティックリハビリテーションⅡ、予防とコンディショニングⅢを合格した者が受講可。 予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	動作から見た競技特性				講 義	宮 崎
2	2)	体力から見た競技特性				講 義	常 盤
3	3)	陸上競技				講 義	神田/佐々木
4	3)	水泳				講 義	栗 木
5	3)	サッカー				講 義	宮 本
6	3)	バスケットボール				講 義	神田/佐々木
7	3)	バレーボール				講 義	神田/佐々木
8	3)	ハンドボール				講 義	神田/佐々木
9	3)	野球				講 義	神田/佐々木
10	3)	ラグビー				講 義	神田/佐々木
11	3)	格闘技				講 義	神田/佐々木
12	3)	体操				講 義	神田/佐々木
13	3)	スキー				講 義	三 原
14	3)	スケート				講 義	神田/佐々木
15	3)	まとめ				講 義	神田/佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション(公益財団法人日本スポーツ協会)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】							

科目名		アスレティックトレーナー実習Ⅰ			授業コード	121399A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C331P03	AL 科目	○
担当者		神田 潤一(福・ス)、佐々木さはら(福・ス)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.		日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー受験資格を得るためには、180 時間(実時間)の実習を行わなくてはならない。日本スポーツ協会が指定している実習の内容は①見学実習(30 時間)、②検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習(30 時間)、③スポーツ現場実習:ストレッチング、テーピング、応急処置等(30 時間)、④アスレティックリハビリテーション実習:プログラム作成、実施等(30 時間)、⑤総合実習(60 時間)である。本実習は①見学実習(30 時間)にあたる。見学実習によって、スポーツ現場の理解およびアスレティックトレーナーの必要性を確認する。						
学修目標		1)実習の目的や心構えを理解し、説明できる。 2)学生トレーナーとして実習を行い、アスレティックトレーナーに対する理解を深め、スポーツ現場で活躍できる実践力を身につける。見学実習を行うことによって、競技特性や、想定されるスポーツ外傷をまとめることができる。スポーツ現場およびアスレティックトレーナーの必要性について理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者(神田・佐々木)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法		レポートにより評価する(100%)						
準備学習・ 履修上の注意等		アスレティックトレーナー概論、運動器の解剖と機能Ⅰ・Ⅱ、スポーツ外傷の基礎知識Ⅰ・Ⅱ、健康管理とスポーツ医学、検査・測定と評価Ⅰを合格した者が受講可。 予習・復習は必ず行うこと。						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授 業 方 法	担 当
1	1)2)	実習前ガイダンス					講 義	神田・佐々木
0	1)2)	見学実習(30 時間)					実 習	神田・佐々木
15	1)2)	実習後のまとめ					講 義	神田・佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		アスレティックトレーナー専門科目テキスト①～⑨(公益財団法人日本スポーツ協会)						

科目名		アスレティックトレーナー実習Ⅱ			授業コード	121400A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C331P04	AL 科目	○
担当者		神田 潤一(福・ス)、佐々木さはら(福・ス)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー受験資格を得るためには、180 時間(実時間)の実習を行わなくてはならない。日本スポーツ協会が指定している実習の内容は①見学実習(30 時間)、②検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習(30 時間)、③スポーツ現場実習:ストレッチング、テーピング、応急処置等(30 時間)、④アスレティックリハビリテーション実習:プログラム作成、実施等(30 時間)、⑤総合実習(60 時間)である。本実習は②検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習(30 時間)にあたる。本実習によりスポーツ障害の検査・測定および評価を行い、アスレティックリハビリテーションプログラム作成ができるようになる。						
学修目標		1)実習の目的や心構えを理解し、説明できる。 2)学生トレーナーとして実習を行い、アスレティックトレーナーに対する理解を深め、スポーツ現場で活躍できる実践力を身につける。スポーツ障害の検査・測定および評価を行い、アスレティックリハビリテーションプログラム作成ができるようになる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者(神田・佐々木)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法		レポートにより評価する(100%)						
準備学習・ 履修上の注意等		アスレティックトレーナー概論、運動器の解剖と機能Ⅰ・Ⅱ、スポーツ外傷の基礎知識Ⅰ・Ⅱ、健康管理とスポーツ医学、検査・測定と評価Ⅰを合格した者が受講可。 予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	実習前ガイダンス					講 義	神田・佐々木
0	1)2)	検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習(30 時間)					実 習	神田・佐々木
15	1)2)	実習後のまとめ					講 義	神田・佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			特になし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			アスレティックトレーナー専門科目テキスト①～⑨(公益財団法人日本スポーツ協会)					

科目名		アスレティックトレーナー実習Ⅲ			授業コード	121401A101	単位数 (時間数)	1 単位 (34)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C332P03	AL 科目	○
担当者		神田潤一(福・ス)、佐々木さはら(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー受験資格を得るためには、180 時間(実時間)の実習を行わなくてはならない。日本スポーツ協会が指定している実習の内容は①見学実習(30 時間)、②検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習(30 時間)、③スポーツ現場実習:ストレッチング、テーピング、応急処置等(30 時間)、④アスレティックリハビリテーション実習:プログラム作成、実施等(30 時間)、⑤総合実習(60 時間)である。本実習は③スポーツ現場実習:ストレッチング、テーピング、応急処置等(30 時間)にあたる。本実習によりスポーツ現場において適切なストレッチング、テーピング、応急処置等ができるようになる。						
学修目標		1)実習の目的や心構えを理解し、説明できる。 2)学生トレーナーとして実習を行い、アスレティックトレーナーに対する理解を深め、スポーツ現場で活躍できる実践力を身につける。スポーツ現場において適切なストレッチング、テーピング、応急処置等ができるようになる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者(神田・佐々木)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法		レポートにより評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		アスレティックトレーナー実習Ⅰ・Ⅱを合格した者が受講可。 予習・復習は必ず行うこと。						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	実習前ガイダンス					講 義	神田・佐々木
0	2)	スポーツ現場実習:ストレッチング、テーピング、応急処置等(30 時間)					実 習	神田・佐々木
15	2)	実習後のまとめ					講 義	神田・佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①～⑨(公益財団法人日本スポーツ協会)						

科目名		アスレティックトレーナー実習Ⅳ			授業コード	121402A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C332P04	AL 科目	○
担当者		神田潤一(福・ス)、佐々木さはら (福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー受験資格を得るためには、180 時間(実時間)の実習を行わなくてはならない。日本スポーツ協会が指定している実習の内容は①見学実習(30 時間)、②検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーショ ンプログラム作成実習(30 時間)、③スポーツ現場実習:ストレッチング、テーピング、応急処置等(30 時間)、④アスレティックリ ハビリテーション実習:プログラム作成、実施等(30 時間)、⑤総合実習(60 時間)である(学外実習含む)。本実習は④アスレティ ックリハビリテーション実習:プログラム作成、実施等(30 時間)にあたる。本実習によりスポーツ現場において適切なアスレティ ックリハビリテーションプログラム作成、実施ができるようになる。						
学修目標		1)実習の目的や心構えを理解し、説明できる。 2)学生トレーナーとして実習を行い、アスレティックトレーナーに対する理解を深め、スポーツ現場で活躍できる実践力を身につ ける。スポーツ現場において適切なアスレティックリハビリテーションプログラム作成、実施ができるようになる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者(神田・佐々木)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるよ うな授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法		レポートにより評価する(100%)						
準備学習・ 履修上の注意等		アスレティックトレーナー実習Ⅰ・Ⅱを合格した者が受講可。 予習・復習は必ず行うこと。						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	実習前ガイダンス					講 義	神田・佐々木
0	1)2)	アスレティックリハビリテーション実習:プログラム作成、実施等(30 時間)					実 習	神田・佐々木
15	1)2)	実習後のまとめ					講 義	神田・佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①～⑨(公益財団法人日本スポーツ協会)						

科目名		アスレティックトレーナー実習Ⅴ			授業コード	121403A101	単位数 (時間数)	1 単位 (34)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C431P03	AL 科目	○
担当者		神田 潤一(福・ス)、佐々木さはら (福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.		日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー受験資格を得るためには、180 時間(実時間)の実習を行わなくてはならない。日本スポーツ協会が指定している実習の内容は①見学実習(30 時間)、②検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習(30 時間)、③スポーツ現場実習:ストレッチング、テーピング、応急処置等(30 時間)、④アスレティックリハビリテーション実習:プログラム作成、実施等(30 時間)、⑤総合実習(60 時間)である。本実習は⑤総合実習(60 時間)の前半にあたる。本実習によりスポーツ現場において主要なスポーツ障害に対して適切な評価を行い、アスレティックリハビリテーションを処方し、障害発生から競技復帰に至るすべてを指導することができるようになる。						
学修目標		1)実習の目的や心構えを理解し、説明できる。 2)学生トレーナーとして実習を行い、アスレティックトレーナーに対する理解を深め、スポーツ現場で活躍できる実践力を身につける。スポーツ現場において主要なスポーツ障害に対して適切な評価を行い、アスレティックリハビリテーションを処方し、障害発生から競技復帰に至るすべてを指導することができるようになる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者(神田・佐々木)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法		レポートにより評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		アスレティックトレーナー実習Ⅲ・Ⅳを合格した者が受講可。						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	実習前ガイダンス					講 義	神田・佐々木
0	2)	総合実習:前半(30 時間)					実 習	神田・佐々木
15	2)	実習後のまとめ					実 習	神田・佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①～⑨(公益財団法人日本スポーツ協会)						

科目名		アスレティックトレーナー実習Ⅵ			授業コード	121404A101	単位数 (時間数)	1 単位 (34)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	14C432P02	AL 科目	○
担当者		神田 潤一(福・ス)、佐々木さはら(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー受験資格を得るためには、180 時間(実時間)の実習を行わなくてはならない。日本体育協会が指定している実習の内容は①見学実習(30 時間)、②検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習(30 時間)、③スポーツ現場実習:ストレッチング、テーピング、応急処置等(30 時間)、④アスレティックリハビリテーション実習:プログラム作成、実施等(30 時間)、⑤総合実習(60 時間)である。本実習は⑤総合実習(60 時間)の後半にあたる。本実習によりスポーツ現場において主要なスポーツ障害に対して適切な評価を行い、アスレティックリハビリテーションを処方し、障害発生から競技復帰に至るすべてを指導することができるようになる。						
学修目標		1)実習の目的や心構えを理解し、説明できる。 2)学生トレーナーとして実習を行い、アスレティックトレーナーに対する理解を深め、スポーツ現場で活躍できる実践力を身につける。スポーツ現場において主要なスポーツ障害に対して適切な評価を行い、アスレティックリハビリテーションを処方し、障害発生から競技復帰に至るすべてを指導することができるようになる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者(神田・佐々木)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるような授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法		レポートにより評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		アスレティックトレーナー実習Ⅴを合格した者が受講可。						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	実習前ガイダンス					講 義	神田・佐々木
0	2)	総合実習:後期(30 時間)					実 習	神田・佐々木
15	2)	実習後のまとめ					講 義	神田・佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			特になし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①～⑨(公益財団法人日本スポーツ協会)					

科目名	保健体育科教育法Ⅰ			授業コード	140028D101	単位数 (時間数)	4 単位 (60)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C331T02	AL 科目	○
担当者	井藤 英俊(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	教 職	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	保健体育科教育法Ⅰでは、保健体育教師として求められる資質や能力について理解する。さらに、学習指導要領に基づいた単元計画や授業計画を作成し、模擬授業やマイクロティーチングを通して実践力の育成を目指す。						
学修目標	1. 保健体育科教育学について理解し、説明できる。 2. 学習指導要領に基づいた体育のカリキュラムについて理解し、説明できる。 3. 「よい体育授業」「よい保健授業」について理解し、説明できる。 4. 体育の指導ストラテジーと指導スキルについて理解し、説明できる。 5. 学習指導要領に基づいた単元計画を作成できる。 6. 学習指導要領に基づいた授業計画を作成できる。 7. 授業計画に沿った授業を実践できる。 8. 「最新の体育授業」「最新の保健授業」について理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	保健体育の教師は、教科書や本による知識の習得だけではなく、知的に学んだことを踏まえて実際に計画を立て、実践的に振り返ることが不可欠となる。授業では、模擬授業やマイクロティーチングを通して、実践力の育成を目指す。科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。						
評価方法	授業毎の小テスト、レポート等(60 点) 模擬授業(20 点) 授業評価(20 点)						
準備学習・ 履修上の注意等	将来の職業に大きくつながる授業であるため、教員になるという自覚をもって授業に臨むこと。 教員採用試験の対策にもつながるため、授業毎に小テストでは習ったことの定着を確認する。最低 2 時間程度の自宅学修を行うこと。 運動のできる服装で受講すること。体育館シューズ、グラウンドシューズの準備をする。 アクセサリはつけないで受講すること。 水泳授業実践のために近隣小学校の授業に授業補助として参加する						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	体育は「何を学ぶ」教科かを学修する。現在の体育の授業を取り巻く問題点を主体的・対話的に理解し、何を教えるのかを理解する。 【授業づくりの基礎理論①】体育と教育制度を学修する。教育における体育の意義を理解する。				講義・演習	井 藤
2	2)	【授業づくりの基礎理論②】学習指導要領を学修する。指導要領から体育の必要性を理解する。 【授業づくりの基礎理論③】学習指導要領から体育の目標を学修する。体育を学ぶことにより「何ができるようになるか」を理解する。				講義・演習	井 藤
3	2)3)	【授業づくりの基礎理論④】学習指導要領から体育のカリキュラムを学修する。体育の授業時数や内容を理解する。 【体育の学習指導論①】よい体育の授業について学修する。よい体育授業の「基礎的条件」「内容的条件」について理解する				講義・演習	井 藤
4	3)	【体育の学習指導論②】体育の教材・教具について学修する。 「教材」づくり「教具」づくりを実践する。 【体育の学習指導論③】体育の学習指導論について学修し理解する。				講義・演習	井 藤
5	3)	【体育の学習指導論④】体育の学習形態論について学修し理解する。 【体育の学習指導論⑤】体育の学習評価について学修し理解するとともに、情報機器を活用した学習評価をする。				講義・演習	井 藤
6	3)4)	【体育の学習指導論⑥】体育の授業評価について学修し理解するとともに、情報機器を活用した授業評価をする。 【体育の指導方略と指導技術①】体育授業におけるモニタリングと相互作用技術について学修し理解する。				講義・演習	井 藤
7	4)	【体育の指導方略と指導技術②】体育授業におけるマネジメントについて学修し理解する。体育授業におけるインストラクションについて学修し理解する。 【体育の指導方略と指導技術③】運動有能感について学修し理解する。運動有能感を高める指導について学修し実践する。				講義・演習	井 藤
8	8)	【最新の保健・体育の知識・技能の習得】専門知識を持った外部講師の講義を受講し、最新の保健・体育に関する知識・技能を学修し、理解する。				講 義	井 藤
9	5)6)7)	【指導案作成・模擬授業・振り返り①】指導案の作成方法を学修する。具体的な指導案作りをする。 【指導案作成・模擬授業・振り返り②】年間計画・単元計画の作成方法を学修し作成する。				講義・演習	井 藤
10	5)6)7)	【指導案作成・模擬授業・振り返り③】体ほぐし運動についてのねらいを学修・理解し、指導案を作成する。 【指導案作成・模擬授業・振り返り④】体ほぐし運動について、授業を実践する。				講義・演習	井 藤
11	5)6)7)	【指導案作成・模擬授業・振り返り⑤】体ほぐし運動について、相互に授業評価する。 【指導案作成・模擬授業・振り返り⑥】体力を高める運動について指導案を作成する。				講義・演習	井 藤
12	5)6)7)	【指導案作成・模擬授業・振り返り⑦】体力を高める運動について、授業を実践し、相互に授業評価する。 【指導案作成・模擬授業・振り返り⑧】「器械運動」領域についてマイクロティーチング行う。「器械運動」領域について、互いに学びあうことに重点を置いた指導案の作成、授業の実践、相互評価をする。				講義・演習	井 藤
13	5)6)7)	【指導案作成・模擬授業・振り返り⑨】「陸上」領域についてマイクロティーチングを行う。「陸上」領域について、ICTを活用し動きを捉え、動きの改善を目指した指導案の作成、授業の実践、相互評価をする。 【指導案作成・模擬授業・振り返り⑩】「水泳」領域についてマイクロティーチングを行う。「水泳」領域について、ICTを活用して互いに学びあうことができる指導案の作成、授業の実践、相互評価をする。				講義・演習	井 藤
14	5)6)7)	【指導案作成・模擬授業・振り返り⑪】「球技」領域についてマイクロティーチングを行う。「球技」領域について、一人一人の個性を生かした指導案の作成、授業の実践、相互評価をする。				講義・演習	井 藤

		【指導案作成・模擬授業・振り返り⑫】「ダンス・武道」領域についてマイクロティーチングを行う。「ダンス・武道」領域について、武道の歴史や伝統的な考え方を学ぶ指導案の作成、授業の実践、相互評価をする。		
15	3)	【学校現場見学および授業補助】実際の教育現場を体験することを目的として、近隣小学校の体育関係授業(水泳、遠足等)に授業補助として参加する。	演 習	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1196-2】 高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1202-0】 上記については教育実習を希望する校種のものを必ず購入すること		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし		

科目名	保健体育科教育法Ⅱ			授業コード	140029D101	単位数 (時間数)	4 単位 (60)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C332T01	AL 科目	○
担当者	井藤 英俊(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	教 職	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	保健体育科教育法Ⅱでは、保健体育科教育法Ⅰにおいて学習した保健体育教師として求められる資質や能力について理解を深める。また、「よい体育授業」、体育の「指導ストラテジー」と「指導スキル」についての理解を深め、実践する。さらに、模擬授業やマイクロティーチングを通して、授業者の省察力や反省的思考力の育成に加えて、観察者もピア評価を行うことにより授業観察力の向上を目指す。						
学修目標	1. 「よい体育授業」、体育の「指導ストラテジー」と「指導スキル」についての理解を深め、実践することができる。 2. 学習指導要領に基づいた単元計画および授業計画を作成することができる。 3. 授業者は授業計画に沿った授業を実践し、省察力や反省的思考力を高め、授業観察者はピア評価により授業観察力を高めることができる。						
実務経験のある 教員による教育	保健体育の教師は、教科書や本による知識の習得だけではなく、知的に学んだことを踏まえて実際に計画を立て、実践的に振り返ることが不可欠となる。授業では、模擬授業やマイクロティーチングを通して、実践力の育成を目指す。科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。						
評価方法	授業毎の小テストや相互評価等(40 点) 指導案作成(20 点) 模擬授業(40 点)						
準備学習・ 履修上の注意等	将来の職業に大きくつながる授業であるため、教員になるという自覚をもって授業に臨むこと。 教員採用試験の対策にもつながるため、授業毎に小テストでは習ったことの定着を確認する。最低 2 時間程度の自宅学習を行うこと。 運動のできる服装で受講すること。体育館シューズ、グラウンドシューズの準備をする。 アクセサリはつけないで受講すること。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)~3)	学習指導要領の保健体育の目標と内容について理解する。 【体づくり運動①】体づくり運動の目標と内容について学修する。体ほぐし運動の目標と学習内容、指導の要点について理解する。				講義・演習	井 藤
2	1)~3)	【体づくり運動②】体づくり運動の目標と内容について学修する。体力を高める運動の目標と学習内容、指導の要点について理解する。 【器械運動】器械運動の目標と内容について学修する。器械運動の目標と学習内容、指導の要点について理解する。				講義・演習	井 藤
3	1)~3)	【陸上競技①】陸上競技の目標と内容について学修する。陸上競技の走運動の目標と学習内容、指導の要点について理解する。 【陸上競技②】陸上競技の目標と内容について学修する。陸上競技の跳運動・投運動の目標と学習内容、指導の要点について理解する。				講義・演習	井 藤
4	1)~3)	【水泳】水泳の目標と内容について学修する。水泳の目標と学習内容、指導の要点について理解する。 【球技①】ゴール型球技の目標と内容について学修する。ゴール型球技の目標と学習内容、指導の要点について理解する。				講義・演習	井 藤
5	1)~3)	【球技②】ネット型球技の目標と内容について学修する。ネット型球技の目標と学習内容、指導の要点について理解する。 【球技③】ベースボール型球技の目標と内容について学修する。ベースボール型球技の目標と学習内容、指導の要点について理解する。				講義・演習	井 藤
6	1)~3)	【武道①】武道の目標と内容について学修する。武道の目標と学習内容、指導の要点について理解する。 【ダンス】ダンスの目標と内容について学修する。武道の目標と学習内容、指導の要点について理解する。				講義・演習	井 藤
7	1)~3)	【体育理論①】運動やスポーツの多様性について学修する。運動やスポーツが多様であることについて理解する。 【体育理論②】運動やスポーツの意義や効果、学び方、安全な行い方について学修する。運動やスポーツによる身体的・精神的・社会的効果、学び方や安全な行い方について理解する。				講義・演習	井 藤
8	1)~3)	【体育理論③】文化としてのスポーツについて学修する。文化としてのスポーツの意義、オリンピック、パラリンピックなどの役割について理解する。 【健康な生活と疾病の予防①】健康と疾病について学修する。健康と疾病に対する主体的要因と環境要因の関わりについて理解する。				講義・演習	井 藤
9	1)~3)	【健康な生活と疾病の予防②】健康の保持増進について学修する。健康の保持増進には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要なことを理解する。 【健康な生活と疾病の予防③】喫煙、飲酒、薬物乱用について学修する。喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為の心身への影響、これらの行為へは人間関係や社会環境が影響していることを理解する。				講義・演習	井 藤
10	1)~3)	【健康な生活と疾病の予防④】感染症について学修する。感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることにより予防できることを理解する。 【健康な生活と疾病の予防⑤】健康の保持増進や疾病の予防に対する個人や社会の取り組みについて学修する。保健・医療機関の有効活用、正しい医薬品の使用について理解する。				講義・演習	井 藤
11	1)~3)	【心身の機能の発達と心の健康①】身体の発育と機能の発達について学修する。身体の発育や機能の発達の時期、その個人差について理解する。 【心身の機能の発達と心の健康②】思春期における機能の変化について学修する。思春期における生殖機能の成熟と成熟に伴う変化に対応した適切な行動について理解する。				講義・演習	井 藤
12	1)~3)	【心身の機能の発達と心の健康③】精神機能の発達と思春期における自己形成について学修する。知的機能、情意機能、社会性などの精神機能の発達と思春期における自己形成について理解する。 【心身の機能の発達と心の健康④】精神と身体に関わり、欲求やストレスについて学修する。精神と身体が相互に関わりがあること、欲求やストレスの心身への影響と適切な対処法について学習する。				講義・演習	井 藤

13	5)6)7)	【障害の防止①】交通事故や自然災害による傷害の防止について学修する。交通事故や自然災害などによる傷害への人的要因と環境要因などの関わりを理解する。 【障害の防止②】交通事故などによる障害について学修する。交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できることを理解する。	講義・演習	井 藤
14	1)~3)	【障害の防止①】交通事故や自然災害による傷害の防止について学修する。交通事故や自然災害などによる傷害への人的要因と環境要因などの関わりを理解する。 【障害の防止④】応急手当と心肺蘇生法について学修する。適切な応急手当と心肺蘇生法について理解する。	講義・演習	井 藤
15	1)~3)	【健康と環境①】身体对环境に対する適応能力について学修する。身体对环境に対する適応能力、快適で効率のよい生活のための温度、湿度や明るさの範囲について理解する。 【健康と環境②】飲料水や空気と健康のかかわりについて学修する。衛生的な飲料水や空気の管理、廃棄物の処理について、理解する。	講義・演習	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1196-2】 高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1202-0】 上記については教育実習を希望する校種のものを必ず購入すること		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし		

科目名	道徳教育の指導法			授業コード	140024B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	14C232T03	AL 科目	○
担当者	衣笠 高広 (福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	教 職	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	道徳教育の本質、学習指導要領における道徳教育の目標と内容、現代社会と道徳教育をめぐる諸問題、わが国における道徳教育の歴史、道徳性の発達と道徳教育の課題などについて学ぶ。これをふまえて道徳教育の諸課題について理解し、道徳教育の理念と目的、内容と方法、および道徳授業の教材と指導法について基礎的知識を得る。また、指導案作成と模擬授業を通して、授業の在り方を体験的に学ぶ。これらをとおして、道徳教育とは何か、子どもたちに道徳性を育てるにはどのような課題に取り組むべきかについての理解を深め、道徳授業の実践力を養う。						
学修目標	1) 道徳教育の理念と目的および学習指導要領における道徳教育の目標と内容について理解している。 2) 道徳教育をめぐる歴史および現代社会における道徳教育の諸問題について理解している。 3) 子どもの道徳性の発達の特質について理解している。 4) 道徳授業の教材と指導法について理解し、指導案を構想するとともに道徳科模擬授業ができる。						
実務経験のある 教員による教育	道徳科の模擬授業						
評価方法	成績評価は、2 回のレポートの成績(各 20 点満点)と指導案作成の課題(30 点満点)および模擬授業課題(30 点満点)をもとに行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	(1)1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。 (2)授業ではテキストを用いるほか、レジュメや資料を配布するので、これらをもとに復習すること。 (3)演習では、指導案を作成し、模擬授業を行うことから、教材研究・教具準備をしておくこと。						
オフィスアワー	時間割決定後、研究室 416 の研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	【現代社会と道徳教育(1)】 人びとがどのような道徳性を身につけるかは、社会のありようによって規定されることを理解し、この点で現代社会にどのような問題があるかを考える。				講 義	衣 笠
2	1)2)	【現代社会と道徳教育(2)】 学習指導要領に示されているように、学校での道徳教育は道徳の授業だけでなく、学校の教育活動全体をとおして行うことが大切であることを理解する。				講 義	衣 笠
3	2)	【道徳教育の歴史的展開(1)】 明治、大正、昭和戦前期の道徳教育の歴史を概観し、道徳教育が国家主義と結びつくとき、そこにどのような問題が生ずるかを理解する。				講 義	衣 笠
4	2)	【道徳教育の歴史的展開(2)】 戦後教育改革のなかで道徳教育においても憲法と教育基本法によって新しい理念が示されたこと、その後それはどのように実現され、あるいはどのような問題が残されているかを理解する。				講 義	衣 笠
5	2)	【道徳教育の理念と目的(1)】 道徳は法と同様に社会規範の一つであるが、法とは違って個々人の良心によって支えられるものであり、したがって道徳教育の内容は教科のようには一義的に確定できない点に特徴があることを理解する。				講 義	衣 笠
6	1)	【道徳教育の理念と目的(2)】 道徳は良心によって支えられるものであることから、道徳教育は既存の価値を教えるのではなく、自主的な価値判断の能力を育てることが重要であることを理解する。				講 義	衣 笠
7	3)	【道徳性の発達と教育(1)】 子どもはどのように道徳性を身につけていくか、その発達の筋道について、フロイトとアジェの理論をもとに学ぶ。				講 義	衣 笠
8	3)	【道徳性の発達と教育(2)】 道徳性の発達に関するコールバーグの理論の特質と限界について学び、道徳性の発達の観点から、道徳教育を充実させるにはどのような課題に取り組むことが求められるかについて理解する。				講 義	衣 笠
9	4)	【学習指導要領と道徳教育】 学習指導要領では道徳教育がどのように位置づけられているかを理解し、「特別の教科・道徳」を要としつつ、学校の教育活動全体を通じて行われることを理解する。				講 義	衣 笠
10	4)	【道徳科授業の実際(1)】 道徳科授業の実践事例をもとに、道徳科授業のねらいや内容、指導の展開について、具体的に理解する。				演 習	衣 笠
11	4)	【道徳科授業の実際(2)】 道徳科授業の実践事例をもとに作成した指導案を検討し、指導案作成の視点を理解する。				演 習	衣 笠
12	4)	【道徳科授業の実際(3)】 道徳科授業の指導案をもとに、授業を構想する。				演 習	衣 笠
13	4)	【道徳科授業の実際(4)】 道徳科の模擬授業を行い、授業の在り方について検討する。				演 習	衣 笠
14	4)	【道徳科授業の実際(5)】 道徳科の模擬授業を行い、授業の在り方についてより深く検討する。				演 習	衣 笠
15	4)	【道徳科授業の実際(4)】 道徳科授業を行う際の視点、留意点等について理解することを通して道徳授業の実践力を養う。				演 習	衣 笠
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		『道徳教育 改訂2版(教師教育テキストシリーズ)』(井ノ口淳三編)学文社 【ISBN-10: 4762030031／ISBN-13: 978-4762030031】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	介護等体験			授業コード	140037A101	単位数 (時間数)	1 単位 (45)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C232T04	AL 科目	○
担当者	井藤 英俊(福・ス) 清水 径子(福・福)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	小中学校教諭免許状取得希望者は必修	授業形態	講義, 実習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	平成 9 年の「小中学校及び中学校の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例に関する法律」の制定により、小中学校の教諭免許状を取得しようとする者は、社会福祉施設等において障害者や高齢者等に対する介護や介助、交流等の体験が義務づけられた。 その目的は将来の社会を担う児童生徒を教育する教員志望者が、これらの体験を通して個人の尊厳や社会連帯の理念に関する認識を深めることにより、教員としての資質向上を図り、義務教育の充実を期することを目標とする。						
学修目標	1) 介護等体験の意義・目的を理解する。 2) 社会福祉施設の概要や活動内容を把握し、円滑に体験出来るように準備を整える。 3) 体験を通して、人の心の痛みがわかる人づくり、各人の価値観の相違を認められる心を持った人づくりができるようになり、自分を成長させ、教育現場に活かす意識を身に付ける。 4) 教員になるという目的意識を明確にする。						
実務経験のある 教員による教育	担当の井藤は、中学校や特別支援学校での勤務経験を有し、 講師(清水)は、介護等体験を受け入れていた福祉現場での経験を活かして、ガイダンスを行う。						
評価方法	「介護等体験記録」の記入状況を 8 割、事前・事後の指導への取り組み状況を 2 割として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	(1) 1 年次に下記の科目を修得しておくこと。 「QOLと人間の尊厳」、「コミュニケーション論」の 2 科目に加えて、「ボランティア活動」・「社会福祉の原理と政策Ⅰ」、「社会福祉の原理と政策Ⅱ」・「ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ」・「ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ」のうち、2 科目以上、合計 4 科目以上の単位を修得しておく。 (2) 介護等体験の目的・意義を踏まえ、福祉について理解しておく。 (3) 福祉施設について事前に学習し、理解しておく。 (4) 体験先と大学とは異なる自分の立場を考える。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	(1),(2)	介護等体験の法的位置づけ、意義、目的				講 義	井 藤
2	1)2)3) 4)	介護等体験に臨む姿勢、留意点(健康管理, 予防接種, 保険等)				講 義	井 藤
3	1)2)3) 4)	福祉施設の種類と利用者への理解、体験への手続き方法				講 義	井 藤
4	1)2)3) 4)	体験前のガイダンス…体験施設の役割や特性の確認, 社会人, 組織人としてのマナー, 服装, 準備する物等				講 義	清水, 井藤
5	1)2)3) 4)	施設での体験実習				体験実習	井 藤
6	1)2)3) 4)	施設での体験実習				体験実習	井 藤
7	1)2)3) 4)	施設での体験実習				体験実習	井 藤
8	1)2)3) 4)	施設での体験実習				体験実習	井 藤
9	1)2)3) 4)	施設での体験実習				体験実習	井 藤
10	1)2)3) 4)	施設での体験実習				体験実習	井 藤
11	1)2)3) 4)	施設での体験実習				体験実習	井 藤
12	1)2)3) 4)	施設での体験実習				体験実習	井 藤
13	1)2)3) 4)	施設での体験実習				体験実習	井 藤
14	1)2)3) 4)	事後指導(礼状の書き方, 発送, 今後の手続き等), 教員採用試験等に向けての心構え				講 義	井 藤
15	1)2)3) 4)	『介護等体験記録』をもとに、介護等体験記録のフィードバック。				講 義	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		現代教師養成研究会編『教師をめざす人の介護等体験ハンドブック 五訂版』大修館書店、2020 年。 ISBN-10? :?4469268763					

科目名		社会学			授業コード	110075B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・動物生命薬科学科・臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	14C121P01	AL 科目	○
担当者		山本 順之(福・ス)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.		社会福祉分野で職業活動に従事し、福祉社会の創造的な担い手となるうえで必要となる、社会および人びとの社会生活を理解し、これらの事象を洞察する能力を習得する。グループワークを活用し、身近な現象をもとに理論を説明する。						
学修目標		1) 人びとの生活営為を社会のありように結びつけて説明できる。 2) 個人と社会の関係を説明できる。 3) 社会集団と組織の構造と機能のについて説明できる。 4) 家族を社会事象として説明できる。 5) 社会問題や逸脱問題を分析し、説明できる。 6) 社会学における主な社会理論を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		特になし						
評価方法		学期末試験および授業への取組み姿勢を総合的に評価する。 定期試験(60%)課題(レポート・小テスト等)(20%) 講義内における総合的姿勢(20%)						
準備学習・ 履修上の注意等		毎回の授業終了後に、教科書および授業時に配布する課題を 3 時間(授業全体で 45 時間)以上熟読し、復習すること。						
オフィスアワー		月曜日2限、火曜日2限						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	社会システムの概念及び社会と文化を理解する。					講 義	山 本
2	1)	社会階級と社会階層の概念及び現代社会の階層構造を理解する。					講 義	山 本
3	1)	社会変動の概念及び近代化、産業化、都市化、情報化について理解する。					講 義	山 本
4	1)	現代社会の人口構造及び少子高齢化の現状その他の人口問題を理解する。					講 義	山 本
5	1)	地域、コミュニティの概念及び都市化と現代の地域社会の諸問題を理解するを理解する。					講 義	山 本
6	2)	社会的行為と社会的相互行為について理解する。					講 義	山 本
7	2)	社会的地位と役割の概念を理解する。					講 義	山 本
8	3)	社会集団の概念及び社会集団の諸類型を理解する①。					講 義	山 本
9	3)	社会集団の概念及び社会集団の諸類型を理解する②。					講 義	山 本
10	3)	組織と官僚制について理解する。					講 義	山 本
11	4)	家族の概念及び家族の類型と形態、機能等について理解する。					講 義	山 本
12	5)	社会病理と逸脱について理解する。					講 義	山 本
13	5)	社会的逸脱に関する諸理論について理解する。					講 義	山 本
14	6)	A.コト、H.スペンサー、M.ウェーバー、K.マルクス等の社会理論を理解する。					講 義	山 本
15	6)	E.ディルケーム、G.ジンメル、テンニース等の社会理論を理解する。					講 義	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		社会学と社会システム (一般社団法人ソーシャルワーク教育学校連盟 編集) 中央法規出版【978-4-8058-8233-7】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		授業で参考文献等を提示する。						

科目名	依存症の理解と支援			授業コード	121768B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14C122P06	AL 科目	○
担当者	西田美香(スポ)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD・実習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	本講義は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。依存症の問題は、医療、福祉、教育、地域、司法等、幅広い領域での検討が求められている。また、依存症の予防や早期発見・早期介入に加え、社会における依存症の正しい理解の普及が喫緊の課題となっている。依存症への誤った理解は社会における偏見や差別につながり、依存症の回復をより一層困難なものとする。本講義では、依存症に関する基礎知識を修得するとともに、回復への支援や地域社会への啓蒙活動の在り方について修得する。さらに、依存症に対する国際社会の理解および対策について修得する。DP①③④						
学修目標	1) 依存症の基礎知識を修得し説明できる。 2) 依存症支援について理解し、相談機関や相談方法、および具体的支援内容について説明できる。 3) 依存症の予防で重要なポイントを理解し説明できる。 4) 依存症当事者の体験から、より良く生きるためのヒントを抽出できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床現場(緩和ケア病棟におけるソーシャルワーク・医療機関における看護)での 6 年以上の実務経験を有している。また、2012 年よりアルコール依存症者のレジリエンスに関する研究を行っている。臨床現場での実務経験およびアルコール依存症に関する研究成果から、依存症の現状や課題、支援のあり方について具体的な理解を促す。						
評価方法	学習への取り組み姿勢(レポートなど課題提出、質問・発言など授業への積極的参加)の評価を 70%、筆記試験を 30%として総括的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	依存症に対する正しい知識の習得を目指すとともに、依存症回復者から学ぶという誠実な姿勢で学習に取り組むこと。						
オフィスアワー	火・木・金曜日 12:30～13:00 場所 B-411						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	依存症の基礎知識①(依存の構造と類型)				講義・SGD	西 田
2	1)	依存症の基礎知識②(精神作用物質とは・依存と乱用と使用障害)				講義・SGD	西 田
3	1)	依存症の基礎知識③(自己治療仮説と国際社会の動向)				講義・SGD	西 田
4	1)	依存症の基礎知識④(否認の構造と社会問題)				講義・SGD	西 田
5	1)2) 3)	依存症の基礎知識⑤(予防と支援)				講義・SGD	西 田
6	1)2) 3)	依存症支援の実際①(専門職の立場から)				講義・SGD	外部講師・西田
7	1)2) 3)	依存症支援の実際②(専門職の立場から)				講義・SGD	外部講師・西田
8	4)	当事者の声①(断酒会会員)				講義・SGD	外部講師・西田
9	4)	当事者の声②(AA メンバー)				講義・SGD	外部講師・西田
10	4)	当事者家族の声				講義・SGD	外部講師・西田
11	2)4)	自助グループ活動の理解①				実 習	西 田
12	2)4)	自助グループ活動の理解②				実 習	西 田
13	2)	専門病院見学研修①				実 習	西 田
14	2)	専門病院見学研修②				実 習	西 田
15	1)～ 4)	依存症の理解と支援(まとめ)				講義・SGD	西 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		指定なし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		指定なし					

科目名	介護の基本Ⅰ			授業コード	120189B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14C121P06	AL 科目	○
担当者	清水 径子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	介護の仕事内容や多様な介護サービスを学び、介護の現場の実際を理解する(DP2,3)(CP1)。また、利用者の「尊厳の保持」、「自立支援」の考え方を理解するとともに、介護職員がどのような視点で介護を行っているかなどの基本的な介護の知識・技術を修得する(DP1)。						
学修目標	1)介護職員初任者研修について理解する。 2)介護職が行うサービスや仕事内容を説明できる。 3)高齢者疑似体験を通して、高齢者の困りごとを列挙できる。 4)尊厳の保持・自立支援などのキーワードについて説明することができる。 5)介護職員の仕事内容や視点などを学び、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、介護福祉士・社会福祉士の有資格者として、5 年以上の実務経験を基に、介護職員初任者研修に求められる知識、技術について講義する。						
評価方法	各回の授業で学習内容の確認テストを行い、学習成果を確認する。 講義時間をすべて満たした上で、学習への取り組み姿勢(確認テスト、課題の提出、授業での発言や質問)を 20%、単位認定試験を 80%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	介護職員初任者研修の修了を希望する場合は必修。 授業テキストは必ず持参し、該当ページを読んでくること。 欠席や遅刻、早退などがある場合は、研修時間に満たない内容が含まれるため、単位認定できない場合がある。 毎授業後、確認テストなどの復習、次回の授業内容の予習プリントを 1 時間程度行うこと。						
オフィスアワー	研究室(B-533)前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション 職務の理解 初任者研修と仕事内容				講 義	清 水
2	2)	職務の理解 多様なサービスの理解				講義・演習	清 水
3	2)	職務の理解 多様なサービスの理解				講義・演習	清 水
4	2)	職務の理解 介護職の仕事内容や働く現場の理解				講義・演習	清 水
5	3)	介護における尊厳の保持・自立支援 高齢者疑似体験				演 習	清 水
6	4)	介護における尊厳の保持・自立支援 権利擁護と人権尊重				講義・演習	清 水
7	4)	介護における尊厳の保持・自立支援 ICF				講義・演習	清 水
8	4)	介護における尊厳の保持・自立支援 QOL・ノーマライゼーション				講義・演習	清 水
9	4)	介護における尊厳の保持・自立支援 虐待防止				講義・演習	清 水
10	4)	介護における尊厳の保持・自立支援 自立に向けた介護 自立支援				講義・演習	清 水
11	4)	介護における尊厳の保持・自立支援 自立に向けた介護 介護予防				講義・演習	清 水
12	4)5)	介護の基本 介護職の役割、専門性と他職種との連携				講義・演習	清 水
13	4)5)	介護の基本 介護職の職業倫理				講義・演習	清 水
14	4)5)	介護の基本 介護における安全の確保とリスクマネジメント				講義・演習	清 水
15	4)5)	介護の基本 介護職の安全				講義・演習	清 水
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		介護職員初任者研修テキスト第1巻 介護のしごとの基礎 第4版(中央法規)【978-4-8058-8481-3】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	介護の基本Ⅱ			授業コード	120190B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14C122P08	AL 科目	○
担当者	清水径子(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	介護福祉士として、利用者の「尊厳の保持」「自立支援」という新しい介護の考え方を理解するとともに「介護を必要とする人」を生活の観点から捉えることができるようになる。また介護サービスを提供する対象、場によらず、あらゆる介護場面に汎用できる基本的な介護の知識・技術を修得する。(DP4.CP3.4)						
学修目標	1) 介護福祉士の役割と機能を理解し説明ができる。 2) 生活とはなにか、自分たちの生活や家族の生活を深くみつめ、様々な生活の違いがあることを理解する。 3) 高齢者や障害をもった人たちの暮らしについて理解できる。 4) 高齢者の生きてきた時代背景を調べ、説明できる。 5) 利用者の生活環境を整えるためには何が必要か、どのような制度が関わっているのかを理解する。 6) 日常生活習慣が障害されるという観点から、具体的に何が生活障害になっているのかを考察し説明ができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、介護福祉士・社会福祉士の有資格者として、5 年以上の実務経験を基に、介護職員初任者研修に求められる知識、技術について講義する。						
評価方法	各回の授業で学習内容の確認テストを行い、学習成果を確認する。 講義時間を満たした上で、学習への取り組み姿勢(確認テスト、課題の提出、授業での発言や質問)を 20%、単位認定試験を 80%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	介護職員初任者研修の修了を希望する場合は必修。 授業テキストは必ず持参し、該当ページを読んでくること。 欠席や遅刻、早退などがある場合は、研修時間に満たない内容が含まれるため、単位認定できない場合がある。 毎授業後、確認テストなどの復習、次回の授業内容の予習プリントを 1 時間程度行うこと。						
オフィスアワー	研究室(B-533)前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 介護の基本 介護にかかわる専門職				講 義	清 水
2	1)	介護の基本 感染対策				講 義	清 水
3	1)2)	介護の基本 車いす体験				演 習	清 水
4	1)2)	介護の基本 介護環境の特徴(施設見学先の下調べ)				講義・演習	清 水
5	3)	職務の理解 施設見学				施設見学	清 水
6	3)	職務の理解 施設見学				施設見学	清 水
7	1)3)	職務の理解 施設見学のまとめ				演 習	清 水
8	4)	介護におけるコミュニケーション				講義・演習	清 水
9	4)5)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 利用者・家族とのコミュニケーション				講義・演習	清 水
10	5)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 視覚障害				講義・演習	清 水
11	5)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 聴覚障害				講義・演習	清 水
12	5)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 失語症				講義・演習	清 水
13	5)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 認知症				講義・演習	清 水
14	5)	介護におけるチームのコミュニケーション 記録・ホウレンソウ				講義・演習	清 水
15	5)	介護におけるチームのコミュニケーション 会議				講義・演習	清 水
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		※介護の基本Ⅰ(前期)と同様のテキストを使用します。 介護職員初任者研修テキスト第1巻 介護のしごとの基礎 第4版(中央法規)【978-4-8058-8481-3】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		救急対応 I			授業コード	121795B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14C122P09	AL 科目	○
担当者		神田 潤一(福・ス)、佐々木 さはら(福・ス)、米川 正悟(非常勤)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義、実習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		本科目では、JSPO-AT の役割における「救急対応」の位置づけを理解したうえで、医療資格保持者に引き継ぐための現場で出来る最高レベルの救急対応ができる実践的な知識、態度や技術を習得することをねらいとする。合わせて、スポーツ活動現場における救急対応の特性と意義を理解することをねらいとする。						
学修目標		1)スポーツ現場における救急対応の重要性やその体制構築における JSPO-AT の役割について説明できる。 2)救急対応を実施する際に必要な正しい知識と倫理、法的留意点について説明できる。 3)スポーツ活動現場における救急体制構築や緊急時対応計画の立案に必要な要素、具体的な立案方法について説明できる。 4)緊急性を判断するための的確な方法を活用し、JSPO-AT の役割における救急対応が実践できる。 5)重症度や外傷、内科的疾患に応じた救急対応が実践できる 6)競技・種目特性に応じた緊急時対応計画の計画や救急対応が実践できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者の神田・佐々木はアスレティックトレーナーとして、米川はスポーツドクターとして実務経験を有する						
評価方法		定期試験(50%)、実技試験(50%)により評価する 基準については授業開始日に説明する						
準備学習・ 履修上の注意等		技術習得のための理解が必須ですので、予習・復習を必ず行うこと						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	スポーツ現場と救急対応					講 義	神田/佐々木
2	2)	救急対応の考え方					講 義	神田/佐々木
3	3)	スポーツ活動現場における救急体制構築の留意点と計画					講 義	神田/佐々木
4	3)	スポーツ活動現場における救急体制構築の留意点と計画					実 習	神田/佐々木
5	4)	スポーツ現場での外傷、障害の評価とその手順					講 義	神田/佐々木
6	4)	スポーツ現場での外傷、障害の評価とその手順					実 習	神田/佐々木
7	4)5)	スポーツ外傷に対する救急対応					講 義	神田/佐々木
8	4)5)	スポーツ外傷に対する救急対応					講 義	神田/佐々木
9	4)5)	スポーツ外傷に対する救急対応					実 習	神田/佐々木
10	4)5)	スポーツ外傷に対する救急対応					実 習	神田/佐々木
11	4)5)	スポーツ外傷に対する救急対応					講 義	米 川
12	4)5)	スポーツ外傷に対する救急対応					実 習	米 川
13	4)5)	内科的疾患に対する救急対応					講 義	米 川
14	4)5)	内科的疾患に対する救急対応					講 義	米 川
15	6)	各競技における救急体制の実際					講 義	神田/佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑤(日本スポーツ協会)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			授業開始日に説明する					

科目名		人体の解剖と機能 I			授業コード	121796B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14C122P10	AL 科目	○
担当者		神田潤一(福・ス)、佐々木さはら(福・ス)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		本科目では、骨の部位や名称、その骨に関わる関節の構造や働きを理解し、その関節を動かす筋の名称、起始(付着)・停止や神経支配について学び、スポーツ動作のメカニズムを理解する際の基礎知識の習得をねらいとする。						
学修目標		1)骨、骨の各部位の名称を説明できる。 2)関節を定義し、関節の構造が関節の働きを決めている理由を説明できる。 3)関節の構造と機能の分類を説明できる。 4)筋の起始と停止、作用を説明できる。 5)身体における代表的な骨、関節、靱帯、筋・腱の特定が実践できる。 6)スポーツにおける基本動作(走跳投打)を解剖学的に説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者(神田・佐々木)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるよう な授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法		定期試験により評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		バイオメカニクスを合格した者が受講可能。 予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回 数	学修 目 標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)	人体の解剖と機能について(概論)					講 義	神田/佐々木
2	1)2)3)	体幹に関わる関節					講 義	神田/佐々木
3	1)2)3) 5)	体幹に関わる関節(触診)					講 義	神田/佐々木
4	4)	体幹に関わる筋					講 義	神田/佐々木
5	4)5)	体幹に関わる筋(触診)					講 義	神田/佐々木
6	6)	スポーツにおける基本動作と体幹の関わり					講 義	神田/佐々木
7	6)	スポーツにおける基本動作と体幹の関わり					講 義	神田/佐々木
8	5)6)	まとめ(体幹)					講 義	神田/佐々木
9	1)2)3)	上肢に関わる関節					講 義	神田/佐々木
10	1)2)3) 5)	上肢に関わる関節(触診)					講 義	神田/佐々木
11	4)	上肢に関わる筋					講 義	神田/佐々木
12	4)5)	上肢に関わる筋(触診)					講 義	神田/佐々木
13	6)	スポーツにおける基本動作と上肢の関わり					講 義	神田/佐々木
14	6)	スポーツにおける基本動作と上肢の関わり					講 義	神田/佐々木
15	5)6)	9-14 のまとめ					講 義	神田/佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			共通科目リファレンスブック					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			目で見える動きの解剖学(大修館書店) 身体運動学(MEDICAL VIEW) 基礎運動学(医歯薬出版) 筋骨格系のキネシオロジー(医歯薬出版)					

科目名		スポーツ教育現場実習Ⅰ			授業コード	121850A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14C123P01	AL 科目	○
担当者		井藤 英俊(福・ス) 衣笠 高広(福・ス)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択		授業形態	講義, 実習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		現在の学校教育現場を取り巻く環境は厳しいものがあり、そこで働く教員には様々な資質・能力が求められている。 宮崎県教育委員会は、教職希望者を対象として早い段階から学校や子どもの状況を知り、教員の業務に対する理解や子どもとのコミュニケーションを図る機会を提供することを目的として「スクールトライアル事業」を展開している。 「スポーツ教育現場実習Ⅰ」は、宮崎県教育委員会の「スクールトライアル事業」への参加を条件とする。						
学修目標		1) 学校インターンシップの意義・目的を理解する。 2) 体験校との日程調整を通して、体験校について理解し、円滑に体験できるように準備を整える。 3) 体験を通して、学校や子どもの状況を知り、教員の業務に対する理解や子どもとのコミュニケーションができるようになる。 4) 教員になるという目的意識を明確にする。						
実務経験のある 教員による教育		担当の井藤は、中学校や高等学校、特別支援学校での勤務経験を有する。 担当の衣笠は、小学校や教育行政における現場での勤務経験を有する。						
評価方法		『スポーツ教育現場実習記録』の記入状況を 8 割, 事前・事後の指導への取り組み状況を 2 割として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		(1) 宮崎県教育委員会が実施する「スクールトライアル事業」(学校インターンシップ)の目的を理解し、学校推薦に申し込みしておくこと。 (2) 宮崎県教育委員会が実施する「スクールトライアル事業」(学校インターンシップ)のオリエンテーションに参加し、事業の目的と事業の流れを理解しておくこと。 (3)「スクールトライアル事業」(学校インターンシップ)の体験校と連絡をとり、日程調整を行うこと。 (4)「スクールトライアル事業」(学校インターンシップ)の学校体験者の遵守事項を十分に理解し、順守すること。						
オフィスアワー		時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	(1),(2)	「スクールトライアル事業」(学校インターンシップ)の意義と目的の理解					講 義	井藤・衣笠
2	1)2)3) 4)	「スクールトライアル事業」(学校インターンシップ)に臨む姿勢、留意点(健康管理, 保険等)					講 義	井藤・衣笠
3	1)2)3) 4)	宮崎県教育委員会オリエンテーション…体験の意義や目的、事業の流れの理解					オリエンテーション	井藤・衣笠
4	1)2)3) 4)	学校での体験実習					体験実習	井藤・衣笠
5	1)2)3) 4)	学校での体験実習					体験実習	井藤・衣笠
6	1)2)3) 4)	学校での体験実習					体験実習	井藤・衣笠
7	1)2)3) 4)	学校での体験実習					体験実習	井藤・衣笠
8	1)2)3) 4)	学校での体験実習					体験実習	井藤・衣笠
9	1)2)3) 4)	学校での体験実習					体験実習	井藤・衣笠
10	1)2)3) 4)	学校での体験実習					体験実習	井藤・衣笠
11	1)2)3) 4)	学校での体験実習					体験実習	井藤・衣笠
12	1)2)3) 4)	学校での体験実習					体験実習	井藤・衣笠
13	1)2)3) 4)	学校での体験実習					体験実習	井藤・衣笠
14	1)2)3) 4)	学校での体験実習					体験実習	井藤・衣笠
15	1)2)3) 4)	事後指導(礼状の書き方, 発送, 今後の手続き等), 教員採用試験等に向けての心構え 『スポーツ教育現場実習記録』をもとに、体験記録のフィードバック。					講 義	井藤・衣笠
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	人体構造学			授業コード	121780B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14L121P01	AL 科目	該当なし
担当者	西園与之(福・ス)、白川 透(非常勤)、長谷川瑛一(非常勤)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	人体の構造と機能は、救急救命士にとって人の命を守るためにも、医学領域としてはじめに身につけるべき最も重要な医学基礎である。本講義では、人のカラダを器官系に分けて解説し、得られた知識を基に分解された人体を自ら再び一個の人体として再構築する能力を養いその構造と機能を理解して説明 できることを目的とする。						
学修目標	1)細胞の構造と人体を構成する組織および器官系について説明できる。 2)体表からみた人体の構造と名称を説明できる。 3)脳、脊髄の構造と機能を説明できる。 4)感覚系の概要を説明できる。 5)呼吸系の構成と役割を説明できる。 6)心臓の構造、冠循環・血管・リンパ管の構造と機能を説明できる。 7)消化系の構成と役割を説明できる。 8)生殖系の役割と機能を説明できる。 9)血液成分、血液系の機能を説明できる。 10)筋・骨格系の構造機能を説明できる。 11)栄養素の役割と生命を維持する仕組みを説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、医療機関での看護師および消防職の救急救命士としての実務経験に基づき、授業を行う。						
評価方法	授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、質問・発言などの授業への参加態度)の評価を 20%及び学期末の単位認定試験を 80%として、総括的に単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	シラバスに示す講義内容に該当する箇所を確認し、1週間当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。不明な事項については調べ、基礎知識を身に付けた上で講義に臨むこと。解決できないものについては、積極的に質問して解決し、内容を理解すること。						
オフィスアワー	曜日・時間については、決定後に研究室入り口に掲示します。確認してください。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	ガイダンス:講義の進め方、受講の心構えなどについて説明する。 人体の構造の概略について説明する。				講 義	西園与之
2	1)2)	体表からみる人体の構造について説明する。				講 義	白川 透
3	1)2)3)	神経系の構造について説明する。				講 義	白川 透
4	1)2)4)	感覚系の構成と役割について説明する。				講 義	白川 透
5	1)2)5)	呼吸系の構造と各部名称について説明する。				講 義	白川 透
6	1)2)6)	循環系の構造と各名称について説明する。				講 義	白川 透
7	1)2)7)	消化系の構造と各部名称について説明する。				講 義	白川 透
8	1)2)8)	生殖系の構造と役割について説明する。				講 義	長谷川瑛一
9	1)2)9)	血液系の機能について説明する。				講 義	白川 透
10	1)2)10)	筋・骨格系の構造と機能、名称について説明する。				講 義	白川 透
11	1)11)	生命の維持、栄養と代謝について説明する。				講 義	長谷川瑛一
12	1)～ 11)	人体の構造についてまとめる。				講 義	西園与之
13	1)2)3) 4)	神経系・感覚系の構造についてまとめる。				講 義	西園与之
14	1)2)5)	呼吸器系・循環器系についてまとめる。				講 義	西園与之
15	1)～ 11)	消化系、筋・骨格系についてまとめる。				講 義	西園与之
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		ぬりえで学ぶヒトのからだ(佐藤達夫 監修、安田康晴 著)ぱーそん書房【978-4-907095-02-4】 改訂第 10 版 救急救命士標準テキスト(救急救命士標準テキスト編集委員会)へるす出版【978-4-89269-997-9】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なるほど なっとく解剖生理学 (多久和典子・多久和陽 著)南山堂 人体の構造と機能第 4 版 (エレインN.マリーブ 著)医学書院					

科目名	人体機能学			授業コード	121781B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14L121P02	AL 科目	該当なし
担当者	西園与之(福・ス)、白川透(非常勤)、長谷川瑛一(非常勤)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	講義
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	人体の構造と機能は、救急救命士にとって人の命を守るためにも、医学領域としてはじめに身につけるべき最も重要な医学基礎である。本講義では、人のカラダを器官系に分けて解説し、得られた知識を基に分解された人体を自ら再び一個の人体として再構築する能力を養いその構造と機能を理解して説明 できることを目的とする。						
学修目標	1) 身体を構成を理解できる。 2) 細胞の構造を説明できる。 3) 神経細胞の構造と機能を説明できる。 4) 呼吸系の構造と役割を説明できる。 5) 循環系を構成する器官と機能を説明できる。 6) 消化系を構成する器官と機能を説明できる。 7) 泌尿系を構成する器官と機能を説明できる。 8) 内分泌の器官と機能を説明できる。 9) 免疫系の役割を説明できる。 10) 皮膚の構造と機能を説明できる。						
実務経験のある教員による教育	科目担当者は、医療機関での看護師および消防職の救急救命士としての実務経験に基づき、授業を行う。						
評価方法	授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、質問・発言などの授業への参加態度)の評価を 20%及び学期末の単位認定試験を 80%として、総括的に単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・履修上の注意等	シラバスに示す講義内容に該当する箇所を確認し、1週間当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。不明な事項については調べ、基礎知識を身に付けた上で講義に臨むこと。解決できないものについては、積極的に質問して解決し、内容を理解すること。						
オフィスアワー	曜日・時間については、決定後に研究室入り口に掲示します。確認してください。						
授業計画							
回数	学修目標 No.	授 業 内 容				授業方法	担当
1	1)	ガイダンス:講義の進め方、受講の心構えなどについて説明する。 人体の機能の概略について説明する。				講義	西園与之
2	1)2)	人体を構成する要素について説明する。				講義	白川透
3	1)3)	神経系の役割について説明する。				講義	白川透
4	1)4)	呼吸系の役割について説明する。				講義	白川透
5	1)5)	循環系を構成する器官と役割について説明する。				講義	白川透
6	1)6)	消化系を構成する器官と役割について説明する。				講義	白川透
7	1)7)	泌尿系を構成する器官と役割について説明する。				講義	長谷川瑛一
8	1)8)	内分泌の器官と役割について説明する。				講義	白川透
9	1)9)	免疫系の役割について説明する。				講義	白川透
10	1)10)	皮膚を構成する構造と機能について説明する。				講義	長谷川瑛一
11	1)2)3)	身体を構成細胞と神経細胞の構造と機能についてまとめる。				講義	西園与之
12	1)2)4)	呼吸系の構造と機能についてまとめる。				講義	西園与之
13	1)2)5)	循環系の構造と機能についてまとめる。				講義	西園与之
14	1)2)6)	消化系の構造と機能についてまとめる。				講義	西園与之
15	1)～10)	泌尿・内分泌・免疫系の器官・機能・役割についてまとめる。				講義	西園与之
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		ぬりえで学ぶヒトのからだ(佐藤達夫 監修、安田康晴 著)ぱーそん書房【978-4-907095-02-4】 改訂第 10 版 救急救命士標準テキスト(救急救命士標準テキスト編集委員会)へるす出版【978-4-89269-997-9】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		生理学ワークブック (目崎登 監修、西川彰 著)医歯薬出版株式会社 【4-263-24279-7 C3047】 なるほど なっとく解剖生理学 (多久和典子・多久和陽 著)南山堂 人体の構造と機能第 4 版 (エレイン N.マリーブ 著)医学書院					

科目名	救急医学概論			授業コード	121802B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14L121P03	AL 科目	該当なし
担当者	西園与之(福・ス)、田中秀治(非常勤)、植田広樹(非常勤)	開講学期	2024 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	講義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	救急医療は、医療機関内だけで担われるものではない。特に病院前救護活動は、救急救命士に与えられた重要な役割であり、責任である。救急救命士は、救急医療を担う一員として専門的知識・技術と豊かな人間性及び高い倫理観を有する必要がある。 本授業では、救急業務を適切に遂行するための基本的知識として、救急医療体制の整備状況、災害医療体制、救急活動の流れ、救急事故種別に応じた対応要領、救急活動の現況、迅速な傷病者搬送と受け入れ体制に係わる関係法令、救急医療情報システム等について体系的に講義を行う。						
学修目標	1) 医療従事者として、医療の概念、医の倫理、科学的思考を説明できる。 2) 救急医療体制、病院前救護体制、災害医療体制を説明できる。 3) 救急搬送の現状について、その概要を説明できる。 4) 病院前医療体制の中で、救命の連鎖について、概念を理解し一次救命処置について説明できる。 5) 救急救命士の業務について、その概念を説明できる。 6) 傷病者搬送と受け入れ体制に係わる関係法令を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、医療機関での看護師および消防職の救急救命士としての実務経験に基づき、授業を行う。						
評価方法	授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、質問・発言などの授業への参加態度)の評価を 20%及び学期末の単位認定試験を 80%として、総括的に単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	シラバスに示す講義内容に該当する箇所を確認し、1週間当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。不明な事項については調べ、基礎知識を身に付けた上で講義に臨むこと。解決できないものについては、積極的に質問して解決し、内容を理解すること。						
オフィスアワー	曜日・時間については、決定後に研究室入り口に掲示します。確認してください。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	ガイダンス:講義の進め方、受講の心構えについて説明する。 病院前救護と救急業務の沿革について説明する。				講義	西園与之
2	1)	救急救命士の倫理、思考、活動について説明する。				講義	田中秀治
3	1)3)4)	市民による一次救命処置について説明する。				講義	植田広樹
4	2)3)5)	119 番受診と通信体制について説明する。				講義	植田広樹
5	2)3)5)	Dr ヘリ、Dr カーとの連携について説明する。				講義	西園与之
6	2)3)5)	救急隊の現場活動および救急活動記録について説明する。				講義	植田広樹
7	2)3)5)	救急活動における他の関係機関との連携について説明する。				講義	植田広樹
8	2)3)6)	救急医療体制:救急医療を構成する体制、救急告示病院について説明する。				講義	西園与之
9	2)3)6)	救急医療体制:周産期・精神科・小児の救急医療体制について説明する。				講義	西園与之
10	2)3)6)	救急医療体制:救急受け入れ体制、メディカルコントロールについて説明する。 救急医療情報センターと救急相談センターについて説明する。				講義	西園与之
11	1)2)3) 6)	救急医療体制、メディカルコントロール体制についてまとめる。				講義	田中秀治
12	2)3)	災害医療体制:災害の概念、定義について説明する。				講義	西園与之
13	2)3)6)	災害医療体制:災害に関する法律、災害拠点病院・DMAT・緊急消防援助隊の役割などについて説明する。				講義	西園与之
14	2)3)6)	災害医療体制:大規模災害、特殊災害について説明する。				講義	西園与之
15	2)3)6)	災害医療体制:多数傷病者対応、トリアージについて説明する。				講義	西園与之
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		改訂第 10 版 救急救命士標準テキスト(救急救命士標準テキスト編集委員)へるす出版 【978-4-89269-997-9】 新訂第 2 版 救急処置スキルブック(上・下)(総監修:田中秀治)【978-4-908980-15-2c3047】 【978-4-908980-16-9c3047】 改訂第 2 版 JPTEC ガイドブック(一般社団法人 JPTEC 協議会)へるす出版【978-4-89269-4】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		緊急度判定支援システム JTAS2023 ガイドブック【978-4-86719-062-3】 PEMEC ガイドブック 2023「救急隊員による疾病の観察・処置の標準化」【978-4-86719-064-7】					

科目名	救急医学各論			授業コード	121803B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14L122P01	AL 科目	該当なし
担当者	西園与之(福・ス)、植田広樹(非常勤)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソ-No.	救急医療は、医療機関内だけで担われるものではない。特に病院前救護活動は、救急救命士に与えられた重要な役割であり、責任である。救急救命士は、救急医療を担う一員として専門的知識・技術と豊かな人間性及び高い倫理観を有する必要がある。本講義では、病院前救護を担う救急隊および救急救命士に必要な救急医学の基本的知識について学修する。その上で、病院前救護活動を助け、工夫・実施する為の基本活動について考え学修する。						
学修目標	1)救急活動について概要を説明できる。 2)救急活動時のコミュニケーションについて説明できる。 3)救急救命士に関連する法令を理解し、生涯教育の目的、方法を説明できる。 4)救急活動時の安全管理と事故対応について説明できる。 5)救急活動時の感染対策を説明できる。 6)救急活動でのストレスとストレスに対するマネジメントについて説明できる。 7)病院前医療体制において、救急救命士の役割及び責任を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、医療機関での看護師および消防職の救急救命士としての実務経験に基づき、授業を行う。						
評価方法	授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、質問・発言などの授業への参加態度)の評価を 20%及び学期末の単位認定試験を 80%として、総括的に単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	シラバスに示す講義内容に該当する箇所を確認し、1週間当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。不明な事項については調べ、基礎知識を身に付けた上で講義に臨むこと。解決できないものについては、積極的に質問して解決し、内容を理解すること。						
オフィスアワー	曜日・時間については、決定後に研究室入り口に掲示します。確認してください。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)7)	ガイダンス:救急医学概論の確認と各論への繋がりについて				講 義	西園与之
2	1)	救急活動の基本的な流れを振り返る。				講 義	植田広樹
3	1)2)	救急活動時のコミュニケーションについて説明する。				講 義	植田広樹
4	1)2)	救急活動での説明について説明する。				講 義	植田広樹
5	1)3)	救急救命士に関連する法令:救急救命士法・消防法について説明する。				講 義	植田広樹
6	1)3)	救急救命士に関連する法律:医師法・保健師助産師看護師法・その他の法令について説明する。				講 義	植田広樹
7	1)3)	救急救命士の生涯教育について説明する。				講 義	植田広樹
8	1)4)	安全管理と事故対応について説明する。				講 義	植田広樹
9	1)4)	救急活動で生じた事故への対応に通いて説明する。				講 義	植田広樹
10	1)3)4)	訴訟とその対応について説明する。				講 義	植田広樹
11	1)4)5)	感染対策について説明する。				講 義	植田広樹
12	1)4)5)	感染事故と事故後の対応について説明する。				講 義	植田広樹
13	1)6)	ストレスに対する管理について説明する。				講 義	植田広樹
14	1)3)4) 5)6)	救急活動と救急活動での事故等の対応についてまとめる。				講 義	西園与之
15	1)3)7)	救急救命士に関連する法令についてまとめる。				講 義	西園与之
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		改訂第 10 版 救急救命士標準テキスト(救急救命士標準テキスト編集委員)へるす出版【978-4-89269-997-9】 新訂第 2 版 救急処置スキルブック(上・下)(総監修:田中秀治)【978-4-908980-15-2c3047】 【978-4-908980-16-9c3047】 改訂第 2 版 JPTEC ガイドブック(一般社団法人 JPTEC 協議会)へるす出版【978-4-89269-4】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		緊急度判定支援システム JTAS2023 ガイドブック【978-4-86719-062-3】 PEMEC ガイドブック 2023「救急隊員による疾病の観察・処置の標準化」【978-4-86719-064-7】					

科目名		救急処置概論			授業コード	121804B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14L122P02	AL 科目	該当なし
担当者		西園与之(福・ス)、中尾誠宏(非常勤)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		救急救命処置は病院前救護活動において、傷病者を医師の管理下に置くまでの間に実施するものであり、迅速・的確に行うことにより症状の悪化を防ぎ、あるいは改善させ、傷病者の不安や苦痛を軽減すると共に、安心感を与えるものである。本講義では、救急救命士として傷病者の観察・処置の基本を理解し、各種救急資器材の知識と取扱いに関する留意点の修得を目指す。						
学修目標		1)救急医療システムを理解し、救急救命士について説明できる。 2)病院前救護活動における観察の目的を説明し、基本的観察方法を列挙できる。 3)バイタルサインの概念を理解し、具体的な項目を説明できる。 4)緊急度・重症度の概念、目的、判断について説明し、分類できる。 5)救急救命処置の概念と内容(項目)挙げ説明できる。 6)救急救命士が取り扱う資器材(観察用含む)について列挙し、適応・使用方法について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、医療機関での看護師および消防職の救急救命士としての実務経験に基づき、授業を行う。						
評価方法		授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、質問・発言などの授業への参加態度)の評価を 20%及び学期末の単位認定試験を 80%として、総括的に単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等		シラバスに示す講義内容に該当する箇所を確認し、1週間当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。不明な事項については調べ、基礎知識を身に付けた上で講義に臨むこと。解決できないものについては、積極的に質問して解決し、内容を理解すること。						
オフィスアワー		曜日・時間については、決定後に研究室入り口に掲示します。確認してください。						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	ガイダンス:救急医学概論、救急医学各論との繋がりについて説明する。					講 義	西園与之
2	1)2)3)	観察の目的と意義、バイタルサインについて説明する。 観察の方法(視診、触診、聴診、打診、問診)について説明する。					講 義	中尾誠宏
3	1)2)	全身の観察について説明する。 初期評価および全身状態の観察:外観、気道、呼吸全身観察・重点観察、詳細観察・継続観察について説明する。					講 義	中尾誠宏
4	1)2)	局所の観察について説明する。(皮膚、頭部、顔面、頸部、胸腹部、背部・腰部、骨盤、四肢) 観察結果の表現について説明する。					講 義	中尾誠宏
5	1)2)	神経所見の観察について説明する。(運動機能、感覚、神経学的異常の観察方法)					講 義	中尾誠宏
6	1)4)	緊急度・重症度判断:概念と判断の目的、判断の基準と分類について説明する。					講 義	中尾誠宏
7	5)6)	資器材による観察:呼吸系に関する器具について説明する。					講 義	中尾誠宏
8	5)6)	資器材による観察:循環系、その他に関する器具について説明する。					講 義	中尾誠宏
9	5)6)	救急救命士が行う処置(創傷処置、固定)について説明する。					講 義	中尾誠宏
10	5)6)	救急救命士が行う処置(資器材を用いた搬送)について説明する。					講 義	中尾誠宏
11	1)5)6)	救急救命士が行う処置(気道確保、酸素投与)について説明する。					講 義	中尾誠宏
12	1)5)6)	救急救命士が行う処置(器具を用いた気道確保)について説明する。					講 義	中尾誠宏
13	1)5)6)	救急救命士が行う処置(静脈路確保、輸液)について説明する。						中尾誠宏
14	1)～6)	救急救命士の現場活動についてまとめる。					講 義	西園与之
15	1)～6)	救急救命士としての社会的な責任についてまとめる。 現場活動における活動の基本と観察・評価についてまとめる。					講 義	西園与之
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		改訂第 10 版 救急救命士標準テキスト(救急救命士標準テキスト編集委員)へるす出版【978-4-89269-997-9】 新訂第 2 版 救急処置スキルブック(上・下)(総監修:田中秀治)【978-4-908980-15-2c3047】 【978-4-908980-16-9c3047】 改訂第 2 版 JPTEC ガイドブック(一般社団法人 JPTEC 協議会)へるす出版【978-4-89269-4】 6訂版 救急技術マニュアル(救急業務研究会)東京法令出版【978-4-8090-2515-0】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		緊急度判定支援システム JTAS2023 ガイドブック【978-4-86719-062-3】 PEMEC ガイドブック 2023「救急隊員による疾病の観察・処置の標準化」【978-4-86719-064-7】						

科目名		患者搬送技術論			授業コード	121807B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14L122P03	AL 科目	該当なし
担当者		西園与之(福・ス)、後藤 奏(非常勤)	開講学期	2024 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.		救急業務を適切に遂行するための基本的知識を取得することを目的として、救急業務の発展の歴史と現状、並びに問題点を理解する。さらに、救急活動の流れ、救急事故種別に応じた対応要領、迅速な傷病者搬送と受け入れ体制に係わる関係法令、救急医療体制の整備状況、救急医療情報システム、救急救命士制度・救急隊員の資格及び教育体制、救急処置範囲拡大の背景、傷病者との接遇要領、救急活動上のトラブル及び訴訟対応等について体系的に理解する。						
学修目標		1)救急業務の発展の歴史および現状を説明できる。 2)救急活動の流れを説明できる。 3)救急救命士に関係する法令を理解し、救急医療体制の概要を説明できる。 4)救急救命士の教育体制を説明できる。 5)活動現場でのコミュニケーションとトラブルへの対応を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、医療機関での看護師および消防職の救急救命士としての実務経験に基づき、授業を行う。						
評価方法		授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、質問・発言などの授業への参加態度)の評価を 20%及び学期末の単位認定試験を 80%として、総括的に単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等		シラバスに示す講義内容に該当する箇所を確認し、1週間当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。不明な事項については調べ、基礎知識を身に付けた上で講義に臨むこと。解決できないものについては、積極的に質問して解決し、内容を理解すること。						
オフィスアワー		曜日・時間については、決定後に研究室入り口に掲示します。確認してください。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)3)	ガイダンス:講義の進め方、受講の心構え等について説明する。 救急業務の背景および救急救命士制度と MC 体制について説明する。					講 義	西園与之
2	1)2)	救急業務の現状と実施体制について説明する。					講 義	後藤 奏
3	1)3)4)	応急手当および心肺蘇生普及啓発の必要性について説明する。					講 義	後藤 奏
4	1)2)3)	救急搬送システムおよび救急活動にかかわる情報伝達システムについて説明する。					講 義	後藤 奏
5	1)2)3)	救急隊員の責務および救急活動の基本行動について説明する。					講 義	後藤 奏
6	2)3)	救急出場の事故種別、出場から帰署までの活動要領について説明する。					講 義	後藤 奏
7	2)5)	活動時の傷病者および家族・関係者対応要領について説明する。					講 義	後藤 奏
8	2)3)5)	救急現場活動時の安全管理対策と事故発生時の対応について説明する。					講 義	後藤 奏
9	2)3)5)	救急活動の妨害行為、不搬送事例などトラブル対応について説明する。					講 義	後藤 奏
10	2)3)4)	救急活動記録票の意義および活動に関する照会等について説明する。					講 義	後藤 奏
11	2)3)5)	交通事故、労働災害事故、一般負傷事故における活動上の着眼点・注意点について説明する。					講 義	後藤 奏
12	2)3)5)	運動競技事故、加害事故、水難事故における活動上の着眼点・注意点について説明する。					講 義	後藤 奏
13	2)3)5)	疾病救急事案、ガス中毒事故、感染の恐れがある事故における活動上の着眼点・注意点について説明する。					講 義	後藤 奏
14	2)3)5)	多数傷病者発生現場における救急活動上の着眼点・注意点について説明する。					講 義	西園与之
15	2)3)5)	まとめ:救急現場活動における救急救命士の社会的な責任についてまとめる。					講 義	西園与之
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		改訂第 10 版 救急救命士標準テキスト(救急救命士標準テキスト編集委員)へるす出版 【978-4-89269-997-9】 新訂版 救急搬送概論(森戸正夫著)荘道社【9784915878497】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		新訂第 2 版 救急処置スキルブック(上・下)(総監修:田中秀治)【978-4-908980-15-2c3047】 【978-4-908980-16-9c3047】 改訂第 2 版 JPTEC ガイドブック(一般社団法人 JPTEC 協議会)へるす出版【978-4-89269-4】 緊急度判定支援システム JTAS2023 ガイドブック【978-4-86719-062-3】 PEMEC ガイドブック 2023「救急隊員による疾病の観察・処置の標準化」【978-4-86719-064-7】						

科目名	ファーストレスポnder 実習			授業コード	121808B101	単位数 (時間数)	2 単位 (90)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14L121P04	AL 科目	○
担当者	西園与之(福・ス)、日本ライフセー ビング協会(非常勤)	開講学期	2024 年度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	本実習では、団体行動、集団生活における時間管理・規律、礼儀を養い、救急救命士としての心構えを身に付けるとともに、人格 形成を目的とする。 救急救命士として最低限必要とされる基礎的な救助救出要領を修得する。また、救急救助現場における安全管理を修得する。 さらに、救急救命士と救助隊員が連携して活動ができるよう、ロープ及び各種救助用資器材の活用要領を修得する。						
学修目標	1)集団行動における礼式、基本動作が実践できる。 2)救助活動現場における危険予測・予防について理解し、実践できる。 3)自身の身を守る(セルフレス キュー)能力、バイスタンダーとしての最低限の救助方法(バイスタンダーレスキュー)を理解し、実 践できる。 4)プールや海浜で起こる事故に際し、ライフセーバーを含めた関係機関の活動を理解し、説明できる。 5)基本的なロープ操作および各種救助用資器材について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、医療機関での看護師および消防職の救急救命士としての実務経験に基づき、授業を行う。						
評価方法	・授業回数の 5 分の 4 以上の出席が評価の条件となる。 ・本科目の出席は以下の通りに取り扱う。 1.授業開始時刻から 10 分以内の入室は、遅刻とする。それ以後は入室を認めるが、欠席として取り扱う。 2.授業開始時刻から 80 分以降の退室は、早退とする。それ以前の退室は、欠席として取り扱う。 3.1 つの授業時間で遅刻及び早退が同時に生じた場合は、欠席として取り扱う。 4.遅刻・早退は、合わせて 3 回で 1 回の欠席として取り扱う。 5.授業が 2 限以上連続で実施される場合、上記 1～4 は各時限ごと、個別に適用される。 ・授業の取り組み姿勢と態度、パフォーマンス・スキル、コミュニケーション・スキル、服装・シューズなどを 加味して総合評価す る。なお、レポート等の提出物を全て提出していること、全てのスキルチェックに合格していることを評価の前提とする。						
準備学習・ 履修上の注意等	日々の体調管理に気をつけ、良好な状態で受講すること。 団体行動を意識して、チームへの協力を積極的に取ること。 常に、報告・連絡・相談を実施すること。						
オフィスアワー	曜日・時間については、決定後に研究室入り口に掲示します。確認してください。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
0	1)	基本動作:個人動作、団体行動、意思伝達要領を習得する。				講義・実習	西園与之
0	5)	基本ロープ結索の習得				講義・実習	西園与之
0	5)	応用ロープ結索の習得				講義・実習	西園与之
0	1)2)	車両操作、車両救助要領の習得				講義・実習	西園与之
0	1)3)4)	プールにおける水難事故と対応の習得				講義・実習	西園与之
0	1)2)3)	基本泳法の習得				講義・実習	西園与之
0	1)2)3)	セルフレスキュー、着衣泳の習得				講義・実習	西園与之
0	1)2)3) 4)	水中での傷病者対応の習得				講義・実習	西園与之
0	1)2)3) 4)	海浜での事故対応の習得				講義・実習	西園与之
0	1)2)3) 4)	レスキューシグナルの習得				講義・実習	西園与之
0	3)4)	レスキューチューブを用いた救助を習得する。				講義・実習	西園与之
0	3)4)	レスキューボードを用いた救助を習得する。				講義・実習	西園与之
0	1)～5)	総合シミュレーション				講義・実習	西園与之
0	1)～5)	総合シミュレーション				講義・実習	西園与之
0	1)～5)	ファーストレスポnder 実習のまとめ				講義・実習	西園与之
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		改訂第 10 版 救急救命士標準テキスト(救急救命士標準テキスト編集委員会)へるす出版【978-4-89269- 997-9】 JPTEC ガイドブック(一般社団法人 JPTEC 協議会)へるす出版【978-4-89269-989-4】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		新訂版 救急搬送概論(森戸正夫著) 荘道社【9784915878497】 サーフライフセービング教本 目で見て分かる消防訓練礼式					

科目名	救急処置実習 A- I			授業コード	121809D101	単位数 (時間数)	4 単位 (180)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14L123P01	AL 科目	○
担当者	西園与之(福・ス)、JEMS(非常勤)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	救急処置実習 I では、基本的な応急手当、救急処置法を身に付けるとともに、人の命の尊さ、大切さを理解するとともに、医療従事者としての倫理観と救急救命士としての自覚を養い、救急救命処置要領の修得および災害現場や防災ボランティア現場においての戦力となる実践型教育を主眼とする。						
学修目標	1) 救急救命士に求められる心構えと態度について説明できる。 2) 規律訓練の基本が実践できるとともに全体を指揮することができる。 3) 自己の身体能力を把握できる。 4) 自己の身体能力を向上させるための行動を始めることができる。 5) 救急蘇生法の必要性を説明して実践できる。 6) 救急蘇生法を指導できる。 7) 救急蘇生法の目的、適応、方法及び留意点を説明して実践できる。 8) 傷病者の観察が実施でき、病態評価および搬送が実践できる。 9) 疾病傷病者・外傷傷病者に対する活動要領を説明して実践できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、医療機関での看護師および消防職の救急救命士としての実務経験に基づき、授業を行う。						
評価方法	・授業回数の 5 分の 4 以上の出席が評価の条件となる。 ・本科目の出席は以下の通りに取り扱う。 1. 授業開始時刻から 10 分以内の入室は、遅刻とする。それ以後は入室を認めるが、欠席として取り扱う。 2. 授業開始時刻から 80 分以降の退室は、早退とする。それ以前の退室は、欠席として取り扱う。 3. 1 つの授業時間で遅刻及び早退が同時に生じた場合は、欠席として取り扱う。 4. 遅刻・早退は、合わせて 3 回で 1 回の欠席として取り扱う。 5. 授業が 2 限以上連続で実施される場合、上記 1～4 は各時限ごと、個別に適応される。 ・授業の取り組み姿勢と態度、パフォーマンス・スキル、コミュニケーション・スキル、服装・シューズなどを 加味して総合評価する。なお、レポート等の提出物を全て提出していること、全てのスキルチェックに合格していることを評価の前提とする。						
準備学習・ 履修上の注意等	・日々の体調管理に気をつけ、良好な状態で受講すること。 ・団体行動を意識して、チームへの協力を積極的に取ること。 ・常に、報告・連絡・相談を実施すること。						
オフィスアワー	曜日・時間については、決定後に研究室入り口に掲示します。確認してください。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
0	1)2)5)	第 1 週 ガイダンス(実習講義の進め方など)について説明する。 コミュニケーションスキルの習得、規律訓練 第 2 週 周囲環境評価、徒手搬送の習得				観察・評価	西園与之 JEMS(非常勤)
0	1)2)3) 4)5)6)	第 3 週 心肺蘇生(成人・小児)の習得 第 4 週 心肺蘇生の確認、異物除去・気道確保、感染防御の習得				観察・評価	西園与之 JEMS(非常勤)
0	1)2)4) 5)6)7) 8)	第 5 週 心肺蘇生の確認、器具を用いた人工呼吸の習得 心肺蘇生スキルチェック開始 第 6 週 心肺蘇生の確認、止血・固定の習得(三角巾法) 心肺蘇生スキルチェック				観察・評価	西園与之 JEMS(非常勤)
0	1)2)4) 5)6)7) 8)	第 7 週 心肺蘇生の確認、器具を用いた搬送の習得 心肺蘇生スキルチェック 第 8 週 心肺蘇生スキルチェック終了 止血・固定・異物除去スキルチェック				観察・評価	西園与之 JEMS(非常勤)
0	1)2)7) 8)9)	第 9 週 傷病者観察要領:バイタルサイン、観察方法の習得 第 10 週 全身固定要領:ネックカラー、BB、スクープストレッチャー				観察・評価	西園与之 JEMS(非常勤)
0	7)9)	第 11 週 外傷傷病者対応:状況評価、初期評価、全身観察、継続・詳細観察 第 12 週 外傷傷病者対応:ヘルメット離脱、緊急的処置など				観察・評価	西園与之 JEMS(非常勤)
0	1)2)7) 9)	第 13 週 隊活動:外傷傷病者対応 第 14 週 隊活動:外傷傷病者対応				観察・評価	西園与之 JEMS(非常勤)
0	1)2)5) 7)8)9)	第 15 週 隊活動:外傷傷病者対応のまとめ 第 16 週(後期 1 週目)ガイダンス 隊活動:外傷活動の確認				観察・評価	西園与之 JEMS(非常勤)
0	1)2)5) 7)8)	第 17 週 傷病者観察要領:バイタルサイン、心電図の習得 第 18 週 酸素投与・気道確保と人工呼吸の習得 (酸素投与・用手気道確保、口咽頭・鼻咽頭エアウェイ、バック・バルブ・マスク)				観察・評価	西園与之 JEMS(非常勤)
0	1)2)5) 7)8)	第 19 週 器具を用いた気道異物除去 喉頭鏡、マギール鉗子 第 20 週 隊活動:疾病患者(観察・評価、病院連絡、搬送)				観察・評価	西園与之 JEMS(非常勤)
0	1)2)7) 8)9)	第 21 週・第 22 週 隊活動:心肺停止想定				観察・評価	西園与之 JEMS(非常勤)
0	1)2)7) 8)9)	第 23 週・第 24 週 隊活動:心肺停止想定				観察・評価	西園与之 JEMS(非常勤)
0	1)2)7) 8)9)	第 25 週・第 26 週 隊活動:外傷傷病者対応				観察・評価	西園与之 JEMS(非常勤)
0	第 27 週・第 28 週	1)2)7)8)9)				観察・評価	西園与之 JEMS(非常勤)

	総合 想定 訓練			
0	1)2)7) 8)9)	第 29 週 総合想定訓練 第 30 週 総合想定大活動評価	救急士試験	西園与之 JEMS(非常勤)
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		改訂第 10 版 救急救命士標準テキスト(救急救命士標準テキスト編集委員)へるす出版【978-4-89269-997-9】 新訂第 2 版 救急処置スキルブック(上・下)(総監修:田中秀治)【978-4-908980-15-2c3047】 【978-4-908980-16-9c3047】 改訂第 2 版 JPTEC ガイドブック(一般社団法人 JPTEC 協議会)へるす出版【978-4-89269-4】 6訂版 救急技術マニュアル(救急業務研究会)東京法令出版【978-4-8090-2515-0】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		救急蘇生法の指針 2023 市民用 【978-4-86719-027-2】 緊急度判定支援システム JTAS2023 ガイドブック【978-4-86719-062-3】 PEMEC ガイドブック 2023「救急隊員による疾病の観察・処置の標準化」【978-4-86719-064-7】		

科目名		アスレティックトレーナー概論			授業コード	130040A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14C131P01	AL 科目	○
担当者		神田潤一(福・ス)、佐々木さはら (福・ス)	開講学期	2024 年 度 前 期	必修・選択	自 由	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシーNo.		本科目では、JSPO-AT の役割・業務と専門性や、業務を遂行する上で必要となる多様な素養の位置づけを理解し、持続的に 学び関係職種との連携を推進するための知識と態度の習得をねらいとする。						
学修目標		1)JSPO-AT 及び国内外の関連資格の役割、業務、制度を説明できる。 2)法律的観点からみた JSPO-AT の役割を理解し、求められる倫理と責任について説明できる。 3)自身の健康管理の重要性を理解し、その予防や対処法について説明できる。 4)スポーツ医・科学チームを構成する関連資格の特徴を理解し、JSPO-AT に求められる役割を説明できる。 5)科学的根拠に基づいた業務推進のための情報収集と活用方法について説明できる。 6)クライアントの特徴を理解し、連携体制の構築に活用できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者(神田・佐々木)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるよう な授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法		レポート(20%)、課題発表(30%)、筆記試験(50%)						
準備学習・ 履修上の注意等		予習・復習を必ず行うこと。						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)とは JSPO-AT のコンピテンシーに応じた業務と運営					講 義	神田/佐々木
2	1)	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)とは JSPO-AT のコンピテンシーに応じた業務と運営					講 義	神田/佐々木
3	1)	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)とは JSPO-AT のコンピテンシーに応じた業務と運営					講 義	神田/佐々木
4	1)2)	JSPO-AT の活動と倫理および運営管理					講 義	神田/佐々木
5	1)2)	JSPO-AT の活動と倫理および運営管理					講 義	神田/佐々木
6	1)2)	JSPO-AT の活動と倫理および運営管理					講 義	神田/佐々木
7	3)4)	JSPO-AT の安全と健康管理、セルフマネージメント スポーツ医・科学チームとスタッフ					講 義	神田/佐々木
8	3)4)	JSPO-AT の安全と健康管理、セルフマネージメント スポーツ医・科学チームとスタッフ					講 義	神田/佐々木
9	3)4)	JSPO-AT の安全と健康管理、セルフマネージメント スポーツ医・科学チームとスタッフ					講 義	神田/佐々木
10	5)	エビデンスに基づいた運営(EBP)					講 義	神田/佐々木
11	5)	エビデンスに基づいた運営(EBP)					講 義	神田/佐々木
12	5)	エビデンスに基づいた運営(EBP)					講 義	神田/佐々木
13	6)	JSPO-AT とクライアント					講 義	神田/佐々木
14	6)	JSPO-AT とクライアント					講 義	神田/佐々木
15	6)	JSPO-AT とクライアント					講 義	神田/佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①アスレティックトレーナーの役割(日本スポーツ協会) 共通科目リファレンスブック						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし						

科目名		アスレティックトレーナー実習Ⅰ			授業コード	130054A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(1 年)			ナンバリング	14C132P01	AL 科目	○
担当者		神田 潤一(福・ス)、佐々木さはら(福・ス)	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		本科目では、JSPO-AT の役割(コンピテンシー・業務)についてスポーツ現場等で学ぶ機会を提供し、JSPO-AT のコンピテンシーの習得に必要な技能を身につけることをねらいとする。						
学修目標		1)実習の目的や心構えを理解し、説明できる。 2)学生トレーナーとして実習を行い、アスレティックトレーナーに対する理解を深め、スポーツ現場で活躍できる実践力を身につける。見学実習を行うことによって、競技特性や、想定されるスポーツ外傷をまとめることができる。スポーツ現場およびアスレティックトレーナーの必要性について理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者(神田・佐々木)は、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する。その経験に基づき、現場を意識できるよう な授業を展開し、実践力向上につなげる。						
評価方法		レポートにより評価する(100%)						
準備学習・ 履修上の注意等		アスレティックトレーナー概論を合格した者が受講可						
オフィスアワー		講義時間以外の可能な時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	実習前ガイダンス					講 義	神田/佐々木
0	1)2)	見学実習(30 時間)					実 習	神田/佐々木
15	1)2)	実習後のまとめ					講 義	神田/佐々木
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		アスレティックトレーナー専門科目テキスト①～⑤(公益財団法人日本スポーツ協会)						

科目名	教育方法・情報通信技術活用論			授業コード	140040B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉専攻・スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	14C231T01	AL 科目	○
担当者	井藤 英俊	開講学期	2024 年 度 後 期	必修・選択	教 職	授業形態	講義, SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	現在, 中学校や高等学校の教師としての力量や能力を形成することが求められている。そのために, 先哲の業績を手掛かりに, これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために, 適切な教育の方法, 技術, 情報機器及び教材の活用などの知識・技術を修得し, さらに教育評価に関する基礎的な教員としての知識・技能を修得することを目的とする。						
学修目標	1)教育の目的と、教育内容、教育方法との関連性について説明できる。 2)先哲の教育思想の要点について理解し、現代の教育との関わりについて説明できる。 3)授業づくりの観点から授業の構造や「学び方」, 学習内容について理解を深めるとともに, 説明できる。 4)学習指導案の意義について理解を深め、実際に自分の担当する教科目についての学習指導案を作成することができる。また、教育評価の意味や方法について理解を深め、授業の目的は生徒の価値ある変容であることを説明できる。 5)教育課程について理解を深め、学習指導要領を中心とする教育課程に関する法制について説明できる。 6)教育効果を高める教材・教具・情報機器の使用法について理解を深めるとともに、実際に活用することができる。						
実務経験のある 教員による教育	授業担当者(井藤)は, 教育現場(中学校・高等学校・特別支援学校)での実務経験に基づき, 教育方法に関する知識・技能の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	各授業ごとに小テストを行い, 結果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(小テストや課題の提出, 授業プリントの受け取り, 質問・発言・回答など授業への参加)を 2 割, 学期末の筆記試験を 8 割として, 単位認定を行う。詳細な評価基準は授業開始日に資料を配付して説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	予習は, テキストを熟読し, 言葉の意味等を調べるのに 150 分, 復習は小テストの確認, レジュメの見直しと整理, 教科書の再読に90分はかけること。 レジュメと, 板書を中心に授業を進めるが、学生の意見も求める。プリントホルダーを作成すること。 新型コロナの感染状況によっては, SGD など内容を変更することもある。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	教育方法論入門 教育の目的と教育内容、様々な教育方法。 教育方法史1 ソクラテス～コメニウス				講 義	井 藤
2	1)2)	教育方法史2 ルソー～ペスタロッチ～ヘルバルトとヘルバルト学派				講 義	井 藤
3	1)2)	教育方法史3 20世紀初頭の新教育運動 明治期近代学校制度の成立と公教育教授定型				講 義	井 藤
4	1)2)	教育方法史4 大正自由教育と昭和戦時期の教育				講 義	井 藤
5	1)3)4)	教育課程論1 学習指導要領の変遷, 教科書の教育的役割, 「教科書を教える」と「教科書で教える」の区別				講 義	井 藤
6	1)3)	学習指導論2 学校の教育課程の編成, かくれた(ヒドウン)カリキュラム				講 義	井 藤
7	1)3)	学習指導論3 総合的な学習(探究)の時間の意義と課題, 特別活動の意義と課題, 道德教育の意義と課題				講 義	井 藤
8	1)3)	学習指導論4 キャリア教育と進路指導				講 義	井 藤
9	1)3)5)	授業論1 授業の構造と意義, 学習指導案, 授業目標づくり				講 義	井 藤
10	1)3)5)	授業論2 問題解決学習, 「学び方」を学ぶ, 教材研究と教材解釈				講 義	井 藤
11	1)5)	授業論3 展開のある授業, 発問の種類と機能, 安全教育				講 義	井 藤
12	1)3)5)	教育技術論1 教育技術の特質, 集団づくり, 習熟度別指導, ティーム・ティーチング				講 義	井 藤
13	1)3)6)	教育技術論2 教育メディア, ICT 教育, インターネット教育, メディア・リテラシー				講 義	井 藤
14	1)3)5)	教育技術論3 板書とノート指導, 調べ学習, 机間指導, 模擬授業の意義と方法				講 義	井 藤
15	1)4)	教育評価論 学力, 相対評価と絶対評価, 指導と評価の一体化, 到達目標と方向目標, 新しい評価法, , 指導要録, 新しい実践 課題:ジェンダー(SGD)				講義, SGD	井 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		教育の方法と技術 第三版(柴田 義松／山崎 準二) 学文社【978-4-7620-2869-4】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		高等学校学習指導要領解説 総則編 (文部科学省) 東洋館出版社【978-4491036397】 その他, 適宜紹介します。					